

厚生労働省委託事業

平成 28 年度歯科診療情報の標準化
に関する実証事業報告書

公益社団法人 日本歯科医師会

歯科診療情報の標準化に関する実証事業実行委員会

平成 29 年（2017 年）3 月

■ 平成 28 年度歯科診療情報の標準化に関する実証事業実行委員会

〈委員〉※五十音順

青木 孝文	東北大学副学長
井田 有亮	東京大学医学部附属病院企画情報運営部助教
小玉 剛	日本歯科医師会常務理事 ※実行委員会委員長
下邨 雅一	保健医療福祉情報システム工業会 (JAHIS) 運営会議議長
杉山 茂夫	日本歯科医師会常務理事
鈴木 敏彦	東北大学大学院歯科法医学情報学分野准教授
多貝 浩行	日本歯科コンピュータ協会
玉川 裕夫	大阪大学歯学部附属病院医療情報室准教授
松崎 正樹	新潟県歯科医師会専務理事
村岡 宣明	日本歯科医師会専務理事
山上 浩志	医療情報システム開発センター (MEDIS) 標準化推進部部长
柳川 忠廣	日本歯科医師会副会長

〈オブザーバー〉※順不同

和田 康志	厚生労働省医政局歯科保健課課長補佐
綿本 隆生	厚生労働省医政局歯科保健課歯科医師臨床研修専門官
石井 規	日本歯科コンピュータ協会副会長
猪俣 吾郎	日本歯科コンピュータ協会監事
岡峯 栄子	医療情報システム開発センター (MEDIS) 標準化推進部主査
瀬賀 吉樹	新潟県歯科医師会課長

■ 平成 28 年度歯科診療情報の標準化に関する実証事業実行委員会 WG

〈委員〉※五十音順

青木 孝文	東北大学副学長
井田 有亮	東京大学医学部附属病院企画情報運営部助教
木村 雅彦	保健医療福祉情報システム工業会 (JAHIS) 医療システム部会 相互運用性委員会委員長
小玉 剛	日本歯科医師会常務理事
齊籐 孝親	日本大学松戸歯学部教授
佐藤 孝昭	保健医療福祉情報システム工業会 (JAHIS) 医事コンピュータ部会 歯科システム委員会歯科標準化分科会リーダー
下邨 雅一	保健医療福祉情報システム工業会 (JAHIS) 運営会議議長
杉山 茂夫	日本歯科医師会常務理事
瀬賀 吉樹	新潟県歯科医師会課長
多貝 浩行	日本歯科コンピュータ協会
玉川 裕夫	大阪大学歯学部附属病院医療情報室准教授 ※WG 委員長
松本 智浩	BSN アイネット医療・産業事業本部システム部医療担当
村岡 宣明	日本歯科医師会専務理事
山上 浩志	医療情報システム開発センター (MEDIS) 標準化推進部部长
柳川 忠廣	日本歯科医師会副会長

〈オブザーバー〉※順不同

和田 康志	厚生労働省医政局歯科保健課課長補佐
綿本 隆生	厚生労働省医政局歯科保健課歯科医師臨床研修専門官

■ 平成 28 年度歯科診療情報の標準化に関する実証事業タスクフォース

〈委員〉 ※五十音順

青木	孝文	東北大学副学長
井田	有亮	東京大学医学部附属病院企画情報運営部助教
岡峯	栄子	医療情報システム開発センター (MEDIS) 標準化推進部主査
木村	雅彦	保健医療福祉情報システム工業会 (JAHIS) 医療システム部会相互運用性委員会委員長
齊籐	孝親	日本大学松戸歯学部教授
佐藤	孝昭	保健医療福祉情報システム工業会 (JAHIS) 医事コンピュータ部会 歯科システム委員会歯科標準化分科会リーダー
下邨	雅一	保健医療福祉情報システム工業会 運営会議議長
瀬賀	吉樹	新潟県歯科医師会課長
多貝	浩行	日本歯科コンピュータ協会
玉川	裕夫	大阪大学歯学部附属病院医療情報室准教授 ※タスクフォース委員長
松本	智浩	BSN アイネット医療・産業事業本部システム部医療担当

目 次

- 1 歯科診療情報の標準化へ向けた活動の経緯
 - 1-1 警察歯科組織の全国展開と日本歯科医師会の取組
 - 1-2 東日本大震災の身元確認 ー歯科情報の有用性を再認識ー
 - 1-3 歯科診療情報の標準化に向けて ー浮き彫りとなった課題ー
 - 1-4 歯科診療情報の標準化に関する実証事業 ー新潟県歯科医師会の事業成果ー
 - 1-5 平成 28 年度歯科診療情報の標準化に関する実証事業
 - 1-5-1 平成 28 年度事業の目的
 - 1-5-2 平成 28 年度事業の内容

- 2 「口腔診査情報標準コード仕様」の策定
 - 2-1 基本的な考え方
 - 2-2 仕様書策定の方針
 - 2-3 「口腔診査情報標準コード仕様」の概要
 - 2-4 HL7 及び SS-MIX2 について
 - 2-5 CSV 形式データ出力の検証と CSV 及び HL7 形式データ出力事例

- 3 歯科情報の保存と利活用に係る論点の整理
 - 3-1 標準化によって可能になる取組
 - 3-2 歯科診療情報の保存に関する検討課題
 - 3-3 歯科診療情報の利活用事例
 - 3-3-1 うすき石仏ねっとの取り組み
 - 3-3-2 家族の絆プロジェクトの取り組み
 - 3-4 海外の歯科情報との互換
 - 3-5 将来的な歯科情報の利活用に向けて

- 4 結論

参考文献・参考サイト

資料 1 : 口腔診査情報標準コード仕様 Ver.1.0 平成 29 年 3 月 24 日版

資料 2 : 口腔診査情報標準コード仕様と標準プロファイル 26 項目との対応表
平成 29 年 3 月 21 日版

資料 3 : 口腔診査情報 CSV 形式データから HL7 への変換仕様 Ver.1.0 平成 29 年 3 月

1 歯科診療情報の標準化へ向けた活動の経緯

1-1 警察歯科組織の全国展開と日本歯科医師会の取組

昭和 60 年 8 月、群馬県御巢鷹山での航空機墜落事故における身元確認を契機に、身元確認のための歯科の重要性が広く社会に認知されるようになった。群馬県においては、群馬県警と連携し、全国初の医師会・歯科医師会合同による検死警察医の組織化を目的に、事故の前年の昭和 59 年 2 月に「群馬県警察医会」が組織されたことから、この身元確認は組織化された体系下で行われた。警察からの依頼による平時の身元確認はこれまでも各地で行われてきたが、航空機事故を契機に全国で警察歯科医会が発足し、以降、組織化された体系の中で、歯科所見による身元確認が行われることとなった。

このような背景の下、警察歯科業務に従事する方々の連携を図ることを目的に、平成 8 年に広島県で歯科警察連絡協議会等全国フォーラムが行われ、これを更に発展させる形で、平成 14 年 8 月、長野県歯科医師会主管により、第 1 回警察歯科医会全国大会が開催され、今年で第 15 回を数えた。

平成 21 年 11 月、新潟県歯科医師会主管による、第 8 回警察歯科医会全国大会では、大規模災害時の身元確認における情報技術の利用を含めたシンポジウムが行われ、活発な議論が交わされた。これを踏まえて新潟県歯科医師会より本会に対して、「IT 技術を活用した身元確認に関する将来への提言」がなされた。

本会ではこの提言を真摯に捉え、柳川忠廣常務理事（現、副会長）や青木孝文東北大学副学長らが、厚生労働省をはじめ、警察庁、内閣府など関係各所を東奔西走し、来るべき災害に備えて、歯科情報の整備の必要性を強く唱えてきた。

1-2 東日本大震災の身元確認 — 歯科情報の有用性を再認識 —

そして、2011 年 3 月 11 日、国内観測史上最大となるマグニチュード 9.0 という巨大な地震が我が国を襲った。かつてない未曾有の天災ともいえるこの東日本大震災は甚大な被害を及ぼし、死者 15,893 人、行方不明者 2,556 人（平成 28 年 12 月 9 日現在、警察庁）という戦後最大の被害をもたらした。我々が最も危惧していた、万単位での犠牲者という最悪の現実が目の前に突きつけられた。

<※注>東日本大震災の最新の統計については、次の警察庁のページを参照のこと。

<http://www.npa.go.jp/archive/keibi/biki/higaijokyo.pdf>

本会では、震災発生当日即座に災害対策本部を設置し、被災地の状況把握とその対応に努めた。まず、震災翌日の 3 月 12 日、警察庁並びに政府より本会に身元確認作業への派遣協力の打診があり、そして 3 月 14 日、警察庁からの正式な派遣要請を受け、都道府県歯科医師会に出動可能な歯科医師の登録を依頼するとともに、警察庁を通じて早急に歯科医師の派遣を開始した。また、既にそれよりも早く、12 日の岩手県歯科医師会を皮切りに、宮城県歯科医師会、福島県歯科医師会がそれぞれ県警からの要請に基づき出動を始めている。また、歯科医師会とは別に、法歯科医学会からの派遣が 12 日から始まり、更に自衛隊歯科医官が 23 日

から約1カ月半にわたり福島県に出動した。

全国から派遣された歯科医師は延べ1千人以上にものぼるほか、更に、ご自身が被災し厳しい環境下にある被災県の歯科医師が、強い責任感の下、率先して身元確認の業務に従事された。震災で犠牲になったご遺体の検視・身元確認業務は、警察関係者をはじめ、医師や歯科医師等、関係各位の献身的なご努力により遂行され、1万人以上が犠牲となった大規模災害での身元確認を為し得た。

東日本大震災における身元確認は、我が国の歴史上、歯科による身元確認の迅速化のためにIT技術が大規模に適用された初めての災害であるといえる。圧倒的多数の生前歯科情報、ご遺体の歯科情報を迅速に突合し、該当者を割り出す作業は、IT技術の適用無くしては遂行し得ないものであった。例えば、宮城県では、県警・歯科医師会による身元確認を支援するために、東北大学が、生前カルテ情報と遺体情報を照合する専用ソフトウェア Dental Finder (図1)を開発・運用した。Dental Finderでは、各々の歯の状態を1~5の5分類符号で表現し、口腔内の所見を32桁の数字列に置き換える。この数字列の類似度によって、生前・死後情報の検索を行う。



図1 歯科情報照合ソフトウェア Dental Finder

東日本大震災の際に宮城県警で活用された。東北大学が開発し、現在、無償配布されている(連絡先 dental@aoki.ecei.tohoku.ac.jp)。

なお、同様の検索の仕組みは岩手県でも独自に整備され、効果をあげた。岩手県歯科医師会が考案したシステムは、上下左右の犬歯と第一大臼歯の状態から該当者を検索するシステムであり、「36（サブブロック）検索」として知られている（図2）。

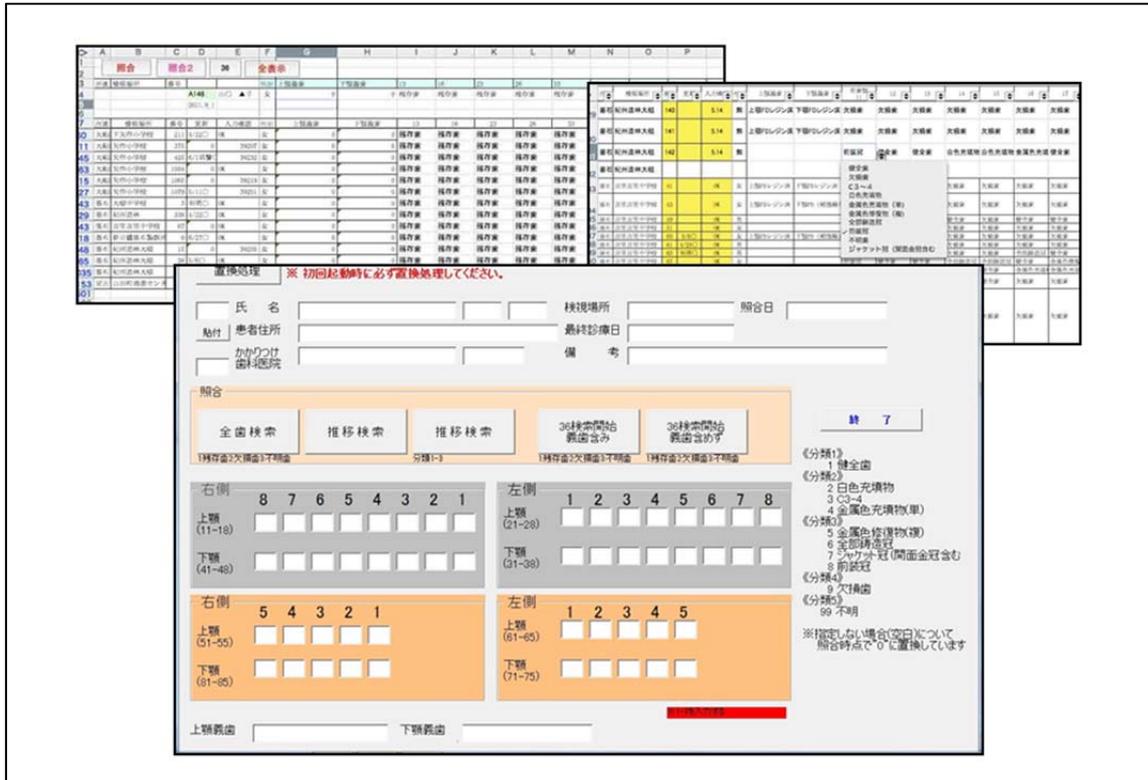


図2 岩手県で活用された「36（サブブロック）検索」のシステム

岩手県歯科医師会が考案して現場で運用した。上下左右の犬歯と第一大臼歯の状態から該当者を検索することができる。

1-3 歯科診療情報の標準化に向けて 一浮き彫りとなった課題一

災害や事故、事件などの事案を、その規模と性質とで整理したものが図3である。東日本大震災のような大規模な開放型災害における身元確認を正確且つ迅速に行うには、歯科所見のデータ化と情報技術の適用が不可欠であることが明かとなった。しかし、その一方で、次の課題が浮き彫りとなった。

1. 迅速な身元確認を実現するために、かかりつけ歯科医院等から、行方不明者の歯科診療情報をどのような形式で、いかなる方法で入手すべきか。また、これらをいかにして検索可能なデジタルデータにするかが不明確であった。このため現場では、数千人に及ぶ行方不明者の診療録を入手・読解・データ化するために膨大な労力と時間を費やした。
2. 被災した地域ごとに、様式の異なる歯科情報の検索・絞り込みツールが用いられたため、各々のデータ形式に互換性が無く、担当者の相互理解とデータ連係に時間を要した。
3. 東日本大震災では、多くの歯科医院が津波によって被災し、歯科診療情報が失われる事例が生じた。このような大規模災害時のみならず、平時においても歯科診療情報が失わ

れる要因は多い。具体的には、診療録の法定年限の経過、情報機器の故障、レセコンの入れ替え、歯科医院の廃業など、多様な理由で貴重な診療情報が消失する可能性が危惧される。これらを共通のデータ形式でバックアップし、消失を防ぐ手段が必要である。

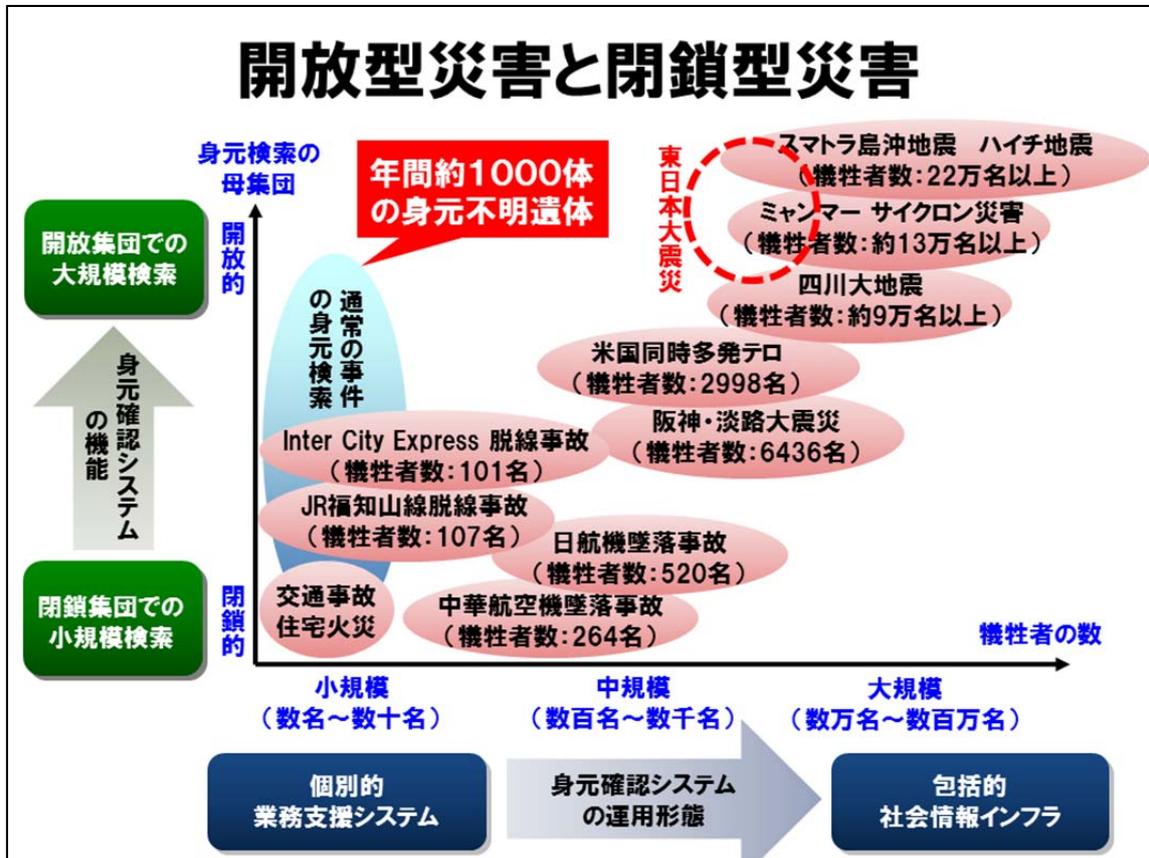


図 3 遺体の身元確認が必要となる災害・事故・事件の類型
事案が開放型（縦軸上方）になるに従って、歯科情報検索システムの必要性が高まる。

1-4 歯科診療情報の標準化に関する実証事業 —新潟県歯科医師会の事業成果—

以上のような背景の下、柳川忠廣常務理事（現、副会長）、青木孝文東北大学副学長らのご努力により、歯科医療機関が保有する歯科診療情報の標準化を図ることを目的として、厚生労働省では平成 25 年度より「歯科診療情報の標準化に関する実証事業」を開始した。第 8 回警察歯科医会全国大会を主管した、新潟県歯科医師会の先駆的な取り組みを踏まえ、東北大学青木副学長はじめ関係各位のご協力の下、新潟県歯科医師会が本事業を受託し、平成 25 年度より平成 27 年度までの 3 年間にわたり、本事業に精力的に取り組んできた。

平成 25 年度実証事業では、「標準プロフィール」として、我が国の歯科診療における保険診療項目をベースにした 26 項目を定義し、この項目を網羅したマークシート様式によるデンタルチャートを用いて、被験者となる患者の歯科情報を収集した。この歯科情報と歯科レセプトコンピュータ（以下、「レセコン」という。）中に蓄積された歯科情報との検索・照合等を行う過程で、実際の被災地では外乱と呼ばれる、様々な情報欠落が生じることから、こ

これらの耐性も考慮しながら検証を進め、標準プロファイルとして定義した 26 項目の歯科情報を保持すれば、外乱への耐性も備え、且つ極めて高い精度で身元の絞り込みが可能であることを実証した。

No.	項目	記号	No.	項目	記号
1	乳歯	Dcd	14	全部金属冠(FMC ほか)	FMC
2	健全歯	Sou	15	前装冠(HR, MB ほか)	HR
3	C1~C3(治療中を含む)	C123	16	HJC, セラミックほか	HJC
4	半埋伏・埋伏	RT	17	支台歯(インプラントも可)	Abu
5	CR充填, セメント充填ほか	CR	18	ボンティック	Pon
6	インレー, アンレー, 3/4, 4/5 冠	金属色	19	残根・根面版ほか	C4
7		歯冠色	20	欠損	MAM
8	アマルガム充填	AF	21	死後脱落の疑い	MPM
9	部分修復 の高洞・ 被覆面の 形態 (金属修復 物のみ)	切端・咬合面	22	義歯(人工歯あり)	Den
10		唇側面・頬側面	23	インプラント	Impl
11		口蓋側面・舌側面	24	仮歯(TEK, プロビ等)あり	TeC
12		近心面	25	歯牙あり(状態は不明)	Pre
13		遠心面	26	情報なし	Non

表 1 標準プロファイル (26 項目)

平成 25 年度実証事業で、デジタル歯科情報の標準形式として策定された。各歯牙について 26 項目の特徴を定義したものであり、各項目には「該当する」か「該当しない」かの 2 通りの選択肢がある。

各歯について当てはまるすべての項目にマークして下さい

		E	D	C	B	A	A	B	C	D	E						
		8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
健全歯	健全歯	<input type="checkbox"/>															
	C1-C3(治療中を含む)	<input type="checkbox"/>															
半埋伏歯・埋伏(分かる範囲で)	半埋伏歯・埋伏(分かる範囲で)	<input type="checkbox"/>															
	CR充填, セメント充填ほか	<input type="checkbox"/>															
部分修復	インレー, アンレー, 3/4, 4/5冠	<input type="checkbox"/>															
	金属色 歯冠色	<input type="checkbox"/>															
アマルガム充填	アマルガム充填	<input type="checkbox"/>															
	高洞の形態 (金属修復物のみ記入)	<input checked="" type="checkbox"/>															
全部修復	全部歯冠修復(FMCほか)	<input type="checkbox"/>															
	前装冠(HR, MBほか)	<input type="checkbox"/>															
Br	HJC, セラミックほか	<input type="checkbox"/>															
	支台歯(インプラントも可)	<input type="checkbox"/>															
残根・根面版ほか	残根・根面版ほか	<input type="checkbox"/>															
	欠損	<input type="checkbox"/>															
義歯(人工歯あり)	義歯(人工歯あり)	<input type="checkbox"/>															
	インプラント	<input type="checkbox"/>															
仮歯(TEK, プロビほか)あり	仮歯(TEK, プロビほか)あり	<input type="checkbox"/>															
	情報なし	<input type="checkbox"/>															

※カルテから歯科情報を転記する場合で、上欄の情報が得られないときは、以下の2項目を追加して使用してもよい。

歯牙あり(状態は不明)	<input type="checkbox"/>																
情報なし	<input type="checkbox"/>																

図 4 標準プロファイルに準拠するマークシート型デンタルチャート

上顎のみを示している。生前情報を想定しているため、項目 21 の「死後脱落の疑い」は除外。

平成 26 年度実証事業では、標準プロファイルとして定義した 26 項目を基礎とし、広範にわたる意見聴取をもとに考察しながら、標準的な口腔内所見を「木構造」による階層型のデータセットとして再定義し、各項目の意味の明確化と今後の拡張性を確保した。このデータセットは、様々な歯科情報の粒度（詳細度）に柔軟に対応できる階層化構造であり、このデータ形式を用いて、レセコン抽出データより検索実験を行ったところ、データセットの構造化により、絞り込み率も更に向上した。

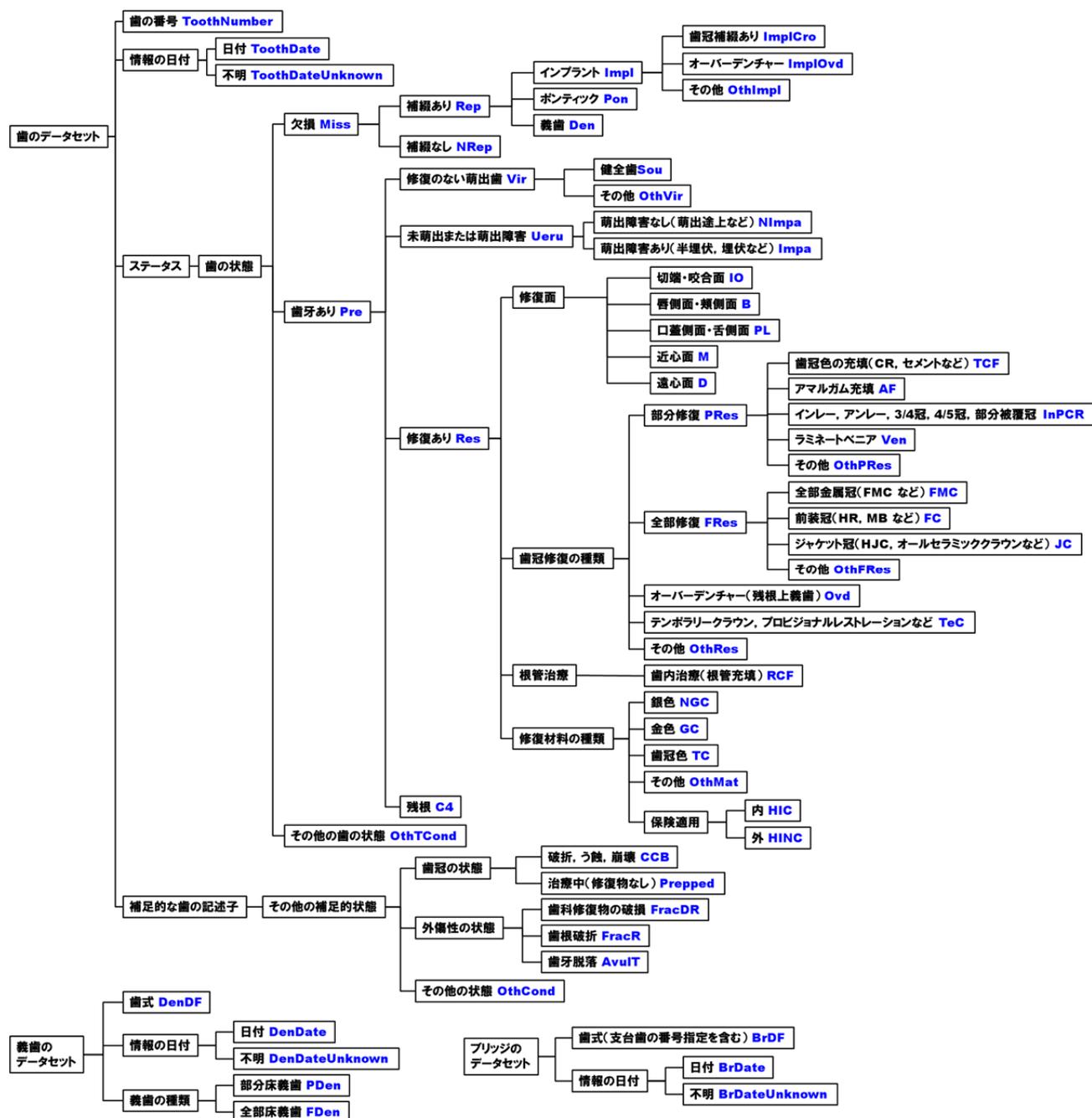


図 5 口腔状態標準データセット (省略版)

情報の分解能に応じて階層的に構造化した特徴記述子を導入する着想に基づいて、平成 25 年度事業の「標準プロファイル (26 項目)」を拡張し、新たに「口腔状態標準データセット」を定義した。

平成 27 年度実証事業においては、災害時における歯科情報の消失のリスクを踏まえ、包括的な歯科診療情報のバックアップとして、より多くの歯科診療情報を保存することも考慮しながら、具体的検討項目として以下の 3 項目を設定しデータセットの拡張を行った。

- ◆ 26 年度よりも表現力の高い包括的な口腔状態の標準データセットの策定
 - ▶ 階層的に配置された 896 個の特徴記述子を用いて体系化
 - ▶ 「歯のデータセット」、「有床義歯のデータセット」、「ブリッジ・連結冠のデータセット」、「矯正装置のデータセット」、「口腔病理のデータセット」、「歯・歯列の位置のデータセット」、「材料のデータセット」の 7 区分で整理
 - ▶ ISO（国際標準化機構）において、身元確認における歯科用語の標準化を目的に設置された、ISO/TC106/SC3/WG5 “Oro Dental Identification” の提案に配慮
- ◆ 口腔状態の標準データセットに基づくデータ交換規約（案）の検討
 - ▶ SS-MIX2 標準化ストレージ仕様書に準拠
- ◆ 上記データセットおよびデータ交換規約に基づく歯科情報の保存・バックアップに係る課題の検討

以上の検討項目を踏まえて、平成 27 年度事業成果として、7 つのデータセットから構成される「口腔状態の標準データセット」を構築した。

1. 歯のデータセット (Tooth Data Set)
2. 有床義歯のデータセット (Plate Denture Data Set)
3. ブリッジ・連結冠のデータセット (Bridge/Splinted Crowns Data Set)
4. 矯正装置のデータセット (Orthodontic Appliance Data Set)
5. 口腔病理のデータセット (Oral Pathology Data Set)
6. 歯・歯列の位置のデータセット (Tooth Part and Position Data Set)
7. 材料のデータセット (Material Data Set)

このデータセットは、合計 896 個の特徴記述子 (Descriptor) から構成される。具体的な口腔状態を表現するために、これらの記述子を組み合わせる。データセットの階層構造は、左側の上位層に行くほど、情報の分解能が粗く、より抽象的な概念を表す。一方、右側の下位層に行くほど、情報の分解能が細かく、より詳細な概念を表す。これにより、様々な分解能 (詳細度、細かさ、粒度) の記述子によって、口腔状態を表現することが可能になる。また、概念が階層的に整理されているため、記述子の意味や従属関係が明確になり、次のような利点が得られる。

- ◆ レセコンや電子カルテのベンダーが、自社のシステムの内部データから、これらの記述子に対応するデータを抽出するためのルールが明確になる。しかも、階層構造を採用することにより、それぞれのベンダーの事情に応じた情報の細かさでデータを抽出することができる。このことは、開発者が簡単に標準データセットを抽出するプログラムを開発できるということであり、標準化がいち早く社会に浸透することに寄与する。
- ◆ 階層構造の概念整理を行うことによって、異なる細かさで記録された歯科情報を、分かりやすく見通しの良い照合ロジックで、きわめて効率よく絞り込むことが可能になる。

これについては、平成 26 年度の検索実験によって実証済みである。

- ◆ 特徴記述子が階層的に整理されており、特徴記述子の追加・削除・修正が容易である。
- ◆ ISO/TC106/SC3/WG5 で議論されている身元確認データセットに関しても、同様の階層構造を用いた検討が行われており、互換性を確保しやすい。

なお、本データセットは紙面の都合により割愛するが、詳細は下記を参照されたい。

<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10801000-Iseikyoku-Soumuka/0000117126.pdf>
(厚生労働省第 8 回歯科診療情報の標準化に関する検討会)

1-5 平成 28 年度歯科診療情報の標準化に関する実証事業

日本歯科医師会では、先に述べた新潟県歯科医師会での 3 年間の実証事業の成果をもとに、歯科診療情報の標準化の全国展開に向けて平成 28 年度の本事業を受託した。事業実施にあたっては、実行委員会、実行委員会ワーキンググループ、タスクフォースを設置して各課題への検討・検証を行った。

検討に際しては、口腔診査情報コード仕様の策定に係る検討等をタスクフォースで行った上で実行委員会ワーキンググループに報告し、実行委員会ワーキンググループにおいて課題への検討・検証を機動的かつ具体的に進め、そして、実行委員会で検討・検証結果を確定する進め方で行った。

実行委員会は、平成 27 年度に策定された歯科診療情報の標準様式（標準データセット）を踏まえて、レセコン等からデジタルデータを出力するための口腔診査情報コード仕様を策定し、標準化歯科診療情報出力プログラムの開発及び検証等を進めるべく、医療情報分野の専門家や口腔診査情報コード仕様に係る有識者、歯科レセコン開発者等を交えて構成し、計 3 回開催した。

実行委員会ワーキンググループは、実行委員会のメンバーを中心に様々な有識者を交え、計 5 回開催した。

タスクフォースは、実行委員会ワーキンググループのメンバーの中から口腔診査情報コード仕様の策定に係る専門家を中心に選定し、メールを中心に各課題への検討を行った。

1-5-1 平成 28 年度事業の目的

平成 27 年度に策定された歯科診療情報の標準様式（口腔状態の標準データセット）をもとに、レセコン等からデジタルデータを出力するための仕様書（標準仕様書）を策定し、歯科レセコンのベンダーほか関係団体等との協力の下、標準化歯科診療情報出力プログラムの開発及び検証を進める。

また、歯科診療情報の標準化に係る検討事項の一つである、歯科情報の保存についても、効果的なデータの保管場所や保存方法等について、法律との整合性や地域の特性等を踏まえて、具体的に検証する。

更に、標準データセットの普及並びに全国展開を図ることを目的に、たんに災害時等における身元確認への利用だけでなく、地域連携・病診連携等広範にわたる利活用も見据えた様々なユースケースを想定し、今後の歯科医療における ICT の更なる発展に向けても検討する。

1-5-2 平成 28 年度事業の内容

1. 歯科診療情報の標準様式に準拠した歯科診療情報のデジタル出力に関する検証

- ◆ 平成 27 年度までの実証事業を継続し、27 年度実証事業で策定された「口腔状態の標準データセット」に準拠したデジタルデータを、電子カルテ、歯科レセコン等で取り扱うための仕様書「口腔診査情報標準コード仕様」(将来的に厚生労働省標準規格取得を目指す)を策定する。策定にあたっては、歯科レセコンの団体等をはじめ、JAHIS (保健医療福祉情報システム工業会) や ISO 関係者とも協議のうえ、様々なデータとの整合性、互換性も十分に配慮しながら検討を進める。
- ◆ 仕様書の普及に向けて、歯科レセコンベンダー等とも協議のうえ、レセコン関係技術者やユーザー (歯科医師) の意見も反映させながら、汎用性や実効性を伴い、且つ歯科レセコンベンダー等が取り組み易く、仕様書の普及に繋がるような、標準化歯科診療情報出力プログラムの開発に向けて検証を進める。
- ◆ 「口腔診査情報標準コード仕様」に基づき、電子カルテ、歯科レセコン等の歯科情報を変換するプログラムを開発する (各社毎に異なる出力プログラム)。
- ◆ 出力されるデータは統一されたコードを有する CSV 形式のファイルとする。
- ◆ 「CSV 形式データから HL7 への変換仕様」を策定する。
- ◆ 変換仕様に基づき CSV ファイルを HL7 形式ファイルに変換するコンバータを作成する (コンバータは代表が作成し、これを共有する)。
- ◆ HL7 に変更が生じて、コンバータを更新することにより対応が可能となる。
- ◆ HL7 形式のファイルを SS-MIX2 のフォルダ構造に準じて、ローカルストレージ (医療機関内 HD 等) に保存する。
- ◆ 保存されたデータは既存のアプリケーションにて閲覧が可能である (画像化には新たなアプリケーションの開発が必要)。

2. 標準化歯科診療情報の保存方法の検討

- ◆ 歯科診療情報の保存について、その保管場所 (歯科医療機関内外など) や、電子媒体等による保存方法、データの更新、経費等について、法律との整合性や地域の特性等を踏まえて、具体的に検証する。
- ◆ 歯科情報による身元確認として、現状は医療機関毎の対応であり、個々の医療機関の HD 等に歯科情報が保存されている。警察からの身元確認の要請に対し、歯科医療機関が個別に対応している。
- ◆ 歯科情報はバックアップのみを目的として外部保存可能だが、保存先での目的外利用は不可能である。
- ◆ 歯科情報の所在が不明なケースに対応する場合、全国の歯科医療機関の歯科情報をデータセンタ等に集約する必要がある (データベース構築)。
- ◆ データの保存先は都道府県単位もしくは国が想定される。
- ◆ データの保存、身元検索に関し、法的な整備が必要である。

3. 標準化歯科診療情報の利活用に関する検討

- ◆ 医療 ICT を含め、歯科診療情報の標準化によって様々な取り組みが可能になることから、これをいかに利活用するか、関係機関とも協議のうえ、検討を進める。

- ◆ 医療連携等のネットワーク活用：地域や全国健康・医療・介護情報ネットワークを通じ、歯科情報を医療従事者間で安全に共有する。
- ◆ 医療情報一元化：医療機関等の施設や、個人に分散したデータを、一人ひとりを軸に、健康なときから疾病・介護段階までを生涯にわたって統合する。
- ◆ 身元確認：身元不明者の歯科情報と歯科医療機関が有する歯科情報の照合を効果的且つ迅速に行う（生前・死後情報の標準化）。
- ◆ 医療情報データベース：疾患の原因究明・治療法の開発、創薬、医療器機開発等に資するデータの蓄積（匿名化情報の活用）。
- ◆ 個人情報保護法や、死因・身元調査法等、関係法令による課題。

次章以降で、これらの一連の事業成果について報告する。

2 「口腔診査情報標準コード仕様」の策定

2-1 基本的な考え方

本章においては、前章で述べたように、平成 27 年度に策定された「口腔状態の標準データセット」をもとに、レセコン等からデジタルデータを出力するための仕様書「口腔診査情報標準コード仕様」の策定について述べる。

仕様書の策定にあたっては、以下の方針を掲げるとともに、本仕様の普及に向けて、歯科レセコンベンダー等とも協議のうえ、レセコン関係技術者やユーザー（歯科医師）の意見も反映させながら、汎用性や実効性を伴い、且つ歯科レセコンベンダーが取り組み易く、仕様の普及に繋がるようなものとするべく、レセコン等からの出力データは汎用性の高い CSV 形式とし、これをコンバートプログラムにて、HL7 (SS-MIX2) に変換する 2 段階方式を採用することとした。

従って、本事業においては、「口腔診査情報標準コード仕様」と、この仕様に基づいて出力された CSV 形式データを、HL7 (SS-MIX2) 形式にコンバートする「口腔診査情報 CSV 形式データから HL7 への変換仕様」の 2 つを策定する。

【注：CSV ファイルについて】

comma-separated values（略称：CSV）は、いくつかのフィールド（項目）を区切り文字であるカンマ「,」で区切ったテキストデータおよびテキストファイルで、拡張子は .csv である。

データ交換用のデファクトスタンダードとして、MS-EXCEL 等の表計算ソフトをはじめ、各種データベースソフト等で広く使われている。パソコン上で容易に取扱いが可能であり、汎用性が高い。

2-2 仕様書策定の方針

- ① 歯科ベンダー各社の電子カルテやレセコン等から、CSV 形式データを出力するための、「口腔診査情報標準コード仕様」を策定する。
- ② 「口腔診査情報標準コード仕様」に従い、ベンダー各社が出力プログラムを作成し、自社の器機から CSV 形式データを出力する（統一コード）。
- ③ 出力プログラムによって保存した CSV 形式データを、「口腔診査情報 CSV 形式データから HL7 への変換仕様」に従い、コンバートプログラムを用いて HL7 形式ファイルに記録する。
- ④ HL7 形式ファイルのデータを SS-MIX2 準拠と各社仕様の 2 つのローカルストレージに保存する。

実証事業全体像

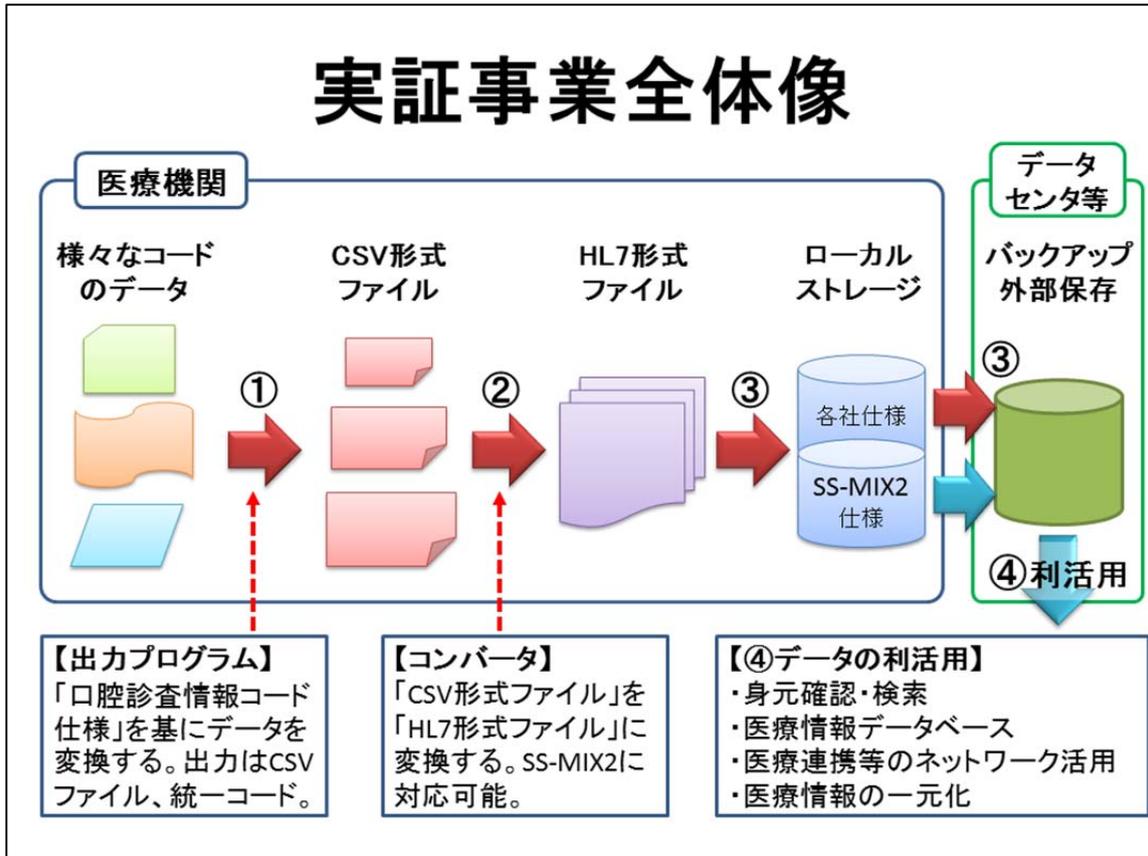


図1 電子カルテ・レセコン等からのデータ出力

電子カルテ・レセコン等の内部データはベンダーによって様々なコード体系が用いられているが、「口腔診査情報標準コード仕様」に基づき、統一コードにより CSV 形式データを出力し、更にこの CSV 形式データを HL7 形式データに変換する。なお、28 年度事業においてはローカルストレージへの保存までを想定。

2-3 「口腔診査情報標準コード仕様」の概要

一般的に、電子カルテやレセコン等のデータは、器機を開発するベンダーが独自の形式でデータ化し、独自のコード体系を持つ。「口腔診査情報標準コード仕様」を定義することで、これら異なる形式のデータを、CSV 形式データとして、統一した様式で出力することが可能となる。

図1①に示す通り、器機内部に様々なコードのデータが存在していても、「口腔診査情報標準コード仕様」に基づいた出力プログラムを用いることで、CSV 形式データとして出力が可能である。更にここで出力された CSV 形式データを、「口腔診査情報 CSV 形式データから HL7 への変換仕様」に基づいてデータをコンバートすることで、これを HL7 形式として SS-MIX2 対応可能なファイルに変換することができる。

今般の仕様の策定にあたっては、WG を中心としたタスクフォースにおいて議論を重ね、多くの検討課題を整理しながら、「口腔診査情報標準コード仕様」を策定した。

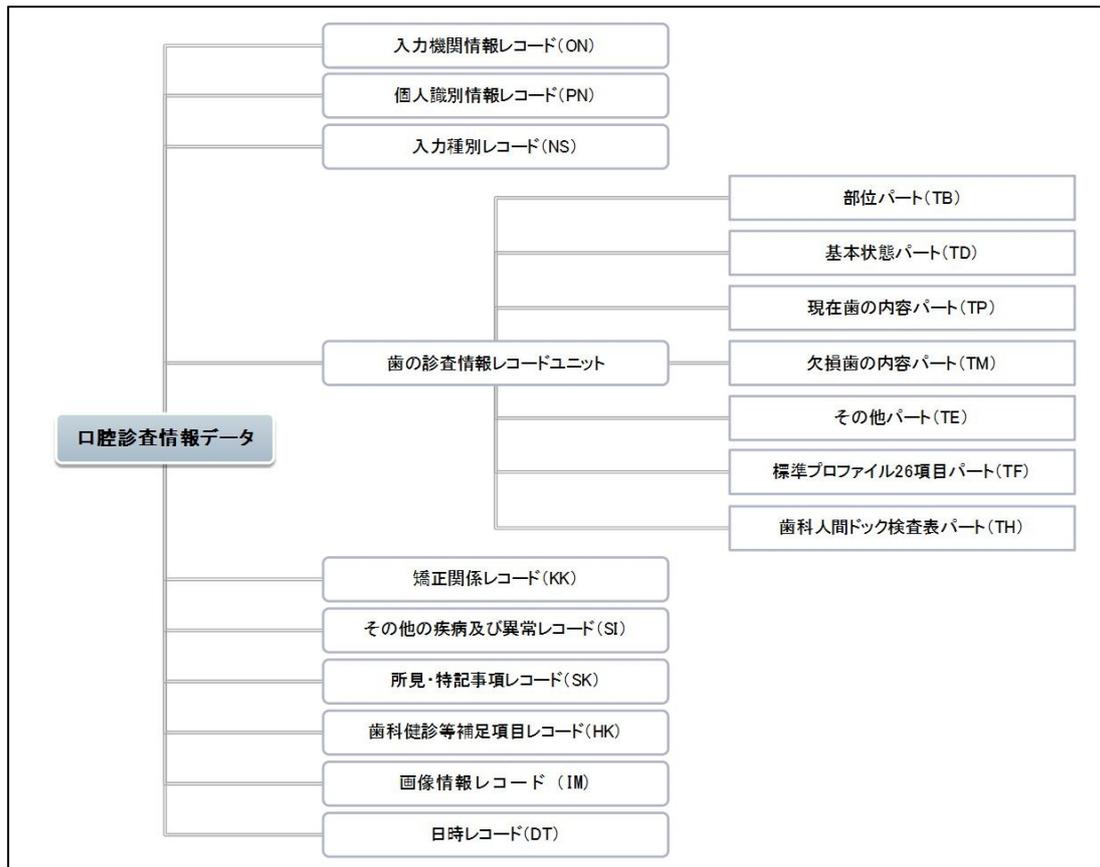


図2 口腔診査情報標準コード仕様の構成

入力機関情報レコードなど複数のレコードや、歯の診査情報レコードユニットとして、いくつかのパートから成るレコードより構成される。平成25年度に策定された「標準プロファイル」26項目をはじめ、歯科人間ドック、歯科健診等の項目もカバーしている。

「口腔診査情報標準コード仕様」は、生前歯科情報として災害時の身元確認での活用を目的に、歯科診療での初診時口腔診査の記録や歯科診療に伴う最新の口腔状態の記録、あるいは学校歯科健康診断等での歯科健診の記録を「口腔状態スナップショット(最新の口腔状態)」として電子的に情報交換するための標準規約で、口腔診査に係る項目とその項目に対応するコードやテーブル構造、情報交換の仕組みを定義したものである。

口腔診査に係る項目は、歯種、現在歯・欠損歯の有無、現在歯の内容、欠損歯の内容などの歯の診査情報と歯列・咬合の情報を中心に、歯科健診や初診時の口腔診査だけでなく歯科診療行為(算定項目)からも紐付けしやすい項目としている。そのため本仕様で定義する口腔診査情報の項目で構成したテーブル(口腔診査情報テーブル)は、初診時の口腔診査情報を初期値とし、歯科診療行為に応じて当該歯の内容を更新することで、常に最新の歯の診査情報とすることができる。日々の歯科診療行為から容易に最新の口腔状態に更新できるよう、歯の診査情報を更新するための歯科診療行為との対応表も用意している。

本仕様による口腔診査情報データは、厚生労働省・歯科診療情報の標準化に関する検討会の「標準プロファイル26項目」および「口腔状態の標準データセット」と紐付けされているため、そのまま身元確認のための歯科情報照合システムで用いることができる。また、「口

口腔診査情報 CSV 形式データから HL7 への変換仕様」によって、大規模災害時の医療情報連携をはじめ、地域医療連携等で用いられる厚生労働省標準規格 SS-MIX2 ストレージへのバックアップが可能となっている。なお、詳細は「口腔診査情報標準コード仕様」（別記資料 1）及び「口腔診査情報標準コード仕様と標準プロファイル 26 項目との対応表」（別記資料 2）、「口腔診査情報 CSV 形式データから HL7 への変換仕様」（別記資料 3）を参照のこと。

2-4 HL7 及び SS-MIX2 について

前章の平成 28 年度事業目的で示した通り、仕様書の策定にあたっては、たんに災害時等における身元確認への利用にとどまらず、地域連携・病診連携等、地域包括ケアも含めた利活用も見据えて様々なユースケースを想定した中で、既に医科において普及が進んでいる HL7 形式のデータ化も考慮し、「口腔診査情報標準コード仕様」において生成された CSV 形式データを、HL7 形式（SS-MIX2 準拠）にコンバートする 2 段階方式を採用した。ここで、HL7 及び SS-MIX2 の概要について述べる。

◆ HL7 : Health Level Seven

ISO/OSI 通信標準（7 層のモデルで構成）の第 7 層に由来して名付けられた、電子保健医療情報の包括的枠組みに関する標準。1986 年米国で発足、現在 32 カ国に国際支部を有する（日本、ドイツ、オランダ、オーストラリア、カナダ、英国、フランス、イタリア、韓国、台湾、中国他）。HL7 は通信規約だけでなく、多くの医療分野の標準である。

事業名称	内容	事業主体・事務局
国立大学病院災害対策バックアップ事業	全国国立大学病院（46 病院）の診療情報データを、東日本・西日本 2 箇所のデータセンターに遠隔バックアップ。災害時には、Web 参照システムを使用。	全国国立大学病院
長崎医療センター災害時バックアップシステム	遠隔地のデータセンター内に SS-MIX 標準ストレージにリアルタイムでバックアップ。	独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター
あじさいネット	患者同意のもと、長崎医療センターをはじめ、長崎県の多くの医療機関が連携し、多くの診療情報を相互利用。	NPO 法人長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会(長崎県医師会内)
きのくに医療連携システム 青洲リンク	和歌山県内の医療機関を連携し、診療情報を共有。災害発生時には、災害時用連携共有カルテで過去の診療情報を参照。病院 12、医科 22、歯科 1、薬局 77 の施設が参加（29 年 2 月）。	和歌山県立医科大学附属病院医療情報部内 青洲リンク事務局
MMWIN みんなのみやぎネット	宮城県内の医療機関で扱われる診療情報等を共有。災害時の医療情報の喪失防止や医療行為の継続が可能。病院 66、医科 171、薬局 225、介護 69、訪問 23 の施設が参加（29 年 2 月）。	みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会 (宮城県医師会内)
みやこサーモンケアネット	宮古市内の医療機関などに保管されている診療情報等を、相互に共有。遠隔地のデータセンターに保存することで、災害時にはデータの復旧が可能。病院 3、医科 16、歯科 14、薬局 16、介護 25、訪問 4 の施設が参加（28 年 4 月）。	宮古市医療情報連携ネットワーク協議会 (宮古医師会内) 岩手県

表 1 SS-MIX の活用例

国立大学病院におけるデータのバックアップをはじめ、様々な医療連携で活用されている。

◆ SS-MIX2

平成 16～17 年度に静岡県における静岡県版電子カルテシステム事業で作成された仕様書「静岡県版電子カルテ情報ゲートウェイデータ交換仕様書」をもとに、厚生労働省電子的診療情報交換推進事業 (SS-MIX : Standardized Structured Medical Information Exchange) において、電子的交換情報推進を目的として修正を加えられた「SS-MIX 標準化ストレージ仕様書」が作成された (現在は SS-MIX2)。医科において普及が進んでいる (表 1)。

なお、SS-MIX2 は、平成 28 年 3 月に、保健医療情報分野の標準規格(厚生労働省標準規格)として認可された。

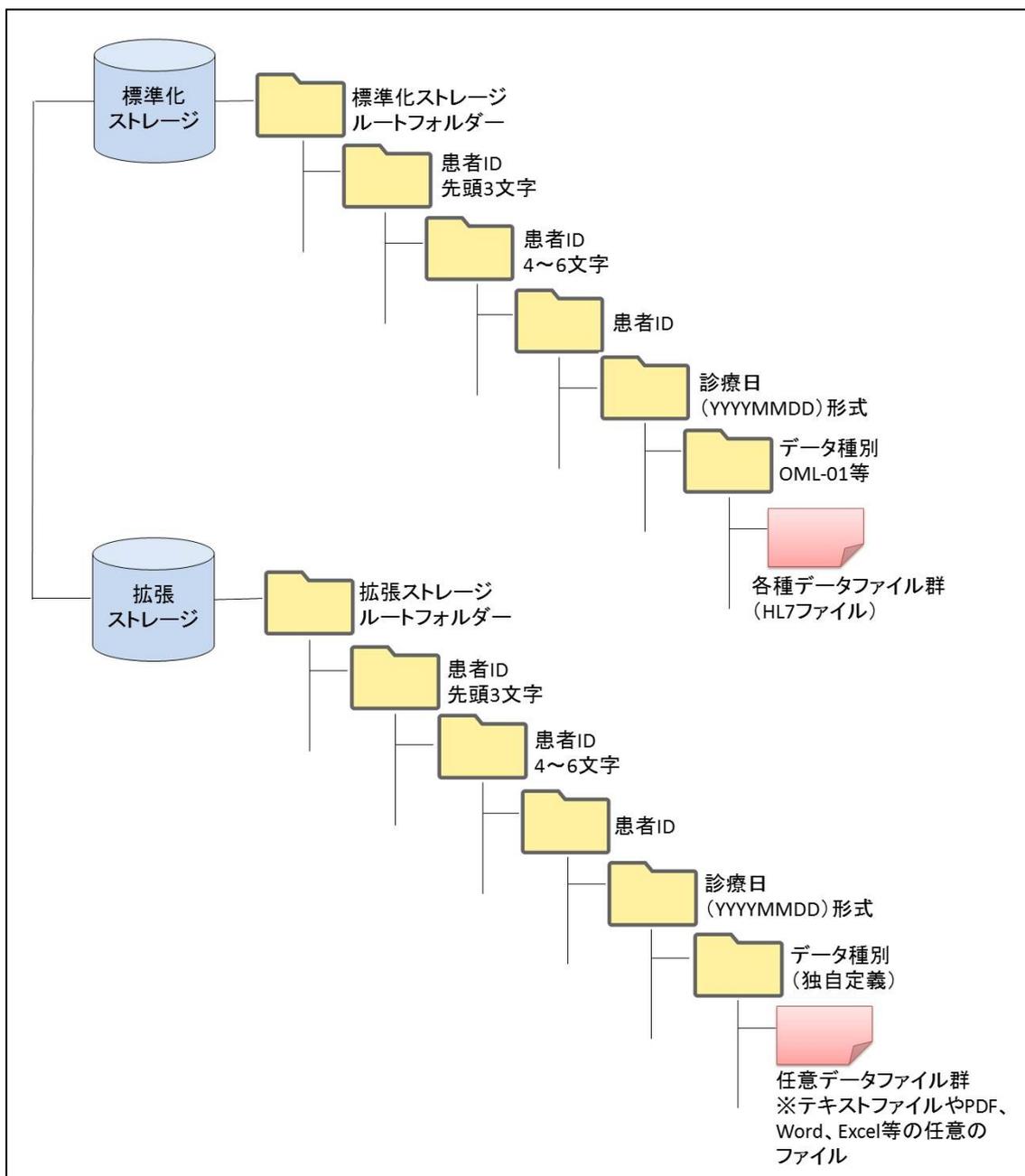


図 3 SS-MIX2 のストレージ構成

SS-MIX2 は「標準化ストレージ」と「拡張ストレージ」から構成されるが、「標準化ストレージ」には、HL7 等の標準化されたデータが格納される。また、「拡張ストレージ」には、テキストファイルや、MS-WORD、EXCEL、PDF 等の各種データを格納することができる。

2-5 CSV 形式データ出力の検証と CSV 及び HL7 形式データ出力事例

データ出力の検証に用いる症例は、新潟県歯科医師会が作成した「平成 27 年度歯科診療情報の標準化に関する実証事業報告書」P94P～108 に記載の 13 例の他、更に 7 例を追加した計 20 事例をもとに検証を行った。なお、記載例 1～13 については、図 4 に示した症例の口腔状態について、病名（プロブレム）ごとに分割して出力した事例である。

レジン前装冠(金バテ)	1		1	Br、硬質レジン前装冠
レジン前装冠(ハイブリッドレジン)、インファント	2		2	Br、前装ボネティック
仮封	3		3	Br、硬質レジン前装冠
インレー(OD、金バテ)	4		4	アマルガム充填(O)、転位歯
全部金属冠(金バテ)	5		5	インレー(OD、銀合金)
C3	6		6	4/5冠(金バテ)
C2	7		7	支合装置
完全埋伏	8		8	欠損
情報なし	8		8	情報なし
MT	7		7	Br、全部矯正冠(金合金)
MT	6		6	Br、矯正ボネティック(金合金)
MT、覆面板(残根上の蓋歯)	5		5	Br、全部矯正冠(金合金)
健全歯	4		4	健全歯
健全歯	3		3	CR充填
歯冠破折	2		2	健全歯
歯冠破折	1		1	健全歯

図 4 記載例 1～13 に用いた症例

検証にあたり、「口腔診査情報コード仕様」に基づき、歯科ベンダー3社の協力の下、各社において自社レセコンより CSV ファイルを出力するプログラムを作成。各々 CSV ファイルが適正に出力されるかを検証し、対応困難な事例をご報告頂いた。また、ベンダー1社にて、CSV から HL7 に変換するプログラムを作成し、このデータコンバートを行った。

次に、これら 20 記載例をもとにしたベンダー3社による CSV 出力検証作業の結果と、各記載例に基づく CSV 形式データの模範例、HL7 形式データ形式の出力例を示す。

- ◆ 対応困難な内容について（ベンダー3社による検証結果）
- ◆ CSV 形式データ模範例（記載例をもとに CSV 形式データを出力した模範例）
- ◆ HL7 形式データ出力例（上記 CSV 形式データを HL7 形式データに変換した出力例）

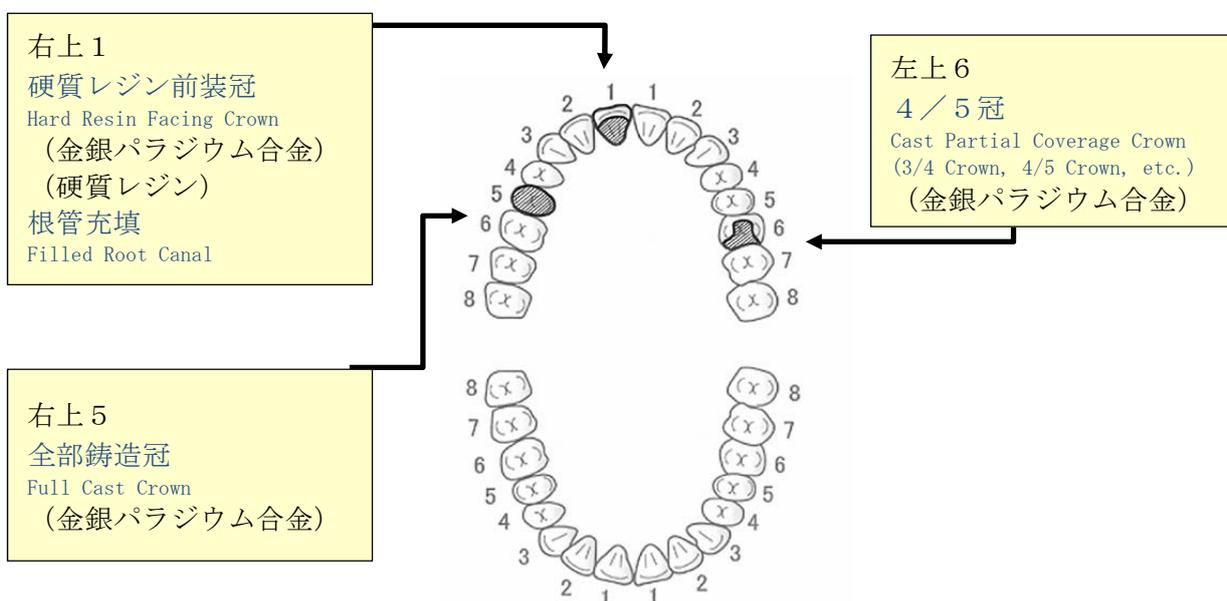
【検証方法等について】

- ◆ 出力プログラム作成の目的
 - 口腔診査情報標準コード仕様書が、ベンダー各社の保有する口腔情報のデータを、過不足なく変換できるだけの項目と、それらの分類を具備しているか検証を行う。
- ◆ プログラムの機能
 - ベンダー各社の口腔診査情報を、口腔診査情報標準コード仕様に準じて、CSV 形式データで出力できること。
 - ファイルの出力場所を、初期設定ファイルで指定できること。

以下、記載例 1～20 に示す模範例（CSV）及び出力例（HL7）については、平成 29 年 2 月 20 日時点での仕様をもとにした出力検証結果であり、巻末に収載の仕様書は、この結果を踏まえて一部修正されております。

■ 記載例 1

	傷病名コード	傷病名基本名称	歯科傷病名省略名称
5 1 6 —— ——C 3 処置歯	5210011	根充済み	C 3 処置歯



【対応困難な内容】

通番	事例	歯番	A社	B社	C社
1	例 1	1011			修復材料は 1 歯に 1 項目のみの管理のため、「硬質レジン」もしくは「金パラ」のいずれかとなる

【CSV 形式データ模範例】

ON,,,,02,XX,〇〇診療所,1234567,03-1234-5678,90,歯科,,,,,
 PN,12345678,XYZ,22345678,01,1,,,20170301,日歯太郎,01,19600101,,,,,
 NS,01,20150401,20170301,,,,,
 TB,1015,0,0,,,,,
 TD,10,03,,,,,

TP,,,,,01,00,00,01,00,00,00
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,01,,,,,01,,,,,
TB,1011,0,0,,,,,
TD,10,03,,,,,
TP,,02,,,,,01,00,00,06,00,00,00
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,01,,,,,01,,,,,
TB,1026,0,0,,,,,
TD,10,03,,,,,
TP,,,,,22,,01,00,01,01,01,01,00,00,,00,00,00
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,01,,,,,01,,01,00,01,01,01,,,,,
DT,20170303,170303,20170303,170303,,,,,

【HL7 形式データ出力例】

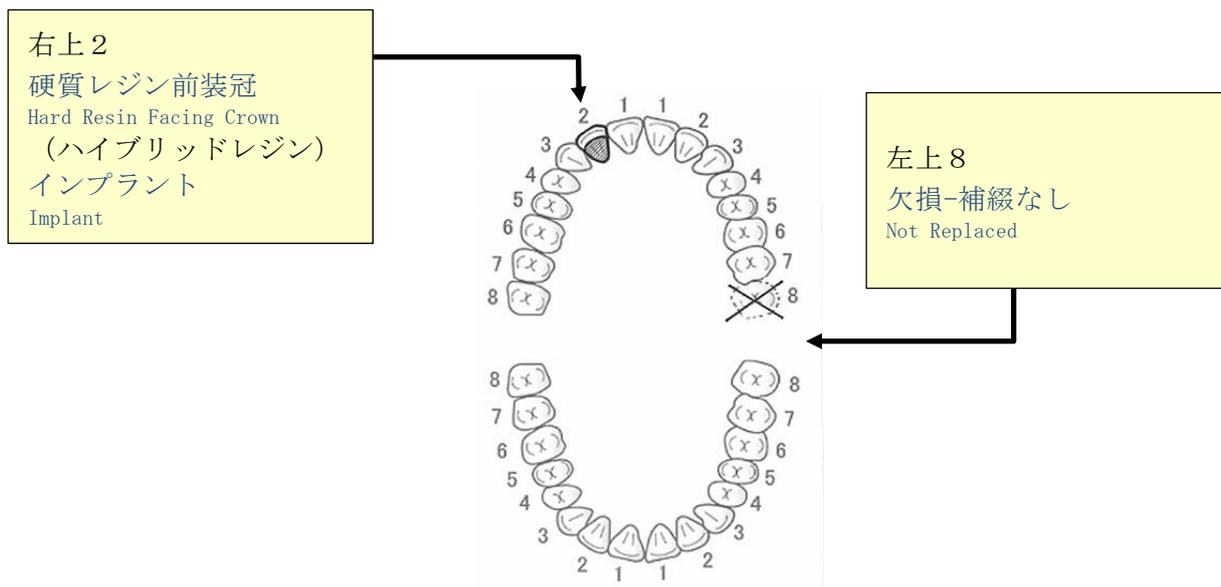
MSH|^~\&|SV2HL7|HIS|GW|GW|20170328112220||ORU^R01^ORU_R01|201703031
70303|P|2.5||||~ISO IR87||ISO 2022-1994
PID|0001||000001^^^PI||日齒太郎^^^^L^I||19600101|M
PV1|0001|O|||||90
ORC|NW|||||90^齒科^HL70069|||〇〇診療所
^^^^^^1234567|^^^^XX|^^^^^^03-1234-5678
OBR|0001||01^初診時口腔診査^JDASNS02||20150401|20170301
TQ1|0001||||20150401|20170301
OBX|0001|CWE|TB02^齒種コード^JDAS0003|T1|1015^右側上顎第2小白齒
^JDASTB02||||F||20170222
OBX|0002|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T1|0^現存齒
^JDASTB03||||F||20170222
OBX|0003|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T1|0^部分指定なし
^JDASTB04||||F||20170222
OBX|0004|CWE|TD02^齒の基本状態^JDAS0003|T1|10^現在齒【処置齒〇】
^JDASTD02||||F||20170222
OBX|0005|CWE|TD03^齒科健診記号^JDAS0003|T1|03^〇（処置齒）
^JDASTD03||||F||20170222
OBX|0006|CWE|TP18^齒の主な部位（齒冠部）^JDAS0003|T1|01^齒冠部
^JDASTP18||||F||20170222
OBX|0007|CWE|TP19^齒の主な部位（齒頸部）^JDAS0003|T1|00^該当なし
^JDASTP19||||F||20170222
OBX|0008|CWE|TP20^齒の主な部位（齒根部）^JDAS0003|T1|00^該当なし
^JDASTP20||||F||20170222
OBX|0009|CWE|TP21^処置齒（全部修復）^JDAS0003|T1|01^全部修復（全部金属冠・銀色）
（FMC）*^JDASTP21||||F||20170222
OBX|0010|CWE|TP22^処置齒（その他修復）^JDAS0003|T1|00^該当なし
^JDASTP22||||F||20170222
OBX|0011|CWE|TP23^連結冠・ブリッジ支台齒^JDAS0003|T1|00^該当なし
^JDASTP23||||F||20170222
OBX|0012|CWE|TP24^連結冠・ブリッジ番号^JDAS0003|T1|00^該当なし
^JDASTP24||||F||20170222
OBX|0013|CWE|TE07^該当齒入力種別^JDAS0003|T1|01^初診時口腔診査
^JDASTE07||||F||20170222
OBX|0014|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T1|01^標準プロ
ファイル 26 項目の情報あり^JDASTF02||||F||20170222
OBX|0015|CWE|TF16^全部金属冠（FMCほか）・FMC^JDAS0003|T1|01^全部金属冠（F

MCほか)・FMC ^JDASTF16| | | | | F | | | | 20170222
 OBX|0016|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T2|1011^右側上顎中切歯
 ^JDASTB02| | | | | F | | | | 20170222
 OBX|0017|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T2|0^現存歯
 ^JDASTB03| | | | | F | | | | 20170222
 OBX|0018|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T2|0^部分指定なし
 ^JDASTB04| | | | | F | | | | 20170222
 OBX|0019|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T2|10^現在歯【処置歯○】
 ^JDASTD02| | | | | F | | | | 20170222
 OBX|0020|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T2|03^○ (処置歯)
 ^JDASTD03| | | | | F | | | | 20170222
 OBX|0021|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T2|02^失活歯(根管充填歯、う蝕処置済
 み歯、残根・C4等)^JDASTP03| | | | | F | | | | 20170222
 OBX|0022|CWE|TP18^歯の主な部位(歯冠部)^JDAS0003|T2|01^歯冠部
 ^JDASTP18| | | | | F | | | | 20170222
 OBX|0023|CWE|TP19^歯の主な部位(歯頸部)^JDAS0003|T2|00^該当なし
 ^JDASTP19| | | | | F | | | | 20170222
 OBX|0024|CWE|TP20^歯の主な部位(歯根部)^JDAS0003|T2|00^該当なし
 ^JDASTP20| | | | | F | | | | 20170222
 OBX|0025|CWE|TP21^処置歯(全部修復)^JDAS0003|T2|06^全部修復(前装金属冠・銀色)
 (前装MC)*^JDASTP21| | | | | F | | | | 20170222
 OBX|0026|CWE|TP22^処置歯(その他修復)^JDAS0003|T2|00^該当なし
 ^JDASTP22| | | | | F | | | | 20170222
 OBX|0027|CWE|TP23^連結冠・ブリッジ支台歯^JDAS0003|T2|00^該当なし
 ^JDASTP23| | | | | F | | | | 20170222
 OBX|0028|CWE|TP24^連結冠・ブリッジ番号^JDAS0003|T2|00^該当なし
 ^JDASTP24| | | | | F | | | | 20170222
 OBX|0029|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T2|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07| | | | | F | | | | 20170222
 OBX|0030|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T2|01^標準プロ
 ファイル 26 項目の情報あり^JDASTF02| | | | | F | | | | 20170222
 OBX|0031|CWE|TF17^前装冠(HR、MBほか)・HR^JDAS0003|T2|01^前装冠(HR、
 MBほか)・HR^JDASTF17| | | | | F | | | | 20170222
 OBX|0032|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T3|1026^左側上顎第1大臼歯
 ^JDASTB02| | | | | F | | | | 20170222
 OBX|0033|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T3|0^現存歯
 ^JDASTB03| | | | | F | | | | 20170222
 OBX|0034|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T3|0^部分指定なし
 ^JDASTB04| | | | | F | | | | 20170222
 OBX|0035|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T3|10^現在歯【処置歯○】
 ^JDASTD02| | | | | F | | | | 20170222
 OBX|0036|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T3|03^○ (処置歯)
 ^JDASTD03| | | | | F | | | | 20170222
 OBX|0037|CWE|TP11^処置歯(部分修復)^JDAS0003|T3|22^部分修復(4/5金属冠・銀
 色)(4/5Cro)*^JDASTP11| | | | | F | | | | 20170222
 OBX|0038|CWE|TP13^歯面(切端・咬合面I O*)^JDAS0003|T3|01^切端・咬合面I O
 *^JDASTP13| | | | | F | | | | 20170222
 OBX|0039|CWE|TP14^歯面(唇側面・頬側面B*)^JDAS0003|T3|00^該当なし
 ^JDASTP14| | | | | F | | | | 20170222
 OBX|0040|CWE|TP15^歯面(口蓋側面・舌側面PL*)^JDAS0003|T3|01^口蓋側面・舌側
 面PL*^JDASTP15| | | | | F | | | | 20170222
 OBX|0041|CWE|TP16^歯面(近心面M*)^JDAS0003|T3|01^近心面M
 *^JDASTP16| | | | | F | | | | 20170222
 OBX|0042|CWE|TP17^歯面(遠心面D*)^JDAS0003|T3|01^遠心面D

*^JDASTP17|||||F|||20170222
 OBX|0043|CWE|TP18^歯の主な部位（歯冠部）^JDAS0003|T3|01^歯冠部
 ^JDASTP18|||||F|||20170222
 OBX|0044|CWE|TP19^歯の主な部位（歯頸部）^JDAS0003|T3|00^該当なし
 ^JDASTP19|||||F|||20170222
 OBX|0045|CWE|TP20^歯の主な部位（歯根部）^JDAS0003|T3|00^該当なし
 ^JDASTP20|||||F|||20170222
 OBX|0046|CWE|TP22^処置歯（その他修復）^JDAS0003|T3|00^該当なし
 ^JDASTP22|||||F|||20170222
 OBX|0047|CWE|TP23^連結冠・ブリッジ支台歯^JDAS0003|T3|00^該当なし
 ^JDASTP23|||||F|||20170222
 OBX|0048|CWE|TP24^連結冠・ブリッジ番号^JDAS0003|T3|00^該当なし
 ^JDASTP24|||||F|||20170222
 OBX|0049|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T3|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0050|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T3|01^標準プロ
 ファイル 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0051|CWE|TF08^インレー、アンレー、3 / 4 冠、4 / 5 冠金属色・ I n
 ^JDAS0003|T3|01^インレー、アンレー、3 / 4 冠、4 / 5 冠金属色・ I n
 ^JDASTF08|||||F|||20170222
 OBX|0052|CWE|TF11^切端・咬合面・ I O^JDAS0003|T3|01^切端・咬合面・ I O
 ^JDASTF11|||||F|||20170222
 OBX|0053|CWE|TF12^唇側面・頬側面・ B ^JDAS0003|T3|00^該当なし
 ^JDASTF12|||||F|||20170222
 OBX|0054|CWE|TF13^口蓋側面・舌側面・ P L ^JDAS0003|T3|01^口蓋側面・舌側面・ P L
 ^JDASTF13|||||F|||20170222
 OBX|0055|CWE|TF14^近心面・ M ^JDAS0003|T3|01^近心面・ M
 ^JDASTF14|||||F|||20170222
 OBX|0056|CWE|TF15^遠心面・ D ^JDAS0003|T3|01^遠心面・ D
 ^JDASTF15|||||F|||20170222

■ 記載例 2

傷病名コード	傷病名基本名称	歯科傷病名省略名称
2 8 — —MT	8845720 歯の欠損	MT



【対応困難な内容】

通番	事例	歯番	A社	B社	C社
2	例 2	1012	インプラントの情報が出力されない	インプラントは自費項目の為、入力不可	材料として「ハイブリッドレジン」なし
3	例 2	1028	「50. 欠損歯 (レセプト表記病名:MT)」～「55. 欠損歯【喪失歯 (要補綴歯)】」とあるが、内部情報では正確な情報を持ち合わせていない	口腔管理情報「欠損」のみ入力	

【CSV 形式データ模範例】

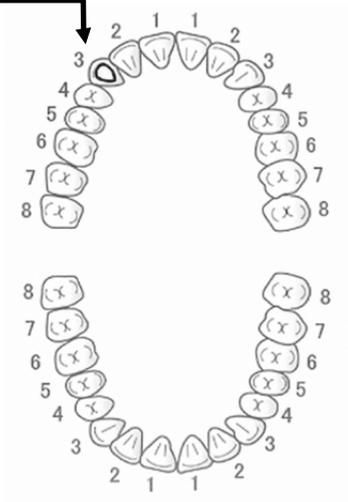
ON,,,,,02,XX,〇〇診療所,1234567,03-1234-5678,90,歯科,,,,,
 PN,12345678,XYZ,22345678,01,2,,,20170301,日歯太郎,01,19600101,,,,,
 NS,01,20150401,20170301,,,,,
 TB,1012,7,0,,,,,
 TD,62,03,,,,,

MBほか)・HR^JDASTF17|||||F
 OBX|0026|CWE|TF19^支台歯 (インプラントも可)・A b u^JDAS0003|T1|01^支台歯 (インプラントも可)・A b u^JDASTF19|||||F
 OBX|0027|CWE|TF25^インプラント・I m p l ^JDAS0003|T1|01^インプラント・I m p l ^JDASTF25|||||F
 OBX|0028|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T2|1028^左側上顎第3大臼歯^JDASTB02|||||F
 OBX|0029|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T2|2^欠損歯^JDASTB03|||||F
 OBX|0030|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T2|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
 OBX|0031|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T2|50^欠損歯(レセプト表記略称名:MT)*^JDASTD02|||||F
 OBX|0032|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T2|04^△ (欠損歯、または喪失歯)^JDASTD03|||||F
 OBX|0033|CWE|TM02^ポンティック^JDAS0003|T2|00^該当なし^JDASTM02|||||F
 OBX|0034|CWE|TM03^ブリッジ番号^JDAS0003|T2|00^該当なし^JDASTM03|||||F
 OBX|0035|CWE|TM04^有床義歯^JDAS0003|T2|00^該当なし^JDASTM04|||||F
 OBX|0036|CWE|TM05^複数義歯番号^JDAS0003|T2|00^該当なし^JDASTM05|||||F
 OBX|0037|CWE|TM06^義歯人工歯^JDAS0003|T2|00^該当なし^JDASTM06|||||F
 OBX|0038|CWE|TM07^義歯補綴隙^JDAS0003|T2|00^該当なし^JDASTM07|||||F
 OBX|0039|CWE|TM08^義歯大連結子^JDAS0003|T2|00^該当なし^JDASTM08|||||F
 OBX|0040|CWE|TM09^補強線^JDAS0003|T2|00^該当なし^JDASTM09|||||F
 OBX|0041|CWE|TM10^骨瘤^JDAS0003|T2|00^該当なし^JDASTM10|||||F
 OBX|0042|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T2|01^標準プロファイル 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F
 OBX|0043|CWE|TF22^欠損・MAM^JDAS0003|T2|01^欠損・MAM^JDASTF22|||||F

■ 記載例 3

	傷病名コード	傷病名基本名称	歯科傷病名省略名称
3 — P e r	8833899	根尖性歯周炎	P e r

右上3
仮封
Crown Temporary Filling



【対応困難な内容】

通番	事例	歯番	A社	B社	C社
	例3		可	可	可

【CSV形式データ模範例】

ON,,,,02,XX,〇〇診療所,1234567,03-1234-5678,90,歯科,,,,,
 PN,12345678,XYZ,22345678,01,3,,,20170301,日歯太郎,01,19600101,,,,,
 NS,01,20150401,20170301,,,,,
 TB,1013,0,0,,,,,
 TD,06,02,,,,,
 TP,,02,,,,,08,00,00,00
 TF,01,,,01
 DT,20170303,170303,20170303,170303,,,,,,

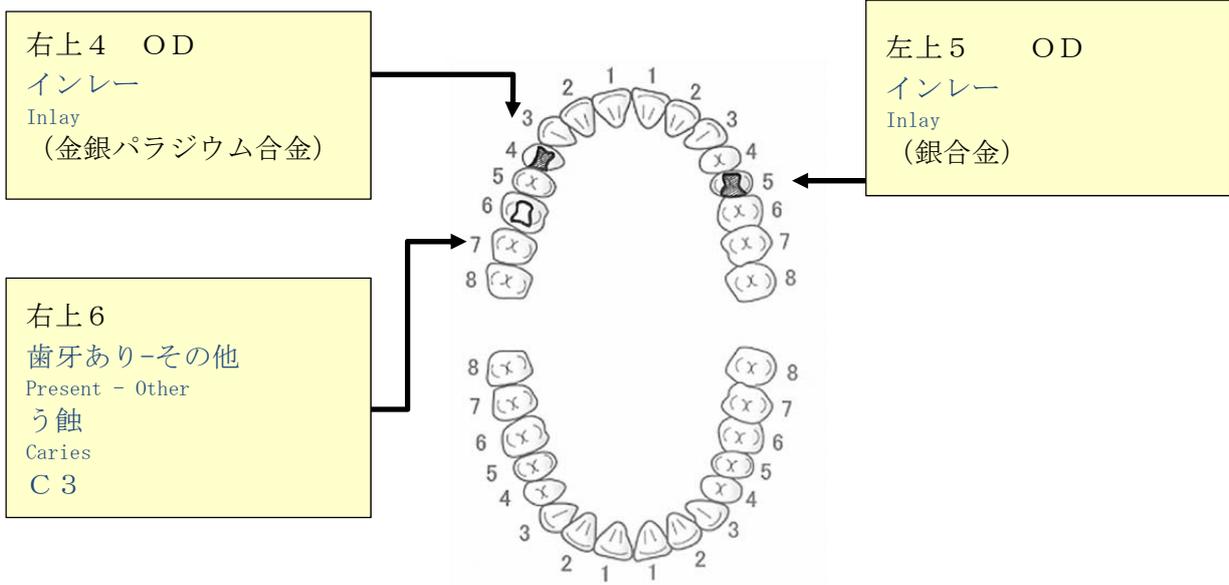
【HL7形式データ出力例】

MSH|^~\&|SV2HL7|HIS|GW|GW|20170328112221||ORU^R01^ORU_R01|201703031
 70303|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-1994
 PID|0001||000003^^^^PI||日歯太郎^^^^L^I||19600101|M
 PV1|0001|O|||||||90
 ORC|NW|||||||90^歯科^HL70069||||〇〇診療所
 ^^^^^^^^1234567|^^^^^^XX|^^^^^^^^^^^03-1234-5678
 OBR|0001|||01^初診時口腔診査^JDASNS02|||20150401|20170301
 TQ1|0001|||||20150401|20170301

OBX|0001|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T1|1013^右側上顎犬歯
 ^JDASTB02|||||F
 OBX|0002|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T1|0^現存歯^JDASTB03|||||F
 OBX|0003|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T1|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
 OBX|0004|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T1|06^現在歯【未処置歯 C】*
 ^JDASTD02|||||F
 OBX|0005|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T1|02^C（未処置歯）
 ^JDASTD03|||||F
 OBX|0006|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T1|02^失活歯（根管充填歯、う蝕処置済
 み歯、残根・C4等）^JDASTP03|||||F
 OBX|0007|CWE|TP09^未処置歯（う蝕等、治療中を含む）^JDAS0003|T1|08^仮封（テンポ
 ラリークラウンを除く）・治療中*^JDASTP09|||||F
 OBX|0008|CWE|TP10^テンポラリークラウン^JDAS0003|T1|00^該当なし
 ^JDASTP10|||||F
 OBX|0009|CWE|TP11^処置歯（部分修復）^JDAS0003|T1|00^該当なし
 ^JDASTP11|||||F
 OBX|0010|CWE|TP12^窩洞形態^JDAS0003|T1|00^該当なし^JDASTP12|||||F
 OBX|0011|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T1|01^標準プロ
 ファイル 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F
 OBX|0012|CWE|TF05^C 1～C 3（治療中を含む）・C 1 2 3^JDAS0003|T1|01^C 1～C
 3（治療中を含む）・C 1 2 3^JDASTF05|||||F

■ 記載例 4

	傷病名コード	傷病名基本名称	歯科傷病名省略名称
6 4 5 ———C	8830789	う蝕第3度	C



【対応困難な内容】

通番	事例	歯番	A社	B社	C社
4	例 4	1014			面 (OD) の口腔管理なしのため、歯面情報なし

【CSV 形式データ模範例】

ON,,,,,02,XX,〇〇診療所,1234567,03-1234-5678,90,歯科,,,,,
 PN,12345678,XYZ,22345678,01,4,,,20170301,日歯太郎,01,19600101,,,,,
 NS,01,20150401,20170301,,,,,
 TB,1016,0,0,,,,,
 TD,06,02,,,,,
 TP,,,,,,,04
 TF,01,,,01
 TB,1014,0,0,,,,,
 TD,10,03,,,,,

TP, , , , , , , , 10, 04, 01, 00, 00, 00, 01
 TF, 01, , , , , , 01, , , 01, 00, 00, 00, 01
 TB, 1025, 0, 0, , , , , ,
 TD, 10, 03, , , , ,
 TP, , , , , , , , 11, 04, 01, 00, 00, 00, 01
 TF, 01, , , , , , 01, , , 01, 00, 00, 00, 01
 DT, 20170303, 170303, 20170303, 170303, , , , , , ,

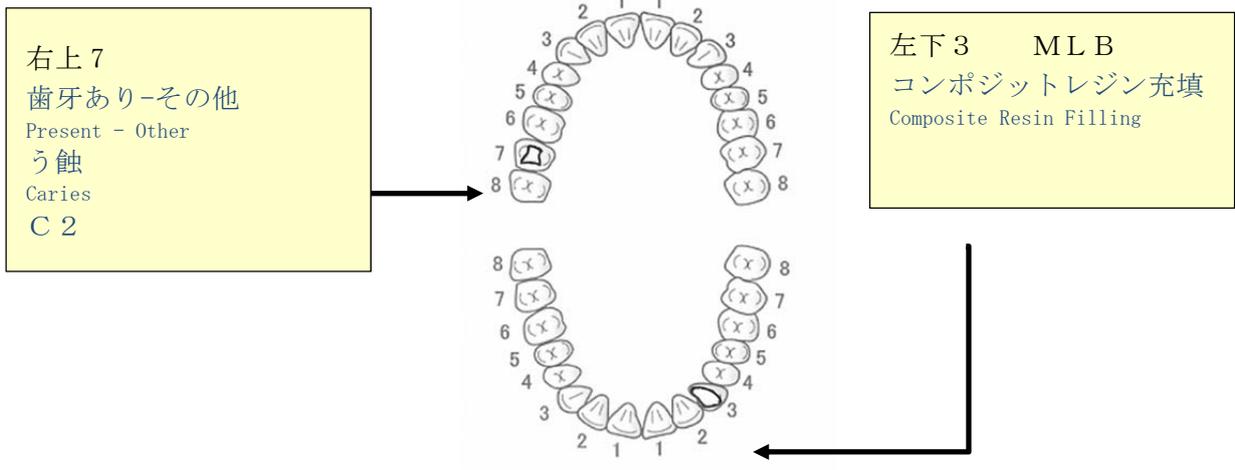
【HL7 形式データ出力例】

```
MSH|^~\&|SV2HL7|HIS|GW|GW|20170328112221||ORU^R01^ORU_R01|20170303170303|P|2.5|||~I
SO IR87|ISO 2022-1994
PID|0001|000004^^^PI||日齒太郎^^^^L^I||19600101|M
PV1|0001|0|||||90
ORC|NW|||||||90^齒科^HL70069|||〇〇診療所
^^^^^^^^1234567|^^^^^^XX|^^^^^^^^^^^^03-1234-5678
OBR|0001||01^初診時口腔診査^JDASNS02||20150401|20170301
TQ1|0001|||20150401|20170301
OBX|0001|CWE|TB02^齒種コード^JDAS0003|T1|1016^右側上顎第1大臼齒^JDASTB02|||||F
OBX|0002|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T1|0^現存齒^JDASTB03|||||F
OBX|0003|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T1|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
OBX|0004|CWE|TD02^齒の基本状態^JDAS0003|T1|06^現在齒【未処置齒C】*^JDASTD02|||||F
OBX|0005|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T1|02^C(未処置齒)^JDASTD03|||||F
OBX|0006|CWE|TP09^未処置齒(う蝕等、治療中を含む)^JDAS0003|T1|04^C3*^JDASTP09|||||F
OBX|0007|CWE|TF02^標準プロファイル26項目の情報の有無^JDAS0003|T1|01^標準プロファイル
26項目の情報あり^JDASTF02|||||F
OBX|0008|CWE|TF05^C1~C3(治療中を含む)・C123^JDAS0003|T1|01^C1~C3(治療中
を含む)・C123^JDASTF05|||||F
OBX|0009|CWE|TB02^齒種コード^JDAS0003|T2|1014^右側上顎第1小臼齒^JDASTB02|||||F
OBX|0010|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T2|0^現存齒^JDASTB03|||||F
OBX|0011|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T2|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
OBX|0012|CWE|TD02^齒の基本状態^JDAS0003|T2|10^現在齒【処置齒〇】^JDASTD02|||||F
OBX|0013|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T2|03^〇(処置齒)^JDASTD03|||||F
OBX|0014|CWE|TP11^処置齒(部分修復)^JDAS0003|T2|10^部分修復・複雑窩洞(金属インレー・
銀色)(In)*^JDASTP11|||||F
OBX|0015|CWE|TP12^窩洞形態^JDAS0003|T2|04^複雑窩洞(インレー)^JDASTP12|||||F
OBX|0016|CWE|TP13^齒面(切端・咬合面IO)*^JDAS0003|T2|01^切端・咬合面IO
*^JDASTP13|||||F
OBX|0017|CWE|TP14^齒面(唇側面・頬側面B)*^JDAS0003|T2|00^該当なし^JDASTP14|||||F
OBX|0018|CWE|TP15^齒面(口蓋側面・舌側面PL)*^JDAS0003|T2|00^該当なし^JDASTP15|||||F
OBX|0019|CWE|TP16^齒面(近心面M)*^JDAS0003|T2|00^該当なし^JDASTP16|||||F
OBX|0020|CWE|TP17^齒面(遠心面D)*^JDAS0003|T2|01^遠心面D*^JDASTP17|||||F
OBX|0021|CWE|TF02^標準プロファイル26項目の情報の有無^JDAS0003|T2|01^標準プロファイル
26項目の情報あり^JDASTF02|||||F
OBX|0022|CWE|TF08^インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠金属色・In^JDAS0003|T2|01^イ
ンレー、アンレー、3/4冠、4/5冠金属色・In^JDASTF08|||||F
OBX|0023|CWE|TF11^切端・咬合面・IO^JDAS0003|T2|01^切端・咬合面・IO^JDASTF11|||||F
OBX|0024|CWE|TF12^唇側面・頬側面・B^JDAS0003|T2|00^該当なし^JDASTF12|||||F
OBX|0025|CWE|TF13^口蓋側面・舌側面・PL^JDAS0003|T2|00^該当なし^JDASTF13|||||F
OBX|0026|CWE|TF14^近心面・M^JDAS0003|T2|00^該当なし^JDASTF14|||||F
OBX|0027|CWE|TF15^遠心面・D^JDAS0003|T2|01^遠心面・D^JDASTF15|||||F
OBX|0028|CWE|TB02^齒種コード^JDAS0003|T3|1025^左側上顎第2小臼齒^JDASTB02|||||F
OBX|0029|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T3|0^現存齒^JDASTB03|||||F
OBX|0030|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T3|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
```

OBX|0031|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T3|10^現在歯【処置歯〇】^JDASTD02|||||F
 OBX|0032|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T3|03^〇（処置歯）^JDASTD03|||||F
 OBX|0033|CWE|TP11^処置歯（部分修復）^JDAS0003|T3|11^部分修復・複雑窩洞（金属インレー・黒色）（I n）*^JDASTP11|||||F
 OBX|0034|CWE|TP12^窩洞形態^JDAS0003|T3|04^複雑窩洞（インレー）^JDASTP12|||||F
 OBX|0035|CWE|TP13^歯面（切端・咬合面 I O*）^JDAS0003|T3|01^切端・咬合面 I O*^JDASTP13|||||F
 OBX|0036|CWE|TP14^歯面（唇側面・頬側面 B*）^JDAS0003|T3|00^該当なし^JDASTP14|||||F
 OBX|0037|CWE|TP15^歯面（口蓋側面・舌側面 P L*）^JDAS0003|T3|00^該当なし^JDASTP15|||||F
 OBX|0038|CWE|TP16^歯面（近心面 M*）^JDAS0003|T3|00^該当なし^JDASTP16|||||F
 OBX|0039|CWE|TP17^歯面（遠心面 D*）^JDAS0003|T3|01^遠心面 D*^JDASTP17|||||F
 OBX|0040|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T3|01^標準プロファイル 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F
 OBX|0041|CWE|TF08^インレー、アンレー、3 / 4 冠、4 / 5 冠金属色・ I n^JDAS0003|T3|01^インレー、アンレー、3 / 4 冠、4 / 5 冠金属色・ I n^JDASTF08|||||F
 OBX|0042|CWE|TF11^切端・咬合面・ I O^JDAS0003|T3|01^切端・咬合面・ I O^JDASTF11|||||F
 OBX|0043|CWE|TF12^唇側面・頬側面・ B^JDAS0003|T3|00^該当なし^JDASTF12|||||F
 OBX|0044|CWE|TF13^口蓋側面・舌側面・ P L^JDAS0003|T3|00^該当なし^JDASTF13|||||F
 OBX|0045|CWE|TF14^近心面・ M^JDAS0003|T3|00^該当なし^JDASTF14|||||F
 OBX|0046|CWE|TF15^遠心面・ D^JDAS0003|T3|01^遠心面・ D^JDASTF15|||||F

■ 記載例 5

	傷病名コード	傷病名基本名称	歯科傷病名省略名称
7 — —C 3	8830788	う蝕第2度	C



【対応困難な内容】

通番	事例	歯番	A社	B社	C社
5	例5	1017			「C」としての口腔管理のため、「C2」とはならない
6	例5	1033			面 (MLB) 口腔管理なしのため、歯面情報なし

【CSV形式データ模範例】

ON,,,,02,XX,〇〇診療所,1234567,03-1234-5678,90,歯科,,,,,
 PN,12345678,XYZ,22345678,01,5,,,20170301,日歯太郎,01,19600101,,,,,
 NS,01,20150401,20170301,,,,,
 TB,1017,0,0,2,,,,,
 TD,06,02,,,,,
 TP,,,,,,,03
 TF,01,,,01
 TB,1033,0,0,,,,,
 TD,10,03,,,,,

TP, , , , , , , , 02, 02, 00, 01, 01, 01, 00
TF, 01, , , , , 01, , , , 00, 01, 01, 01, 00
DT, 20170303, 170303, 20170303, 170303, , , , , ,

【HL7 形式データ出力例】

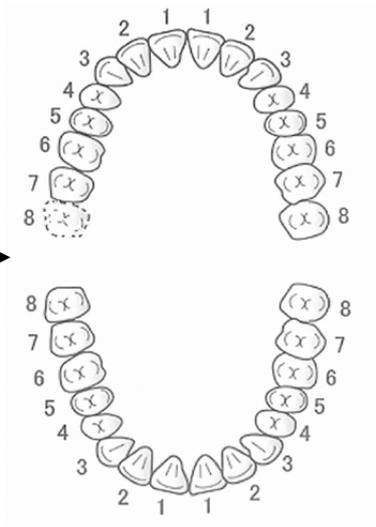
MSH|^~\&|SV2HL7|HIS|GW|GW|20170328112221||ORU^R01^ORU_R01|20170303170303|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-1994
PID|0001||000005^^^^PI||日齒太郎^^^^^L^I||19600101|M
PV1|0001|O|||||||90
ORC|NW|||||||90^齒科^HL70069||||〇〇診療所
^^^^^^1234567|^^^^^XX|^^^^^^03-1234-5678
OBR|0001||01^初診時口腔診査^JDASNS02||20150401|20170301
TQ1|0001|||||20150401|20170301
OBX|0001|CWE|TB02^齒種コード^JDAS0003|T1|1017^右側上顎第2大臼齒
^JDASTB02|||||F
OBX|0002|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T1|0^現存齒^JDASTB03|||||F
OBX|0003|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T1|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
OBX|0004|CWE|TD02^齒の基本状態^JDAS0003|T1|06^現在齒【未処置齒C】*
^JDASTD02|||||F
OBX|0005|CWE|TD03^齒科健診記号^JDAS0003|T1|02^C（未処置齒）
^JDASTD03|||||F
OBX|0006|CWE|TP09^未処置齒（う蝕等、治療中を含む）^JDAS0003|T1|03^C 2
*^JDASTP09|||||F
OBX|0007|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T1|01^標準プロ
ファイル 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F
OBX|0008|CWE|TF05^C 1 ~ C 3（治療中を含む）・C 1 2 3^JDAS0003|T1|01^C 1 ~ C
3（治療中を含む）・C 1 2 3^JDASTF05|||||F
OBX|0009|CWE|TB02^齒種コード^JDAS0003|T2|1033^左側下顎犬齒
^JDASTB02|||||F
OBX|0010|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T2|0^現存齒^JDASTB03|||||F
OBX|0011|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T2|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
OBX|0012|CWE|TD02^齒の基本状態^JDAS0003|T2|10^現在齒【処置齒〇】
^JDASTD02|||||F
OBX|0013|CWE|TD03^齒科健診記号^JDAS0003|T2|03^〇（処置齒）^JDASTD03|||||F
OBX|0014|CWE|TP11^処置齒（部分修復）^JDAS0003|T2|02^部分修復・複雑窩洞（齒冠色
充填）（CF、RF、GCF）*^JDASTP11|||||F
OBX|0015|CWE|TP12^窩洞形態^JDAS0003|T2|02^複雑窩洞（充填）^JDASTP12|||||F
OBX|0016|CWE|TP13^齒面（切端・咬合面IO*）^JDAS0003|T2|00^該当なし
^JDASTP13|||||F
OBX|0017|CWE|TP14^齒面（唇側面・頬側面B*）^JDAS0003|T2|01^唇側面・頬側面B
*^JDASTP14|||||F
OBX|0018|CWE|TP15^齒面（口蓋側面・舌側面PL*）^JDAS0003|T2|01^口蓋側面・舌側
面PL*^JDASTP15|||||F
OBX|0019|CWE|TP16^齒面（近心面M*）^JDAS0003|T2|01^近心面M
*^JDASTP16|||||F
OBX|0020|CWE|TP17^齒面（遠心面D*）^JDAS0003|T2|00^該当なし^JDASTP17|||||F
OBX|0021|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T2|01^標準プロ
ファイル 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F
OBX|0022|CWE|TF07^CR 充填・セメント充填・CR^JDAS0003|T2|01^CR 充填・セメン
ト充填・CR^JDASTF07|||||F
OBX|0023|CWE|TF11^切端・咬合面・IO^JDAS0003|T2|00^該当なし
^JDASTF11|||||F
OBX|0024|CWE|TF12^唇側面・頬側面・B^JDAS0003|T2|01^唇側面・頬側面・B

^JDASTF12|||||F
OBX|0025|CWE|TF13^口蓋側面・舌側面・P L^JDAS0003|T2|01^口蓋側面・舌側面・P L
^JDASTF13|||||F
OBX|0026|CWE|TF14^近心面・M^JDAS0003|T2|01^近心面・M^JDASTF14|||||F
OBX|0027|CWE|TF15^遠心面・D^JDAS0003|T2|00^該当なし^JDASTF15|||||F

■ 記載例 6

	傷病名コード	傷病名基本名称	歯科傷病名省略名称
8 — 埋伏智歯	5206035	埋伏智歯	埋伏智歯

右上 8
完全埋伏
Complete Impaction



【対応困難な内容】

通番	事例	歯番	A社	B社	C社
7	例 6	1018			「埋伏」の口腔管理なしのため、健全歯扱いとなる

【CSV 形式データ模範例】

ON,,,,02,XX,○○診療所,1234567,03-1234-5678,90,歯科,,,,,
 PN,12345678,XYZ,22345678,01,6,,,20170301,日歯太郎,01,19600101,,,,,
 NS,01,20150401,20170301,,,,,
 TB,1018,0,0,,,,,
 TD,12,01,,,,,
 TP,,,05
 TF,01,,,,,01
 DT,20170303,170303,20170303,170303,,,,,

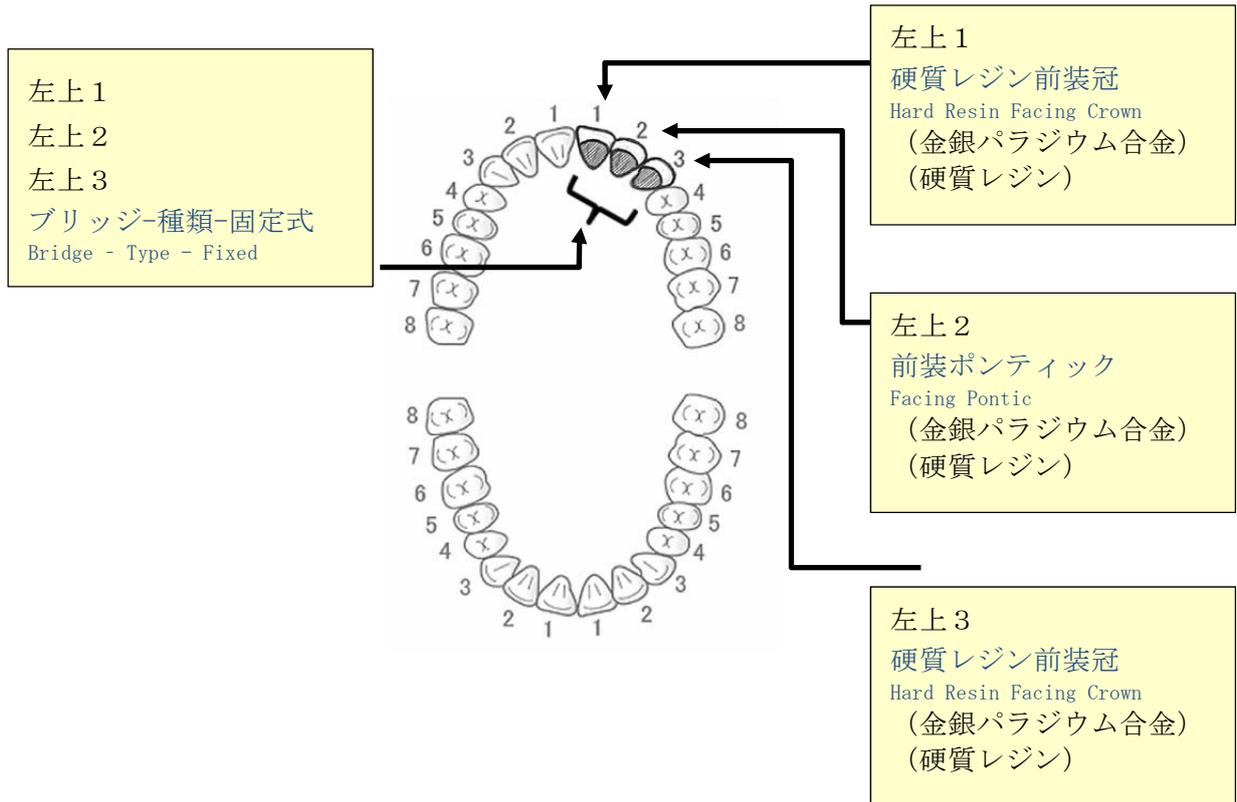
【HL7 形式データ出力例】

MSH|^~\&|SV2HL7|HIS|GW|GW|20170328112221||ORU^R01^ORU_R01|201703031
 70303|P|2.5||||~ISO IR87||ISO 2022-1994
 PID|0001||000006^^^^PI||日歯太郎^^^^^L^I||19600101|M
 PV1|0001|O||||||90
 ORC|NW|||||||90^歯科^HL70069||||○○診療所

^^^^^^^1234567|^XXXXXX|^XXXXXXXXXX03-1234-5678
 OBR|0001|||01^初診時口腔診査^JDASNS02|||20150401|20170301
 TQ1|0001|||||20150401|20170301
 OBX|0001|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T1|1018^右側上顎第3大臼歯
 ^JDASTB02|||||F
 OBX|0002|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T1|0^現存歯^JDASTB03|||||F
 OBX|0003|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T1|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
 OBX|0004|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T1|12^現在歯【現在歯／】（上記以外、何か情報あり）^JDASTD02|||||F
 OBX|0005|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T1|01^／（現在歯、または健全歯）
 ^JDASTD03|||||F
 OBX|0006|CWE|TP04^歯の萌出異常^JDAS0003|T1|05^埋伏歯（完全）（CRT）*
 ^JDASTP04|||||F
 OBX|0007|CWE|TF02^標準プロファイル26項目の情報の有無^JDAS0003|T1|01^標準プロ
 ファイル26項目の情報あり^JDASTF02|||||F
 OBX|0008|CWE|TF27^歯牙あり（状態不明）・Pre^JDAS0003|T1|01^歯牙あり（状態不
 明）・Pre^JDASTF27|||||F

■ 記載例 7

① ② ③ └─── MTブリッジ	傷病名コード 8844172	傷病名基本名称 欠損歯・ブリッジ	歯科傷病名省略名称 MTブリッジ
----------------------	-------------------	---------------------	---------------------



【対応困難な内容】

通番	事例	歯番	A社	B社	C社
	例7		可	可	可

【CSV形式データ模範例】

ON,,,,02,XX,〇〇診療所,1234567,03-1234-5678,90,歯科,,,,,
 PN,12345678,XYZ,22345678,01,7,,,20170301,日歯太郎,01,19600101,,,,,
 NS,01,20150401,20170301,,,,,
 TB,1021,3,0,,,,,
 TD,10,03,,,,,
 TP,,,,,,06,,02,01
 TM,00,01,00,,,,,,
 TF,01,,,,,,01
 TB,1022,2,0,,,,,
 TD,51,04,,,,,
 TP,,00,,,,,,00,01

TM, 04, 01, 00, , , , , , , , , ,
 TF, 01, , , , , , , , , , , , , 01
 TB, 1023, 3, 0, , , , , ,
 TD, 10, 03, , , , ,
 TP, , , , , , , , , , , , , , 06, , 02, 01
 TM, 00, 01, 00, , , , , , , , , ,
 TF, 01, , , , , , , , , , , , 01
 DT, 20170303, 170303, 20170303, 170303, , , , , ,

【HL7 形式データ出力例】

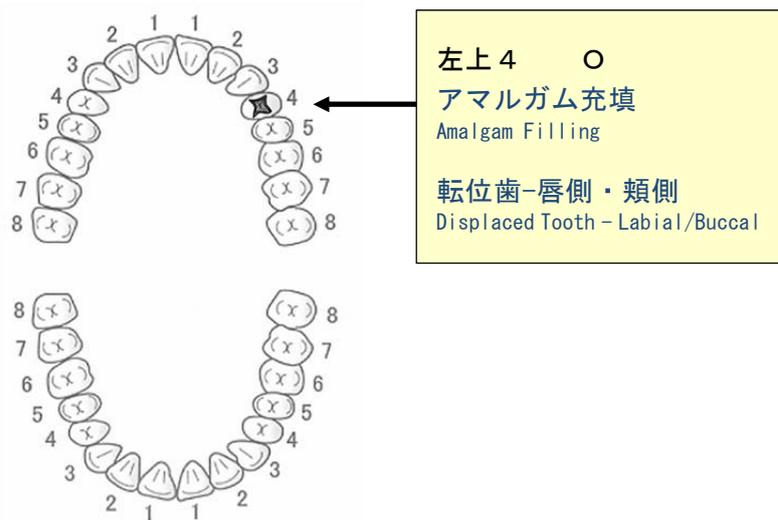
```

MSH|^~\&|SV2HL7|HIS|GW|GW|20170328112221||ORU^R01^ORU_R01|20170303170303|P|2.5|||||~I
SO IR87|ISO 2022-1994
PID|0001|000007^^^PI||日齒太郎^^^^L^I||19600101|M
PV1|0001|0||||||90
ORC|NW||||||90^齒科^HL70069||||〇〇診療所
^^^^^^^^1234567|^^^^^^XX|^^^^^^^^^^^^03-1234-5678
OBR|0001||01^初診時口腔診査^JDASNS02||20150401|20170301
TQ1|0001||||20150401|20170301
OBX|0001|CWE|TB02^齒種コード^JDAS0003|T1|1021^左側上顎中切齒^JDASTB02|||||F
OBX|0002|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T1|3^支台齒^JDASTB03|||||F
OBX|0003|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T1|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
OBX|0004|CWE|TD02^齒の基本状態^JDAS0003|T1|10^現在齒【処置齒〇】^JDASTD02|||||F
OBX|0005|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T1|03^〇（処置齒）^JDASTD03|||||F
OBX|0006|CWE|TP21^処置齒（全部修復）^JDAS0003|T1|06^全部修復（前装金属冠・銀色）（前装M
C）*^JDASTP21|||||F
OBX|0007|CWE|TP23^連結冠・ブリッジ支台齒^JDAS0003|T1|02^ブリッジ支台齒*^JDASTP23|||||F
OBX|0008|CWE|TP24^連結冠・ブリッジ番号^JDAS0003|T1|01^同顎1装置目（固定性）
^JDASTP24|||||F
OBX|0009|CWE|TM02^ポンティック^JDAS0003|T1|00^該当なし^JDASTM02|||||F
OBX|0010|CWE|TM03^ブリッジ番号^JDAS0003|T1|01^同顎1装置目（固定性）^JDASTM03|||||F
OBX|0011|CWE|TM04^有床義齒^JDAS0003|T1|00^該当なし^JDASTM04|||||F
OBX|0012|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T1|01^標準プロファイル
26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F
OBX|0013|CWE|TF17^前装冠（HR、MBほか）・HR^JDAS0003|T1|01^前装冠（HR、MBほか）・
HR^JDASTF17|||||F
OBX|0014|CWE|TB02^齒種コード^JDAS0003|T2|1022^左側上顎側切齒^JDASTB02|||||F
OBX|0015|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T2|2^欠損齒^JDASTB03|||||F
OBX|0016|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T2|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
OBX|0017|CWE|TD02^齒の基本状態^JDAS0003|T2|51^欠損齒【喪失齒△】*^JDASTD02|||||F
OBX|0018|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T2|04^△（欠損齒、または喪失齒）^JDASTD03|||||F
OBX|0019|CWE|TP03^生活齒・失活齒^JDAS0003|T2|00^該当なし^JDASTP03|||||F
OBX|0020|CWE|TP23^連結冠・ブリッジ支台齒^JDAS0003|T2|00^該当なし^JDASTP23|||||F
OBX|0021|CWE|TP24^連結冠・ブリッジ番号^JDAS0003|T2|01^同顎1装置目（固定性）
^JDASTP24|||||F
OBX|0022|CWE|TM02^ポンティック^JDAS0003|T2|04^ポンティック（前装ポンティック・銀色）（P
on）*^JDASTM02|||||F
OBX|0023|CWE|TM03^ブリッジ番号^JDAS0003|T2|01^同顎1装置目（固定性）^JDASTM03|||||F
OBX|0024|CWE|TM04^有床義齒^JDAS0003|T2|00^該当なし^JDASTM04|||||F
OBX|0025|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T2|01^標準プロファイル
26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F
OBX|0026|CWE|TF20^ポンティック・Pon^JDAS0003|T2|01^ポンティック・Pon
^JDASTF20|||||F
OBX|0027|CWE|TB02^齒種コード^JDAS0003|T3|1023^左側上顎犬齒^JDASTB02|||||F
  
```

OBX|0028|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T3|3^支台歯^JDASTB03|||||F
 OBX|0029|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T3|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
 OBX|0030|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T3|10^現在歯【処置歯〇】^JDASTD02|||||F
 OBX|0031|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T3|03^〇（処置歯）^JDASTD03|||||F
 OBX|0032|CWE|TP21^処置歯（全部修復）^JDAS0003|T3|06^全部修復（前装金属冠・銀色）（前装M
 C）*^JDASTP21|||||F
 OBX|0033|CWE|TP23^連結冠・ブリッジ支台歯^JDAS0003|T3|02^ブリッジ支台歯*^JDASTP23|||||F
 OBX|0034|CWE|TP24^連結冠・ブリッジ番号^JDAS0003|T3|01^同顎1装置目（固定性）
 ^JDASTP24|||||F
 OBX|0035|CWE|TM02^ポンティック^JDAS0003|T3|00^該当なし^JDASTM02|||||F
 OBX|0036|CWE|TM03^ブリッジ番号^JDAS0003|T3|01^同顎1装置目（固定性）^JDASTM03|||||F
 OBX|0037|CWE|TM04^有床義歯^JDAS0003|T3|00^該当なし^JDASTM04|||||F
 OBX|0038|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T3|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F
 OBX|0039|CWE|TF17^前装冠（HR、MBほか）・HR^JDAS0003|T3|01^前装冠（HR、MBほか）・
 HR^JDASTF17|||||F

■ 記載例 8

	傷病名コード	傷病名基本名称	歯科傷病名省略名称
4 └─C	8830787	う蝕第1度	C



【対応困難な内容】

通番	事例	歯番	A社	B社	C社
8	例8	1024		左上4:病名「転移歯」 でデータ作成	口腔管理なしのため

【CSV 形式データ模範例】

ON,,,,02,XX,〇〇診療所,1234567,03-1234-5678,90,歯科,,,,,
 PN,12345678,XYZ,22345678,01,8,,,20170301,日歯太郎,01,19600101,,,,,
 NS,01,20150401,20170301,,,,,
 TB,1024,0,0,,,,,
 TD,10,03,,,,,
 TP,,,,02,,,,,03,01,01,00,00,00,00,01,00,00
 TF,01,,,,,,01,01,00,00,00,00
 DT,20170303,170303,20170303,170303,,,,,,

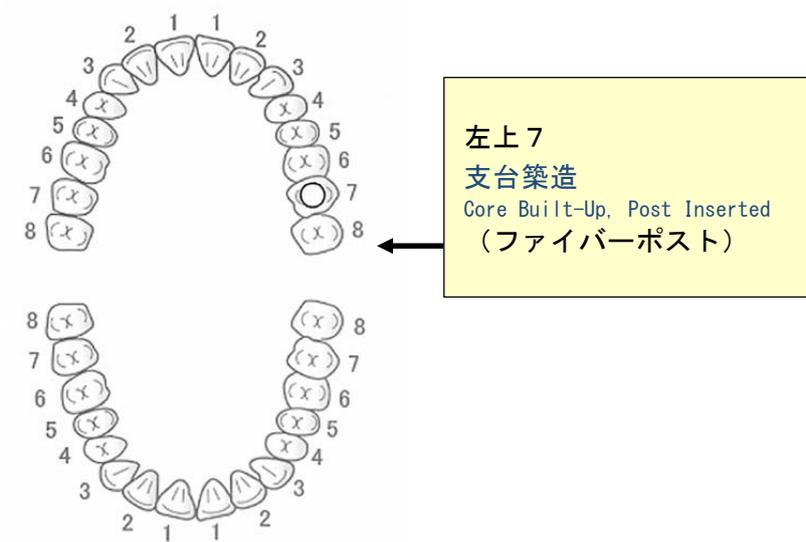
【HL7 形式データ出力例】

MSH|^~\&|SV2HL7|HIS|GW|GW|20170328112221||ORU^R01^ORU_R01|20170303170303|P|2.5|||||~I
 SO IR87||ISO 2022-1994
 PID|0001||000008^^^PI||日歯太郎^^^L^I||19600101|M
 PV1|0001|0||||||90

ORC|NW|||||||||||||90^齒科^HL70069||||〇〇診療所
 ^^^^^^^1234567|^^^^^^XX|^^^^^^^^^^03-1234-5678
 OBR|0001|||01^初診時口腔診査^JDASNS02|||20150401|20170301
 TQ1|0001|||||20150401|20170301
 OBX|0001|CWE|TB02^齒種コード^JDAS0003|T1|1024^左側上顎第1小臼齒^JDASTB02|||||F
 OBX|0002|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T1|0^現存齒^JDASTB03|||||F
 OBX|0003|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T1|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
 OBX|0004|CWE|TD02^齒の基本状態^JDAS0003|T1|10^現在齒【処置齒〇】^JDASTD02|||||F
 OBX|0005|CWE|TD03^齒科健診記号^JDAS0003|T1|03^〇（処置齒）^JDASTD03|||||F
 OBX|0006|CWE|TP05^齒の位置異常^JDAS0003|T1|02^転位齒^JDASTP05|||||F
 OBX|0007|CWE|TP11^処置齒（部分修復）^JDAS0003|T1|03^部分修復・単純窩洞（アマルガム充填）
 （A F）*^JDASTP11|||||F
 OBX|0008|CWE|TP12^窩洞形態^JDAS0003|T1|01^単純窩洞（充填）^JDASTP12|||||F
 OBX|0009|CWE|TP13^齒面（切端・咬合面 I O*）^JDAS0003|T1|01^切端・咬合面 I O
 *^JDASTP13|||||F
 OBX|0010|CWE|TP14^齒面（唇側面・頬側面 B*）^JDAS0003|T1|00^該当なし^JDASTP14|||||F
 OBX|0011|CWE|TP15^齒面（口蓋側面・舌側面 P L*）^JDAS0003|T1|00^該当なし^JDASTP15|||||F
 OBX|0012|CWE|TP16^齒面（近心面 M*）^JDAS0003|T1|00^該当なし^JDASTP16|||||F
 OBX|0013|CWE|TP17^齒面（遠心面 D*）^JDAS0003|T1|00^該当なし^JDASTP17|||||F
 OBX|0014|CWE|TP18^齒の主な部位（齒冠部）^JDAS0003|T1|01^齒冠部^JDASTP18|||||F
 OBX|0015|CWE|TP19^齒の主な部位（齒頸部）^JDAS0003|T1|00^該当なし^JDASTP19|||||F
 OBX|0016|CWE|TP20^齒の主な部位（齒根部）^JDAS0003|T1|00^該当なし^JDASTP20|||||F
 OBX|0017|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T1|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F
 OBX|0018|CWE|TF10^アマルガム充填・A F^JDAS0003|T1|01^アマルガム充填・A F
 ^JDASTF10|||||F
 OBX|0019|CWE|TF11^切端・咬合面・I O^JDAS0003|T1|01^切端・咬合面・I O^JDASTF11|||||F
 OBX|0020|CWE|TF12^唇側面・頬側面・B^JDAS0003|T1|00^該当なし^JDASTF12|||||F
 OBX|0021|CWE|TF13^口蓋側面・舌側面・P L^JDAS0003|T1|00^該当なし^JDASTF13|||||F
 OBX|0022|CWE|TF14^近心面・M^JDAS0003|T1|00^該当なし^JDASTF14|||||F
 OBX|0023|CWE|TF15^遠心面・D^JDAS0003|T1|00^該当なし^JDASTF15|||||F

■ 記載例 9

	傷病名コード	傷病名基本名称	歯科傷病名省略名称
7 └─ P u l	5220063	歯髄炎	P u l



【対応困難な内容】

通番	事例	歯番	A社	B社	C社
	例 9		可	可	可

【CSV 形式データ模範例】

ON,,,,02,XX,〇〇診療所,1234567,03-1234-5678,90,歯科
 PN,12345678,XYZ,22345678,01,9,,,20170301,日歯太郎,01,19600101
 NS,01,20150401,20170301,,,,,
 TB,1027,1,0,,,,,
 TD,06,02,,,,,
 TP,,02,,,,,,30
 TF,01,,01,,01,,,,01
 DT,20170303,170303,20170303,170303,,,,,,

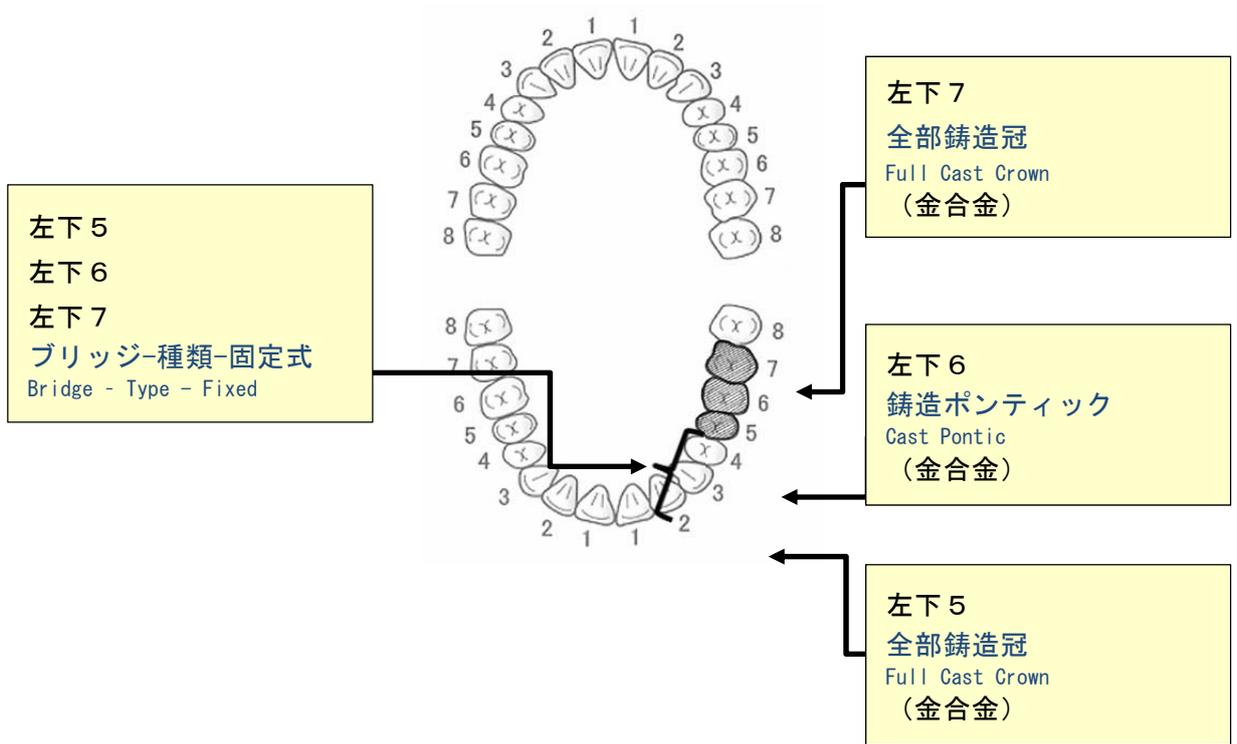
【HL7 形式データ出力例】

```
MSH|^~¥&|SV2HL7|HIS|GW|GW|20170328112221||ORU^R01^ORU_R01|20170303170303|P|2.5|||~I
SO IR87||ISO 2022-1994
PID|0001||000009^^^PI||日歯太郎^^^L^I||19600101|M
PV1|0001|0||||||90
ORC|NW||||||90^歯科^HL70069||||〇〇診療所
^^^1234567|^^^XX|^03-1234-5678
OBR|0001||01^初診時口腔診査^JDASNS02||20150401|20170301
```

TQ1|0001| |||||20150401|20170301
 OBX|0001|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T1|1027^左側上顎第2大臼歯^JDASTB02|||||F
 OBX|0002|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T1|1^部(部を示す場合に使用)^JDASTB03|||||F
 OBX|0003|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T1|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
 OBX|0004|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T1|06^現在歯【未処置歯C】*^JDASTD02|||||F
 OBX|0005|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T1|02^C(未処置歯)^JDASTD03|||||F
 OBX|0006|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T1|02^失活歯(根管充填歯、う蝕処置済み歯、残根・C4等)^JDASTP03|||||F
 OBX|0007|CWE|TP10^テンポラリークラウン^JDAS0003|T1|30^JDASTP10|||||F
 OBX|0008|CWE|TF02^標準プロファイル26項目の情報の有無^JDAS0003|T1|01^標準プロファイル26項目の情報あり^JDASTF02|||||F
 OBX|0009|CWE|TF05^C1~C3(治療中を含む)・C123^JDAS0003|T1|01^C1~C3(治療中を含む)・C123^JDASTF05|||||F
 OBX|0010|CWE|TF07^CR充填・セメント充填・CR^JDAS0003|T1|01^CR充填・セメント充填・CR^JDASTF07|||||F
 OBX|0011|CWE|TF11^切端・咬合面・IO^JDAS0003|T1|01^切端・咬合面・IO^JDASTF11|||||F

■ 記載例 10

MTブリッジ ⑤⑥⑦	傷病名コード 8844172	傷病名基本名称 欠損歯・ブリッジ	歯科傷病名省略名称 MTブリッジ
---------------	-------------------	---------------------	---------------------



【対応困難な内容】

通番	事例	歯番	A社	B社	C社
9	例 10	1035	内部情報として「金合金」を持ち合わせていない。保険診療では取り扱われない部分となる。本事項は設定を追加することで可能です	金合金ブリッジ 自費項目の為、入力不可	自費「ゴールドクラウン」※口腔管理画面で支台歯に変更
10	例 10	1036		左下6、口腔管理情報「欠損」のみ入力	自費「ゴールドポンティック」
11	例 10	1036		※欠損のみの場合、TMレコード抽出不可	

【CSV 形式データ模範例】

ON,,,,,02,XX,〇〇診療所,1234567,03-1234-5678,90,歯科,,,,,
 PN,12345678,XYZ,22345678,01,10,,,20170301,日歯太郎,01,19600101,,,,,
 NS,01,20150401,20170301,,,,,
 TB,1035,3,0,,,,,
 TD,10,03,,,,,
 TP,,,,,,01,01,01,01,01,01,00,00,01,,02,01
 TF,01,,,,,,01,01,01,01,01,01
 TB,1036,2,0,,,,,
 TD,60,04,,,,,
 TP,,,,,,01
 TM,01,01,00,,,,,,
 TF,01,,,,,,01,01,01,01,01,,,,,01
 TB,1037,3,0,,,,,
 TD,10,03,,,,,
 TP,,,,,,01,01,01,01,01,01,00,00,01,,02,01
 TF,01,,,,,,01,01,01,01,01,01
 DT,20170303,170303,20170303,170303,,,,,,

【HL7 形式データ出力例】

MSH|^~\&|SV2HL7|HIS|GW|GW|20170328112220||ORU^R01^ORU_R01|20170303170303|P|2.5|||~I
 SO IR87|ISO 2022-1994
 PID|0001|000010^^^PI||日歯太郎^^^^L^I||19600101|M
 PV1|0001|0|||90
 ORC|NW|||90^歯科^HL70069|||〇〇診療所
 ^1234567|^XX|^03-1234-5678
 OBR|0001|||01^初診時口腔診査^JDASNS02|||20150401|20170301
 TQ1|0001|||20150401|20170301
 OBX|0001|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T1|1035^左側下顎第2小臼歯^JDASTB02|||F
 OBX|0002|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T1|3^支台歯^JDASTB03|||F
 OBX|0003|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T1|0^部分指定なし^JDASTB04|||F
 OBX|0004|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T1|10^現在歯【処置歯〇】^JDASTD02|||F
 OBX|0005|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T1|03^〇(処置歯)^JDASTD03|||F
 OBX|0006|CWE|TP13^歯面(切端・咬合面 I O*)^JDAS0003|T1|01^切端・咬合面 I O
 *^JDASTP13|||F
 OBX|0007|CWE|TP14^歯面(唇側面・頬側面 B*)^JDAS0003|T1|01^唇側面・頬側面 B
 *^JDASTP14|||F
 OBX|0008|CWE|TP15^歯面(口蓋側面・舌側面 P L*)^JDAS0003|T1|01^口蓋側面・舌側面 P L
 *^JDASTP15|||F
 OBX|0009|CWE|TP16^歯面(近心面 M*)^JDAS0003|T1|01^近心面 M*^JDASTP16|||F
 OBX|0010|CWE|TP17^歯面(遠心面 D*)^JDAS0003|T1|01^遠心面 D*^JDASTP17|||F
 OBX|0011|CWE|TP18^歯の主な部位(歯冠部)^JDAS0003|T1|01^歯冠部^JDASTP18|||F
 OBX|0012|CWE|TP19^歯の主な部位(歯頸部)^JDAS0003|T1|00^該当なし^JDASTP19|||F
 OBX|0013|CWE|TP20^歯の主な部位(歯根部)^JDAS0003|T1|00^該当なし^JDASTP20|||F
 OBX|0014|CWE|TP21^処置歯(全部修復)^JDAS0003|T1|01^全部修復(全部金属冠・銀色)(FMC)
 *^JDASTP21|||F
 OBX|0015|CWE|TP23^連結冠・ブリッジ支台歯^JDAS0003|T1|02^ブリッジ支台歯*^JDASTP23|||F
 OBX|0016|CWE|TP24^連結冠・ブリッジ番号^JDAS0003|T1|01^同顎1装置目(固定性)
 ^JDASTP24|||F
 OBX|0017|CWE|TF02^標準プロファイル26項目の情報の有無^JDAS0003|T1|01^標準プロファイル
 26項目の情報あり^JDASTF02|||F
 OBX|0018|CWE|TF11^切端・咬合面・I O^JDAS0003|T1|01^切端・咬合面・I O^JDASTF11|||F
 OBX|0019|CWE|TF12^唇側面・頬側面・B^JDAS0003|T1|01^唇側面・頬側面・B^JDASTF12|||F

OBX|0020|CWE|TF13^口蓋側面・舌側面・P L^JDAS0003|T1|01^口蓋側面・舌側面・P L
^JDASTF13|||||F

OBX|0021|CWE|TF14^近心面・M^JDAS0003|T1|01^近心面・M^JDASTF14|||||F

OBX|0022|CWE|TF15^遠心面・D^JDAS0003|T1|01^遠心面・D^JDASTF15|||||F

OBX|0023|CWE|TF16^全部金属冠（FMCほか）・FMC^JDAS0003|T1|01^全部金属冠（FMCほか）
・FMC^JDASTF16|||||F

OBX|0024|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T2|1036^左側下顎第1大白歯^JDASTB02|||||F

OBX|0025|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T2|2^欠損歯^JDASTB03|||||F

OBX|0026|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T2|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F

OBX|0027|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T2|60^欠損歯【喪失歯（欠損補綴歯・ポンティック）
（△）】*^JDASTD02|||||F

OBX|0028|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T2|04^△（欠損歯、または喪失歯）^JDASTD03|||||F

OBX|0029|CWE|TP24^連結冠・ブリッジ番号^JDAS0003|T2|01^同顎1装置目（固定性）
^JDASTP24|||||F

OBX|0030|CWE|TM02^ポンティック^JDAS0003|T2|01^ポンティック（鑄造ポンティック・銀色）（P
o n）*^JDASTM02|||||F

OBX|0031|CWE|TM03^ブリッジ番号^JDAS0003|T2|01^同顎1装置目（固定性）^JDASTM03|||||F

OBX|0032|CWE|TM04^有床義歯^JDAS0003|T2|00^該当なし^JDASTM04|||||F

OBX|0033|CWE|TF02^標準プロファイル26項目の情報の有無^JDAS0003|T2|01^標準プロファイル
26項目の情報あり^JDASTF02|||||F

OBX|0034|CWE|TF11^切端・咬合面・I O^JDAS0003|T2|01^切端・咬合面・I O^JDASTF11|||||F

OBX|0035|CWE|TF12^唇側面・頬側面・B^JDAS0003|T2|01^唇側面・頬側面・B^JDASTF12|||||F

OBX|0036|CWE|TF13^口蓋側面・舌側面・P L^JDAS0003|T2|01^口蓋側面・舌側面・P L
^JDASTF13|||||F

OBX|0037|CWE|TF14^近心面・M^JDAS0003|T2|01^近心面・M^JDASTF14|||||F

OBX|0038|CWE|TF15^遠心面・D^JDAS0003|T2|01^遠心面・D^JDASTF15|||||F

OBX|0039|CWE|TF20^ポンティック・P o n^JDAS0003|T2|01^ポンティック・P o n
^JDASTF20|||||F

OBX|0040|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T3|1037^左側下顎第2大白歯^JDASTB02|||||F

OBX|0041|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T3|3^支台歯^JDASTB03|||||F

OBX|0042|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T3|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F

OBX|0043|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T3|10^現在歯【処置歯○】^JDASTD02|||||F

OBX|0044|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T3|03^○（処置歯）^JDASTD03|||||F

OBX|0045|CWE|TP13^歯面（切端・咬合面I O*）^JDAS0003|T3|01^切端・咬合面I O
*^JDASTP13|||||F

OBX|0046|CWE|TP14^歯面（唇側面・頬側面B*）^JDAS0003|T3|01^唇側面・頬側面B
*^JDASTP14|||||F

OBX|0047|CWE|TP15^歯面（口蓋側面・舌側面P L*）^JDAS0003|T3|01^口蓋側面・舌側面P L
*^JDASTP15|||||F

OBX|0048|CWE|TP16^歯面（近心面M*）^JDAS0003|T3|01^近心面M*^JDASTP16|||||F

OBX|0049|CWE|TP17^歯面（遠心面D*）^JDAS0003|T3|01^遠心面D*^JDASTP17|||||F

OBX|0050|CWE|TP18^歯の主な部位（歯冠部）^JDAS0003|T3|01^歯冠部^JDASTP18|||||F

OBX|0051|CWE|TP19^歯の主な部位（歯頸部）^JDAS0003|T3|00^該当なし^JDASTP19|||||F

OBX|0052|CWE|TP20^歯の主な部位（歯根部）^JDAS0003|T3|00^該当なし^JDASTP20|||||F

OBX|0053|CWE|TP21^処置歯（全部修復）^JDAS0003|T3|01^全部修復（全部金属冠・銀色）（FMC）
*^JDASTP21|||||F

OBX|0054|CWE|TP23^連結冠・ブリッジ支台歯^JDAS0003|T3|02^ブリッジ支台歯*^JDASTP23|||||F

OBX|0055|CWE|TP24^連結冠・ブリッジ番号^JDAS0003|T3|01^同顎1装置目（固定性）
^JDASTP24|||||F

OBX|0056|CWE|TF02^標準プロファイル26項目の情報の有無^JDAS0003|T3|01^標準プロファイル
26項目の情報あり^JDASTF02|||||F

OBX|0057|CWE|TF11^切端・咬合面・I O^JDAS0003|T3|01^切端・咬合面・I O^JDASTF11|||||F

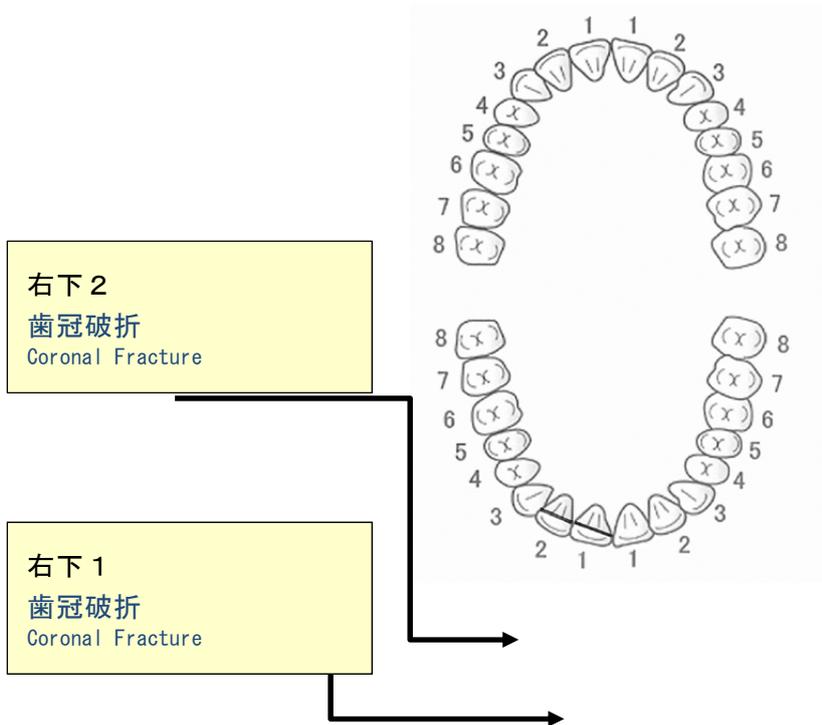
OBX|0058|CWE|TF12^唇側面・頬側面・B^JDAS0003|T3|01^唇側面・頬側面・B^JDASTF12|||||F

OBX|0059|CWE|TF13^口蓋側面・舌側面・P L^JDAS0003|T3|01^口蓋側面・舌側面・P L

^JDASTF13|||||F
OBX|0060|CWE|TF14^近心面・M^JDAS0003|T3|01^近心面・M^JDASTF14|||||F
OBX|0061|CWE|TF15^遠心面・D^JDAS0003|T3|01^遠心面・D^JDASTF15|||||F
OBX|0062|CWE|TF16^全部金属冠 (FMCほか)・FMC^JDAS0003|T3|01^全部金属冠 (FMCほか)・FMC^JDASTF16|||||F

■ 記載例 1 1

歯冠ハセツ 2 1	傷病名コード 5218009	傷病名基本名称 歯冠破折	歯科傷病名省略名称 歯冠ハセツ
--------------	-------------------	-----------------	--------------------



【対応困難な内容】

通番	事例	歯番	A社	B社	C社
12	例 11	1042	TPレコードが出力されていない		口腔管理なしのため

【CSV 形式データ模範例】

ON,,,,,02,XX,〇〇診療所,1234567,03-1234-5678,90,歯科,,,,,
 PN,12345678,XYZ,22345678,01,11,,,20170301,日歯太郎,01,19600101,,,,,
 NS,01,20150401,20170301,,,,,
 TB,1041,0,0,,,,,
 TD,06,02,,,,,
 TP,,,,,,,15
 TF,01,,,,,,,01

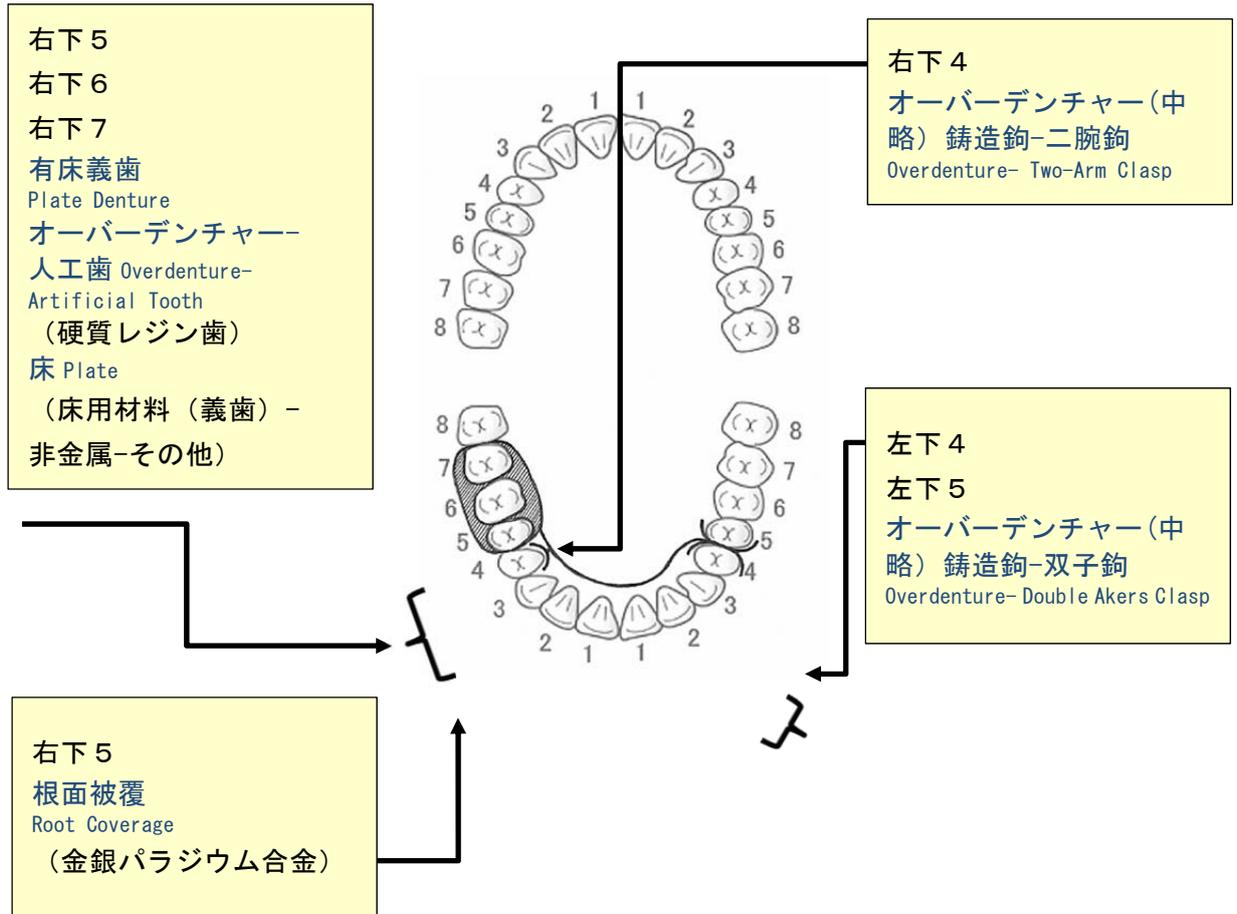
TB, 1042, 0, 0, , , , , , ,
TD, 06, 02, , , , , ,
TP, , , , , , , , 15
TF, 01, , , , , , , , , , , , , , , , , , , 01
DT, 20170303, 170303, 20170303, 170303, , , , , , ,

【HL7 形式データ出力例】

MSH|^~\&|SV2HL7|HIS|GW|GW|20170328112220||ORU^R01^ORU_R01|201703031
70303|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-1994
PID|0001||000011^^^PI||日齒太郎^^^^L^I||19600101|M
PV1|0001|O|||||||90
ORC|NW|||||||90^齒科^HL70069||||〇〇診療所
^^^^^^1234567|^^^^^XX|^^^^^^03-1234-5678
OBR|0001||01^初診時口腔診査^JDASNS02||20150401|20170301
TQ1|0001|||||20150401|20170301
OBX|0001|CWE|TB02^齒種コード^JDAS0003|T1|1041^右側下顎中切齒
^JDASTB02|||||F
OBX|0002|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T1|0^現存齒^JDASTB03|||||F
OBX|0003|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T1|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
OBX|0004|CWE|TD02^齒の基本状態^JDAS0003|T1|06^現在齒【未処置齒 C】*
^JDASTD02|||||F
OBX|0005|CWE|TD03^齒科健診記号^JDAS0003|T1|02^C（未処置齒）
^JDASTD03|||||F
OBX|0006|CWE|TP09^未処置齒（う蝕等、治療中を含む）^JDAS0003|T1|15^齒の破折（F
r T）*^JDASTP09|||||F
OBX|0007|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T1|01^標準プロ
ファイル 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F
OBX|0008|CWE|TF27^齒牙あり（状態不明）・P r e ^JDAS0003|T1|01^齒牙あり（状態不
明）・P r e ^JDASTF27|||||F
OBX|0009|CWE|TB02^齒種コード^JDAS0003|T2|1042^右側下顎側切齒
^JDASTB02|||||F
OBX|0010|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T2|0^現存齒^JDASTB03|||||F
OBX|0011|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T2|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
OBX|0012|CWE|TD02^齒の基本状態^JDAS0003|T2|06^現在齒【未処置齒 C】*
^JDASTD02|||||F
OBX|0013|CWE|TD03^齒科健診記号^JDAS0003|T2|02^C（未処置齒）
^JDASTD03|||||F
OBX|0014|CWE|TP09^未処置齒（う蝕等、治療中を含む）^JDAS0003|T2|15^齒の破折（F
r T）*^JDASTP09|||||F
OBX|0015|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T2|01^標準プロ
ファイル 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F
OBX|0016|CWE|TF27^齒牙あり（状態不明）・P r e ^JDAS0003|T2|01^齒牙あり（状態不
明）・P r e ^JDASTF27|||||F

■ 記載例 1 2

	傷病名コード	傷病名基本名称	歯科傷病名省略名称
MT	5250001	欠損歯	MT
7-5			



【対応困難な内容】

通番	事例	歯番	A社	B社	C社
13	例 12	1045	残根上の義歯であるため、歯根のみしか残っていないのは明白として、記録できるようにするのが良い		口腔管理なしのため。 根面板 set

【CSV 形式データ模範例】

ON,,,,,02,XX,〇〇診療所,1234567,03-1234-5678,90,歯科,,,,,
 PN,12345678,XYZ,22345678,01,12,,,20170301,日歯太郎,01,19600101,,,,,
 NS,01,20150401,20170301,,,,,
 TB,1047,2,0,,,,,
 TD,59,05,,,,,
 TM,,,16,00,03,,,,,
 TF,01,,,,,01,,01
 TB,1046,2,0,,,,,
 TD,59,05,,,,,
 TM,,,16,00,03,,,,,
 TF,01,,,,,01,,01
 TB,1045,6,0,2,,,,,
 TD,09,03,,,,,
 TP,,02,,,,,01
 TF,01,,,,,01,,01
 TB,1045,6,0,,,,,
 TD,59,05,,,,,
 TM,,,16,00,03,,02,,,,,
 TF,01,,,,,01,,01
 TB,1044,0,0,,,,,
 TD,01,01,,,,,
 TP,,01,,,,,01,17
 TF,01,,,,,01
 TB,1034,0,0,,,,,
 TD,01,01,,,,,
 TP,,01,,,,,01,02
 TF,01,,,,,01
 TB,1035,0,0,,,,,
 TD,01,01,,,,,
 TP,,01,,,,,01,02
 TF,01,,,,,01
 DT,20170303,170303,20170303,170303,,,,,

【HL7 形式データ出力例】

MSH|^~\&|SV2HL7|HIS|GW|GW|20170328112221||ORU^R01^ORU_R01|201703031
 70303|P|2.5||||~ISO IR87||ISO 2022-1994
 PID|0001||000012^^^PI||日歯太郎^^^^L^I||19600101|M
 PV1|0001|O|||||||90
 ORC|NW|||||||90^歯科^HL70069||||〇〇診療所
 ^^^^^^^1234567|^^^^^XX|^^^^^^^03-1234-5678
 OBR|0001|||01^初診時口腔診査^JDASNS02|||20150401|20170301
 TQ1|0001|||||20150401|20170301
 OBX|0001|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T1|1047^右側下顎第2大臼歯
 ^JDASTB02|||||F
 OBX|0002|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T1|2^欠損歯^JDASTB03|||||F
 OBX|0003|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T1|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
 OBX|0004|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T1|59^欠損歯【喪失歯(欠損補綴歯・義歯・
 人工歯)(△)】*^JDASTD02|||||F
 OBX|0005|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T1|05^ (△) (欠損補綴歯)
 ^JDASTD03|||||F
 OBX|0006|CWE|TM04^有床義歯^JDAS0003|T1|16^局部義歯(レジン床)(PD)*
 ^JDASTM04|||||F

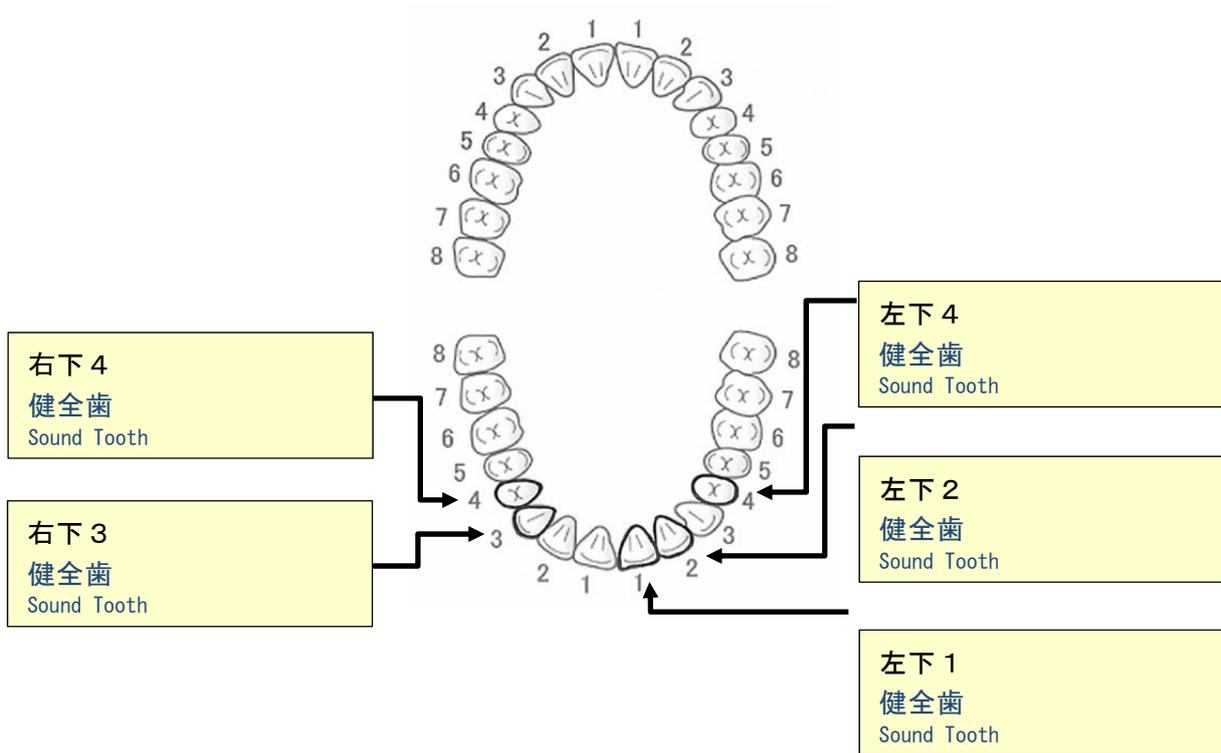
OBX|0007|CWE|TM05^複数義歯番号^JDAS0003|T1|00^該当なし^JDASTM05|||||F
 OBX|0008|CWE|TM06^義歯人工歯^JDAS0003|T1|03^硬質レジン歯^JDASTM06|||||F
 OBX|0009|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T1|01^標準プロファイル 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F
 OBX|0010|CWE|TF22^欠損・MAM^JDAS0003|T1|01^欠損・MAM^JDASTF22|||||F
 OBX|0011|CWE|TF24^義歯 (人工歯あり)・D e n^JDAS0003|T1|01^義歯 (人工歯あり)・D e n^JDASTF24|||||F
 OBX|0012|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T2|1046^右側下顎第 1 大臼歯^JDASTB02|||||F
 OBX|0013|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T2|2^欠損歯^JDASTB03|||||F
 OBX|0014|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T2|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
 OBX|0015|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T2|59^欠損歯【喪失歯 (欠損補綴歯・義歯・人工歯) (△)】 *^JDASTD02|||||F
 OBX|0016|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T2|05^ (△) (欠損補綴歯)^JDASTD03|||||F
 OBX|0017|CWE|TM04^有床義歯^JDAS0003|T2|16^局部義歯 (レジン床) (PD) *^JDASTM04|||||F
 OBX|0018|CWE|TM05^複数義歯番号^JDAS0003|T2|00^該当なし^JDASTM05|||||F
 OBX|0019|CWE|TM06^義歯人工歯^JDAS0003|T2|03^硬質レジン歯^JDASTM06|||||F
 OBX|0020|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T2|01^標準プロファイル 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F
 OBX|0021|CWE|TF22^欠損・MAM^JDAS0003|T2|01^欠損・MAM^JDASTF22|||||F
 OBX|0022|CWE|TF24^義歯 (人工歯あり)・D e n^JDAS0003|T2|01^義歯 (人工歯あり)・D e n^JDASTF24|||||F
 OBX|0023|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T3|1045^右側下顎第 2 小臼歯^JDASTB02|||||F
 OBX|0024|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T3|6^残根^JDASTB03|||||F
 OBX|0025|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T3|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
 OBX|0026|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T3|09^現在歯 (残根上義歯) 根面板等 (処置歯) *^JDASTD02|||||F
 OBX|0027|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T3|03^○ (処置歯)^JDASTD03|||||F
 OBX|0028|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T3|02^失活歯 (根管充填歯、う蝕処置済み歯、残根・C4 等)^JDASTP03|||||F
 OBX|0029|CWE|TP21^処置歯 (全部修復)^JDAS0003|T3|01^全部修復 (全部金属冠・銀色) (FMC) *^JDASTP21|||||F
 OBX|0030|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T3|01^標準プロファイル 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F
 OBX|0031|CWE|TF21^残根・根面板ほか・C 4^JDAS0003|T3|01^残根・根面板ほか・C 4^JDASTF21|||||F
 OBX|0032|CWE|TF24^義歯 (人工歯あり)・D e n^JDAS0003|T3|01^義歯 (人工歯あり)・D e n^JDASTF24|||||F
 OBX|0033|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T4|1045^右側下顎第 2 小臼歯^JDASTB02|||||F
 OBX|0034|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T4|6^残根^JDASTB03|||||F
 OBX|0035|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T4|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
 OBX|0036|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T4|59^欠損歯【喪失歯 (欠損補綴歯・義歯・人工歯) (△)】 *^JDASTD02|||||F
 OBX|0037|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T4|05^ (△) (欠損補綴歯)^JDASTD03|||||F
 OBX|0038|CWE|TM04^有床義歯^JDAS0003|T4|16^局部義歯 (レジン床) (PD) *^JDASTM04|||||F
 OBX|0039|CWE|TM05^複数義歯番号^JDAS0003|T4|00^該当なし^JDASTM05|||||F
 OBX|0040|CWE|TM06^義歯人工歯^JDAS0003|T4|03^硬質レジン歯^JDASTM06|||||F
 OBX|0041|CWE|TM08^義歯大連結子^JDAS0003|T4|02^鋳造バー／ストラップ (リングル

/パラタル) (C a s t B a r) ^JDASTM08|||||F
 OBX|0042|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T4|01^標準プロ
 ファイル 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F
 OBX|0043|CWE|TF21^残根・根面板ほか・C 4 ^JDAS0003|T4|01^残根・根面板ほか・C 4
 ^JDASTF21|||||F
 OBX|0044|CWE|TF24^義歯 (人工歯あり)・D e n ^JDAS0003|T4|01^義歯 (人工歯あり)・
 D e n ^JDASTF24|||||F
 OBX|0045|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T5|1044^右側下顎第 1 小臼歯
 ^JDASTB02|||||F
 OBX|0046|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T5|0^現存歯^JDASTB03|||||F
 OBX|0047|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T5|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
 OBX|0048|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T5|01^現在歯【現在歯/】(状態不明) *
 ^JDASTD02|||||F
 OBX|0049|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T5|01^/ (現在歯、または健全歯)
 ^JDASTD03|||||F
 OBX|0050|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T5|01^生活歯^JDASTP03|||||F
 OBX|0051|CWE|TP25^レストシート^JDAS0003|T5|01^レストシート等あり
 ^JDASTP25|||||F
 OBX|0052|CWE|TP26^クラスプ^JDAS0003|T5|17^コンビネーション鉤 (二腕鉤・銀色) (コ
 ンビC 1) ^JDASTP26|||||F
 OBX|0053|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T5|01^標準プロ
 ファイル 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F
 OBX|0054|CWE|TF27^歯牙あり (状態不明)・P r e ^JDAS0003|T5|01^歯牙あり (状態不
 明)・P r e ^JDASTF27|||||F
 OBX|0055|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T6|1034^左側下顎第 1 小臼歯
 ^JDASTB02|||||F
 OBX|0056|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T6|0^現存歯^JDASTB03|||||F
 OBX|0057|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T6|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
 OBX|0058|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T6|01^現在歯【現在歯/】(状態不明) *
 ^JDASTD02|||||F
 OBX|0059|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T6|01^/ (現在歯、または健全歯)
 ^JDASTD03|||||F
 OBX|0060|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T6|01^生活歯^JDASTP03|||||F
 OBX|0061|CWE|TP25^レストシート^JDAS0003|T6|01^レストシート等あり
 ^JDASTP25|||||F
 OBX|0062|CWE|TP26^クラスプ^JDAS0003|T6|02^鑄造鉤 (双子鉤・銀色) (C 1)
 ^JDASTP26|||||F
 OBX|0063|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T6|01^標準プロ
 ファイル 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F
 OBX|0064|CWE|TF27^歯牙あり (状態不明)・P r e ^JDAS0003|T6|01^歯牙あり (状態不
 明)・P r e ^JDASTF27|||||F
 OBX|0065|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T7|1035^左側下顎第 2 小臼歯
 ^JDASTB02|||||F
 OBX|0066|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T7|0^現存歯^JDASTB03|||||F
 OBX|0067|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T7|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
 OBX|0068|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T7|01^現在歯【現在歯/】(状態不明) *
 ^JDASTD02|||||F
 OBX|0069|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T7|01^/ (現在歯、または健全歯)
 ^JDASTD03|||||F
 OBX|0070|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T7|01^生活歯^JDASTP03|||||F
 OBX|0071|CWE|TP25^レストシート^JDAS0003|T7|01^レストシート等あり
 ^JDASTP25|||||F
 OBX|0072|CWE|TP26^クラスプ^JDAS0003|T7|02^鑄造鉤 (双子鉤・銀色) (C 1)
 ^JDASTP26|||||F

OBX|0073|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T7|01^標準プロ
ファイル 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F
OBX|0074|CWE|TF27^歯牙あり (状態不明)・P r e ^JDAS0003|T7|01^歯牙あり (状態不
明)・P r e ^JDASTF27|||||F

■ 記載例 1 3

————健全歯 4 3 1 2 4	傷病名コード 9999999	傷病名基本名称 9999999	歯科傷病名省略名称 9999999
------------------------	-------------------	--------------------	----------------------



【対応困難な内容】

通番	事例	歯番	A社	B社	C社
14	例 13	対象 全て	内部処理上、健全歯の条件に問題がある。 現存する歯（現在歯）の情報を明確に登録する必要がある	健全歯 入力不可	（上下顎 7～7 の初期値が「健全歯」）

【CSV 形式データ模範例】

ON,,,,,02,XX,〇〇診療所,1234567,03-1234-5678,90,歯科,,,,,
 PN,12345678,XYZ,22345678,01,13,,,20170301,日歯太郎,01,19600101,,,,,
 NS,01,20150401,20170301,,,,,
 TB,1044,0,0,,,,,
 TD,02,01,,,,,
 TP,,01

TE,,,,,01,20170222,,,,
 TF,01,,01,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
 TB,1043,0,0,,,,,
 TD,02,01,,,,,
 TP,,01
 TE,,,,,01,20170222,,,,
 TF,01,,01,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
 TB,1031,0,0,,,,,
 TD,02,01,,,,,
 TP,,01
 TE,,,,,01,20170222,,,,
 TF,01,,01,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
 TB,1032,0,0,,,,,
 TD,02,01,,,,,
 TP,,01
 TE,,,,,01,20170222,,,,
 TF,01,,01,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
 TB,1034,0,0,,,,,
 TD,02,01,,,,,
 TP,,01
 TE,,,,,01,20170222,,,,
 TF,01,,01,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
 DT,20170303,170303,20170303,170303,,,,,,

【HL7 形式データ出力例】

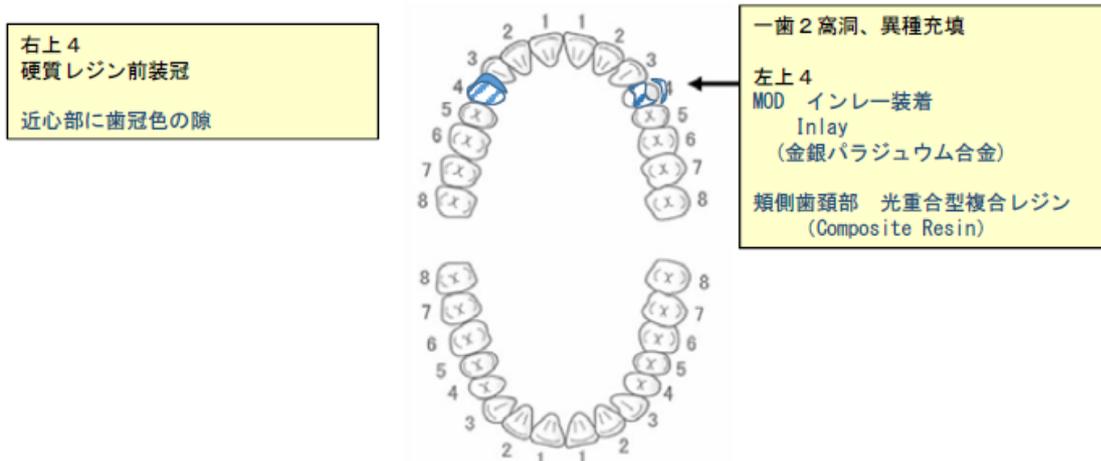
MSH|^~\&|SV2HL7|HIS|GW|GW|20170328112221||ORU^R01^ORU_R01|201703031
 70303|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-1994
 PID|0001||000013^^^^PI||日齒太郎^^^^^L^I||19600101|M
 PV1|0001|O|||||||90
 ORC|NW|||||||90^歯科^HL70069||||〇〇診療所
 ^^^^^^^^1234567|^^^^^^XX|^^^^^^^03-1234-5678
 OBR|0001|||01^初診時口腔診査^JDASNS02|||20150401|20170301
 TQ1|0001|||||20150401|20170301
 OBX|0001|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T1|1044^右側下顎第1小臼歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0002|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T1|0^現存歯
 ^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0003|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T1|0^部分指定なし
 ^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0004|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T1|02^現在歯【健全歯／】(治療痕なし)
 *^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0005|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T1|01^／(現在歯、または健全歯)
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0006|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T1|01^生活歯
 ^JDASTP03|||||F|||20170222
 OBX|0007|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T1|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0008|CWE|TF02^標準プロファイル26項目の情報の有無^JDAS0003|T1|01^標準プロ
 ファイル26項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0009|CWE|TF04^健全歯・S o u ^JDAS0003|T1|01^健全歯・S o u
 ^JDASTF04|||||F|||20170222
 OBX|0010|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T2|1043^右側下顎犬歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222

OBX|0011|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T2|0^現存歯
 ^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0012|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T2|0^部分指定なし
 ^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0013|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T2|02^現在歯【健全歯／】(治療痕なし)
 *^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0014|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T2|01^／(現在歯、または健全歯)
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0015|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T2|01^生活歯
 ^JDASTP03|||||F|||20170222
 OBX|0016|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T2|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0017|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T2|01^標準プロ
 ファイル 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0018|CWE|TF04^健全歯・S o u^JDAS0003|T2|01^健全歯・S o u
 ^JDASTF04|||||F|||20170222
 OBX|0019|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T3|1031^左側下顎中切歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0020|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T3|0^現存歯
 ^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0021|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T3|0^部分指定なし
 ^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0022|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T3|02^現在歯【健全歯／】(治療痕なし)
 *^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0023|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T3|01^／(現在歯、または健全歯)
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0024|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T3|01^生活歯
 ^JDASTP03|||||F|||20170222
 OBX|0025|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T3|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0026|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T3|01^標準プロ
 ファイル 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0027|CWE|TF04^健全歯・S o u^JDAS0003|T3|01^健全歯・S o u
 ^JDASTF04|||||F|||20170222
 OBX|0028|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T4|1032^左側下顎側切歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0029|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T4|0^現存歯
 ^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0030|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T4|0^部分指定なし
 ^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0031|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T4|02^現在歯【健全歯／】(治療痕なし)
 *^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0032|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T4|01^／(現在歯、または健全歯)
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0033|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T4|01^生活歯
 ^JDASTP03|||||F|||20170222
 OBX|0034|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T4|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0035|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T4|01^標準プロ
 ファイル 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0036|CWE|TF04^健全歯・S o u^JDAS0003|T4|01^健全歯・S o u
 ^JDASTF04|||||F|||20170222
 OBX|0037|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T5|1034^左側下顎第 1 小白歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222

OBX|0038|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T5|0^現存歯
^JDASTB03|||||F|||20170222
OBX|0039|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T5|0^部分指定なし
^JDASTB04|||||F|||20170222
OBX|0040|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T5|02^現在歯【健全歯／】（治療痕なし）
*^JDASTD02|||||F|||20170222
OBX|0041|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T5|01^／（現在歯、または健全歯）
^JDASTD03|||||F|||20170222
OBX|0042|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T5|01^生活歯
^JDASTP03|||||F|||20170222
OBX|0043|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T5|01^初診時口腔診査
^JDASTE07|||||F|||20170222
OBX|0044|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T5|01^標準プロ
ファイル 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
OBX|0045|CWE|TF04^健全歯・S o u^JDAS0003|T5|01^健全歯・S o u
^JDASTF04|||||F|||20170222

■ 記載例 14

	傷病名コード	傷病名基本名称	歯科傷病名省略名称
┌ 4 C	8830787	う蝕症1度	C
└ 4 WSD	8845787	歯質くさび状欠損	
4 3 ┘	5243034	空隙歯列弓	



【対応困難な内容】

通番	事例	歯番	A社	B社	C社
15	例 14	1024	歯冠、歯頸部の区別が内部情報として持っていないため、出力することが容易ではない	インレー装着後に歯頸部に光重合型レジン充填→光重合レジン充填の情報のみ抽出 歯頸部に光重合レジン充填後にインレー装着→インレーの情報のみ抽出	
16	例 14	1014	隙の取扱い	近心部に歯冠色隙 入力不可 硬質レジン前装冠 前歯部以外への前装冠入力不可	「フテキ」の口腔管理なしのため。(硬質レジンジャケット冠にて処置済みとなる)

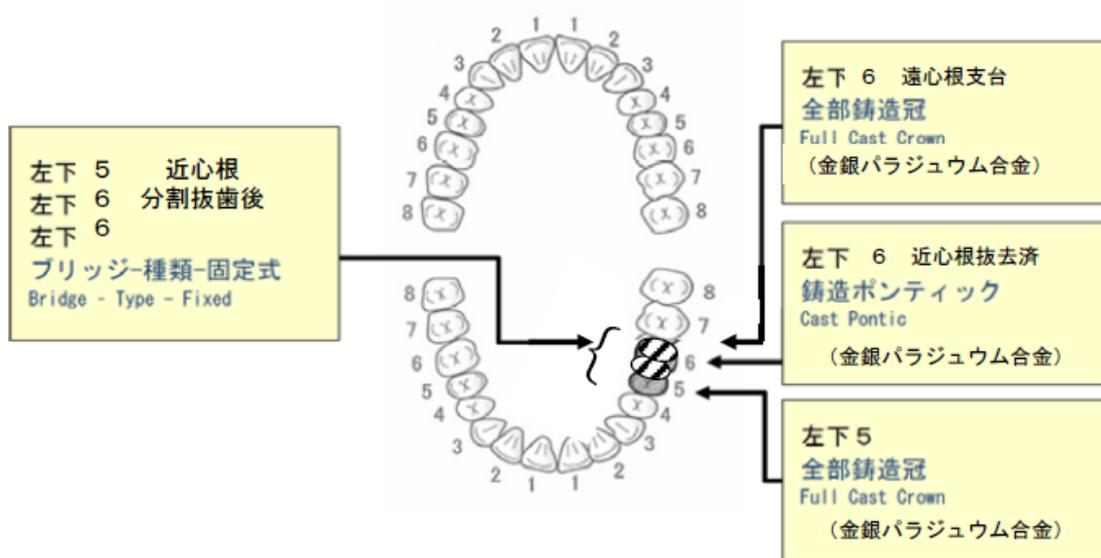
【CSV 形式データ模範例】

ON,,,,02,XX,〇〇診療所,1234567,03-1234-5678,90,歯科,,,,,
 PN,12345678,XYZ,22345678,01,14,,20170301,日歯太郎,01,19600101,,,,,
 NS,01,20150401,20170301,,,,,
 TB,1014,0,0,2,,,,,
 TD,10,03,,,,,
 TP,,02,,,,,,06,,,,,,
 TE,,,,,01,20170222,,,,,

C) *^JDASTP21|||||F|||20170222
 OBX|0020|CWE|TE07^ 該 当 歯 入 力 種 別 ^JDAS0003|T2|01^ 初 診 時 口 腔 診 査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0021|CWE|TF02^ 標 準 プ ロ フ ァ イ ル 26 項 目 の 情 報 の 有 無 ^JDAS0003|T2|01^ 標 準 プ ロ フ ァ イ ル
 26 項 目 の 情 報 あり ^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0022|CWE|TF17^ 前 装 冠 (H R 、 M B ほ か) ・ H R ^JDAS0003|T2|01^ 前 装 冠 (H R 、 M B ほ か) ・
 H R ^JDASTF17|||||F|||20170222
 OBX|0023|CWE|TB02^ 歯 種 コ ー ド ^JDAS0003|T3|1024^ 左 側 上 顎 第 1 小 白 歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0024|CWE|TB03^ 状 態 コ ー ド ^JDAS0003|T3|0^ 現 存 歯 ^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0025|CWE|TB04^ 部 分 コ ー ド ^JDAS0003|T3|0^ 部 分 指 定 な し ^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0026|CWE|TD02^ 歯 の 基 本 状 態 ^JDAS0003|T3|10^ 現 在 歯 【 処 置 歯 ○ 】
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0027|CWE|TD03^ 歯 科 健 診 記 号 ^JDAS0003|T3|03^ ○ (処 置 歯) ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0028|CWE|TP03^ 生 活 歯 ・ 失 活 歯 ^JDAS0003|T3|01^ 生 活 歯 ^JDASTP03|||||F|||20170222
 OBX|0029|CWE|TP11^ 処 置 歯 (部 分 修 復) ^JDAS0003|T3|10^ 部 分 修 復 ・ 複 雑 窩 洞 (金 属 イ ン レ ー ・
 銀 色) (I n) * ^JDASTP11|||||F|||20170222
 OBX|0030|CWE|TP12^ 窩 洞 形 態 ^JDAS0003|T3|04^ 複 雑 窩 洞 (イ ン レ ー)
 ^JDASTP12|||||F|||20170222
 OBX|0031|CWE|TP13^ 歯 面 (切 端 ・ 咬 合 面 I O *) ^JDAS0003|T3|01^ 切 端 ・ 咬 合 面 I O
 * ^JDASTP13|||||F|||20170222
 OBX|0032|CWE|TP16^ 歯 面 (近 心 面 M *) ^JDAS0003|T3|01^ 近 心 面 M * ^JDASTP16|||||F|||20170222
 OBX|0033|CWE|TP17^ 歯 面 (遠 心 面 D *) ^JDAS0003|T3|01^ 遠 心 面 D * ^JDASTP17|||||F|||20170222
 OBX|0034|CWE|TP18^ 歯 の 主 な 部 位 (歯 冠 部) ^JDAS0003|T3|01^ 歯 冠 部
 ^JDASTP18|||||F|||20170222
 OBX|0035|CWE|TP03^ 生 活 歯 ・ 失 活 歯 ^JDAS0003|T3|01^ 生 活 歯 ^JDASTP03|||||F|||20170222
 OBX|0036|CWE|TP11^ 処 置 歯 (部 分 修 復) ^JDAS0003|T3|01^ 部 分 修 復 ・ 単 純 窩 洞 (歯 冠 色 充 填) (C
 F 、 R F 、 G C F) * ^JDASTP11|||||F|||20170222
 OBX|0037|CWE|TP12^ 窩 洞 形 態 ^JDAS0003|T3|01^ 単 純 窩 洞 (充 填) ^JDASTP12|||||F|||20170222
 OBX|0038|CWE|TP14^ 歯 面 (唇 側 面 ・ 頬 側 面 B *) ^JDAS0003|T3|01^ 唇 側 面 ・ 頬 側 面 B
 * ^JDASTP14|||||F|||20170222
 OBX|0039|CWE|TP19^ 歯 の 主 な 部 位 (歯 頸 部) ^JDAS0003|T3|01^ 歯 頸 部
 ^JDASTP19|||||F|||20170222
 OBX|0040|CWE|TE07^ 該 当 歯 入 力 種 別 ^JDAS0003|T3|01^ 初 診 時 口 腔 診 査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0041|CWE|TF02^ 標 準 プ ロ フ ァ イ ル 26 項 目 の 情 報 の 有 無 ^JDAS0003|T3|01^ 標 準 プ ロ フ ァ イ ル
 26 項 目 の 情 報 あり ^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0042|CWE|TF07^ C R 充 填 ・ セ メ ン ト 充 填 ・ C R ^JDAS0003|T3|01^ C R 充 填 ・ セ メ ン ト 充 填 ・
 C R ^JDASTF07|||||F|||20170222
 OBX|0043|CWE|TF08^ イ ン レ ー 、 ア ン レ ー 、 3 / 4 冠 、 4 / 5 冠 金 属 色 ・ I n ^JDAS0003|T3|01^ イ
 ン レ ー 、 ア ン レ ー 、 3 / 4 冠 、 4 / 5 冠 金 属 色 ・ I n ^JDASTF08|||||F|||20170222
 OBX|0044|CWE|TF11^ 切 端 ・ 咬 合 面 ・ I O ^JDAS0003|T3|01^ 切 端 ・ 咬 合 面 ・ I O
 ^JDASTF11|||||F|||20170222
 OBX|0045|CWE|TF12^ 唇 側 面 ・ 頬 側 面 ・ B ^JDAS0003|T3|01^ 唇 側 面 ・ 頬 側 面 ・ B
 ^JDASTF12|||||F|||20170222
 OBX|0046|CWE|TF14^ 近 心 面 ・ M ^JDAS0003|T3|01^ 近 心 面 ・ M ^JDASTF14|||||F|||20170222
 OBX|0047|CWE|TF15^ 遠 心 面 ・ D ^JDAS0003|T3|01^ 遠 心 面 ・ D ^JDASTF15|||||F|||20170222

■ 記載例 15

⑤⑥MTブリッジ	傷病名コード 8844172	傷病名基本名称 欠損歯・ブリッジ	歯科傷病名省略名称 MTブリッジ
----------	-------------------	---------------------	---------------------



【対応困難な内容】

通番	事例	歯番	A社	B社	C社
	例 15		可	可	可

【CSV 形式データ模範例】

ON,,,,02,XX,〇〇診療所,1234567,03-1234-5678,90,歯科,,,,,
 PN,12345678,XYZ,22345678,01,15,,20170301,日歯太郎,01,19600101,,,,,
 NS,01,20150401,20170301,,,,,
 TB,1035,3,0,,,,,
 TD,10,03,,,,,
 TP,,,,,,01,,02,01,,,,,,
 TE,,,,,01,20170222,,,,,
 TF,01,,,,,,01,,01,,,,,,
 TB,1036,2,8,2,,,,,
 TD,60,05,,,,,
 TP,,,,,08,,,,,,
 TM,01,01,,,,,,
 TE,,,,,01,20170222,,,,,
 TF,01,,,,,,01,,01,,,,,,
 TB,1036,4,7,,,,,
 TD,10,03,,,,,
 TP,,02,,07,,,,,,01,,01,,02,01,,,,,,
 TE,,,,,01,20170222,,,,,
 TF,01,,,,,,01,,,,,,

DT, 20170303, 170303, 20170303, 170303, , , , , , , ,

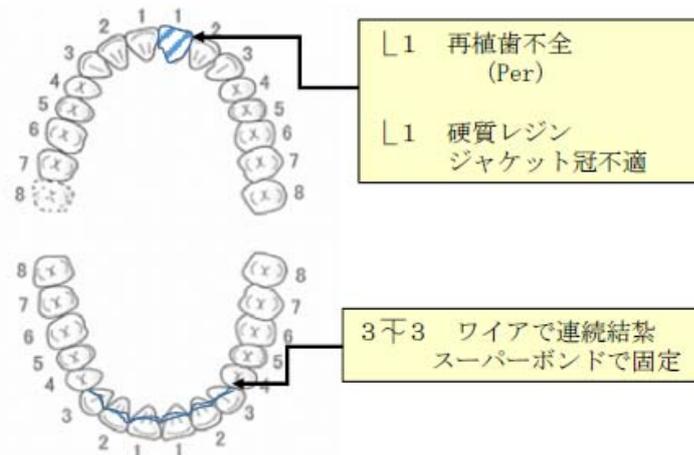
【HL7 形式データ出力例】

MSH|^~\&|SV2HL7|HIS|GW|GW|20170328112221||ORU^R01^ORU_R01|20170303170303|P|2.5|||||^I
SO IR87||ISO 2022-1994
PID|0001||000015^^^PI||日齒太郎^^^^^L^I||19600101|M
PV1|0001|0|||||||90
ORC|NW|||||||||||||90^ 歯 科 ^HL70069|||| | O O 診 療 所
^^^^^^^^1234567|^^^^^^^^XX|^^^^^^^^03-1234-5678
OBR|0001||01^初診時口腔診査^JDASNS02|||20150401|20170301
TQ1|0001|||20150401|20170301
OBX|0001|CWE|TB02^ 歯 種 コ ー ド ^JDAS0003|T1|1035^ 左 側 下 顎 第 2 小 白 歯
^JDASTB02|||||F|||20170222
OBX|0002|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T1|3^支台歯^JDASTB03|||||F|||20170222
OBX|0003|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T1|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222
OBX|0004|CWE|TD02^ 歯 の 基 本 状 態 ^JDAS0003|T1|10^ 現 在 歯 【 処 置 歯 O 】
^JDASTD02|||||F|||20170222
OBX|0005|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T1|03^O (処置歯)^JDASTD03|||||F|||20170222
OBX|0006|CWE|TP21^処置歯 (全部修復)^JDAS0003|T1|01^全部修復 (全部金属冠・銀色) (FMC)
*^JDASTP21|||||F|||20170222
OBX|0007|CWE|TP23^ 連 結 冠 ・ ブ リ ッ ジ 支 台 歯 ^JDAS0003|T1|02^ ブ リ ッ ジ 支 台 歯
*^JDASTP23|||||F|||20170222
OBX|0008|CWE|TP24^ 連 結 冠 ・ ブ リ ッ ジ 番 号 ^JDAS0003|T1|01^ 同 顎 1 装 置 目 (固 定 性)
^JDASTP24|||||F|||20170222
OBX|0009|CWE|TE07^ 該 当 歯 入 力 種 別 ^JDAS0003|T1|01^ 初 診 時 口 腔 診 査
^JDASTE07|||||F|||20170222
OBX|0010|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T1|01^標準プロファイル
26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
OBX|0011|CWE|TF16^全部金属冠 (FMCほか)・FMC^JDAS0003|T1|01^全部金属冠 (FMCほ
か)・FMC^JDASTF16|||||F|||20170222
OBX|0012|CWE|TF19^支台歯 (インプラントも可)・A b u ^JDAS0003|T1|01^支台歯 (インプラント
も可)・A b u ^JDASTF19|||||F|||20170222
OBX|0013|CWE|TB02^ 歯 種 コ ー ド ^JDAS0003|T2|1036^ 左 側 下 顎 第 1 大 白 歯
^JDASTB02|||||F|||20170222
OBX|0014|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T2|2^欠損歯^JDASTB03|||||F|||20170222
OBX|0015|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T2|8^近心根^JDASTB04|||||F|||20170222
OBX|0016|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T2|60^欠損歯【喪失歯 (欠損補綴歯・ポンティック)
(△)】*^JDASTD02|||||F|||20170222
OBX|0017|CWE|TD03^ 歯 科 健 診 記 号 ^JDAS0003|T2|05^ (△) (欠 損 補 綴 歯)
^JDASTD03|||||F|||20170222
OBX|0018|CWE|TP06^歯根の分割^JDAS0003|T2|08^近心根^JDASTP06|||||F|||20170222
OBX|0019|CWE|TM02^ポンティック^JDAS0003|T2|01^ポンティック (鋳造ポンティック・銀色) (P
o n) *^JDASTM02|||||F|||20170222
OBX|0020|CWE|TM03^ ブ リ ッ ジ 番 号 ^JDAS0003|T2|01^ 同 顎 1 装 置 目 (固 定 性)
^JDASTM03|||||F|||20170222
OBX|0021|CWE|TE07^ 該 当 歯 入 力 種 別 ^JDAS0003|T2|01^ 初 診 時 口 腔 診 査
^JDASTE07|||||F|||20170222
OBX|0022|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T2|01^標準プロファイル
26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
OBX|0023|CWE|TF16^全部金属冠 (FMCほか)・FMC^JDAS0003|T2|01^全部金属冠 (FMCほ
か)・FMC^JDASTF16|||||F|||20170222
OBX|0024|CWE|TF20^ ポ ン テ ィ ッ ク ・ P o n ^JDAS0003|T2|01^ ポ ン テ ィ ッ ク ・ P o n
^JDASTF20|||||F|||20170222

OBX|0025|CWE|TB02^ 歯種コード ^JDAS0003|T3|1036^ 左側下顎第1大臼歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0026|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T3|4^分割抜歯支台(根)^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0027|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T3|7^遠心根^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0028|CWE|TD02^ 歯の基本状態 ^JDAS0003|T3|10^ 現在歯【処置歯○】
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0029|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T3|03^○(処置歯)^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0030|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T3|02^失活歯(根管充填歯、う蝕処置済み歯、残
 根・C4等)^JDASTP03|||||F|||20170222
 OBX|0031|CWE|TP06^歯根の分割^JDAS0003|T3|07^遠心根^JDASTP06|||||F|||20170222
 OBX|0032|CWE|TP18^ 歯の主な部位(歯冠部)^JDAS0003|T3|01^ 歯冠部
 ^JDASTP18|||||F|||20170222
 OBX|0033|CWE|TP21^処置歯(全部修復)^JDAS0003|T3|01^全部修復(全部金属冠・銀色)(FMC)
 *^JDASTP21|||||F|||20170222
 OBX|0034|CWE|TP23^ 連結冠・ブリッジ支台歯^JDAS0003|T3|02^ブリッジ支台歯
 *^JDASTP23|||||F|||20170222
 OBX|0035|CWE|TP24^ 連結冠・ブリッジ番号^JDAS0003|T3|01^同顎1装置目(固定性)
 ^JDASTP24|||||F|||20170222
 OBX|0036|CWE|TE07^ 該当歯入力種別 ^JDAS0003|T3|01^ 初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0037|CWE|TF02^標準プロファイル 26項目の情報の有無^JDAS0003|T3|01^標準プロファイル
 26項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0038|CWE|TF19^支台歯(インプラントも可)・A b u^JDAS0003|T3|01^支台歯(インプラント
 も可)・A b u^JDASTF19|||||F|||20170222

■ 記載例 16

	傷病名コード	傷病名基本名称	歯科傷病名省略名称
└1 Per	8843336	再植歯不全	
└1 冠不適	8843873	硬質レジンジャケット冠不適	
2下2 歯槽骨骨折	8028009	歯槽骨骨折	



【対応困難な内容】

通番	事例	歯番	A社	B社	C社
17	例16	1021	歯番は登録されているが、歯の状態の登録が上手くできていなかった	再植歯不全 マスタに該当病名なしの為、入力不可	可
18	例16	1043 1033	未処置歯、処置歯、健全歯の判断が上手くできていない		口腔管理なしのため。暫間固定 (T-Fix)

【CSV形式データ模範例】

ON,,,,02,XX,〇〇診療所,1234567,03-1234-5678,90,歯科,,,,,
 PN,12345678,XYZ,22345678,01,16,,20170301,日歯太郎,01,19600101,,,,,
 NS,01,20150401,20170301,,,,,
 TB,1021,0,0,,,,,
 TD,10,03,,,,,
 TP,,02,,,,,,06,,,,,
 TE,,,,,01,20170222,,,,,
 TF,01,,,,,,01,,,,,
 TB,1043,0,0,,,,,
 TD,02,01,,,,,
 TP,,01,,,,,,01,,,,,
 TE,,,,,01,20170222,,,,,
 TF,01,,,,,,01,,,,,
 TB,1042,0,0,,,,,
 TD,02,01,,,,,

TP,,01,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,01,,,,,,,,,,
 TE,,,,,01,20170222,,,,,
 TF,01,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,01,,,,,
 TB,1041,0,0,,,,,
 TD,02,01,,,,,
 TP,,01,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,01,,,,,,,,,,
 TE,,,,,01,20170222,,,,,
 TF,01,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,01,,,,,
 TB,1031,0,0,,,,,
 TD,02,01,,,,,
 TP,,01,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,01,,,,,,,,,,
 TE,,,,,01,20170222,,,,,
 TF,01,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,01,,,,,
 TB,1032,0,0,,,,,
 TD,02,01,,,,,
 TP,,01,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,01,,,,,,,,,,
 TE,,,,,01,20170222,,,,,
 TF,01,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,01,,,,,
 TB,1033,0,0,,,,,
 TD,02,01,,,,,
 TP,,01,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,01,,,,,,,,,,
 TE,,,,,01,20170222,,,,,
 TF,01,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,01,,,,,
 DT,20170303,170303,20170303,170303,,,,,,

【HL7 形式データ出力例】

MSH|^~\&|SV2HL7|HIS|GW|GW|20170328112221||ORU^R01^ORU_R01|20170303170303|P|2.5|||||~I
 SO IR87||ISO 2022-1994
 PID|0001||000016^^^PI||日歯太郎^^^^L^I||19600101|M
 PV1|0001|O|||||||90
 ORC|NW||||||||||90^ 歯 科 ^HL70069|||| 〇 〇 診 療 所
 ^1234567|^XX|^03-1234-5678
 OBR|0001|||01^初診時口腔診査^JDASNS02|||20150401|20170301
 TQ1|0001|||20150401|20170301
 OBX|0001|CWE|TB02^ 歯 種 コ ー ド ^JDAS0003|T1|1021^ 左 側 上 顎 中 切 歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0002|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T1|0^現存歯^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0003|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T1|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0004|CWE|TD02^ 歯 の 基 本 状 態 ^JDAS0003|T1|10^ 現 在 歯 【 処 置 歯 〇 】
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0005|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T1|03^〇 (処置歯)^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0006|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T1|02^失活歯 (根管充填歯、う蝕処置済み歯、残
 根・C4等)^JDASTP03|||||F|||20170222
 OBX|0007|CWE|TP21^処置歯 (全部修復)^JDAS0003|T1|06^全部修復 (前装金属冠・銀色) (前装M
 C)*^JDASTP21|||||F|||20170222
 OBX|0008|CWE|TE07^ 該 当 歯 入 力 種 別 ^JDAS0003|T1|01^ 初 診 時 口 腔 診 査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0009|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T1|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0010|CWE|TF17^前装冠 (HR、MBほか)・HR^JDAS0003|T1|01^前装冠 (HR、MBほか)・
 HR^JDASTF17|||||F|||20170222
 OBX|0011|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T2|1043^右側下顎犬歯^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0012|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T2|0^現存歯^JDASTB03|||||F|||20170222

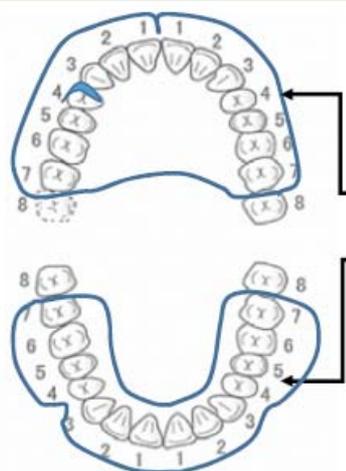
OBX|0013|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T2|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0014|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T2|02^現在歯【健全歯／】（治療痕なし）*
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0015|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T2|01^／（現在歯、または健全歯）
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0016|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T2|01^生活歯^JDASTP03|||||F|||20170222
 OBX|0017|CWE|TP28^暫間固定^JDAS0003|T2|01^暫間固定 (TFix)^JDASTP28|||||F|||20170222
 OBX|0018|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T2|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0019|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T2|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0020|CWE|TF27^歯牙あり（状態不明）・P r e^JDAS0003|T2|01^歯牙あり（状態不明）・P r
 e^JDASTF27|||||F|||20170222
 OBX|0021|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T3|1042^右側下顎側切歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0022|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T3|0^現存歯^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0023|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T3|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0024|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T3|02^現在歯【健全歯／】（治療痕なし）*
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0025|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T3|01^／（現在歯、または健全歯）
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0026|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T3|01^生活歯^JDASTP03|||||F|||20170222
 OBX|0027|CWE|TP28^暫間固定^JDAS0003|T3|01^暫間固定 (TFix)^JDASTP28|||||F|||20170222
 OBX|0028|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T3|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0029|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T3|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0030|CWE|TF27^歯牙あり（状態不明）・P r e^JDAS0003|T3|01^歯牙あり（状態不明）・P r
 e^JDASTF27|||||F|||20170222
 OBX|0031|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T4|1041^右側下顎中切歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0032|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T4|0^現存歯^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0033|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T4|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0034|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T4|02^現在歯【健全歯／】（治療痕なし）*
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0035|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T4|01^／（現在歯、または健全歯）
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0036|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T4|01^生活歯^JDASTP03|||||F|||20170222
 OBX|0037|CWE|TP28^暫間固定^JDAS0003|T4|01^暫間固定 (TFix)^JDASTP28|||||F|||20170222
 OBX|0038|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T4|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0039|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T4|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0040|CWE|TF27^歯牙あり（状態不明）・P r e^JDAS0003|T4|01^歯牙あり（状態不明）・P r
 e^JDASTF27|||||F|||20170222
 OBX|0041|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T5|1031^左側下顎中切歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0042|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T5|0^現存歯^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0043|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T5|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0044|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T5|02^現在歯【健全歯／】（治療痕なし）*
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0045|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T5|01^／（現在歯、または健全歯）
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0046|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T5|01^生活歯^JDASTP03|||||F|||20170222

OBX|0047|CWE|TP28^暫間固定^JDAS0003|T5|01^暫間固定 (TFix) ^JDASTP28|||||F|||20170222
 OBX|0048|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T5|01^初診時口腔診査^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0049|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T5|01^標準プロファイル 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0050|CWE|TF27^歯牙あり (状態不明)・Pre^JDAS0003|T5|01^歯牙あり (状態不明)・Pre^JDASTF27|||||F|||20170222
 OBX|0051|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T6|1032^左側下顎側切歯^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0052|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T6|0^現存歯^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0053|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T6|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0054|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T6|02^現在歯【健全歯／】(治療痕なし)*^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0055|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T6|01^／(現在歯、または健全歯)^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0056|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T6|01^生活歯^JDASTP03|||||F|||20170222
 OBX|0057|CWE|TP28^暫間固定^JDAS0003|T6|01^暫間固定 (TFix) ^JDASTP28|||||F|||20170222
 OBX|0058|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T6|01^初診時口腔診査^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0059|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T6|01^標準プロファイル 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0060|CWE|TF27^歯牙あり (状態不明)・Pre^JDAS0003|T6|01^歯牙あり (状態不明)・Pre^JDASTF27|||||F|||20170222
 OBX|0061|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T7|1033^左側下顎犬歯^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0062|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T7|0^現存歯^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0063|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T7|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0064|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T7|02^現在歯【健全歯／】(治療痕なし)*^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0065|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T7|01^／(現在歯、または健全歯)^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0066|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T7|01^生活歯^JDASTP03|||||F|||20170222
 OBX|0067|CWE|TP28^暫間固定^JDAS0003|T7|01^暫間固定 (TFix) ^JDASTP28|||||F|||20170222
 OBX|0068|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T7|01^初診時口腔診査^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0069|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T7|01^標準プロファイル 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0070|CWE|TF27^歯牙あり (状態不明)・Pre^JDAS0003|T7|01^歯牙あり (状態不明)・Pre^JDASTF27|||||F|||20170222

■ 記載例 17

	傷病名コード	傷病名基本名称	歯科傷病名省略名称
7±7	5350001	MT	
7𠄎7	5250001	MT	

右上4
人工歯の近心部に歯冠色の隙



7±7 総義歯
(金床)

7𠄎7 総義歯
(レジン床)

【対応困難な内容】

通番	事例	歯番	A社	B社	C社
19	例 17	上顎	レコードが出ていない	上顎 7~7 総義歯 (金床) 自費の為、入力不可	
20	例 17	1014	隙の取扱い	右上 4 人工歯の近心部に歯冠色の隙 入力不可	

【CSV 形式データ模範例】

```
ON,,,,,02,XX,〇〇診療所,1234567,03-1234-5678,90,歯科,,,,,
PN,12345678,XYZ,22345678,01,17,,,20170301,日歯太郎,01,19600101,,,,,
NS,01,20150401,20170301,,,,,
TB,1017,2,0,,,,,
TD,50,05,,,,,
TM,,,13,,01,,,,,,,
TE,,,,,,01,20170222,,,,,
TF,01,,,,,,01
TB,1016,2,0,,,,,
TD,50,05,,,,,
TM,,,13,,01,,,,,,,
TE,,,,,,01,20170222,,,,,
TF,01,,,,,,01
TB,1015,2,0,,,,,
TD,50,05,,,,,
```

TM,,13,01,,,,,
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,01,,,,,01
TB,1014,2,0,2,,,,,
TD,50,05,,,,,
TM,,13,01,,,,,
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,01,,,,,01
TB,1014,2,8,,,,,
TD,59,05,,,,,
TM,,13,01,01,,,,,
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,01,,,,,01
TB,1013,2,0,,,,,
TD,50,05,,,,,
TM,,13,01,,,,,
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,01,,,,,01
TB,1012,2,0,,,,,
TD,50,05,,,,,
TM,,13,01,,,,,
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,01,,,,,01
TB,1011,2,0,,,,,
TD,50,05,,,,,
TM,,13,01,,,,,
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,01,,,,,01
TB,1021,2,0,,,,,
TD,50,05,,,,,
TM,,13,01,,,,,
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,01,,,,,01
TB,1022,2,0,,,,,
TD,50,05,,,,,
TM,,13,01,,,,,
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,01,,,,,01
TB,1023,2,0,,,,,
TD,50,05,,,,,
TM,,13,01,,,,,
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,01,,,,,01
TB,1024,2,0,,,,,
TD,50,05,,,,,
TM,,13,01,,,,,
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,01,,,,,01
TB,1025,2,0,,,,,
TD,50,05,,,,,
TM,,13,01,,,,,
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,01,,,,,01
TB,1026,2,0,,,,,

TD,50,05,,,,,
TM,,13,,01,,,,,
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,01,,,,,01
TB,1027,2,0,,,,,
TD,50,05,,,,,
TM,,13,,01,,,,,
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,01,,,,,01
TB,1047,2,0,,,,,
TD,50,05,,,,,
TM,,09,,01,,,,,
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,01,,,,,01
TB,1046,2,0,,,,,
TD,50,05,,,,,
TM,,09,,01,,,,,
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,01,,,,,01
TB,1045,2,0,,,,,
TD,50,05,,,,,
TM,,09,,01,,,,,
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,01,,,,,01
TB,1044,2,0,,,,,
TD,50,05,,,,,
TM,,09,,01,,,,,
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,01,,,,,01
TB,1043,2,0,,,,,
TD,50,05,,,,,
TM,,09,,01,,,,,
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,01,,,,,01
TB,1042,2,0,,,,,
TD,50,05,,,,,
TM,,09,,01,,,,,
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,01,,,,,01
TB,1041,2,0,,,,,
TD,50,05,,,,,
TM,,09,,01,,,,,
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,01,,,,,01
TB,1031,2,0,,,,,
TD,50,05,,,,,
TM,,09,,01,,,,,
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,01,,,,,01
TB,1032,2,0,,,,,
TD,50,05,,,,,
TM,,09,,01,,,,,
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,01,,,,,01

TB,1033,2,0,,,,,
 TD,50,05,,,,,
 TM,,,09,,01,,,,,
 TE,,,,,01,20170222,,,,,
 TF,01,,,,,01
 TB,1034,2,0,,,,,
 TD,50,05,,,,,
 TM,,,09,,01,,,,,
 TE,,,,,01,20170222,,,,,
 TF,01,,,,,01
 TB,1035,2,0,,,,,
 TD,50,05,,,,,
 TM,,,09,,01,,,,,
 TE,,,,,01,20170222,,,,,
 TF,01,,,,,01
 TB,1036,2,0,,,,,
 TD,50,05,,,,,
 TM,,,09,,01,,,,,
 TE,,,,,01,20170222,,,,,
 TF,01,,,,,01
 TB,1037,2,0,,,,,
 TD,50,05,,,,,
 TM,,,09,,01,,,,,
 TE,,,,,01,20170222,,,,,
 TF,01,,,,,01
 DT,20170303,170303,20170303,170303,,,,,

【HL7 形式データ出力例】

```

MSH|^~\&|SV2HL7|HIS|GW|GW|20170328112221||ORU^R01^ORU_R01|20170303170303|P|2.5|||||^I
SO IR87||ISO 2022-1994
PID|0001||000017^^^PI||日齒太郎^^^^^L^I||19600101|M
PV1|0001|0|||||90
ORC|NW|||||90^  齒  科  ^HL70069|||  ○  ○  診  療  所
      ^1234567|^XX|^03-1234-5678
OBR|0001||01^初診時口腔診査^JDASNS02||20150401|20170301
TQ1|0001|||20150401|20170301
OBX|0001|CWE|TB02^齒種コード^JDAS0003|T1|1017^右側上顎第2大臼齒
^JDASTB02||||F||20170222
OBX|0002|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T1|2^欠損齒^JDASTB03||||F||20170222
OBX|0003|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T1|0^部分指定なし^JDASTB04||||F||20170222
OBX|0004|CWE|TD02^齒の基本状態^JDAS0003|T1|50^欠損齒(レセプト表記略称名:MT)*
^JDASTD02||||F||20170222
OBX|0005|CWE|TD03^齒科健診記号^JDAS0003|T1|05^(Δ)(欠損補綴齒)
^JDASTD03||||F||20170222
OBX|0006|CWE|TM04^有床義齒^JDAS0003|T1|13^総義齒(金床)(FD)*
^JDASTM04||||F||20170222
OBX|0007|CWE|TM06^義齒人工齒^JDAS0003|T1|01^レジン齒^JDASTM06||||F||20170222
OBX|0008|CWE|TE07^該當齒入力種別^JDAS0003|T1|01^初診時口腔診査
^JDASTE07||||F||20170222
OBX|0009|CWE|TF02^標準プロファイル26項目の情報の有無^JDAS0003|T1|01^標準プロファイル
26項目の情報あり^JDASTF02||||F||20170222
OBX|0010|CWE|TF24^義齒(人工齒あり)・Den^JDAS0003|T1|01^義齒(人工齒あり)・Den
^JDASTF24||||F||20170222
  
```

OBX|0011|CWE|TB02^ 歯種コード ^JDAS0003|T2|1016^ 右側上顎第1大臼歯
 ^JDASTB02|F|||20170222
 OBX|0012|CWE|TB03^状態コード ^JDAS0003|T2|2^欠損歯 ^JDASTB03|F|||20170222
 OBX|0013|CWE|TB04^部分コード ^JDAS0003|T2|0^部分指定なし ^JDASTB04|F|||20170222
 OBX|0014|CWE|TD02^歯の基本状態 ^JDAS0003|T2|50^欠損歯 (レセプト表記略称名: MT) *
 ^JDASTD02|F|||20170222
 OBX|0015|CWE|TD03^歯科健診記号 ^JDAS0003|T2|05^ (△) (欠損補綴歯)
 ^JDASTD03|F|||20170222
 OBX|0016|CWE|TM04^有床義歯 ^JDAS0003|T2|13^総義歯 (金床) (FD) *
 ^JDASTM04|F|||20170222
 OBX|0017|CWE|TM06^義歯人工歯 ^JDAS0003|T2|01^レジン歯 ^JDASTM06|F|||20170222
 OBX|0018|CWE|TE07^該当歯入力種別 ^JDAS0003|T2|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|F|||20170222
 OBX|0019|CWE|TF02^標準プロファイル 26項目の情報の有無 ^JDAS0003|T2|01^標準プロファイル
 26項目の情報あり ^JDASTF02|F|||20170222
 OBX|0020|CWE|TF24^義歯 (人工歯あり)・Den ^JDAS0003|T2|01^義歯 (人工歯あり)・Den
 ^JDASTF24|F|||20170222
 OBX|0021|CWE|TB02^歯種コード ^JDAS0003|T3|1015^ 右側上顎第2小臼歯
 ^JDASTB02|F|||20170222
 OBX|0022|CWE|TB03^状態コード ^JDAS0003|T3|2^欠損歯 ^JDASTB03|F|||20170222
 OBX|0023|CWE|TB04^部分コード ^JDAS0003|T3|0^部分指定なし ^JDASTB04|F|||20170222
 OBX|0024|CWE|TD02^歯の基本状態 ^JDAS0003|T3|50^欠損歯 (レセプト表記略称名: MT) *
 ^JDASTD02|F|||20170222
 OBX|0025|CWE|TD03^歯科健診記号 ^JDAS0003|T3|05^ (△) (欠損補綴歯)
 ^JDASTD03|F|||20170222
 OBX|0026|CWE|TM04^有床義歯 ^JDAS0003|T3|13^総義歯 (金床) (FD) *
 ^JDASTM04|F|||20170222
 OBX|0027|CWE|TM06^義歯人工歯 ^JDAS0003|T3|01^レジン歯 ^JDASTM06|F|||20170222
 OBX|0028|CWE|TE07^該当歯入力種別 ^JDAS0003|T3|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|F|||20170222
 OBX|0029|CWE|TF02^標準プロファイル 26項目の情報の有無 ^JDAS0003|T3|01^標準プロファイル
 26項目の情報あり ^JDASTF02|F|||20170222
 OBX|0030|CWE|TF24^義歯 (人工歯あり)・Den ^JDAS0003|T3|01^義歯 (人工歯あり)・Den
 ^JDASTF24|F|||20170222
 OBX|0031|CWE|TB02^歯種コード ^JDAS0003|T4|1014^ 右側上顎第1小臼歯
 ^JDASTB02|F|||20170222
 OBX|0032|CWE|TB03^状態コード ^JDAS0003|T4|2^欠損歯 ^JDASTB03|F|||20170222
 OBX|0033|CWE|TB04^部分コード ^JDAS0003|T4|0^部分指定なし ^JDASTB04|F|||20170222
 OBX|0034|CWE|TD02^歯の基本状態 ^JDAS0003|T4|50^欠損歯 (レセプト表記略称名: MT) *
 ^JDASTD02|F|||20170222
 OBX|0035|CWE|TD03^歯科健診記号 ^JDAS0003|T4|05^ (△) (欠損補綴歯)
 ^JDASTD03|F|||20170222
 OBX|0036|CWE|TM04^有床義歯 ^JDAS0003|T4|13^総義歯 (金床) (FD) *
 ^JDASTM04|F|||20170222
 OBX|0037|CWE|TM06^義歯人工歯 ^JDAS0003|T4|01^レジン歯 ^JDASTM06|F|||20170222
 OBX|0038|CWE|TE07^該当歯入力種別 ^JDAS0003|T4|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|F|||20170222
 OBX|0039|CWE|TF02^標準プロファイル 26項目の情報の有無 ^JDAS0003|T4|01^標準プロファイル
 26項目の情報あり ^JDASTF02|F|||20170222
 OBX|0040|CWE|TF24^義歯 (人工歯あり)・Den ^JDAS0003|T4|01^義歯 (人工歯あり)・Den
 ^JDASTF24|F|||20170222
 OBX|0041|CWE|TB02^歯種コード ^JDAS0003|T5|1014^ 右側上顎第1小臼歯
 ^JDASTB02|F|||20170222
 OBX|0042|CWE|TB03^状態コード ^JDAS0003|T5|2^欠損歯 ^JDASTB03|F|||20170222

OBX|0043|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T5|8^近心根^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0044|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T5|59^欠損歯【喪失歯(欠損補綴歯・義歯・人工歯)
 (△)】*^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0045|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T5|05^ (△) (欠 損 補 綴 歯)
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0046|CWE|TM04^有床義歯^JDAS0003|T5|13^総義歯(金床)(FD)*
 ^JDASTM04|||||F|||20170222
 OBX|0047|CWE|TM06^義歯人工歯^JDAS0003|T5|01^レジン歯^JDASTM06|||||F|||20170222
 OBX|0048|CWE|TM07^義歯補綴隙^JDAS0003|T5|01^補綴隙(レジン隙)
 ^JDASTM07|||||F|||20170222
 OBX|0049|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T5|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0050|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T5|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0051|CWE|TF24^義歯(人工歯あり)・Den^JDAS0003|T5|01^義歯(人工歯あり)・Den
 ^JDASTF24|||||F|||20170222
 OBX|0052|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T6|1013^右側上顎犬歯^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0053|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T6|2^欠損歯^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0054|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T6|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0055|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T6|50^欠損歯(レセプト表記略称名:MT)*
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0056|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T6|05^ (△) (欠 損 補 綴 歯)
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0057|CWE|TM04^有床義歯^JDAS0003|T6|13^総義歯(金床)(FD)*
 ^JDASTM04|||||F|||20170222
 OBX|0058|CWE|TM06^義歯人工歯^JDAS0003|T6|01^レジン歯^JDASTM06|||||F|||20170222
 OBX|0059|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T6|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0060|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T6|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0061|CWE|TF24^義歯(人工歯あり)・Den^JDAS0003|T6|01^義歯(人工歯あり)・Den
 ^JDASTF24|||||F|||20170222
 OBX|0062|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T7|1012^右側上顎側切歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0063|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T7|2^欠損歯^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0064|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T7|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0065|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T7|50^欠損歯(レセプト表記略称名:MT)*
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0066|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T7|05^ (△) (欠 損 補 綴 歯)
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0067|CWE|TM04^有床義歯^JDAS0003|T7|13^総義歯(金床)(FD)*
 ^JDASTM04|||||F|||20170222
 OBX|0068|CWE|TM06^義歯人工歯^JDAS0003|T7|01^レジン歯^JDASTM06|||||F|||20170222
 OBX|0069|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T7|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0070|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T7|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0071|CWE|TF24^義歯(人工歯あり)・Den^JDAS0003|T7|01^義歯(人工歯あり)・Den
 ^JDASTF24|||||F|||20170222
 OBX|0072|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T8|1011^右側上顎中切歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0073|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T8|2^欠損歯^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0074|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T8|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0075|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T8|50^欠損歯(レセプト表記略称名:MT)*

^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0076|CWE|TD03^ 歯科健診記号 ^JDAS0003|T8|05^ (△) (欠損補綴歯)
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0077|CWE|TM04^ 有床義歯 ^JDAS0003|T8|13^ 総義歯 (金床) (FD) *
 ^JDASTM04|||||F|||20170222
 OBX|0078|CWE|TM06^ 義歯人工歯 ^JDAS0003|T8|01^ レジン歯 ^JDASTM06|||||F|||20170222
 OBX|0079|CWE|TE07^ 該当歯入力種別 ^JDAS0003|T8|01^ 初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0080|CWE|TF02^ 標準プロファイル 26 項目の情報の有無 ^JDAS0003|T8|01^ 標準プロファイル
 26 項目の情報あり ^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0081|CWE|TF24^ 義歯 (人工歯あり) ・ D e n ^JDAS0003|T8|01^ 義歯 (人工歯あり) ・ D e n
 ^JDASTF24|||||F|||20170222
 OBX|0082|CWE|TB02^ 歯種コード ^JDAS0003|T9|1021^ 左側上顎中切歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0083|CWE|TB03^ 状態コード ^JDAS0003|T9|2^ 欠損歯 ^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0084|CWE|TB04^ 部分コード ^JDAS0003|T9|0^ 部分指定なし ^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0085|CWE|TD02^ 歯の基本状態 ^JDAS0003|T9|50^ 欠損歯 (レセプト表記略称名: MT) *
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0086|CWE|TD03^ 歯科健診記号 ^JDAS0003|T9|05^ (△) (欠損補綴歯)
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0087|CWE|TM04^ 有床義歯 ^JDAS0003|T9|13^ 総義歯 (金床) (FD) *
 ^JDASTM04|||||F|||20170222
 OBX|0088|CWE|TM06^ 義歯人工歯 ^JDAS0003|T9|01^ レジン歯 ^JDASTM06|||||F|||20170222
 OBX|0089|CWE|TE07^ 該当歯入力種別 ^JDAS0003|T9|01^ 初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0090|CWE|TF02^ 標準プロファイル 26 項目の情報の有無 ^JDAS0003|T9|01^ 標準プロファイル
 26 項目の情報あり ^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0091|CWE|TF24^ 義歯 (人工歯あり) ・ D e n ^JDAS0003|T9|01^ 義歯 (人工歯あり) ・ D e n
 ^JDASTF24|||||F|||20170222
 OBX|0092|CWE|TB02^ 歯種コード ^JDAS0003|T10|1022^ 左側上顎側切歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0093|CWE|TB03^ 状態コード ^JDAS0003|T10|2^ 欠損歯 ^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0094|CWE|TB04^ 部分コード ^JDAS0003|T10|0^ 部分指定なし ^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0095|CWE|TD02^ 歯の基本状態 ^JDAS0003|T10|50^ 欠損歯 (レセプト表記略称名: MT) *
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0096|CWE|TD03^ 歯科健診記号 ^JDAS0003|T10|05^ (△) (欠損補綴歯)
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0097|CWE|TM04^ 有床義歯 ^JDAS0003|T10|13^ 総義歯 (金床) (FD) *
 ^JDASTM04|||||F|||20170222
 OBX|0098|CWE|TM06^ 義歯人工歯 ^JDAS0003|T10|01^ レジン歯 ^JDASTM06|||||F|||20170222
 OBX|0099|CWE|TE07^ 該当歯入力種別 ^JDAS0003|T10|01^ 初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0100|CWE|TF02^ 標準プロファイル 26 項目の情報の有無 ^JDAS0003|T10|01^ 標準プロファイル
 26 項目の情報あり ^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0101|CWE|TF24^ 義歯 (人工歯あり) ・ D e n ^JDAS0003|T10|01^ 義歯 (人工歯あり) ・ D e n
 ^JDASTF24|||||F|||20170222
 OBX|0102|CWE|TB02^ 歯種コード ^JDAS0003|T11|1023^ 左側上顎犬歯 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0103|CWE|TB03^ 状態コード ^JDAS0003|T11|2^ 欠損歯 ^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0104|CWE|TB04^ 部分コード ^JDAS0003|T11|0^ 部分指定なし ^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0105|CWE|TD02^ 歯の基本状態 ^JDAS0003|T11|50^ 欠損歯 (レセプト表記略称名: MT) *
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0106|CWE|TD03^ 歯科健診記号 ^JDAS0003|T11|05^ (△) (欠損補綴歯)
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0107|CWE|TM04^ 有床義歯 ^JDAS0003|T11|13^ 総義歯 (金床) (FD) *

^JDASTM04|||||F|||20170222
 OBX|0108|CWE|TM06^義歯人工歯^JDAS0003|T11|01^レジン歯^JDASTM06|||||F|||20170222
 OBX|0109|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T11|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0110|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T11|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0111|CWE|TF24^義歯（人工歯あり）・D e n^JDAS0003|T11|01^義歯（人工歯あり）・D e n
 ^JDASTF24|||||F|||20170222
 OBX|0112|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T12|1024^左側上顎第 1 小白歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0113|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T12|2^欠損歯^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0114|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T12|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0115|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T12|50^欠損歯（レセプト表記略称名：MT）*
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0116|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T12|05^（△）（欠損補綴歯）
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0117|CWE|TM04^有床義歯^JDAS0003|T12|13^総義歯（金床）（FD）*
 ^JDASTM04|||||F|||20170222
 OBX|0118|CWE|TM06^義歯人工歯^JDAS0003|T12|01^レジン歯^JDASTM06|||||F|||20170222
 OBX|0119|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T12|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0120|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T12|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0121|CWE|TF24^義歯（人工歯あり）・D e n^JDAS0003|T12|01^義歯（人工歯あり）・D e n
 ^JDASTF24|||||F|||20170222
 OBX|0122|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T13|1025^左側上顎第 2 小白歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0123|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T13|2^欠損歯^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0124|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T13|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0125|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T13|50^欠損歯（レセプト表記略称名：MT）*
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0126|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T13|05^（△）（欠損補綴歯）
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0127|CWE|TM04^有床義歯^JDAS0003|T13|13^総義歯（金床）（FD）*
 ^JDASTM04|||||F|||20170222
 OBX|0128|CWE|TM06^義歯人工歯^JDAS0003|T13|01^レジン歯^JDASTM06|||||F|||20170222
 OBX|0129|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T13|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0130|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T13|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0131|CWE|TF24^義歯（人工歯あり）・D e n^JDAS0003|T13|01^義歯（人工歯あり）・D e n
 ^JDASTF24|||||F|||20170222
 OBX|0132|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T14|1026^左側上顎第 1 大白歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0133|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T14|2^欠損歯^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0134|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T14|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0135|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T14|50^欠損歯（レセプト表記略称名：MT）*
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0136|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T14|05^（△）（欠損補綴歯）
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0137|CWE|TM04^有床義歯^JDAS0003|T14|13^総義歯（金床）（FD）*
 ^JDASTM04|||||F|||20170222
 OBX|0138|CWE|TM06^義歯人工歯^JDAS0003|T14|01^レジン歯^JDASTM06|||||F|||20170222
 OBX|0139|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T14|01^初診時口腔診査

^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0140|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T14|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0141|CWE|TF24^義歯 (人工歯あり)・D e n^JDAS0003|T14|01^義歯 (人工歯あり)・D e n
 ^JDASTF24|||||F|||20170222
 OBX|0142|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T15|1027^左側上顎第2大白歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0143|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T15|2^欠損歯^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0144|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T15|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0145|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T15|50^欠損歯 (レセプト表記略称名: MT) *
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0146|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T15|05^ (△) (欠損補綴歯)
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0147|CWE|TM04^有床義歯^JDAS0003|T15|13^総義歯 (金床) (FD) *
 ^JDASTM04|||||F|||20170222
 OBX|0148|CWE|TM06^義歯人工歯^JDAS0003|T15|01^レジン歯^JDASTM06|||||F|||20170222
 OBX|0149|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T15|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0150|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T15|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0151|CWE|TF24^義歯 (人工歯あり)・D e n^JDAS0003|T15|01^義歯 (人工歯あり)・D e n
 ^JDASTF24|||||F|||20170222
 OBX|0152|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T16|1047^右側下顎第2大白歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0153|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T16|2^欠損歯^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0154|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T16|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0155|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T16|50^欠損歯 (レセプト表記略称名: MT) *
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0156|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T16|05^ (△) (欠損補綴歯)
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0157|CWE|TM04^有床義歯^JDAS0003|T16|09^総義歯 (レジン床) (FD) *
 ^JDASTM04|||||F|||20170222
 OBX|0158|CWE|TM06^義歯人工歯^JDAS0003|T16|01^レジン歯^JDASTM06|||||F|||20170222
 OBX|0159|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T16|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0160|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T16|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0161|CWE|TF24^義歯 (人工歯あり)・D e n^JDAS0003|T16|01^義歯 (人工歯あり)・D e n
 ^JDASTF24|||||F|||20170222
 OBX|0162|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T17|1046^右側下顎第1大白歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0163|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T17|2^欠損歯^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0164|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T17|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0165|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T17|50^欠損歯 (レセプト表記略称名: MT) *
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0166|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T17|05^ (△) (欠損補綴歯)
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0167|CWE|TM04^有床義歯^JDAS0003|T17|09^総義歯 (レジン床) (FD) *
 ^JDASTM04|||||F|||20170222
 OBX|0168|CWE|TM06^義歯人工歯^JDAS0003|T17|01^レジン歯^JDASTM06|||||F|||20170222
 OBX|0169|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T17|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0170|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T17|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222

OBX|0171|CWE|TF24^義歯（人工歯あり）・D e n^JDAS0003|T17|01^義歯（人工歯あり）・D e n
 ^JDASTF24|||||F|||20170222
 OBX|0172|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T18|1045^右側下顎第2小臼歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0173|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T18|2^欠損歯^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0174|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T18|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0175|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T18|50^欠損歯（レセプト表記略称名：MT）*
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0176|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T18|05^（△）（欠損補綴歯）
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0177|CWE|TM04^有床義歯^JDAS0003|T18|09^総義歯（レジン床）（FD）*
 ^JDASTM04|||||F|||20170222
 OBX|0178|CWE|TM06^義歯人工歯^JDAS0003|T18|01^レジン歯^JDASTM06|||||F|||20170222
 OBX|0179|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T18|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0180|CWE|TF02^標準プロファイル26項目の情報の有無^JDAS0003|T18|01^標準プロファイル
 26項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0181|CWE|TF24^義歯（人工歯あり）・D e n^JDAS0003|T18|01^義歯（人工歯あり）・D e n
 ^JDASTF24|||||F|||20170222
 OBX|0182|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T19|1044^右側下顎第1小臼歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0183|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T19|2^欠損歯^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0184|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T19|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0185|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T19|50^欠損歯（レセプト表記略称名：MT）*
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0186|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T19|05^（△）（欠損補綴歯）
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0187|CWE|TM04^有床義歯^JDAS0003|T19|09^総義歯（レジン床）（FD）*
 ^JDASTM04|||||F|||20170222
 OBX|0188|CWE|TM06^義歯人工歯^JDAS0003|T19|01^レジン歯^JDASTM06|||||F|||20170222
 OBX|0189|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T19|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0190|CWE|TF02^標準プロファイル26項目の情報の有無^JDAS0003|T19|01^標準プロファイル
 26項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0191|CWE|TF24^義歯（人工歯あり）・D e n^JDAS0003|T19|01^義歯（人工歯あり）・D e n
 ^JDASTF24|||||F|||20170222
 OBX|0192|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T20|1043^右側下顎犬歯^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0193|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T20|2^欠損歯^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0194|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T20|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0195|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T20|50^欠損歯（レセプト表記略称名：MT）*
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0196|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T20|05^（△）（欠損補綴歯）
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0197|CWE|TM04^有床義歯^JDAS0003|T20|09^総義歯（レジン床）（FD）*
 ^JDASTM04|||||F|||20170222
 OBX|0198|CWE|TM06^義歯人工歯^JDAS0003|T20|01^レジン歯^JDASTM06|||||F|||20170222
 OBX|0199|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T20|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0200|CWE|TF02^標準プロファイル26項目の情報の有無^JDAS0003|T20|01^標準プロファイル
 26項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0201|CWE|TF24^義歯（人工歯あり）・D e n^JDAS0003|T20|01^義歯（人工歯あり）・D e n
 ^JDASTF24|||||F|||20170222
 OBX|0202|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T21|1042^右側下顎側切歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222

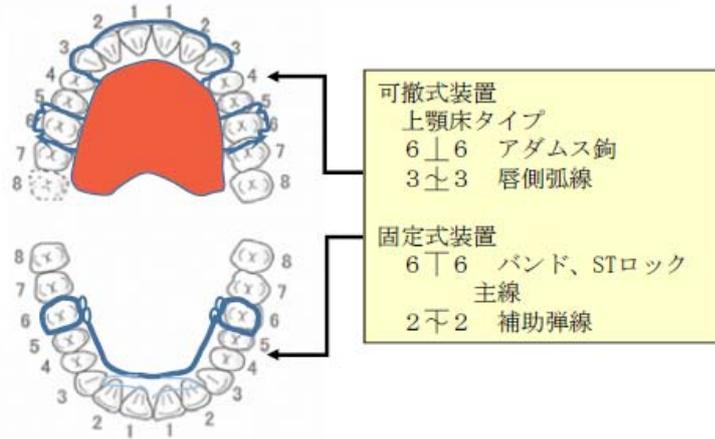
OBX|0203|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T21|2^欠損歯^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0204|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T21|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0205|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T21|50^欠損歯（レセプト表記略称名：MT）*
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0206|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T21|05^（△）（欠損補綴歯）
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0207|CWE|TM04^有床義歯^JDAS0003|T21|09^総義歯（レジン床）（FD）*
 ^JDASTM04|||||F|||20170222
 OBX|0208|CWE|TM06^義歯人工歯^JDAS0003|T21|01^レジン歯^JDASTM06|||||F|||20170222
 OBX|0209|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T21|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0210|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T21|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0211|CWE|TF24^義歯（人工歯あり）・Den^JDAS0003|T21|01^義歯（人工歯あり）・Den
 ^JDASTF24|||||F|||20170222
 OBX|0212|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T22|1041^右側下顎中切歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0213|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T22|2^欠損歯^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0214|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T22|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0215|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T22|50^欠損歯（レセプト表記略称名：MT）*
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0216|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T22|05^（△）（欠損補綴歯）
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0217|CWE|TM04^有床義歯^JDAS0003|T22|09^総義歯（レジン床）（FD）*
 ^JDASTM04|||||F|||20170222
 OBX|0218|CWE|TM06^義歯人工歯^JDAS0003|T22|01^レジン歯^JDASTM06|||||F|||20170222
 OBX|0219|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T22|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0220|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T22|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0221|CWE|TF24^義歯（人工歯あり）・Den^JDAS0003|T22|01^義歯（人工歯あり）・Den
 ^JDASTF24|||||F|||20170222
 OBX|0222|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T23|1031^左側下顎中切歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0223|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T23|2^欠損歯^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0224|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T23|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0225|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T23|50^欠損歯（レセプト表記略称名：MT）*
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0226|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T23|05^（△）（欠損補綴歯）
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0227|CWE|TM04^有床義歯^JDAS0003|T23|09^総義歯（レジン床）（FD）*
 ^JDASTM04|||||F|||20170222
 OBX|0228|CWE|TM06^義歯人工歯^JDAS0003|T23|01^レジン歯^JDASTM06|||||F|||20170222
 OBX|0229|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T23|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0230|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T23|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0231|CWE|TF24^義歯（人工歯あり）・Den^JDAS0003|T23|01^義歯（人工歯あり）・Den
 ^JDASTF24|||||F|||20170222
 OBX|0232|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T24|1032^左側下顎側切歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0233|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T24|2^欠損歯^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0234|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T24|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0235|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T24|50^欠損歯（レセプト表記略称名：MT）*

^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0236|CWE|TD03^ 歯科健診記号 ^JDAS0003|T24|05^ (△) (欠損補綴歯)
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0237|CWE|TM04^ 有床義歯 ^JDAS0003|T24|09^ 総義歯 (レジン床) (FD) *
 ^JDASTM04|||||F|||20170222
 OBX|0238|CWE|TM06^ 義歯人工歯 ^JDAS0003|T24|01^ レジン歯 ^JDASTM06|||||F|||20170222
 OBX|0239|CWE|TE07^ 該当歯入力種別 ^JDAS0003|T24|01^ 初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0240|CWE|TF02^ 標準プロファイル 26 項目の情報の有無 ^JDAS0003|T24|01^ 標準プロファイル
 26 項目の情報あり ^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0241|CWE|TF24^ 義歯 (人工歯あり) ・ D e n ^JDAS0003|T24|01^ 義歯 (人工歯あり) ・ D e n
 ^JDASTF24|||||F|||20170222
 OBX|0242|CWE|TB02^ 歯種コード ^JDAS0003|T25|1033^ 左側下顎犬歯 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0243|CWE|TB03^ 状態コード ^JDAS0003|T25|2^ 欠損歯 ^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0244|CWE|TB04^ 部分コード ^JDAS0003|T25|0^ 部分指定なし ^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0245|CWE|TD02^ 歯の基本状態 ^JDAS0003|T25|50^ 欠損歯 (レセプト表記略称名: MT) *
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0246|CWE|TD03^ 歯科健診記号 ^JDAS0003|T25|05^ (△) (欠損補綴歯)
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0247|CWE|TM04^ 有床義歯 ^JDAS0003|T25|09^ 総義歯 (レジン床) (FD) *
 ^JDASTM04|||||F|||20170222
 OBX|0248|CWE|TM06^ 義歯人工歯 ^JDAS0003|T25|01^ レジン歯 ^JDASTM06|||||F|||20170222
 OBX|0249|CWE|TE07^ 該当歯入力種別 ^JDAS0003|T25|01^ 初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0250|CWE|TF02^ 標準プロファイル 26 項目の情報の有無 ^JDAS0003|T25|01^ 標準プロファイル
 26 項目の情報あり ^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0251|CWE|TF24^ 義歯 (人工歯あり) ・ D e n ^JDAS0003|T25|01^ 義歯 (人工歯あり) ・ D e n
 ^JDASTF24|||||F|||20170222
 OBX|0252|CWE|TB02^ 歯種コード ^JDAS0003|T26|1034^ 左側下顎第 1 小白歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0253|CWE|TB03^ 状態コード ^JDAS0003|T26|2^ 欠損歯 ^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0254|CWE|TB04^ 部分コード ^JDAS0003|T26|0^ 部分指定なし ^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0255|CWE|TD02^ 歯の基本状態 ^JDAS0003|T26|50^ 欠損歯 (レセプト表記略称名: MT) *
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0256|CWE|TD03^ 歯科健診記号 ^JDAS0003|T26|05^ (△) (欠損補綴歯)
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0257|CWE|TM04^ 有床義歯 ^JDAS0003|T26|09^ 総義歯 (レジン床) (FD) *
 ^JDASTM04|||||F|||20170222
 OBX|0258|CWE|TM06^ 義歯人工歯 ^JDAS0003|T26|01^ レジン歯 ^JDASTM06|||||F|||20170222
 OBX|0259|CWE|TE07^ 該当歯入力種別 ^JDAS0003|T26|01^ 初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0260|CWE|TF02^ 標準プロファイル 26 項目の情報の有無 ^JDAS0003|T26|01^ 標準プロファイル
 26 項目の情報あり ^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0261|CWE|TF24^ 義歯 (人工歯あり) ・ D e n ^JDAS0003|T26|01^ 義歯 (人工歯あり) ・ D e n
 ^JDASTF24|||||F|||20170222
 OBX|0262|CWE|TB02^ 歯種コード ^JDAS0003|T27|1035^ 左側下顎第 2 小白歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0263|CWE|TB03^ 状態コード ^JDAS0003|T27|2^ 欠損歯 ^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0264|CWE|TB04^ 部分コード ^JDAS0003|T27|0^ 部分指定なし ^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0265|CWE|TD02^ 歯の基本状態 ^JDAS0003|T27|50^ 欠損歯 (レセプト表記略称名: MT) *
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0266|CWE|TD03^ 歯科健診記号 ^JDAS0003|T27|05^ (△) (欠損補綴歯)
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0267|CWE|TM04^ 有床義歯 ^JDAS0003|T27|09^ 総義歯 (レジン床) (FD) *

^JDASTM04|||||F|||20170222
 OBX|0268|CWE|TM06^義歯人工歯^JDAS0003|T27|01^レジン歯^JDASTM06|||||F|||20170222
 OBX|0269|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T27|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0270|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T27|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0271|CWE|TF24^義歯（人工歯あり）・D e n^JDAS0003|T27|01^義歯（人工歯あり）・D e n
 ^JDASTF24|||||F|||20170222
 OBX|0272|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T28|1036^左側下顎第 1 大白歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0273|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T28|2^欠損歯^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0274|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T28|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0275|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T28|50^欠損歯（レセプト表記略称名：MT）*
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0276|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T28|05^（△）（欠損補綴歯）
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0277|CWE|TM04^有床義歯^JDAS0003|T28|09^総義歯（レジン床）（FD）*
 ^JDASTM04|||||F|||20170222
 OBX|0278|CWE|TM06^義歯人工歯^JDAS0003|T28|01^レジン歯^JDASTM06|||||F|||20170222
 OBX|0279|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T28|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0280|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T28|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0281|CWE|TF24^義歯（人工歯あり）・D e n^JDAS0003|T28|01^義歯（人工歯あり）・D e n
 ^JDASTF24|||||F|||20170222
 OBX|0282|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T29|1037^左側下顎第 2 大白歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0283|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T29|2^欠損歯^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0284|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T29|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0285|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T29|50^欠損歯（レセプト表記略称名：MT）*
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0286|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T29|05^（△）（欠損補綴歯）
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0287|CWE|TM04^有床義歯^JDAS0003|T29|09^総義歯（レジン床）（FD）*
 ^JDASTM04|||||F|||20170222
 OBX|0288|CWE|TM06^義歯人工歯^JDAS0003|T29|01^レジン歯^JDASTM06|||||F|||20170222
 OBX|0289|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T29|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0290|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T29|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0291|CWE|TF24^義歯（人工歯あり）・D e n^JDAS0003|T29|01^義歯（人工歯あり）・D e n
 ^JDASTF24|||||F|||20170222

■ 記載例 18

傷病名コード	傷病名基本名称	歯科傷病名省略名称
7 \pm 7 5 \mp 5	8842566 5243028	狭窄歯列弓 歯列異常



【対応困難な内容】

通番	事例	歯番	A社	B社	C社
21	例 18	全て	矯正治療・矯正装置の 取扱い	歯科矯正のため入力不 可	矯正歯科傷病名「歯列 狭窄」

【CSV 形式データ模範例】

ON,,,,02,XX,〇〇診療所,1234567,03-1234-5678,90,歯科,,,,,
 PN,12345678,XYZ,22345678,01,18,,20170301,日歯太郎,01,19600101,,,,,
 NS,01,20150401,20170301,,,,,
 TB,1016,1,0,,,,,
 TD,01,01,,,,,
 TP,,01,,,,,01
 TE,,,,01,アダムス鉤,01,20170222,,,,,
 TF,00,,,,,01,,,,,
 KK,,,,03,,,,,
 TB,1013,1,0,,,,,
 TD,01,01,,,,,
 TP,01
 TE,,,,,01,20170222,,,,,
 TF,00,,,,,01,,,,,
 KK,,,,03,,,,,
 TB,1012,1,0,,,,,
 TD,01,01,,,,,
 TP,01
 TE,,,,,01,20170222,,,,,
 TF,00,,,,,01,,,,,
 KK,,,,03,,,,,
 TB,1011,1,0,,,,,

TD,01,01,,,,,
TP,01
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,00,,,,,01,,,,,
KK,,,,,03,,,,,
TB,1021,1,0,,,,,
TD,01,01,,,,,
TP,01
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,00,,,,,01,,,,,
KK,,,,,03,,,,,
TB,1022,1,0,,,,,
TD,01,01,,,,,
TP,01
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,00,,,,,01,,,,,
KK,,,,,03,,,,,
TB,1023,1,0,,,,,
TD,01,01,,,,,
TP,01
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,00,,,,,01,,,,,
KK,,,,,03,,,,,
TB,1026,1,0,,,,,
TD,01,01,,,,,
TP,01,,,,,01
TE,,,01,アダムス鉤,01,20170222,,,,,
TF,00,,,,,01,,,,,
KK,,,,,03,,,,,
TB,1046,0,0,,,,,
TD,01,01,,,,,
TP,01,,,,,05
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,00,,,,,01,,,,,
KK,,,,,02,01,ST ロック,,,,,
TB,1042,1,0,2,,,,,
TD,01,01,,,,,
TP,01
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,00,,,,,01,,,,,
KK,,,,,02,,,,,
TB,1041,1,0,2,,,,,
TD,01,01,,,,,
TP,01
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,00,,,,,01,,,,,
KK,,,,,02,,,,,
TB,1031,1,0,2,,,,,
TD,01,01,,,,,
TP,01
TE,,,,,01,20170222,,,,,
TF,00,,,,,01,,,,,
KK,,,,,02,,,,,
TB,1032,1,0,2,,,,,

TD,01,01,,,,,
 TP,01
 TE,,,,,01,20170222,,,,,
 TF,00,,,,,01,,,,,
 KK,,,,,02,,,,,
 TB,1036,0,0,,,,,
 TD,01,01,,,,,
 TP,01,,,,,05
 TE,,,,,01,20170222,,,,,
 TF,00,,,,,01,,,,,
 KK,,,,,02,01,ST ロック,,,,,
 DT,20170303,170303,20170303,170303,,,,,

【HL7 形式データ出力例】

```

MSH|^~\&|SV2HL7|HIS|GW|GW|20170328112221||ORU^R01^ORU_R01|20170303170303|P|2.5|||||~I
SO IR87|ISO 2022-1994
PID|0001||000018^^^PI||日歯太郎^^^L^I||19600101|M
PV1|0001|0|||||90
ORC|NW|||||||90^ 歯 科 ^HL70069|||| 〇 〇 診 療 所
      ^1234567|^XX|^03-1234-5678
OBR|0001||01^初診時口腔診査^JDASNS02||20150401|20170301
TQ1|0001||||20150401|20170301
OBX|0001|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T1|1016^右側上顎第1大臼歯
^JDASTB02||||F||20170222
OBX|0002|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T1|1^部 (部を示す場合に使用)
^JDASTB03||||F||20170222
OBX|0003|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T1|0^部分指定なし^JDASTB04||||F||20170222
OBX|0004|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T1|01^現在歯【現在歯/】(状態不明)*
^JDASTD02||||F||20170222
OBX|0005|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T1|01^ / (現在歯、または健全歯)
^JDASTD03||||F||20170222
OBX|0006|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T1|01^生活歯^JDASTP03||||F||20170222
OBX|0007|CWE|TP26^クラスプ^JDAS0003|T1|01^鉤 (内容不明)^JDASTP26||||F||20170222
OBX|0008|CWE|TE05^当該歯特記事項の有無^JDAS0003|T1|01^当該歯特記事項あり
^JDASTE05||||F||20170222
OBX|0009|ST|TE06^当該歯特記事項^JDAS0003|T1|アダムス鉤||||F||20170222
OBX|0010|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T1|01^初診時口腔診査
^JDASTE07||||F||20170222
OBX|0011|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T1|00^標準プロファイル
26 項目の情報なし^JDASTF02||||F||20170222
OBX|0012|CWE|TF27^歯牙あり (状態不明)・P r e ^JDAS0003|T1|01^歯牙あり (状態不明)・P r
e ^JDASTF27||||F||20170222
OBX|0013|CWE|KK06^矯正装置^JDAS0003|T0|03^床矯正装置^JDASKK06||||F||20170222
OBX|0014|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T2|1013^右側上顎犬歯^JDASTB02||||F||20170222
OBX|0015|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T2|1^部 (部を示す場合に使用)
^JDASTB03||||F||20170222
OBX|0016|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T2|0^部分指定なし^JDASTB04||||F||20170222
OBX|0017|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T2|01^現在歯【現在歯/】(状態不明)*
^JDASTD02||||F||20170222
OBX|0018|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T2|01^ / (現在歯、または健全歯)
^JDASTD03||||F||20170222
OBX|0019|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T2|01^生活歯^JDASTP03||||F||20170222
OBX|0020|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T2|01^初診時口腔診査
  
```

^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0021|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T2|00^標準プロファイル
 26 項目の情報なし^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0022|CWE|TF27^歯牙あり (状態不明)・P r e^JDAS0003|T2|01^歯牙あり (状態不明)・P r
 e^JDASTF27|||||F|||20170222
 OBX|0023|CWE|KK06^矯正装置^JDAS0003|T0|03^床矯正装置^JDASKK06|||||F|||20170222
 OBX|0024|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T3|1012^右側上顎側切歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0025|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T3|1^部 (部を示す場合に使用)
 ^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0026|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T3|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0027|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T3|01^現在歯【現在歯/】(状態不明)*
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0028|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T3|01^/ (現在歯、または健全歯)
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0029|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T3|01^生活歯^JDASTP03|||||F|||20170222
 OBX|0030|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T3|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0031|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T3|00^標準プロファイル
 26 項目の情報なし^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0032|CWE|TF27^歯牙あり (状態不明)・P r e^JDAS0003|T3|01^歯牙あり (状態不明)・P r
 e^JDASTF27|||||F|||20170222
 OBX|0033|CWE|KK06^矯正装置^JDAS0003|T0|03^床矯正装置^JDASKK06|||||F|||20170222
 OBX|0034|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T4|1011^右側上顎中切歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0035|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T4|1^部 (部を示す場合に使用)
 ^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0036|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T4|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0037|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T4|01^現在歯【現在歯/】(状態不明)*
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0038|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T4|01^/ (現在歯、または健全歯)
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0039|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T4|01^生活歯^JDASTP03|||||F|||20170222
 OBX|0040|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T4|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0041|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T4|00^標準プロファイル
 26 項目の情報なし^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0042|CWE|TF27^歯牙あり (状態不明)・P r e^JDAS0003|T4|01^歯牙あり (状態不明)・P r
 e^JDASTF27|||||F|||20170222
 OBX|0043|CWE|KK06^矯正装置^JDAS0003|T0|03^床矯正装置^JDASKK06|||||F|||20170222
 OBX|0044|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T5|1021^左側上顎中切歯
 ^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0045|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T5|1^部 (部を示す場合に使用)
 ^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0046|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T5|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0047|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T5|01^現在歯【現在歯/】(状態不明)*
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0048|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T5|01^/ (現在歯、または健全歯)
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0049|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T5|01^生活歯^JDASTP03|||||F|||20170222
 OBX|0050|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T5|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0051|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T5|00^標準プロファイル
 26 項目の情報なし^JDASTF02|||||F|||20170222

OBX|0052|CWE|TF27^歯牙あり (状態不明)・P r e^JDAS0003|T5|01^歯牙あり (状態不明)・P r e^JDASTF27|||||F|||20170222

OBX|0053|CWE|KK06^矯正装置^JDAS0003|T0|03^床矯正装置^JDASKK06|||||F|||20170222

OBX|0054|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T6|1022^左側上顎側切歯^JDASTB02|||||F|||20170222

OBX|0055|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T6|1^部 (部を示す場合に使用)^JDASTB03|||||F|||20170222

OBX|0056|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T6|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222

OBX|0057|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T6|01^現在歯【現在歯/】(状態不明)*^JDASTD02|||||F|||20170222

OBX|0058|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T6|01^/ (現在歯、または健全歯)^JDASTD03|||||F|||20170222

OBX|0059|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T6|01^生活歯^JDASTP03|||||F|||20170222

OBX|0060|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T6|01^初診時口腔診査^JDASTE07|||||F|||20170222

OBX|0061|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T6|00^標準プロファイル 26 項目の情報なし^JDASTF02|||||F|||20170222

OBX|0062|CWE|TF27^歯牙あり (状態不明)・P r e^JDAS0003|T6|01^歯牙あり (状態不明)・P r e^JDASTF27|||||F|||20170222

OBX|0063|CWE|KK06^矯正装置^JDAS0003|T0|03^床矯正装置^JDASKK06|||||F|||20170222

OBX|0064|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T7|1023^左側上顎犬歯^JDASTB02|||||F|||20170222

OBX|0065|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T7|1^部 (部を示す場合に使用)^JDASTB03|||||F|||20170222

OBX|0066|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T7|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222

OBX|0067|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T7|01^現在歯【現在歯/】(状態不明)*^JDASTD02|||||F|||20170222

OBX|0068|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T7|01^/ (現在歯、または健全歯)^JDASTD03|||||F|||20170222

OBX|0069|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T7|01^生活歯^JDASTP03|||||F|||20170222

OBX|0070|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T7|01^初診時口腔診査^JDASTE07|||||F|||20170222

OBX|0071|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T7|00^標準プロファイル 26 項目の情報なし^JDASTF02|||||F|||20170222

OBX|0072|CWE|TF27^歯牙あり (状態不明)・P r e^JDAS0003|T7|01^歯牙あり (状態不明)・P r e^JDASTF27|||||F|||20170222

OBX|0073|CWE|KK06^矯正装置^JDAS0003|T0|03^床矯正装置^JDASKK06|||||F|||20170222

OBX|0074|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T8|1026^左側上顎第 1 大臼歯^JDASTB02|||||F|||20170222

OBX|0075|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T8|1^部 (部を示す場合に使用)^JDASTB03|||||F|||20170222

OBX|0076|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T8|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222

OBX|0077|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T8|01^現在歯【現在歯/】(状態不明)*^JDASTD02|||||F|||20170222

OBX|0078|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T8|01^/ (現在歯、または健全歯)^JDASTD03|||||F|||20170222

OBX|0079|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T8|01^生活歯^JDASTP03|||||F|||20170222

OBX|0080|CWE|TP26^クラスプ^JDAS0003|T8|01^鉤 (内容不明)^JDASTP26|||||F|||20170222

OBX|0081|CWE|TE05^当該歯特記事項の有無^JDAS0003|T8|01^当該歯特記事項あり^JDASTE05|||||F|||20170222

OBX|0082|ST|TE06^当該歯特記事項^JDAS0003|T8|アダムス鉤|||||F|||20170222

OBX|0083|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T8|01^初診時口腔診査^JDASTE07|||||F|||20170222

OBX|0084|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T8|00^標準プロファイル 26 項目の情報なし^JDASTF02|||||F|||20170222

OBX|0085|CWE|TF27^歯牙あり (状態不明)・P r e^JDAS0003|T8|01^歯牙あり (状態不明)・P r e^JDASTF27|||||F|||20170222

OBX|0086|CWE|KK06^矯正装置^JDAS0003|T0|03^床矯正装置^JDASKK06|||||F|||20170222

OBX|0087|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T9|1046^右側下顎第1大臼歯^JDASTB02|||||F|||20170222

OBX|0088|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T9|0^現存歯^JDASTB03|||||F|||20170222

OBX|0089|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T9|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222

OBX|0090|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T9|01^現在歯【現在歯/】(状態不明)*^JDASTD02|||||F|||20170222

OBX|0091|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T9|01^/ (現在歯、または健全歯)^JDASTD03|||||F|||20170222

OBX|0092|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T9|01^生活歯^JDASTP03|||||F|||20170222

OBX|0093|CWE|TP27^固定式矯正装置^JDAS0003|T9|05^帯環^JDASTP27|||||F|||20170222

OBX|0094|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T9|01^初診時口腔診査^JDASTE07|||||F|||20170222

OBX|0095|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T9|00^標準プロファイル 26 項目の情報なし^JDASTF02|||||F|||20170222

OBX|0096|CWE|TF27^歯牙あり (状態不明)・P r e^JDAS0003|T9|01^歯牙あり (状態不明)・P r e^JDASTF27|||||F|||20170222

OBX|0097|CWE|KK06^矯正装置^JDAS0003|T0|02^舌側矯正装置^JDASKK06|||||F|||20170222

OBX|0098|CWE|KK07^その他の矯正情報の有無^JDAS0003|T0|01^その他の矯正情報あり^JDASKK07|||||F|||20170222

OBX|0099|ST|KK08^その他の矯正情報^JDAS0003|T0|ST ロック|||||F|||20170222

OBX|0100|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T10|1042^右側下顎側切歯^JDASTB02|||||F|||20170222

OBX|0101|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T10|1^部 (部を示す場合に使用)^JDASTB03|||||F|||20170222

OBX|0102|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T10|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222

OBX|0103|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T10|01^現在歯【現在歯/】(状態不明)*^JDASTD02|||||F|||20170222

OBX|0104|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T10|01^/ (現在歯、または健全歯)^JDASTD03|||||F|||20170222

OBX|0105|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T10|01^生活歯^JDASTP03|||||F|||20170222

OBX|0106|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T10|01^初診時口腔診査^JDASTE07|||||F|||20170222

OBX|0107|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T10|00^標準プロファイル 26 項目の情報なし^JDASTF02|||||F|||20170222

OBX|0108|CWE|TF27^歯牙あり (状態不明)・P r e^JDAS0003|T10|01^歯牙あり (状態不明)・P r e^JDASTF27|||||F|||20170222

OBX|0109|CWE|KK06^矯正装置^JDAS0003|T0|02^舌側矯正装置^JDASKK06|||||F|||20170222

OBX|0110|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T11|1041^右側下顎中切歯^JDASTB02|||||F|||20170222

OBX|0111|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T11|1^部 (部を示す場合に使用)^JDASTB03|||||F|||20170222

OBX|0112|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T11|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222

OBX|0113|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T11|01^現在歯【現在歯/】(状態不明)*^JDASTD02|||||F|||20170222

OBX|0114|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T11|01^/ (現在歯、または健全歯)^JDASTD03|||||F|||20170222

OBX|0115|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T11|01^生活歯^JDASTP03|||||F|||20170222

OBX|0116|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T11|01^初診時口腔診査^JDASTE07|||||F|||20170222

OBX|0117|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T11|00^標準プロファイル 26 項目の情報なし^JDASTF02|||||F|||20170222

OBX|0118|CWE|TF27^歯牙あり(状態不明)・P r e^JDAS0003|T11|01^歯牙あり(状態不明)・P r e^JDASTF27|||||F|||20170222

OBX|0119|CWE|KK06^矯正装置^JDAS0003|T0|02^舌側矯正装置^JDASKK06|||||F|||20170222

OBX|0120|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T12|1031^左側下顎中切歯^JDASTB02|||||F|||20170222

OBX|0121|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T12|1^部(部を示す場合に使用)^JDASTB03|||||F|||20170222

OBX|0122|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T12|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222

OBX|0123|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T12|01^現在歯【現在歯/】(状態不明)*^JDASTD02|||||F|||20170222

OBX|0124|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T12|01^/ (現在歯、または健全歯)^JDASTD03|||||F|||20170222

OBX|0125|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T12|01^生活歯^JDASTP03|||||F|||20170222

OBX|0126|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T12|01^初診時口腔診査^JDASTE07|||||F|||20170222

OBX|0127|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T12|00^標準プロファイル 26 項目の情報なし^JDASTF02|||||F|||20170222

OBX|0128|CWE|TF27^歯牙あり(状態不明)・P r e^JDAS0003|T12|01^歯牙あり(状態不明)・P r e^JDASTF27|||||F|||20170222

OBX|0129|CWE|KK06^矯正装置^JDAS0003|T0|02^舌側矯正装置^JDASKK06|||||F|||20170222

OBX|0130|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T13|1032^左側下顎側切歯^JDASTB02|||||F|||20170222

OBX|0131|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T13|1^部(部を示す場合に使用)^JDASTB03|||||F|||20170222

OBX|0132|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T13|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222

OBX|0133|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T13|01^現在歯【現在歯/】(状態不明)*^JDASTD02|||||F|||20170222

OBX|0134|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T13|01^/ (現在歯、または健全歯)^JDASTD03|||||F|||20170222

OBX|0135|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T13|01^生活歯^JDASTP03|||||F|||20170222

OBX|0136|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T13|01^初診時口腔診査^JDASTE07|||||F|||20170222

OBX|0137|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T13|00^標準プロファイル 26 項目の情報なし^JDASTF02|||||F|||20170222

OBX|0138|CWE|TF27^歯牙あり(状態不明)・P r e^JDAS0003|T13|01^歯牙あり(状態不明)・P r e^JDASTF27|||||F|||20170222

OBX|0139|CWE|KK06^矯正装置^JDAS0003|T0|02^舌側矯正装置^JDASKK06|||||F|||20170222

OBX|0140|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T14|1036^左側下顎第 1 大臼歯^JDASTB02|||||F|||20170222

OBX|0141|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T14|0^現存歯^JDASTB03|||||F|||20170222

OBX|0142|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T14|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222

OBX|0143|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T14|01^現在歯【現在歯/】(状態不明)*^JDASTD02|||||F|||20170222

OBX|0144|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T14|01^/ (現在歯、または健全歯)^JDASTD03|||||F|||20170222

OBX|0145|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T14|01^生活歯^JDASTP03|||||F|||20170222

OBX|0146|CWE|TP27^固定式矯正装置^JDAS0003|T14|05^帯環^JDASTP27|||||F|||20170222

OBX|0147|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T14|01^初診時口腔診査^JDASTE07|||||F|||20170222

OBX|0148|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T14|00^標準プロファイル 26 項目の情報なし^JDASTF02|||||F|||20170222

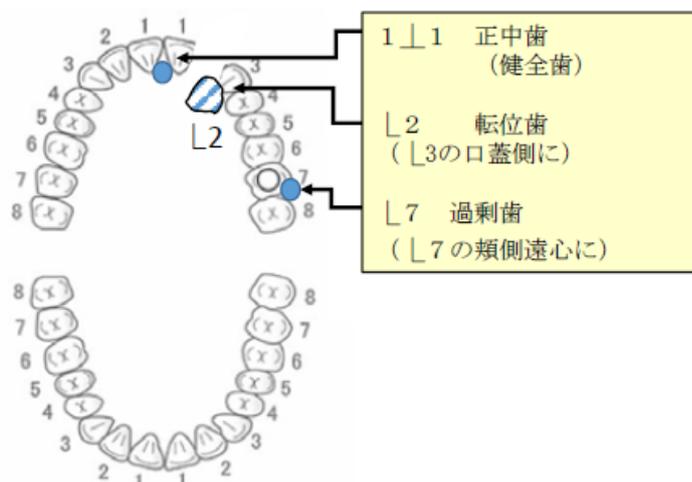
OBX|0149|CWE|TF27^歯牙あり(状態不明)・P r e^JDAS0003|T14|01^歯牙あり(状態不明)・P r e^JDASTF27|||||F|||20170222

OBX|0150|CWE|KK06^矯正装置^JDAS0003|T0|02^舌側矯正装置^JDASKK06|||||F|||20170222

OBX|0151|CWE|KK07^その他の矯正情報の有無^JDAS0003|T0|01^その他の矯正情報あり
^JDASKK07|||||F|||20170222
OBX|0152|ST|KK08^その他の矯正情報^JDAS0003|T0|ST ロック|||||F|||20170222

■ 記載例 19

	傷病名コード	傷病名基本名称	歯科傷病名省略名称
1┘1 正中歯	8835932	正中歯	
┘2 転位歯	5243021	転位歯	
┘7 過剰歯	5201006	過剰歯	
左側片側性唇顎口蓋裂	8843778	片側性唇顎口蓋裂	



【対応困難な内容】

通番	事例	歯番	A社	B社	C社
22	例 19	全て	過剰歯表現が難しい 骨瘤	上顎 1~1 正中歯（健全歯）入力不可 左側片側性唇顎口蓋裂 矯正関係レコード(KK) 出力対象外	
23	例 19	1022			転移歯入力不可
24	例 19	1027			詳細な箇所（「7番の頬側遠心に」など）までの管理は無し
25	例 19				（口腔管理は歯牙に対してのみで、口蓋、口底に対する情報管理を行っていない） 外科部位「<口蓋>」傷病名「口蓋裂」

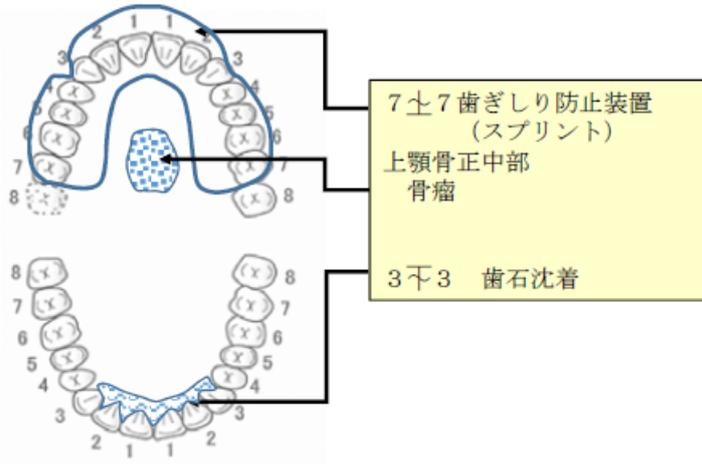
【CSV形式データ模範例】

ON,,,,,02,XX,〇〇診療所,1234567,03-1234-5678,90,歯科,,,,,
 PN,12345678,XYZ,22345678,01,19,,20170301,日歯太郎,01,19600101,,,,,
 NS,01,20150401,20170301,,,,,
 TB,1011,9,0,,,,,
 TD,01,01,,,,,

^JDASTB02|||||F|||20170222
 OBX|0020|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T3|1^部 (部を示す場合に使用)
 ^JDASTB03|||||F|||20170222
 OBX|0021|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T3|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F|||20170222
 OBX|0022|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T3|01^現在歯【現在歯／】(状態不明)*
 ^JDASTD02|||||F|||20170222
 OBX|0023|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T3|01^／(現在歯、または健全歯)
 ^JDASTD03|||||F|||20170222
 OBX|0024|CWE|TP08^過剰歯^JDAS0003|T3|01^過剰歯(SNT)^JDASTP08|||||F|||20170222
 OBX|0025|CWE|TE07^該当歯入力種別^JDAS0003|T3|01^初診時口腔診査
 ^JDASTE07|||||F|||20170222
 OBX|0026|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T3|00^標準プロファイル
 26 項目の情報なし^JDASTF02|||||F|||20170222
 OBX|0027|CWE|TF27^歯牙あり(状態不明)・Pre^JDAS0003|T3|01^歯牙あり(状態不明)・Pre
 e^JDASTF27|||||F|||20170222

■ 記載例 20

	傷病名コード	傷病名基本名称	歯科傷病名省略名称
7±7	3068002	歯ぎしり	BRX
骨瘤	8844971	上顎骨骨瘤	
3下3	5236008	歯石沈着症	



【対応困難な内容】

通番	事例	歯番	A社	B社	C社
26	例 20	上顎	スプリントの情報を歯番単位で覚えていない	上顎7~7 歯軋り防止装置 (スプリント、床副子) 出力項目不明のため、CSV データ記録なし	
27	例 20	上顎 正中 部		上顎骨正中部骨瘤 上顎1~1で入力 病名マスタでは部位必須の設定の為	(口腔管理は歯牙に対してのみで、口蓋、口底に対する情報管理を行っていない) 外科部位「<口蓋>」傷病名「口蓋隆起」
28	例 20	1043 1033			傷病名「ZS」

【CSV 形式データ模範例】

ON,,,,,02,XX,〇〇診療所,1234567,03-1234-5678,90,歯科,,,,,
 PN,12345678,XYZ,22345678,01,20,,20170301,日歯太郎,01,19600101,,,,,
 NS,01,20150401,20170301,,,,,
 TB,1017,2,0,,,,,
 TD,02,01,,,,,
 TP,,01

OBX|0009|CWE|TE05^当該歯特記事項の有無^JDAS0003|T1|01^当該歯特記事項あり
 ^JDASTE05|||||F
 OBX|0010|ST|TE06^当該歯特記事項^JDAS0003|T1|歯ぎしり防止スプリント|||||F
 OBX|0011|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T2|1016^右側上顎第1大臼歯^JDASTB02|||||F
 OBX|0012|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T2|2^欠損歯^JDASTB03|||||F
 OBX|0013|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T2|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
 OBX|0014|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T2|02^現在歯【健全歯／】（治療痕なし）*
 ^JDASTD02|||||F
 OBX|0015|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T2|01^／（現在歯、または健全歯）^JDASTD03|||||F
 OBX|0016|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T2|01^生活歯^JDASTP03|||||F
 OBX|0017|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T2|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F
 OBX|0018|CWE|TF04^健全歯・S o u^JDAS0003|T2|01^健全歯・S o u^JDASTF04|||||F
 OBX|0019|CWE|TE05^当該歯特記事項の有無^JDAS0003|T2|01^当該歯特記事項あり
 ^JDASTE05|||||F
 OBX|0020|ST|TE06^当該歯特記事項^JDAS0003|T2|歯ぎしり防止スプリント|||||F
 OBX|0021|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T3|1015^右側上顎第2小臼歯^JDASTB02|||||F
 OBX|0022|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T3|2^欠損歯^JDASTB03|||||F
 OBX|0023|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T3|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
 OBX|0024|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T3|02^現在歯【健全歯／】（治療痕なし）*
 ^JDASTD02|||||F
 OBX|0025|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T3|01^／（現在歯、または健全歯）^JDASTD03|||||F
 OBX|0026|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T3|01^生活歯^JDASTP03|||||F
 OBX|0027|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T3|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F
 OBX|0028|CWE|TF04^健全歯・S o u^JDAS0003|T3|01^健全歯・S o u^JDASTF04|||||F
 OBX|0029|CWE|TE05^当該歯特記事項の有無^JDAS0003|T3|01^当該歯特記事項あり
 ^JDASTE05|||||F
 OBX|0030|ST|TE06^当該歯特記事項^JDAS0003|T3|歯ぎしり防止スプリント|||||F
 OBX|0031|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T4|1014^右側上顎第1小臼歯^JDASTB02|||||F
 OBX|0032|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T4|2^欠損歯^JDASTB03|||||F
 OBX|0033|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T4|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
 OBX|0034|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T4|02^現在歯【健全歯／】（治療痕なし）*
 ^JDASTD02|||||F
 OBX|0035|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T4|01^／（現在歯、または健全歯）^JDASTD03|||||F
 OBX|0036|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T4|01^生活歯^JDASTP03|||||F
 OBX|0037|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T4|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F
 OBX|0038|CWE|TF04^健全歯・S o u^JDAS0003|T4|01^健全歯・S o u^JDASTF04|||||F
 OBX|0039|CWE|TE05^当該歯特記事項の有無^JDAS0003|T4|01^当該歯特記事項あり
 ^JDASTE05|||||F
 OBX|0040|ST|TE06^当該歯特記事項^JDAS0003|T4|歯ぎしり防止スプリント|||||F
 OBX|0041|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T5|1013^右側上顎犬歯^JDASTB02|||||F
 OBX|0042|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T5|2^欠損歯^JDASTB03|||||F
 OBX|0043|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T5|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
 OBX|0044|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T5|02^現在歯【健全歯／】（治療痕なし）*
 ^JDASTD02|||||F
 OBX|0045|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T5|01^／（現在歯、または健全歯）^JDASTD03|||||F
 OBX|0046|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T5|01^生活歯^JDASTP03|||||F
 OBX|0047|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T5|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F
 OBX|0048|CWE|TF04^健全歯・S o u^JDAS0003|T5|01^健全歯・S o u^JDASTF04|||||F
 OBX|0049|CWE|TE05^当該歯特記事項の有無^JDAS0003|T5|01^当該歯特記事項あり
 ^JDASTE05|||||F

OBX|0050|ST|TE06^当該歯特記事項^JDAS0003|T5|歯ぎしり防止スプリント|||||F
 OBX|0051|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T6|1012^右側上顎側切歯^JDASTB02|||||F
 OBX|0052|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T6|2^欠損歯^JDASTB03|||||F
 OBX|0053|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T6|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
 OBX|0054|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T6|02^現在歯【健全歯／】（治療痕なし）*
 ^JDASTD02|||||F
 OBX|0055|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T6|01^／（現在歯、または健全歯）^JDASTD03|||||F
 OBX|0056|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T6|01^生活歯^JDASTP03|||||F
 OBX|0057|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T6|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F
 OBX|0058|CWE|TF04^健全歯・S o u^JDAS0003|T6|01^健全歯・S o u^JDASTF04|||||F
 OBX|0059|CWE|TE05^当該歯特記事項の有無^JDAS0003|T6|01^当該歯特記事項あり
 ^JDASTE05|||||F
 OBX|0060|ST|TE06^当該歯特記事項^JDAS0003|T6|歯ぎしり防止スプリント|||||F
 OBX|0061|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T7|1011^右側上顎中切歯^JDASTB02|||||F
 OBX|0062|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T7|2^欠損歯^JDASTB03|||||F
 OBX|0063|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T7|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
 OBX|0064|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T7|02^現在歯【健全歯／】（治療痕なし）*
 ^JDASTD02|||||F
 OBX|0065|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T7|01^／（現在歯、または健全歯）^JDASTD03|||||F
 OBX|0066|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T7|01^生活歯^JDASTP03|||||F
 OBX|0067|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T7|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F
 OBX|0068|CWE|TF04^健全歯・S o u^JDAS0003|T7|01^健全歯・S o u^JDASTF04|||||F
 OBX|0069|CWE|TE05^当該歯特記事項の有無^JDAS0003|T7|01^当該歯特記事項あり
 ^JDASTE05|||||F
 OBX|0070|ST|TE06^当該歯特記事項^JDAS0003|T7|歯ぎしり防止スプリント|||||F
 OBX|0071|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T8|1021^左側上顎中切歯^JDASTB02|||||F
 OBX|0072|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T8|2^欠損歯^JDASTB03|||||F
 OBX|0073|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T8|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
 OBX|0074|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T8|02^現在歯【健全歯／】（治療痕なし）*
 ^JDASTD02|||||F
 OBX|0075|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T8|01^／（現在歯、または健全歯）^JDASTD03|||||F
 OBX|0076|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T8|01^生活歯^JDASTP03|||||F
 OBX|0077|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T8|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F
 OBX|0078|CWE|TF04^健全歯・S o u^JDAS0003|T8|01^健全歯・S o u^JDASTF04|||||F
 OBX|0079|CWE|TE05^当該歯特記事項の有無^JDAS0003|T8|01^当該歯特記事項あり
 ^JDASTE05|||||F
 OBX|0080|ST|TE06^当該歯特記事項^JDAS0003|T8|歯ぎしり防止スプリント|||||F
 OBX|0081|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T9|1022^左側上顎側切歯^JDASTB02|||||F
 OBX|0082|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T9|2^欠損歯^JDASTB03|||||F
 OBX|0083|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T9|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
 OBX|0084|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T9|02^現在歯【健全歯／】（治療痕なし）*
 ^JDASTD02|||||F
 OBX|0085|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T9|01^／（現在歯、または健全歯）^JDASTD03|||||F
 OBX|0086|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T9|01^生活歯^JDASTP03|||||F
 OBX|0087|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T9|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F
 OBX|0088|CWE|TF04^健全歯・S o u^JDAS0003|T9|01^健全歯・S o u^JDASTF04|||||F
 OBX|0089|CWE|TE05^当該歯特記事項の有無^JDAS0003|T9|01^当該歯特記事項あり
 ^JDASTE05|||||F
 OBX|0090|ST|TE06^当該歯特記事項^JDAS0003|T9|歯ぎしり防止スプリント|||||F
 OBX|0091|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T10|1023^左側上顎犬歯^JDASTB02|||||F

OBX|0092|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T10|2^欠損歯^JDASTB03|||||F
 OBX|0093|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T10|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
 OBX|0094|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T10|02^現在歯【健全歯／】(治療痕なし)*
 ^JDASTD02|||||F
 OBX|0095|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T10|01^／(現在歯、または健全歯)^JDASTD03|||||F
 OBX|0096|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T10|01^生活歯^JDASTP03|||||F
 OBX|0097|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T10|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F
 OBX|0098|CWE|TF04^健全歯・S o u^JDAS0003|T10|01^健全歯・S o u^JDASTF04|||||F
 OBX|0099|CWE|TE05^当該歯特記事項の有無^JDAS0003|T10|01^当該歯特記事項あり
 ^JDASTE05|||||F
 OBX|0100|ST|TE06^当該歯特記事項^JDAS0003|T10|歯ぎしり防止スプリント|||||F
 OBX|0101|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T11|1024^左側上顎第 1 小臼歯^JDASTB02|||||F
 OBX|0102|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T11|2^欠損歯^JDASTB03|||||F
 OBX|0103|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T11|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
 OBX|0104|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T11|02^現在歯【健全歯／】(治療痕なし)*
 ^JDASTD02|||||F
 OBX|0105|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T11|01^／(現在歯、または健全歯)^JDASTD03|||||F
 OBX|0106|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T11|01^生活歯^JDASTP03|||||F
 OBX|0107|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T11|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F
 OBX|0108|CWE|TF04^健全歯・S o u^JDAS0003|T11|01^健全歯・S o u^JDASTF04|||||F
 OBX|0109|CWE|TE05^当該歯特記事項の有無^JDAS0003|T11|01^当該歯特記事項あり
 ^JDASTE05|||||F
 OBX|0110|ST|TE06^当該歯特記事項^JDAS0003|T11|歯ぎしり防止スプリント|||||F
 OBX|0111|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T12|1025^左側上顎第 2 小臼歯^JDASTB02|||||F
 OBX|0112|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T12|2^欠損歯^JDASTB03|||||F
 OBX|0113|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T12|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
 OBX|0114|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T12|02^現在歯【健全歯／】(治療痕なし)*
 ^JDASTD02|||||F
 OBX|0115|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T12|01^／(現在歯、または健全歯)^JDASTD03|||||F
 OBX|0116|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T12|01^生活歯^JDASTP03|||||F
 OBX|0117|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T12|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F
 OBX|0118|CWE|TF04^健全歯・S o u^JDAS0003|T12|01^健全歯・S o u^JDASTF04|||||F
 OBX|0119|CWE|TE05^当該歯特記事項の有無^JDAS0003|T12|01^当該歯特記事項あり
 ^JDASTE05|||||F
 OBX|0120|ST|TE06^当該歯特記事項^JDAS0003|T12|歯ぎしり防止スプリント|||||F
 OBX|0121|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T13|1026^左側上顎第 1 大臼歯^JDASTB02|||||F
 OBX|0122|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T13|2^欠損歯^JDASTB03|||||F
 OBX|0123|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T13|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F
 OBX|0124|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T13|02^現在歯【健全歯／】(治療痕なし)*
 ^JDASTD02|||||F
 OBX|0125|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T13|01^／(現在歯、または健全歯)^JDASTD03|||||F
 OBX|0126|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T13|01^生活歯^JDASTP03|||||F
 OBX|0127|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T13|01^標準プロファイル
 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F
 OBX|0128|CWE|TF04^健全歯・S o u^JDAS0003|T13|01^健全歯・S o u^JDASTF04|||||F
 OBX|0129|CWE|TE05^当該歯特記事項の有無^JDAS0003|T13|01^当該歯特記事項あり
 ^JDASTE05|||||F
 OBX|0130|ST|TE06^当該歯特記事項^JDAS0003|T13|歯ぎしり防止スプリント|||||F
 OBX|0131|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T14|1027^左側上顎第 2 大臼歯^JDASTB02|||||F
 OBX|0132|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T14|2^欠損歯^JDASTB03|||||F
 OBX|0133|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T14|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F

OBX|0134|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T14|02^現在歯【健全歯／】(治療痕なし)*
^JDASTD02|||||F

OBX|0135|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T14|01^/(現在歯、または健全歯)^JDASTD03|||||F

OBX|0136|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T14|01^生活歯^JDASTP03|||||F

OBX|0137|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T14|01^標準プロファイル
26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F

OBX|0138|CWE|TF04^健全歯・S o u^JDAS0003|T14|01^健全歯・S o u^JDASTF04|||||F

OBX|0139|CWE|TE05^当該歯特記事項の有無^JDAS0003|T14|01^当該歯特記事項あり
^JDASTE05|||||F

OBX|0140|ST|TE06^当該歯特記事項^JDAS0003|T14|歯ぎしり防止スプリント|||||F

OBX|0141|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T15|1043^右側下顎犬歯^JDASTB02|||||F

OBX|0142|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T15|0^現存歯^JDASTB03|||||F

OBX|0143|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T15|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F

OBX|0144|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T15|02^現在歯【健全歯／】(治療痕なし)*
^JDASTD02|||||F

OBX|0145|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T15|01^/(現在歯、または健全歯)^JDASTD03|||||F

OBX|0146|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T15|01^生活歯^JDASTP03|||||F

OBX|0147|CWE|TP30^歯石沈着^JDAS0003|T15|01^歯石沈着 (Z S)^JDASTP30|||||F

OBX|0148|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T16|1042^右側下顎側切歯^JDASTB02|||||F

OBX|0149|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T16|0^現存歯^JDASTB03|||||F

OBX|0150|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T16|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F

OBX|0151|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T16|02^現在歯【健全歯／】(治療痕なし)*
^JDASTD02|||||F

OBX|0152|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T16|01^/(現在歯、または健全歯)^JDASTD03|||||F

OBX|0153|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T16|01^生活歯^JDASTP03|||||F

OBX|0154|CWE|TP30^歯石沈着^JDAS0003|T16|01^歯石沈着 (Z S)^JDASTP30|||||F

OBX|0155|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T17|1041^右側下顎中切歯^JDASTB02|||||F

OBX|0156|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T17|0^現存歯^JDASTB03|||||F

OBX|0157|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T17|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F

OBX|0158|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T17|02^現在歯【健全歯／】(治療痕なし)*
^JDASTD02|||||F

OBX|0159|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T17|01^/(現在歯、または健全歯)^JDASTD03|||||F

OBX|0160|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T17|01^生活歯^JDASTP03|||||F

OBX|0161|CWE|TP30^歯石沈着^JDAS0003|T17|01^歯石沈着 (Z S)^JDASTP30|||||F

OBX|0162|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T18|1031^左側下顎中切歯^JDASTB02|||||F

OBX|0163|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T18|0^現存歯^JDASTB03|||||F

OBX|0164|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T18|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F

OBX|0165|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T18|02^現在歯【健全歯／】(治療痕なし)*
^JDASTD02|||||F

OBX|0166|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T18|01^/(現在歯、または健全歯)^JDASTD03|||||F

OBX|0167|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T18|01^生活歯^JDASTP03|||||F

OBX|0168|CWE|TP30^歯石沈着^JDAS0003|T18|01^歯石沈着 (Z S)^JDASTP30|||||F

OBX|0169|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T19|1032^左側下顎側切歯^JDASTB02|||||F

OBX|0170|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T19|0^現存歯^JDASTB03|||||F

OBX|0171|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T19|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F

OBX|0172|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T19|02^現在歯【健全歯／】(治療痕なし)*
^JDASTD02|||||F

OBX|0173|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T19|01^/(現在歯、または健全歯)^JDASTD03|||||F

OBX|0174|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T19|01^生活歯^JDASTP03|||||F

OBX|0175|CWE|TP30^歯石沈着^JDAS0003|T19|01^歯石沈着 (Z S)^JDASTP30|||||F

OBX|0176|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T20|1033^左側下顎犬歯^JDASTB02|||||F

OBX|0177|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T20|0^現存歯^JDASTB03|||||F

OBX|0178|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T20|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F

OBX|0179|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T20|02^現在歯【健全歯／】(治療痕なし)*

^JDASTD02|||||F
OBX|0180|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T20|01^(現在歯、または健全歯)^JDASTD03|||||F
OBX|0181|CWE|TP03^生活歯・失活歯^JDAS0003|T20|01^生活歯^JDASTP03|||||F
OBX|0182|CWE|TP30^歯石沈着^JDAS0003|T20|01^歯石沈着 (Z S)^JDASTP30|||||F
OBX|0183|CWE|SI02^その他の疾病及び異常の有無^JDAS0003|T0|01^その他の疾病及び異常あり
^JDASSI02|||||F
OBX|0184|ST|SI05^その他の疾病及び異常^JDAS0003|T0|上顎正中部骨瘤|||||F

3 歯科情報の保存と利活用に係る論点の整理

3-1 標準化によって可能になる取組

本章では、歯科診療情報の保存と利活用に関する論点を整理し、その課題や解決策を検討するとともに、既に行われている歯科情報の活用事例も紹介しながら、歯科情報の標準化によって広がる可能性について述べる。

新潟県歯科医師会が行った、平成 25 年度から 27 年度の歯科診療情報の標準化に関する実証事業報告書において、標準化によって可能になる取組として、以下の項目が掲げられている。これらの取組については、厚生労働省の検討会においても議論されてきたところであるが、技術的には実現可能な取組が多いものの、しかしながら、法的問題も含め様々な課題が山積している。

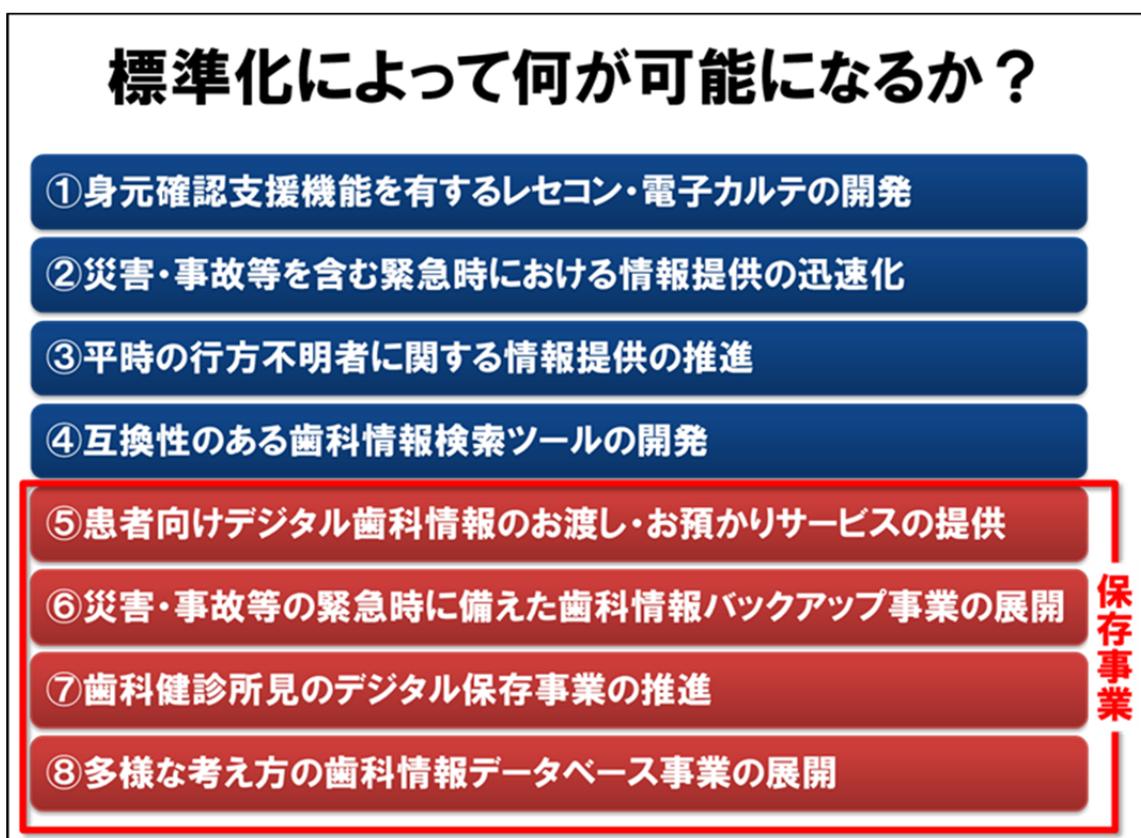


図 1 歯科診療情報の標準化によって可能になる取組

①から④までが身元確認に係る事項である。⑤から⑧は歯科情報の保存事業と捉えられる。

① 身元確認支援機能を有するレセコン・電子カルテの開発

警察から照会された特定の対象者が、自分の歯科医院の患者に存在するかどうかを検索するための機能を、メーカーとタイアップして電子カルテ・レセコンに搭載し、平時の身元不明遺体の解消に貢献する。

- 具体例：「口腔診査情報標準コード仕様」に基づく、レセコン等への機能付加。患者

の最新の口腔状態を書き出す機能の付加（CSV 形式データ、HL7）や、歯科情報に基づいて個人を検索する機能の付加等が挙げられる。

- 管理主体：医院（院長）
- 検討課題：機能付加に関して、システム開発費用（ベンダー）、日常の診療に負担を強いることはないか（医院）、レセコン等の機種により出力可能な情報量が異なる（ベンダー）等の課題が挙げられる。また、検索機能の付加については、検索の方法や精度がベンダーによって異なるため、検索手法の標準化も必要である。
- 解決方法：診療報酬の点数化（電子化加算、標準化体制加算など）、レセコン認定制度の整備、入札要件化などのインセンティブ付与等があげられる。また、検索機能の付加については、標準検索 API などのツールの提供も想定される。

② 災害・事故等を含む緊急時における情報提供の迅速化

災害や事故などの発生時に、マークシートや Web などを介して、行方不明者の歯科情報を、かかりつけ歯科医院から警察へ迅速に提供可能にする。

- 具体例：歯科医院と警察の双方向間のやりとりにおいて、標準歯科情報（CSV 形式データ等）をデジタル媒体で提供することが考えられる。
- 管理主体：医院（院長）
- 検討課題：歯科医院から警察への情報提供において、警察側システムでの標準化の対応が必要である。また、情報提供ルート（どのように提供するか）や、標準歯科情報（CSV 形式データ等）のポータブルな媒体（バーコード等）も望まれる。一方、警察から歯科医院への提供においては、警察側の検視作業の中で対応が可能なプロファイルを標準に盛り込むことが必要とされる。具体的には、標準プロファイルで定義された 26 項目に、上位記述子を追加する（「歯あり」、「欠損」、「部分修復」、「全部修復」）ことが挙げられる。
- 解決方法：警察との具体的な協議を推進することが必要。

③ 平時の行方不明者に関する情報提供の推進

平時に警察に届け出られる特異行方不明者について、当人の歯科情報を、かかりつけ歯科医院から迅速に入手できるようにする。

- 具体例：搜索願を出す親族等が、医院に情報提供を依頼する。医院からは標準歯科情報（CSV 形式データ等）を警察に提供する。
- 管理主体：医院（院長）
- 検討課題：上記の②における検討課題同様に、警察側システムでの対応や、情報提供ルートの確立、ポータブルな媒体（バーコード等）が課題として挙げられる。
- 解決方法：上記②同様、警察との具体的な協議の推進が必要。

④ 互換性のある歯科情報検索ツールの開発

データの互換性のある優れた歯科情報検索・照合ツールを、異なるベンダーや研究グループが、自由に開発することを可能にする。

- 具体例：歯科医師会や大学等で、より性能が高く使い易い検索ツールを開発できる（海外互換ツールを含む）。東日本大震災で用いられた、Dental Finder やサブロク検索

など。

- 検討課題：ツールの開発者に対して、標準化歯科情報の周知が必要。
- 解決方法：日本法歯科医学会や、警察歯科医会等との連携も図りながら、標準化歯科情報の周知に努める。

以上の取組は、主に身元確認に係る事項であるが、ベンダーや関係各位に対して「口腔診査情報標準コード仕様」の周知や普及啓発が必要である。また、歯科所見による身元確認は、生前と死後とで一对になるものであり、早急に警察関係者との協議が必要である。

以下の⑤から⑧の事業については、主に標準歯科情報のデジタル保存事業の推進として考えられる。

⑤ 患者向けデジタル歯科情報のお渡し・お預かりサービスの提供

希望する患者に対して、歯科医院から標準デジタル歯科情報をカードのような媒体やデータ形式でお渡しする、または、データとしてお預かりするサービスを展開する。

- 具体例：紙やカード、バーコード等の各種媒体による歯科情報提供や、データによる歯科情報提供が挙げられる。スマホ用歯科アプリ等による提供も可。
- 管理主体：医院（院長）、アプリ提供事業者
- 検討課題：事業性としての問題（民間参入）
- 解決方法：お薬手帳（電子版）やPHRなどと連携した事業創出が挙げられる。

⑥ 災害・事故等の緊急時に備えた歯科情報バックアップ事業展開

歯科医院に存在する歯科情報の消失（歯科医院の被災、法定保存年限の経過、レセコンの更新、情報機器の故障、歯科医院の廃業や世代交代などに起因する消失）を防ぐための歯科情報バックアップ事業を展開する。

- 具体例：医院ごとのバックアップ（最小単位）であり、ハードディスクやCD、USBメモリ等の媒体によるバックアップのほか、データセンターを活用したデータ保存（外部保存）も想定される。
- 管理主体：医院（院長）
- 検討課題：データ保存媒体の管理が煩雑、レセコン等の機種変更や、医院の世代交代、廃院等による歯科情報消失の可能性が危惧される。
- 解決方法：データセンターを利用した院外バックアップの推進が挙げられる。

⑦ 歯科健診所見のデジタル保存事業の推進

歯科健診（節目健診、学校健診、職場健診、離島や遠隔地での健診など）の所見についても、「口腔診査情報標準コード仕様」をもとにデジタル保存し、災害・事故等緊急時に備えることを可能にする。更に、医療連携も見据えた活用も期待される。

⑧ 多様な考え方の歯科情報データベース事業の展開

各都道府県のニーズに応じた住民の歯科情報のデータベース事業を企画・実施する（南海トラフ大地震に備えた事業、航空機事故に備えた事業など）。

多様な解釈が可能な「データベース」

- データベース(バックアップデータベースを含む)については、以下に列挙するように概念として多様な解釈が可能である。言葉のみが独り歩きしないように留意すべき。
- ◎▷【**医院ごとのバックアップ(最小単位)**】 歯科医療機関ごとに、民間データセンター等を活用して、標準形式で定められた歯科診療情報のバックアップを行う(取組の⑥に対応)
- ◎▷【**地域バックアップ事業**】 地域医療情報連携事業など各種の政府施策を活用し、前項で述べたバックアップを地域レベルでまとめて推進(SS-MIX2標準を活用のうえ医科と連携して実施)
- ▷【**歯科単独の専用データベース**】 各県歯科医師会や特定地域歯科医院グループ等を中心として、大規模災害・事故などの緊急事態に備えるために、標準形式の専用データベースを構築
- △▷【**国レベルの専用データベース**】 国家レベルの決断が必要

図2 データベースの解釈については多様性がある

歯科情報の保存に関して、まずは最小単位として、医院ごとのバックアップが挙げられる。本年度事業においては、院内のローカルストレージでのデータ保存迄を想定して「口腔診査情報標準コード仕様」を策定したが、様々な要因で歯科情報が消失する可能性を考慮すると、データセンターなどの外部施設を利用したデータ保存の検討が必要である。

地域バックアップ事業として、現在、全国で250を超える地域医療ネットワークが存在すると言われており、将来的にはこれが全国展開する可能性がある。今般の事業において、歯科情報をCSV形式データ、もしくはHL7(SS-MIX2)として出力可能としたことから、地域医療ネットワーク上での歯科情報の利用が容易となり、地域医療連携における歯科情報の活用も一層拍車がかかることが期待される。そのためにも、地域における多職種との連携において、「歯科診療情報の標準化」の周知啓発に努めることが求められる。しかし、これらの医療ネットワークは医療保健を目的としており、歯科情報を身元確認に使用する際には、患者(利用者)の同意が必要であり、システム運用上の検討課題も多いが、既存の取組として「うすき石仏ねっと」のように、利用者の同意の下、災害時の利用も想定した運用がなされている事例もある。「うすき石仏ねっと」については後述する。

歯科単独の専用データベースの構築については、歯科情報の外部バックアップという点は勿論、歯科情報が1カ所に集約されているという点からも、大規模災害時には極めて有効であるといえる。一方で、データベースの管理や運営費用など様々な検討課題も挙げられるが、岡山県歯科医師会で実施の「家族の絆プロジェクト」のように、災害時を想定して、歯科医師会独自で県民の歯科データベースの構築に着手した事例もある。この取組も後述する。

その他にも、複数県をまたぐブロックでのデータベースの構築なども想定されるが、同じく、管理や費用などの多くの検討課題が山積している。

国レベルでのデータベースとして、「レセプト情報・特定健診等情報データベース (NDB)」が運用されている。このデータは保健医療を対象とした各種政策の立案や研究利用を目的とし、平成 28 年 10 月には、第 1 回 NDB オープンデータとして公表されている。しかし、NDB データは匿名化されていることから、身元確認の用途としての利用は難しい。その他に審査支払機関におけるレセプト情報 (KDB) なども挙げられるが、これらについては十分な議論が必要と考えられる。

● NDB オープンデータの概要

厚生労働省は 2009 (平成 21) 年より、電子化されたレセプト情報ならびに特定健診・特定保健指導情報を収集した「レセプト情報・特定健診等情報データベース (NDB)」を構築した。NDB にはレセプトデータ及び特定健診、特定保健指導のデータが蓄積されており、世界でも有数の規模と悉皆性を誇るデータベースとなっている。国民皆保険制度下にある日本においては国民の医療の実態を全数に近い割合で評価できるため、保健医療を対象とした各種政策の立案や各種研究を行うにあたって、非常に貴重なデータと考えられている。

NDB に蓄積されたデータは国民の共有財産であり、こうした貴重なデータの利活用を進めるべく、我が国における医療の実態や特定健診の結果等を、国民に解りやすく示した統計

NDBオープンデータ：作成の背景と目的

作成の背景

- ◆ レセプト情報・特定健診等情報データベース (NDB) は、悉皆性が高いレセプト情報、および検査値などの詳細な情報を有する特定健診等情報が含まれており、国民の医療動向を評価するうえで有用なデータだと考えられている。
- ◆ 2011年度より、医療費適正化計画策定に資する目的以外でのNDBデータの利用が認められたが、NDBデータの機微性の高さに鑑み、利用者に対しては高いレベルのセキュリティ要件を課したうえで、データ提供が行われてきた。
- ◆ 一方で、多くの研究者が必ずしも詳細な個票データを必要とするわけではないため、多くの人々が使用できるような、あらかじめ定式化された集計データをNDBデータをもとに整備することが重要ではないか、という議論が有識者会議等でなされてきた。
- ◆ NDBの民間提供に関する議論でも、「レセプト情報等の提供に関するワーキンググループ」からの報告では、汎用性が高く様々なニーズに一定程度応えうる基礎的な集計表を作成し、公表していくことがむしろ適当である、という指摘がみられた。

作成の目的

- ◆ 多くの人々がNDBデータに基づいた保健医療に関する知見に接することが出来るよう、**NDBデータを用いて基礎的な集計表を作成したうえで、公表する。**
- ◆ NDBデータに基づき、**医療の提供実態や特定健診等の結果をわかりやすく示す。**

図 3 平成 28 年 10 月に第 1 回 NDB オープンデータが公表された
<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000139390.html>
(厚生労働省保健局介護連携政策課保険システム高度化推進室)

資料が NDB オープンデータである。NDB オープンデータの公表対象は、医科入院外レセプト、医科入院レセプト、DPC レセプト、調剤レセプト、歯科レセプト、及び特定健診としている。

NDBオープンデータ：集計対象と公表形式

データの対象・項目等

- ◆ 公表データ： ① **医科診療報酬点数表項目**、② **歯科傷病**、③ **特定健診集計結果**、④ **薬剤データ**
- ◆ 対象期間： ①②④：平成26年4月～平成27年3月診療分
③：平成25年度実施分
- ◆ 公表項目： ①：A（初・再診料、入院基本料、入院基本料等加算、特定入院料、短期滞在手術基本料）
B（医学管理等）、C（在宅医療）、D（検査）、E（画像診断）、
H（リハビリテーション）、I（精神科専門療法）、J（処置）、K（手術）
L（麻酔）、M（放射線治療）、N（病理診断）
②：「う蝕」、「歯周病」、「喪失歯」
③：「BMI」、「腹囲」、「空腹時血糖」、「HbA1c」、「収縮期血圧」、「拡張期血圧」、
「中性脂肪」、「HDLコレステロール」、「LDLコレステロール」、「GOT(AST)」、
「GPT(ALT)」、「γ-GT(γ-GTP)」、「ヘモグロビン」、「眼底検査」
④：「内服」、「外用」、「注射」それぞれにつき、「外来院内」、「外来院外」、「入院」ごとに、薬価収載の基準単位に基づき、薬効別に処方数の上位30位を紹介
- ◆ 今回、**医科/DPCレセプトからの傷病名情報の集計は行っていない**。「疑い」病名の扱いなど、傷病名の妥当性について相応の検証が必要と考えられたが、十分な検証には至らなかった。

公表形式

- ◆ 上記①～④に対し、一部例外を除き、集計表とグラフを作成し、公開する。
- ◆ 集計表では「**都道府県別**」および「**性・年齢階級別**」の集計を、グラフでは「**都道府県別**」の記載を行う。

図4 歯科は「う蝕」、「歯周病」、「喪失歯」の3項目が公表されている
(厚生労働省保健局介護連携政策課保険システム高度化推進室)

第1回 NDB オープンデータ（平成28年10月）では、NDB から2014（平成26）年度診療分のレセプト情報、2013（平成25）年度実施分の特定健診情報を抽出して基礎的な集計表を作成し、誰でも自由に利用できるように公表している。今後も毎年継続的に公表していくことが予定されている。NDB オープンデータが日本の医療ビッグデータを扱った統計資料として、ヘルスケアに関心を有するより多くの国民に役立ててもらうことが期待される。

このようなデータベースにおいて、身元確認を目的に運用するには実名での利用が不可欠であるが、これには個人情報保護法をはじめとした法的課題が山積している。

3-2 歯科診療情報の保存に関する検討課題

前述の歯科情報の保存に関する取組については、いずれも技術面では対応可能なものが多いが、しかし法的な課題も含めて、検討事項が多岐にわたる。以下、法的な解釈も交えて、これらの課題について述べる。

- 技術的に可能なことと法律的に可能なことは分けて考える必要がある。
- 現在、身元確認に関する法令としては「個人情報の保護に関する法律」と「警察等が取

り扱う死体の死因又は身元の調査等に関する法律」の2つがある。

- 歯科の情報に関しては「要配慮個人情報」に当たり、「要配慮個人情報」は「個人情報の保護に関する法律施行令」にて「イ 本人に対して医師その他医療に関連する職務に従事する者（「医師等」）により行われた疾病の予防及び早期発見のための健康診断その他の検査（「健康診断等」）の結果」及び「ウ 健康診断等の結果に基づき、又は疾病、負傷その他の心身の変化を理由として、本人に対して医師等により心身の状態の改善のための指導又は診療若しくは調剤が行われたこと」と定義されている。「要配慮個人情報」に該当すると、第三者提供の際に原則として本人の同意が必要になり、オプトアウトはできなくなる。
- 第三者提供の制限については「個人情報の保護に関する法律」第23条で、以下の通り定められている。
 - 個人情報取扱事業者は、次に掲げる場合を除くほか、あらかじめ本人の同意を得ないで、個人データを第三者に提供してはならない。
 - 一 法令に基づく場合。
 - 二 人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき。
 - 三 公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき。
 - 四 国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、本人の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。
- 身元確認を行う場合で歯科医療機関が警察に情報提供する時には、法令に基づく場合に該当し、「警察等が取り扱う死体の死因又は身元の調査等に関する法律」第4条第3項に「警察署長は、前項の規定による調査（身元確認）を実施するに当たっては、医師又は歯科医師に対し、立会い、死体の歯牙の調査その他必要な協力を求めることができる。」と規定されている。
- 現在、歯科医療機関にある歯科情報を警察に提供することは問題なく、また、歯科情報を外部に保存することも問題ない。ただし、保存先の情報を保存請負業者が警察からの依頼を受けて提供することはできない。
- 保存に関しては、歯科医療機関の外部に保存するのであれば、保存目的にしか使用できないのが現状である。現在は歯科医療機関内での保存で実証事業が進められているが、仮に外部に保存するのであれば、データセンターというよりは、データを預かってもらえる場所で、そこから外部に出ないように保存する形になる。
- 例えば、歯科の身元確認の専用のデータベースを作るとなると、作るための法的根拠がない。NDBであれば法的に規定されているため問題ないが、歯科の情報でデータベースを作って何かをすることに対する法律がなく、仮にそのデータベースができたとしても、データベースに警察がアクセスして身元確認をするための法律がない。大規模に行う場合には、二段構えで法律を作る必要がある。また、認知症対応となると、さらに困難になる。
- データベース化やネットワークの活用、医療情報の一元化などに向けては、法整備が行われなければ実現は難しいと思われる。「個人情報保護法」の規定では、歯科の情報は「要配慮個人情報」に当たるため、実名が付いたままでの活用は困難である。匿名化を前提

に利用可能とする新しい仕組みを創設する法案が通常国会に提出されるが、身元確認においては実名がなければ意味がないので実現性は厳しい。

- 匿名化した患者情報に係る、次世代医療基盤法案が閣議決定したが、この動向についても注視していく必要がある。
- どのレベルまで身元確認を行うかであるが、現状でレセコンに搭載された場合、警察から一斉に検索を掛けて身元を特定することは非常に早くなると思うが、該当する歯科医院さえ分からない場合の取扱いについては議論が必要である。地域医療ネットワーク等に関しては、収集した情報を患者さんに全て戻すものであるため、法的な障害はないと思われる。
- 身元不明者の住居地が特定できれば、歯科医療機関を抽出できるため、多数の身元確認が必要な場合でも、マンパワーを活用すれば身元確認は可能である。一方、例えば、居住に関わらず、他の地域から仕事等で滞在している人が多い大都市では、受診している歯科医療機関が特定できず、歯科情報が集合した状態でなければ身元確認は困難になる。
- 利活用については、身元確認での活用に向けて、どのレベルで保存するかによる。歯科医療機関内で保存している情報に対して、警察が個々に対応して、警察が持っているデータと歯科医療機関のデータとを、例えば、Dental Finder 等で照合することを全国の歯科医療機関でできるようにするのが最大の目的である。

歯科医療機関内に存在する貴重な歯科情報は、大規模災害のみならず、様々な理由により消失する可能性がある。これを防ぐためにも外部でのデータバックアップが必要であるが、しかしながら、この歯科情報はバックアップのみを目的とし、保存先での目的外利用は不可能である。

前述の通り、歯科データベースの構築も含め、外部保存された歯科情報を身元確認のために利用することには課題が山積し、法改正も含めた検討が必要である。そのためにも、身元確認における歯科情報のあり方を国民に周知するとともに、広く国民の理解を得ることが不可欠といえる。

3-3 歯科診療情報の利活用事例

歯科診療情報の標準化はまだなされていないものの、これに先行して、既にいくつかの地域において、歯科情報を用いたバックアップ事業やデータベース化事業が独自の取り組みで行われている。ここでは先に述べた2つの事例を紹介したい。

3-3-1 うすき石仏ねっとの取組

大分県臼杵市における、「臼杵市地域医療・介護情報連携システム」として、「うすき石仏ねっと運営協議会」が運営しているもので、平成20年にスタートした。これには、臼杵市内の病院をはじめ、医院、歯科医院、薬局や、介護施設、訪問介護ステーション、居宅介護支援事業所、行政、消防署などが参加し、市民や患者の医療情報、投薬、検査結果などの情報が共有されている。また、平時における医療情報の共有のみならず、災害時における情報活用も考慮されている。現在「うすき石仏ねっと」の登録者は1万人を超え、臼杵市の人口約4万人のうちおよそ4人の1人は、このシステムに登録している。



図5 うすき石仏ねっと（パンフレットより）

医療や介護、福祉関係者だけでなく、行政や消防署（救急車）も含めた体制の中で、情報の共有が図られる。

「うすき石仏ねっと」は、地域包括ケアとして、医療や介護、福祉等の多職種がお互いに連携を図りながら運営され、利用者にも好評を博している。特筆すべきは、災害時の身元確認も考慮されていることから、歯科も含めた地域医療連携のモデルケースの一つとして参考となる取組であり、「口腔診査情報標準データ仕様」の策定によって、今後一層の発展が期待されるものである。

3-3-2 家族の絆プロジェクトの取組

家族の絆プロジェクトは、岡山県歯科医師会が平成 27 年よりスタートした事業である。東日本大震災においては、歯科医療機関が被災したことにより、貴重な生前の歯科情報が消失する事例があった。岡山県ではこの教訓をもとに、県民の口腔内情報をデータ化することにより、被災時に迅速で的確な身元確認作業を可能にするデータベースの構築を開始した。

これは、会員の歯科医療機関を受診する患者のうち、希望者に対して患者の同意の下、その歯科情報（デンタルチャート）を記録し、これを岡山県歯科医師会が受託して、デンタルチャートと併せてこれをもとにした電子データを厳重な管理下で外部に保管しているものである。郡市会の地域イベントでもこれを実施し、現在約 6,500 人分の歯科情報が保管されている。地域住民の歯科情報を医院外に保管する、いわばデータバックアップとして大きな意味を持つものであり、今後、歯科情報の外部バックアップを検討するうえでも、参考になる取組の一つである。



図 6 家族の絆プロジェクト（パンフレット、登録カード）

岡山県歯科医師会員の協力の下で収集した歯科情報が、厳重な管理下で外部保存される。

なお、今般策定した「口腔診査情報標準データセット」はこれらの先駆的な取り組みについても、カバーできる内容を兼ね備えていることから、「口腔診査情報標準データセット」の普及と併せて、これらの事業の一層の充実に期待が持てるところである。

3-4 海外の歯科情報との互換

世界各地で頻発する地震等の自然災害のみならず、テロによる事件や様々な事故等、歯科所見による身元確認は世界中で行われており、国際的にも法歯学に関する用語の統一が求められている。

海外における歯科所見による身元確認の現状については、「平成 27 年度厚生労働省実証事業報告書」にも記載されており、詳細は割愛するが、法歯学に関する歯科用語の国際規格発行に向けて、現在 ISO/TC106 において 2015 年より検討が進められている。以下、ISO/TC106 の近況について述べる。

2016 年 9 月 13 日（火）ノルウェーのトロムソにて、第 52 回 ISO/TC106 トロムソ会議が開催され、本会牧野副会長、杉山常務理事をはじめ、東北大学佐々木歯学科長（WG5 エキスパート）、同大学青木副学長らが出席した。

法歯学に関する用語は、SC3 (Terminology、用語) の中の WG5 (Terminology for forensic oro-dental data、法歯学情報に関する用語) において検討されているが、今回のトロムソ会議においては、本 WG のリエゾン（関係組織間の情報交換）として NATO COMEDS DSP [NATO（北大西洋条約機構）の医療業務部隊長会歯科医療小委員会] も出席した。

WG5 の座長である、Kenneth Aschheim 氏（米国）の下、法歯学情報に係る用語に関する CD (committee draft：委員会原案) に対しての投票が行われ、以下の事項が決定した。

- ① 本文を以下の 3 件による独立したデータセットとする
 - Mouth data set
 - Tooth data set

■ Prosthetics data set

② 喪失歯 (missing tooth) の確認方法

- 喪失歯は、X線像で確認しなければ十分な情報とはならないとの合意に達した。

③ データセットの構造

- 我が国の、平成 27 年度歯科診療情報の標準化に関する実証事業で策定された「口腔状態の標準データセット (Oral Status Standard Data Set)」をもとに、日本が提案したテーブル型の構造を採用すること。使用している用語の解釈を統一するために、「用語の定義」を付属書 (規定) して記載することとした。

④ 関係コメントの検討

以上を踏まえて、第 2 次 CD を作成するための作業班 (アドホックグループ) の設置が承認され、座長の Keneeth Aschheim 氏及び佐々木啓一先生ほか 3 名に、インターポールからの代表も含めた計 6 名で作業を行うことが決定した。

2017 年 1 月より上記 6 名によるアドホックグループによる Web ミーティングが数回にわたり行われ、データセットの再検討や、既存の ISO コードの利用も考慮した、データ関係テーブルについて検討がなされた。Web ミーティングにおいて各国の意見をもとに細部を詰め、間もなく第 2 次 CD が発行される見込である。

我が国では、海外からの訪日観光客が年々増加しているが、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックをひかえ、万々に備えた歯科情報の標準化も急務といえる。国内における歯科診療情報の標準化と、ISO で検討中の内容についても、互換性を保ちながら容易に対応可能のように努めるとともに、ISO と連携しながら対応する必要がある。

以上、歯科診療情報の標準化によって可能になる取り組みについて述べてきたが、たんに「身元確認に資する」といった観点のみならず、「うすき石仏ねっと」での取組で示される通り、今般策定した「口腔診査情報標準データ仕様」は、地域医療連携として、広範にわたる多職種協働の下での活用が期待できる。これは、地域包括ケアの観点からも極めて有意義なものであるといえるが、以下、我が国の長期的な保健医療政策を俯瞰した中で、歯科診療情報標準化によってもたらされる可能性について述べたい。

3-5 将来的な歯科情報の利活用に向けて

世界で類のないスピードで高齢化が進む我が国において、保健医療や社会保障制度の長所を継承しながら、長期的な社会変動へも対応できるような新しい社会システムの新生が求められている。厚生労働大臣の諮問機関が、20 年後の保健医療政策のビジョンを示した「保健医療 2035」(平成 27 年 6 月)において、「情報基盤の整備と活用」が、新たな保健医療システムの「インフラ」の一つとして位置づけられている。

平成 28 年 10 月 19 日、厚生労働省の「保健医療分野における ICT 活用推進懇談会」より、『ICT を活用した「次世代型保健医療システム」の構築に向けて』と題した提言が示された。ここでは、「保健医療 2035」のビジョンを踏まえ、「患者・国民にとっての価値」につながる保健医療の実現に向け、ICT をどのように活かしていくべきかという観点から議論が行われてきた。

これまでの保健医療分野における ICT の活用として、例えば個々の医療機関等での情報化を自己目的化するなどの側面があり、医療保健専門職、研究機関、民間企業、行政等におい

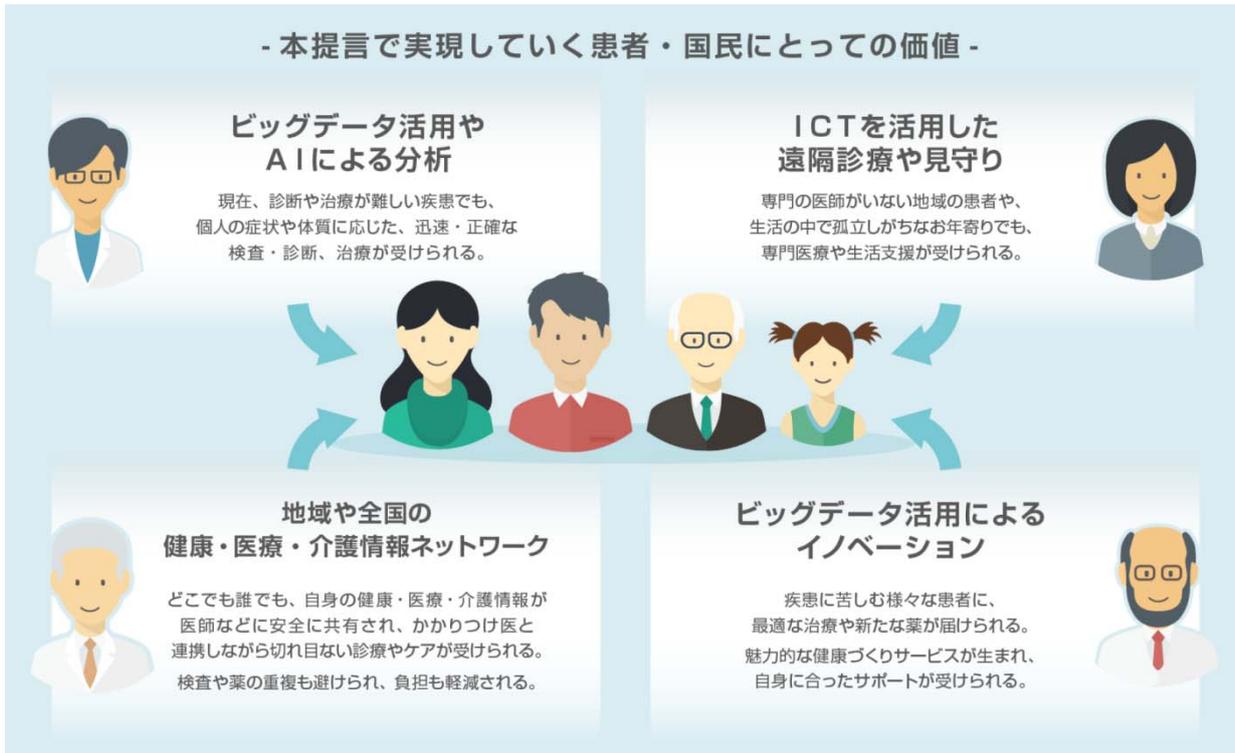


図 7 厚生労働省「保健医療分野における ICT 活用推進懇談会」提言より
 歯科情報は、健康・医療・介護ネットワークとしての利用や、ビッグデータとしての活用等も期待される。

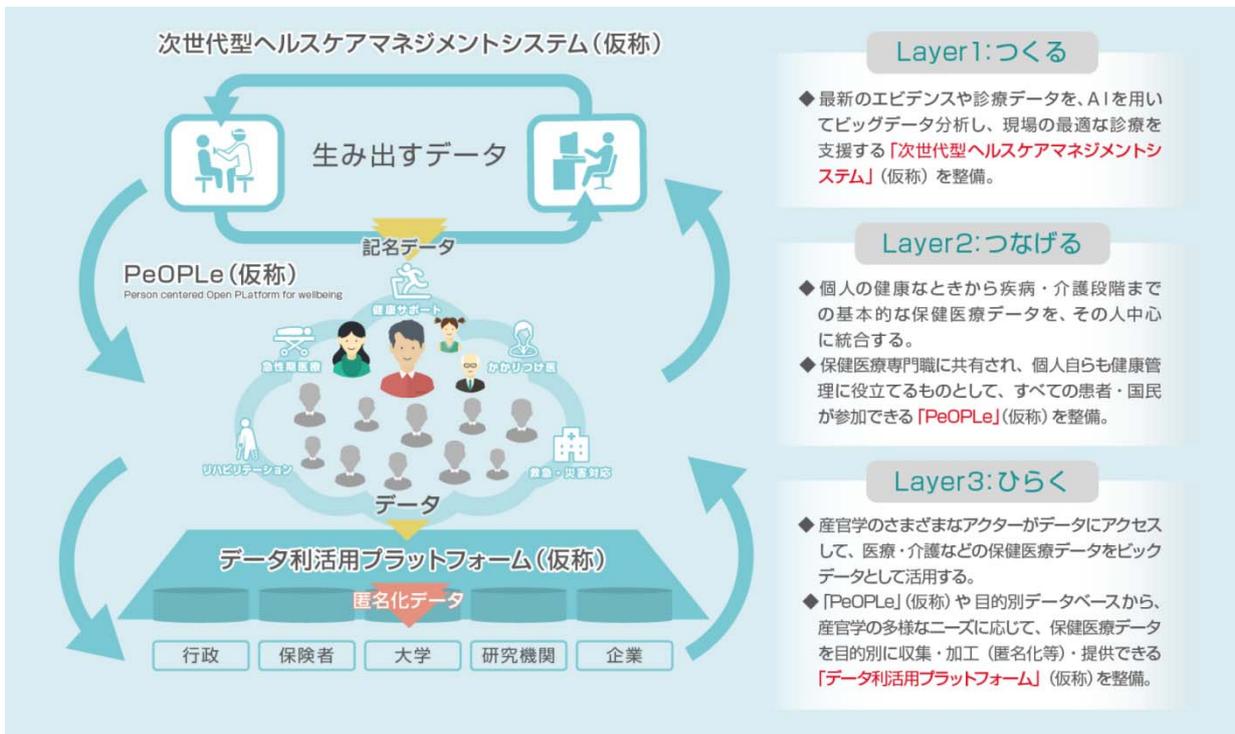


図 8 厚生労働省「保健医療分野における ICT 活用推進懇談会」提言より

て、いわゆる「たこつぼ化」（業務プロセス・システムなどが外部と連携せず自己完結している状態）が進行したと指摘されている。東日本大震災における身元確認において、我々はまさに「たこつぼ化」（業務プロセス・システムなどが外部と連携せず自己完結している状態）を経験し、貴重な歯科情報が「共通の様式でデータ化されていない」どころか、「データそのものが存在しない」という現実さえも目の当たりにしたところである。

ICT を活用した、「次世代型保健医療システム」の考え方として、従来の「価値不在の情報化」から「患者・国民にとっての価値主導」へと再構築する必要性が述べられている。

また、「次世代型保健医療システム」の構築に向けた「3つのパラダイムシフト」として、3つのキーワード「つくる」、「つなげる」、「ひらく」を掲げるとともに、各々に対応して「次世代型保健医療情報システム」構築のための「3つのインフラ」の整備が掲げられている。

- ◆ キーワード1「つくる」＝「集まるデータ」から「生み出すデータへ」
 - レセプトやカルテなど現在収集できるデータだけでなく、保健医療の質の向上など、「患者・国民にとっての価値」を生み出すデータを「つくる」
 - ◇ インフラ：「次世代型ヘルスケアマネジメントシステム（仮称）」
- ◆ キーワード2「つなげる」＝「分散したデータ」から「データの統合へ」
 - 医療機関等の施設や、個人に分散したデータを、一人ひとりを軸に、健康なときから疾病・介護段階までを生涯にわたって統合して「つなげる」
 - ◇ インフラ：患者・国民を中心に保健医療情報をどこでも活用できるオープンな情報基盤（Person centered Open Platform for well-being:PeOPLe（仮称））
- ◆ キーワード3「ひらく」＝「たこつぼ化」から「安全かつ開かれた利用」へ
 - 施設や行政・研究機関などの個々の主体で囲い込まれたデータを、産官学が安全に活用できるプラットフォームで「ひらく」
 - ◇ インフラ：「データ利活用プラットフォーム（仮称）」



図9 厚生労働省「保健医療分野におけるICT活用推進懇談会」提言より
現在、全国で約250の地域医療情報連携ネットワークにおいて情報を共有する取組が行われているが、2018年度までには、これを全国各地へ普及することを目標としている



図 10 「次世代型保健医療システム」の構築に向けた行程表（厚生労働省）

ICTの技術は日進月歩で急速な発展を遂げている。この進歩は、情報連携・情報提供の迅速化・効率化・質の向上や、膨大な情報の蓄積・分析手法の高度化に寄与する一方で、医療等ICTの利活用は、医療機関等における基盤整備に一定の費用がかかるとともに、取り扱われている情報は国民にとって機微な情報も多いことから、国民や医療機関がメリットを実感できる形で進めていく必要がある。

地域の医療機関や介護事業所の連携による患者の状態にあった質の高い医療や介護の提供のため、迅速且つ適切な患者・利用者情報の共有にICTを活用していくことや、ICTを用いた情報分析・活用によって、国民の健康管理、医療・介護サービスの質の向上、施策の重点化・効率化、医療技術の発展等を図ることは、重要な視点であると考えられる。

このような視点から、現在、ICTのみならず、医療IoTや、AI、ビッグデータ活用など、技術革新と医療を融合した様々な取組が行われ、厚生労働省や、内閣府、経済産業省等でも様々な事業が展開されている。

我々もたんに歯科医療の観点にとどまらず、情報通信をはじめ、災害対応なども含めて、歯科情報の活用による新たなイノベーションの創出、社会にもたらす様々な将来像を見据えて俯瞰的にとらえ、多岐にわたる検討が必要であるとともに、多方面にわたり積極的にアプローチすることが肝要である。

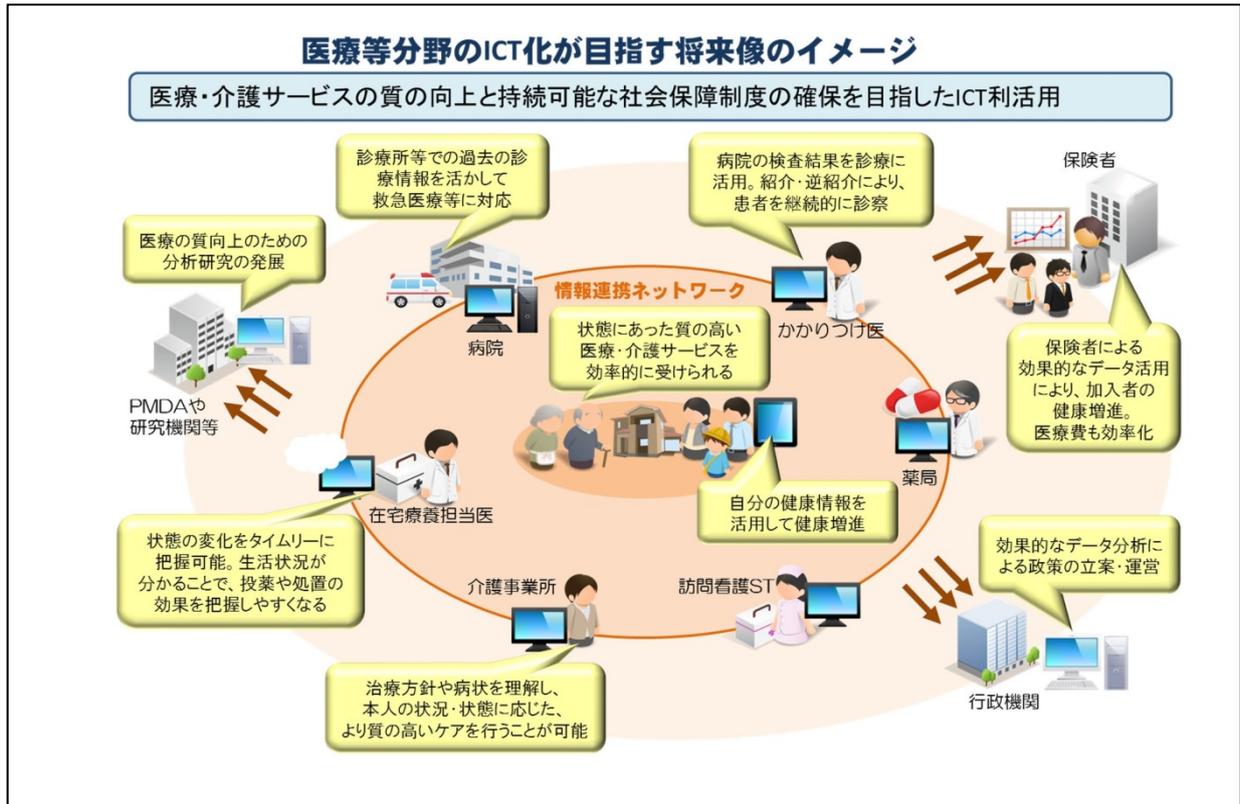


図 11 医療 ICT 化による将来像（厚生労働省）

医療情報等の活用により、状態にあった質の高い医療・介護サービスを効率的に受けることができる。また、自分の健康情報を活用して健康増進につなげることもできる（PHR の活用）。

医療、介護等、多職種が相互に医療情報を共有、活用する取組として、「うすき石仏ねっと」を紹介したが、医療等分野の ICT 化が目指す将来像（図 11）に示す通り、多職種間での医療情報の共有のみならず、Personal Health Record（PHR）として、個々人が生涯にわたって自身の健康情報を管理できるようになるなど、利用の幅が広がることが想定される。

今般策定された「口腔診査情報標準データ仕様」は、CSV 形式データや HL7 といったデータ形式を用いたことから、様々なネットワークのプラットフォーム上で、同一の様式でデータを載せることが容易になった。厚生労働省の示す 3 つのパラダイムシフトである、「つくる」「つなぐ」「ひらく」への実現に向けても大きな役割を果たすことが期待できるが、そのためには、保健医療分野のみならず、通信や災害など様々な分野の ICT 施策において、我々歯科分野でも中長期的な視点に立っての施策の全体像を描き、そこから個々の施策の立案・実施・検証をしていく機能（ガバナンス機能）の一層の確立に努める必要がある。

4 結論

本年度事業の成果は、次のようにまとめることができる。

- 平成 27 年度に策定された、896 個の特徴記述子からなる、「口腔状態の標準データセット」をもとに、「口腔診査情報コード」仕様を策定。レセコンベンダに協力を仰ぎ、歯科レセコン等から CSV 形式データを出力し、この検証を行った。
- 「口腔診査情報 CSV 形式データから HL7 への変換仕様」を策定し、上記で出力された CSV 形式データを、HL7 形式 (SS-MIX2) に変換し、これをローカルフォルダに格納するための検証を行った。
- 歯科診療情報の標準化における今後の課題として、データの保存方法やその利活用に関して、法的な課題も含めて多方面から検討を行った。

以上の通り、28 年度における本事業の成果として、「口腔診査情報コード」を策定し、電子カルテや歯科レセコン等の蓄積される歯科情報だけでなく、学校歯科健診、事業所歯科健診、妊産婦健診等、歯科医療機関以外にも存在する歯科情報についても、これを CSV 形式データとして共通の様式で扱うことが可能となった。更に、「口腔診査情報 CSV 形式データから HL7 への変換仕様」によって、これを HL7 形式に変換することで、国立大学のデータバックアップとして利用されている、SS-MIX2 の形式と同じフレームワークでデータの取扱いが可能となった。

平成 25 年度より歯科診療情報の標準化に関する実証事業が行われ、平成 25 年度から 27 年度は新潟県歯科医師会が (25 年度はオプテック社も受託)、そして 28 年度は本会が本事業に取り組んできた。

東日本大震災における身元確認で問題提起された項目の一つである、「歯科診療情報の統一されたデータ化」は、ようやく緒に就いたところであり、今後普及に向けて一層の取り組みが必要である。一方で、もう一つの課題である、「歯科診療情報の保存」については、データのバックアップも含め、解決すべき課題が山積しているが、会員、そして国民に理解を求めながら、歯科診療情報標準化の推進に向けて取り組んでいかねばならない。

■参考文献

- 群馬県警察医会、「群馬県警察医会 10 周年記念誌」、平成 6 年 2 月
- 江澤庸博・青木孝文・柏崎潤・小菅栄子、「災害と身元確認 —ICT 時代の歯科情報による個人識別—」、平成 28 年 10 月
- 新潟県歯科医師会、「第 8 回警察歯科医会全国大会 —身元確認における警察歯科医の役割—」、平成 21 年 11 月
- 岩手県歯科医師会、「第 10 回警察歯科医会全国大会 —東日本大震災と警察歯科—」、平成 23 年 11 月
- 社団法人宮城県歯科医師会、「東日本大震災報告書 —東日本大震災への対応と提言—」、平成 24 年 3 月
- 社団法人福島県歯科医師会、「FUKUSHIMA～東日本大震災と原発事故の地から～ 東日本大震災報告書」、平成 25 年 3 月

- 社団法人岩手県歯科医師会、「岩手県歯科医師会報告書 2011.3.11 東日本大震災と地域歯科医療」、平成 24 年 7 月
- 一般社団法人保健医療福祉情報システム工業会、「JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.0C」、2014 年 6 月
- 一般社団法人保健医療福祉情報システム工業会、「JAHIS データ交換規約（共通編）Ver.1.1」、2015 年 7 月
- 日本医療情報学会、「SS-MIX2 標準化ストレージ仕様書 Ver.1.2c」、2016 年 2 月
- 厚生労働省、「保健医療 2035」、2015 年
- 厚生労働省、『ICT を活用した「次世代型保健医療システム」の構築に向けて』、2016 年 10 月

■参考サイト

- 総務省、東日本大震災関連情報、<http://www.soumu.go.jp/shinsai/index.html>
- 青木研究室（東北大学大学院情報科学研究科）、身元確認と情報技術
<http://www.aoki.ecei.tohoku.ac.jp/dvi/>
- SS-MIX 普及推進コンソーシアム、<http://www.ss-mix.org/cons/>
- 日本 HL7 協会、<http://www.hl7.jp/>

■資料

- 資料 1：口腔診査情報標準コード仕様 Ver. 1.0 平成 29 年 3 月 24 日版
- 資料 2：口腔診査情報標準コード仕様と標準プロファイル 26 項目との対応表 平成 29 年 3 月 21 日版
- 資料 3：口腔診査情報 CSV 形式データから HL7 への変換仕様 Ver. 1.0 平成 29 年 3 月

口腔診査情報標準コード仕様

Ver. 1.0

平成 29 年 3 月 24 日版

公益社団法人 日本歯科医師会

目 次

1. 概要	3
2. 注意事項等.....	3
3. 記録方式.....	4
4. 口腔診査情報データの構成レコード	7
1) 口腔診査情報データの構成レコード.....	7
2) 口腔診査情報データの出力イメージ.....	9
3) 口腔診査情報と口腔状態スナップショットとの関係イメージ	10
5. 歯の診査情報レコードユニット	11
1) 歯の診査情報レコードユニットの構成レコード.....	11
2) 歯の診査情報レコードユニットのパートと項目	11
3) 歯の診査情報レコードユニットのパート関連イメージ	16
6. 歯科健診等補足項目レコード (HK) と他レコードとの関係.....	17
7. 各レコードフォーマット	19
1) 入力機関情報レコード (ON)	19
2) 個人識別情報レコード (PN)	23
3) 入力種別レコード (NS)	26
4) 歯の診査情報レコードユニット.....	28
4.1) I. 部位パート (TB) レコード.....	28
4.2) II. 基本状態パート (TD) レコード.....	33
4.3) III. 現在歯の内容パート (TP) レコード.....	36
4.4) IV. 欠損歯の内容パート (TM) レコード.....	52
4.5) V. その他パート (TE) レコード	58
4.6) VI. 標準プロファイル 26 項目パート (TF) レコード.....	61
4.7) VII. 歯科人間ドック検査表パート (TH) レコード	68
5) 矯正関係レコード (KK)	72
6) その他の疾病及び異常レコード (SI)	75
7) 所見・特記事項レコード (SK)	78
8) 歯科健診等補足項目レコード (HK)	80
8.1) I. 妊産婦歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式) 補足項目 (E01)	82
8.2) II. 1 歳児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式) 補足項目 (E02)	84
8.3) III. 1 歳 6 か月児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式) 補足項目 (E03)	87
8.4) IV. 2 歳児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式) 補足項目 (E04)	90

8.5)	V.	3歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）補足項目（E05）	93
8.6)	VI.	4歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）補足項目（E06）	96
8.7)	VII.	5歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）補足項目（E07）	99
8.8)	VIII.	6歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）補足項目（E08）	102
8.9)	IX.	就学時健康診断補足項目（E09）	105
8.10)	X.	学校歯科健康診断補足項目（E10）	107
8.11)	X I.	成人歯科健康診査（事業所歯科健診、歯周病検診含む）補足項目（E11）	111
8.12)	X II.	後期高齢者歯科口腔健康診査（例示）補足項目（E12）	120
8.13)	X III.	特殊歯科健康診査（歯の酸蝕症）補足項目（E13）	133
8.14)	X IV.	歯科人間ドック検査補足項目（E14）	138
8.15)	X V.	かかりつけ連携手帳補足項目（E15）	143
8.16)	X VI.	WHO口腔健康診査（成人用）補足項目（E16）	145
8.17)	X VII.	WHO口腔健康診査（小児用）補足項目（E17）	150
9)		画像情報レコード（IM）	154
10)		日時レコード（DT）	156

1. 概要

口腔診査情報標準コード仕様は、生前歯科情報として災害時の身元確認での活用を目的に、歯科診療での初診時口腔診査の記録や歯科診療に伴う最新の口腔状態の記録、あるいは学校歯科健康診断等での歯科健診の記録を「口腔状態スナップショット（最新の口腔状態）」として電子的に情報交換するための標準規約で、口腔診査に係る項目とその項目に対応するコードやコード仕様、情報交換の仕組みを定義したものです。

口腔診査に係る項目は、歯種、現在歯・欠損歯の有無、現在歯の内容、欠損歯の内容などの歯の診査情報と歯列・咬合の情報を中心に、歯科健診や初診時の口腔診査だけでなく歯科診療行為（算定項目）からも紐付けしやすい項目としています。

本仕様による口腔状態スナップショットの口腔診査情報データは、厚生労働省・歯科診療情報の標準化に関する検討会の「標準プロファイル 26 項目」および「口腔状態の標準データセット」と紐付けされているため、そのまま身元確認のための歯科情報照合システムで用いることができます。また、「口腔診査情報 CSV 形式データから HL7 への変換仕様」（別添）による変換によって、大規模災害時の医療情報連携で用いられる厚生労働省標準規格 SS-MIX2 ストレージへのバックアップが可能となっています。

2. 注意事項等

・歯式コードは、レセプト電算処理歯科システム（以下「レセ電」と略します。）の歯式マスターのコードです。

・【 】は歯科健診票の歯式欄に対応した項目です。

同じ健診記号でも健診の種類によって内容が異なる場合があるので、本書ではそれらを網羅し、以下の健診記号と内容を使用しています。

／：現在歯、健全歯

C：未処置歯

○：処置歯

×：要注意乳歯、補綴処置不要な永久歯

CO：要観察歯

シ：シーラント

サ：サホライド

△：喪失歯、う蝕が原因で喪失した永久歯、要補綴歯、欠損歯

▲：う蝕以外の原因による喪失歯

無印（記入なし）：外傷、便宜抜歯等で喪失した歯、及び乳歯の喪失歯

(△)：欠損補綴されている喪失歯、インプラント治療されている喪失歯

・*は厚生労働省・歯科診療情報の標準化に関する検討会の「標準プロファイル 26 項目」

に対応した項目です。

- ・患者または健診受診者を「対象者」、患者 I D（カルテ番号）または健診受診者番号等を「医療機関内 I D」と記述します。
- ・レコードフォーマット
 - ・記録必須欄が「省略可」となっている項目の情報がない場合は、その項目の記録を省略します。
 - ・各レコードの「予備」の項目については、記録内容や形式が未定のため、内容とコードの説明を省きます。必ず記録を省略して下さい。
 - ・〔 〕（亀甲括弧）は、レコードを構成する各項目について、取りうるコード（値）を示したコード表の固有識別名称を表します。当該項目のレコード中の位置情報から連想される命名規則を採っています。
 - （例 1）ON-8：入力機関情報（ON）レコードでの第 8 項目「入力機関名」に用いられるコード表
 - （例 2）HK. E09-3：就学時健康診断（E09）に係る歯科健診等補足項目（HK）レコードでの第 3 項目「う歯数（乳歯・処置歯数）」に用いられるコード表
- ・参考資料：レセプト電算処理システム 電子レセプトの作成手引きー 歯 科 ー
（以下「レセ電手引き」と略して記述します。）
SS-MIX2 仕様書・ガイドライン Ver.1.2c
- ・別添「口腔診査情報標準コード仕様項目と標準プロファイル 26 項目との対応表」
別添「口腔診査情報 CSV 形式データから HL7 への変換仕様」

3. 記録方式

1) 媒体

本仕様では規定しません。

また、1 ファイルが複数ボリュームにまたがる出力を想定せず、媒体の空きに記録できない場合、別の大容量の媒体に記録するものとします。

2) ファイル

(1) 記録単位

1 対象者の 1 時点での出力につき、1 ファイルとして記録します。

(2) ファイル名

医療機関内 I D + “-”（ハイフン） + 出力日時 + “-”（ハイフン）スナップショット日時とし、拡張子を“oes”とします。

- 注1) 医療機関内IDは、英数字6文字以上16文字以下の任意の桁数とします。
- 注2) 出力日時とスナップショット日時は、西暦年4桁+月2桁+日2桁+時2桁+分2桁+秒2桁の計14桁とします。
- 注3) 出力日時の時点のスナップショットのファイルを出力する場合は、出力日時とスナップショット日時は同じ値で記録します。
- 注4) 遡ってのスナップショットの場合で、時刻の一部または全部が不明であれば、不明な部分を99とします。
- 例1) 医療機関内IDが000123、出力日時が2016年9月28日12時34分56秒で、その時点のスナップショットの場合

000123-20160928123456-20160928123456.oes

- 例2) 医療機関内IDが000456、出力日時が2016年9月29日9時10分11秒で、遡って2016年7月7日15時59分(秒不明)時点のスナップショットの場合

000456-20160929091011-20160707155999.oes

(3) ファイル種類

CSV形式のテキストファイルとします。

3) レコード

(1) レコード形式

- ・可変長レコードとし、各レコードの末尾には改行コードを入れます。
- ・レコード内の各項目間は、コンマで区切ります。(数値項目の編集には位取り用のコンマの使用は不可とします。)
- ・各項目は最大バイト数を規定し、項目形式が固定の項目については最大バイト数で記録し、可変の項目については有効桁(文字)まで記録して後続するスペースは記録しません。
- ・モード(項目形式)毎の文字種別及び詳細内容は次のとおりとします。

モード	項目形式	文字種別	詳細内容
数字	可変	半角数字	上位桁のゼロ及び小数点以下の下位桁のゼロを除いた数字(小数点以下が全てゼロの場合は小数点も除く)を記録する。 【記載例】 (誤)「001」 → (正)「1」 (誤)「1.0」 → (正)「1」 (誤)「1.10」 → (正)「1.1」 (誤)「0.00」 → (正)「0」
	固定	半角数字	最大バイト数で記録する。

英数	可変	半角数字	有効文字までの記録とする。
	固定	半角数字	最大バイト数で記録する。
漢字	可変	全角文字	有効文字までの記録とする。
	固定	全角文字	最大バイト数で記録する。

- ・記録モードが「英数又は漢字」の場合、モードの混在はできません。
- ・項目形式が「固定」で入力桁数が最大バイト数に満たない場合は、先頭からゼロ埋め（ゼロフィル）をして下さい。（レコードフォーマットの項目形式「固定」、最大バイト数7の例：111 → 0000111）
- ・ファイル最終レコードの最終部分は、改行コードの後にE O Fコードを記録します。

4) 内容を表現する文字の符号

内容を記録する文字の符号は、JIS X 0201-1976 の8単位符号及びJIS X 0208-1983 の附属書1にて規定されているシフト符号化表現（シフトJIS）によるものとします。

なお、内容を記録する文字以外の制御符号は、次のとおりとします。

符号名称	図形記号	16進数	バイト数	用途
コンマ	,	(2C)	1	項目の区切りを表現する。
引用符	"	(22)	1	使用しない。
改行コード		(0D) (0A)	2	レコードの区切りを表現する。
E O Fコード		(1A)	1	ファイルの終わりを表現する。
疑問符 (全角)	?	(81) (48)	2	使用しない。(J I S規格外コードが記録された場合に疑問符(全角)に置換する。)

注：16進数は、0から9及びAからFを括弧でくくって表現する。

注1) この仕様によるファイルからHL7等のシフトJISや半角カナが使用不可な仕様のファイルに変換する場合は、その変換時に文字符号も変換するものとします。

4. 口腔診査情報データの構成レコード

1) 口腔診査情報データの構成レコード

口腔状態スナップショットの口腔診査情報データはCSV形式のデータで、入力機関情報レコード（レコード識別符号:ON）、個人識別情報レコード（レコード識別符号:PN）、入力種別レコード（レコード識別符号:NS）、歯の診査情報レコード（レコード識別符号：先頭がTで始まる7つのレコード TB、TD、TP、TM、TE、TF、TH）、矯正関係レコード（レコード識別符号:KK）、その他の疾病及び異常レコード（レコード識別符号:SI）、所見・特記事項レコード（レコード識別符号:SK）、歯科健診等補足項目レコード（レコード識別符号:HK）、画像情報レコード（レコード識別符号:IM）、日時レコード（レコード識別符号:DT）から構成されます。各レコードは、情報が存在する場合のみ記録します。

歯の診査情報レコードは口腔診査情報データの中心をなすもので、1つの歯の情報をⅠ. 部位パート（TB）、Ⅱ. 基本状態パート（TD）、Ⅲ. 現在歯の内容パート（TP）、Ⅳ. 欠損歯の内容パート（TM）、Ⅴ. その他パート（TE）、Ⅵ. 標準プロファイル26項目パート（TF）、Ⅶ. 歯科人間ドック検査表パート（TH）の7つのレコードを1ユニット（歯の診査情報レコードユニット）として記録します。ユニットは、部位パート（TB）レコードに続けて記録される、その歯に関するレコード群を表す単位を意味しています。

歯の記録順は、レセ電と同様に右上遠心から右上近心、左上近心から左上遠心、右下遠心から右下近心、左下近心から左下遠心の順に、乳歯も含め実際の歯の並び順に口腔内の全歯について記録します。従って、歯の診査情報レコードは、TB、TD、TP、TM、TE、TF、THの7レコードを1つのユニットとして、歯数等に応じて複数ユニットとなります。

また、現在歯が残根で残根上義歯が装着されているなど当該歯に複数の情報がある場合（歯種コードが同一で、状態コードあるいは部分コードが異なる場合）は、併存ユニット（後述）を使って別ユニットに記録します。例えば、現在歯として残根に関する情報をユニットに記録し、そのユニットに続く併存ユニットに欠損歯として残根上義歯に関する情報を記録します。

口腔診査情報データの構成レコード

レコード 識別符号	レコード 名称	記録必須
ON	入力機関情報レコード	必須
PN	個人識別情報レコード	必須
NS	入力種別レコード	必須
TB	歯の診査情報レコード（Ⅰ. 部位パート）	省略可
TD	歯の診査情報レコード（Ⅱ. 基本状態パート）	省略可
TP	歯の診査情報レコード（Ⅲ. 現在歯の内容パート）	省略可

TM	歯の診査情報レコード (IV. 欠損歯の内容パート)	省略可
TE	歯の診査情報レコード (V. その他パート)	省略可
TF	歯の診査情報レコード (VI. 標準プロファイル 26 項目パート)	省略可
TH	歯の診査情報レコード (VII. 歯科人間ドック検査表パート)	省略可
KK	矯正関係レコード	省略可
SI	その他の疾病及び異常レコード	省略可
SK	所見・特記事項レコード	省略可
HK	歯科健診等補足項目レコード	省略可
IM	画像情報レコード	省略可
DT	日時レコード	必須

太枠内網掛け：歯の診査情報レコードユニット

3) 口腔診査情報と口腔状態スナップショットとの関係イメージ

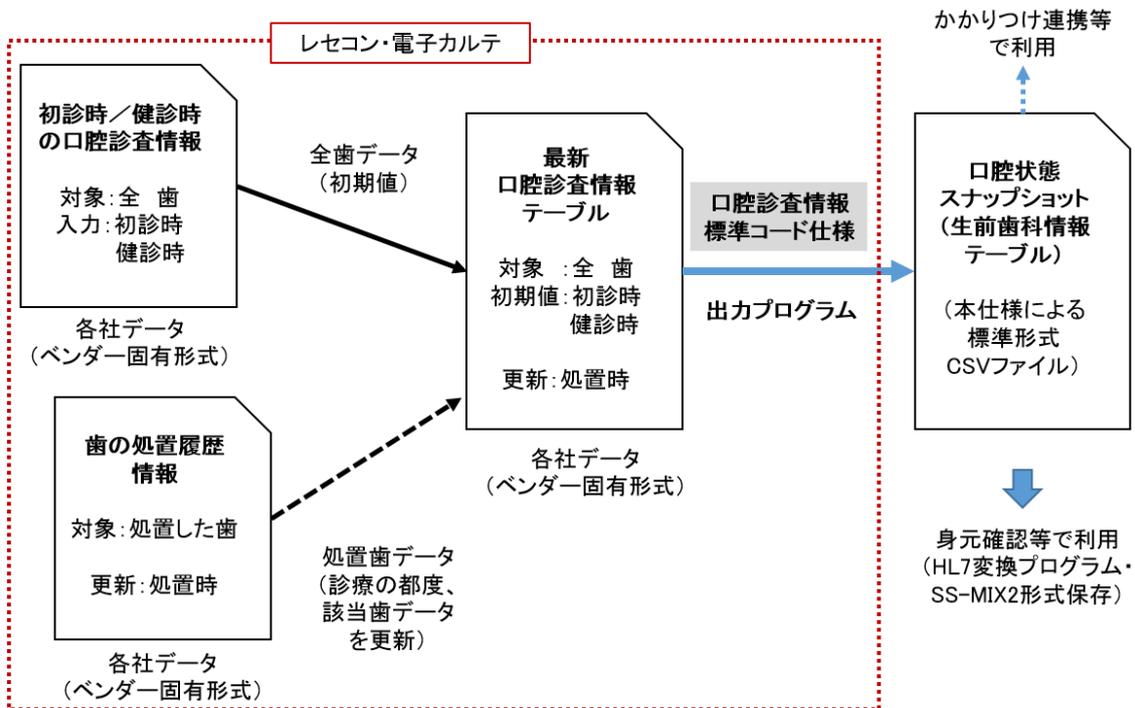
口腔診査情報と口腔状態スナップショットとの関係イメージを示します。

初診時の口腔診査情報を初期値として口腔診査情報テーブルに記載し、処置履歴の更新に合わせてテーブル上の当該歯の情報を上書きし、最新化します。

最新化されている口腔診査情報テーブルのデータを本仕様に対応した出力プログラムで口腔状態スナップショットとしてCSV形式で出力し、保存します。

情報交換には、本仕様で標準化した「口腔状態スナップショット（最新の口腔状態）」を用います。

口腔診査情報と口腔状態スナップショットとの関係イメージ



5. 歯の診査情報レコードユニット

1) 歯の診査情報レコードユニットの構成レコード

歯の診査情報レコードユニットは、歯の診査情報を示す以下の7つのパートのレコードから構成されています。

各レコードは、情報が存在する場合のみ記録します。(当該歯の歯式を示す「I. 部位パート (TB)」の情報がない場合は、当該歯の歯の診査情報レコードユニットのすべてのレコードを省略します。)

歯の診査情報レコードユニットの構成 (7つのレコード)

レコード識別符号	パート番号	パート名称	概要
TB	I	部位パート	当該歯の歯式を示します。
TD	II	基本状態パート	現在歯・欠損歯の有無を示します。
TP	III	現在歯の内容パート	現在歯の内容を示します。 1歯2窩洞など現在歯に複数の情報がある場合は、併存レコード(後述)としてレコードを複数記録します。
TM	IV	欠損歯の内容パート	欠損歯の内容を示します
TE	V	その他パート	入力年月日等を示します。
TF	VI	標準プロファイル26項目パート	標準プロファイル26項目を示します。
TH	VII	歯科人間ドック検査表パート	歯科人間ドック検査記入用紙のう蝕検査・歯周病検査表の主な内容を示します。

2) 歯の診査情報レコードユニットのパートと項目

歯の診査情報レコードユニットを構成する各パートのレコードは、それぞれ以下の項目から構成されています。

パート	項目
I. 部位パート (TB) レコード	(1) レコード識別情報
	(2) 歯種コード
	(3) 状態コード
	(4) 部分コード
	(5) 併存ユニット連番

	(6) 予備 1
	(7) 予備 2
	(8) 予備 3
	(9) 予備 4
	(10) 予備 5
Ⅱ. 基本状態パート (TD) レコード	(1) レコード識別情報
	(2) 歯の基本状態
	(3) 歯科健診記号
	(4) 予備 1
	(5) 予備 2
	(6) 予備 3
	(7) 予備 4
	(8) 予備 5
Ⅲ. 現在歯の内容パート (TP) レコード	(1) レコード識別情報
	(2) 併存レコード連番
	(3) 生活歯・失活歯
	(4) 歯の萌出異常
	(5) 歯の位置異常
	(6) 歯根の分割
	(7) 歯の形態異常・形成異常
	(8) 過剰歯
	(9) 未処置歯 (う蝕等、治療中を含む)
	(10) テンポラリークラウン
	(11) 処置歯 (部分修復)
	(12) 窩洞形態
	(13) 歯面 (切端・咬合面 I O*)
	(14) 歯面 (唇側面・頬側面 B*)
	(15) 歯面 (口蓋側面・舌側面 P L*)
	(16) 歯面 (近心面 M*)
	(17) 歯面 (遠心面 D*)
	(18) 歯の主な部位 (歯冠部)
	(19) 歯の主な部位 (歯頸部)
	(20) 歯の主な部位 (歯根部)
	(21) 処置歯 (全部修復)
	(22) 処置歯 (その他修復)

	(23) 連結冠・ブリッジ支台歯
	(24) 連結冠・ブリッジ番号
	(25) レストシート
	(26) クラस्प
	(27) 固定式矯正装置
	(28) 暫間固定
	(29) 歯肉の状態
	(30) 歯石沈着
	(31) 歯根のう胞
	(32) ろう孔
	(33) 骨瘤
	(34) 予備 1
	(35) 予備 2
	(36) 予備 3
	(37) 予備 4
	(38) 予備 5
IV. 欠損歯の内容パート (TM) レコード	(1) レコード識別情報
	(2) ポンティック
	(3) ブリッジ番号
	(4) 有床義歯
	(5) 複数義歯番号
	(6) 義歯人工歯
	(7) 義歯補綴隙
	(8) 義歯大連結子
	(9) 補強線
	(10) 骨瘤
	(11) 予備 1
	(12) 予備 2
	(13) 予備 3
	(14) 予備 4
	(15) 予備 5
V. その他パート (TE) レコード	(1) レコード識別情報
	(2) 当該歯製品識別情報の有無
	(3) 当該歯製品識別情報 (製品名)
	(4) 当該歯製品識別情報 (製造番号・記号等)

	(5) 当該歯特記事項の有無
	(6) 当該歯特記事項
	(7) 当該歯入力種別
	(8) 当該歯情報入力・更新年月日
	(9) 予備 1
	(10) 予備 2
	(11) 予備 3
	(12) 予備 4
	(13) 予備 5
VI. 標準プロファイル 26 項目パート (TF) レコード	(1) レコード識別情報
	(2) 標準プロファイル 26 項目の情報の有無
	(3) 乳歯・D c d
	(4) 健全歯・S o u
	(5) C 1 ~ C 3 (治療中を含む)・C 1 2 3
	(6) 半埋伏・埋伏・R T
	(7) C R 充填・セメント充填ほか・C R
	(8) インレー、アンレー、3 / 4 冠、4 / 5 冠金属色・I n
	(9) インレー、アンレー、3 / 4 冠、4 / 5 冠歯冠色・I n T C
	(10) アマルガム充填・A F
	(11) 切端・咬合面・I O
	(12) 唇側面・頬側面・B
	(13) 口蓋側面・舌側面・P L
	(14) 近心面・M
	(15) 遠心面・D
	(16) 全部金属冠 (FMC ほか)・F M C
	(17) 前装冠 (HR、MB ほか)・H R
	(18) H J C、セラミックほか・H J C
	(19) 支台歯 (インプラントも可)・A b u
	(20) ポンティック・P o n
	(21) 残根・根面板ほか・C 4
	(22) 欠損・M A M
	(23) 死後脱落の疑い・M P M
	(24) 義歯 (人工歯あり)・D e n
	(25) インプラント・I m p l
	(26) 仮歯 (T E K、プロビ等) あり・T e C

	(27) 歯あり (状態不明) ・ P r e
	(28) 情報なし ・ N o n
	(29) 予備 1
	(30) 予備 2
	(31) 予備 3
	(32) 予備 4
	(33) 予備 5
VII. 歯科人間ドック 検査表パート (TH) レコード	(1) レコード識別情報
	(2) 歯科人間ドック検査表情報の有無
	(3) う蝕 (疑わしい病名) の有無
	(4) う蝕 (疑わしい病名)
	(5) う蝕 (Per : 根尖性歯周炎 (根尖病巣))
	(6) う蝕 (Hys : 知覚過敏症)
	(7) 歯周病 (動揺度) Miller
	(8) 歯周病 (根分岐部病変)
	(9) 歯周病 (角化歯肉の有無)
	(10) 歯周病 (P S R (Periodontal Screening and Recording))
	(11) 歯周病 (P l I (Plaque Index))
	(12) 予備 1
	(13) 予備 2
	(14) 予備 3
	(15) 予備 4
	(16) 予備 5

3) 歯の診査情報レコードユニットのパート関連イメージ

歯の診査情報レコードユニットの各パートの関係は以下のようです。

「Ⅱ. 基本状態パート (TD)」で現在歯を記録した場合は、「Ⅲ. 現在歯の内容パート (TP)」を記録します (「Ⅳ. 欠損歯の内容パート (TM)」は記録できません)。

「Ⅱ. 基本状態パート (TD)」で欠損歯を記録した場合は、「Ⅳ. 欠損歯の内容パート (TM)」を記録します (「Ⅲ. 現在歯の内容パート (TP)」は記録できません)。

「Ⅲ. 現在歯の内容パート (TP)」と「Ⅳ. 欠損歯の内容パート (TM)」は排他関係です。

歯の診査情報レコードユニット	I. 部位パート (TB)	
	II. 基本状態パート (TD)	
	現在歯【現在歯／】(状態不明)* 現在歯【健全歯／】(治療痕なし)* 現在歯【健全歯(シーラント:シ)】* 現在歯【要観察歯CO】* 現在歯【要観察歯(サホライド:サ)】* 現在歯【未処置歯C】* 現在歯【未処置歯(サホライド:サ)】* 現在歯(残根上義歯)残根(未処置歯)* 現在歯(残根上義歯)根面板等(処置歯)* 現在歯【処置歯○】 現在歯【要注意乳歯×】 現在歯【現在歯／】(上記以外、何か情報あり)	欠損歯(レセプト表記略称名:MT)* 欠損歯【喪失歯△】* 欠損歯【喪失歯(う蝕が原因による喪失・永久歯)△】* 欠損歯【喪失歯(う蝕以外の原因による喪失・永久歯)▲】* 欠損歯【喪失歯(乳歯、う蝕以外の原因による喪失・永久歯)無印】* 欠損歯【喪失歯(要補綴歯)△】* 欠損歯【喪失歯(欠損補綴歯)△】* 欠損歯【喪失歯(欠損補綴歯・義歯)△】* 欠損歯【喪失歯(欠損補綴歯・義歯・床)△】* 欠損歯【喪失歯(欠損補綴歯・義歯・人工歯)△】* 欠損歯【喪失歯(欠損補綴歯・ポンティック)△】* 欠損歯(欠損補綴歯・隙)* 欠損歯【喪失歯(インプラント・タイプ不明)△】* 欠損歯【喪失歯(インプラント・ブレードタイプ)△】* 欠損歯【喪失歯(インプラント・スクリュータイプ)△】* 欠損歯【喪失歯(インプラント・シリンダータイプ)△】* 欠損歯【喪失歯(インプラント・その他)△】* 欠損歯【喪失歯(補綴処置不要歯・永久歯)×】* 欠損歯(先天欠如歯)*
	III. 現在歯の内容パート (TP)	IV. 欠損歯の内容パート (TM)
	V. その他パート (TE)	
	VI. 標準プロファイル26項目パート (TF)	
	VII. 歯科人間ドック検査表パート (TH)	

【 】は歯科健診票の歯式欄に対応した内容です。

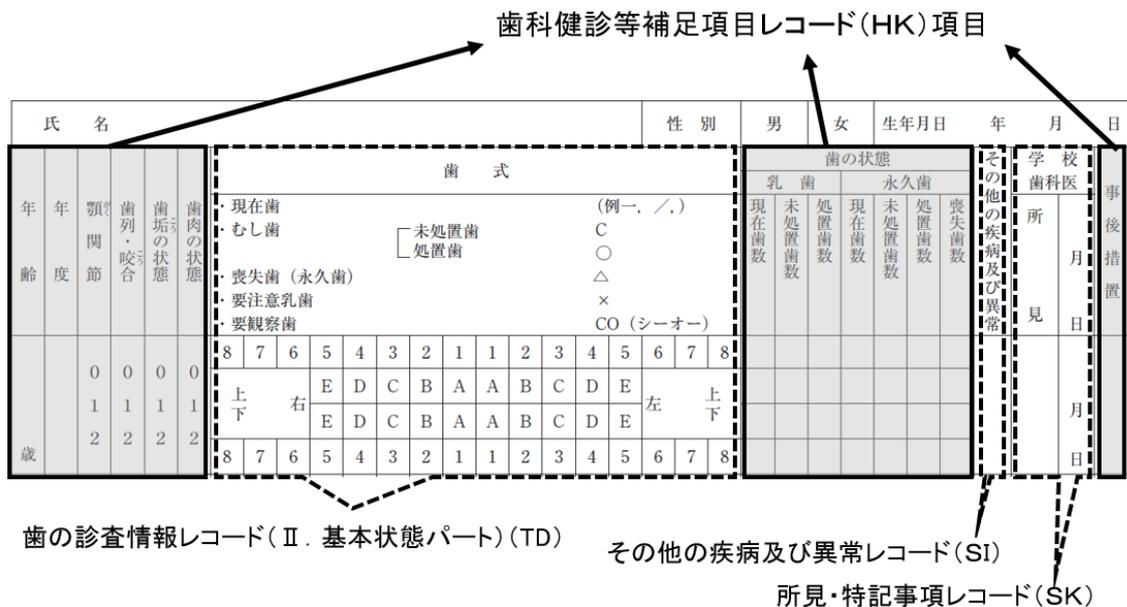
6. 歯科健診等補足項目レコード (HK) と他レコードとの関係

1) 歯科健診等補足項目レコードと他レコードとの関係イメージ

歯科健康診断等の情報のうち、歯式、その他の疾病及び異常、所見・特記事項以外の項目は、歯科健診等補足項目レコード (HK) に記録します。

歯式を記録する「歯の診査情報レコードユニット」、その他の疾病及び異常を記録する「その他の疾病及び異常レコード (SI)」、学校歯科医所見を記録する「所見・特記事項レコード (SK)」と歯科健診等補足項目レコード (HK) に記録する個々の歯科健康診断ごとの項目を合わせることで、それぞれの歯科健康診断等の情報を記録することができます。

例) 児童生徒健康診断票 (歯・口腔) と各レコードの関係



2) 歯科健診等の種別

歯科健診等補足項目レコード (HK) に記録できる歯科健診等の種別を、以下に示します。

番号	名称	符号
I	妊産婦歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	E01
II	1歳児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	E02
III	1歳6か月児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	E03
IV	2歳児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	E04
V	3歳児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	E05

VI	4歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）	E06
VII	5歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）	E07
VIII	6歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）	E08
IX	就学時健康診断	E09
X	学校歯科健康診断	E10
X I	成人歯科健康診査（事業所歯科健診、歯周病検診含む）	E11
X II	後期高齢者歯科口腔健康診査	E12
X III	歯科特殊健康診査（歯の酸蝕症）	E13
X IV	歯科人間ドック検査	E14
X V	かかりつけ連携手帳	E15
X VI	WHO口腔健康診査 成人用	E16
X VII	WHO口腔健康診査 小児用	E17

7. 各レコードフォーマット

1) 入力機関情報レコード (0N)

入力機関情報を記録します。

入力機関情報レコードフォーマット

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)
項目	レコード識別情報	送信先機関種別	送信先機関都道府県コード	送信先機関名	送信先機関コード	入力機関種別	入力機関都道府県コード	入力機関名	入力機関コード	入力機関電話番号	診療科コード	診療科名	予備1	予備2
モード	英数	英数	数字	漢字	数字	数字	数字	漢字	数字	英数	数字	漢字	-	-
最大バイト数	2	2	2	80	7	2	2	80	7	15	3	80	-	-
項目形式	固定	固定	固定	可変	固定	固定	固定	可変	固定	可変	可変	可変	-	-
記録必須	必須	省略可	省略可	省略可	省略可	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	省略	省略

	(15)	(16)	(17)
項目	予備3	予備4	予備5
モード	-	-	-
最大バイト数	-	-	-
項目形式	-	-	-
記録必須	省略	省略	省略

(1) レコード識別情報 [ON-1]

入力機関情報レコードを表す識別情報「ON」を記録します。

コード	内容	備考
ON	入力機関情報レコード	

(2) 送信先機関種別 [ON-2]

送信先の機関種別を記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	他医療機関等	
02	委託業者	
03	社会保険診療報酬支払基金	
04	地域データベース	
05	ナショナルデータベース	

(3) 送信先機関都道府県コード [ON-3]

送信先機関の所在する都道府県コード（レセ電手引き別表2と同じ）を記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(数字)	送信先機関都道府県コード	01～47

(4) 送信先機関名 [ON-4]

送信先機関名を全角 40 文字以内で記録します。（40 文字を超える場合はレセ電と同様に略します。）

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	送信先機関名	全角 40 文字以内

(5) 送信先機関コード [ON-5]

送信先が医療機関の場合は、7桁の医療機関コード（レセ電と同じ）を記録します。医療機関以外の場合は、7桁の例外コード9999999を記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(数字)	送信先機関コード	医療機関以外：9999999

(6) 入力機関種別 [ON-6]

入力機関の種別を記録します。

コード	内容	備考
01	医療機関以外	
02	医療機関	

(7) 入力機関都道府県コード [ON-7]

データ入力機関の所在する都道府県コード(レセ電手引き別表2と同じ)を記録します。

コード	内容	備考
(数字)	入力機関都道府県コード	01~47

(8) 入力機関名 [ON-8]

入力機関名を全角40文字以内で記録します。(40文字を超える場合はレセ電と同様に略します。)

コード	内容	備考
(文字列)	入力機関名	全角40文字以内

(9) 入力機関コード [ON-9]

医療機関の場合は、7桁の医療機関コード(レセ電と同じ)を記録します。医療機関以外の場合は、7桁の例外コード9999999を記録します。

コード	内容	備考
(数字)	入力機関コード	医療機関以外:9999999

(10) 入力機関電話番号 [ON-10]

入力機関の電話番号を記録します。市外局番等は、半角の「-」「()」を用いて記録します。

コード	内容	備考
(英数)	入力機関電話番号	例 (047)368-6111

(11) 診療科コード [ON-11]

SS-MIX2 統一診療科コード表 V1.0 の診療科コードのを記録します。

通常は、歯科の2桁科コード「90」を記録します。出力システムが歯科以外の診療科コード情報を持っている場合は、その診療科コードを記録します。

コード	内容	備考
-----	----	----

(数字)	診療科コード	
------	--------	--

(12) 診療科名 [ON-12]

(11) 診療科コード [ON-11] に対応する SS-MIX2 統一診療科コード表 V1.0 の診療科名を記録します。

通常は、歯科の2桁科コード「90」に対応する診療科名「歯科」を記録します。出力システムが歯科以外の診療科コード情報を持っている場合は、その診療科名を記録します。

コード	内容	備考
(文字列)	診療科名	全角 40 文字以内

2) 個人識別情報レコード (PN)

個人識別情報を記録します。

個人識別情報レコードフォーマット

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)
項目	レコード識別情報	保険者番号	被保険者証(手帳)等の記号	被保険者証(手帳)等の番号	本人・家族別	医療機関内ID	個人確認用番号1(医療等ID)	個人確認用番号2(医療等ID)	診療・健診年月日	氏名	男女区別	生年月日	予備1	予備2
モード	英数	英数	英数又は漢字	英数又は漢字	英数	数字	英数	英数	数字	英数又は漢字	数字	数字	-	-
最大バイト数	2	8	38	38	2	16	64	64	8	80	2	8	-	-
項目形式	固定	固定	可変	可変	固定	可変	可変	可変	固定	可変	固定	固定	-	-
記録必須	必須	省略可	省略可	省略可	省略可	必須	省略	省略	必須	必須	必須	必須	省略	省略

	(15)	(16)	(17)
項目	予備3	予備4	予備5
モード	-	-	-
最大バイト数	-	-	-
項目形式	-	-	-
記録必須	省略	省略	省略

(1) レコード識別情報 [PN-1]

個人識別情報レコードを表す識別情報「PN」を記録します。

コード	内容	備考
PN	個人識別情報レコード	

(2) 保険者番号 [PN-2]

保険者番号を記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(数字)	保険者番号	

(3) 被保険者証（手帳）等の記号 [PN-3]

被保険者証（手帳）等の記号のみを記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	被保険者証等の記号	

(4) 被保険者証（手帳）等の番号 [PN-4]

被保険者証（手帳）等の番号のみを記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(数字)	被保険者証等の番号	

(5) 本人・家族別 [PN-5]

本人・家族別を記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	本人	
02	家族	

(6) 医療機関内ID [PN-6]

医療機関内ID（カルテ番号等）を記録します。

コード	内容	備考
(数字)	医療機関内ID	

(7) 個人確認用番号1（医療等ID） [PN-7]

個人確認用番号1（医療等ID）を記録します。現在は未整備のため記録は省略します。

コード	内容	備考
(省略)	個人確認用番号1（医療等ID）	

(8) 個人確認用番号2（医療等ID） [PN-8]

個人確認用番号2（医療等ID）を記録します。現在は未整備のため記録は省略します。

コード	内容	備考
(省略)	個人確認用番号2（医療等ID）	

(9) 診療・健診年月日 [PN-9]

最終の診療・健診年月日を数字8桁（西暦年4桁+月2桁+日2桁）で記録します。

コード	内容	備考
(数字)	診療・健診年月日	

(10) 氏名 [PN-10]

対象者の氏名を、全て全角（最大40文字）又は全て半角（最大80文字）で記録します。姓名の間に姓名と同じモードのスペースを記録します。

コード	内容	備考
(文字列)	氏名	

(11) 男女区別 [PN-11]

男女区別を記録します。

コード	内容	備考
01	男	
02	女	

(12) 生年月日 [PN-12]

対象者の生年月日を数字8桁（西暦年4桁+月2桁+日2桁）で記録します。

コード	内容	備考
(数字)	生年月日	

3) 入力種別レコード (NS)

入力種別を記録します。

入力種別レコードフォーマット

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)
項目	レコード識別情報	入力種別	最新初診年月日	最終診療年月日	予備1	予備2	予備3	予備4	予備5
モード	英数	英数	数字	数字	-	-	-	-	-
最大バイト数	2	2	8	8	-	-	-	-	-
項目形式	固定	固定	固定	固定	-	-	-	-	-
記録必須	必須	必須	省略可	省略可	省略	省略	省略	省略	省略

(1) レコード識別情報 [NS-1]

入力種別レコードを表す識別情報「NS」を記録します。

コード	内容	備考
NS	入力種別レコード	

(2) 入力種別 [NS-2]

該当する入力種別を記録します。

コード	内容	備考
00	該当なし	
01	初診時口腔診査	
02	治療による更新 (処置履歴)	
03	妊産婦歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	
04	1歳児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	
05	1歳6か月児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	
06	2歳児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	
07	3歳児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	
08	4歳児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	

09	5歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）	
10	6歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）	
11	就学時健康診断	
12	学校歯科健康診断	
13	成人歯科健康診査（事業所歯科健診、歯周病検診含む）	
14	後期高齢者歯科口腔健康診査	
15	歯科特殊健康診査（歯の酸蝕症）	
16	歯科人間ドック検査	
17	かかりつけ連携手帳	
18	WHO口腔健康診査 成人用	
19	WHO口腔健康診査 小児用	

（3）最新初診年月日 [NS-3]

入力種別 [NS-2] が初診時口腔診査：01、治療による更新（処置履歴）：02の場合（診療データの場合）に、最新初診年月日を数字8桁（西暦年4桁+月2桁+日2桁）で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(数字)	最新初診年月日	

（4）最終診療年月日 [NS-4]

入力種別 [NS-2] が初診時口腔診査：01、治療による更新（処置履歴）：02の場合（診療データの場合）に、最終診療年月日を数字8桁（西暦年4桁+月2桁+日2桁）で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(数字)	最終診療年月日	

4) 歯の診査情報レコードユニット

1つの歯に関する情報を、以下の7つのパートのレコードで記録します。

4.1) I. 部位パート (TB) レコード

部位パートレコードフォーマット

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
項目	レコード識別情報	歯種コード	状態コード	部分コード	併存ユニット連番	予備1	予備2	予備3	予備4	予備5
モード	英数	英数	英数	英数	数字	-	-	-	-	-
最大バイト数	2	4	1	1	2	-	-	-	-	-
項目形式	固定	固定	固定	固定	可変	-	-	-	-	-
記録必須	必須	必須	必須	必須	省略可	省略	省略	省略	省略	省略

(1) レコード識別情報 [TB-1]

歯の診査情報レコード (部位パート) を表す識別情報「TB」を記録します。

コード	内容	備考
TB	歯の診査情報レコード(部位パート)	

(2) 歯種コード [TB-2]

歯式マスターの歯種コード (レセ電手引き別表15) 4桁を記録します。

コード	内容	備考
1011	右側上顎中切歯	
1012	右側上顎側切歯	
1013	右側上顎犬歯	
1014	右側上顎第1小臼歯	
1015	右側上顎第2小臼歯	
1016	右側上顎第1大臼歯	
1017	右側上顎第2大臼歯	
1018	右側上顎第3大臼歯	

1021	左側上顎中切齒	
1022	左側上顎側切齒	
1023	左側上顎犬齒	
1024	左側上顎第 1 小白齒	
1025	左側上顎第 2 小白齒	
1026	左側上顎第 1 大白齒	
1027	左側上顎第 2 大白齒	
1028	左側上顎第 3 大白齒	
1031	左側下顎中切齒	
1032	左側下顎側切齒	
1033	左側下顎犬齒	
1034	左側下顎第 1 小白齒	
1035	左側下顎第 2 小白齒	
1036	左側下顎第 1 大白齒	
1037	左側下顎第 2 大白齒	
1038	左側下顎第 3 大白齒	
1041	右側下顎中切齒	
1042	右側下顎側切齒	
1043	右側下顎犬齒	
1044	右側下顎第 1 小白齒	
1045	右側下顎第 2 小白齒	
1046	右側下顎第 1 大白齒	
1047	右側下顎第 2 大白齒	
1048	右側下顎第 3 大白齒	
1051	右側上顎乳中切齒	
1052	右側上顎乳側切齒	
1053	右側上顎乳犬齒	
1054	右側上顎第 1 乳白齒	
1055	右側上顎第 2 乳白齒	
1061	左側上顎乳中切齒	
1062	左側上顎乳側切齒	
1063	左側上顎乳犬齒	
1064	左側上顎第 1 乳白齒	
1065	左側上顎第 2 乳白齒	
1071	左側下顎乳中切齒	

1072	左側下顎乳側切齒	
1073	左側下顎乳犬齒	
1074	左側下顎第 1 乳臼齒	
1075	左側下顎第 2 乳臼齒	
1081	右側下顎乳中切齒	
1082	右側下顎乳側切齒	
1083	右側下顎乳犬齒	
1084	右側下顎第 1 乳臼齒	
1085	右側下顎第 2 乳臼齒	
101A	右側上顎中切齒近傍過剩齒	
101B	右側上顎側切齒近傍過剩齒	
101C	右側上顎犬齒近傍過剩齒	
101D	右側上顎第 1 小白齒近傍過剩齒	
101E	右側上顎第 2 小白齒近傍過剩齒	
101F	右側上顎第 1 大白齒近傍過剩齒	
101G	右側上顎第 2 大白齒近傍過剩齒	
101H	右側上顎第 3 大白齒近傍過剩齒	
102A	左側上顎中切齒近傍過剩齒	
102B	左側上顎側切齒近傍過剩齒	
102C	左側上顎犬齒近傍過剩齒	
102D	左側上顎第 1 小白齒近傍過剩齒	
102E	左側上顎第 2 小白齒近傍過剩齒	
102F	左側上顎第 1 大白齒近傍過剩齒	
102G	左側上顎第 2 大白齒近傍過剩齒	
102H	左側上顎第 3 大白齒近傍過剩齒	
103A	左側下顎中切齒近傍過剩齒	
103B	左側下顎側切齒近傍過剩齒	
103C	左側下顎犬齒近傍過剩齒	
103D	左側下顎第 1 小白齒近傍過剩齒	
103E	左側下顎第 2 小白齒近傍過剩齒	
103F	左側下顎第 1 大白齒近傍過剩齒	
103G	左側下顎第 2 大白齒近傍過剩齒	
103H	左側下顎第 3 大白齒近傍過剩齒	
104A	右側下顎中切齒近傍過剩齒	
104B	右側下顎側切齒近傍過剩齒	

104C	右側下顎犬歯近傍過剰歯	
104D	右側下顎第1小臼歯近傍過剰歯	
104E	右側下顎第2小臼歯近傍過剰歯	
104F	右側下顎第1大臼歯近傍過剰歯	
104G	右側下顎第2大臼歯近傍過剰歯	
104H	右側下顎第3大臼歯近傍過剰歯	
105A	右側上顎乳中切歯近傍過剰歯	
105B	右側上顎乳側切歯近傍過剰歯	
105C	右側上顎乳犬歯近傍過剰歯	
105D	右側上顎第1乳臼歯近傍過剰歯	
105E	右側上顎第2乳臼歯近傍過剰歯	
106A	左側上顎乳中切歯近傍過剰歯	
106B	左側上顎乳側切歯近傍過剰歯	
106C	左側上顎乳犬歯近傍過剰歯	
106D	左側上顎第1乳臼歯近傍過剰歯	
106E	左側上顎第2乳臼歯近傍過剰歯	
107A	左側下顎乳中切歯近傍過剰歯	
107B	左側下顎乳側切歯近傍過剰歯	
107C	左側下顎乳犬歯近傍過剰歯	
107D	左側下顎第1乳臼歯近傍過剰歯	
107E	左側下顎第2乳臼歯近傍過剰歯	
108A	右側下顎乳中切歯近傍過剰歯	
108B	右側下顎乳側切歯近傍過剰歯	
108C	右側下顎乳犬歯近傍過剰歯	
108D	右側下顎第1乳臼歯近傍過剰歯	
108E	右側下顎第2乳臼歯近傍過剰歯	

(3) 状態コード [TB-3]

歯式マスターの状態コード（レセ電手引き別表16）1桁を記録します。網掛けは、レセ電での任意項目です。

コード	内容	備考
0	現存歯	
1	部（部を示す場合に使用）	
2	欠損歯	
3	支台歯	

4	分割抜歯支台（根）	
5	便宜抜髄支台歯	
6	残根	
7	部インプラント	
8	部近心隙	
9	近心位に存在	

（４）部分コード〔TB-4〕

歯式マスターの部分コード（レセ電手引き別表17）1桁を記録します。網掛けは、レセ電での任意項目です。

コード	内容	備考
0	部分指定なし	
1	遠心頬側根	
2	近心頬側根	
3	近心頬側根および遠心頬側根	
4	舌側（口蓋）根	
5	舌側（口蓋）根および遠心頬側根	
6	舌側（口蓋）根および近心頬側根	
7	遠心根	
8	近心根	

（５）併存ユニット連番〔TB-5〕

現在歯が残根で残根上義歯が装着されているなど、当該歯に複数の情報がある場合（歯種コードが同一で、状態コードあるいは部分コードが異なる場合）は、歯の診査情報レコードユニットの併存ユニットとして別ユニットに記録します。併存ユニット連番は、併存するユニットを連番で記録します。（例：残根と残根上義歯を記録する場合、残根を記録するユニットの併存ユニット連番は1を記録し、残根上義歯を記録するユニットは2番目のユニットとなるので併存ユニット連番は2を記録します。）

コード	内容	備考
(省略)	併存ユニットなし	
(数字)	併存ユニット連番	

4.2) II. 基本状態パート (TD) レコード

当該歯の基本的状態 (現在歯 (健全歯、未処置歯、処置歯)、欠損歯) を記録します。

基本状態パートレコードフォーマット

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
項目	レコード識別情報	歯の基本状態	歯科健診記号	予備1	予備2	予備3	予備4	予備5
モード	英数	英数	数字	-	-	-	-	-
最大バイト数	2	2	2	-	-	-	-	-
項目形式	固定	固定	固定	-	-	-	-	-
記録必須	必須	必須	必須	省略	省略	省略	省略	省略

(1) レコード識別情報 [TD-1]

歯の診査情報レコード (基本状態パート) を表す識別情報「TD」を記録します。

コード	内容	備考
TD	歯の診査情報レコード(基本状態パート)	

(2) 歯の基本状態 [TD-2]

当該歯の基本的状態 (現在歯 (健全歯、未処置歯、処置歯)、欠損歯) を記録します。

【 】内は、歯科健診票の歯式欄に対応した内容です。同じ健診記号でも健診の種類によって内容が異なる場合があるので、該当するものを記録します。

なお、「隙」については、この項以降、便宜的に欠損歯として扱っています。

コード	内容	備考
01	現在歯【現在歯／】 (状態不明) *	
02	現在歯【健全歯／】 (治療痕なし) *	
03	現在歯【健全歯 (シーラント:シ) 】 *	
04	現在歯【要観察歯 C0】 *	
05	現在歯【要観察歯 (サホライド:サ) 】 *	
06	現在歯【未処置歯 C】 *	

07	現在歯【未処置歯（サホライド：サ）】＊	
08	現在歯（残根上義歯）残根（未処置歯）＊	
09	現在歯（残根上義歯）根面板等（処置歯）＊	
10	現在歯【処置歯○】	
11	現在歯【要注意乳歯×】	
12	現在歯【現在歯／】（上記以外、何か情報あり）	
50	欠損歯（レセプト表記略称名：MT）＊	
51	欠損歯【喪失歯△】＊	
52	欠損歯【喪失歯（う蝕が原因による喪失・永久歯）△】＊	
53	欠損歯【喪失歯（う蝕以外の原因による喪失・永久歯）▲】＊	
54	欠損歯【喪失歯（乳歯、う蝕以外の原因による喪失・永久歯）無印】＊	
55	欠損歯【喪失歯（要補綴歯）△】＊	
56	欠損歯【喪失歯（欠損補綴歯）（△）】＊	
57	欠損歯【喪失歯（欠損補綴歯・義歯）（△）】＊	
58	欠損歯【喪失歯（欠損補綴歯・義歯・床）（△）】＊	
59	欠損歯【喪失歯（欠損補綴歯・義歯・人工歯）（△）】＊	
60	欠損歯【喪失歯（欠損補綴歯・ポンティック）（△）】＊	
61	欠損歯（欠損補綴歯・隙）＊	
62	欠損歯【喪失歯（インプラント・タイプ不明）（△）】＊	
63	欠損歯【喪失歯（インプラント・ブレードタイプ）（△）】＊	
64	欠損歯【喪失歯（インプラント・スクリュータイプ）（△）】＊	
65	欠損歯【喪失歯（インプラント・シリンダータイプ）（△）】＊	
66	欠損歯【喪失歯（インプラント・その他）（△）】＊	
67	欠損歯【喪失歯（補綴処置不要歯・永久歯）×】＊	
68	欠損歯（先天欠如歯）＊	

注意）将来項目追加があっても現在歯と欠損歯のコードが明確に区分できるよう、現在歯は01から、欠損歯は50からと幅を持たせてあります。

（3）歯科健診記号〔TD-3〕

当該歯の基本的状態〔TD-2〕（備考参照）に対応する歯科健診記号を記録します。

コード	内容	備考
01	／（現在歯、または健全歯）	〔TD-2〕01,02,12
02	C（未処置歯）	〔TD-2〕06,08
03	○（処置歯）	〔TD-2〕09,10

04	△（欠損歯、または喪失歯）	〔 TD-2 〕 50,51,52,53,54,55,67,68
05	（△）（欠損補綴歯）	〔 TD-2 〕 56,57,58,59,60,61,62, 63,64,65,66
06	シ（シーラント）	〔 TD-2 〕 03
07	サ（サホライド）	〔 TD-2 〕 05,07
08	CO（要観察歯）	〔 TD-2 〕 04
09	×（要注意乳歯）	〔 TD-2 〕 11

4.3) III. 現在歯の内容パート (TP) レコード

歯の基本状態が現在歯の場合に、その内容を記録します。

現在歯の内容パートレコードフォーマット

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)
項目	レコード識別情報	併存レコード連番 (TP)	生活歯・失活歯	歯の萌出異常	歯の位置異常	歯根の分割	歯の形態異常・形成異常	過剰歯	未処置歯 (う蝕等、治療中を含む)	テンポラリークラウン	処置歯 (部分修復)	窩洞形態	歯面 (切端・咬合面 I O*)	歯面 (唇側面・頬側面 B*)
モード	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数
最大バイト数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
項目形式	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定
記録必須	必須	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可

	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)	(27)	(28)
項目	歯面 (口蓋側面・舌側面 P L*)	歯面 (近心面 M*)	歯面 (遠心面 D*)	歯の主な部位 (歯冠部)	歯の主な部位 (歯頸部)	歯の主な部位 (歯根部)	処置歯 (全部修復)	処置歯 (その他修復)	連結冠・ブリッジ支台歯	連結冠・ブリッジ番号	レストシート	クラスプ	固定式矯正装置	暫間固定
モード	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数
最大バイト数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
項目形式	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定
記録必須	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可

	(29)	(30)	(31)	(32)	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)
項目	歯肉の状態	歯石沈着	歯根のう胞	ろう孔	骨瘤	予備1	予備2	予備3	予備4	予備5
モード	英数	英数	英数	英数	英数	-	-	-	-	-
最大バイト数	2	2	2	2	2	-	-	-	-	-
項目形式	固定	固定	固定	固定	固定	-	-	-	-	-
記録必須	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略	省略	省略	省略	省略

(1) レコード識別情報 [TP-1]

歯の診査情報レコード（現在歯の内容パート）を表す識別情報「TP」を記録します。

コード	内容	備考
TP	歯の診査情報レコード(現在歯の内容パート)	

(2) 併存レコード連番 [TP-2]

1歯2窩洞などの複数窩洞や全部金属冠装着歯の歯頸部に2次う蝕があるなど、当該歯の「現在歯の内容」に複数の情報がある場合（当該歯の歯種コード、状態コード、部分コードが同一の場合に限る）は、併存レコードとして別レコードに記録します。併存レコード連番は併存するレコードを連番で記録します。（例：1歯2窩洞の場合、1窩洞目では併存レコード連番は1を記録し、2窩洞目では併存レコード連番は2を記録します。）

なお、(29) 歯肉の状態 [TP-29]、(30) 歯石沈着 [TP-30]、(31) 歯根のう胞 [TP-31]、(32) ろう孔 [TP-32]、(33) 骨瘤 [TP-33] の記録は、最初のレコードのみに記録します。

コード	内容	備考
(省略)	併存レコードなし	
(数字)	併存レコード連番	

(3) 生活歯・失活歯 [TP-3]

現在歯の場合、生活歯、失活歯の別を記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	生活歯	
02	失活歯 (根管充填歯、う蝕処置済み歯、残根・C4等)	
03	失活歯 (歯根端切除歯)	

(4) 歯の萌出異常 [TP-4]

現在歯の場合、主な歯の萌出異常を記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	半埋伏歯 (H R T) *	
02	半埋伏歯 (H R T) (水平) *	
03	埋伏歯 (R T) (詳細不明) *	
04	埋伏歯 (R T) (水平) *	
05	埋伏歯 (完全) (C R T) *	
06	水平埋伏智歯 (H I T) *	
07	未萌出歯*	
08	萌出途中*	

(5) 歯の位置異常 [TP-5]

現在歯の場合、主な歯の位置異常を記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	捻転歯 (R O T)	
02	転位歯	
03	傾斜歯	
04	叢生	
05	歯間離開	
06	歯の位置異常 (その他)	

(6) 歯根の分割 [TP-6]

現在歯が歯根分割歯、ヘミセクション歯（分割抜歯歯）の場合、あるいは欠損歯（ポンティック）がヘミセクション歯（分割抜歯歯）の場合、歯根の状態を記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	部分指定なし（該当なし）	
01	遠心頬側根	
02	近心頬側根	
03	近心頬側根および遠心頬側根	
04	舌側（口蓋）根	
05	舌側（口蓋）根および遠心頬側根	
06	舌側（口蓋）根および近心頬側根	
07	遠心根	
08	近心根	
09	歯根分割歯	
10	歯根（部位不明）	

(7) 歯の形態異常・形成異常 [TP-7]

現在歯の場合、主な歯の形態異常、形成異常を記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	弯曲根	
02	癒合歯	
03	癒着歯	
04	巨大歯	
05	矮小歯	
06	円錐歯	
07	エナメル質形成不全（EHP）	
08	斑状歯	
09	変色歯	
10	ピンク歯	
11	結節（切歯）	
12	結節（中心）	

13	結節（カラベリ）	
14	結節（臼旁）	
15	結節（臼後）	
16	歯の発育異常	
17	歯の形態異常（その他）	
18	歯の形成異常（その他）	

（８）過剰歯 [TP-8]

現在歯が過剰歯（歯種コード [TB-2] : 101A~108E）の場合に記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	過剰歯（SNT）	
02	過剰埋伏歯	

（９）未処置歯（う蝕等、治療中を含む） [TP-9]

現在歯が未処置歯（歯の基本状態 [TD-2] : 06 又は 07）あるいは現在歯（残根上義歯）残根（未処置歯）（[TD-2] : 08）の場合に、う蝕等未処置歯の内容を記録します。

支台築造装着後のテンポラリークラウン装着のない歯冠形成歯は、支台築造として記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	う歯（未処置歯C）（程度不明）*	
02	C 1*	
03	C 2*	
04	C 3*	
05	C 1 〃*	
06	C 2 〃*	
07	C 3 〃*	
08	仮封（テンポラリークラウンを除く）・治療中*	
09	C 4*	
10	残根*	
11	残根（残根上義歯）*	
12	咬耗（A t t）*	

13	磨耗 (A b r) *	
14	歯質くさび状欠損 (W S D) *	
15	歯の破折 (F r T) *	
16	歯の酸蝕症*	
17	歯の酸蝕症疑い (±) *	
18	歯の酸蝕症第1度 (E 1) (Ero)*	
19	歯の酸蝕症第2度 (E 2) (Ero)*	
20	歯の酸蝕症第3度 (E 3) (Ero)*	
21	歯の酸蝕症第4度 (E 4) (Ero)*	
22	窩洞形成歯 (単純) *	
23	窩洞形成歯 (複雑) *	
24	窩洞形成歯 (支台築造) *	
25	歯冠形成歯 (部分冠) *	
26	歯冠形成歯 (全部冠) *	
27	支台築造 (メタルコア・銀色) (M コア) *	
28	支台築造 (メタルコア・黒色) (M コア) *	
29	支台築造 (メタルコア・金色) (M コア) *	
30	支台築造 (非金属コア・歯冠色他) (コア) *	

(10) テンポラリークラウン [TP-10]

現在歯または欠損歯 (インプラント、ポンティック) にテンポラリークラウン (T e C)、リテイナー、プロビジョナルレストレーションが装着されている場合に記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	部分修復のテンポラリークラウン (TeC) *	
02	全部修復のテンポラリークラウン (TeC) *	
03	その他修復のテンポラリークラウン (TeC) *	
04	ブリッジのリテイナー (5 歯以下) ・クラウン*	
05	ブリッジのリテイナー (5 歯以下) ・ポンティック*	
06	ブリッジのリテイナー (6 歯以上) ・クラウン*	
07	ブリッジのリテイナー (6 歯以上) ・ポンティック*	
08	歯周治療用装置 (冠形態) *	
09	歯周治療用装置 (冠形態) ブリッジ・クラウン*	
10	歯周治療用装置 (冠形態) ブリッジ・ポンティック*	

11	プロビジョナルクラウン*	
12	プロビジョナルブリッジ・クラウン*	
13	プロビジョナルブリッジ・ポンティック*	

(11) 処置歯 (部分修復) [TP-11]

現在歯が部分修復されている場合に記録します。

処置歯 (全部修復) [TP-21] が記録された場合は、記録しません (排他関係です)。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	部分修復・単純窩洞 (歯冠色充填) (CF、RF、GCF) *	
02	部分修復・複雑窩洞 (歯冠色充填) (CF、RF、GCF) *	
03	部分修復・単純窩洞 (アマルガム充填) (AF) *	
04	部分修復・複雑窩洞 (アマルガム充填) (AF) *	
05	部分修復 (金箔充填・金色) *	
06	部分修復・単純窩洞 (金属インレー・銀色) (In) *	
07	部分修復・単純窩洞 (金属インレー・黒色) (In) *	
08	部分修復・単純窩洞 (金属インレー・金色) (In) *	
09	部分修復・単純窩洞 (非金属インレー・歯冠色) (In) *	
10	部分修復・複雑窩洞 (金属インレー・銀色) (In) *	
11	部分修復・複雑窩洞 (金属インレー・黒色) (In) *	
12	部分修復・複雑窩洞 (金属インレー・金色) (In) *	
13	部分修復・複雑窩洞 (非金属インレー・歯冠色) (In) *	
14	部分修復 (金属アンレー・銀色) *	
15	部分修復 (金属アンレー・黒色) *	
16	部分修復 (金属アンレー・金色) *	
17	部分修復 (非金属アンレー・歯冠色) *	
18	部分修復 (3/4 金属冠・銀色) (3/4 Cro) *	
19	部分修復 (3/4 金属冠・黒色) (3/4 Cro) *	
20	部分修復 (3/4 金属冠・金色) (3/4 Cro) *	
21	部分修復 (3/4 非金属冠・歯冠色) (3/4 Cro) *	
22	部分修復 (4/5 金属冠・銀色) (4/5 Cro) *	
23	部分修復 (4/5 金属冠・黒色) (4/5 Cro) *	
24	部分修復 (4/5 金属冠・金色) (4/5 Cro) *	
25	部分修復 (4/5 非金属冠・歯冠色) (4/5 Cro) *	

26	部分修復（ラミネートベニア・歯冠色）＊	
27	部分修復（接着金属冠・銀色）＊	
28	部分修復（接着金属冠・黒色）＊	
29	部分修復（接着金属冠・金色）＊	
30	部分修復（接着非金属冠・歯冠色）＊	

（１２）窩洞形態〔TP-12〕

現在歯が部分修復で充填またはインレーの場合、単純窩洞（隣接歯との接触面を含まない窩洞）か複雑窩洞（隣接歯との接触面を含む窩洞）の別を記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	単純窩洞（充填）	
02	複雑窩洞（充填）	
03	単純窩洞（インレー）	
04	複雑窩洞（インレー）	

（１３）歯面（切端・咬合面IO＊）〔TP-13〕

現在歯が部分修復の場合、歯面を記録します。連続する歯面はすべて記録します。

歯面が独立している場合は、併存レコードとして記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	切端・咬合面IO＊	

（１４）歯面（唇側面・頬側面B＊）〔TP-14〕

現在歯が部分修復の場合、歯面を記録します。連続する歯面はすべて記録します。

歯面が独立している場合は、併存レコードとして記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	唇側面・頬側面B＊	

（１５）歯面（口蓋側面・舌側面PL＊）〔TP-15〕

現在歯が部分修復の場合、歯面を記録します。連続する歯面はすべて記録します。

歯面が独立している場合は、併存レコードとして記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	口蓋側面・舌側面PL*	

(16) 歯面 (近心面M*) [TP-16]

現在歯が部分修復の場合、歯面を記録します。連続する歯面はすべて記録します。

歯面が独立している場合は、併存レコードとして記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	近心面M*	

(17) 歯面 (遠心面D*) [TP-17]

現在歯が部分修復の場合、歯面を記録します。連続する歯面はすべて記録します。

歯面が独立している場合は、併存レコードとして記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	遠心面D*	

(18) 歯の主な部位 (歯冠部) [TP-18]

情報の主な部位が歯冠部の場合 (全部修復、部分修復、歯冠部の充填など) に記録します。連続する主な部位はすべて記録します。

主な部位が独立している場合は、併存レコードとして記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	歯冠部	

(19) 歯の主な部位 (歯頸部) [TP-19]

情報の主な部位が歯頸部の場合 (歯質くさび状欠損、歯頸部の充填など) に記録します。連続する主な部位はすべて記録します。

主な部位が独立している場合は、併存レコードとして記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	歯頸部	

(20) 歯の主な部位 (歯根部) [TP-20]

情報の主な部位が歯根部の場合 (根面う蝕、根面の充填など) に記録します。連続する主な部位はすべて記録します。

主な部位が独立している場合は、併存レコードとして記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	歯根部	

(21) 処置歯 (全部修復) [TP-21]

現在歯あるいは欠損歯 (インプラント) が全部修復されている場合に記録します。

処置歯 (部分修復) [TP-11] が記録された場合は記録しません (排他関係です)。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	全部修復 (全部金属冠・銀色) (FMC) *	
02	全部修復 (全部金属冠・黒色) (FMC) *	
03	全部修復 (全部金属冠・金色) (FMC) *	
04	全部修復 (全部非金属冠・レジン系・歯冠色) (JC) *	
05	全部修復 (全部非金属冠・セラミック系・歯冠色) (JC) *	
06	全部修復 (前装金属冠・銀色) (前装MC) *	
07	全部修復 (前装金属冠・黒色) (前装MC) *	
08	全部修復 (前装金属冠・金色) (前装MC) *	
09	全部修復 (メタルボンドクラウン・銀色) (MB) *	
10	全部修復 (メタルボンドクラウン・黒色) (MB) *	
11	全部修復 (メタルボンドクラウン・金色) (MB) *	
12	全部修復 (コーヌス外冠・全部金属冠・銀色) *	
13	全部修復 (コーヌス外冠・全部金属冠・黒色) *	
14	全部修復 (コーヌス外冠・全部金属冠・金色) *	
15	全部修復 (コーヌス外冠・硬質レジン前装金属冠・銀色) *	

16	全部修復（コーヌス外冠・硬質レジン前装金属冠・黒色）＊	
17	全部修復（コーヌス外冠・硬質レジン前装金属冠・金色）＊	
18	全部修復（コーヌス外冠・メタルボンドクラウン・銀色）＊	
19	全部修復（コーヌス外冠・メタルボンドクラウン・黒色）＊	
20	全部修復（コーヌス外冠・メタルボンドクラウン・金色）＊	
21	全部修復（帯環金属冠・種類不明・銀色）＊	
22	全部修復（帯環金属冠・種類不明・黒色）＊	
23	全部修復（帯環金属冠・種類不明・金色）＊	
24	全部修復（帯環金属冠・嚙面圧印冠・銀色）＊	
25	全部修復（帯環金属冠・嚙面圧印冠・黒色）＊	
26	全部修復（帯環金属冠・嚙面圧印冠・金色）＊	
27	全部修復（帯環金属冠・嚙面充実冠・銀色）（PK）＊	
28	全部修復（帯環金属冠・嚙面充実冠・黒色）（PK）＊	
29	全部修復（帯環金属冠・嚙面充実冠・金色）（PK）＊	
30	全部修復（帯環金属冠・嚙面鑄造冠・銀色）（CCK）＊	
31	全部修復（帯環金属冠・嚙面鑄造冠・黒色）（CCK）＊	
32	全部修復（帯環金属冠・嚙面鑄造冠・金色）（CCK）＊	
33	全部修復（帯環金属冠・開面金冠・銀色）＊	
34	全部修復（帯環金属冠・開面金冠・黒色）＊	
35	全部修復（帯環金属冠・開面金冠・金色）＊	
36	全部修復（歯冠継続歯・レジン前装継続歯・銀色）（PC）＊	
37	全部修復（歯冠継続歯・レジン前装継続歯・黒色）（PC）＊	
38	全部修復（歯冠継続歯・レジン前装継続歯・金色）（PC）＊	
39	全部修復（歯冠継続歯・全部レジン冠継続歯・歯冠色）（PC）＊	
40	全部修復（乳歯冠・乳歯金属冠・銀色）＊	
41	全部修復（乳歯冠・複合レジン冠・歯冠色）＊	
42	全部修復（小児保隙装置・銀色）＊	

（２２）処置歯（その他修復）〔TP-22〕

現在歯が処置歯（部分修復）または処置歯（全部修復）以外の修復の場合、あるいは欠損歯（インプラント）が処置歯（全部修復）以外の修復の場合に記録します。

処置歯（部分修復）〔TP-11〕または処置歯（全部修復）〔TP-21〕が記録された場合は記録しません（排他関係です）。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	

00	該当なし	
01	根面板（金属・銀色）＊	
02	根面板（金属・黒色）＊	
03	根面板（金属・金色）＊	
04	根面板（非金属・歯冠色他）＊	
05	コーヌス内冠（金属冠・銀色）	
06	コーヌス内冠（金属冠・黒色）	
07	コーヌス内冠（金属冠・金色）	
08	アバットメント	
09	アタッチメント（磁性）	
10	アタッチメント（バー）	
11	アタッチメント（その他）	

（２３）連結冠・ブリッジ支台歯 [TP-23]

現在歯の処置歯（部分修復）あるいは処置歯（全部修復）が連結冠あるいはブリッジ支台歯、隙の支台歯の場合に記録します。

コード	内容	備考
（省略）	情報なし	
00	該当なし	
01	連結冠	
02	ブリッジ支台歯＊	
03	隙の支台歯＊	

（２４）連結冠・ブリッジ番号 [TP-24]

連結冠あるいはブリッジ（B r）が同顎何装置目かを記録します。

記録順はレセ電と同様に右上遠心から左上遠心、右下遠心から左下遠心の順に何装置目かを記録します。

コード	内容	備考
（省略）	情報なし	
00	該当なし	
01	同顎１装置目（固定性）	
02	同顎２装置目（固定性）	
03	同顎３装置目（固定性）	
04	同顎４装置目（固定性）	
05	同顎５装置目（固定性）	

06	同顎6装置目(固定性)	
07	同顎7装置目(固定性)	
08	同顎8装置目(固定性)	
09	同顎1装置目(半固定性・可撤性)	
10	同顎2装置目(半固定性・可撤性)	
11	同顎3装置目(半固定性・可撤性)	
12	同顎4装置目(半固定性・可撤性)	
13	同顎5装置目(半固定性・可撤性)	
14	同顎6装置目(半固定性・可撤性)	
15	同顎7装置目(半固定性・可撤性)	
16	同顎8装置目(半固定性・可撤性)	

(25) レストシート [TP-25]

現在歯が鉤歯の場合、レストシート、ガイドプレーン等の有無を記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	レストシート等あり	

(26) クラスプ [TP-26]

現在歯が鉤歯の場合、クラスプ等の種類を記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	鉤(内容不明)	
02	鑄造鉤(双子鉤・銀色) (C1)	
03	鑄造鉤(双子鉤・黒色) (C1)	
04	鑄造鉤(双子鉤・金色) (C1)	
05	鑄造鉤(二腕鉤・レスト付き・銀色) (C1)	
06	鑄造鉤(二腕鉤・レスト付き・黒色) (C1)	
07	鑄造鉤(二腕鉤・レスト付き・金色) (C1)	
08	線鉤(双子鉤・銀色) (C1)	
09	線鉤(双子鉤・黒色) (C1)	
10	線鉤(双子鉤・金色) (C1)	
11	線鉤(二腕鉤・レスト付き・銀色) (C1)	

12	線鉤（二腕鉤・レスト付き・黒色）（C1）	
13	線鉤（二腕鉤・レスト付き・金色）（C1）	
14	線鉤（レストのないもの・銀色）（C1）	
15	線鉤（レストのないもの・黒色）（C1）	
16	線鉤（レストのないもの・金色）（C1）	
17	コンビネーション鉤（二腕鉤・銀色）（コンビC1）	
18	コンビネーション鉤（二腕鉤・黒色）（コンビC1）	
19	コンビネーション鉤（二腕鉤・金色）（コンビC1）	
20	コンビネーション鉤（双子鉤・銀色）（コンビC1）	
21	コンビネーション鉤（双子鉤・黒色）（コンビC1）	
22	コンビネーション鉤（双子鉤・金色）（コンビC1）	
23	非金属鉤（歯冠色）	
24	非金属鉤（歯肉色）	
25	フック（銀色）	
26	フック（黒色）	
27	フック（金色）	
28	スパー（銀色）	
29	スパー（黒色）	
30	スパー（金色）	

（27）固定式矯正装置〔TP-27〕

現在歯にダイレクトボンドブラケット等の固定式矯正装置が装着されている場合に記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	ダイレクトボンドブラケット（唇側・金属）	
02	ダイレクトボンドブラケット（唇側・非金属）	
03	ダイレクトボンドブラケット（舌側・金属）	
04	ダイレクトボンドブラケット（舌側・非金属）	
05	帯環	
06	フィクスドリテーナー	

（28）暫間固定〔TP-28〕

現在歯に暫間固定や線副子が装着されている場合に記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	暫間固定 (TFix)	
02	線副子	

(29) 歯肉の状態 [TP-29]

現在歯の場合、主な歯肉の状態を記録します。

(18)「歯の主な部位(歯冠部) [TP-18] ~ (20) 歯の主な部位(歯根部) [TP-20]
の記録は省略します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	歯肉退縮	
02	歯肉増殖	
03	歯肉色素沈着	

(30) 歯石沈着 [TP-30]

現在歯に歯石沈着がみられる場合に記録します。

(18)「歯の主な部位(歯冠部) [TP-18] ~ (20) 歯の主な部位(歯根部) [TP-20]
の記録は省略します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	歯石沈着 (Z S)	

(31) 歯根のう胞 [TP-31]

現在歯の場合、エックス線検査で歯根のう胞がみられる場合に記録します。

(18)「歯の主な部位(歯冠部) [TP-18] ~ (20) 歯の主な部位(歯根部) [TP-20]
の記録は省略します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	歯根のう胞 (W Z)	

(32) ろう孔 [TP-32]

現在歯の場合、ろう孔がみられる場合に記録します。

(18)「歯の主な部位(歯冠部)〔TP-18〕～(20)歯の主な部位(歯根部)〔TP-20〕の記録は省略します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	ろう孔(内歯瘻)	
02	ろう孔(外歯瘻)	

(33) 骨瘤 〔TP-33〕

現在歯の場合、近傍に骨瘤(骨隆起)がある場合に記録します。口腔診査時の入力用です。傷病名からの記録は、6)その他の疾病及び異常レコード(SI)の4)骨瘤〔SI-4〕に記録します。

(18)「歯の主な部位(歯冠部)〔TP-18〕～(20)歯の主な部位(歯根部)〔TP-20〕の記録は省略します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	骨瘤(唇側・頬側) (T o r)	
02	骨瘤(舌側・口蓋側) (T o r)	
03	骨瘤(唇側・頬側および舌側・口蓋側) (T o r)	
04	骨瘤(側不明) (T o r)	

4.4) IV. 欠損歯の内容パート (TM) レコード

歯の基本状態が欠損歯の場合に、その内容を記録します。

欠損歯の内容パートレコードフォーマット

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
項目	レコード識別情報	ポンティック	ブリッジ番号	有床義歯	複数義歯番号	義歯人工歯	義歯補綴隙	義歯大連結子	補強線	骨瘤	予備1	予備2	予備3	予備4	予備5
モード	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	-	-	-	-	-
最大バイト数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	-	-	-	-	-
項目形式	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	-	-	-	-	-
記録必須	必須	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略	省略	省略	省略	省略

(1) レコード識別情報 [TM-1]

歯の診査情報レコード (欠損歯の内容パート) を表す識別情報「TM」を記録します。

コード	内容	備考
TM	歯の診査情報レコード(欠損歯の内容パート)	

(2) ポンティック [TM-2]

欠損補綴がポンティックまたは補綴隙の場合に記録します。補綴隙の場合は、I. 部位パート (TB) 状態コード [TB-3] 「部近心隙」の歯式コードを用いて記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	ポンティック (鋳造ポンティック・銀色) (P o n) *	
02	ポンティック (鋳造ポンティック・黒色) (P o n) *	
03	ポンティック (鋳造ポンティック・金色) (P o n) *	
04	ポンティック (前装ポンティック・銀色) (P o n) *	
05	ポンティック (前装ポンティック・黒色) (P o n) *	

06	ポンティック（前装ポンティック・金色）（P o n）＊	
07	ポンティック（金属裏装ポンティック・銀色）（P o n）＊	
08	ポンティック（金属裏装ポンティック・黒色）（P o n）＊	
09	ポンティック（金属裏装ポンティック・金色）（P o n）＊	
10	ポンティック（メタルボンドポンティック・銀色）（P o n）＊	
11	ポンティック（メタルボンドポンティック・黒色）（P o n）＊	
12	ポンティック（メタルボンドポンティック・金色）（P o n）＊	
13	ポンティック（非金属ポンティック・レジン系・歯冠色）（P o n）＊	
14	ポンティック（非金属ポンティック・セラミック系・歯冠色）（P o n）＊	
15	補綴隙（鋳造隙・銀色）＊	
16	補綴隙（鋳造隙・黒色）＊	
17	補綴隙（鋳造隙・金色）＊	
18	補綴隙（前装隙・銀色）＊	
19	補綴隙（前装隙・黒色）＊	
20	補綴隙（前装隙・金色）＊	
21	補綴隙（金属裏装隙・銀色）＊	
22	補綴隙（金属裏装隙・黒色）＊	
23	補綴隙（金属裏装隙・金色）＊	
24	補綴隙（メタルボンド隙・銀色）＊	
25	補綴隙（メタルボンド隙・黒色）＊	
26	補綴隙（メタルボンド隙・金色）＊	
27	補綴隙（非金属隙・レジン系・歯冠色）＊	
28	補綴隙（非金属隙・セラミック系・歯冠色）＊	

（3）ブリッジ番号 [TM-3]

ブリッジ（B r）が同顎何装置目かを記録します。ブリッジ支台歯のブリッジ番号（現在歯の内容パート（TP）の連結冠・ブリッジ番号 [TP-24]）とは完全一致とします。

記録順はレセ電と同様に右上遠心から左上遠心、右下遠心から左下遠心の順に何装置目かを記録します。

コード	内容	備考
（省略）	情報なし	
00	該当なし	
01	同顎 1 装置目（固定性）	
02	同顎 2 装置目（固定性）	
03	同顎 3 装置目（固定性）	

04	同顎4装置目（固定性）	
05	同顎5装置目（固定性）	
06	同顎6装置目（固定性）	
07	同顎7装置目（固定性）	
08	同顎8装置目（固定性）	
09	同顎1装置目（半固定性・可撤性）	
10	同顎2装置目（半固定性・可撤性）	
11	同顎3装置目（半固定性・可撤性）	
12	同顎4装置目（半固定性・可撤性）	
13	同顎5装置目（半固定性・可撤性）	
14	同顎6装置目（半固定性・可撤性）	
15	同顎7装置目（半固定性・可撤性）	
16	同顎8装置目（半固定性・可撤性）	

（4）有床義歯〔TM-4〕

欠損補綴が有床義歯（残根上義歯を含む）の場合に記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	有床義歯（内容不明）	
02	有床義歯（レジン床）	
03	有床義歯（熱可塑性樹脂床）	
04	有床義歯（セラミック床）	
05	有床義歯（金属床）	
06	有床義歯（金床）	
07	有床義歯（ノンクラスプデンチャー）	
08	総義歯（内容不明）（FD）＊	
09	総義歯（レジン床）（FD）＊	
10	総義歯（熱可塑性樹脂床）（FD）＊	
11	総義歯（セラミック床）（FD）＊	
12	総義歯（金属床）（FD）＊	
13	総義歯（金床）（FD）＊	
14	総義歯（ノンクラスプデンチャー）（FD）＊	
15	局部義歯（内容不明）（PD）＊	
16	局部義歯（レジン床）（PD）＊	

17	局部義歯（熱可塑性樹脂床）（PD）＊	
18	局部義歯（セラミック床）（PD）＊	
19	局部義歯（金属床）（PD）＊	
20	局部義歯（金床）（PD）＊	
21	局部義歯（ノンクラスプデンチャー）（PD）＊	
22	口蓋補綴・顎補綴	
23	歯周治療用装置（床義歯）	

（５）複数義歯番号 [TM-5]

欠損補綴が有床義歯の場合、同顎何床目かを記録します。記録順はレセ電と同様に右上遠心から左上遠心、右下遠心から左下遠心の順に同顎何床目かを記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	同顎２床目	
02	同顎３床目	

（６）義歯人工歯 [TM-6]

欠損補綴が有床義歯の場合、義歯人工歯の材質を記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	レジン歯	
02	スルフォン樹脂レジン歯	
03	硬質レジン歯	
04	金属歯	
05	陶歯	

（７）義歯補綴隙 [TM-7]

欠損補綴が有床義歯で補綴隙がある場合、補綴隙の材質を記録します。補綴隙の場合は、部位パート（TB）状態コード [TB-3] 「部近心隙」の歯式コードを用いて記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	補綴隙（レジン隙）	

02	補綴隙（スルフォン樹脂レジン隙）	
03	補綴隙（硬質レジン隙）	
04	補綴隙（金属隙）	
05	補綴隙（陶歯）	

（8）義歯大連結子〔TM-8〕

欠損補綴が有床義歯の場合、大連結子が使われている場合に記録します。有床義歯の範囲すべての欠損歯に記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	屈曲バー（リングル／パラタル）（B a r）	
02	鋳造バー／ストラップ（リングル／パラタル）（C a s t B a r）	
03	プレート（リングル／パラタル）	
04	リングルエプロン	

（9）補強線〔TM-9〕

欠損補綴が有床義歯の場合、補強線が使われている場合に記録します。有床義歯の範囲すべての欠損歯に記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	補強線	

（10）骨瘤〔TM-10〕

欠損歯の場合、近傍に骨瘤（骨隆起）がある場合に記録します。口腔診査時の入力用です。傷病名からの記録は、6）その他の疾病及び異常レコード（SI）の4）骨瘤〔SI-4〕に記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	骨瘤（唇側・頬側）（T o r）	
02	骨瘤（舌側・口蓋側）（T o r）	
03	骨瘤（唇側・頬側および舌側・口蓋側）（T o r）	

04	骨瘤（側不明）（T o r）	
----	----------------	--

4.5) V. その他パート (TE) レコード

当該歯に現在歯の内容あるいは欠損歯の内容以外の情報がある場合に記録します。

その他パートレコードフォーマット

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)
項目	レコード識別情報	当該歯製品識別情報の有無	当該歯製品識別情報 (製品名)	当該歯製品識別情報 (製造番号・記号等)	当該歯特記事項の有無	当該歯特記事項	当該歯入力種別	当該歯情報入力・更新年月日	予備1	予備2	予備3	予備4	予備5
モード	英数	英数	英数 又は 漢字	英数 又は 漢字	英数	英数 又は 漢字	英数	数字	-	-	-	-	-
最大バイト数	2	2	40	20	2	400	2	8	-	-	-	-	-
項目形式	固定	固定	可変	可変	固定	可変	固定	固定	-	-	-	-	-
記録必須	必須	省略可	省略可	省略可	必須	省略可	省略可	省略可	省略	省略	省略	省略	省略

(1) レコード識別情報 [TE-1]

歯の診査情報レコード (その他の内容パート) を表す識別情報「TE」を記録します。

コード	内容	備考
TE	歯の診査情報レコード(その他の内容パート)	

(2) 当該歯製品識別情報の有無 [TE-2]

義歯やインプラントの製造番号・記号等、当該歯に係る製品識別情報の有無を記録します。義歯の場合は義歯の範囲すべての歯に記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	当該歯製品識別情報なし	

02	当該歯製品識別情報（義歯識別情報）あり	
03	当該歯製品識別情報（インプラント識別情報）あり	
04	当該歯製品識別情報（その他の製品識別情報）あり	

(3) 当該歯製品識別情報（製品名） [TE-3]

当該歯製品識別情報の有無がある場合、義歯や製品名を自由記載で記録します。義歯の場合は義歯の範囲すべての歯に記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	当該歯製品識別情報（製品名）	

(4) 当該歯製品識別情報（製造番号・記号等） [TE-4]

当該歯製品識別情報の有無がある場合、義歯や製品の製造番号や記号等を記録します。義歯の場合は義歯の範囲すべての歯に記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	当該歯製品識別情報（製造番号・記号等）	

(5) 当該歯特記事項の有無 [TE-5]

当該歯に明記すべき特記事項があるかないかを記録します。

コード	内容	備考
00	当該歯特記事項なし	
01	当該歯特記事項あり	

(6) 当該歯特記事項 [TE-6]

当該歯特記事項の有無がある場合、内容を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	当該歯特記事項	

(7) 当該歯入力種別 [TE-7]

当該歯について、初診時口腔診査、治療更新、歯科健診などの入力種別を入力します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	

01	初診時口腔診査	
02	治療による更新（処置履歴）	
03	妊産婦歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）	
04	1歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）	
05	1歳6か月児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）	
06	2歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）	
07	3歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）	
08	4歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）	
09	5歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）	
10	6歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）	
11	就学時健康診断	
12	学校歯科健康診断	
13	成人歯科健康診査（事業所歯科健診、歯周病検診含む）	
14	後期高齢者歯科口腔健康診査	
15	歯科特殊健康診査（歯の酸蝕症）	
16	歯科人間ドック検査	
17	かかりつけ連携手帳	
18	WHO口腔健康診査 成人用	
19	WHO口腔健康診査 小児用	

（8）当該歯情報入力・更新年月日 〔 TE-8 〕

当該歯の情報入力・更新年月日を数字8桁（西暦年4桁+月2桁+日2桁）で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(数字)	当該歯の情報入力・更新年月日	

4.6) VI. 標準プロフィール 26 項目パート (TF) レコード

標準プロフィール 26 項目を記録します。

標準プロフィール 26 項目パートレコードフォーマット

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)			
項目	レコード識別情報	の有無	標準プロフィール 26 項目の情報	乳歯・D c d	健全歯・S o u	1 2 3 C 1 3 C 3 (治療中を含む)・C	半埋伏・埋伏・R T	C R C R 充填・セメント充填ほか	4 / 5 冠金属色・I n	インレー、アンレー、3 / 4 冠、	4 / 5 冠歯冠色・I n T C	インレー、アンレー、3 / 4 冠、	アマルガム充填・A F	切端・咬合面・I O	唇側面・頬側面・B	口蓋側面・舌側面・P L	近心面・M
モード	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数
最大バイト数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
項目形式	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定
記録必須	必須	必須	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可

	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)	(27)	(28)
項目	遠心面・D	F M C 全部金属冠 (F M C ほか)	H R 前装冠 (H R、M B ほか)	J C H J C、セラミックほか・H	可)・A b u 支台歯 (インプラントも	ポンテイック・P o n	残根・根面板ほか・C 4	欠損・M A M	死後脱落の疑い・M P M	義歯 (人工歯あり)・D e n	インプラント・I m p l	り・T e C 仮歯 (T E K、プロビ等) あ	歯あり (状態不明)・P r e	情報なし・N o n
モード	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数
最大バイト数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
項目形式	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定
記録必須	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略	省略可	省略可	省略可	省略可

	(29)	(30)	(31)	(32)	(33)
項目	予備 1	予備 2	予備 3	予備 4	予備 5
モード	-	-	-	-	-
最大 バイト数	-	-	-	-	-
項目 形式	-	-	-	-	-
記録 必須	省略	省略	省略	省略	省略

(1) レコード識別情報 [TF-1]

歯の診査情報レコード(標準プロファイル 26 項目パート)を表す識別情報「TF」を記録します。

コード	内容	備考
TF	歯の診査情報レコード(標準プロファイル 26 項目パート)	

(2) 標準プロファイル 26 項目の情報の有無 [TF-2]

標準プロファイル 26 項目の情報の有無を記録します。

コード	内容	備考
00	標準プロファイル 26 項目の情報なし	
01	標準プロファイル 26 項目の情報あり	

(3) 乳歯・D c d [TF-3]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	乳歯・D c d	

(4) 健全歯・S o u [TF-4]

コード	内容	備考
-----	----	----

(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	健全歯・S o u	

(5) C 1 ~ C 3 (治療中を含む) ・ C 1 2 3 [TF-5]

治療中には、歯の修復処置が完了していない状態（歯内療法中、仮封、暫間充填、支台築造、窩洞形成、歯冠形成など）や修復物等が脱落したままの状態などを含みます。

治療を開始していないう蝕以外の歯の疾患（歯の破折、変色歯、歯質くさび状欠損など）は、歯あり（状態不明）・P r e [TF-27] に記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	C 1 ~ C 3 (治療中を含む) ・ C 1 2 3	

(6) 半埋伏・埋伏・R T [TF-6]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	半埋伏・埋伏・R T	

(7) C R 充填・セメント充填ほか・C R [TF-7]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	C R 充填・セメント充填・C R	

(8) インレー、アンレー、3 / 4 冠、4 / 5 冠金属色・I n [TF-8]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	インレー、アンレー、3 / 4 冠、4 / 5 冠金属色・I n	

(9) インレー、アンレー、3 / 4 冠、4 / 5 冠歯冠色・I n T C [TF-9]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	

00	該当なし	
01	インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠歯冠色・I n T C	

(10) アマルガム充填・AF [TF-10]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	アマルガム充填・AF	

(11) 切端・咬合面・IO [TF-11]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	切端・咬合面・IO	

(12) 唇側面・頬側面・B [TF-12]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	唇側面・頬側面・B	

(13) 口蓋側面・舌側面・PL [TF-13]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	口蓋側面・舌側面・PL	

(14) 近心面・M [TF-14]

コード	内容	コード
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	近心面・M	

(15) 遠心面・D [TF-15]

コード	内容	備考

(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	遠心面・D	

(16) 全部金属冠 (FMCほか)・FMC [TF-16]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	全部金属冠 (FMCほか)・FMC	

(17) 前装冠 (HR、MBほか)・HR [TF-17]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	前装冠 (HR、MBほか)・HR	

(18) HJC、セラミックほか・HJC [TF-18]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	HJC、セラミックほか・HJC	

(19) 支台歯 (インプラントも可)・Abu [TF-19]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	支台歯 (インプラントも可)・Abu	

(20) ポンティック・Pon [TF-20]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	ポンティック・Pon	

(21) 残根・根面板ほか・C4 [TF-21]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	残根・根面板ほか・C4	

(22) 欠損・MAM [TF-22]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	欠損・MAM	

(23) 死後脱落の疑い・MPM [TF-23]

本項目は、常に省略します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	死後脱落の疑い・MPM	

(24) 義歯（人工歯あり）・Den [TF-24]

義歯の当該歯部位に人工歯が配列されていない場合も含みます。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	義歯（人工歯あり）・Den	

(25) インプラント・Impl [TF-25]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	インプラント・Impl	

(26) 仮歯（TEK、プロビ等）あり・TeC [TF-26]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	

01	仮歯（TEK、プロビ等）あり・T e C	
----	----------------------	--

（27）歯あり（状態不明）・P r e [TF-27]

歯があり、「乳歯・D c d [TF-3]」～「仮歯（TEK、プロビ等）あり・T e C [TF-26]」以外の状態がある場合、治療を開始していないう蝕以外の歯の疾患（歯の破折、変色歯、歯質くさび状欠損など）がある場合も含まれます。

治療を開始した場合は治療中として、「C 1～C 3（治療中を含む）・C 1 2 3 [TF-5]」に記録します。

コード	内容	備考
（省略）	情報なし	
00	該当なし	
01	歯あり（状態不明）・P r e	

（28）情報なし・N o n [TF-28]

コード	内容	備考
（省略）	情報なし	
00	該当なし	
01	情報なし・N o n	

4.7) VII. 歯科人間ドック検査表パート (TH) レコード

入力種別が歯科人間ドック検査の場合に、歯科人間ドック検査記入用紙のう蝕検査・歯周病検査表の歯式の情報を記録します。う蝕検査・歯周病検査表以外の情報は、8.14) X IV. 歯科人間ドック検査補足項目 (E14) に記録します。

歯科人間ドック検査表パートレコードフォーマット

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	
項目	レコード識別情報	無 歯科人間ドック検査表情報の有	う蝕 (疑わしい病名) の有無	う蝕 (疑わしい病名)	う蝕 (Par : 根尖性歯周炎 (根尖病巣))	う蝕 (Hys : 知覚過敏症)	歯周病 (動揺度) Miller	歯周病 (根分岐部病変)	歯周病 (角化歯肉の有無)	歯周病 (Screening and Recording)	歯周病 (P S R (Periodontal Screening and Recording))	歯周病 (P I I (Plaque Index))	予備 1	予備 2	予備 3
モード	英数	英数	英数	漢字	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	数字	-	-	-
最大バイト数	2	2	2	40	2	2	2	2	2	2	2	4	-	-	-
項目形式	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	可変	-	-	-
記録必須	必須	必須	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略	省略	省略

	(15)	(16)
項目	予備 4	予備 5
モード	-	-
最大バイト数	-	-
項目形式	-	-
記録必須	省略	省略

(1) レコード識別情報 [TH-1]

歯の診査情報レコード(歯科人間ドック検査表パート)を表す識別情報「TH」を記録します。

コード	内容	備考
TH	歯の診査情報レコード(歯科人間ドック検査表パート)	

(2) 歯科人間ドック検査表情報の有無 [TH-2]

歯科人間ドック検査記入用紙のう蝕検査・歯周病検査表歯式の情報の有無を記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	歯科人間ドック検査表情報あり	

(3) う蝕(疑わしい病名)の有無 [TH-3]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	疑わしい病名なし	
01	疑わしい病名あり	

(4) う蝕(疑わしい病名) [TH-4]

う蝕(疑わしい病名)を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	疑わしい病名	

(5) う蝕(Per:根尖性歯周炎(根尖病巣)) [TH-5]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	Per:根尖性歯周炎(根尖病巣)	

(6) う蝕(Hys:知覚過敏症) [TH-6]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	

00	該当なし	
01	Hys : 知覚過敏症	

(7) 歯周病 (動揺度) Miller [TH-7]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	動揺度 0 生理的動揺(0.2mm 以内)	
02	動揺度 1 度 : 軽度, 唇舌的に 0.2 ~ 1mm	
03	動揺度 2 度 : 中等度, 唇舌, 近遠心的に 1 ~ 2mm	
04	動揺度 3 度 : 高度, 唇舌, 近遠心的に 2mm 以上, また垂直方向の舞踏状動揺	

(8) 歯周病 (根分岐部病変) [TH-8]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	根分岐部病変あり	

(9) 歯周病 (角化歯肉の有無) [TH-9]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	角化歯肉あり	

(10) 歯周病 (PSR (Periodontal Screening and Recording)) [TH-10]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	0	
02	1	
03	2	
04	3	
05	4	
06	*	

(11) 歯周病 (P I I (Plaque Index)) [TH-11]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
(数字)	PII 値 (4 歯面の 0, 1, 2, 3 の合計 ÷ 4)	

5) 矯正関係レコード (KK)

歯列・咬合関係の異常など矯正関係の情報を記録します。

矯正関係レコードフォーマット

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)
項目	レコード識別情報	矯正関係情報の有無	歯列の異常	咬合関係の異常	唇顎口蓋裂	矯正装置	その他の矯正情報の有無	その他の矯正情報	その他の矯正情報・歯式	予備1	予備2	予備3	予備4	予備5
モード	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数 又は 漢字	英数	-	-	-	-	-
最大バイト数	2	2	2	2	2	2	2	400	384	-	-	-	-	-
項目形式	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	可変	可変	-	-	-	-	-
記録必須	必須	必須	省略可	省略可	省略可	省略可	必須	省略可	省略可	省略	省略	省略	省略	省略

(1) レコード識別情報 [KK-1]

矯正関係用レコードを表す「KK」を記録します。

コード	内容	備考
KK	矯正関係レコード	

(2) 矯正関係情報の有無 [KK-2]

矯正関係情報の有無を記録します。

コード	内容	備考
00	矯正関係情報なし	
01	矯正関係情報あり	

(3) 歯列の異常 [KK-3]

主な歯列の異常を記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	狭窄歯列弓	
02	V字型歯列弓	
03	鞍状歯列弓	
04	空隙歯列弓	

(4) 咬合関係の異常 [KK-4]

主な咬合関係の異常を記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	開咬	
02	切端咬合	
03	反対咬合	
04	過蓋咬合	
05	交叉咬合 (左)	
06	交叉咬合 (右)	
07	鉤状咬合	
08	上顎前突	
09	下顎前突	
10	上下顎前突	

(5) 唇顎口蓋裂 [KK-5]

唇顎口蓋裂の情報を記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	唇裂	
02	顎裂	
03	口蓋裂	
04	唇顎裂	
05	唇顎口蓋裂	
06	唇裂の手術痕	

07	顎裂の手術痕	
08	口蓋裂の手術痕	
09	唇顎裂の手術痕	
10	唇顎口蓋裂の手術痕	

(6) 矯正装置 [KK-6]

矯正装置の情報を記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	唇側矯正装置	
02	舌側矯正装置	
03	床矯正装置	

(7) その他の矯正情報の有無 [KK-7]

その他の矯正情報の有無を記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし (その他の矯正情報なし)	
01	その他の矯正情報あり	

(8) その他の矯正情報 [KK-8]

その他の矯正関係がありの場合に内容を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	その他の矯正情報	

(9) その他の矯正情報・歯式 [KK-9]

その他の矯正情報の内容を自由記載した場合、必要に応じて歯式をレセ電の歯式 (傷病名) と同様に歯式コード 6 桁×最大 64 個で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(歯式コード)	その他の矯正情報・歯式	

6) その他の疾病及び異常レコード (SI)

口腔軟組織疾患など、その他の疾病及び異常を記録します。

その他の疾病及び異常レコードフォーマット

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)
項目	レコード識別情報	その他の疾病及び異常の有無	小帯の異常	骨瘤	骨瘤・歯式	口蓋隆起	その他の疾病及び異常	その他の疾病及び異常・歯式	予備1	予備2	予備3	予備4	予備5
モード	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数 又は 漢字	英数	-	-	-	-	-
最大バイト数	2	2	2	2	384	2	400	384	-	-	-	-	-
項目形式	固定	固定	固定	固定	可変	固定	可変	可変	-	-	-	-	-
記録必須	必須	必須	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略	省略	省略	省略	省略

(1) レコード識別情報 [SI-1]

その他の疾病及び異常レコードを表す「SI」を記録します。

コード	内容	備考
SI	その他の疾病及び異常レコード	

(2) その他の疾病及び異常の有無 [SI-2]

その他の疾病及び異常の有無を記録します。

コード	内容	備考
00	その他の疾病及び異常なし	
01	その他の疾病及び異常あり	

(3) 小帯の異常 [SI-3]

主な小帯の異常を記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	上唇小帯異常	
02	下唇小帯異常	
03	舌小帯異常	
04	頬小帯異常	

(4) 骨瘤 [SI-4]

骨瘤（骨隆起）がある場合に記録します。傷病名からの記録用です。

口腔診査での記録は、4.3) III. 現在歯の内容パート (TP) レコードの(33) 骨瘤 [TP-33]、または、4.4) IV. 欠損歯の内容パート (TM) レコードの(10) 骨瘤 [TM-10] に記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	骨瘤（唇側・頬側） (T o r)	
02	骨瘤（舌側・口蓋側） (T o r)	
03	骨瘤（唇側・頬側および舌側・口蓋側） (T o r)	
04	骨瘤（側不明） (T o r)	

(5) 骨瘤・歯式 [SI-5]

骨瘤（骨隆起）部位の歯式をレセ電の歯式（傷病名）と同様に歯式コード6桁×最大64個で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(歯式コード)	骨瘤・歯式	

(6) 口蓋隆起 [SI-6]

口蓋隆起を記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	口蓋隆起	

(7) その他の疾病及び異常 [SI-7]

その他の疾病及び異常を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	その他の疾病及び異常	

(8) その他の疾病及び異常・歯式 [SI-8]

その他の疾病及び異常の歯式をレセ電の歯式（傷病名）と同様に歯式コード6桁×最大64個で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(歯式コード)	その他の疾病及び異常・歯式	

7) 所見・特記事項レコード (SK)

所見（歯石沈着症Z Sなど学校歯科医所見を含む）あるいは特記事項（手術痕、手術歴含む）を記録します。

所見・特記事項レコードフォーマット

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)
項目	レコード識別情報	所見・特記事項の有無	所見・特記事項	所見・特記事項・歯式	予備1	予備2	予備3	予備4	予備5
モード	英数	英数	英数 又は 漢字	英数	-	-	-	-	-
最大バイト数	2	2	400	384	-	-	-	-	-
項目形式	固定	固定	可変	可変	-	-	-	-	-
記録必須	必須	必須	省略可	省略可	省略	省略	省略	省略	省略

(1) レコード識別情報 [SK-1]

所見・特記事項レコードを表す「SK」を記録します。

コード	内容	備考
SK	所見・特記事項レコード識別情報	

(2) 所見・特記事項の有無 [SK-2]

所見・特記事項の有無を記録します。

コード	内容	備考
00	所見・特記事項なし	
01	所見・特記事項あり	

(3) 所見・特記事項 [SK-3]

所見・特記事項（手術痕、手術歴含む）を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	所見・特記事項	

(4) 所見・特記事項・歯式 [SK-4]

所見・特記事項の歯式をレセ電の歯式（傷病名）と同様に歯式コード6桁×最大64個で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(歯式コード)	所見・特記事項・歯式	

8) 歯科健診等補足項目レコード (HK)

歯科健診等で歯の診査情報レコードユニットの記録に補足する項目がある場合に記録します。

歯科健診等補足項目レコードフォーマット

	(1)	(2)	(3)	～	(n)
項目	レコード識別情報	歯科健診等の種別	該当する歯科健診等の種別ごとの補足項目		
モード	英数	英数			
最大バイト数	2	2			
項目形式	固定	固定			
記録必須	必須	必須			

(1) レコード識別情報 [HK-1]

歯科健診用補足項目レコードを表す「HK」を記録します。

コード	内容	備考
HK	歯科健診用補足項目レコード識別情報	

(2) 歯科健診等の種別 [HK-2]

補足項目を記録する歯科健診等の種別を記録します。

次項目以降の記録は、本項目で記録した歯科健診等種別の補足項目のみを記録します。

コード	内容	備考
00	該当なし	
01	妊産婦歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	E01 を利用
02	1歳児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	E02 を利用
03	1歳6か月児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	E03 を利用
04	2歳児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	E04 を利用
05	3歳児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	E05 を利用

06	4歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）	E06 を利用
07	5歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）	E07 を利用
08	6歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）	E08 を利用
09	就学時健康診断	E09 を利用
10	学校歯科健康診断	E10 を利用
11	成人歯科健康診査（事業所歯科健診、歯周病検診含む）	E11 を利用
12	後期高齢者歯科口腔健康診査	E12 を利用
13	歯科特殊健康診査（歯の酸蝕症）	E13 を利用
14	歯科人間ドック検査	E14 を利用
15	かかりつけ連携手帳	E15 を利用
16	WHO口腔健康診査 成人用	E16 を利用
17	WHO口腔健康診査 小児用	E17 を利用

※（3）歯科健診等の種別ごとの補足項目

上記（1）レコード識別情報、（2）歯科健診等の種別に続く項目番号（3）以降については、該当する歯科健診等の種別ごとの補足項目（次ページ以降）を記録します。

なお、歯科健診等の種別ごとの補足項目の項目番号はすべて（3）からとなっています。

8.1) I. 妊産婦歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）補足項目（E01）

妊産婦歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）補足項目レコードフォーマット

	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
項目	初回診査年月日	妊娠・産後の別	妊娠・産後週	要治療のむし歯	要治療のむし歯ありの本数	歯石	歯肉の炎症	特記事項	予備1	予備2	予備3	予備4	予備5
モード	数字	英数	数字	英数	数字	英数	英数	英数 又は 漢字	-	-	-	-	-
最大バイト数	8	2	2	2	2	2	2	400	-	-	-	-	-
項目形式	固定	固定	可変	固定	可変	固定	固定	可変	-	-	-	-	-
記録必須	省略可	必須	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略	省略	省略	省略	省略

(3) 初回診査年月日 [HK.E01-3]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(数字)	初回診査年月日	

(4) 妊娠・産後の別 [HK.E01-4]

コード	内容	備考
01	妊娠	
02	産後	

(5) 妊娠・産後週 [HK.E01-5]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	

(数字)	妊娠・産後週数	
------	---------	--

(6) 要治療のむし歯 [HK.E01-6]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	なし	
01	あり	

(7) 要治療のむし歯ありの本数 [HK.E01-7]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(数字)	要治療のむし歯ありの本数	

(8) 歯石 [HK.E01-8]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	なし	
01	あり	

(9) 歯肉の炎症 [HK.E01-9]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	なし	
01	あり (要指導)	
02	あり (要治療)	

(10) 特記事項 [HK.E01-10]

特記事項を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	特記事項	

8.2) II. 1歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）補足項目（E02）

1歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）補足項目レコードフォーマット

	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)
項目	年齢 (歳)	年齢 (か月)	むし歯の罹患型	要治療のむし歯	要治療のむし歯ありの本数	歯の汚れ	歯肉・粘膜異常の有無	歯肉・粘膜異常の内容	かみ合わせ	かみ合わせ経過観察の内容	特記事項	予備1	予備2	予備3
モード	数字	数字	英数	英数	数字	英数	英数	英数 又は 漢字	英数	英数 又は 漢字	英数 又は 漢字	-	-	-
最大 バイト数	2	2	2	2	2	2	2	40	2	40	400	-	-	-
項目 形式	可変	可変	固定	固定	可変	固定	固定	可変	固定	可変	可変	-	-	-
記録 必須	必須	必須	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略	省略	省略

	(17)	(18)
項目	予備4	予備5
モード	-	-
最大 バイト数	-	-
項目 形式	-	-
記録 必須	省略	省略

(3) 年齢 (歳) [HK.E02-3]

コード	内容	備考
(数字)	年齢 (歳)	

(4) 年齢 (か月) [HK.E02-4]

コード	内容	備考
(数字)	年齢 (か月)	

(5) むし歯の罹患型 [HK.E02-5]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	O 1 : むし歯なし、歯もきれい	
02	O 2 : むし歯なし、歯の汚れ多い	
03	A : 奥歯または前歯にむし歯	
04	B : 奥歯と前歯にむし歯	
05	C : 下前歯にもむし歯	

(6) 要治療のむし歯 [HK.E02-6]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	なし	
01	あり	

(7) 要治療のむし歯ありの本数 [HK.E02-7]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(数字)	要治療のむし歯ありの本数	

(8) 歯の汚れ [HK.E02-8]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	きれい	
02	少ない	
03	多い	

(9) 歯肉・粘膜異常の有無 [HK.E02-9]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	なし	
01	あり	

(10) 歯肉・粘膜異常の内容 [HK.E02-10]

歯肉・粘膜異常ありの内容を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	歯肉・粘膜異常の内容	

(11) かみ合わせ [HK.E02-11]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	よい	
02	経過観察	

(12) かみ合わせ経過観察の内容 [HK.E02-12]

かみ合わせ経過観察の内容を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	かみ合わせ経過観察の内容	

(13) 特記事項 [HK.E02-13]

特記事項を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	特記事項	

8.3) Ⅲ. 1歳6か月児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）補足項目（E03）

1歳6か月児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）補足項目レコードフォーマット

	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)
項目	年齢（歳）	年齢（か月）	むし歯の罹患型	要治療のむし歯	要治療のむし歯ありの本数	歯の汚れ	歯肉・粘膜異常の有無	歯肉・粘膜異常の内容	かみ合わせ	かみ合わせ経過観察の内容	特記事項	予備1	予備2	予備3
モード	数字	数字	英数	英数	数字	英数	英数	英数 又は 漢字	英数	英数 又は 漢字	英数 又は 漢字	-	-	-
最大バイト数	2	2	2	2	2	2	2	40	2	40	400	-	-	-
項目形式	可変	可変	固定	固定	可変	固定	固定	可変	固定	可変	可変	-	-	-
記録必須	必須	必須	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略	省略	省略

	(17)	(18)
項目	予備4	予備5
モード	-	-
最大バイト数	-	-
項目形式	-	-
記録必須	省略	省略

(3) 年齢 (歳) [HK.E03-3]

コード	内容	備考
(数字)	年齢 (歳)	

(4) 年齢 (か月) [HK.E03-4]

コード	内容	備考
(数字)	年齢 (か月)	

(5) むし歯の罹患型 [HK.E03-5]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	O1 : むし歯なし、歯もきれい	
02	O2 : むし歯なし、歯の汚れ多い	
03	A : 奥歯または前歯にむし歯	
04	B : 奥歯と前歯にむし歯	
05	C : 下前歯にもむし歯	

(6) 要治療のむし歯 [HK.E03-6]

コード	内容	備考
(省略)	(情報なし)	
00	なし	
01	あり	

(7) 要治療のむし歯ありの本数 [HK.E03-7]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(数字)	要治療のむし歯ありの本数	

(8) 歯の汚れ [HK.E03-8]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	きれい	
02	少ない	
03	多い	

(9) 歯肉・粘膜異常の有無 [HK.E03-9]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	なし	
01	あり	

(10) 歯肉・粘膜異常の内容 [HK.E03-10]

歯肉・粘膜異常の内容を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	歯肉・粘膜異常の内容	

(11) かみ合わせ [HK.E03-11]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	よい	
02	経過観察	

(12) かみ合わせ経過観察の内容 [HK.E03-12]

かみ合わせ経過観察の内容を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	かみ合わせ経過観察の内容	

(13) 特記事項 [HK.E03-13]

特記事項を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	特記事項	

8.4) IV. 2歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）補足項目（E04）

2歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）補足項目レコードフォーマット

	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)
項目	年齢（歳）	年齢（か月）	むし歯の罹患型	要治療のむし歯	要治療のむし歯ありの本数	歯の汚れ	歯肉・粘膜異常の有無	歯肉・粘膜異常の内容	かみ合わせ	かみ合わせ経過観察の内容	特記事項	予備1	予備2	予備3
モード	数字	数字	英数	英数	数字	英数	英数	英数 又は 漢字	英数	英数 又は 漢字	英数 又は 漢字	-	-	-
最大バイト数	2	2	2	2	2	2	2	40	2	40	400	-	-	-
項目形式	可変	可変	固定	固定	可変	固定	固定	可変	固定	可変	可変	-	-	-
記録必須	必須	必須	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略	省略	省略

	(17)	(18)
項目	予備4	予備5
モード	-	-
最大バイト数	-	-
項目形式	-	-
記録必須	省略	省略

(3) 年齢 (歳) [HK.E04-3]

コード	内容	備考
(数字)	年齢 (歳)	

(4) 年齢 (か月) [HK.E04-4]

コード	内容	備考
(数字)	年齢 (か月)	

(5) むし歯の罹患型 [HK.E04-5]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	O1 : むし歯なし、歯もきれい	
02	O2 : むし歯なし、歯の汚れ多い	
03	A : 奥歯または前歯にむし歯	
04	B : 奥歯と前歯にむし歯	
05	C : 下前歯にもむし歯	

(6) 要治療のむし歯 [HK.E04-6]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	なし	
01	あり	

(7) 要治療のむし歯ありの本数 [HK.E04-7]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(数字)	要治療のむし歯ありの本数	

(8) 歯の汚れ [HK.E04-8]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	きれい	
02	少ない	
03	多い	

(9) 歯肉・粘膜異常の有無 [HK.E04-9]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	なし	
01	あり	

(10) 歯肉・粘膜異常の内容 [HK.E04-10]

歯肉・粘膜異常の内容を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	歯肉・粘膜異常ありの内容	

(11) かみ合わせ [HK.E04-11]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	よい	
02	経過観察	

(12) かみ合わせ経過観察の内容 [HK.E04-12]

かみ合わせ経過観察の内容を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	かみ合わせ経過観察の内容	

(13) 特記事項 [HK.E04-13]

特記事項を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	特記事項	

8.5) V. 3歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）補足項目（E05）

3歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）補足項目レコードフォーマット

	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)
項目	年齢 (歳)	年齢 (か月)	むし歯の罹患型	要治療のむし歯	要治療のむし歯ありの本数	歯の汚れ	歯肉・粘膜異常の有無	歯肉・粘膜異常の内容	かみ合わせ	かみ合わせ経過観察の内容	特記事項	予備1	予備2	予備3
モード	数字	数字	英数	英数	数字	英数	英数	英数 又は 漢字	英数	英数 又は 漢字	英数 又は 漢字	-	-	-
最大 バイト数	2	2	2	2	2	2	2	40	2	40	400	-	-	-
項目 形式	可変	可変	固定	固定	可変	固定	固定	可変	固定	可変	可変	-	-	-
記録 必須	必須	必須	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略	省略	省略

	(17)	(18)
項目	予備4	予備5
モード	-	-
最大 バイト数	-	-
項目 形式	-	-
記録 必須	省略	省略

(3) 年齢 (歳) [HK.E05-3]

コード	内容	備考
(数字)	年齢 (歳)	

(4) 年齢 (か月) [HK.E05-4]

コード	内容	備考
(数字)	年齢 (か月)	

(5) むし歯の罹患型 [HK.E05-5]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	O : むし歯なし	
02	A : 奥歯または前歯にむし歯	
03	B : 奥歯と前歯にむし歯	
04	C 1 : 下前歯がむし歯	
05	C 2 : 下前歯やその他にむし歯	

(6) 要治療のむし歯 [HK.E05-6]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	なし	
01	あり	

(7) 要治療のむし歯ありの本数 [HK.E05-7]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(数字)	要治療のむし歯ありの本数	

(8) 歯の汚れ [HK.E05-8]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	きれい	
02	少ない	
03	多い	

(9) 歯肉・粘膜異常の有無 [HK.E05-9]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	なし	
01	あり	

(10) 歯肉・粘膜異常の内容 [HK.E05-10]

歯肉・粘膜異常の内容を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	歯肉・粘膜異常ありの内容	

(11) かみ合わせ [HK.E05-11]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	よい	
02	経過観察	

(12) かみ合わせ経過観察の内容 [HK.E05-12]

かみ合わせ経過観察の内容を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	かみ合わせ経過観察の内容	

(13) 特記事項 [HK.E05-13]

特記事項を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	特記事項	

8.6) VI. 4歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）補足項目（E06）

4歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）補足項目レコードフォーマット

	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
項目	年齢 (歳)	年齢 (か月)	要治療のむし歯	要治療のむし歯ありの本数	歯の汚れ	歯肉・粘膜異常の有無	歯肉・粘膜異常の内容	かみ合わせ	かみ合わせ経過観察の内容	特記事項	予備1	予備2	予備3
モード	数字	数字	英数	数字	英数	英数	英数 又は 漢字	英数	英数 又は 漢字	英数 又は 漢字	-	-	-
最大 バイト数	2	2	2	2	2	2	40	2	40	400	-	-	-
項目 形式	可変	可変	固定	可変	固定	固定	可変	固定	可変	可変	-	-	-
記録 必須	必須	必須	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略	省略	省略

	(16)	(17)
項目	予備4	予備5
モード	-	-
最大 バイト数	-	-
項目 形式	-	-
記録 必須	省略	省略

(3) 年齢 (歳) [HK.E06-3]

コード	内容	備考
(数字)	年齢 (歳)	

(4) 年齢 (か月) [HK.E06-4]

コード	内容	備考
(数字)	年齢 (か月)	

(5) 要治療のむし歯 [HK.E06-5]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	なし	
01	あり	

(6) 要治療のむし歯ありの本数 [HK.E06-6]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(数字)	要治療のむし歯ありの本数	

(7) 歯の汚れ [HK.E06-7]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	きれい	
02	少ない	
03	多い	

(8) 歯肉・粘膜異常の有無 [HK.E06-8]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	なし	
01	あり	

(9) 歯肉・粘膜異常の内容 [HK.E06-9]

歯肉・粘膜異常の内容を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
-----	----	----

(省略)	情報なし	
(文字列)	歯肉・粘膜異常の内容	

(10) かみ合わせ [HK.E06-10]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	よい	
02	経過観察	

(11) かみ合わせ経過観察の内容 [HK.E06-11]

かみ合わせ経過観察の内容を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	かみ合わせ経過観察の内容	

(12) 特記事項 [HK.E06-12]

特記事項を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	特記事項	

8.7) VII. 5歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）補足項目（E07）

5歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）補足項目レコードフォーマット

	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)
項目	年齢（歳）	年齢（か月）	要治療のむし歯	要治療のむし歯あり・乳歯の本数	要治療のむし歯あり・永久歯の本数	歯の汚れ	歯肉・粘膜異常の有無	歯肉・粘膜異常の内容	かみ合わせ	かみ合わせ経過観察の内容	歯・口腔の疾病異常	特記事項	予備3	予備4
モード	数字	数字	英数	数字	数字	英数	英数	英数 又は 漢字	英数	英数 又は 漢字	英数 又は 漢字	英数 又は 漢字	-	-
最大バイト数	2	2	2	2	2	2	2	40	2	40	40	400	-	-
項目形式	可変	可変	固定	可変	可変	固定	固定	可変	固定	可変	可変	可変	-	-
記録必須	必須	必須	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略	省略

	(17)	(18)	(19)
項目	予備3	予備4	予備5
モード	-	-	
最大バイト数	-	-	
項目形式	-	-	
記録必須	省略	省略	

(3) 年齢 (歳) [HK.E07-3]

コード	内容	備考
(数字)	年齢 (歳)	

(4) 年齢 (か月) [HK.E07-4]

コード	内容	備考
(数字)	年齢 (か月)	

(5) 要治療のむし歯 [HK.E07-5]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	なし	
01	あり	

(6) 要治療のむし歯あり・乳歯の本数 [HK.E07-6]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(数字)	要治療のむし歯あり・乳歯の本数	

(7) 要治療のむし歯あり・永久歯の本数 [HK.E07-7]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(数字)	要治療のむし歯あり・永久歯の本数	

(8) 歯の汚れ [HK.E07-8]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	きれい	
02	少ない	
03	多い	

(9) 歯肉・粘膜異常の有無 [HK.E07-9]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	なし	

01	あり	
----	----	--

(10) 歯肉・粘膜異常の内容 [HK.E07-10]

歯肉・粘膜異常の内容を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	歯肉・粘膜異常ありの内容	

(11) かみ合わせ [HK.E07-11]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	よい	
02	経過観察	

(12) かみ合わせ経過観察の内容 [HK.E07-12]

かみ合わせ経過観察の内容を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	かみ合わせ経過観察の内容	

(13) 歯・口腔の疾病異常 [HK.E07-13]

歯・口腔の疾病異常の内容を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	歯・口腔の疾病異常	

(14) 特記事項 [HK.E07-14]

特記事項を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	特記事項	

8.8) VIII. 6歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）補足項目（E08）

6歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）補足項目レコードフォーマット

	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)
項目	年齢（歳）	年齢（か月）	要治療のむし歯	要治療のむし歯あり・乳歯の本数	要治療のむし歯あり・永久歯の本数	歯の汚れ	歯肉・粘膜異常の有無	歯肉・粘膜異常の内容	かみ合わせ	かみ合わせ経過観察の内容	歯・口腔の疾病異常	特記事項	予備3	予備4
モード	数字	数字	英数	数字	数字	英数	英数	英数 又は 漢字	英数	英数 又は 漢字	英数 又は 漢字	英数 又は 漢字	-	-
最大 バイト数	2	2	2	2	2	2	2	40	2	40	40	400	-	-
項目 形式	可変	可変	固定	可変	可変	固定	固定	可変	固定	可変	可変	可変	-	-
記録 必須	必須	必須	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略	省略

	(17)	(18)	(19)
項目	予備3	予備4	予備5
モード	-	-	
最大 バイト数	-	-	
項目 形式	-	-	
記録 必須	省略	省略	

(3) 年齢 (歳) [HK.E08-3]

コード	内容	備考
(数字)	年齢 (歳)	

(4) 年齢 (か月) [HK.E08-4]

コード	内容	備考
(数字)	年齢 (か月)	

(5) 要治療のむし歯 [HK.E08-5]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	なし	
01	あり	

(6) 要治療のむし歯あり・乳歯の本数 [HK.E08-6]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(数字)	要治療のむし歯あり・乳歯の本数	

(7) 要治療のむし歯あり・永久歯の本数 [HK.E08-7]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(数字)	要治療のむし歯あり・永久歯の本数	

(8) 歯の汚れ [HK.E08-8]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	きれい	
02	少ない	
03	多い	

(9) 歯肉・粘膜異常 [HK.E08-9]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	なし	

01	あり	
----	----	--

(10) 歯肉・粘膜異常の内容 [HK.E08-10]

歯肉・粘膜異常の内容を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	歯肉・粘膜異常ありの内容	

(11) かみ合わせ [HK.E08-11]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	よい	
02	経過観察	

(12) かみ合わせ経過観察の内容 [HK.E08-12]

かみ合わせ経過観察の内容を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	かみ合わせ経過観察の内容	

(13) 歯・口腔の疾病異常 [HK.E08-13]

歯・口腔の疾病異常の内容を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	歯・口腔の疾病異常	

(14) 特記事項 [HK.E08-14]

特記事項を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	特記事項	

8.9) Ⅹ. 就学時健康診断補足項目 (E09)

就学時健康診断補足項目レコードフォーマット

	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)
項目	う歯数 (乳歯・処置歯数)	う歯数 (乳歯・未処置歯数)	う歯数 (永久歯・処置歯数)	う歯数 (永久歯・未処置歯数)	歯のその他の歯の 疾病及び異常	口腔の疾病及び異常	予備 1	予備 2	予備 3	予備 4	予備 5
モード	数字	数字	数字	数字	英数 又は 漢字	英数 又は 漢字	-	-	-	-	-
最大 バイト数	2	2	2	2	400	400	-	-	-	-	-
項目 形式	可変	可変	可変	可変	可変	可変	-	-	-	-	-
記録 必須	必須	必須	必須	必須	省略 可	省略 可	省略	省略	省略	省略	省略

(3) う歯数 (乳歯・処置歯数) [HK.E09-3]

コード	内容	備考
(数字)	う歯数 (乳歯・処置歯数)	

(4) う歯数 (乳歯・未処置歯数) [HK.E09-4]

コード	内容	備考
(数字)	う歯数 (乳歯・未処置歯数)	

(5) う歯数 (永久歯・処置歯数) [HK.E09-5]

コード	内容	備考
(数字)	う歯数 (永久歯・処置歯数)	

(6) う歯数 (永久歯・未処置歯数) [HK.E09-6]

コード	内容	備考

(数字)	う歯数 (永久歯・未処置歯数)	
------	-----------------	--

(7) 歯のその他の歯の疾病及び異常 [HK.E09-7]

歯のその他の歯の疾病及び異常の内容を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	歯のその他の歯の疾病及び異常	

(8) 口腔の疾病及び異常 [HK.E09-8]

口腔の疾病及び異常の内容を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	口腔の疾病及び異常	

8.10) X. 学校歯科健康診断補足項目 (E10)

学校歯科健康診断補足項目レコードフォーマット

	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)
項目	年齢	年度	顎関節	歯列・咬合	歯垢の状態	歯肉の状態	歯の状態 (乳歯・現在歯数)	歯の状態 (乳歯・未処置歯数)	歯の状態 (乳歯・処置歯数)	歯の状態 (永久歯・現在歯数)	歯の状態 (永久歯・未処置歯数)	歯の状態 (永久歯・処置歯数)	歯の状態 (永久歯・喪失歯数)	その他の疾病及び異常(S1参照)
モード	数字	数字	英数	英数	英数	英数	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字	英数 又は 漢字
最大バイト数	2	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	400
項目形式	可変	固定	固定	固定	固定	固定	可変	可変	可変	可変	可変	可変	可変	可変
記録必須	必須	必須	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略

	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)
項目	学校歯科医所見 (S1参照)	事後処置	備考	予備1	予備2	予備3	予備4	予備5
モード	英数又は漢字	英数	英数又は漢字	-	-	-	-	-
最大バイト数	400	2	400	-	-	-	-	-
項目形式	可変	固定	可変	-	-	-	-	-
記録必須	省略	省略可	省略可	省略	省略	省略	省略	省略

(3) 年齢 [HK.E10-3]

コード	内容	備考
(数字)	年齢	

(4) 年度 [HK.E10-4]

健診を行った年度を西暦年4桁で記録します。

コード	内容	備考
(数字)	年度	

(5) 顎関節 [HK.E10-5]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	異常なし	
01	要観察	
02	要精密検査	

(6) 歯列・咬合 [HK.E10-6]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	異常なし	
01	要観察	
02	要精検	

(7) 歯垢の状態 [HK.E10-7]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	ほとんど付着なし	
01	歯面の1/3程度まで	
02	歯面の1/3を超える	

(8) 歯肉の状態 [HK.E10-8]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	異常なし	
01	要観察GO	

02	要精密検査G	
----	--------	--

(9) 歯の状態 (乳歯・現在歯数) [HK.E10-9]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(数字)	乳歯・現在歯数	

(10) 歯の状態 (乳歯・未処置歯数) [HK.E10-10]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(数字)	乳歯・未処置歯数	

(11) 歯の状態 (乳歯・処置歯数) [HK.E10-11]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(数字)	乳歯・処置歯数	

(12) 歯の状態 (永久歯・現在歯数) [HK.E10-12]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(数字)	永久歯・現在歯数	

(13) 歯の状態 (永久歯・未処置歯数) [HK.E10-13]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(数字)	永久歯・未処置歯数	

(14) 歯の状態 (永久歯・処置歯数) [HK.E10-14]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(数字)	永久歯・処置歯数	

(15) 歯の状態 (永久歯・喪失歯数) [HK.E10-15]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	

(数字)	永久歯・喪失歯数	
------	----------	--

(16) その他の疾病及び異常 [HK.E10-16]

本項目は、「6) その他の疾病及び異常レコード (SI)」と同じ内容なので、SI に記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(省略)	6) その他の疾病及び異常レコード (SI) を参照	

(17) 学校歯科医所見 [HK.E10-17]

本項目は、「7) 所見・特記事項レコード (SK)」と同じ内容なので、SK に記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(省略)	7) 所見・特記事項レコード (SK) を参照	

(18) 事後処置 [HK.E10-18]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	事後処置 (経過観察)	
02	事後処置 (指導)	
03	事後処置 (処置完了)	

(19) 備考 [HK.E10-19]

備考を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	備考	

8.11) X I . 成人歯科健康診査（事業所歯科健診、歯周病検診含む）補足項目（E11）

成人歯科健康診査（事業所歯科健診、歯周病検診含む）補足項目レコードフォーマット

	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)
項目	健全歯数	未処置歯数	処置歯数	現在歯数	要補綴歯数	欠損補綴歯数	補綴状況（ブリッジ）	補綴状況（義歯）	補綴状況（インプラント）	16 歯肉の状況（C P I）・BOP17 又は	歯肉の状況（C P I）・BOP11	27 歯肉の状況（C P I）・BOP26 又は	46 歯肉の状況（C P I）・BOP47 又は	歯肉の状況（C P I）・BOP31
モード	数字	数字	数字	数字	数字	数字	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数
最大バイト数	2	2	2	2	2	2	384	384	384	2	2	2	2	2
項目形式	可変	可変	可変	可変	可変	可変	可変	可変	可変	固定	固定	固定	固定	固定
記録必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可

	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)
項目	歯肉の状況（C P I）・BOP36 又は 37	歯肉の状況（C P I）・PD17 又は 16	歯肉の状況（C P I）・PD11	歯肉の状況（C P I）・PD26 又は 27	歯肉の状況（C P I）・PD47 又は 46	歯肉の状況（C P I）・PD31	歯肉の状況（C P I）・PD36 又は 37	歯肉の状況（C P I）・個人コード最大 値歯肉出血	歯肉の状況（C P I）・個人コード最大 値歯周ポケット	口腔清掃状態	歯石の付着	その他の所見（歯列咬合）	その他の所見（顎関節）	その他の所見（粘膜）
モード	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数
最大バイト数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
項目形式	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定
記録必須	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可

	(31)	(32)	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)
項目	その他	判定区分	指導内容・目標	市町村への連絡事項	予備1	予備2	予備3	予備4	予備5
モード	英数 又は 漢字	英数	英数 又は 漢字	英数	-	-	-	-	-
最大 バイト数	400	2	400	2	-	-	-	-	-
項目 形式	可変	固定	可変	固定	-	-	-	-	-
記録 必須	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略	省略	省略	省略	省略

(3) 健全歯数 [HK.E11-3]

コード	内容	備考
(数字)	健全歯数／	

(4) 未処置歯数 [HK.E11-4]

コード	内容	備考
(数字)	未処置歯数C	

(5) 処置歯数 [HK.E11-5]

コード	内容	備考
(数字)	処置歯数○	

(6) 現在歯数 [HK.E11-6]

コード	内容	備考
(数字)	現在歯数 (健全歯数／＋未処置歯数C＋処置歯数○)	

(7) 要補綴歯数 [HK.E11-7]

コード	内容	備考
(数字)	要補綴歯数△	

(8) 欠損補綴歯数 [HK.E11-8]

コード	内容	備考
(数字)	欠損補綴歯数 (△)	

(9) 補綴状況 (ブリッジ) [HK.E11-9]

ブリッジの歯式をレセ電の歯式 (傷病名) と同様に歯式コード 6 桁×最大 64 個で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(歯式コード)	B r 歯式	

(10) 補綴状況 (義歯) [HK.E11-10]

義歯の歯式をレセ電の歯式 (傷病名) と同様に歯式コード 6 桁×最大 64 個で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(歯式コード)	義歯歯式	

(11) 補綴状況 (インプラント) [HK.E11-11]

インプラントの歯式をレセ電の歯式 (傷病名) と同様に歯式コード 6 桁×最大 64 個で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(歯式コード)	インプラント歯式	

(12) 歯肉の状況 (C P I) ・BOP17 又は 16 [HK.E11-12]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	歯肉出血 BOP (0 : 健全)	
01	歯肉出血 BOP (1 : 出血あり)	
02	歯肉出血 BOP (9 : 除外歯)	
03	歯肉出血 BOP (x : 該当歯なし)	

(13) 歯肉の状況 (C P I) ・BOP11 [HK.E11-13]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	歯肉出血 BOP (0 : 健全)	
01	歯肉出血 BOP (1 : 出血あり)	
02	歯肉出血 BOP (9 : 除外歯)	
03	歯肉出血 BOP (x : 該当歯なし)	

(14) 歯肉の状況 (C P I) ・BOP26 又は 27 [HK.E11-14]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	歯肉出血 BOP (0 : 健全)	
01	歯肉出血 BOP (1 : 出血あり)	
02	歯肉出血 BOP (9 : 除外歯)	
03	歯肉出血 BOP (x : 該当歯なし)	

(15) 歯肉の状況 (C P I) ・BOP47 又は 46 [HK.E11-15]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	歯肉出血 BOP (0 : 健全)	
01	歯肉出血 BOP (1 : 出血あり)	
02	歯肉出血 BOP (9 : 除外歯)	
03	歯肉出血 BOP (x : 該当歯なし)	

(16) 歯肉の状況 (C P I) ・BOP31 [HK.E11-16]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	歯肉出血 BOP (0 : 健全)	
01	歯肉出血 BOP (1 : 出血あり)	
02	歯肉出血 BOP (9 : 除外歯)	
03	歯肉出血 BOP (x : 該当歯なし)	

(17) 歯肉の状況 (C P I) ・BOP36 又は 37 [HK.E11-17]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	

00	歯肉出血 BOP (0 : 健全)	
01	歯肉出血 BOP (1 : 出血あり)	
02	歯肉出血 BOP (9 : 除外歯)	
03	歯肉出血 BOP (x : 該当歯なし)	

(18) 歯肉の状況 (C P I) ・PD17 又は 16 [HK.E11-18]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	歯周ポケット PD (0 : 健全)	
01	歯周ポケット PD (1 : 浅いポケット)	
02	歯周ポケット PD (2 : 深いポケット)	
03	歯周ポケット PD (9 : 除外歯)	
04	歯周ポケット PD (x : 該当歯なし)	

(19) 歯肉の状況 (C P I) ・PD11 [HK.E11-19]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	歯周ポケット PD (0 : 健全)	
01	歯周ポケット PD (1 : 浅いポケット)	
02	歯周ポケット PD (2 : 深いポケット)	
03	歯周ポケット PD (9 : 除外歯)	
04	歯周ポケット PD (x : 該当歯なし)	

(20) 歯肉の状況 (C P I) ・PD26 又は 27 [HK.E11-20]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	歯周ポケット PD (0 : 健全)	
01	歯周ポケット PD (1 : 浅いポケット)	
02	歯周ポケット PD (2 : 深いポケット)	
03	歯周ポケット PD (9 : 除外歯)	
04	歯周ポケット PD (x : 該当歯なし)	

(21) 歯肉の状況 (C P I) ・PD47 又は 46 [HK.E11-21]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	

00	歯周ポケットPD（0：健全）	
01	歯周ポケットPD（1：浅いポケット）	
02	歯周ポケットPD（2：深いポケット）	
03	歯周ポケットPD（9：除外歯）	
04	歯周ポケットPD（x：該当歯なし）	

（22）歯肉の状況（C P I）・PD31〔HK.E11-22〕

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	歯周ポケットPD（0：健全）	
01	歯周ポケットPD（1：浅いポケット）	
02	歯周ポケットPD（2：深いポケット）	
03	歯周ポケットPD（9：除外歯）	
04	歯周ポケットPD（x：該当歯なし）	

（23）歯肉の状況（C P I）・PD36又は37〔HK.E11-23〕

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	歯周ポケットPD（0：健全）	
01	歯周ポケットPD（1：浅いポケット）	
02	歯周ポケットPD（2：深いポケット）	
03	歯周ポケットPD（9：除外歯）	
04	歯周ポケットPD（x：該当歯なし）	

（24）歯肉の状況（C P I）・個人コード最大値歯肉出血〔HK.E11-24〕

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	歯肉出血BOP（0：健全）	
01	歯肉出血BOP（1：出血あり）	
02	歯肉出血BOP（9：除外歯）	
03	歯肉出血BOP（x：該当歯なし）	

（25）歯肉の状況（C P I）・個人コード最大値歯周ポケット〔HK.E11-25〕

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	

00	歯周ポケットPD（0：健全）	
01	歯周ポケットPD（1：浅いポケット）	
02	歯周ポケットPD（2：深いポケット）	
03	歯周ポケットPD（9：除外歯）	
04	歯周ポケットPD（x：該当歯なし）	

（26）口腔清掃状態〔HK.E11-26〕

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	良好	
02	普通	
03	不良	

（27）歯石の付着〔HK.E11-27〕

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	なし	
02	軽度（点状）あり	
03	中等度（帯状）以上あり	

（28）その他の所見（歯列咬合）〔HK.E11-28〕

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	所見なし	
02	所見あり	

（29）その他の所見（顎関節）〔HK.E11-29〕

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	所見なし	
02	所見あり	

（30）その他の所見（粘膜）〔HK.E11-30〕

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	

01	所見なし	
02	所見あり	

(31) その他 [HK.E11-31]

その他の事項を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	その他	

(32) 判定区分 [HK.E11-32]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	1. 異常なし (CPI: 歯肉出血 0 かつ歯周ポケット 0)	
02	2. 要指導 (a. CPI: 歯肉出血 1、かつ、歯周ポケット 0)	
03	2. 要指導 (b. 口腔清掃状態不良)	
04	2. 要指導 (c. 歯石の付着あり (軽度、中等度以上))	
05	2. 要指導 (d. 生活習慣や基礎疾患、歯科医療機関等の受診状況等、指導を要する。)	
06	3. 要精密検査 (a. CPI: 歯周ポケット 1)	
07	3. 要精密検査 (b. CPI: 歯周ポケット 2)	
08	3. 要精密検査 (c. 未処置歯あり)	
09	3. 要精密検査 (d. 要補綴歯あり)	
10	3. 要精密検査 (e. 生活習慣や基礎疾患等、更に詳しい検査や治療を要する)	
11	3. 要精密検査 (f. その他の所見あり (更に詳しい検査や治療が必要な場合))	

(33) 指導内容・目標 [HK.E11-33]

指導内容・目標を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	指導内容・目標	

(34) 市町村への連絡事項 [HK.E11-34]

コード	内容	備考
-----	----	----

(省略)	情報なし	
01	検査した医療機関にて指導予定	
02	検査した医療機関にて治療・経過観察・定期検診予定	
03	他医療機関（歯科）を紹介（紹介先：）	
04	他医療機関（医科）を紹介（紹介先：）	

8.12) X II. 後期高齢者歯科口腔健康診査（例示）補足項目（E12）

後期高齢者歯科口腔健康診査（例示）補足項目レコードフォーマット

	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)
項目	歯の状態（健全歯数）	歯の状態（未処置歯数）	歯の状態（処置歯数）	歯の状態（現在歯数）	歯の状態（要補綴歯数）	歯の状態（欠損補綴歯数）	補綴状況（ブリッジ）	補綴状況（義歯）	補綴状況（インプラント）	補綴状況（上顎義歯の部位）	補綴状況（下顎義歯の部位）	補綴状況（上顎義歯の状況）	補綴状況（下顎義歯の状況）	補綴状況（義歯の必要性）	補綴状況（インプラント）
モード	数字	数字	数字	数字	数字	数字	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数
最大バイト数	2	2	2	2	2	2	384	384	384	2	2	2	2	2	2
項目形式	可変	可変	可変	可変	可変	可変	可変	可変	可変	固定	固定	固定	固定	固定	固定
記録必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可

	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)	(31)	(32)
項目	咬合の状態（アイヒナーの分類）	咬合の状態（右側）	咬合の状態（左側）	咬合の状態（義歯装着による臼歯部での咬合 右側）	咬合の状態（義歯装着による臼歯部での咬合 左側）	咀嚼力評価	舌機能評価	嚥下機能評価	口腔衛生状態（視診）（プラークの付着状況）	口腔衛生状態（視診）（食渣）	口腔衛生状態（視診）（舌苔）	口腔衛生状態（視診）（口臭）	口腔衛生状態（視診）（義歯清掃状況）	口腔乾燥（視診）	口腔乾燥（口腔水分計等）
モード	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数
最大バイト数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
項目形式	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定
記録必須	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可

	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)	(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)
項目	歯肉の状況 (CPI)・BOP17 又は 16	歯肉の状況 (CPI)・BOP11	歯肉の状況 (CPI)・BOP26 又は 27	歯肉の状況 (CPI)・BOP47 又は 46	歯肉の状況 (CPI)・BOP31	歯肉の状況 (CPI)・BOP36 又は 37	歯肉の状況 (CPI)・PD17 又は 16	歯肉の状況 (CPI)・PD11	歯肉の状況 (CPI)・PD26 又は 27	歯肉の状況 (CPI)・PD47 又は 46	歯肉の状況 (CPI)・PD31	歯肉の状況 (CPI)・PD36 又は 37	歯肉の状況 (CPI)・個人コード最大値歯肉出血	歯肉の状況 (CPI)・個人コード最大値歯周ポケット	健診結果 (問題なし)
モード	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数
最大 パート数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
項目 形式	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定
記録 必須	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可

	(48)	(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	(56)	(57)	(58)	(59)	(60)	(61)
項目	健診結果 (要指導 : 口腔清掃)	健診結果 (要指導 : 義歯管理)	健診結果 (要指導 : 食事指導)	健診結果 (要指導 : その他)	健診結果 (要治療 : う蝕)	健診結果 (要治療 : 歯周疾患)	健診結果 (要治療 : 義歯)	健診結果 (要治療 : その他)	健診結果 (その他特記事項)	予備 1	予備 2	予備 3	予備 4	予備 5
モード	英数	英数	英数	英数 又は 漢字	英数	英数	英数	英数 又は 漢字	英数 又は 漢字	-	-	-	-	-
最大 パート数	2	2	2	400	2	2	2	400	400	-	-	-	-	-
項目 形式	固定	固定	固定	可変	固定	固定	固定	可変	可変	-	-	-	-	-
記録 必須	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略	省略	省略	省略	省略

(3) 歯の状態 (健全歯数) [HK.E12-3]

コード	内容	備考
(数字)	健全歯数/	

(4) 歯の状態 (未処置歯数) [HK.E12-4]

コード	内容	備考
(数字)	未処置歯数C	

(5) 歯の状態 (処置歯数) [HK.E12-5]

コード	内容	備考
(数字)	処置歯数O	

(6) 歯の状態 (現在歯数) [HK.E12-6]

コード	内容	備考
(数字)	現在歯数 (健全歯数/ + 未処置歯数C + 処置歯数O)	

(7) 歯の状態 (要補綴歯数) [HK.E12-7]

コード	内容	備考
(数字)	要補綴歯数△	

(8) 歯の状態 (欠損補綴歯数) [HK.E12-8]

コード	内容	備考
(数字)	欠損補綴歯数 (△)	

(9) 補綴状況 (ブリッジ) [HK.E12-9]

ブリッジの歯式をレセ電の歯式 (傷病名) と同様に歯式コード 6 桁×最大 64 個で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(歯式コード)	B r 歯式	

(10) 補綴状況 (義歯) [HK.E12-10]

義歯の歯式をレセ電の歯式 (傷病名) と同様に歯式コード 6 桁×最大 64 個で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	

(歯式コード)	義歯歯式	
---------	------	--

(1 1) 補綴状況 (インプラント) [HK.E12-11]

インプラントの歯式をレセ電の歯式 (傷病名) と同様に歯式コード 6 桁×最大 64 個で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(歯式コード)	インプラント歯式	

(1 2) 補綴状況 (上顎義歯の部位) [HK.E12-12]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	上顎総義歯	
02	上顎局部義歯	

(1 3) 補綴状況 (下顎義歯の部位) [HK.E12-13]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	下顎総義歯	
02	下顎局部義歯	

(1 4) 補綴状況 (上顎義歯の状況) [HK.E12-14]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	適合良好	
02	義歯不適合	
03	義歯破損	

(1 5) 補綴状況 (下顎義歯の状況) [HK.E12-15]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	適合良好	
02	義歯不適合	
03	義歯破損	

(16) 補綴状況 (義歯の必要性) [HK.E12-16]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	義歯の必要性なし	
01	義歯の必要性あり	

(17) 補綴状況 (インプラント) [HK.E12-17]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	インプラントなし	
01	インプラントあり	

(18) 咬合の状態 (アイヒナーの分類) [HK.E12-18]

(アイヒナーの分類：上下左右大・小白歯群4つの咬合支持域の残存状態)

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	
01	A1：歯冠修復のみ	
02	A2：上下顎のうち1顎のみ歯牙欠損あり	
03	A3：上下顎とも欠損有り	
04	B1：3つの支持域をもつ	
05	B2：2つの支持域をもつ	
06	B3：1つの支持域を持つ	
07	B4：支持域がない(前歯部のみに咬合接触がある)	
08	C1：上下顎に残存歯がある(すれ違い咬合)	
09	C2：上下顎のうち1顎が無歯顎	
10	C3：上下顎とも無歯顎	

(19) 咬合の状態 (現在歯による臼歯部での咬合 右側) [HK.E12-19]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	右側なし	
01	右側あり	

(20) 咬合の状態 (現在歯による臼歯部での咬合 左側) [HK.E12-20]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	左側なし	
01	左側あり	

(21) 咬合の状態 (義歯装着による臼歯部での咬合 右側) [HK.E12-21]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	右側なし	
01	右側あり	

(22) 咬合の状態 (義歯装着による臼歯部での咬合 左側) [HK.E12-22]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	左側なし	
01	左側あり	

(23) 咀嚼力評価 [HK.E12-23]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	良好	
02	普通	
03	要注意	

(24) 舌機能評価 [HK.E12-24]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	良好	
02	普通	
03	要注意	

(25) 嚥下機能評価 [HK.E12-25]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	良好	

02	普通	
03	要注意	

(26) 口腔衛生状態 (視診) (プラークの付着状況) [HK.E12-26]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	殆どない	
01	中程度	
02	多量	

(27) 口腔衛生状態 (視診) (食渣) [HK.E12-27]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	殆どない	
01	中程度	
02	多量	

(28) 口腔衛生状態 (視診) (舌苔) [HK.E12-28]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	殆どない	
01	中程度	
02	多量	

(29) 口腔衛生状態 (視診) (口臭) [HK.E12-29]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	殆どない	
01	弱い	
02	強い	

(30) 口腔衛生状態 (視診) (義歯清掃状況) [HK.E12-30]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	該当なし	

01	良好	
02	普通	
03	不良	

(31) 口腔乾燥 (視診) [HK.E12-31]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	正常	
02	軽度	
03	中等度	
04	重度	

(32) 口腔乾燥 (口腔水分計等) [HK.E12-32]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	なし	
01	あり	
02	重度	

(33) 歯肉の状況 (C P I) ・BOP17 又は 16 [HK.E12-33]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	歯肉出血 BOP (0 : 健全)	
01	歯肉出血 BOP (1 : 出血あり)	
02	歯肉出血 BOP (9 : 除外歯)	
03	歯肉出血 BOP (x : 該当歯なし)	

(34) 歯肉の状況 (C P I) ・BOP11 [HK.E12-34]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	歯肉出血 BOP (0 : 健全)	
01	歯肉出血 BOP (1 : 出血あり)	
02	歯肉出血 BOP (9 : 除外歯)	
03	歯肉出血 BOP (x : 該当歯なし)	

(35) 歯肉の状況 (C P I) ・BOP26 又は 27 [HK.E12-35]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	歯肉出血 BOP (0 : 健全)	
01	歯肉出血 BOP (1 : 出血あり)	
02	歯肉出血 BOP (9 : 除外歯)	
03	歯肉出血 BOP (x : 該当歯なし)	

(36) 歯肉の状況 (C P I) ・BOP47 又は 46 [HK.E12-36]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	歯肉出血 BOP (0 : 健全)	
01	歯肉出血 BOP (1 : 出血あり)	
02	歯肉出血 BOP (9 : 除外歯)	
03	歯肉出血 BOP (x : 該当歯なし)	

(37) 歯肉の状況 (C P I) ・BOP31 [HK.E12-37]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	歯肉出血 BOP (0 : 健全)	
01	歯肉出血 BOP (1 : 出血あり)	
02	歯肉出血 BOP (9 : 除外歯)	
03	歯肉出血 BOP (x : 該当歯なし)	

(38) 歯肉の状況 (C P I) ・BOP36 又は 37 [HK.E12-38]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	歯肉出血 BOP (0 : 健全)	
01	歯肉出血 BOP (1 : 出血あり)	
02	歯肉出血 BOP (9 : 除外歯)	
03	歯肉出血 BOP (x : 該当歯なし)	

(39) 歯肉の状況 (C P I) ・PD17 又は 16 [HK.E12-39]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	

00	歯周ポケット PD (0 : 健全)	
01	歯周ポケット PD (1 : 浅いポケット)	
02	歯周ポケット PD (2 : 深いポケット)	
03	歯周ポケット PD (9 : 除外歯)	
04	歯周ポケット PD (x : 該当歯なし)	

(40) 歯肉の状況 (C P I) ・ PD11 [HK.E12-40]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	歯周ポケット PD (0 : 健全)	
01	歯周ポケット PD (1 : 浅いポケット)	
02	歯周ポケット PD (2 : 深いポケット)	
03	歯周ポケット PD (9 : 除外歯)	
04	歯周ポケット PD (x : 該当歯なし)	

(41) 歯肉の状況 (C P I) ・ PD26 又は 27 [HK.E12-41]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	歯周ポケット PD (0 : 健全)	
01	歯周ポケット PD (1 : 浅いポケット)	
02	歯周ポケット PD (2 : 深いポケット)	
03	歯周ポケット PD (9 : 除外歯)	
04	歯周ポケット PD (x : 該当歯なし)	

(42) 歯肉の状況 (C P I) ・ PD47 又は 46 [HK.E12-42]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	歯周ポケット PD (0 : 健全)	
01	歯周ポケット PD (1 : 浅いポケット)	
02	歯周ポケット PD (2 : 深いポケット)	
03	歯周ポケット PD (9 : 除外歯)	
04	歯周ポケット PD (x : 該当歯なし)	

(43) 歯肉の状況 (C P I) ・ PD31 [HK.E12-43]

コード	内容	備考
-----	----	----

(省略)	情報なし	
00	歯周ポケット PD (0 : 健全)	
01	歯周ポケット PD (1 : 浅いポケット)	
02	歯周ポケット PD (2 : 深いポケット)	
03	歯周ポケット PD (9 : 除外歯)	
04	歯周ポケット PD (x : 該当歯なし)	

(44) 歯肉の状況 (C P I) ・ PD36 又は 37 [HK.E12-44]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	歯周ポケット PD (0 : 健全)	
01	歯周ポケット PD (1 : 浅いポケット)	
02	歯周ポケット PD (2 : 深いポケット)	
03	歯周ポケット PD (9 : 除外歯)	
04	歯周ポケット PD (x : 該当歯なし)	

(45) 歯肉の状況 (C P I) ・ 個人コード最大値歯肉出血 [HK.E12-45]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	歯肉出血 BOP (0 : 健全)	
01	歯肉出血 BOP (1 : 出血あり)	
02	歯肉出血 BOP (9 : 除外歯)	
03	歯肉出血 BOP (x : 該当歯なし)	

(46) 歯肉の状況 (C P I) ・ 個人コード最大値歯周ポケット [HK.E12-46]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	歯周ポケット PD (0 : 健全)	
01	歯周ポケット PD (1 : 浅いポケット)	
02	歯周ポケット PD (2 : 深いポケット)	
03	歯周ポケット PD (9 : 除外歯)	
04	歯周ポケット PD (x : 該当歯なし)	

(47) 健診結果 (問題なし) [HK.E12-47]

コード	内容	備考

(省略)	該当なし	
01	問題なし	

(48) 健診結果 (要指導：口腔清掃) [HK.E12-48]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	健診結果 (要指導：口腔清掃)	

(49) 健診結果 (要指導：義歯管理) [HK.E12-49]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	健診結果 (要指導：義歯管理)	

(50) 健診結果 (要指導：食事指導) [HK.E12-50]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	健診結果 (要指導：食事指導)	

(51) 健診結果 (要指導：その他) [HK.E12-51]

健診結果 (要指導：その他) を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	健診結果 (要指導：その他)	

(52) 健診結果 (要治療：う蝕) [HK.E12-52]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	健診結果 (要治療：う蝕)	

(53) 健診結果 (要治療：歯周疾患) [HK.E12-53]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	健診結果 (要治療：歯周疾患)	

(54) 健診結果 (要治療：義歯) [HK.E12-54]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	健診結果（要治療：義歯）	

（５５）健診結果（要治療：その他）〔HK.E12-55〕

健診結果（要治療：その他）を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	健診結果（要治療：その他）	

（５６）健診結果（その他特記事項）〔HK.E12-56〕

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	健診結果（その他特記事項）	

8.13) XⅢ. 特殊歯科健康診査（歯の酸蝕症）補足項目（E13）

特殊歯科健康診査（歯の酸蝕症）補足項目レコードフォーマット

	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)
項目	主な取り扱い物質	主な取り扱い物質（その他）	作業内容	作業従事年数	自覚症状の有無	自覚症状の内容	歯の酸蝕症（口腔内写真）	作業環境（局所排気）	作業環境（全体排気）	作業環境（防護具）	判定（歯の酸蝕症）	就業区分（歯の酸蝕症）	診査者の意見（歯の酸蝕症に関して）	診査者の意見（う蝕）
モード	英数	英数 又は 漢字	英数 又は 漢字	数字	英数	英数 又は 漢字	数字	英数	英数	英数	英数	英数	英数 又は 漢字	英数 又は 漢字
最大バイト数	2	40	40	2	2	40	10	2	2	2	2	2	400	400
項目形式	固定	可変	可変	可変	固定	可変	可変	固定	固定	固定	固定	固定	可変	可変
記録必須	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可

	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)
項目	診査者の意見（歯周病）	診査者の意見（歯垢）	診査者の意見（歯石）	診査者の意見（酸蝕症以外の職業性歯科疾患）	診査者の意見（その他）	予備1	予備2	予備3	予備4	予備5
モード	英数 又は 漢字	英数 又は 漢字	英数 又は 漢字	英数 又は 漢字	英数 又は 漢字	-	-	-	-	-
最大バイト数	400	400	400	400	400	-	-	-	-	-
項目形式	可変	可変	可変	可変	可変	-	-	-	-	-
記録必須	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略 可	省略	省略	省略	省略	省略

(3) 主な取り扱い物質 [HK.E13-3]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	塩酸	
02	硫酸	
03	硝酸	
04	フッ化水素	
05	黄リン	
06	その他	

(4) 主な取り扱い物質 (その他) [HK.E13-4]

主な取り扱い物質 (その他) を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	主な取り扱い物質 (その他)	

(5) 作業内容 [HK.E13-5]

作業内容を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	作業内容	

(6) 作業従事年数 [HK.E13-6]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(数字)	作業従事年数	

(7) 自覚症状の有無 [HK.E13-7]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	自覚症状なし	
01	自覚症状あり	

(8) 自覚症状の内容 [HK.E13-8]

自覚症状の内容を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	自覚症状	

(9) 歯の酸蝕症（口腔内写真）〔HK.E13-9〕

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(数字)	口腔内写真 NO.	

(10) 作業環境（局所排気）〔HK.E13-10〕

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	使用（時々）	
02	使用（常時）	
03	使用せず	

(11) 作業環境（全体排気）〔HK.E13-11〕

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	使用（時々）	
02	使用（常時）	
03	使用せず	

(12) 作業環境（防護具）〔HK.E13-12〕

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	使用（時々）	
02	使用（常時）	
03	使用せず	

(13) 判定（歯の酸蝕症）〔HK.E13-13〕

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	異常なし	
01	要精検	

02	要措置	
----	-----	--

(14) 就業区分 (歯の酸蝕症) [HK.E13-14]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	通常勤務	
02	就業制限	
03	要休業	

(15) 診査者の意見 (歯の酸蝕症に関して) [HK.E13-15]

診査者の意見 (歯の酸蝕症に関して) を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	診査者の意見 (歯の酸蝕症に関して)	

(16) 診査者の意見 (う蝕) [HK.E13-16]

診査者の意見 (う蝕) を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	診査者の意見 (う蝕)	

(17) 診査者の意見 (歯周病) [HK.E13-17]

診査者の意見 (歯周病) を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	診査者の意見 (歯周病)	

(18) 診査者の意見 (歯垢) [HK.E13-18]

診査者の意見 (歯垢) を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	診査者の意見 (歯垢)	

(19) 診査者の意見 (歯石) [HK.E13-19]

診査者の意見 (歯石) を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	診査者の意見（歯石）	

(20) 診査者の意見（酸蝕症以外の職業性歯科疾患） [HK.E13-20]

診査者の意見（酸蝕症以外の職業性歯科疾患）を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	診査者の意見（酸蝕症以外の職業性歯科疾患）	

(21) 診査者の意見（その他） [HK.E13-21]

診査者の意見（その他）を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	診査者の意見（その他）	

8.14) XⅣ. 歯科人間ドック検査補足項目 (E14)

歯科人間ドック検査補足項目レコードフォーマット

	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)
項目	全身所見 (体格)	全身所見 (姿勢、歩行)	全身所見 (皮膚)	唾液検査 (唾液分泌量)	唾液検査 (唾液 pH 値)	唾液検査 (緩衝能)	口腔外検査の視診	口腔外検査の触診	特記事項	顎関節症関連検査 (安静時の圧痛検査 (水平位))	顎関節症関連検査 (開口時・頭部回転時の圧痛検査 (水平位))	口腔粘膜検査	口腔粘膜検査・特記事項	エックス線検査
モード	英数	英数	英数	数字	数字	英数	英数	英数	英数 又は 漢字	英数	英数	英数	英数 又は 漢字	英数
最大バイト数	2	2	2	3	2	2	2	2	400	2	2	2	400	2
項目形式	固定	固定	固定	可変	可変	固定	固定	固定	可変	固定	固定	固定	可変	固定
記録必須	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可

	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)	(27)	(28)	(29)
項目	エックス線検査・特記事項	う蝕検査	S. mutans 数	歯周病検査	唾液潜血反応試験 (ヘモグロビンキット)	う蝕検査・歯周病検査・特記事項	咬合検査	咬合検査・特記事項	予備 1	予備 2	予備 3	予備 4	予備 5
モード	英数 又は 漢字	英数	数字	英数	英数	英数 又は 漢字	英数	英数 又は 漢字	-	-	-	-	-
最大バイト数	400	2	2	2	2	400	2	400	-	-	-	-	-
項目形式	可変	固定	固定	固定	固定	可変	固定	可変	-	-	-	-	-
記録必須	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略可	省略	省略	省略	省略	省略

(3) 全身所見 (体格) [HK.E14-3]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	異常なし	
01	異常あり	

(4) 全身所見 (姿勢、歩行) [HK.E14-4]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	異常なし	
01	異常あり	

(5) 全身所見 (皮膚) [HK.E14-5]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	異常なし	
01	異常あり	

(6) 唾液検査 (唾液分泌量) [HK.E14-6]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(数字)	唾液分泌量 mL/ 5 分	

(7) 唾液検査 (唾液 pH 値) [HK.E14-7]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(数字)	唾液 pH	

(8) 唾液検査 (緩衝能) [HK.E14-8]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	緩衝能 低	
02	緩衝能 中	
03	緩衝能 高	

(9) 口腔外検査の視診 [HK.E14-9]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	異常なし	
01	異常あり	

(10) 口腔外検査の触診 [HK.E14-10]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	異常なし	
01	異常あり	

(11) 特記事項 [HK.E14-11]

特記事項を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	特記事項	

(12) 顎関節症関連検査（安静時の圧痛検査（水平位）） [HK.E14-12]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	異常なし	
01	発症リスク少ない	
02	発症リスク高い	

(13) 顎関節症関連検査（開口時・頭部回転時の圧痛検査（水平位）） [HK.E14-13]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	異常なし	
01	発症リスク少ない	
02	発症リスク高い	

(14) 口腔粘膜検査 [HK.E14-14]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	

00	異常なし	
01	要経過観察	
02	要精密検査	
03	特記事項あり	

(15) 口腔粘膜検査・特記事項 [HK.E14-15]

口腔粘膜検査・特記事項を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	口腔粘膜検査・特記事項	

(16) エックス線検査 [HK.E14-16]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	異常なし	
01	要精査	
02	特記事項あり	

(17) エックス線検査・特記事項 [HK.E14-17]

エックス線検査・特記事項を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
文字列	エックス線検査・特記事項	

(18) う蝕検査 [HK.E14-18]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	異常なし	
01	異常あり	

(19) S. mutans 数 [HK.E14-19]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	0	
01	1	

02	2	
03	3	

(20) 歯周病検査 [HK.E14-20]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	異常なし	
01	異常あり	

(21) 唾液潜血反応試験 (ヘモグロビンキット) [HK.E14-21]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	陰性 (-)	
01	陽性 (+)	
02	陽性 (2+)	

(22) う蝕検査・歯周病検査・特記事項 [HK.E14-22]

う蝕検査・歯周病検査・特記事項を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	う蝕検査・歯周病検査・特記事項	

(23) 咬合検査 [HK.E14-23]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	よくかめる (異常なし)	
02	よくかめない (異常あり (要精査))	

(24) 咬合検査・特記事項 [HK.E14-24]

咬合検査・特記事項を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	咬合検査・特記事項	

8.15) XV. かかりつけ連携手帳補足項目 (E15)

かかりつけ連携手帳補足項目レコードフォーマット

	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)
項目	要治療のむし歯	要治療のむし歯ありの本数	歯石	歯肉の炎症	特記事項	予備1	予備2	予備3	予備4	予備5
モード	英数	数字	英数	英数	英数 又は 漢字	-	-	-	-	-
最大バイト数	2	2	2	2	400	-	-	-	-	-
項目形式	固定	可変	固定	固定	可変	-	-	-	-	-
記録必須	必須	省略可	省略可	省略可	省略可	省略	省略	省略	省略	省略

(3) 要治療のむし歯 [HK.E15-3]

コード	内容	備考
00	要治療のむし歯なし	
01	要治療のむし歯あり	

(4) 要治療のむし歯ありの本数 [HK.E15-4]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(数字)	要治療のむし歯ありの本数	

(5) 歯石 [HK.E15-5]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
01	歯石あり	
02	歯石なし	

(6) 歯肉の炎症 [HK.E15-6]

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
00	歯肉の炎症なし	
01	歯肉の炎症あり (要指導)	
02	歯肉の炎症あり (要治療)	

(7) 特記事項 [HK.E15-7]

特記事項を自由記載で記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	特記事項	

8.16) XVI. WHO口腔健康診査（成人用）補足項目（E16）

WHO口腔健康診査（成人用）補足項目レコードフォーマット

	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)
項目	診査票管理情報	一般情報	一般情報（調査地区の種類）	一般情報（その他）	歯の状態	歯周状態（歯肉出血…上顎）	歯周状態（歯肉出血…上顎）	歯周状態（歯肉出血…下顎）	歯周状態（歯肉出血…下顎）	アタッチメントロス	歯のフッ素症	歯の酸蝕症（重症度）	歯の酸蝕症（酸蝕歯の数）	歯の外傷（状態）
モード	数字	数字	数字	数字	数字	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数
最大バイト数	17	18	1	8	64	16	16	16	16	6	1	1	2	1
項目形式	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定
記録必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須

	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)
項目	歯の外傷（外傷歯の数）	口腔粘膜病変（状態）	口腔粘膜病変（部位）	義歯	緊急介入	予備1	予備2	予備3	予備4	予備5
モード	英数	英数	英数	英数	英数	-	-	-	-	-
最大バイト数	2	3	3	2	1	-	-	-	-	-
項目形式	固定	固定	固定	固定	固定	-	-	-	-	-
記録必須	必須	必須	必須	必須	必須	省略	省略	省略	省略	省略

(3) 診査票管理情報 [HK.E16-3]

WHO 口腔健康診査票 (成人用) (2013) の診査票管理情報の 1 桁目から 17 桁目までを記録します。

1～4 桁目 (記入不要) : 9999、5～10 桁目 : 診査年月日、11～14 桁目 : 対象者番号、15 桁目 : 本調査/重複、16～17 桁目 : 診査者。

調査票の各項目が空白の場合は、半角の 9 で桁を埋めます。

コード	内容	備考
(数字)	診査票管理情報	1～17 桁目

(4) 一般情報 [HK.E16-4]

WHO 口腔健康診査票 (成人用) (2013) の一般情報の 18 桁目から 35 桁目までを記録します。

18 桁目 : 性別、19～24 桁目 : 生年月日、25～26 桁目 : 年齢、27～28 桁目 : 民族集団、29～30 桁目 : その他の集団、31～32 桁目 : 教育年数、33 桁目 : 職業、34～35 桁目 : 調査地区。

調査票の各項目が空白の場合は、半角の 9 で桁を埋めます。

コード	内容	備考
(数字)	一般情報	18～35 桁目

(5) 一般情報 (調査地区の種類) [HK.E16-5]

WHO 口腔健康診査票 (成人用) (2013) の調査地区の種類 (36 桁目) を記録します。

36 桁目 : 調査地区の種類。

コード	内容	備考
(数字)	調査地区の種類	36 桁目

(6) 一般情報 (その他) [HK.E16-6]

WHO 口腔健康診査票 (成人用) (2013) の一般情報の 37 桁目から 44 桁目までを記録します。

37～38 桁目 : その他の情報、39～40 桁目 : その他の情報、41～42 桁目 : その他の情報、43～44 桁目 : 口腔外診査。

調査票の各項目が空白の場合は、半角の 9 で桁を埋めます。

コード	内容	備考
(数字)	一般情報 (その他)	37～44 桁目

(7) 歯の状態 [HK.E16-7]

WHO 口腔健康診査票 (成人用) (2013) の一般情報の 45 桁目から 108 桁目までを記録します。

歯冠と歯根について、上顎・下顎を続けて記録します。

コード	内容	備考
(数字)	歯の状態	45～108 桁目

(8) 歯周状態 (歯肉出血：上顎) [HK.E16-8]

WHO 口腔健康診査票 (成人用) (2013) の歯周状態の 109 桁目から 124 桁目までを記録します。

コード	内容	備考
(英数)	歯周状態 (歯肉出血：上顎)	109～124 桁目

(9) 歯周状態 (歯周ポケット：上顎) [HK.E16-9]

WHO 口腔健康診査票 (成人用) (2013) の歯周状態の 125 桁目から 140 桁目までを記録します。

コード	内容	備考
(英数)	歯周状態 (歯周ポケット：上顎)	125～140 桁目

(10) 歯周状態 (歯肉出血：下顎) [HK.E16-10]

WHO 口腔健康診査票 (成人用) (2013) の歯周状態の 141 桁目から 156 桁目までを記録します。

コード	内容	備考
(英数)	歯周状態 (歯肉出血：下顎)	141～156 桁目

(11) 歯周状態 (歯周ポケット：下顎) [HK.E16-11]

WHO 口腔健康診査票 (成人用) (2013) の歯周状態の 157 桁目から 172 桁目までを記録します。

コード	内容	備考
(英数)	歯周状態 (歯周ポケット：下顎)	157～172 桁目

(12) アタッチメントロス [HK.E16-12]

WHO 口腔健康診査票 (成人用) (2013) の歯周状態の 173 桁目から 178 桁目までを記録します。

コード	内容	備考
(英数)	アタッチメントロス	173～178 桁目

(13) 歯のフッ素症 [HK.E16-13]

WHO 口腔健康診査票 (成人用) (2013) の歯のフッ素症の 179 桁目を記録します。

コード	内容	備考
(数字)	歯のフッ素症	179 桁目

(14) 歯の酸蝕症（重症度） [HK.E16-14]

WHO 口腔健康診査票（成人用）(2013)の歯の酸蝕症（重症度）の 180 桁目を記録します。

コード	内容	備考
(数字)	歯の酸蝕症（重症度）	180 桁目

(15) 歯の酸蝕症（酸蝕歯の数） [HK.E16-15]

WHO 口腔健康診査票（成人用）(2013)の歯の酸蝕症（酸蝕歯の数）の 181 桁目から 182 桁目までを記録します。

コード	内容	備考
(数字)	歯の酸蝕症（酸蝕歯の数）	181～182 桁目

(16) 歯の外傷（状態） [HK.E16-16]

WHO 口腔健康診査票（成人用）(2013)の歯の外傷（状態）の 183 桁目を記録します。

コード	内容	備考
(数字)	歯の外傷	183 桁目

(17) 歯の外傷（外傷歯の数） [HK.E16-17]

WHO 口腔健康診査票（成人用）(2013)の歯の外傷（外傷歯の数）の 184 桁目から 185 桁目までを記録します。

コード	内容	備考
(数字)	歯の外傷（外傷歯の数）	184～185 桁目

(18) 口腔粘膜病変（状態） [HK.E16-18]

WHO 口腔健康診査票（成人用）(2013)の口腔粘膜病変状態の 186 桁目から 188 桁目までを記録します。

コード	内容	備考
(数字)	口腔粘膜病変（状態）	186～188 桁目

(19) 口腔粘膜病変（部位） [HK.E16-19]

WHO 口腔健康診査票（成人用）(2013)の口腔粘膜病変部位の 189 桁目から 191 桁目までを記録します。

コード	内容	備考
-----	----	----

(数字)	口腔粘膜病変 (部位)	189～191 桁目
------	-------------	------------

(20) 義歯 [HK.E16-20]

WHO 口腔健康診査票 (成人用) (2013)の義歯の 192 桁目から 193 桁目までを記録します。

コード	内容	備考
(数字)	義歯	192～193 桁目

(21) 緊急介入 [HK.E16-21]

WHO 口腔健康診査票 (成人用) (2013)の緊急介入の 194 桁目を記録します。

コード	内容	備考
(数字)	緊急介入	194 桁目

8.17) XⅦ. WHO口腔健康診査（小児用）補足項目（E17）

WHO口腔健康診査（小児用）補足項目レコードフォーマット

	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)
項目	診査票管理情報	一般情報	一般情報（調査地区の種類）	一般情報（その他）	歯の状態	歯周状態（歯肉出血）	歯のフッ素症	歯の酸蝕症（重症度）	歯の酸蝕症（酸蝕歯の数）	歯の外傷（状態）	歯の外傷（外傷歯の数）	口腔粘膜病変（状態）	口腔粘膜病変（部位）	緊急介入
モード	数字	数字	数字	数字	英数	英数	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字
最大バイト数	17	18	1	8	28	16	1	1	2	1	2	3	3	1
項目形式	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定
記録必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須

	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)
項目	予備1	予備2	予備3	予備4	予備5
モード	-	-	-	-	-
最大バイト数	-	-	-	-	-
項目形式	-	-	-	-	-
記録必須	省略	省略	省略	省略	省略

(3) 診査票管理情報 [HK.E17-3]

WHO 口腔健康診査票 (小児用) (2013) の診査票管理情報の 1 桁目から 17 桁目までを記録します。

1～4 桁目 (記入不要) : 9999、5～10 桁目 : 診査年月日、11～14 桁目 : 対象者番号、15 桁目 : 本調査/重複、16～17 桁目 : 診査者。

調査票の各項目が空白の場合は、半角の 9 で桁を埋めます。

コード	内容	備考
(数字)	診査票管理情報	1～17 桁目

(4) 一般情報 [HK.E17-4]

WHO 口腔健康診査票 (小児用) (2013) の一般情報の 18 桁目から 35 桁目までを記録します。

18 桁目 : 性別、19～24 桁目 : 生年月日、25～26 桁目 : 年齢、27～28 桁目 : 民族集団、29～30 桁目 : その他の集団、31～32 桁目 : 教育年数、33 桁目 : 職業、34～35 桁目 : 調査地区。

調査票の各項目が空白の場合は、半角の 9 で桁を埋めます。

コード	内容	備考
(数字)	一般情報	18～35 桁目

(5) 一般情報 (調査地区の種類) [HK.E17-5]

WHO 口腔健康診査票 (小児用) (2013) の調査地区の種類 (36 桁目) を記録します。

36 桁目 : 調査地区の種類

コード	内容	備考
(数字)	調査地区の種類	36 桁目

(6) 一般情報 (その他) [HK.E17-6]

WHO 口腔健康診査票 (小児用) (2013) の一般情報の 37 桁目から 44 桁目までを記録します。

37～38 桁目 : その他の情報、39～40 桁目 : その他の情報、41～42 桁目 : その他の情報、43～44 桁目 : 口腔外診査。

調査票の各項目が空白の場合は、半角の 9 で桁を埋めます。

コード	内容	備考
(数字)	一般情報 (その他)	37～44 桁目

(7) 歯の状態 [HK.E17-7]

WHO 口腔健康診査票 (小児用) (2013) の一般情報の 45 桁目から 72 桁目までを記録します。

歯冠について、上顎・下顎を続けて記録します。

コード	内容	備考
-----	----	----

(英数)	歯の状態	45～72 桁目
------	------	----------

(8) 歯周状態 (歯肉出血) [HK.E17-8]

WHO 口腔健康診査票 (小児用) (2013)の歯周状態の 73 桁目から 100 桁目までを記録します。

コード	内容	備考
(英数)	歯周状態 (歯肉出血)	73～100 桁目

(9) 歯のフッ素症 [HK.E17-9]

WHO 口腔健康診査票 (小児用) (2013)の歯のフッ素症の 101 桁目を記録します。

コード	内容	備考
(数字)	歯のフッ素症	101 桁目

(10) 歯の酸蝕症 (重症度) [HK.E17-10]

WHO 口腔健康診査票 (小児用) (2013)の歯の酸蝕症 (重症度) の 102 桁目を記録します。

コード	内容	備考
(数字)	歯の酸蝕症 (重症度)	102 桁目

(11) 歯の酸蝕症 (酸蝕歯の数) [HK.E17-11]

WHO 口腔健康診査票 (小児用) (2013)の歯の酸蝕症 (酸蝕歯の数) の 103 桁目から 104 桁目までを記録します。

コード	内容	備考
(数字)	歯の酸蝕症 (酸蝕歯の数)	103～104 桁目

(12) 歯の外傷 (状態) [HK.E17-12]

WHO 口腔健康診査票 (小児用) (2013)の歯の外傷 (状態) の 105 桁目を記録します。

コード	内容	備考
(数字)	歯の外傷 (状態)	105 桁目

(13) 歯の外傷 (外傷歯の数) [HK.E17-13]

WHO 口腔健康診査票 (小児用) (2013)の歯の外傷 (外傷歯の数) の 106 桁目から 107 桁目までを記録します。

コード	内容	備考
(数字)	歯の外傷 (外傷歯の数)	106～107 桁目

(14) 口腔粘膜病変 (状態) [HK.E17-14]

WHO 口腔健康診査票（小児用）（2013）の口腔粘膜病変状態の 108 桁目から 110 桁目までを記録します。

コード	内容	備考
(数字)	口腔粘膜病変（状態）	108～110 桁目

（15）口腔粘膜病変（部位）〔HK.E17-15〕

WHO 口腔健康診査票（小児用）（2013）の口腔粘膜病変部位の 111 桁目から 113 桁目までを記録します。

コード	内容	備考
(数字)	口腔粘膜病変（部位）	111～113 桁目

（16）緊急介入〔HK.E17-16〕

WHO 口腔健康診査票（小児用）（2013）の緊急介入の 114 桁目を記録します。

コード	内容	備考
(数字)	緊急介入	114 桁目

9) 画像情報レコード (IM)

画像情報を記録します。

画像情報レコードフォーマット

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)
項目	レコード識別情報	画像情報 (特徴抽出情報)	画像情報 (画像ファイル所在情報)	画像情報 (その他)	予備 1	予備 2	予備 3	予備 4	予備 5
モード	英数	英数 又は 漢字	英数 又は 漢字	英数 又は 漢字	-	-	-	-	-
最大バイト	2	400	400	400	-	-	-	-	-
項目形式	固定	可変	可変	可変	-	-	-	-	-
記録必須	必須	省略 可	省略 可	省略 可	省略	省略	省略	省略	省略

(1) レコード識別情報 [IM-1]

画像情報レコードを表す識別情報「IM」を記録します。

コード	内容	備考
IM	画像情報レコード	

(2) 画像情報 (特徴抽出情報) [IM-2]

画像の特徴抽出情報を記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	画像情報 (特徴抽出情報)	

(3) 画像情報 (画像ファイル所在情報) [IM-3]

画像ファイルの所在情報を記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	画像情報 (画像ファイル所在情報)	

(4) 画像情報 (その他) [IM-4]

その他の画像情報を記録します。

コード	内容	備考
(省略)	情報なし	
(文字列)	画像情報 (その他)	

10) 日時レコード (DT)

ファイル作成、出力関係の日時レコードです。CSVファイル出力、スナップショット作成の日時を記録します。

日時レコードフォーマット

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
項目	レコード識別情報	CSVファイル出力年月日	CSVファイル出力時刻	スナップショット作成年月日	スナップショット作成時刻	予備1	予備2	予備3	予備4	予備5
モード	英数	数字	数字	数字	数字	-	-	-	-	-
最大バイト	2	8	6	8	6	-	-	-	-	-
項目形式	固定	固定	固定	固定	固定	-	-	-	-	-
記録必須	必須	必須	必須	必須	必須	省略	省略	省略	省略	省略

(1) レコード識別情報 [DT-1]

日時レコードを表す識別情報「DT」を記録します。

コード	内容	備考
DT	日時レコード	

(2) CSVファイル出力年月日 [DT-2]

CSVファイル出力年月日を数字8桁（西暦年4桁+月2桁+日2桁）で記録します。

コード	内容	備考
(数字)	CSVファイル出力年月日	

(3) CSVファイル出力時刻 [DT-3]

CSVファイル出力時刻を数字6桁（24時制時2桁+分2桁+秒2桁）で記録します。

コード	内容	備考
(数字)	C S Vファイル出力時刻	

(4) スナップショット作成年月日 [DT-4]

スナップショット作成年月日を数字8桁(西暦年4桁+月2桁+日2桁)で記録します。

コード	内容	備考
(数字)	スナップショット作成年月日	

(5) スナップショット作成時刻 [DT-5]

スナップショット作成時刻を数字6桁(24時制時2桁+分2桁+秒2桁)で記録します。
不明の場合は、当該不明箇所を99とします。

コード	内容	備考
(数字)	スナップショット作成時刻	HHMMSS 不明な場合、当該箇所を99

連番	Y連番	項目名と項目コード (¥: フィルタ用)	標準プロファイル26項目
1	1	1) 入力機関情報レコード (ON) (1) レコード識別情報 [ON-1] ¥	
2		[ON-1] ON: 入力機関情報レコード	
3	2	(2) 送信先機関種別 [ON-2] ¥	
4		[ON-2] (省略): 情報なし	
5		[ON-2] 00: 該当なし	
6		[ON-2] 01: 他医療機関等	
7		[ON-2] 02: 委託業者	
8		[ON-2] 03: 社会保険診療報酬支払基金	
9		[ON-2] 04: 地域データベース	
10		[ON-2] 05: ナショナルデータベース	
11	3	(3) 送信先機関都道府県コード [ON-3] ¥	
12		[ON-3] (省略): 情報なし	
13		[ON-3] (数字): 送信先機関都道府県コード	
14	4	(4) 送信先機関名 [ON-4] ¥	
15		[ON-4] (省略): 情報なし	
16		[ON-4] (文字列): 送信先機関名	
17	5	(5) 送信先機関コード [ON-5] ¥	
18		[ON-5] (省略): 情報なし	
19		[ON-5] (数字): 送信先機関コード	
20	6	(6) 入力機関種別 [ON-6] ¥	
21		[ON-6] 01: 医療機関以外	
22		[ON-6] 02: 医療機関	
23	7	(7) 入力機関都道府県コード [ON-7] ¥	
24		[ON-7] (数字): 入力機関都道府県コード	
25	8	(8) 入力機関名 [ON-8] ¥	
26		[ON-8] (文字列): 入力機関名	
27	9	(9) 入力機関コード [ON-9] ¥	
28		[ON-9] (数字): 入力機関コード	
29	10	(10) 入力機関電話番号 [ON-10] ¥	
30		[ON-10] (英数): 入力機関電話番号	
31	11	(11) 診療科コード [ON-11] ¥	
32		[ON-11] (数字): 診療科コード	
33	12	(12) 診療科名 [ON-12] ¥	
34		[ON-12] (文字列): 診療科名	
35	13	2) 個人識別情報レコード (PN) (1) レコード識別情報 [PN-1] ¥	
36		[PN-1] PN: 個人識別情報レコード	
37	14	(2) 保険者番号 [PN-2] ¥	
38		[PN-2] (省略): 情報なし	
39		[PN-2] (数字): 保険者番号	
40	15	(3) 被保険者証(手帳)等の記号 [PN-3] ¥	
41		[PN-3] (省略): 情報なし	
42		[PN-3] (文字列): 被保険者証(手帳)等の記号	
43	16	(4) 被保険者証(手帳)等の番号 [PN-4] ¥	
44		[PN-4] (省略): 情報なし	
45		[PN-4] (数字): 被保険者証(手帳)等の番号	
46	17	(5) 本人・家族別 [PN-5] ¥	
47		[PN-5] (省略): 情報なし	
48		[PN-5] 01: 本人	
49		[PN-5] 02: 家族	
50	18	(6) 医療機関内ID [PN-6] ¥	
51		[PN-6] (数字): 医療機関内ID	
52	19	(7) 個人確認用番号1(医療等ID) [PN-7] ¥	
53		[PN-7] (省略): 個人確認用番号1(医療等ID)	
54	20	(8) 個人確認用番号2(医療等ID) [PN-8] ¥	
55		[PN-8] (省略): 個人確認用番号2(医療等ID)	
56	21	(9) 診療・健診年月日 [PN-9] ¥	
57		[PN-9] (数字): 診療・健診年月日	
58	22	(10) 氏名 [PN-10] ¥	
59		[PN-10] (文字列): 氏名	
60	23	(11) 男女区別 [PN-11] ¥	
61		[PN-11] 01: 男	
62		[PN-11] 02: 女	
63	24	(12) 生年月日 [PN-12] ¥	
64		[PN-12] (数字): 生年月日	
65	25	3) 入力種別レコード (NS) (1) レコード識別情報 [NS-1] ¥	
66		[NS-1] NS: 入力種別レコード	
67	26	(2) 入力種別 [NS-2] ¥	
68		[NS-2] 00: 該当なし	
69		[NS-2] 01: 初診時口腔診査	
70		[NS-2] 02: 治療による更新(処置履歴)	
71		[NS-2] 03: 妊産婦歯科健康診査(母子健康手帳省令様式)	
72		[NS-2] 04: 1歳児歯科健康診査(母子健康手帳省令様式)	
73		[NS-2] 05: 1歳6か月児歯科健康診査(母子健康手帳省令様式)	
74		[NS-2] 06: 2歳児歯科健康診査(母子健康手帳省令様式)	
75		[NS-2] 07: 3歳児歯科健康診査(母子健康手帳省令様式)	
76		[NS-2] 08: 4歳児歯科健康診査(母子健康手帳省令様式)	
77		[NS-2] 09: 5歳児歯科健康診査(母子健康手帳省令様式)	
78		[NS-2] 10: 6歳児歯科健康診査(母子健康手帳省令様式)	
79		[NS-2] 11: 就学時健康診断	
80		[NS-2] 12: 学校歯科健康診断	
81		[NS-2] 13: 成人歯科健康診査(事業所歯科健診、菌周病検診含む)	
82		[NS-2] 14: 後期高齢者歯科口腔健康診査	
83		[NS-2] 15: 歯科特殊健康診査(菌の酸蝕症)	
84		[NS-2] 16: 歯科人間ドック検査	
85		[NS-2] 17: かかりつけ連携手帳	
86		[NS-2] 18: WHO口腔健康診査 成人用	
87		[NS-2] 19: WHO口腔健康診査 小児用	
88	27	(3) 最新初診年月日 [NS-3] ¥	
89		[NS-3] (省略): 情報なし	
90		[NS-3] (数字): 最新初診年月日	
91	28	(4) 最終診療年月日 [NS-4] ¥	
92		[NS-4] (省略): 情報なし	
93		[NS-4] (数字): 最終診療年月日	
94	29	4) 歯の診査情報レコードユニット4.1) I. 部位パート(TB)レコード (1) レコード識別情報 [TB-1] ¥	
95		[TB-1] TB: 歯の診査情報レコード(部位パート)	
96	30	(2) 歯種コード [TB-2] ¥	
97		[TB-2] 1011: 右側上顎中切歯	
98		[TB-2] 1012: 右側上顎側切歯	
99		[TB-2] 1013: 右側上顎犬歯	
100		[TB-2] 1014: 右側上顎第1小臼歯	
101		[TB-2] 1015: 右側上顎第2小臼歯	
102		[TB-2] 1016: 右側上顎第1大臼歯	

口腔診査情報標準コード仕様項目と標準プロフィール26項目との対応表20170321

連番	Y連番	項目名と項目コード (¥: フィルタ用)	標準プロフィール26項目
103		[TB-2] 1017: 右側上顎第2大臼歯	
104		[TB-2] 1018: 右側上顎第3大臼歯	
105		[TB-2] 1021: 左側上顎中切歯	
106		[TB-2] 1022: 左側上顎側切歯	
107		[TB-2] 1023: 左側上顎犬歯	
108		[TB-2] 1024: 左側上顎第1小臼歯	
109		[TB-2] 1025: 左側上顎第2小臼歯	
110		[TB-2] 1026: 左側上顎第1大臼歯	
111		[TB-2] 1027: 左側上顎第2大臼歯	
112		[TB-2] 1028: 左側上顎第3大臼歯	
113		[TB-2] 1031: 左側下顎中切歯	
114		[TB-2] 1032: 左側下顎側切歯	
115		[TB-2] 1033: 左側下顎犬歯	
116		[TB-2] 1034: 左側下顎第1小臼歯	
117		[TB-2] 1035: 左側下顎第2小臼歯	
118		[TB-2] 1036: 左側下顎第1大臼歯	
119		[TB-2] 1037: 左側下顎第2大臼歯	
120		[TB-2] 1038: 左側下顎第3大臼歯	
121		[TB-2] 1041: 右側下顎中切歯	
122		[TB-2] 1042: 右側下顎側切歯	
123		[TB-2] 1043: 右側下顎犬歯	
124		[TB-2] 1044: 右側下顎第1小臼歯	
125		[TB-2] 1045: 右側下顎第2小臼歯	
126		[TB-2] 1046: 右側下顎第1大臼歯	
127		[TB-2] 1047: 右側下顎第2大臼歯	
128		[TB-2] 1048: 右側下顎第3大臼歯	
129		[TB-2] 1051: 右側上顎乳中切歯	[TF-3] 01 (3) 乳歯・D c d
130		[TB-2] 1052: 右側上顎乳側切歯	[TF-3] 01 (3) 乳歯・D c d
131		[TB-2] 1053: 右側上顎乳犬歯	[TF-3] 01 (3) 乳歯・D c d
132		[TB-2] 1054: 右側上顎第1乳臼歯	[TF-3] 01 (3) 乳歯・D c d
133		[TB-2] 1055: 右側上顎第2乳臼歯	[TF-3] 01 (3) 乳歯・D c d
134		[TB-2] 1061: 左側上顎乳中切歯	[TF-3] 01 (3) 乳歯・D c d
135		[TB-2] 1062: 左側上顎乳側切歯	[TF-3] 01 (3) 乳歯・D c d
136		[TB-2] 1063: 左側上顎乳犬歯	[TF-3] 01 (3) 乳歯・D c d
137		[TB-2] 1064: 左側上顎第1乳臼歯	[TF-3] 01 (3) 乳歯・D c d
138		[TB-2] 1065: 左側上顎第2乳臼歯	[TF-3] 01 (3) 乳歯・D c d
139		[TB-2] 1071: 左側下顎乳中切歯	[TF-3] 01 (3) 乳歯・D c d
140		[TB-2] 1072: 左側下顎乳側切歯	[TF-3] 01 (3) 乳歯・D c d
141		[TB-2] 1073: 左側下顎乳犬歯	[TF-3] 01 (3) 乳歯・D c d
142		[TB-2] 1074: 左側下顎第1乳臼歯	[TF-3] 01 (3) 乳歯・D c d
143		[TB-2] 1075: 左側下顎第2乳臼歯	[TF-3] 01 (3) 乳歯・D c d
144		[TB-2] 1081: 右側下顎乳中切歯	[TF-3] 01 (3) 乳歯・D c d
145		[TB-2] 1082: 右側下顎乳側切歯	[TF-3] 01 (3) 乳歯・D c d
146		[TB-2] 1083: 右側下顎乳犬歯	[TF-3] 01 (3) 乳歯・D c d
147		[TB-2] 1084: 右側下顎第1乳臼歯	[TF-3] 01 (3) 乳歯・D c d
148		[TB-2] 1085: 右側下顎第2乳臼歯	[TF-3] 01 (3) 乳歯・D c d
149		[TB-2] 101A: 右側上顎中切歯近傍過剰歯	
150		[TB-2] 101B: 右側上顎側切歯近傍過剰歯	
151		[TB-2] 101C: 右側上顎犬歯近傍過剰歯	
152		[TB-2] 101D: 右側上顎第1小臼歯近傍過剰歯	
153		[TB-2] 101E: 右側上顎第2小臼歯近傍過剰歯	
154		[TB-2] 101F: 右側上顎第1大臼歯近傍過剰歯	
155		[TB-2] 101G: 右側上顎第2大臼歯近傍過剰歯	
156		[TB-2] 101H: 右側上顎第3大臼歯近傍過剰歯	
157		[TB-2] 102A: 左側上顎中切歯近傍過剰歯	
158		[TB-2] 102B: 左側上顎側切歯近傍過剰歯	
159		[TB-2] 102C: 左側上顎犬歯近傍過剰歯	
160		[TB-2] 102D: 左側上顎第1小臼歯近傍過剰歯	
161		[TB-2] 102E: 左側上顎第2小臼歯近傍過剰歯	
162		[TB-2] 102F: 左側上顎第1大臼歯近傍過剰歯	
163		[TB-2] 102G: 左側上顎第2大臼歯近傍過剰歯	
164		[TB-2] 102H: 左側上顎第3大臼歯近傍過剰歯	
165		[TB-2] 103A: 左側下顎中切歯近傍過剰歯	
166		[TB-2] 103B: 左側下顎側切歯近傍過剰歯	
167		[TB-2] 103C: 左側下顎犬歯近傍過剰歯	
168		[TB-2] 103D: 左側下顎第1小臼歯近傍過剰歯	
169		[TB-2] 103E: 左側下顎第2小臼歯近傍過剰歯	
170		[TB-2] 103F: 左側下顎第1大臼歯近傍過剰歯	
171		[TB-2] 103G: 左側下顎第2大臼歯近傍過剰歯	
172		[TB-2] 103H: 左側下顎第3大臼歯近傍過剰歯	
173		[TB-2] 104A: 右側下顎中切歯近傍過剰歯	
174		[TB-2] 104B: 右側下顎側切歯近傍過剰歯	
175		[TB-2] 104C: 右側下顎犬歯近傍過剰歯	
176		[TB-2] 104D: 右側下顎第1小臼歯近傍過剰歯	
177		[TB-2] 104E: 右側下顎第2小臼歯近傍過剰歯	
178		[TB-2] 104F: 右側下顎第1大臼歯近傍過剰歯	
179		[TB-2] 104G: 右側下顎第2大臼歯近傍過剰歯	
180		[TB-2] 104H: 右側下顎第3大臼歯近傍過剰歯	
181		[TB-2] 105A: 右側上顎乳中切歯近傍過剰歯	
182		[TB-2] 105B: 右側上顎乳側切歯近傍過剰歯	
183		[TB-2] 105C: 右側上顎乳犬歯近傍過剰歯	
184		[TB-2] 105D: 右側上顎第1乳臼歯近傍過剰歯	
185		[TB-2] 105E: 右側上顎第2乳臼歯近傍過剰歯	
186		[TB-2] 106A: 左側上顎乳中切歯近傍過剰歯	
187		[TB-2] 106B: 左側上顎乳側切歯近傍過剰歯	
188		[TB-2] 106C: 左側上顎乳犬歯近傍過剰歯	
189		[TB-2] 106D: 左側上顎第1乳臼歯近傍過剰歯	
190		[TB-2] 106E: 左側上顎第2乳臼歯近傍過剰歯	
191		[TB-2] 107A: 左側下顎乳中切歯近傍過剰歯	
192		[TB-2] 107B: 左側下顎乳側切歯近傍過剰歯	
193		[TB-2] 107C: 左側下顎乳犬歯近傍過剰歯	
194		[TB-2] 107D: 左側下顎第1乳臼歯近傍過剰歯	
195		[TB-2] 107E: 左側下顎第2乳臼歯近傍過剰歯	
196		[TB-2] 108A: 右側下顎乳中切歯近傍過剰歯	
197		[TB-2] 108B: 右側下顎乳側切歯近傍過剰歯	
198		[TB-2] 108C: 右側下顎乳犬歯近傍過剰歯	
199		[TB-2] 108D: 右側下顎第1乳臼歯近傍過剰歯	
200		[TB-2] 108E: 右側下顎第2乳臼歯近傍過剰歯	
201	31	(3) 状態コード [TB-3] ¥	
202		[TB-3] 0: 現存歯	[TF-27] 01 (27) 歯あり (状態不明) ・P r e
203		[TB-3] 1: 部 (部を示す場合に使用)	
204		[TB-3] 2: 欠損歯	[TF-22] 01 (22) 欠損・M A M
205		[TB-3] 3: 支台歯	[TF-19] 01 (19) 支台歯 (インプラントも可) ・A b u
206		[TB-3] 4: 分割抜歯支台 (根)	[TF-19] 01 (19) 支台歯 (インプラントも可) ・A b u
207		[TB-3] 5: 便宜抜歯支台歯	[TF-19] 01 (19) 支台歯 (インプラントも可) ・A b u
208		[TB-3] 6: 残根	[TF-21] 01 (21) 残根・根面板ほか・C 4

口腔診査情報標準コード仕様項目と標準プロファイル26項目との対応表20170321

連番	Y連番	項目名と項目コード (¥: フィルタ用)	標準プロファイル26項目
209		[TB-3] 7: 部インプラント	[TF-25] 01 (25) インプラント・Imp l
210		[TB-3] 8: 部近心歯	
211		[TB-3] 9: 近心位に存在	
212	32	(4) 部分コード [TB-4] ¥	
213		[TB-4] 0: 部分指定なし	
214		[TB-4] 1: 遠心類側根	
215		[TB-4] 2: 近心類側根	
216		[TB-4] 3: 近心類側根および遠心類側根	
217		[TB-4] 4: 舌側 (口蓋) 根	
218		[TB-4] 5: 舌側 (口蓋) 根および遠心類側根	
219		[TB-4] 6: 舌側 (口蓋) 根および近心類側根	
220		[TB-4] 7: 遠心根	
221		[TB-4] 8: 近心根	
222	33	(5) 併存ユニット数 [TB-5] ¥	
223		[TB-5] (省略): 併存ユニットなし、又は併存ユニットの2番目以降	
224		[TB-5] (数字): 併存ユニット数	
225	34	4) 歯の診査情報レコードユニット4.2) II. 基本状態パート (TD)	
226		(1) レコード識別情報 [TD-1] ¥	
227	35	(2) 歯の基本状態 [TD-2] ¥	
228		[TD-2] 01: 現在歯 [現在歯/] (状態不明) *	[TF-27] 01 (27) 歯あり (状態不明) ・Pre
229		[TD-2] 02: 現在歯 [健全歯/] (治療なし) *	[TF-4] 01 (4) 健全歯・Sou
230		[TD-2] 03: 現在歯 [健全歯 (シーラント: シ)] *	[TF-4] 01 (4) 健全歯・Sou
231		[TD-2] 04: 現在歯 [要観察歯C0] *	[TF-27] 01 (27) 歯あり (状態不明) ・Pre
232		[TD-2] 05: 現在歯 [要観察歯 (サホライド: サ)] *	[TF-5] 01 (5) C1~C3 (治療中を含む) ・C123
233		[TD-2] 06: 現在歯 [未処置歯C] *	[TF-5] 01 (5) C1~C3 (治療中を含む) ・C123
234		[TD-2] 07: 現在歯 [未処置歯 (サホライド: サ)] *	[TF-5] 01 (5) C1~C3 (治療中を含む) ・C123
235		[TD-2] 08: 現在歯 [残根上義歯] 残根 (未処置歯) *	[TF-21] 01 (21) 残根・根面板ほか・C4
236		[TD-2] 09: 現在歯 [残根上義歯] 根面板等 (処置歯) *	[TF-21] 01 (21) 残根・根面板ほか・C4
237		[TD-2] 10: 現在歯 [処置歯O]	[TF-27] 01 (27) 歯あり (状態不明) ・Pre
238		[TD-2] 11: 現在歯 [要注意乳歯x]	[TF-27] 01 (27) 歯あり (状態不明) ・Pre
239		[TD-2] 12: 現在歯 [現在歯/] (上記以外、何か情報あり)	[TF-27] 01 (27) 歯あり (状態不明) ・Pre
240		[TD-2] 50: 欠損歯 [レセプト表記略称名: MT] *	[TF-22] 01 (22) 欠損・MAM
241		[TD-2] 51: 欠損歯 [喪失歯Δ] *	[TF-22] 01 (22) 欠損・MAM
242		[TD-2] 52: 欠損歯 [喪失歯 (う蝕が原因による喪失・永久歯) Δ] *	[TF-22] 01 (22) 欠損・MAM
243		[TD-2] 53: 欠損歯 [喪失歯 (う蝕以外の原因による喪失・永久歯) ▲] *	[TF-22] 01 (22) 欠損・MAM
244		[TD-2] 54: 欠損歯 [喪失歯 (乳歯、う蝕以外の原因による喪失・永久歯) 無印] *	[TF-22] 01 (22) 欠損・MAM
245		[TD-2] 55: 欠損歯 [喪失歯 (要補綴歯) Δ] *	[TF-22] 01 (22) 欠損・MAM
246		[TD-2] 56: 欠損歯 [喪失歯 (欠損補綴歯) Δ] *	[TF-24] 01 (24) 義歯 (人工歯あり) ・Den
247		[TD-2] 57: 欠損歯 [喪失歯 (欠損補綴歯・義歯) Δ] *	[TF-24] 01 (24) 義歯 (人工歯あり) ・Den
248		[TD-2] 58: 欠損歯 [喪失歯 (欠損補綴歯・義歯・床) Δ] *	[TF-24] 01 (24) 義歯 (人工歯あり) ・Den
249		[TD-2] 59: 欠損歯 [喪失歯 (欠損補綴歯・義歯・人工歯) Δ] *	[TF-24] 01 (24) 義歯 (人工歯あり) ・Den
250		[TD-2] 60: 欠損歯 [喪失歯 (欠損補綴歯・ボンティック) Δ] *	[TF-20] 01 (20) ボンティック・Pon
251		[TD-2] 61: 欠損歯 [欠損補綴歯・隙] *	
252		[TD-2] 62: 欠損歯 [喪失歯 (インプラント・タイプ不明) Δ] *	[TF-25] 01 (25) インプラント・Imp l
253		[TD-2] 63: 欠損歯 [喪失歯 (インプラント・ブレードタイプ) Δ] *	[TF-25] 01 (25) インプラント・Imp l
254		[TD-2] 64: 欠損歯 [喪失歯 (インプラント・スクリュタイプ) Δ] *	[TF-25] 01 (25) インプラント・Imp l
255		[TD-2] 65: 欠損歯 [喪失歯 (インプラント・シリンスタータイプ) Δ] *	[TF-25] 01 (25) インプラント・Imp l
256		[TD-2] 66: 欠損歯 [喪失歯 (インプラント・その他) Δ] *	[TF-25] 01 (25) インプラント・Imp l
257		[TD-2] 67: 欠損歯 [喪失歯 (補綴処置不要歯・永久歯) x] *	[TF-22] 01 (22) 欠損・MAM
258		[TD-2] 68: 欠損歯 (先天欠如歯) *	[TF-22] 01 (22) 欠損・MAM
259	36	(3) 歯科健診記号 [TD-3] ¥	
260		[TD-3] 01: / (現在歯、または健全歯)	
261		[TD-3] 02: C (未処置歯)	
262		[TD-3] 03: O (処置歯)	
263		[TD-3] 04: Δ (欠損歯、または喪失歯)	
264		[TD-3] 05: (Δ) (欠損補綴歯)	
265		[TD-3] 06: シ (シーラント)	
266		[TD-3] 07: サ (サホライド)	
267		[TD-3] 08: CO (要観察歯)	
268		[TD-3] 09: x (要注意乳歯)	
269	37	4) 歯の診査情報レコードユニット4.3) III. 現在歯の内容パート (TP)	
270		(1) レコード識別情報 [TP-1] ¥	
271	38	(2) 併存レコード数 (TP) [TP-2] ¥	
272		[TP-2] (省略): 併存レコードなし、又は併存レコードの2番目以降	
273		[TP-2] (数字): 併存レコード数	
274	39	(3) 生活歯・失活歯 [TP-3] ¥	
275		[TP-3] (省略): 情報なし	
276		[TP-3] 00: 該当なし	
277		[TP-3] 01: 生活歯	
278		[TP-3] 02: 失活歯 (根管充填歯、う蝕処置済み歯、残根・C4等)	
279		[TP-3] 03: 失活歯 (歯根端切除歯)	
280	40	(4) 歯の萌出異常 [TP-4] ¥	
281		[TP-4] (省略): 情報なし	
282		[TP-4] 00: 該当なし	
283		[TP-4] 01: 半埋伏歯 (HRT) *	[TF-6] 01 (6) 半埋伏・埋伏・RT
284		[TP-4] 02: 半埋伏歯 (HRT) (水平) *	[TF-6] 01 (6) 半埋伏・埋伏・RT
285		[TP-4] 03: 埋伏歯 (RT) (詳細不明) *	[TF-6] 01 (6) 半埋伏・埋伏・RT
286		[TP-4] 04: 埋伏歯 (RT) (水平) *	[TF-6] 01 (6) 半埋伏・埋伏・RT
287		[TP-4] 05: 埋伏歯 (完全) (CRT) *	[TF-6] 01 (6) 半埋伏・埋伏・RT
288		[TP-4] 06: 水平埋伏歯 (HIT) *	[TF-6] 01 (6) 半埋伏・埋伏・RT
289		[TP-4] 07: 未萌出歯 *	[TF-6] 01 (6) 半埋伏・埋伏・RT
290		[TP-4] 08: 萌出途中 *	[TF-6] 01 (6) 半埋伏・埋伏・RT
291	41	(5) 歯の位置異常 [TP-5] ¥	
292		[TP-5] (省略): 情報なし	
293		[TP-5] 00: 該当なし	
294		[TP-5] 01: 捻転歯 (ROT)	
295		[TP-5] 02: 転位歯	
296		[TP-5] 03: 傾斜歯	
297		[TP-5] 04: 叢生	
298		[TP-5] 05: 歯間離開	
299		[TP-5] 06: 歯の位置異常 (その他)	
300	42	(6) 歯根の分割 [TP-6] ¥	
301		[TP-6] (省略): 情報なし	
302		[TP-6] 00: 部分指定なし (該当なし)	
303		[TP-6] 01: 遠心類側根	
304		[TP-6] 02: 近心類側根	
305		[TP-6] 03: 近心類側根および遠心類側根	
306		[TP-6] 04: 舌側 (口蓋) 根	
307		[TP-6] 05: 舌側 (口蓋) 根および遠心類側根	
308		[TP-6] 06: 舌側 (口蓋) 根および近心類側根	
309		[TP-6] 07: 遠心根	
310		[TP-6] 08: 近心根	
311		[TP-6] 09: 歯根分割歯	
312		[TP-6] 10: 歯根 (部位不明)	

連番	Y連番	項目名と項目コード (¥ : フィルタ用)	標準プロファイル26項目
313	43	(7) 歯の形態異常・形成異常 [TP-7] ¥	
314		[TP-7] (省略) : 情報なし	
315		[TP-7] 00 : 該当なし	
316		[TP-7] 01 : 彎曲根	
317		[TP-7] 02 : 癒合歯	
318		[TP-7] 03 : 癒着歯	
319		[TP-7] 04 : 巨大歯	
320		[TP-7] 05 : 矮小歯	
321		[TP-7] 06 : 円錐歯	
322		[TP-7] 07 : エナメル質形成不全 (E H P)	
323		[TP-7] 08 : 斑状歯	
324		[TP-7] 09 : 変色歯	
325		[TP-7] 10 : ヒンク歯	
326		[TP-7] 11 : 結節 (切歯)	
327		[TP-7] 12 : 結節 (中心)	
328		[TP-7] 13 : 結節 (カラベリ)	
329		[TP-7] 14 : 結節 (臼歯)	
330		[TP-7] 15 : 結節 (臼後)	
331		[TP-7] 16 : 歯の発育異常	
332		[TP-7] 17 : 歯の形態異常 (その他)	
333		[TP-7] 18 : 歯の形成異常 (その他)	
334	44	(8) 過剰歯 [TP-8] ¥	
335		[TP-8] (省略) : 情報なし	
336		[TP-8] 00 : 該当なし	
337		[TP-8] 01 : 過剰歯 (S N T)	
338		[TP-8] 02 : 過剰埋伏歯	
339	45	(9) 未処置歯 (う蝕等、治療を含む) [TP-9] ¥	
340		[TP-9] (省略) : 情報なし	
341		[TP-9] 00 : 該当なし	
342		[TP-9] 01 : う蝕 (未処置歯 C) (程度不明) *	[TF-5] 01 (5) C 1 ~ C 3 (治療を含む) ・ C 1 2 3
343		[TP-9] 02 : C 1 *	[TF-5] 01 (5) C 1 ~ C 3 (治療を含む) ・ C 1 2 3
344		[TP-9] 03 : C 2 *	[TF-5] 01 (5) C 1 ~ C 3 (治療を含む) ・ C 1 2 3
345		[TP-9] 04 : C 3 *	[TF-5] 01 (5) C 1 ~ C 3 (治療を含む) ・ C 1 2 3
346		[TP-9] 05 : C 1 **	[TF-5] 01 (5) C 1 ~ C 3 (治療を含む) ・ C 1 2 3
347		[TP-9] 06 : C 2 **	[TF-5] 01 (5) C 1 ~ C 3 (治療を含む) ・ C 1 2 3
348		[TP-9] 07 : C 3 **	[TF-5] 01 (5) C 1 ~ C 3 (治療を含む) ・ C 1 2 3
349		[TP-9] 08 : 仮封 (テンポラリークラウンを除く) ・ 治療中 *	[TF-5] 01 (5) C 1 ~ C 3 (治療を含む) ・ C 1 2 3
350		[TP-9] 09 : C 4 *	[TF-21] 01 (2 1) 残根・根面板ほか ・ C 4
351		[TP-9] 10 : 残根 *	[TF-21] 01 (2 1) 残根・根面板ほか ・ C 4
352		[TP-9] 11 : 残根 (残根上義歯) *	[TF-21] 01 (2 1) 残根・根面板ほか ・ C 4
353		[TP-9] 12 : 咬耗 (A t t) *	[TF-27] 01 (2 7) 歯あり (状態不明) ・ P r e
354		[TP-9] 13 : 磨耗 (A b r) *	[TF-27] 01 (2 7) 歯あり (状態不明) ・ P r e
355		[TP-9] 14 : 歯質くさび状欠損 (W S D) *	[TF-27] 01 (2 7) 歯あり (状態不明) ・ P r e
356		[TP-9] 15 : 歯の破折 (F r T) *	[TF-27] 01 (2 7) 歯あり (状態不明) ・ P r e
357		[TP-9] 16 : 歯の酸蝕症 *	[TF-27] 01 (2 7) 歯あり (状態不明) ・ P r e
358		[TP-9] 17 : 歯の酸蝕症疑い (±) *	[TF-27] 01 (2 7) 歯あり (状態不明) ・ P r e
359		[TP-9] 18 : 歯の酸蝕症第 1 度 (E 1) (E r o) *	[TF-27] 01 (2 7) 歯あり (状態不明) ・ P r e
360		[TP-9] 19 : 歯の酸蝕症第 2 度 (E 2) (E r o) *	[TF-27] 01 (2 7) 歯あり (状態不明) ・ P r e
361		[TP-9] 20 : 歯の酸蝕症第 3 度 (E 3) (E r o) *	[TF-27] 01 (2 7) 歯あり (状態不明) ・ P r e
362		[TP-9] 21 : 歯の酸蝕症第 4 度 (E 4) (E r o) *	[TF-27] 01 (2 7) 歯あり (状態不明) ・ P r e
363		[TP-9] 22 : 窩洞形成歯 (単純) *	[TF-5] 01 (5) C 1 ~ C 3 (治療を含む) ・ C 1 2 3
364		[TP-9] 23 : 窩洞形成歯 (複雑) *	[TF-5] 01 (5) C 1 ~ C 3 (治療を含む) ・ C 1 2 3
365		[TP-9] 24 : 窩洞形成歯 (支台築造) *	[TF-5] 01 (5) C 1 ~ C 3 (治療を含む) ・ C 1 2 3
366		[TP-9] 25 : 歯冠形成歯 (部分冠) *	[TF-5] 01 (5) C 1 ~ C 3 (治療を含む) ・ C 1 2 3
367		[TP-9] 26 : 歯冠形成歯 (全部冠) *	[TF-5] 01 (5) C 1 ~ C 3 (治療を含む) ・ C 1 2 3
368		[TP-9] 27 : 支台築造 (メタルコア・銀色) (M コア) *	[TF-5] 01 (5) C 1 ~ C 3 (治療を含む) ・ C 1 2 3
369		[TP-9] 28 : 支台築造 (メタルコア・黒色) (M コア) *	[TF-5] 01 (5) C 1 ~ C 3 (治療を含む) ・ C 1 2 3
370		[TP-9] 29 : 支台築造 (メタルコア・金色) (M コア) *	[TF-5] 01 (5) C 1 ~ C 3 (治療を含む) ・ C 1 2 3
371		[TP-9] 30 : 支台築造 (非金属コア・歯冠色他) (コア) *	[TF-5] 01 (5) C 1 ~ C 3 (治療を含む) ・ C 1 2 3
372	46	(10) テンポラリークラウン [TP-10] ¥	
373		[TP-10] (省略) : 情報なし	
374		[TP-10] 00 : 該当なし	
375		[TP-10] 01 : 部分修復のテンポラリークラウン (TeC) *	[TF-26] 01 (2 6) 仮歯 (TEK、プロビ等) あり ・ T e C
376		[TP-10] 02 : 全部修復のテンポラリークラウン (TeC) *	[TF-26] 01 (2 6) 仮歯 (TEK、プロビ等) あり ・ T e C
377		[TP-10] 03 : その他修復のテンポラリークラウン (TeC) *	[TF-26] 01 (2 6) 仮歯 (TEK、プロビ等) あり ・ T e C
378		[TP-10] 04 : フリッジのリテイナー (5 歯以下) ・ クラウン *	[TF-26] 01 (2 6) 仮歯 (TEK、プロビ等) あり ・ T e C
379		[TP-10] 05 : フリッジのリテイナー (5 歯以下) ・ ボンティック *	[TF-26] 01 (2 6) 仮歯 (TEK、プロビ等) あり ・ T e C
380		[TP-10] 06 : フリッジのリテイナー (6 歯以上) ・ クラウン *	[TF-26] 01 (2 6) 仮歯 (TEK、プロビ等) あり ・ T e C
381		[TP-10] 07 : フリッジのリテイナー (6 歯以上) ・ ボンティック *	[TF-26] 01 (2 6) 仮歯 (TEK、プロビ等) あり ・ T e C
382		[TP-10] 08 : 歯周治療用装置 (冠形態) *	[TF-26] 01 (2 6) 仮歯 (TEK、プロビ等) あり ・ T e C
383		[TP-10] 09 : 歯周治療用装置 (冠形態) フリッジ・クラウン *	[TF-26] 01 (2 6) 仮歯 (TEK、プロビ等) あり ・ T e C
384		[TP-10] 10 : 歯周治療用装置 (冠形態) フリッジ・ボンティック *	[TF-26] 01 (2 6) 仮歯 (TEK、プロビ等) あり ・ T e C
385		[TP-10] 11 : プロビショナルクラウン *	[TF-26] 01 (2 6) 仮歯 (TEK、プロビ等) あり ・ T e C
386		[TP-10] 12 : プロビショナルブリッジ・クラウン *	[TF-26] 01 (2 6) 仮歯 (TEK、プロビ等) あり ・ T e C
387		[TP-10] 13 : プロビショナルブリッジ・ボンティック *	[TF-26] 01 (2 6) 仮歯 (TEK、プロビ等) あり ・ T e C
388	47	(11) 処置歯 (部分修復) [TP-11] ¥	
389		[TP-11] (省略) : 情報なし	
390		[TP-11] 00 : 該当なし	
391		[TP-11] 01 : 部分修復・単純窩洞 (歯冠色充填) (C F、R F、G C F) *	[TF-7] 01 (7) C R 充填・セメント充填ほか ・ C R
392		[TP-11] 02 : 部分修復・複雑窩洞 (歯冠色充填) (C F、R F、G C F) *	[TF-7] 01 (7) C R 充填・セメント充填ほか ・ C R
393		[TP-11] 03 : 部分修復・単純窩洞 (アマルガム充填) (A F) *	[TF-10] 01 (1 0) アマルガム充填 ・ A F
394		[TP-11] 04 : 部分修復・複雑窩洞 (アマルガム充填) (A F) *	[TF-10] 01 (1 0) アマルガム充填 ・ A F
395		[TP-11] 05 : 部分修復 (金属充填・金色) *	[TF-8] 01 (8) インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠金属色 ・ I n
396		[TP-11] 06 : 部分修復・単純窩洞 (金属インレー・銀色) (I n) *	[TF-8] 01 (8) インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠金属色 ・ I n
397		[TP-11] 07 : 部分修復・単純窩洞 (金属インレー・黒色) (I n) *	[TF-8] 01 (8) インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠金属色 ・ I n
398		[TP-11] 08 : 部分修復・単純窩洞 (金属インレー・金色) (I n) *	[TF-8] 01 (8) インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠金属色 ・ I n
399		[TP-11] 09 : 部分修復・単純窩洞 (非金属インレー・歯冠色) (I n) *	[TF-9] 01 (9) インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠歯冠色 ・ I n T C
400		[TP-11] 10 : 部分修復・複雑窩洞 (金属インレー・銀色) (I n) *	[TF-8] 01 (8) インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠金属色 ・ I n
401		[TP-11] 11 : 部分修復・複雑窩洞 (金属インレー・黒色) (I n) *	[TF-8] 01 (8) インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠金属色 ・ I n
402		[TP-11] 12 : 部分修復・複雑窩洞 (金属インレー・金色) (I n) *	[TF-8] 01 (8) インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠金属色 ・ I n
403		[TP-11] 13 : 部分修復・複雑窩洞 (非金属インレー・歯冠色) (I n) *	[TF-9] 01 (9) インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠歯冠色 ・ I n T C
404		[TP-11] 14 : 部分修復 (金属アンレー・銀色) *	[TF-8] 01 (8) インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠金属色 ・ I n
405		[TP-11] 15 : 部分修復 (金属アンレー・黒色) *	[TF-8] 01 (8) インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠金属色 ・ I n
406		[TP-11] 16 : 部分修復 (金属アンレー・金色) *	[TF-8] 01 (8) インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠金属色 ・ I n
407		[TP-11] 17 : 部分修復 (非金属アンレー・歯冠色) *	[TF-9] 01 (9) インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠歯冠色 ・ I n T C
408		[TP-11] 18 : 部分修復 (3/4 金属冠・銀色) (3/4 C r o) *	[TF-8] 01 (8) インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠金属色 ・ I n
409		[TP-11] 19 : 部分修復 (3/4 金属冠・黒色) (3/4 C r o) *	[TF-8] 01 (8) インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠金属色 ・ I n
410		[TP-11] 20 : 部分修復 (3/4 金属冠・金色) (3/4 C r o) *	[TF-8] 01 (8) インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠金属色 ・ I n
411		[TP-11] 21 : 部分修復 (3/4 非金属冠・歯冠色) (3/4 C r o) *	[TF-9] 01 (9) インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠歯冠色 ・ I n T C
412		[TP-11] 22 : 部分修復 (4/5 金属冠・銀色) (4/5 C r o) *	[TF-8] 01 (8) インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠金属色 ・ I n
413		[TP-11] 23 : 部分修復 (4/5 金属冠・黒色) (4/5 C r o) *	[TF-8] 01 (8) インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠金属色 ・ I n
414		[TP-11] 24 : 部分修復 (4/5 金属冠・金色) (4/5 C r o) *	[TF-8] 01 (8) インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠金属色 ・ I n
415		[TP-11] 25 : 部分修復 (4/5 非金属冠・歯冠色) (4/5 C r o) *	[TF-9] 01 (9) インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠歯冠色 ・ I n T C
416		[TP-11] 26 : 部分修復 (ラミネートベニア・歯冠色) *	[TF-9] 01 (9) インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠歯冠色 ・ I n T C
417		[TP-11] 27 : 部分修復 (接着金属冠・銀色) *	[TF-8] 01 (8) インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠金属色 ・ I n
418		[TP-11] 28 : 部分修復 (接着金属冠・黒色) *	[TF-8] 01 (8) インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠金属色 ・ I n

口腔診査情報標準コード仕様項目と標準プロファイル26項目との対応表20170321

連番	Y連番	項目名と項目コード (¥: フィルタ用)	標準プロファイル26項目
419		[TP-11] 29: 部分修復 (接着金属冠・金色) *	[TF-8] 01 (8) インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠金属色・In
420		[TP-11] 30: 部分修復 (接着非金属冠・歯冠色) *	[TF-9] 01 (9) インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠歯冠色・InTC
421	48	(12) 窩洞形態 [TP-12] ¥	
422		[TP-12] (省略): 情報なし	
423		[TP-12] 00: 該当なし	
424		[TP-12] 01: 単純窩洞 (充填)	
425		[TP-12] 02: 複雑窩洞 (充填)	
426		[TP-12] 03: 単純窩洞 (インレー)	
427		[TP-12] 04: 複雑窩洞 (インレー)	
428	49	(13) 歯面 (切端・咬合面IO*) [TP-13] ¥	
429		[TP-13] (省略): 情報なし	
430		[TP-13] 00: 該当なし	
431		[TP-13] 01: 切端・咬合面IO*	[TF-11] 01 (11) 切端・咬合面・IO
432	50	(14) 歯面 (唇側面・頬側面B*) [TP-14] ¥	
433		[TP-14] (省略): 情報なし	
434		[TP-14] 00: 該当なし	
435		[TP-14] 01: 唇側面・頬側面B*	[TF-12] 01 (12) 唇側面・頬側面・B
436	51	(15) 歯面 (口蓋側面・舌側面PL*) [TP-15] ¥	
437		[TP-15] (省略): 情報なし	
438		[TP-15] 00: 該当なし	
439		[TP-15] 01: 口蓋側面・舌側面PL*	[TF-13] 01 (13) 口蓋側面・舌側面・PL
440	52	(16) 歯面 (近心面M*) [TP-16] ¥	
441		[TP-16] (省略): 情報なし	
442		[TP-16] 00: 該当なし	
443		[TP-16] 01: 近心面M*	[TF-14] 01 (14) 近心面・M
444	53	(17) 歯面 (遠心面D*) [TP-17] ¥	
445		[TP-17] (省略): 情報なし	
446		[TP-17] 00: 該当なし	
447		[TP-17] 01: 遠心面D*	[TF-15] 01 (15) 遠心面・D
448	54	(18) 歯の主な部位 (歯冠部) [TP-18] ¥	
449		[TP-18] (省略): 情報なし	
450		[TP-18] 00: 該当なし	
451		[TP-18] 01: 歯冠部	
452	55	(19) 歯の主な部位 (歯頸部) [TP-19] ¥	
453		[TP-19] (省略): 情報なし	
454		[TP-19] 00: 該当なし	
455		[TP-19] 01: 歯頸部	
456	56	(20) 歯の主な部位 (歯根部) [TP-20] ¥	
457		[TP-20] (省略): 情報なし	
458		[TP-20] 00: 該当なし	
459		[TP-20] 01: 歯根部	
460	57	(21) 処置歯 (全部修復) [TP-21] ¥	
461		[TP-21] (省略): 情報なし	
462		[TP-21] 00: 該当なし	
463		[TP-21] 01: 全部修復 (全部金属冠・銀色) (FMC) *	[TF-16] 01 (16) 全部金属冠 (FMCほか)・FMC
464		[TP-21] 02: 全部修復 (全部金属冠・黒色) (FMC) *	[TF-16] 01 (16) 全部金属冠 (FMCほか)・FMC
465		[TP-21] 03: 全部修復 (全部金属冠・金色) (FMC) *	[TF-16] 01 (16) 全部金属冠 (FMCほか)・FMC
466		[TP-21] 04: 全部修復 (全部非金属冠・レジン系・歯冠色) (JC) *	[TF-18] 01 (18) HJC、セラミックほか・HJC
467		[TP-21] 05: 全部修復 (全部非金属冠・セラミック系・歯冠色) (JC) *	[TF-18] 01 (18) HJC、セラミックほか・HJC
468		[TP-21] 06: 全部修復 (前装金属冠・銀色) (前装MC) *	[TF-17] 01 (17) 前装冠 (HR、MBほか)・HR
469		[TP-21] 07: 全部修復 (前装金属冠・黒色) (前装MC) *	[TF-17] 01 (17) 前装冠 (HR、MBほか)・HR
470		[TP-21] 08: 全部修復 (前装金属冠・金色) (前装MC) *	[TF-17] 01 (17) 前装冠 (HR、MBほか)・HR
471		[TP-21] 09: 全部修復 (メタルボンドクラウン・銀色) (MB) *	[TF-17] 01 (17) 前装冠 (HR、MBほか)・HR
472		[TP-21] 10: 全部修復 (メタルボンドクラウン・黒色) (MB) *	[TF-17] 01 (17) 前装冠 (HR、MBほか)・HR
473		[TP-21] 11: 全部修復 (メタルボンドクラウン・金色) (MB) *	[TF-17] 01 (17) 前装冠 (HR、MBほか)・HR
474		[TP-21] 12: 全部修復 (コーヌス外冠・全部金属冠・銀色) *	[TF-16] 01 (16) 全部金属冠 (FMCほか)・FMC
475		[TP-21] 13: 全部修復 (コーヌス外冠・全部金属冠・黒色) *	[TF-16] 01 (16) 全部金属冠 (FMCほか)・FMC
476		[TP-21] 14: 全部修復 (コーヌス外冠・全部金属冠・金色) *	[TF-16] 01 (16) 全部金属冠 (FMCほか)・FMC
477		[TP-21] 15: 全部修復 (コーヌス外冠・硬質レジン前装金属冠・銀色) *	[TF-17] 01 (17) 前装冠 (HR、MBほか)・HR
478		[TP-21] 16: 全部修復 (コーヌス外冠・硬質レジン前装金属冠・黒色) *	[TF-17] 01 (17) 前装冠 (HR、MBほか)・HR
479		[TP-21] 17: 全部修復 (コーヌス外冠・硬質レジン前装金属冠・金色) *	[TF-17] 01 (17) 前装冠 (HR、MBほか)・HR
480		[TP-21] 18: 全部修復 (コーヌス外冠・メタルボンドクラウン・銀色) *	[TF-17] 01 (17) 前装冠 (HR、MBほか)・HR
481		[TP-21] 19: 全部修復 (コーヌス外冠・メタルボンドクラウン・黒色) *	[TF-17] 01 (17) 前装冠 (HR、MBほか)・HR
482		[TP-21] 20: 全部修復 (コーヌス外冠・メタルボンドクラウン・金色) *	[TF-17] 01 (17) 前装冠 (HR、MBほか)・HR
483		[TP-21] 21: 全部修復 (帯環金属冠・種類不明・銀色) *	[TF-16] 01 (16) 全部金属冠 (FMCほか)・FMC
484		[TP-21] 22: 全部修復 (帯環金属冠・種類不明・黒色) *	[TF-16] 01 (16) 全部金属冠 (FMCほか)・FMC
485		[TP-21] 23: 全部修復 (帯環金属冠・種類不明・金色) *	[TF-16] 01 (16) 全部金属冠 (FMCほか)・FMC
486		[TP-21] 24: 全部修復 (帯環金属冠・嚙面圧印冠・銀色) *	[TF-16] 01 (16) 全部金属冠 (FMCほか)・FMC
487		[TP-21] 25: 全部修復 (帯環金属冠・嚙面圧印冠・黒色) *	[TF-16] 01 (16) 全部金属冠 (FMCほか)・FMC
488		[TP-21] 26: 全部修復 (帯環金属冠・嚙面圧印冠・金色) *	[TF-16] 01 (16) 全部金属冠 (FMCほか)・FMC
489		[TP-21] 27: 全部修復 (帯環金属冠・嚙面充実冠・銀色) (PK) *	[TF-16] 01 (16) 全部金属冠 (FMCほか)・FMC
490		[TP-21] 28: 全部修復 (帯環金属冠・嚙面充実冠・黒色) (PK) *	[TF-16] 01 (16) 全部金属冠 (FMCほか)・FMC
491		[TP-21] 29: 全部修復 (帯環金属冠・嚙面充実冠・金色) (PK) *	[TF-16] 01 (16) 全部金属冠 (FMCほか)・FMC
492		[TP-21] 30: 全部修復 (帯環金属冠・嚙面鑄造冠・銀色) (CCK) *	[TF-16] 01 (16) 全部金属冠 (FMCほか)・FMC
493		[TP-21] 31: 全部修復 (帯環金属冠・嚙面鑄造冠・黒色) (CCK) *	[TF-16] 01 (16) 全部金属冠 (FMCほか)・FMC
494		[TP-21] 32: 全部修復 (帯環金属冠・嚙面鑄造冠・金色) (CCK) *	[TF-16] 01 (16) 全部金属冠 (FMCほか)・FMC
495		[TP-21] 33: 全部修復 (帯環金属冠・開面金冠・銀色) *	[TF-8] 01 (8) インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠金属色・In
496		[TP-21] 34: 全部修復 (帯環金属冠・開面金冠・黒色) *	[TF-8] 01 (8) インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠金属色・In
497		[TP-21] 35: 全部修復 (帯環金属冠・開面金冠・金色) *	[TF-8] 01 (8) インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠金属色・In
498		[TP-21] 36: 全部修復 (歯冠継続歯・レジン前装継続歯・銀色) (PC) *	[TF-17] 01 (17) 前装冠 (HR、MBほか)・HR
499		[TP-21] 37: 全部修復 (歯冠継続歯・レジン前装継続歯・黒色) (PC) *	[TF-17] 01 (17) 前装冠 (HR、MBほか)・HR
500		[TP-21] 38: 全部修復 (歯冠継続歯・レジン前装継続歯・金色) (PC) *	[TF-17] 01 (17) 前装冠 (HR、MBほか)・HR
501		[TP-21] 39: 全部修復 (歯冠継続歯・全部レジン冠継続歯・歯冠色) (PC) *	[TF-18] 01 (18) HJC、セラミックほか・HJC
502		[TP-21] 40: 全部修復 (乳歯冠・乳歯金属冠・銀色) *	[TF-16] 01 (16) 全部金属冠 (FMCほか)・FMC
503		[TP-21] 41: 全部修復 (乳歯冠・複合レジン冠・歯冠色) *	[TF-18] 01 (18) HJC、セラミックほか・HJC
504		[TP-21] 42: 全部修復 (小児保険装置・銀色) *	[TF-16] 01 (16) 全部金属冠 (FMCほか)・FMC
505	58	(22) 処置歯 (その他修復) [TP-22] ¥	
506		[TP-22] (省略): 情報なし	
507		[TP-22] 00: 該当なし	
508		[TP-22] 01: 根面板 (金属・銀色) *	[TF-21] 01 (21) 残根・根面板ほか・C4
509		[TP-22] 02: 根面板 (金属・黒色) *	[TF-21] 01 (21) 残根・根面板ほか・C4
510		[TP-22] 03: 根面板 (金属・金色) *	[TF-21] 01 (21) 残根・根面板ほか・C4
511		[TP-22] 04: 根面板 (非金属・歯冠色他) *	[TF-21] 01 (21) 残根・根面板ほか・C4
512		[TP-22] 05: コーヌス内冠 (金属冠・銀色)	[TF-21] 01 (21) 残根・根面板ほか・C4
513		[TP-22] 06: コーヌス内冠 (金属冠・黒色)	[TF-19] 01 (19) 支台歯 (インプラントも可)・Abu
514		[TP-22] 07: コーヌス内冠 (金属冠・金色)	[TF-19] 01 (19) 支台歯 (インプラントも可)・Abu
515		[TP-22] 08: アバットメント	[TF-19] 01 (19) 支台歯 (インプラントも可)・Abu
516		[TP-22] 09: アタッチメント (磁性)	[TF-21] 01 (21) 残根・根面板ほか・C4
517		[TP-22] 10: アタッチメント (パー)	[TF-21] 01 (21) 残根・根面板ほか・C4
518		[TP-22] 11: アタッチメント (その他)	[TF-21] 01 (21) 残根・根面板ほか・C4
519	59	(23) 連結冠・ブリッジ支台歯 [TP-23] ¥	
520		[TP-23] (省略): 情報なし	
521		[TP-23] 00: 該当なし	
522		[TP-23] 01: 連結冠	
523		[TP-23] 02: ブリッジ支台歯*	[TF-19] 01 (19) 支台歯 (インプラントも可)・Abu
524		[TP-23] 03: 隙の支台歯*	

連番	Y連番	項目名と項目コード (¥ : フィルタ用)	標準プロファイル26項目
525	60	(24) 連結冠・ブリッジ番号 [TP-24] ¥	
526		[TP-24] (省略) : 情報なし	
527		[TP-24] 00 : 該当なし	
528		[TP-24] 01 : 同類1装置目 (固定性)	
529		[TP-24] 02 : 同類2装置目 (固定性)	
530		[TP-24] 03 : 同類3装置目 (固定性)	
531		[TP-24] 04 : 同類4装置目 (固定性)	
532		[TP-24] 05 : 同類5装置目 (固定性)	
533		[TP-24] 06 : 同類6装置目 (固定性)	
534		[TP-24] 07 : 同類7装置目 (固定性)	
535		[TP-24] 08 : 同類8装置目 (固定性)	
536		[TP-24] 09 : 同類1装置目 (半固定性・可撤性)	
537		[TP-24] 10 : 同類2装置目 (半固定性・可撤性)	
538		[TP-24] 11 : 同類3装置目 (半固定性・可撤性)	
539		[TP-24] 12 : 同類4装置目 (半固定性・可撤性)	
540		[TP-24] 13 : 同類5装置目 (半固定性・可撤性)	
541		[TP-24] 14 : 同類6装置目 (半固定性・可撤性)	
542		[TP-24] 15 : 同類7装置目 (半固定性・可撤性)	
543		[TP-24] 16 : 同類8装置目 (半固定性・可撤性)	
544	61	(25) レストシート [TP-25] ¥	
545		[TP-25] (省略) : 情報なし	
546		[TP-25] 00 : 該当なし	
547		[TP-25] 01 : レストシート等あり	
548	62	(26) クラスプ [TP-26] ¥	
549		[TP-26] (省略) : 情報なし	
550		[TP-26] 00 : 該当なし	
551		[TP-26] 01 : 鉤 (内容不明)	
552		[TP-26] 02 : 鑄造鉤 (双子鉤・銀色) (C I)	
553		[TP-26] 03 : 鑄造鉤 (双子鉤・黒色) (C I)	
554		[TP-26] 04 : 鑄造鉤 (双子鉤・金色) (C I)	
555		[TP-26] 05 : 鑄造鉤 (二腕鉤・レスト付き・銀色) (C I)	
556		[TP-26] 06 : 鑄造鉤 (二腕鉤・レスト付き・黒色) (C I)	
557		[TP-26] 07 : 鑄造鉤 (二腕鉤・レスト付き・金色) (C I)	
558		[TP-26] 08 : 線鉤 (双子鉤・銀色) (C I)	
559		[TP-26] 09 : 線鉤 (双子鉤・黒色) (C I)	
560		[TP-26] 10 : 線鉤 (双子鉤・金色) (C I)	
561		[TP-26] 11 : 線鉤 (二腕鉤・レスト付き・銀色) (C I)	
562		[TP-26] 12 : 線鉤 (二腕鉤・レスト付き・黒色) (C I)	
563		[TP-26] 13 : 線鉤 (二腕鉤・レスト付き・金色) (C I)	
564		[TP-26] 14 : 線鉤 (レストのないもの・銀色) (C I)	
565		[TP-26] 15 : 線鉤 (レストのないもの・黒色) (C I)	
566		[TP-26] 16 : 線鉤 (レストのないもの・金色) (C I)	
567		[TP-26] 17 : コンビネーション鉤 (二腕鉤・銀色) (コンビC I)	
568		[TP-26] 18 : コンビネーション鉤 (二腕鉤・黒色) (コンビC I)	
569		[TP-26] 19 : コンビネーション鉤 (二腕鉤・金色) (コンビC I)	
570		[TP-26] 20 : コンビネーション鉤 (双子鉤・銀色) (コンビC I)	
571		[TP-26] 21 : コンビネーション鉤 (双子鉤・黒色) (コンビC I)	
572		[TP-26] 22 : コンビネーション鉤 (双子鉤・金色) (コンビC I)	
573		[TP-26] 23 : 非金属鉤 (菌冠色)	
574		[TP-26] 24 : 非金属鉤 (菌肉色)	
575		[TP-26] 25 : フック (銀色)	
576		[TP-26] 26 : フック (黒色)	
577		[TP-26] 27 : フック (金色)	
578		[TP-26] 28 : スパー (銀色)	
579		[TP-26] 29 : スパー (黒色)	
580		[TP-26] 30 : スパー (金色)	
581	63	(27) 固定式矯正装置 [TP-27] ¥	
582		[TP-27] (省略) : 情報なし	
583		[TP-27] 00 : 該当なし	
584		[TP-27] 01 : ダイレクトボンドブラケット (唇側・金属)	
585		[TP-27] 02 : ダイレクトボンドブラケット (唇側・非金属)	
586		[TP-27] 03 : ダイレクトボンドブラケット (舌側・金属)	
587		[TP-27] 04 : ダイレクトボンドブラケット (舌側・非金属)	
588		[TP-27] 05 : 帯環	
589		[TP-27] 06 : フィクスドリテーナー	
590	64	(28) 暫間固定 [TP-28] ¥	
591		[TP-28] (省略) : 情報なし	
592		[TP-28] 00 : 該当なし	
593		[TP-28] 01 : 暫間固定 (TFix)	
594		[TP-28] 02 : 線副子	
595	65	(29) 菌肉の状態 [TP-29] ¥	
596		[TP-29] (省略) : 情報なし	
597		[TP-29] 00 : 該当なし	
598		[TP-29] 01 : 菌肉退縮	
599		[TP-29] 02 : 菌肉増殖	
600		[TP-29] 03 : 菌肉色素沈着	
601	66	(30) 歯石沈着 [TP-30] ¥	
602		[TP-30] (省略) : 情報なし	
603		[TP-30] 00 : 該当なし	
604		[TP-30] 01 : 歯石沈着 (ZS)	
605	67	(31) 歯根のう胞 [TP-31] ¥	
606		[TP-31] (省略) : 情報なし	
607		[TP-31] 00 : 該当なし	
608		[TP-31] 01 : 歯根のう胞 (WZ)	
609	68	(32) ろう孔 [TP-32] ¥	
610		[TP-32] (省略) : 情報なし	
611		[TP-32] 00 : 該当なし	
612		[TP-32] 01 : ろう孔 (内歯髄)	
613		[TP-32] 02 : ろう孔 (外歯髄)	
614	69	(33) 骨瘤 [TP-33] [TP-33] (省略) : 情報なし ¥	
615		[TP-33] 00 : 該当なし	
616		[TP-33] 01 : 骨瘤 (唇側・頬側) (T or)	
617		[TP-33] 02 : 骨瘤 (舌側・口蓋側) (T or)	
618		[TP-33] 03 : 骨瘤 (唇側・頬側および舌側・口蓋側) (T or)	
619		[TP-33] 04 : 骨瘤 (側不明) (T or)	
620	70	4) 菌の診査情報レコードユニット4.4) IV. 欠損菌の内容パート (TM) (1) レコード識別情報 [TM-1] ¥	
621		[TM-1] TM : 菌の診査情報レコード (欠損菌の内容パート)	
622	71	(2) ボンティック [TM-2] ¥	
623		[TM-2] (省略) : 情報なし	
624		[TM-2] 00 : 該当なし	
625		[TM-2] 01 : ボンティック (鑄造ボンティック・銀色) (P on) *	[TF-20] 01 (20) ボンティック・P on
626		[TM-2] 02 : ボンティック (鑄造ボンティック・黒色) (P on) *	[TF-20] 01 (20) ボンティック・P on
627		[TM-2] 03 : ボンティック (鑄造ボンティック・金色) (P on) *	[TF-20] 01 (20) ボンティック・P on
628		[TM-2] 04 : ボンティック (前装ボンティック・銀色) (P on) *	[TF-20] 01 (20) ボンティック・P on
629		[TM-2] 05 : ボンティック (前装ボンティック・黒色) (P on) *	[TF-20] 01 (20) ボンティック・P on

連番	Y連番	項目名と項目コード (¥: フィルタ用)	標準プロファイル26項目
630		[TM-2] 06: ポンテック (前装ポンテック・金色) (Pon) *	[TF-20] 01 (20) ポンテック・Pon
631		[TM-2] 07: ポンテック (金属裏装ポンテック・銀色) (Pon) *	[TF-20] 01 (20) ポンテック・Pon
632		[TM-2] 08: ポンテック (金属裏装ポンテック・黒色) (Pon) *	[TF-20] 01 (20) ポンテック・Pon
633		[TM-2] 09: ポンテック (金属裏装ポンテック・金色) (Pon) *	[TF-20] 01 (20) ポンテック・Pon
634		[TM-2] 10: ポンテック (メタルボンドポンテック・銀色) (Pon) *	[TF-20] 01 (20) ポンテック・Pon
635		[TM-2] 11: ポンテック (メタルボンドポンテック・黒色) (Pon) *	[TF-20] 01 (20) ポンテック・Pon
636		[TM-2] 12: ポンテック (メタルボンドポンテック・金色) (Pon) *	[TF-20] 01 (20) ポンテック・Pon
637		[TM-2] 13: ポンテック (非金属ポンテック・レジン系・歯冠色) (Pon) *	[TF-20] 01 (20) ポンテック・Pon
638		[TM-2] 14: ポンテック (非金属ポンテック・セラミック系・歯冠色) (Pon) *	[TF-20] 01 (20) ポンテック・Pon
639		[TM-2] 15: 補綴隙 (鋳造隙・銀色) *	
640		[TM-2] 16: 補綴隙 (鋳造隙・黒色) *	
641		[TM-2] 17: 補綴隙 (鋳造隙・金色) *	
642		[TM-2] 18: 補綴隙 (前装隙・銀色) *	
643		[TM-2] 19: 補綴隙 (前装隙・黒色) *	
644		[TM-2] 20: 補綴隙 (前装隙・金色) *	
645		[TM-2] 21: 補綴隙 (金属裏装隙・銀色) *	
646		[TM-2] 22: 補綴隙 (金属裏装隙・黒色) *	
647		[TM-2] 23: 補綴隙 (金属裏装隙・金色) *	
648		[TM-2] 24: 補綴隙 (メタルボンド隙・銀色) *	
649		[TM-2] 25: 補綴隙 (メタルボンド隙・黒色) *	
650		[TM-2] 26: 補綴隙 (メタルボンド隙・金色) *	
651		[TM-2] 27: 補綴隙 (非金属隙・レジン系・歯冠色) *	
652		[TM-2] 28: 補綴隙 (非金属隙・セラミック系・歯冠色) *	
653	72	(3) フリッジ番号 [TM-3] ¥	
654		[TM-3] (省略): 情報なし	
655		[TM-3] 00: 該当なし	
656		[TM-3] 01: 同顎1装置目 (固定性)	
657		[TM-3] 02: 同顎2装置目 (固定性)	
658		[TM-3] 03: 同顎3装置目 (固定性)	
659		[TM-3] 04: 同顎4装置目 (固定性)	
660		[TM-3] 05: 同顎5装置目 (固定性)	
661		[TM-3] 06: 同顎6装置目 (固定性)	
662		[TM-3] 07: 同顎7装置目 (固定性)	
663		[TM-3] 08: 同顎8装置目 (固定性)	
664		[TM-3] 09: 同顎1装置目 (半固定性・可撤性)	
665		[TM-3] 10: 同顎2装置目 (半固定性・可撤性)	
666		[TM-3] 11: 同顎3装置目 (半固定性・可撤性)	
667		[TM-3] 12: 同顎4装置目 (半固定性・可撤性)	
668		[TM-3] 13: 同顎5装置目 (半固定性・可撤性)	
669		[TM-3] 14: 同顎6装置目 (半固定性・可撤性)	
670		[TM-3] 15: 同顎7装置目 (半固定性・可撤性)	
671		[TM-3] 16: 同顎8装置目 (半固定性・可撤性)	
672	73	(4) 有床義歯 [TM-4] ¥	
673		[TM-4] (省略): 情報なし	
674		[TM-4] 00: 該当なし	
675		[TM-4] 01: 有床義歯 (内容不明)	[TF-24] 01 (24) 義歯 (人工歯あり)・Den
676		[TM-4] 02: 有床義歯 (レジン床)	[TF-24] 01 (24) 義歯 (人工歯あり)・Den
677		[TM-4] 03: 有床義歯 (熱可塑性樹脂床)	[TF-24] 01 (24) 義歯 (人工歯あり)・Den
678		[TM-4] 04: 有床義歯 (セラミック床)	[TF-24] 01 (24) 義歯 (人工歯あり)・Den
679		[TM-4] 05: 有床義歯 (金属床)	[TF-24] 01 (24) 義歯 (人工歯あり)・Den
680		[TM-4] 06: 有床義歯 (金床)	[TF-24] 01 (24) 義歯 (人工歯あり)・Den
681		[TM-4] 07: 有床義歯 (ノンクラスプデンチャー)	[TF-24] 01 (24) 義歯 (人工歯あり)・Den
682		[TM-4] 08: 総義歯 (内容不明) (FD) *	[TF-24] 01 (24) 義歯 (人工歯あり)・Den
683		[TM-4] 09: 総義歯 (レジン床) (FD) *	[TF-24] 01 (24) 義歯 (人工歯あり)・Den
684		[TM-4] 10: 総義歯 (熱可塑性樹脂床) (FD) *	[TF-24] 01 (24) 義歯 (人工歯あり)・Den
685		[TM-4] 11: 総義歯 (セラミック床) (FD) *	[TF-24] 01 (24) 義歯 (人工歯あり)・Den
686		[TM-4] 12: 総義歯 (金属床) (FD) *	[TF-24] 01 (24) 義歯 (人工歯あり)・Den
687		[TM-4] 13: 総義歯 (金床) (FD) *	[TF-24] 01 (24) 義歯 (人工歯あり)・Den
688		[TM-4] 14: 総義歯 (ノンクラスプデンチャー) (FD) *	[TF-24] 01 (24) 義歯 (人工歯あり)・Den
689		[TM-4] 15: 局部義歯 (内容不明) (PD) *	[TF-24] 01 (24) 義歯 (人工歯あり)・Den
690		[TM-4] 16: 局部義歯 (レジン床) (PD) *	[TF-24] 01 (24) 義歯 (人工歯あり)・Den
691		[TM-4] 17: 局部義歯 (熱可塑性樹脂床) (PD) *	[TF-24] 01 (24) 義歯 (人工歯あり)・Den
692		[TM-4] 18: 局部義歯 (セラミック床) (PD) *	[TF-24] 01 (24) 義歯 (人工歯あり)・Den
693		[TM-4] 19: 局部義歯 (金属床) (PD) *	[TF-24] 01 (24) 義歯 (人工歯あり)・Den
694		[TM-4] 20: 局部義歯 (金床) (PD) *	[TF-24] 01 (24) 義歯 (人工歯あり)・Den
695		[TM-4] 21: 局部義歯 (ノンクラスプデンチャー) (PD) *	[TF-24] 01 (24) 義歯 (人工歯あり)・Den
696		[TM-4] 22: 口蓋補綴・顎補綴	[TF-24] 01 (24) 義歯 (人工歯あり)・Den
697		[TM-4] 23: 歯周治療用装置 (床義歯)	[TF-24] 01 (24) 義歯 (人工歯あり)・Den
698	74	(5) 複数義歯番号 [TM-5] ¥	
699		[TM-5] (省略): 情報なし	
700		[TM-5] 00: 該当なし	
701		[TM-5] 01: 同顎2床目	
702		[TM-5] 02: 同顎3床目	
703	75	(6) 義歯人工歯 [TM-6] ¥	
704		[TM-6] (省略): 情報なし	
705		[TM-6] 00: 該当なし	
706		[TM-6] 01: レジン歯	
707		[TM-6] 02: スルフォン樹脂レジン歯	
708		[TM-6] 03: 硬質レジン歯	
709		[TM-6] 04: 金属歯	
710		[TM-6] 05: 陶歯	
711	76	(7) 義歯補綴隙 [TM-7] ¥	
712		[TM-7] (省略): 情報なし	
713		[TM-7] 00: 該当なし	
714		[TM-7] 01: 補綴隙 (レジン隙)	
715		[TM-7] 02: 補綴隙 (スルフォン樹脂レジン隙)	
716		[TM-7] 03: 補綴隙 (硬質レジン隙)	
717		[TM-7] 04: 補綴隙 (金属隙)	
718		[TM-7] 05: 補綴隙 (陶歯)	
719	77	(8) 義歯大連結子 [TM-8] ¥	
720		[TM-8] (省略): 情報なし	
721		[TM-8] 00: 該当なし	
722		[TM-8] 01: 屈曲バー (リングル/バラタル) (Bar)	
723		[TM-8] 02: 鋳造バー/ストラップ (リングル/バラタル) (Cast Bar)	
724		[TM-8] 03: プレート (リングル/バラタル)	
725		[TM-8] 04: リングルエプロン	
726	78	(9) 補強線 [TM-9] ¥	
727		[TM-9] (省略): 情報なし	
728		[TM-9] 00: 該当なし	
729		[TM-9] 01: 補強線	
730	79	(10) 骨瘤 [TM-10] ¥	
731		[TM-10] (省略): 情報なし	
732		[TM-10] 00: 該当なし	
733		[TM-10] 01: 骨瘤 (唇側・頬側) (Tor)	
734		[TM-10] 02: 骨瘤 (舌側・口蓋側) (Tor)	
735		[TM-10] 03: 骨瘤 (唇側・頬側および舌側・口蓋側) (Tor)	

連番	¥連番	項目名と項目コード (¥: フィルタ用)	標準プロファイル26項目
736		(TM-10) 04: 骨瘤 (側不明) (T o r)	
737	80	4) 歯の診査情報レコードユニット4.5) V. その他パート (TE)	
738		(1) レコード識別情報 [TE-1] ¥	
739	81	(2) 当該歯製品識別情報の有無 [TE-2] ¥	
740		[TE-2] (省略) : 情報なし	
741		[TE-2] 00: 該当なし	
742		[TE-2] 01: 当該歯製品識別情報なし	
743		[TE-2] 02: 当該歯製品識別情報 (義歯識別情報) あり	
744		[TE-2] 03: 当該歯製品識別情報 (インプラント識別情報) あり	
745		[TE-2] 04: 当該歯製品識別情報 (その他の製品識別情報) あり	
746	82	(3) 当該歯製品識別情報 (製品名) [TE-3] ¥	
747		[TE-3] (省略) : 情報なし	
748		[TE-3] (文字列) : 当該歯製品識別情報 (製品名)	
749	83	(4) 当該歯製品識別情報 (製造番号・記号等) [TE-4] ¥	
750		[TE-4] (省略) : 情報なし	
751		[TE-4] (文字列) : 当該歯製品識別情報 (製造番号・記号等)	
752	84	(5) 当該歯特記事項の有無 [TE-5] ¥	
753		[TE-5] 00: 当該歯特記事項なし	
754		[TE-5] 01: 当該歯特記事項あり	
755	85	(6) 当該歯特記事項 [TE-6] ¥	
756		[TE-6] (省略) : 情報なし	
757		[TE-6] (文字列) : 当該歯特記事項	
758	86	(7) 当該歯入力種別 [TE-7] ¥	
759		[TE-7] (省略) : 情報なし	
760		[TE-7] 00: 該当なし	
761		[TE-7] 01: 初診時口腔診査	
762		[TE-7] 02: 治療による更新 (処置履歴)	
763		[TE-7] 03: 妊産婦歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	
764		[TE-7] 04: 1歳児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	
765		[TE-7] 05: 1歳6か月児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	
766		[TE-7] 06: 2歳児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	
767		[TE-7] 07: 3歳児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	
768		[TE-7] 08: 4歳児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	
769		[TE-7] 09: 5歳児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	
770		[TE-7] 10: 6歳児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	
771		[TE-7] 11: 就学時健康診断	
772		[TE-7] 12: 学校歯科健康診断	
773		[TE-7] 13: 成人歯科健康診査 (事業所歯科健診・菌周病検診含む)	
774		[TE-7] 14: 後期高齢者歯科口腔健康診査	
775		[TE-7] 15: 歯科特殊健康診査 (歯の酸蝕症)	
776		[TE-7] 16: 歯科人間ドック検査	
777		[TE-7] 17: かかりつけ連携手帳	
778		[TE-7] 18: WHO口腔健康診査 成人用	
779		[TE-7] 19: WHO口腔健康診査 小児用	
780	87	(8) 当該歯情報入力・更新年月日 [TE-8] ¥	
781		[TE-8] (省略) : 情報なし	
782		[TE-8] (数字) : 当該歯の情報入力・更新年月日	
783	88	4) 歯の診査情報レコードユニット4.6) VI. 標準プロファイル26項目パート (TF)	
784		(1) レコード識別情報 [TF-1] ¥	
785	89	(2) 標準プロファイル26項目の情報有無 [TF-2] ¥	
786		[TF-2] 00: 標準プロファイル26項目の情報なし	
787		[TF-2] 01: 標準プロファイル26項目の情報あり	
788	90	(3) 乳歯・D c d [TF-3] ¥	
789		[TF-3] (省略) : 情報なし	
790		[TF-3] 00: 該当なし	
791		[TF-3] 01: 乳歯・D c d	
792	91	(4) 健全歯・S o u [TF-4] ¥	
793		[TF-4] (省略) : 情報なし	
794		[TF-4] 00: 該当なし	
795		[TF-4] 01: 健全歯・S o u	
796	92	(5) C 1 ~ C 3 (治療中を含む) ・ C 1 2 3 [TF-5] ¥	
797		[TF-5] (省略) : 情報なし	
798		[TF-5] 00: 該当なし	
799		[TF-5] 01: C 1 ~ C 3 (治療中を含む) ・ C 1 2 3	
800	93	(6) 半埋伏・埋伏・R T [TF-6] ¥	
801		[TF-6] (省略) : 情報なし	
802		[TF-6] 00: 該当なし	
803		[TF-6] 01: 半埋伏・埋伏・R T	
804	94	(7) C R 充填・セメント充填ほか・C R [TF-7] ¥	
805		[TF-7] (省略) : 情報なし	
806		[TF-7] 00: 該当なし	
807		[TF-7] 01: C R 充填・セメント充填・C R	
808	95	(8) インレー・アンレー・3 / 4 冠・4 / 5 冠金属色・I n [TF-8] ¥	
809		[TF-8] (省略) : 情報なし	
810		[TF-8] 00: 該当なし	
811		[TF-8] 01: インレー・アンレー・3 / 4 冠・4 / 5 冠金属色・I n	
812	96	(9) インレー・アンレー・3 / 4 冠・4 / 5 冠歯冠冠色・I n T C [TF-9] ¥	
813		[TF-9] (省略) : 情報なし	
814		[TF-9] 00: 該当なし	
815		[TF-9] 01: インレー・アンレー・3 / 4 冠・4 / 5 冠歯冠冠色・I n T C	
816	97	(1 0) アマルガム充填・A F [TF-10] ¥	
817		[TF-10] (省略) : 情報なし	
818		[TF-10] 00: 該当なし	
819		[TF-10] 01: アマルガム充填・A F	
820	98	(1 1) 切端・咬合面・I O [TF-11] ¥	
821		[TF-11] (省略) : 情報なし	
822		[TF-11] 00: 該当なし	
823		[TF-11] 01: 切端・咬合面・I O	
824	99	(1 2) 唇側面・頬側面・B [TF-12] ¥	
825		[TF-12] (省略) : 情報なし	
826		[TF-12] 00: 該当なし	
827		[TF-12] 01: 唇側面・頬側面・B	
828	100	(1 3) 口蓋側面・舌側面・P L [TF-13] ¥	
829		[TF-13] (省略) : 情報なし	
830		[TF-13] 00: 該当なし	
831		[TF-13] 01: 口蓋側面・舌側面・P L	
832	101	(1 4) 近心面・M [TF-14] ¥	
833		[TF-14] (省略) : 情報なし	
834		[TF-14] 00: 該当なし	
835		[TF-14] 01: 近心面・M	
836	102	(1 5) 遠心面・D [TF-15] ¥	
837		[TF-15] (省略) : 情報なし	
838		[TF-15] 00: 該当なし	
839		[TF-15] 01: 遠心面・D	

連番	Y連番	項目名と項目コード (¥: フィルタ用)	標準プロフィール26項目
840	103	(16) 全部金属冠 (FMCほか)・FMC [TF-16] ¥	
841		[TF-16] (省略): 情報なし	
842		[TF-16] 00: 該当なし	
843		[TF-16] 01: 全部金属冠 (FMCほか)・FMC	
844	104	(17) 前装冠 (HR、MBほか)・HR [TF-17] ¥	
845		[TF-17] (省略): 情報なし	
846		[TF-17] 00: 該当なし	
847		[TF-17] 01: 前装冠 (HR、MBほか)・HR	
848	105	(18) HJC、セラミックほか・HJC [TF-18] ¥	
849		[TF-18] (省略): 情報なし	
850		[TF-18] 00: 該当なし	
851		[TF-18] 01: HJC、セラミックほか・HJC	
852	106	(19) 支台歯 (インプラントも可)・Abu [TF-19] ¥	
853		[TF-19] (省略): 情報なし	
854		[TF-19] 00: 該当なし	
855		[TF-19] 01: 支台歯 (インプラントも可)・Abu	
856	107	(20) ポンテック・Pon [TF-20] ¥	
857		[TF-20] (省略): 情報なし	
858		[TF-20] 00: 該当なし	
859		[TF-20] 01: ポンテック・Pon	
860	108	(21) 残根・根面被りほか・C4 [TF-21] ¥	
861		[TF-21] (省略): 情報なし	
862		[TF-21] 00: 該当なし	
863		[TF-21] 01: 残根・根面被りほか・C4	
864	109	(22) 欠損・MAM [TF-22] ¥	
865		[TF-22] (省略): 情報なし	
866		[TF-22] 00: 該当なし	
867		[TF-22] 01: 欠損・MAM	
868	110	(23) 死後脱落の疑い・MPM [TF-23] ¥	
869		[TF-23] (省略): 情報なし	
870		[TF-23] 00: 該当なし	
871		[TF-23] 01: 死後脱落の疑い・MPM	
872	111	(24) 義歯 (人工歯あり)・Den [TF-24] ¥	
873		[TF-24] (省略): 情報なし	
874		[TF-24] 00: 該当なし	
875		[TF-24] 01: 義歯 (人工歯あり)・Den	
876	112	(25) インプラント・Impl [TF-25] ¥	
877		[TF-25] (省略): 情報なし	
878		[TF-25] 00: 該当なし	
879		[TF-25] 01: インプラント・Impl	
880	113	(26) 仮歯 (TEK、プロビ等)あり・TeC [TF-26] ¥	
881		[TF-26] (省略): 情報なし	
882		[TF-26] 00: 該当なし	
883		[TF-26] 01: 仮歯 (TEK、プロビ等)あり・TeC	
884	114	(27) 歯あり (状態不明)・Pre [TF-27] ¥	
885		[TF-27] (省略): 情報なし	
886		[TF-27] 00: 該当なし	
887		[TF-27] 01: 歯あり (状態不明)・Pre	
888	115	(28) 情報なし・Non [TF-28] ¥	
889		[TF-28] (省略): 情報なし	
890		[TF-28] 00: 該当なし	
891		[TF-28] 01: 情報なし・Non	
892	116	4) 歯の診査情報レコードユニット4.7) VII. 歯科人間ドック検査表パート (TH)	
893		(1) レコード識別情報 [TH-1] ¥	
894	117	(2) 歯科人間ドック検査表情報の有無 [TH-2] ¥	
895		[TH-2] (省略): 情報なし	
896		[TH-2] 00: 該当なし	
897		[TH-2] 01: 歯科人間ドック検査表情報あり	
898	118	(3) う蝕 (疑わしい病名)の有無 [TH-3] ¥	
899		[TH-3] (省略): 情報なし	
900		[TH-3] 00: 疑わしい病名なし	
901		[TH-3] 01: 疑わしい病名あり	
902	119	(4) う蝕 (疑わしい病名) [TH-4] ¥	
903		[TH-4] (省略): 情報なし	
904		[TH-4] (文字列): 疑わしい病名	
905	120	(5) う蝕 (Per: 根尖性歯周炎 (根尖病巣)) [TH-5] ¥	
906		[TH-5] (省略): 情報なし	
907		[TH-5] 00: 該当なし	
908		[TH-5] 01: Per: 根尖性歯周炎 (根尖病巣)	
909	121	(6) う蝕 (Hys: 知覚過敏症) [TH-6] ¥	
910		[TH-6] (省略): 情報なし	
911		[TH-6] 00: 該当なし	
912		[TH-6] 01: Hys: 知覚過敏症	
913	122	(7) 歯周病 (動揺度) Miller [TH-7] ¥	
914		[TH-7] (省略): 情報なし	
915		[TH-7] 00: 該当なし	
916		[TH-7] 01: 動揺度0 生理的動揺 (0.2mm以内)	
917		[TH-7] 02: 動揺度1度: 軽度, 唇舌的に0.2~1mm	
918		[TH-7] 03: 動揺度2度: 中等度, 唇舌, 近遠心的に1~2mm	
919		[TH-7] 04: 動揺度3度: 高度, 唇舌, 近遠心的に2mm以上, また垂直方向の舞踏状動揺	
920	123	(8) 歯周病 (根分岐部病変) [TH-8] ¥	
921		[TH-8] (省略): 情報なし	
922		[TH-8] 00: 該当なし	
923		[TH-8] 01: 根分岐部病変あり	
924	124	(9) 歯周病 (角化歯肉の有無) [TH-9] ¥	
925		[TH-9] (省略): 情報なし	
926		[TH-9] 00: 該当なし	
927		[TH-9] 01: 角化歯肉あり	
928	125	(10) 歯周病 (PSR (Periodontal Screening and Recording)) [TH-10] ¥	
929		[TH-10] (省略): 情報なし	
930		[TH-10] 00: 該当なし	
931		[TH-10] 01: 0	
932		[TH-10] 02: 1	
933		[TH-10] 03: 2	
934		[TH-10] 04: 3	
935		[TH-10] 05: 4	
936		[TH-10] 06: *	
937	126	(11) 歯周病 (P I I (Plaque Index)) [TH-11] ¥	
938		[TH-11] (省略): 情報なし	
939		[TH-11] 00: 該当なし	
940		[TH-11] (数字): P I I値 (4歯面の0, 1, 2, 3の計/4)	
941	127	5) 矯正関係レコード (KK)	
942		(1) レコード識別情報 [KK-1] ¥	
943	128	(2) 矯正関係情報の有無 [KK-2] ¥	

連番	¥連番	項目名と項目コード (¥ : フィルタ用)	標準プロファイル26項目
944		[KK-2] 00 : 矯正関係情報なし	
945		[KK-2] 01 : 矯正関係情報あり	
946	129	(3) 歯列の異常 [KK-3] ¥	
947		[KK-3] (省略) : 情報なし	
948		[KK-3] 00 : 該当なし	
949		[KK-3] 01 : 狭窄歯列弓	
950		[KK-3] 02 : V字型歯列弓	
951		[KK-3] 03 : 鞍状歯列弓	
952		[KK-3] 04 : 空隙歯列弓	
953	130	(4) 咬合関係の異常 [KK-4] ¥	
954		[KK-4] (省略) : 情報なし	
955		[KK-4] 00 : 該当なし	
956		[KK-4] 01 : 開咬	
957		[KK-4] 02 : 切端咬合	
958		[KK-4] 03 : 反対咬合	
959		[KK-4] 04 : 過蓋咬合	
960		[KK-4] 05 : 交叉咬合 (左)	
961		[KK-4] 06 : 交叉咬合 (右)	
962		[KK-4] 07 : 缺状咬合	
963		[KK-4] 08 : 上顎前突	
964		[KK-4] 09 : 下顎前突	
965		[KK-4] 10 : 上下顎前突	
966	131	(5) 唇顎口蓋裂 [KK-5] ¥	
967		[KK-5] (省略) : 情報なし	
968		[KK-5] 00 : 該当なし	
969		[KK-5] 01 : 唇裂	
970		[KK-5] 02 : 顎裂	
971		[KK-5] 03 : 口蓋裂	
972		[KK-5] 04 : 唇顎裂	
973		[KK-5] 05 : 唇顎口蓋裂	
974		[KK-5] 06 : 唇裂の手術痕	
975		[KK-5] 07 : 顎裂の手術痕	
976		[KK-5] 08 : 口蓋裂の手術痕	
977		[KK-5] 09 : 唇顎裂の手術痕	
978		[KK-5] 10 : 唇顎口蓋裂の手術痕	
979	132	(6) 矯正装置 [KK-6] ¥	
980		[KK-6] (省略) : 情報なし	
981		[KK-6] 00 : 該当なし	
982		[KK-6] 01 : 唇側矯正装置	
983		[KK-6] 02 : 舌側矯正装置	
984		[KK-6] 03 : 床矯正装置	
985	133	(7) その他の矯正情報の有無 [KK-7] ¥	
986		[KK-7] (省略) : 情報なし	
987		[KK-7] 00 : 該当なし (その他の矯正情報なし)	
988		[KK-7] 01 : その他の矯正情報あり	
989	134	(8) その他の矯正情報 [KK-8] ¥	
990		[KK-8] (省略) : 情報なし	
991		[KK-8] (文字列) : その他の矯正情報	
992	135	(9) その他の矯正情報・菌式 [KK-9] ¥	
993		[KK-9] (省略) : 情報なし	
994		[KK-9] (菌式コード) : その他の矯正情報・菌式	
995	136	6) その他の疾病及び異常レコード (SI) (1) レコード識別情報 [SI-1] ¥	
996		[SI-1] SI : その他の疾病及び異常レコード	
997	137	(2) その他の疾病及び異常の有無 [SI-2] ¥	
998		[SI-2] 00 : その他の疾病及び異常なし	
999		[SI-2] 01 : その他の疾病及び異常あり	
1000	138	(3) 小帯の異常 [SI-3] ¥	
1001		[SI-3] (省略) : 情報なし	
1002		[SI-3] 00 : 該当なし	
1003		[SI-3] 01 : 上唇小帯異常	
1004		[SI-3] 02 : 下唇小帯異常	
1005		[SI-3] 03 : 舌小帯異常	
1006		[SI-3] 04 : 頬小帯異常	
1007	139	(4) 骨瘤 [SI-4] ¥	
1008		[SI-4] (省略) : 情報なし	
1009		[SI-4] 00 : 該当なし	
1010		[SI-4] 01 : 骨瘤 (唇側・頬側) (T or)	
1011		[SI-4] 02 : 骨瘤 (舌側・口蓋側) (T or)	
1012		[SI-4] 03 : 骨瘤 (唇側・頬側および舌側・口蓋側) (T or)	
1013		[SI-4] 04 : 骨瘤 (側不明) (T or)	
1014	140	(5) 骨瘤・菌式 [SI-5] ¥	
1015		[SI-5] (省略) 情報なし	
1016		[SI-5] (菌式コード) 骨瘤 (骨隆起) ・菌式	
1017	141	(5) 口蓋隆起 [SI-5] ¥	
1018		[SI-5] (省略) : 情報なし	
1019		[SI-5] 00 : 該当なし	
1020		[SI-5] 01 : 口蓋隆起	
1021	142	(6) その他の疾病及び異常 [SI-6] ¥	
1022		[SI-6] (省略) : 情報なし	
1023		[SI-6] (文字列) : その他の疾病及び異常	
1024	143	(7) その他の疾病及び異常・菌式 [SI-7] ¥	
1025		[SI-7] (省略) : 情報なし	
1026		[SI-7] (菌式コード) : その他の疾病及び異常・菌式	
1027	144	7) 所見・特記事項レコード (SK) (1) レコード識別情報 [SK-1] ¥	
1028		[SK-1] SK : 所見・特記事項レコード識別情報	
1029	145	(2) 所見・特記事項の有無 [SK-2] ¥	
1030		[SK-2] 00 : 所見・特記事項なし	
1031		[SK-2] 01 : 所見・特記事項あり	
1032	146	(3) 所見・特記事項 [SK-3] ¥	
1033		[SK-3] (省略) : 情報なし	
1034		[SK-3] (文字列) : 所見・特記事項	
1035	147	(4) 所見・特記事項・菌式 [SK-4] ¥	
1036		[SK-4] (省略) : 情報なし	
1037		[SK-4] (菌式コード) : 所見・特記事項・菌式	
1038	148	8) 歯科健診等補足項目レコード (HK) (1) レコード識別情報 [HK-1] ¥	
1039		[HK-1] HK : 歯科健診用補足項目レコード識別情報	
1040	149	(2) 歯科健診等の種別 [HK-2] ¥	
1041		[HK-2] 00 : 該当なし	
1042		[HK-2] 01 : 妊産婦歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	
1043		[HK-2] 02 : 1歳児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	
1044		[HK-2] 03 : 1歳6か月児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	
1045		[HK-2] 04 : 2歳児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	
1046		[HK-2] 05 : 3歳児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	

口腔診査情報標準コード仕様項目と標準プロファイル26項目との対応表20170321

連番	Y連番	項目名と項目コード (¥: フィルタ用)	標準プロファイル26項目
1047		[HK-2] 06: 4歳児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	
1048		[HK-2] 07: 5歳児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	
1049		[HK-2] 08: 6歳児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式)	
1050		[HK-2] 09: 就学時健康診断	
1051		[HK-2] 10: 学校歯科健康診断	
1052		[HK-2] 11: 成人歯科健康診査 (事業所歯科健診、歯周病検診含む)	
1053		[HK-2] 12: 後期高齢者歯科口腔健康診査	
1054		[HK-2] 13: 歯科特殊健康診査 (歯の酸蝕症)	
1055		[HK-2] 14: 歯科人間ドック検査	
1056		[HK-2] 15: かかりつけ連携手帳	
1057		[HK-2] 16: WHO口腔健康診査 成人用	
1058		[HK-2] 17: WHO口腔健康診査 小児用	
1059	150	8. 1) I. 妊産婦歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式) 補足項目 (E01) (3) 初回診査年月日 [HK.E01-3] ¥	
1060		[HK.E01-3] (省略): 情報なし	
1061		[HK.E01-3] (数字): 初回診査年月日	
1062	151	(4) 妊娠・産後の別 [HK.E01-4] ¥	
1063		[HK.E01-4] 01: 妊娠	
1064		[HK.E01-4] 02: 産後	
1065	152	(5) 妊娠・産後週 [HK.E01-5] ¥	
1066		[HK.E01-5] (省略): 情報なし	
1067		[HK.E01-5] (数字): 妊娠・産後週数	
1068	153	(6) 要治療のむし歯 [HK.E01-6] ¥	
1069		[HK.E01-6] (省略): 情報なし	
1070		[HK.E01-6] 00: なし	
1071		[HK.E01-6] 01: あり	
1072	154	(7) 要治療のむし歯ありの本数 [HK.E01-7] ¥	
1073		[HK.E01-7] (省略): 情報なし	
1074		[HK.E01-7] (数字): 要治療のむし歯ありの本数	
1075	155	(8) 歯石 [HK.E01-8] ¥	
1076		[HK.E01-8] (省略): 情報なし	
1077		[HK.E01-8] 00: なし	
1078		[HK.E01-8] 01: あり	
1079	156	(9) 歯肉の炎症 [HK.E01-9] ¥	
1080		[HK.E01-9] (省略): 情報なし	
1081		[HK.E01-9] 00: なし	
1082		[HK.E01-9] 01: あり (要指導)	
1083		[HK.E01-9] 02: あり (要治療)	
1084	157	(10) 特記事項 [HK.E01-10] ¥	
1085		[HK.E01-10] (省略): 情報なし	
1086		[HK.E01-10] (文字列): 特記事項	
1087	158	8. 2) II. 1歳児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式) 補足項目 (E02) (3) 年齢 (歳) [HK.E02-3] ¥	
1088		[HK.E02-3] (数字): 年齢 (歳)	
1089	159	(4) 年齢 (か月) [HK.E02-4] ¥	
1090		[HK.E02-4] (数字): 年齢 (か月)	
1091	160	(5) むし歯の罹患型 [HK.E02-5] ¥	
1092		[HK.E02-5] (省略): 情報なし	
1093		[HK.E02-5] 01: O1: むし歯なし、歯もきれい	
1094		[HK.E02-5] 02: O2: むし歯なし、歯の汚れ多い	
1095		[HK.E02-5] 03: A: 奥歯または前歯にむし歯	
1096		[HK.E02-5] 04: B: 奥歯と前歯にむし歯	
1097		[HK.E02-5] 05: C: 下前歯にもむし歯	
1098	161	(6) 要治療のむし歯 [HK.E02-6] ¥	
1099		[HK.E02-6] (省略): 情報なし	
1100		[HK.E02-6] 00: なし	
1101		[HK.E02-6] 01: あり	
1102	162	(7) 要治療のむし歯ありの本数 [HK.E02-7] ¥	
1103		[HK.E02-7] (省略): 情報なし	
1104		[HK.E02-7] (数字): 要治療のむし歯ありの本数	
1105	163	(8) 歯の汚れ [HK.E02-8] ¥	
1106		[HK.E02-8] (省略): 情報なし	
1107		[HK.E02-8] 01: きれい	
1108		[HK.E02-8] 02: 少ない	
1109		[HK.E02-8] 03: 多い	
1110	164	(9) 歯肉・粘膜異常の有無 [HK.E02-9] ¥	
1111		[HK.E02-9] (省略): 情報なし	
1112		[HK.E02-9] 00: なし	
1113		[HK.E02-9] 01: あり	
1114	165	(10) 歯肉・粘膜異常の内容 [HK.E02-10] ¥	
1115		[HK.E02-10] (省略): 情報なし	
1116		[HK.E02-10] (文字列): 歯肉・粘膜異常の内容	
1117	166	(11) かみ合わせ [HK.E02-11] ¥	
1118		[HK.E02-11] (省略): 情報なし	
1119		[HK.E02-11] 01: よい	
1120		[HK.E02-11] 02: 経過観察	
1121	167	(12) かみ合わせ経過観察の内容 [HK.E02-12] ¥	
1122		[HK.E02-12] (省略): 情報なし	
1123		[HK.E02-12] (文字列): かみ合わせ経過観察の内容	
1124	168	(13) 特記事項 [HK.E02-13] ¥	
1125		[HK.E02-13] (省略): 情報なし	
1126		[HK.E02-13] (文字列): 特記事項	
1127	169	8. 3) III. 1歳6か月児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式) 補足項目 (E03) (3) 年齢 (歳) [HK.E03-3] ¥	
1128		[HK.E03-3] (数字): 年齢 (歳)	
1129	170	(4) 年齢 (か月) [HK.E03-4] ¥	
1130		[HK.E03-4] (数字): 年齢 (か月)	
1131	171	(5) むし歯の罹患型 [HK.E03-5] ¥	
1132		[HK.E03-5] (省略): 情報なし	
1133		[HK.E03-5] 01: O1: むし歯なし、歯もきれい	
1134		[HK.E03-5] 02: O2: むし歯なし、歯の汚れ多い	
1135		[HK.E03-5] 03: A: 奥歯または前歯にむし歯	
1136		[HK.E03-5] 04: B: 奥歯と前歯にむし歯	
1137		[HK.E03-5] 05: C: 下前歯にもむし歯	
1138	172	(6) 要治療のむし歯 [HK.E03-6] ¥	
1139		[HK.E03-6] (省略): (情報なし)	
1140		[HK.E03-6] 00: なし	
1141		[HK.E03-6] 01: あり	
1142	173	(7) 要治療のむし歯ありの本数 [HK.E03-7] ¥	
1143		[HK.E03-7] (省略): 情報なし	
1144		[HK.E03-7] (数字): 要治療のむし歯ありの本数	
1145	174	(8) 歯の汚れ [HK.E03-8] ¥	
1146		[HK.E03-8] (省略): 情報なし	
1147		[HK.E03-8] 01: きれい	
1148		[HK.E03-8] 02: 少ない	
1149		[HK.E03-8] 03: 多い	

連番	¥連番	項目名と項目コード (¥: フィルタ用)	標準プロファイル26項目
1150	175	(9) 歯肉・粘膜異常の有無 [HK.E03-9] ¥	
1151		[HK.E03-9] (省略): 情報なし	
1152		[HK.E03-9] 00: なし	
1153		[HK.E03-9] 01: あり	
1154	176	(10) 歯肉・粘膜異常の内容 [HK.E03-10] ¥	
1155		[HK.E03-10] (省略): 情報なし	
1156		[HK.E03-10] (文字列): 歯肉・粘膜異常の内容	
1157	177	(11) かみ合わせ [HK.E03-11] ¥	
1158		[HK.E03-11] (省略): 情報なし	
1159		[HK.E03-11] 01: よい	
1160		[HK.E03-11] 02: 経過観察	
1161	178	(12) かみ合わせ経過観察の内容 [HK.E03-12] ¥	
1162		[HK.E03-12] (省略): 情報なし	
1163		[HK.E03-12] (文字列): かみ合わせ経過観察の内容	
1164	179	(13) 特記事項 [HK.E03-13] ¥	
1165		[HK.E03-13] (省略): 情報なし	
1166		[HK.E03-13] (文字列): 特記事項	
1167	180	8.4) IV. 2歳児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式) 補足項目 (E04)	
1168		(3) 年齢 (歳) [HK.E04-3] ¥	
1169	181	(4) 年齢 (か月) [HK.E04-4] ¥	
1170		[HK.E04-4] (数字): 年齢 (か月)	
1171	182	(5) むし歯の罹患型 [HK.E04-5] ¥	
1172		[HK.E04-5] (省略): 情報なし	
1173		[HK.E04-5] 01: O1: むし歯なし、歯もきれい	
1174		[HK.E04-5] 02: O2: むし歯なし、歯の汚れ多い	
1175		[HK.E04-5] 03: A: 奥歯または前歯にむし歯	
1176		[HK.E04-5] 04: B: 奥歯と前歯にむし歯	
1177		[HK.E04-5] 05: C: 下前歯にもむし歯	
1178	183	(6) 要治療のむし歯 [HK.E04-6] ¥	
1179		[HK.E04-6] (省略): 情報なし	
1180		[HK.E04-6] 00: なし	
1181		[HK.E04-6] 01: あり	
1182	184	(7) 要治療のむし歯ありの本数 [HK.E04-7] ¥	
1183		[HK.E04-7] (省略): 情報なし	
1184		[HK.E04-7] (数字): 要治療のむし歯ありの本数	
1185	185	(8) 歯の汚れ [HK.E04-8] ¥	
1186		[HK.E04-8] (省略): 情報なし	
1187		[HK.E04-8] 01: きれい	
1188		[HK.E04-8] 02: 少ない	
1189		[HK.E04-8] 03: 多い	
1190	186	(9) 歯肉・粘膜異常の有無 [HK.E04-9] ¥	
1191		[HK.E04-9] (省略): 情報なし	
1192		[HK.E04-9] 00: なし	
1193		[HK.E04-9] 01: あり	
1194	187	(10) 歯肉・粘膜異常の内容 [HK.E04-10] ¥	
1195		[HK.E04-10] (省略): 情報なし	
1196		[HK.E04-10] (文字列): 歯肉・粘膜異常ありの内容	
1197	188	(11) かみ合わせ [HK.E04-11] ¥	
1198		[HK.E04-11] (省略): 情報なし	
1199		[HK.E04-11] 01: よい	
1200		[HK.E04-11] 02: 経過観察	
1201	189	(12) かみ合わせ経過観察の内容 [HK.E04-12] ¥	
1202		[HK.E04-12] (省略): 情報なし	
1203		[HK.E04-12] (文字列): かみ合わせ経過観察の内容	
1204	190	(13) 特記事項 [HK.E04-13] ¥	
1205		[HK.E04-13] (省略): 情報なし	
1206		[HK.E04-13] (文字列): 特記事項	
1207	191	8.5) V. 3歳児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式) 補足項目 (E05)	
1208		(3) 年齢 (歳) [HK.E05-3] ¥	
1209	192	(4) 年齢 (か月) [HK.E05-4] ¥	
1210		[HK.E05-4] (数字): 年齢 (か月)	
1211	193	(5) むし歯の罹患型 [HK.E05-5] ¥	
1212		[HK.E05-5] (省略): 情報なし	
1213		[HK.E05-5] 01: O: むし歯なし	
1214		[HK.E05-5] 02: A: 奥歯または前歯にむし歯	
1215		[HK.E05-5] 03: B: 奥歯と前歯にむし歯	
1216		[HK.E05-5] 04: C1: 下前歯がむし歯	
1217		[HK.E05-5] 05: C2: 下前歯やその他にむし歯	
1218	194	(6) 要治療のむし歯 [HK.E05-6] ¥	
1219		[HK.E05-6] (省略): 情報なし	
1220		[HK.E05-6] 00: なし	
1221		[HK.E05-6] 01: あり	
1222	195	(7) 要治療のむし歯ありの本数 [HK.E05-7] ¥	
1223		[HK.E05-7] (省略): 情報なし	
1224		[HK.E05-7] (数字): 要治療のむし歯ありの本数	
1225	196	(8) 歯の汚れ [HK.E05-8] ¥	
1226		[HK.E05-8] (省略): 情報なし	
1227		[HK.E05-8] 01: きれい	
1228		[HK.E05-8] 02: 少ない	
1229		[HK.E05-8] 03: 多い	
1230	197	(9) 歯肉・粘膜異常の有無 [HK.E05-9] ¥	
1231		[HK.E05-9] (省略): 情報なし	
1232		[HK.E05-9] 00: なし	
1233		[HK.E05-9] 01: あり	
1234	198	(10) 歯肉・粘膜異常の内容 [HK.E05-10] ¥	
1235		[HK.E05-10] (省略): 情報なし	
1236		[HK.E05-10] (文字列): 歯肉・粘膜異常ありの内容	
1237	199	(11) かみ合わせ [HK.E05-11] ¥	
1238		[HK.E05-11] (省略): 情報なし	
1239		[HK.E05-11] 01: よい	
1240		[HK.E05-11] 02: 経過観察	
1241	200	(12) かみ合わせ経過観察の内容 [HK.E05-12] ¥	
1242		[HK.E05-12] (省略): 情報なし	
1243		[HK.E05-12] (文字列): かみ合わせ経過観察の内容	
1244	201	(13) 特記事項 [HK.E05-13] ¥	
1245		[HK.E05-13] (省略): 情報なし	
1246		[HK.E05-13] (文字列): 特記事項	
1247	202	8.6) VI. 4歳児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式) 補足項目 (E06)	
1248		(3) 年齢 (歳) [HK.E06-3] ¥	
1249	203	(4) 年齢 (か月) [HK.E06-4] ¥	
1250		[HK.E06-4] (数字): 年齢 (か月)	
1251	204	(5) 要治療のむし歯 [HK.E06-5] ¥	
1252		[HK.E06-5] (省略): 情報なし	

連番	¥連番	項目名と項目コード (¥: フィルタ用)	標準プロファイル26項目
1253		[HK.E06-5] 00: なし	
1254		[HK.E06-5] 01: あり	
1255	205	(6) 要治療のむし歯ありの本数 [HK.E06-6] ¥	
1256		[HK.E06-6] (省略): 情報なし	
1257		[HK.E06-6] (数字): 要治療のむし歯ありの本数	
1258	206	(7) 歯の汚れ [HK.E06-7] ¥	
1259		[HK.E06-7] (省略): 情報なし	
1260		[HK.E06-7] 01: きれい	
1261		[HK.E06-7] 02: 少ない	
1262		[HK.E06-7] 03: 多い	
1263	207	(8) 歯肉・粘膜異常の有無 [HK.E06-8] ¥	
1264		[HK.E06-8] (省略): 情報なし	
1265		[HK.E06-8] 00: なし	
1266		[HK.E06-8] 01: あり	
1267	208	(9) 歯肉・粘膜異常の内容 [HK.E06-9] ¥	
1268		[HK.E06-9] (省略): 情報なし	
1269		[HK.E06-9] (文字列): 歯肉・粘膜異常の内容	
1270	209	(10) かみ合わせ [HK.E06-10] ¥	
1271		[HK.E06-10] (省略): 情報なし	
1272		[HK.E06-10] 01: よい	
1273		[HK.E06-10] 02: 経過観察	
1274	210	(11) かみ合わせ経過観察の内容 [HK.E06-11] ¥	
1275		[HK.E06-11] (省略): 情報なし	
1276		[HK.E06-11] (文字列): かみ合わせ経過観察の内容	
1277	211	(12) 特記事項 [HK.E06-12] ¥	
1278		[HK.E06-12] (省略): 情報なし	
1279		[HK.E06-12] (文字列): 特記事項	
1280	212	8.7) VII. 5歳児歯科健康診査(母子健康手帳省令様式) 補足項目 (E07)	
1281		(3) 年齢(歳) [HK.E07-3] ¥	
1282	213	(4) 年齢(か月) [HK.E07-4] ¥	
1283		[HK.E07-4] (数字): 年齢(か月)	
1284	214	(5) 要治療のむし歯 [HK.E07-5] ¥	
1285		[HK.E07-5] (省略): 情報なし	
1286		[HK.E07-5] 00: なし	
1287		[HK.E07-5] 01: あり	
1288	215	(6) 要治療のむし歯あり・乳歯の本数 [HK.E07-6] ¥	
1289		[HK.E07-6] (省略): 情報なし	
1290		[HK.E07-6] (数字): 要治療のむし歯あり・乳歯の本数	
1291	216	(7) 要治療のむし歯あり・永久歯の本数 [HK.E07-7] ¥	
1292		[HK.E07-7] (省略): 情報なし	
1293		[HK.E07-7] (数字): 要治療のむし歯あり・永久歯の本数	
1294	217	(8) 歯の汚れ [HK.E07-8] ¥	
1295		[HK.E07-8] (省略): 情報なし	
1296		[HK.E07-8] 01: きれい	
1297		[HK.E07-8] 02: 少ない	
1298		[HK.E07-8] 03: 多い	
1299	218	(9) 歯肉・粘膜異常の有無 [HK.E07-9] ¥	
1300		[HK.E07-9] (省略): 情報なし	
1301		[HK.E07-9] 00: なし	
1302		[HK.E07-9] 01: あり	
1303	219	(10) 歯肉・粘膜異常の内容 [HK.E07-10] ¥	
1304		[HK.E07-10] (省略): 情報なし	
1305		[HK.E07-10] (文字列): 歯肉・粘膜異常ありの内容	
1306	220	(11) かみ合わせ [HK.E07-11] ¥	
1307		[HK.E07-11] (省略): 情報なし	
1308		[HK.E07-11] 01: よい	
1309		[HK.E07-11] 02: 経過観察	
1310	221	(12) かみ合わせ経過観察の内容 [HK.E07-12] ¥	
1311		[HK.E07-12] (省略): 情報なし	
1312		[HK.E07-12] (文字列): かみ合わせ経過観察の内容	
1313	222	(13) 歯・口腔の疾病異常 [HK.E07-13] ¥	
1314		[HK.E07-13] (省略): 情報なし	
1315		[HK.E07-13] (文字列): 歯・口腔の疾病異常	
1316	223	(14) 特記事項 [HK.E07-14] ¥	
1317		[HK.E07-14] (省略): 情報なし	
1318		[HK.E07-14] (文字列): 特記事項	
1319	224	8.8) VIII. 6歳児歯科健康診査(母子健康手帳省令様式) 補足項目 (E08)	
1320		(3) 年齢(歳)常 [HK.E08-3] ¥	
1321	225	(4) 年齢(か月)常 [HK.E08-4] ¥	
1322		[HK.E08-4] (数字): 年齢(か月)	
1323	226	(5) 要治療のむし歯常 [HK.E08-5] ¥	
1324		[HK.E08-5] (省略): 情報なし	
1325		[HK.E08-5] 00: なし	
1326		[HK.E08-5] 01: あり	
1327	227	(6) 要治療のむし歯あり・乳歯の本数常 [HK.E08-6] ¥	
1328		[HK.E08-6] (省略): 情報なし	
1329		[HK.E08-6] (数字): 要治療のむし歯あり・乳歯の本数	
1330	228	(7) 要治療のむし歯あり・永久歯の本数常 [HK.E08-7] ¥	
1331		[HK.E08-7] (省略): 情報なし	
1332		[HK.E08-7] (数字): 要治療のむし歯あり・永久歯の本数	
1333	229	(8) 歯の汚れ常 [HK.E08-8] ¥	
1334		[HK.E08-8] (省略): 情報なし	
1335		[HK.E08-8] 01: きれい	
1336		[HK.E08-8] 02: 少ない	
1337		[HK.E08-8] 03: 多い	
1338	230	(9) 歯肉・粘膜異常常 [HK.E08-9] ¥	
1339		[HK.E08-9] (省略): 情報なし	
1340		[HK.E08-9] 00: なし	
1341		[HK.E08-9] 01: あり	
1342	231	(10) 歯肉・粘膜異常の内容常 [HK.E08-10] ¥	
1343		[HK.E08-10] (省略): 情報なし	
1344		[HK.E08-10] (文字列): 歯肉・粘膜異常ありの内容	
1345	232	(11) かみ合わせ常 [HK.E08-11] ¥	
1346		[HK.E08-11] (省略): 情報なし	
1347		[HK.E08-11] 01: よい	
1348		[HK.E08-11] 02: 経過観察	
1349	233	(12) かみ合わせ経過観察の内容 [HK.E08-12] ¥	
1350		[HK.E08-12] (省略): 情報なし	
1351		[HK.E08-12] (文字列): かみ合わせ経過観察の内容	
1352	234	(13) 歯・口腔の疾病異常 [HK.E08-13] ¥	
1353		[HK.E08-13] (省略): 情報なし	
1354		[HK.E08-13] (文字列): 歯・口腔の疾病異常	
1355	235	(14) 特記事項常 [HK.E08-14] ¥	
1356		[HK.E08-14] (省略): 情報なし	

連番	Y連番	項目名と項目コード (¥: フィルタ用)	標準プロファイル26項目
1357		[HK.E08-14] (文字列): 特記事項	
1358	236	8. 9) IX. 就学時健康診断補足項目 (E09)	
1359		(3) う歯数 (乳歯・処置歯数) [HK.E09-3] ¥	
1360	237	(4) う歯数 (乳歯・未処置歯数) [HK.E09-4] ¥	
1361		[HK.E09-4] (数字): う歯数 (乳歯・未処置歯数)	
1362	238	(5) う歯数 (永久歯・処置歯数) [HK.E09-5] ¥	
1363		[HK.E09-5] (数字): う歯数 (永久歯・処置歯数)	
1364	239	(6) う歯数 (永久歯・未処置歯数) [HK.E09-6] ¥	
1365		[HK.E09-6] (数字): う歯数 (永久歯・未処置歯数)	
1366	240	(7) 歯のその他の歯の疾病及び異常 [HK.E09-7] ¥	
1367		[HK.E09-7] (省略): 情報なし	
1368		[HK.E09-7] (文字列): 歯のその他の歯の疾病及び異常	
1369	241	(8) 口腔の疾病及び異常 [HK.E09-8] ¥	
1370		[HK.E09-8] (省略): 情報なし	
1371		[HK.E09-8] (文字列): 口腔の疾病及び異常	
1372	242	8. 10) X. 学校歯科健康診断補足項目 (E10)	
1373		(3) 年齢 [HK.E10-3] ¥	
1374	243	(4) 年度 [HK.E10-4] ¥	
1375		[HK.E10-4] (数字): 年度	
1376	244	(5) 顎関節 [HK.E10-5] ¥	
1377		[HK.E10-5] (省略): 情報なし	
1378		[HK.E10-5] 00: 異常なし	
1379		[HK.E10-5] 01: 要観察	
1380		[HK.E10-5] 02: 要精密検査	
1381	245	(6) 歯列・咬合 [HK.E10-6] ¥	
1382		[HK.E10-6] (省略): 情報なし	
1383		[HK.E10-6] 00: 異常なし	
1384		[HK.E10-6] 01: 要観察	
1385		[HK.E10-6] 02: 要精検	
1386	246	(7) 歯垢の状態 [HK.E10-7] ¥	
1387		[HK.E10-7] (省略): 情報なし	
1388		[HK.E10-7] 00: ほとんど付着なし	
1389		[HK.E10-7] 01: 歯面の1/3程度まで	
1390		[HK.E10-7] 02: 歯面の1/3を超える	
1391	247	(8) 歯肉の状態 [HK.E10-8] ¥	
1392		[HK.E10-8] (省略): 情報なし	
1393		[HK.E10-8] 00: 異常なし	
1394		[HK.E10-8] 01: 要観察G O	
1395		[HK.E10-8] 02: 要精密検査G	
1396	248	(9) 歯の状態 (乳歯・現在歯数) [HK.E10-9] ¥	
1397		[HK.E10-9] (省略): 情報なし	
1398		[HK.E10-9] (数字): 乳歯・現在歯数	
1399	249	(10) 歯の状態 (乳歯・未処置歯数) [HK.E10-10] ¥	
1400		[HK.E10-10] (省略): 情報なし	
1401		[HK.E10-10] (数字): 乳歯・未処置歯数	
1402	250	(11) 歯の状態 (乳歯・処置歯数) [HK.E10-11] ¥	
1403		[HK.E10-11] (省略): 情報なし	
1404		[HK.E10-11] (数字): 乳歯・処置歯数	
1405	251	(12) 歯の状態 (永久歯・現在歯数) [HK.E10-12] ¥	
1406		[HK.E10-12] (省略): 情報なし	
1407		[HK.E10-12] (数字): 永久歯・現在歯数	
1408	252	(13) 歯の状態 (永久歯・未処置歯数) [HK.E10-13] ¥	
1409		[HK.E10-13] (省略): 情報なし	
1410		[HK.E10-13] (数字): 永久歯・未処置歯数	
1411	253	(14) 歯の状態 (永久歯・処置歯数) [HK.E10-14] ¥	
1412		[HK.E10-14] (省略): 情報なし	
1413		[HK.E10-14] (数字): 永久歯・処置歯数	
1414	254	(15) 歯の状態 (永久歯・喪失歯数) [HK.E10-15] ¥	
1415		[HK.E10-15] (省略): 情報なし	
1416		[HK.E10-15] (数字): 永久歯・喪失歯数	
1417	255	(16) その他の疾病及び異常 [HK.E10-16] ¥	
1418		[HK.E10-16] (省略): 情報なし	
1419		[HK.E10-16] (省略): その他の疾病及び異常レコード (SI) 参照	
1420	256	(17) 学校歯科医所見 [HK.E10-17] ¥	
1421		[HK.E10-17] (省略): 情報なし	
1422		[HK.E10-17] (省略): 所見・特記事項レコード (SK) 参照	
1423	257	(18) 事後処置 [HK.E10-18] ¥	
1424		[HK.E10-18] (省略): 情報なし	
1425		[HK.E10-18] 01: 事後処置 (経過観察)	
1426		[HK.E10-18] 02: 事後処置 (指導)	
1427		[HK.E10-18] 03: 事後処置 (処置完了)	
1428	258	(19) 備考 [HK.E10-19] ¥	
1429		[HK.E10-19] (省略): 情報なし	
1430		[HK.E10-19] (文字列): 備考	
1431	259	8. 11) XI. 成人歯科健康診査 (事業所歯科健診、歯周病検診含む) 補足項目 (E11)	
1432		(3) 健全歯数 [HK.E11-3] ¥	
1433	260	(4) 未処置歯数 [HK.E11-4] ¥	
1434		[HK.E11-4] (数字): 未処置歯数 C	
1435	261	(5) 処置歯数 [HK.E11-5] ¥	
1436		[HK.E11-5] (数字): 処置歯数 O	
1437	262	(6) 現在歯数 [HK.E11-6] ¥	
1438		[HK.E11-6] (数字): 現在歯数 (健全歯数 / + 未処置歯数 C + 処置歯数 O)	
1439	263	(7) 要補綴歯数 [HK.E11-7] ¥	
1440		[HK.E11-7] (数字): 要補綴歯数 Δ	
1441	264	(8) 欠損補綴歯数 [HK.E11-8] ¥	
1442		[HK.E11-8] (数字): 欠損補綴歯数 (Δ)	
1443	265	(9) 補綴状況 (ブリッジ) [HK.E11-9] ¥	
1444		[TP-23] (省略): 情報なし	
1445		[TP-23] 00: 該当なし	
1446	266	(10) 補綴状況 (義歯) [HK.E11-10] ¥	
1447		[HK.E11-10] (省略): 情報なし	
1448		[HK.E11-10] (歯式コード): 義歯歯式	
1449	267	(11) 補綴状況 (インプラント) [HK.E11-11] ¥	
1450		[HK.E11-11] (省略): 情報なし	
1451		[HK.E11-11] (歯式コード): インプラント歯式	
1452	268	(12) 歯肉の状況 (C P I) ・BOP17又は16 [HK.E11-12] ¥	
1453		[HK.E11-12] (省略): 情報なし	
1454		[HK.E11-12] 00: 歯肉出血BOP (0: 健全)	
1455		[HK.E11-12] 01: 歯肉出血BOP (1: 出血あり)	
1456		[HK.E11-12] 02: 歯肉出血BOP (9: 除外歯)	
1457		[HK.E11-12] 03: 歯肉出血BOP (x: 該当歯なし)	
1458	269	(13) 歯肉の状況 (C P I) ・BOP11 [HK.E11-13] ¥	
1459		[HK.E11-13] (省略): 情報なし	

連番	Y連番	項目名と項目コード (¥: フィルタ用)	標準プロファイル26項目
1460		[HK.E11-13] 00: 歯肉出血BOP (O: 健全)	
1461		[HK.E11-13] 01: 歯肉出血BOP (1: 出血あり)	
1462		[HK.E11-13] 02: 歯肉出血BOP (9: 除外歯)	
1463		[HK.E11-13] 03: 歯肉出血BOP (x: 該当歯なし)	
1464	270	(1 4) 歯肉の状況 (C P I) ・BOP26又は27 [HK.E11-14] ¥	
1465		[HK.E11-14] (省略): 情報なし	
1466		[HK.E11-14] 00: 歯肉出血BOP (O: 健全)	
1467		[HK.E11-14] 01: 歯肉出血BOP (1: 出血あり)	
1468		[HK.E11-14] 02: 歯肉出血BOP (9: 除外歯)	
1469		[HK.E11-14] 03: 歯肉出血BOP (x: 該当歯なし)	
1470	271	(1 5) 歯肉の状況 (C P I) ・BOP47又は46 [HK.E11-15] ¥	
1471		[HK.E11-15] (省略): 情報なし	
1472		[HK.E11-15] 00: 歯肉出血BOP (O: 健全)	
1473		[HK.E11-15] 01: 歯肉出血BOP (1: 出血あり)	
1474		[HK.E11-15] 02: 歯肉出血BOP (9: 除外歯)	
1475		[HK.E11-15] 03: 歯肉出血BOP (x: 該当歯なし)	
1476	272	(1 6) 歯肉の状況 (C P I) ・BOP31 [HK.E11-16] ¥	
1477		[HK.E11-16] (省略): 情報なし	
1478		[HK.E11-16] 00: 歯肉出血BOP (O: 健全)	
1479		[HK.E11-16] 01: 歯肉出血BOP (1: 出血あり)	
1480		[HK.E11-16] 02: 歯肉出血BOP (9: 除外歯)	
1481		[HK.E11-16] 03: 歯肉出血BOP (x: 該当歯なし)	
1482	273	(1 7) 歯肉の状況 (C P I) ・BOP36又は37 [HK.E11-17] ¥	
1483		[HK.E11-17] (省略): 情報なし	
1484		[HK.E11-17] 00: 歯肉出血BOP (O: 健全)	
1485		[HK.E11-17] 01: 歯肉出血BOP (1: 出血あり)	
1486		[HK.E11-17] 02: 歯肉出血BOP (9: 除外歯)	
1487		[HK.E11-17] 03: 歯肉出血BOP (x: 該当歯なし)	
1488	274	(1 8) 歯肉の状況 (C P I) ・PD17又は16 [HK.E11-18] ¥	
1489		[HK.E11-18] (省略): 情報なし	
1490		[HK.E11-18] 00: 歯周ポケットPD (O: 健全)	
1491		[HK.E11-18] 01: 歯周ポケットPD (1: 浅いポケット)	
1492		[HK.E11-18] 02: 歯周ポケットPD (2: 深いポケット)	
1493		[HK.E11-18] 03: 歯周ポケットPD (9: 除外歯)	
1494		[HK.E11-18] 04: 歯周ポケットPD (x: 該当歯なし)	
1495	275	(1 9) 歯肉の状況 (C P I) ・PD11 [HK.E11-19] ¥	
1496		[HK.E11-19] (省略): 情報なし	
1497		[HK.E11-19] 00: 歯周ポケットPD (O: 健全)	
1498		[HK.E11-19] 01: 歯周ポケットPD (1: 浅いポケット)	
1499		[HK.E11-19] 02: 歯周ポケットPD (2: 深いポケット)	
1500		[HK.E11-19] 03: 歯周ポケットPD (9: 除外歯)	
1501		[HK.E11-19] 04: 歯周ポケットPD (x: 該当歯なし)	
1502	276	(2 0) 歯肉の状況 (C P I) ・PD26又は27 [HK.E11-20] ¥	
1503		[HK.E11-20] (省略): 情報なし	
1504		[HK.E11-20] 00: 歯周ポケットPD (O: 健全)	
1505		[HK.E11-20] 01: 歯周ポケットPD (1: 浅いポケット)	
1506		[HK.E11-20] 02: 歯周ポケットPD (2: 深いポケット)	
1507		[HK.E11-20] 03: 歯周ポケットPD (9: 除外歯)	
1508		[HK.E11-20] 04: 歯周ポケットPD (x: 該当歯なし)	
1509	277	(2 1) 歯肉の状況 (C P I) ・PD47又は46 [HK.E11-21] ¥	
1510		[HK.E11-21] (省略): 情報なし	
1511		[HK.E11-21] 00: 歯周ポケットPD (O: 健全)	
1512		[HK.E11-21] 01: 歯周ポケットPD (1: 浅いポケット)	
1513		[HK.E11-21] 02: 歯周ポケットPD (2: 深いポケット)	
1514		[HK.E11-21] 03: 歯周ポケットPD (9: 除外歯)	
1515		[HK.E11-21] 04: 歯周ポケットPD (x: 該当歯なし)	
1516	278	(2 2) 歯肉の状況 (C P I) ・PD31 [HK.E11-22] ¥	
1517		[HK.E11-22] (省略): 情報なし	
1518		[HK.E11-22] 00: 歯周ポケットPD (O: 健全)	
1519		[HK.E11-22] 01: 歯周ポケットPD (1: 浅いポケット)	
1520		[HK.E11-22] 02: 歯周ポケットPD (2: 深いポケット)	
1521		[HK.E11-22] 03: 歯周ポケットPD (9: 除外歯)	
1522		[HK.E11-22] 04: 歯周ポケットPD (x: 該当歯なし)	
1523	279	(2 3) 歯肉の状況 (C P I) ・PD36又は37 [HK.E11-23] ¥	
1524		[HK.E11-23] (省略): 情報なし	
1525		[HK.E11-23] 00: 歯周ポケットPD (O: 健全)	
1526		[HK.E11-23] 01: 歯周ポケットPD (1: 浅いポケット)	
1527		[HK.E11-23] 02: 歯周ポケットPD (2: 深いポケット)	
1528		[HK.E11-23] 03: 歯周ポケットPD (9: 除外歯)	
1529		[HK.E11-23] 04: 歯周ポケットPD (x: 該当歯なし)	
1530	280	(2 4) 歯肉の状況 (C P I) ・個人コード最大値歯肉出血 [HK.E11-24] ¥	
1531		[HK.E11-24] (省略): 情報なし	
1532		[HK.E11-24] 00: 歯肉出血BOP (O: 健全)	
1533		[HK.E11-24] 01: 歯肉出血BOP (1: 出血あり)	
1534		[HK.E11-24] 02: 歯肉出血BOP (9: 除外歯)	
1535		[HK.E11-24] 03: 歯肉出血BOP (x: 該当歯なし)	
1536	281	(2 5) 歯肉の状況 (C P I) ・個人コード最大値歯周ポケット [HK.E11-25] ¥	
1537		[HK.E11-25] (省略): 情報なし	
1538		[HK.E11-25] 00: 歯周ポケットPD (O: 健全)	
1539		[HK.E11-25] 01: 歯周ポケットPD (1: 浅いポケット)	
1540		[HK.E11-25] 02: 歯周ポケットPD (2: 深いポケット)	
1541		[HK.E11-25] 03: 歯周ポケットPD (9: 除外歯)	
1542		[HK.E11-25] 04: 歯周ポケットPD (x: 該当歯なし)	
1543	282	(2 6) 口腔清掃状態 [HK.E11-26] ¥	
1544		[HK.E11-26] (省略): 情報なし	
1545		[HK.E11-26] 01: 良好	
1546		[HK.E11-26] 02: 普通	
1547		[HK.E11-26] 03: 不良	
1548	283	(2 7) 歯石の付着 [HK.E11-27] ¥	
1549		[HK.E11-27] (省略): 情報なし	
1550		[HK.E11-27] 01: なし	
1551		[HK.E11-27] 02: 軽度 (点状) あり	
1552		[HK.E11-27] 03: 中等度 (帯状) 以上あり	
1553	284	(2 8) その他の所見 (歯列咬合) [HK.E11-28] ¥	
1554		[HK.E11-28] (省略): 情報なし	
1555		[HK.E11-28] 01: 所見なし	
1556		[HK.E11-28] 02: 所見あり	
1557	285	(2 9) その他の所見 (顎関節) [HK.E11-29] ¥	
1558		[HK.E11-29] (省略): 情報なし	
1559		[HK.E11-29] 01: 所見なし	
1560		[HK.E11-29] 02: 所見あり	
1561	286	(3 0) その他の所見 (粘膜) [HK.E11-30] ¥	
1562		[HK.E11-30] (省略): 情報なし	
1563		[HK.E11-30] 01: 所見なし	
1564		[HK.E11-30] 02: 所見あり	
1565	287	(3 1) その他 [HK.E11-31] ¥	

連番	Y連番	項目名と項目コード (¥ : フィルタ用)	標準プロファイル26項目
1566		[HK.E11-31] (省略) : 情報なし	
1567		[HK.E11-31] (文字列) : その他	
1568	288	(32) 判定区分 [HK.E11-32] ¥	
1569		[HK.E11-32] (省略) : 情報なし	
1570		[HK.E11-32] 01 : 1. 異常なし (CPI : 菌肉出血0かつ菌周ポケット0)	
1571		[HK.E11-32] 02 : 2. 要指導 (a. CPI : 菌肉出血1、かつ、菌周ポケット0)	
1572		[HK.E11-32] 03 : 2. 要指導 (b. 口腔清掃状態不良)	
1573		[HK.E11-32] 04 : 2. 要指導 (c. 歯石の付着あり (軽度、中等度以上))	
1574		[HK.E11-32] 05 : 2. 要指導 (d. 生活習慣や基礎疾患、歯科医療機関等の受診状況等、指導を要する。)	
1575		[HK.E11-32] 06 : 3. 要精密検査 (a. CPI : 菌周ポケット1)	
1576		[HK.E11-32] 07 : 3. 要精密検査 (b. CPI : 菌周ポケット2)	
1577		[HK.E11-32] 08 : 3. 要精密検査 (c. 未処置菌あり)	
1578		[HK.E11-32] 09 : 3. 要精密検査 (d. 要補綴菌あり)	
1579		[HK.E11-32] 10 : 3. 要精密検査 (e. 生活習慣や基礎疾患等、更に詳しい検査や治療を要する)	
1580		[HK.E11-32] 11 : 3. 要精密検査 (f. その他の所見あり (更に詳しい検査や治療が必要な場合))	
1581	289	(33) 指導内容・目標 [HK.E11-33] ¥	
1582		[HK.E11-33] (省略) : 情報なし	
1583		[HK.E11-33] (文字列) : 指導内容・目標	
1584	290	(34) 市町村への連絡事項 [HK.E11-34] ¥	
1585		[HK.E11-34] (省略) : 情報なし	
1586		[HK.E11-34] 01 : 検査した医療機関にて指導予定	
1587		[HK.E11-34] 02 : 検査した医療機関にて治療・経過観察・定期検診予定	
1588		[HK.E11-34] 03 : 他医療機関 (歯科) を紹介 (紹介先:)	
1589		[HK.E11-34] 04 : 他医療機関 (医科) を紹介 (紹介先:)	
1590	291	8.12) X II. 後期高齢者歯科口腔健康診査 (例示) 補足項目 (E12) (3) 歯の状態 (健全歯数) [HK.E12-3] ¥	
1591		[HK.E12-3] (数字) : 健全歯数	
1592	292	(4) 歯の状態 (未処置歯数) [HK.E12-4] ¥	
1593		[HK.E12-4] (数字) : 未処置歯数C	
1594	293	(5) 歯の状態 (処置歯数) [HK.E12-5] ¥	
1595		[HK.E12-5] (数字) : 処置歯数O	
1596	294	(6) 歯の状態 (現在歯数) [HK.E12-6] ¥	
1597		[HK.E12-6] (数字) : 現在歯数 (健全歯数 / + 未処置歯数C + 処置歯数O)	
1598	295	(7) 歯の状態 (要補綴歯数) [HK.E12-7] ¥	
1599		[HK.E12-7] (数字) : 要補綴歯数Δ	
1600	296	(8) 歯の状態 (欠損補綴歯数) [HK.E12-8] ¥	
1601		[HK.E12-8] (数字) : 欠損補綴歯数(Δ)	
1602	297	(9) 補綴状況 (ブリッジ) [HK.E12-9] ¥	
1603		[HK.E12-9] (省略) : 情報なし	
1604		[HK.E12-9] (歯式コード) : Br 歯式	
1605	298	(10) 補綴状況 (義歯) [HK.E12-10] ¥	
1606		[HK.E12-10] (省略) : 情報なし	
1607		[HK.E12-10] (歯式コード) : 義歯歯式	
1608	299	(11) 補綴状況 (インプラント) [HK.E12-11] ¥	
1609		[HK.E12-11] (省略) : 情報なし	
1610		[HK.E12-11] (歯式コード) : インプラント歯式	
1611	300	(12) 補綴状況 (上顎義歯の部位) [HK.E12-12] ¥	
1612		[HK.E12-12] (省略) : 情報なし	
1613		[HK.E12-12] 01 : 上顎総義歯	
1614		[HK.E12-12] 02 : 上顎局部義歯	
1615	301	(13) 補綴状況 (下顎義歯の部位) [HK.E12-13] ¥	
1616		[HK.E12-13] (省略) : 情報なし	
1617		[HK.E12-13] 01 : 下顎総義歯	
1618		[HK.E12-13] 02 : 下顎局部義歯	
1619	302	(14) 補綴状況 (上顎義歯の状況) [HK.E12-14] ¥	
1620		[HK.E12-14] (省略) : 情報なし	
1621		[HK.E12-14] 01 : 適合良好	
1622		[HK.E12-14] 02 : 義歯不適合	
1623		[HK.E12-14] 03 : 義歯破損	
1624	303	(15) 補綴状況 (下顎義歯の状況) [HK.E12-15] ¥	
1625		[HK.E12-15] (省略) : 情報なし	
1626		[HK.E12-15] 01 : 適合良好	
1627		[HK.E12-15] 02 : 義歯不適合	
1628		[HK.E12-15] 03 : 義歯破損	
1629	304	(16) 補綴状況 (義歯の必要性) [HK.E12-16] ¥	
1630		[HK.E12-16] (省略) : 情報なし	
1631		[HK.E12-16] 00 : 義歯の必要性なし	
1632		[HK.E12-16] 01 : 義歯の必要性あり	
1633	305	(17) 補綴状況 (インプラント) [HK.E12-17] ¥	
1634		[HK.E12-17] (省略) : 情報なし	
1635		[HK.E12-17] 00 : インプラントなし	
1636		[HK.E12-17] 01 : インプラントあり	
1637	306	(18) 咬合の状態 (アイヒナーの分類) [HK.E12-18] ¥	
1638		[HK.E12-18] (省略) : 情報なし	
1639		[HK.E12-18] 00 : 該当なし	
1640		[HK.E12-18] 01 : A1 : 歯冠修復のみ	
1641		[HK.E12-18] 02 : A2 : 上下顎のうち1顎のみ歯牙欠損あり	
1642		[HK.E12-18] 03 : A3 : 上下顎とも欠損あり	
1643		[HK.E12-18] 04 : B1 : 3つの支持域をもつ	
1644		[HK.E12-18] 05 : B2 : 2つの支持域をもつ	
1645		[HK.E12-18] 06 : B3 : 1つの支持域を持つ	
1646		[HK.E12-18] 07 : B4 : 支持域がない(前歯部のみ咬合接触がある)	
1647		[HK.E12-18] 08 : C1 : 上下顎に残存歯がある(すれ違い咬合)	
1648		[HK.E12-18] 09 : C2 : 上下顎のうち1顎が無歯顎	
1649		[HK.E12-18] 10 : C3 : 上下顎とも無歯顎	
1650	307	(19) 咬合の状態 (現在歯による臼歯部での咬合 右側) [HK.E12-19] ¥	
1651		[HK.E12-19] (省略) : 情報なし	
1652		[HK.E12-19] 00 : 右側なし	
1653		[HK.E12-19] 01 : 右側あり	
1654	308	(20) 咬合の状態 (現在歯による臼歯部での咬合 左側) [HK.E12-20] ¥	
1655		[HK.E12-20] (省略) : 情報なし	
1656		[HK.E12-20] 00 : 左側なし	
1657		[HK.E12-20] 01 : 左側あり	
1658	309	(21) 咬合の状態 (義歯装着による臼歯部での咬合 右側) [HK.E12-21] ¥	
1659		[HK.E12-21] (省略) : 情報なし	
1660		[HK.E12-21] 00 : 右側なし	
1661		[HK.E12-21] 01 : 右側あり	
1662	310	(22) 咬合の状態 (義歯装着による臼歯部での咬合 左側) [HK.E12-22] ¥	
1663		[HK.E12-22] (省略) : 情報なし	
1664		[HK.E12-22] 00 : 左側なし	
1665		[HK.E12-22] 01 : 左側あり	
1666	311	(23) 咀嚼力評価 [HK.E12-23] ¥	
1667		[HK.E12-23] (省略) : 情報なし	
1668		[HK.E12-23] 01 : 良好	
1669		[HK.E12-23] 02 : 普通	
1670		[HK.E12-23] 03 : 要注意	

口腔診査情報標準コード仕様項目と標準プロファイル26項目との対応表20170321

連番	Y連番	項目名と項目コード (Y: フィルタ用)	標準プロファイル26項目
1671	312	(24) 舌機能評価 [HK.E12-24] ¥	
1672		[HK.E12-24] (省略) : 情報なし	
1673		[HK.E12-24] 01: 良好	
1674		[HK.E12-24] 02: 普通	
1675		[HK.E12-24] 03: 要注意	
1676	313	(25) 嚥下機能評価 [HK.E12-25] ¥	
1677		[HK.E12-25] (省略) : 情報なし	
1678		[HK.E12-25] 01: 良好	
1679		[HK.E12-25] 02: 普通	
1680		[HK.E12-25] 03: 要注意	
1681	314	(26) 口腔衛生状態 (視診) (ブラークの付着状況) [HK.E12-26] ¥	
1682		[HK.E12-26] (省略) : 情報なし	
1683		[HK.E12-26] 00: 殆どない	
1684		[HK.E12-26] 01: 中程度	
1685		[HK.E12-26] 02: 多量	
1686	315	(27) 口腔衛生状態 (視診) (食渣) [HK.E12-27] ¥	
1687		[HK.E12-27] (省略) : 情報なし	
1688		[HK.E12-27] 00: 殆どない	
1689		[HK.E12-27] 01: 中程度	
1690		[HK.E12-27] 02: 多量	
1691	316	(28) 口腔衛生状態 (視診) (舌苔) [HK.E12-28] ¥	
1692		[HK.E12-28] (省略) : 情報なし	
1693		[HK.E12-28] 00: 殆どない	
1694		[HK.E12-28] 01: 中程度	
1695		[HK.E12-28] 02: 多量	
1696	317	(29) 口腔衛生状態 (視診) (口臭) [HK.E12-29] ¥	
1697		[HK.E12-29] (省略) : 情報なし	
1698		[HK.E12-29] 00: 殆どない	
1699		[HK.E12-29] 01: 弱い	
1700		[HK.E12-29] 02: 強い	
1701	318	(30) 口腔衛生状態 (視診) (義歯清掃状況) [HK.E12-30] ¥	
1702		[HK.E12-30] (省略) : 情報なし	
1703		[HK.E12-30] 00: 該当なし	
1704		[HK.E12-30] 01: 良好	
1705		[HK.E12-30] 02: 普通	
1706		[HK.E12-30] 03: 不良	
1707	319	(31) 口腔乾燥 (視診) [HK.E12-31] ¥	
1708		[HK.E12-31] (省略) : 情報なし	
1709		[HK.E12-31] 01: 正常	
1710		[HK.E12-31] 02: 軽度	
1711		[HK.E12-31] 03: 中程度	
1712		[HK.E12-31] 04: 重度	
1713	320	(32) 口腔乾燥 (口腔水分計等) [HK.E12-32] ¥	
1714		[HK.E12-32] (省略) : 情報なし	
1715		[HK.E12-32] 00: なし	
1716		[HK.E12-32] 01: あり	
1717		[HK.E12-32] 02: 重度	
1718	321	(33) 歯肉の状況 (CPI) ・BOP17又は16 [HK.E12-33] ¥	
1719		[HK.E12-33] (省略) : 情報なし	
1720		[HK.E12-33] 00: 歯肉出血BOP (0: 健全)	
1721		[HK.E12-33] 01: 歯肉出血BOP (1: 出血あり)	
1722		[HK.E12-33] 02: 歯肉出血BOP (9: 除外歯)	
1723		[HK.E12-33] 03: 歯肉出血BOP (x: 該当歯なし)	
1724	322	(34) 歯肉の状況 (CPI) ・BOP11 [HK.E12-34] ¥	
1725		[HK.E12-34] (省略) : 情報なし	
1726		[HK.E12-34] 00: 歯肉出血BOP (0: 健全)	
1727		[HK.E12-34] 01: 歯肉出血BOP (1: 出血あり)	
1728		[HK.E12-34] 02: 歯肉出血BOP (9: 除外歯)	
1729		[HK.E12-34] 03: 歯肉出血BOP (x: 該当歯なし)	
1730	323	(35) 歯肉の状況 (CPI) ・BOP26又は27 [HK.E12-35] ¥	
1731		[HK.E12-35] (省略) : 情報なし	
1732		[HK.E12-35] 00: 歯肉出血BOP (0: 健全)	
1733		[HK.E12-35] 01: 歯肉出血BOP (1: 出血あり)	
1734		[HK.E12-35] 02: 歯肉出血BOP (9: 除外歯)	
1735		[HK.E12-35] 03: 歯肉出血BOP (x: 該当歯なし)	
1736	324	(36) 歯肉の状況 (CPI) ・BOP47又は46 [HK.E12-36] ¥	
1737		[HK.E12-36] (省略) : 情報なし	
1738		[HK.E12-36] 00: 歯肉出血BOP (0: 健全)	
1739		[HK.E12-36] 01: 歯肉出血BOP (1: 出血あり)	
1740		[HK.E12-36] 02: 歯肉出血BOP (9: 除外歯)	
1741		[HK.E12-36] 03: 歯肉出血BOP (x: 該当歯なし)	
1742	325	(37) 歯肉の状況 (CPI) ・BOP31 [HK.E12-37] ¥	
1743		[HK.E12-37] (省略) : 情報なし	
1744		[HK.E12-37] 00: 歯肉出血BOP (0: 健全)	
1745		[HK.E12-37] 01: 歯肉出血BOP (1: 出血あり)	
1746		[HK.E12-37] 02: 歯肉出血BOP (9: 除外歯)	
1747		[HK.E12-37] 03: 歯肉出血BOP (x: 該当歯なし)	
1748	326	(38) 歯肉の状況 (CPI) ・BOP36又は37 [HK.E12-38] ¥	
1749		[HK.E12-38] (省略) : 情報なし	
1750		[HK.E12-38] 00: 歯肉出血BOP (0: 健全)	
1751		[HK.E12-38] 01: 歯肉出血BOP (1: 出血あり)	
1752		[HK.E12-38] 02: 歯肉出血BOP (9: 除外歯)	
1753		[HK.E12-38] 03: 歯肉出血BOP (x: 該当歯なし)	
1754	327	(39) 歯肉の状況 (CPI) ・PD17又は16 [HK.E12-39] ¥	
1755		[HK.E12-39] (省略) : 情報なし	
1756		[HK.E12-39] 00: 歯周ポケットPD (0: 健全)	
1757		[HK.E12-39] 01: 歯周ポケットPD (1: 浅いポケット)	
1758		[HK.E12-39] 02: 歯周ポケットPD (2: 深いポケット)	
1759		[HK.E12-39] 03: 歯周ポケットPD (9: 除外歯)	
1760		[HK.E12-39] 04: 歯周ポケットPD (x: 該当歯なし)	
1761	328	(40) 歯肉の状況 (CPI) ・PD11 [HK.E12-40] ¥	
1762		[HK.E12-40] (省略) : 情報なし	
1763		[HK.E12-40] 00: 歯周ポケットPD (0: 健全)	
1764		[HK.E12-40] 01: 歯周ポケットPD (1: 浅いポケット)	
1765		[HK.E12-40] 02: 歯周ポケットPD (2: 深いポケット)	
1766		[HK.E12-40] 03: 歯周ポケットPD (9: 除外歯)	
1767		[HK.E12-40] 04: 歯周ポケットPD (x: 該当歯なし)	
1768	329	(41) 歯肉の状況 (CPI) ・PD26又は27 [HK.E12-41] ¥	
1769		[HK.E12-41] (省略) : 情報なし	
1770		[HK.E12-41] 00: 歯周ポケットPD (0: 健全)	
1771		[HK.E12-41] 01: 歯周ポケットPD (1: 浅いポケット)	
1772		[HK.E12-41] 02: 歯周ポケットPD (2: 深いポケット)	
1773		[HK.E12-41] 03: 歯周ポケットPD (9: 除外歯)	
1774		[HK.E12-41] 04: 歯周ポケットPD (x: 該当歯なし)	
1775	330	(42) 歯肉の状況 (CPI) ・PD47又は46 [HK.E12-42] ¥	
1776		[HK.E12-42] (省略) : 情報なし	

連番	Y連番	項目名と項目コード (¥: フィルタ用)	標準プロファイル26項目
1777		[HK.E12-42] 00: 菌周ポケットPD (0: 健全)	
1778		[HK.E12-42] 01: 菌周ポケットPD (1: 浅いポケット)	
1779		[HK.E12-42] 02: 菌周ポケットPD (2: 深いポケット)	
1780		[HK.E12-42] 03: 菌周ポケットPD (9: 除外菌)	
1781		[HK.E12-42] 04: 菌周ポケットPD (x: 該当菌なし)	
1782	331	(4 3) 菌肉の状況 (C P I) ・PD31 [HK.E12-43] ¥	
1783		[HK.E12-43] (省略): 情報なし	
1784		[HK.E12-43] 00: 菌周ポケットPD (0: 健全)	
1785		[HK.E12-43] 01: 菌周ポケットPD (1: 浅いポケット)	
1786		[HK.E12-43] 02: 菌周ポケットPD (2: 深いポケット)	
1787		[HK.E12-43] 03: 菌周ポケットPD (9: 除外菌)	
1788		[HK.E12-43] 04: 菌周ポケットPD (x: 該当菌なし)	
1789	332	(4 4) 菌肉の状況 (C P I) ・PD36又は37 [HK.E12-44] ¥	
1790		[HK.E12-44] (省略): 情報なし	
1791		[HK.E12-44] 00: 菌周ポケットPD (0: 健全)	
1792		[HK.E12-44] 01: 菌周ポケットPD (1: 浅いポケット)	
1793		[HK.E12-44] 02: 菌周ポケットPD (2: 深いポケット)	
1794		[HK.E12-44] 03: 菌周ポケットPD (9: 除外菌)	
1795		[HK.E12-44] 04: 菌周ポケットPD (x: 該当菌なし)	
1796	333	(4 5) 菌肉の状況 (C P I) ・個人コード最大値菌肉出血 [HK.E12-45] ¥	
1797		[HK.E12-45] (省略): 情報なし	
1798		[HK.E12-45] 00: 菌肉出血BOP (0: 健全)	
1799		[HK.E12-45] 01: 菌肉出血BOP (1: 出血あり)	
1800		[HK.E12-45] 02: 菌肉出血BOP (9: 除外菌)	
1801		[HK.E12-45] 03: 菌肉出血BOP (x: 該当菌なし)	
1802	334	(4 6) 菌肉の状況 (C P I) ・個人コード最大値菌周ポケット [HK.E12-46] ¥	
1803		[HK.E12-46] (省略): 情報なし	
1804		[HK.E12-46] 00: 菌周ポケットPD (0: 健全)	
1805		[HK.E12-46] 01: 菌周ポケットPD (1: 浅いポケット)	
1806		[HK.E12-46] 02: 菌周ポケットPD (2: 深いポケット)	
1807		[HK.E12-46] 03: 菌周ポケットPD (9: 除外菌)	
1808		[HK.E12-46] 04: 菌周ポケットPD (x: 該当菌なし)	
1809	335	(4 7) 健診結果 (問題なし) [HK.E12-47] ¥	
1810		[HK.E12-47] (省略): 該当なし	
1811		[HK.E12-47] 01: 問題なし	
1812	336	(4 8) 健診結果 (要指導: 口腔清掃) [HK.E12-48] ¥	
1813		[HK.E12-48] (省略): 情報なし	
1814		[HK.E12-48] 01: 健診結果 (要指導: 口腔清掃)	
1815	337	(4 9) 健診結果 (要指導: 義歯管理) [HK.E12-49] ¥	
1816		[HK.E12-49] (省略): 情報なし	
1817		[HK.E12-49] 01: 健診結果 (要指導: 義歯管理)	
1818	338	(5 0) 健診結果 (要指導: 食事指導) [HK.E12-50] ¥	
1819		[HK.E12-50] (省略): 情報なし	
1820		[HK.E12-50] 01: 健診結果 (要指導: 食事指導)	
1821	339	(5 1) 健診結果 (要指導: その他) [HK.E12-51] ¥	
1822		[HK.E12-51] (省略): 情報なし	
1823		[HK.E12-51] (文字列): 健診結果 (要指導: その他)	
1824	340	(5 2) 健診結果 (要治療: う蝕) [HK.E12-52] ¥	
1825		[HK.E12-52] (省略): 情報なし	
1826		[HK.E12-52] 01: 健診結果 (要治療: う蝕)	
1827	341	(5 3) 健診結果 (要治療: 菌周疾患) [HK.E12-53] ¥	
1828		[HK.E12-53] (省略): 情報なし	
1829		[HK.E12-53] 01: 健診結果 (要治療: 菌周疾患)	
1830	342	(5 4) 健診結果 (要治療: 義歯) [HK.E12-54] ¥	
1831		[HK.E12-54] (省略): 情報なし	
1832		[HK.E12-54] 01: 健診結果 (要治療: 義歯)	
1833	343	(5 5) 健診結果 (要治療: その他) [HK.E12-55] ¥	
1834		[HK.E12-55] (省略): 情報なし	
1835		[HK.E12-55] (文字列): 健診結果 (要治療: その他)	
1836	344	(5 6) 健診結果 (その他特記事項) [HK.E12-56] ¥	
1837		[HK.E12-56] (省略): 情報なし	
1838		[HK.E12-56] (文字列): 健診結果 (その他特記事項)	
1839	345	8.13) X.III. 特殊歯科健康診査 (菌の酸蝕症) 補足項目 (E13)	
1840		(3) 主な取り扱い物質 [HK.E13-3] ¥	
1841		[HK.E13-3] (省略): 情報なし	
1842		[HK.E13-3] 01: 塩酸	
1843		[HK.E13-3] 02: 硫酸	
1844		[HK.E13-3] 03: 硝酸	
1845		[HK.E13-3] 04: フッ化水素	
1846		[HK.E13-3] 05: 黄リン	
1847		[HK.E13-3] 06: その他	
1848	346	(4) 主な取り扱い物質 (その他) [HK.E13-4] ¥	
1849		[HK.E13-4] (省略): 情報なし	
1850		[HK.E13-4] (文字列): 主な取り扱い物質 (その他)	
1851	347	(5) 作業内容 [HK.E13-5] ¥	
1852		[HK.E13-5] (省略): 情報なし	
1853		[HK.E13-5] (文字列): 作業内容	
1854	348	(6) 作業従事年数 [HK.E13-6] ¥	
1855		[HK.E13-6] (省略): 情報なし	
1856		[HK.E13-6] (数字): 作業従事年数	
1857	349	(7) 自覚症状の有無 [HK.E13-7] ¥	
1858		[HK.E13-7] (省略): 情報なし	
1859		[HK.E13-7] 00: 自覚症状なし	
1860		[HK.E13-7] 01: 自覚症状あり	
1861	350	(8) 自覚症状の内容 [HK.E13-8] ¥	
1862		[HK.E13-8] (省略): 情報なし	
1863		[HK.E13-8] (文字列): 自覚症状	
1864	351	(9) 菌の酸蝕症 (口腔内写真) [HK.E13-9] ¥	
1865		[HK.E13-9] (省略): 情報なし	
1866		[HK.E13-9] (数字): 口腔内写真NO.	
1867	352	(1 0) 作業環境 (局所排気) [HK.E13-10] ¥	
1868		[HK.E13-10] (省略): 情報なし	
1869		[HK.E13-10] 01: 使用 (時々)	
1870		[HK.E13-10] 02: 使用 (常時)	
1871		[HK.E13-10] 03: 使用せず	
1872	353	(1 1) 作業環境 (全体排気) [HK.E13-11] ¥	
1873		[HK.E13-11] (省略): 情報なし	
1874		[HK.E13-11] 01: 使用 (時々)	
1875		[HK.E13-11] 02: 使用 (常時)	
1876		[HK.E13-11] 03: 使用せず	
1877	354	(1 2) 作業環境 (防護具) [HK.E13-12] ¥	
1878		[HK.E13-12] (省略): 情報なし	
1879		[HK.E13-12] 01: 使用 (時々)	
1880		[HK.E13-12] 02: 使用 (常時)	
1881		[HK.E13-12] 03: 使用せず	
1882	355	(1 3) 判定 (菌の酸蝕症) [HK.E13-13] ¥	

連番	Y連番	項目名と項目コード (¥ : フィルタ用)	標準プロフィール26項目
1882		[HK.E13-13] (省略) : 情報なし	
1883		[HK.E13-13] 00 : 異常なし	
1884		[HK.E13-13] 01 : 要精査	
1885		[HK.E13-13] 02 : 要措置	
1886	356	(14) 就業区分(歯の酸蝕症) [HK.E13-14] ¥	
1887		[HK.E13-14] (省略) : 情報なし	
1888		[HK.E13-14] 01 : 通常勤務	
1889		[HK.E13-14] 02 : 就業制限	
1890		[HK.E13-14] 03 : 要休業	
1891	357	(15) 診査者の意見(歯の酸蝕症に関して) [HK.E13-15] ¥	
1892		[HK.E13-15] (省略) : 情報なし	
1893		[HK.E13-15] (文字列) : 診査者の意見(歯の酸蝕症に関して)	
1894	358	(16) 診査者の意見(う蝕) [HK.E13-16] ¥	
1895		[HK.E13-16] (省略) : 情報なし	
1896		[HK.E13-16] (文字列) : 診査者の意見(う蝕)	
1897	359	(17) 診査者の意見(歯周病) [HK.E13-17] ¥	
1898		[HK.E13-17] (省略) : 情報なし	
1899		[HK.E13-17] (文字列) : 診査者の意見(歯周病)	
1900	360	(18) 診査者の意見(歯垢) [HK.E13-18] ¥	
1901		[HK.E13-18] (省略) : 情報なし	
1902		[HK.E13-18] (文字列) : 診査者の意見(歯垢)	
1903	361	(19) 診査者の意見(歯石) [HK.E13-19] ¥	
1904		[HK.E13-19] (省略) : 情報なし	
1905		[HK.E13-19] (文字列) : 診査者の意見(歯石)	
1906	362	(20) 診査者の意見(酸蝕症以外の職業性歯科疾患) [HK.E13-20] ¥	
1907		[HK.E13-20] (省略) : 情報なし	
1908		[HK.E13-20] (文字列) : 診査者の意見(酸蝕症以外の職業性歯科疾患)	
1909	363	(21) 診査者の意見(その他) [HK.E13-21] ¥	
1910		[HK.E13-21] (省略) : 情報なし	
1911		[HK.E13-21] (文字列) : 診査者の意見(その他)	
1912	364	8.14) X.IV. 歯科人間ドック検査補足項目(E14) (3) 全身所見(体格) [HK.E14-3] ¥	
1913		[HK.E14-3] (省略) : 情報なし	
1914		[HK.E14-3] 00 : 異常なし	
1915		[HK.E14-3] 01 : 異常あり	
1916	365	(4) 全身所見(姿勢・歩行) [HK.E14-4] ¥	
1917		[HK.E14-4] (省略) : 情報なし	
1918		[HK.E14-4] 00 : 異常なし	
1919		[HK.E14-4] 01 : 異常あり	
1920	366	(5) 全身所見(皮膚) [HK.E14-5] ¥	
1921		[HK.E14-5] (省略) : 情報なし	
1922		[HK.E14-5] 00 : 異常なし	
1923		[HK.E14-5] 01 : 異常あり	
1924	367	(6) 唾液検査(唾液分泌量) [HK.E14-6] ¥	
1925		[HK.E14-6] (省略) : 情報なし	
1926		[HK.E14-6] (数字) : 唾液分泌量 mL / 5分	
1927	368	(7) 唾液検査(唾液pH値) [HK.E14-7] ¥	
1928		[HK.E14-7] (省略) : 情報なし	
1929		[HK.E14-7] (数字) : 唾液pH	
1930	369	(8) 唾液検査(緩衝能) [HK.E14-8] ¥	
1931		[HK.E14-8] (省略) : 情報なし	
1932		[HK.E14-8] 01 : 緩衝能 低	
1933		[HK.E14-8] 02 : 緩衝能 中	
1934		[HK.E14-8] 03 : 緩衝能 高	
1935	370	(9) 口腔外検査の視診 [HK.E14-9] ¥	
1936		[HK.E14-9] (省略) : 情報なし	
1937		[HK.E14-9] 00 : 異常なし	
1938		[HK.E14-9] 01 : 異常あり	
1939	371	(10) 口腔外検査の触診 [HK.E14-10] ¥	
1940		[HK.E14-10] (省略) : 情報なし	
1941		[HK.E14-10] 00 : 異常なし	
1942		[HK.E14-10] 01 : 異常あり	
1943	372	(11) 特記事項 [HK.E14-11] ¥	
1944		[HK.E14-11] (省略) : 情報なし	
1945		[HK.E14-11] (文字列) : 特記事項	
1946	373	(12) 顎関節症関連検査(安静時の圧痛検査(水平位)) [HK.E14-12] ¥	
1947		[HK.E14-12] (省略) : 情報なし	
1948		[HK.E14-12] 00 : 異常なし	
1949		[HK.E14-12] 01 : 発症リスク少ない	
1950		[HK.E14-12] 02 : 発症リスク高い	
1951	374	(13) 顎関節症関連検査(開口時・頭部回転時の圧痛検査(水平位)) [HK.E14-13] ¥	
1952		[HK.E14-13] (省略) : 情報なし	
1953		[HK.E14-13] 00 : 異常なし	
1954		[HK.E14-13] 01 : 発症リスク少ない	
1955		[HK.E14-13] 02 : 発症リスク高い	
1956	375	(14) 口腔粘膜検査 [HK.E14-14] ¥	
1957		[HK.E14-14] (省略) : 情報なし	
1958		[HK.E14-14] 00 : 異常なし	
1959		[HK.E14-14] 01 : 要経過観察	
1960		[HK.E14-14] 02 : 要精密検査	
1961		[HK.E14-14] 03 : 特記事項あり	
1962	376	(15) 口腔粘膜検査・特記事項 [HK.E14-15] ¥	
1963		[HK.E14-15] (省略) : 情報なし	
1964		[HK.E14-15] (文字列) : 口腔粘膜検査・特記事項	
1965	377	(16) エックス線検査 [HK.E14-16] ¥	
1966		[HK.E14-16] (省略) : 情報なし	
1967		[HK.E14-16] 00 : 異常なし	
1968		[HK.E14-16] 01 : 要精査	
1969		[HK.E14-16] 02 : 特記事項あり	
1970	378	(17) エックス線検査・特記事項 [HK.E14-17] ¥	
1971		[HK.E14-17] (省略) : 情報なし	
1972		[HK.E14-17] (文字列) : エックス線検査・特記事項	
1973	379	(18) う蝕検査 [HK.E14-18] ¥	
1974		[HK.E14-18] (省略) : 情報なし	
1975		[HK.E14-18] 00 : 異常なし	
1976		[HK.E14-18] 01 : 異常あり	
1977	380	(19) S.mutans数 [HK.E14-19] ¥	
1978		[HK.E14-19] (省略) : 情報なし	
1979		[HK.E14-19] 00 : 0	
1980		[HK.E14-19] 01 : 1	
1981		[HK.E14-19] 02 : 2	
1982		[HK.E14-19] 03 : 3	
1983	381	(20) 歯周病検査 [HK.E14-20] ¥	
1984		[HK.E14-20] (省略) : 情報なし	
1985		[HK.E14-20] 00 : 異常なし	
1986		[HK.E14-20] 01 : 異常あり	

口腔診査情報標準コード仕様項目と標準プロファイル26項目との対応表20170321

連番	Y連番	項目名と項目コード (¥: フィルタ用)	標準プロファイル26項目
1987	382	(2 1) 唾液潜血反応試験 (商:ペリオスクリーン) [HK.E14-21] ¥	
1988		[HK.E14-21] (省略): 情報なし	
1989		[HK.E14-21] 00: 陰性 (-)	
1990		[HK.E14-21] 01: 陽性 (+)	
1991		[HK.E14-21] 02: 陽性 (2+)	
1992	383	(2 2) う蝕検査・歯周病検査・特記事項 [HK.E14-22] ¥	
1993		[HK.E14-22] (省略): 情報なし	
1994		[HK.E14-22] (文字列): う蝕検査・歯周病検査・特記事項	
1995	384	(2 3) 咬合検査 [HK.E14-23] ¥	
1996		[HK.E14-23] (省略): 情報なし	
1997		[HK.E14-23] 01: よくかめる (異常なし)	
1998		[HK.E14-23] 02: よくかめない (異常あり (要精査))	
1999	385	(2 4) 咬合検査・特記事項 [HK.E14-24] ¥	
2000		[HK.E14-24] (省略): 情報なし	
2001		[HK.E14-24] (文字列): 咬合検査・特記事項	
2002	386	8.15) X V. かかりつけ連携手帳補足項目 (E15)	
2003		(3) 要治療のむし歯 [HK.E15-3] ¥	
2004		[HK.E15-3] 00: 要治療のむし歯なし	
2005		[HK.E15-3] 01: 要治療のむし歯あり	
2006	387	(4) 要治療のむし歯ありの本数 [HK.E15-4] ¥	
2007		[HK.E15-4] (省略): 情報なし	
2008		[HK.E15-4] (数字): 要治療のむし歯ありの本数	
2009	388	(5) 歯石 [HK.E15-5] ¥	
2010		[HK.E15-5] (省略): 情報なし	
2011		[HK.E15-5] 01: 歯石あり	
2012		[HK.E15-5] 02: 歯石なし	
2013	389	(6) 歯肉の炎症 [HK.E15-6] ¥	
2014		[HK.E15-6] (省略): 情報なし	
2015		[HK.E15-6] 00: 歯肉の炎症なし	
2016		[HK.E15-6] 01: 歯肉の炎症あり (要指導)	
2017		[HK.E15-6] 02: 歯肉の炎症あり (要治療)	
2018	390	(7) 特記事項 [HK.E15-7] ¥	
2019		[HK.E15-7] (省略): 情報なし	
2020		[HK.E15-7] (文字列): 特記事項	
2020	391	8.16) X VI. WHO口腔健康診査 (成人用) 補足項目 (E16)	
2021		(3) 診査票管理情報 [HK.E16-3] ¥	
2022		[HK.E16-3] (数字): 診査票管理情報	
2023	392	(4) 一般情報 [HK.E16-4] ¥	
2024		[HK.E16-4] (数字): 一般情報	
2025	393	(5) 一般情報 (調査地区の種類) [HK.E16-5] ¥	
2026		[HK.E16-5] (数字): 調査地区の種類	
2027	394	(6) 一般情報 (その他) [HK.E16-6] ¥	
2028		[HK.E16-6] (数字): 一般情報 (その他)	
2029	395	(7) 歯の状態 [HK.E16-7] ¥	
2030		[HK.E16-7] (数字): 歯の状態	
2031	396	(8) 歯周状態 (歯肉出血: 上顎) [HK.E16-8] ¥	
2032		[HK.E16-8] (英数): 歯周状態 (歯肉出血: 上顎)	
2033	397	(9) 歯周状態 (歯肉出血: 下顎) [HK.E16-9] ¥	
2034		[HK.E16-9] (英数): 歯周状態 (歯肉出血: 下顎)	
2035	398	(10) 歯周状態 (歯肉出血: 下顎) [HK.E16-10] ¥	
2036		[HK.E16-10] (英数): 歯周状態 (歯肉出血: 下顎)	
2037	399	(11) 歯周状態 (歯肉出血: 下顎) [HK.E16-11] ¥	
2038		[HK.E16-11] (英数): 歯周状態 (歯肉出血: 下顎)	
2039	400	(12) アタッチメントロス [HK.E16-12] ¥	
2040		[HK.E16-12] (英数): アタッチメントロス	
2041	401	(13) 歯のフッ素症 [HK.E16-13] ¥	
2042		[HK.E16-13] (数字): 歯のフッ素症	
2043	402	(14) 歯の酸蝕症 (重症度) [HK.E16-14] ¥	
2044		[HK.E16-14] (数字): 歯の酸蝕症 (重症度)	
2045	411	(15) 歯の酸蝕症 (酸蝕菌の数) [HK.E16-15] ¥	
2046		[HK.E16-15] (数字): 歯の酸蝕症 (酸蝕菌の数)	
2047	403	(16) 歯の外傷 (状態) [HK.E16-16] ¥	
2048		[HK.E16-16] (数字): 歯の外傷 (状態)	
2049	404	(17) 歯の外傷 (外傷菌の数) [HK.E16-17] ¥	
2050		[HK.E16-17] (数字): 歯の外傷 (外傷菌の数)	
2051	405	(18) 口腔粘膜病変 (状態) [HK.E16-18] ¥	
2052		[HK.E16-18] (数字): 口腔粘膜病変 (状態)	
2053	406	(19) 口腔粘膜病変 (部位) [HK.E16-19] ¥	
2054		[HK.E16-19] (数字): 口腔粘膜病変 (部位)	
2055	407	(20) 義歯 [HK.E16-20] ¥	
2056		[HK.E16-20] (数字): 義歯	
2057	408	(21) 緊急介入 [HK.E16-21] ¥	
2058		[HK.E16-21] (数字): 緊急介入	
2059	409	8.17) X VII. WHO口腔健康診査 (小児用) 補足項目 (E17)	
2060		(3) 診査票管理情報 [HK.E17-3] ¥	
2061		[HK.E17-3] (数字): 診査票管理情報	
2062	410	(4) 一般情報 [HK.E17-4] ¥	
2063		[HK.E17-4] (数字): 一般情報	
2064	412	(5) 一般情報 (調査地区の種類) [HK.E17-5] ¥	
2065		[HK.E17-5] (数字): 調査地区の種類	
2066	413	(6) 一般情報 (その他) [HK.E17-6] ¥	
2067		[HK.E17-6] (数字): 一般情報 (その他)	
2068	414	(7) 歯の状態 [HK.E17-7] ¥	
2069		[HK.E17-7] (数字): 歯の状態	
2070	415	(8) 歯周状態 (歯肉出血) [HK.E17-8] ¥	
2071		[HK.E17-8] (英数): 歯周状態 (歯肉出血)	
2072	416	(9) 歯のフッ素症 [HK.E17-9] ¥	
2073		[HK.E17-9] (数字): 歯のフッ素症	
2074	417	(10) 歯の酸蝕症 [HK.E17-10] ¥	
2075		[HK.E17-10] (数字): 歯の酸蝕症 (重症度)	
2076	418	(11) 歯の酸蝕症 (酸蝕菌の数) [HK.E17-11] ¥	
2077		[HK.E17-11] (数字): 歯の酸蝕症 (酸蝕菌の数)	
2078	419	(12) 歯の外傷 [HK.E17-12] ¥	
2079		[HK.E17-12] (数字): 歯の外傷 (状態)	
2080	420	(13) 歯の外傷 (外傷菌の数) [HK.E17-13] ¥	
2081		[HK.E17-13] (数字): 歯の外傷 (外傷菌の数)	
2082	421	(14) 口腔粘膜病変 (状態) [HK.E17-14] ¥	
2083		[HK.E17-14] (数字): 口腔粘膜病変 (状態)	
2084	422	(15) 口腔粘膜病変 (部位) [HK.E17-15] ¥	
2085		[HK.E17-15] (数字): 口腔粘膜病変 (部位)	
2086	423	(16) 緊急介入 [HK.E17-16] ¥	
2087		[HK.E17-16] (数字): 緊急介入	
2088	424	9) 画像情報レコード (IM)	
2089		(1) レコード識別情報 [IM-1] ¥	
2090		[IM-1] IM: 画像情報レコード	
2091	425	(2) 画像情報 (特徴抽出情報) [IMI-2] ¥	

連番	¥連番	項目名と項目コード (¥: フィルタ用)	標準プロファイル26項目
2089		[IM1-2] (省略) 情報なし	
2090		[IM1-2] (文字列) 画像情報 (特徴抽出情報)	
2091	426	(3) 画像情報 (画像ファイル所在情報) [IM-3] ¥	
2092		[IM-3] (省略) 情報なし	
2093		[IM-3] (文字列) 画像情報 (画像ファイル所在情報)	
2094	427	(4) 画像情報 (その他) [IM-4] ¥	
2095		[IM-4] (省略) 情報なし	
2096		[IM-4] (文字列) 画像情報 (画像ファイル所在情報)	
2097	428	10) 日時レコード (DT) (1) レコード識別情報 [DT-1] ¥	
2098		[DT-1] DT: 日時レコード	
2099	429	(2) CSVファイル出力年月日 [DT-2] ¥	
2100		[DT-2] (数字) : CSVファイル出力年月日	
2101		[DT-3] (数字) : CSVファイル出力時刻	
2102	430	(4) スナップショット作成年月日 [DT-4] ¥	
2103		[DT-4] (数字) : スナップショット作成年月日	
2104	431	(5) スナップショット作成時刻 [DT-5] ¥	
2105		[DT-5] (数字) : スナップショット作成時刻	

口腔診査情報 CSV 形式データから
HL7 への変換仕様
Ver. 1.0

2017年3月

公益社団法人 日本歯科医師会

目 次

1. 概要	1
1.1 基本方針	1
1.2 OBX セグメントでの口腔診査情報の表現について	1
1.3 「口腔診査情報仕様」の項目を参照する際の表記について	2
2. 口腔診査情報通知メッセージ(ORU)のデータ格納形式	3
2.1 フォルダ構造概要	3
2.2 診療日フォルダ	3
2.3 データ種別フォルダ	4
2.4 コンテンツフォルダ	4
2.5 主文書ファイル	5
2.6 コンテンツ定義ファイル	5
2.7 添付ファイル	5
3. 口腔診査情報通知メッセージ(ORU)で使用するコード表	6
3.1 「口腔診査情報コード仕様」で定義されたコード表	6
3.2 外部で定義された標準コード表	13
3.3 本仕様で定義したコード表	13
4. 口腔診査情報通知メッセージ (ORU) の構文	25
5. 口腔診査情報通知メッセージ (ORU) のセグメント詳細	27
5.1 メッセージヘッダセグメント (MSH)	27
5.2 患者識別セグメント (PID)	29
5.3 来院情報セグメント (PV1)	32
5.4 共通オーダセグメント (ORC)	36
5.5 検査要求セグメント (OBR)	40
5.6 タイミング/数量セグメント (TQ1)	44
5.7 検査依頼項目セグメント (OBX)	46
6. HL7 メッセージ例	49
6.1 メッセージ例 1	49
6.2 メッセージ例 2	53
6.3 メッセージ例 3	64
7. 改定履歴	81

1. 概要

「口腔診査情報 CSV 形式データから HL7 への変換仕様 Ver.1.0」(以下、「本仕様」と呼ぶ)は、医療機関や学校健診などでの診査により収集された歯科口腔情報のスナップショットを HL7 V2.5 メッセージで交換する際の仕様を定義するとともに、CSV 形式で交換する際の仕様である「口腔診査情報コード仕様」から変換する際の項目間のマッピング方法を定義している。

1.1 基本方針

本仕様では、口腔診査情報を HL7 V2.5 メッセージで交換するため、検査結果通知 (ORU) メッセージを拡張した「口腔診査情報通知メッセージ (ORU)」を定義した。拡張部分は主に OBX セグメントによる歯科口腔情報の表現の部分であり、それ以外のメッセージ構造等の変更はない。

特に記載がない場合、HL7 メッセージの仕様については「SS-MIX2 標準化ストレージ仕様書 Ver.1.2d」に準拠するものとする。

また、生成した HL7 メッセージをアーカイブ目的で保存する場合、フォルダ構成等のデータ格納方式については「SS-MIX2 拡張ストレージ構成の説明と構築ガイドライン Ver.1.2d」に準拠するものとする。アーカイブ目的以外で保存する場合のデータ格納方式については、特に規定しない。

1.2 OBX セグメントでの口腔診査情報の表現について

口腔診査情報における歯ごとの多岐にわたる診査項目情報は、以下の要領で OBX セグメントを使用して表現する。

1. 1つのOBXセグメントに1つの診査項目の情報を表現する。診査項目に対して一意のコードを割り当て、OBX-3にセットする。
2. 1つの診査項目に複数の値を持つ場合、データ型が同じであれば繰り返しを利用して1つのセグメントにセットする。
3. OBX-4 (検査副 ID)を同一の値にすることによって、複数のOBXセグメントを歯単位あるいは場合によってユニット単位、レコード単位でグルーピングする。OBX-4 にセットする値は以下のようなルールとする。

T<Nt>:

歯単位でグルーピングする場合に、<Nt>番目の歯の属性情報を記述する。

(<Nt>は、1から始まるメッセージ内でユニークな連番)

「T0」をセットすると、全歯に共通の情報とみなす。

併存ユニットがある (※) 場合や併存レコードがある (※) 場合については下記を参照。

T<Nt>U<Nu>:

歯の診査情報レコードユニットに属する7つのレコードを表現する際、併存ユニットがある (※) 場合に、<Nt>番目の歯の<Nu>番目のユニットの属性情報を記述する。

(<Nu>は、1から始まる歯内でユニークな連番)

併存レコードがある (※) 場合については下記を参照。

T<Nt> U<Nu>R<Nr>:

現在歯の内容部分 (TP) レコードを表現する際、併存レコードがある (※) 場合に、<Nt>番目の歯の<Nu>番目のユニットの<Nr>番目のレコードの属性情報を記述する。

(<Nr>は、1から始まるユニット内でユニークな連番)

併存ユニットがない (※) 場合はU<Nu>を省略する。

※: 併存ユニットの有無については<TB-5: 併存ユニット数>の記述を、併存レコードの有無

については<TP-2: 併存レコード数 (TP) >の記述を参照のこと。

4. <Nt>,<Nu>,<Nr>の昇順になるように OBX セグメントを配置する。

```
OBX|1|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T1|1047^右側下顎第2大臼歯^JDASTB02|||||F<CR>
OBX|2|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T1|2^欠損歯^JDASTB03|||||F<CR>
OBX|3|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T1|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F<CR>
OBX|4|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T1|56^欠損歯【喪失歯(欠損補綴歯)(△)】*^JDASTD02|||||F<CR>
OBX|5|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T1|05^ (△) (欠損補綴歯)^JDASTD03|||||F<CR>
OBX|6|CWE|TM04^有床義歯^JDAS0003|T1|16^局部義歯(レジン床)(PD)*^JDASTM04|||||F<CR>
...
OBX|23|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T2U1|1045^右側下顎第2小臼歯^JDASTB02|||||F<CR>
OBX|24|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T2U1|6^残根^JDASTB03|||||F<CR>
OBX|25|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T2U1|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F<CR>
OBX|26|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T2U1|56^欠損歯【喪失歯(欠損補綴歯)(△)】*^JDASTD02|||||F<CR>
OBX|27|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T2U1|05^ (△) (欠損補綴歯)^JDASTD03|||||F<CR>
OBX|28|CWE|TP09^未処置歯(う蝕等、治療中を含む)^JDAS0003|T2U1|11^残根(残根上義歯)*^JDASTP09|||||F<CR>
...
OBX|35|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T2U2|1045^右側下顎第2小臼歯^JDASTB02|||||F<CR>
OBX|36|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T2U2|2^欠損歯^JDASTB03|||||F<CR>
OBX|37|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T2U2|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F<CR>
OBX|38|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T2U2|56^欠損歯【喪失歯(欠損補綴歯)(△)】*^JDASTD02|||||F<CR>
OBX|39|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T2U2|05^ (△) (欠損補綴歯)^JDASTD03|||||F<CR>
OBX|40|CWE|TM04^有床義歯^JDAS0003|T2U2|16^局部義歯(レジン床)(PD)*^JDASTM04|||||F<CR>
OBX|41|CWE|TM06^義歯人工歯^JDAS0003|T2U2|03^硬質レジン歯^JDASTM06|||||F<CR>
...
```

1.3 「口腔診査情報仕様」の項目を参照する際の表記について

本仕様では、「口腔診査情報コード仕様」の項目を参照する場合は、「<PN-10:氏名>」などとコード仕様のレコード識別情報(左記では「PN」)、項目番号(同じく「10」)、項目名称(同じく「氏名」)の組み合わせにより該当項目を参照する。ただし、日付や性別など、HL7 で許されているフォーマットやコードに変換してからセットする必要がある項目もあるので注意が必要である。

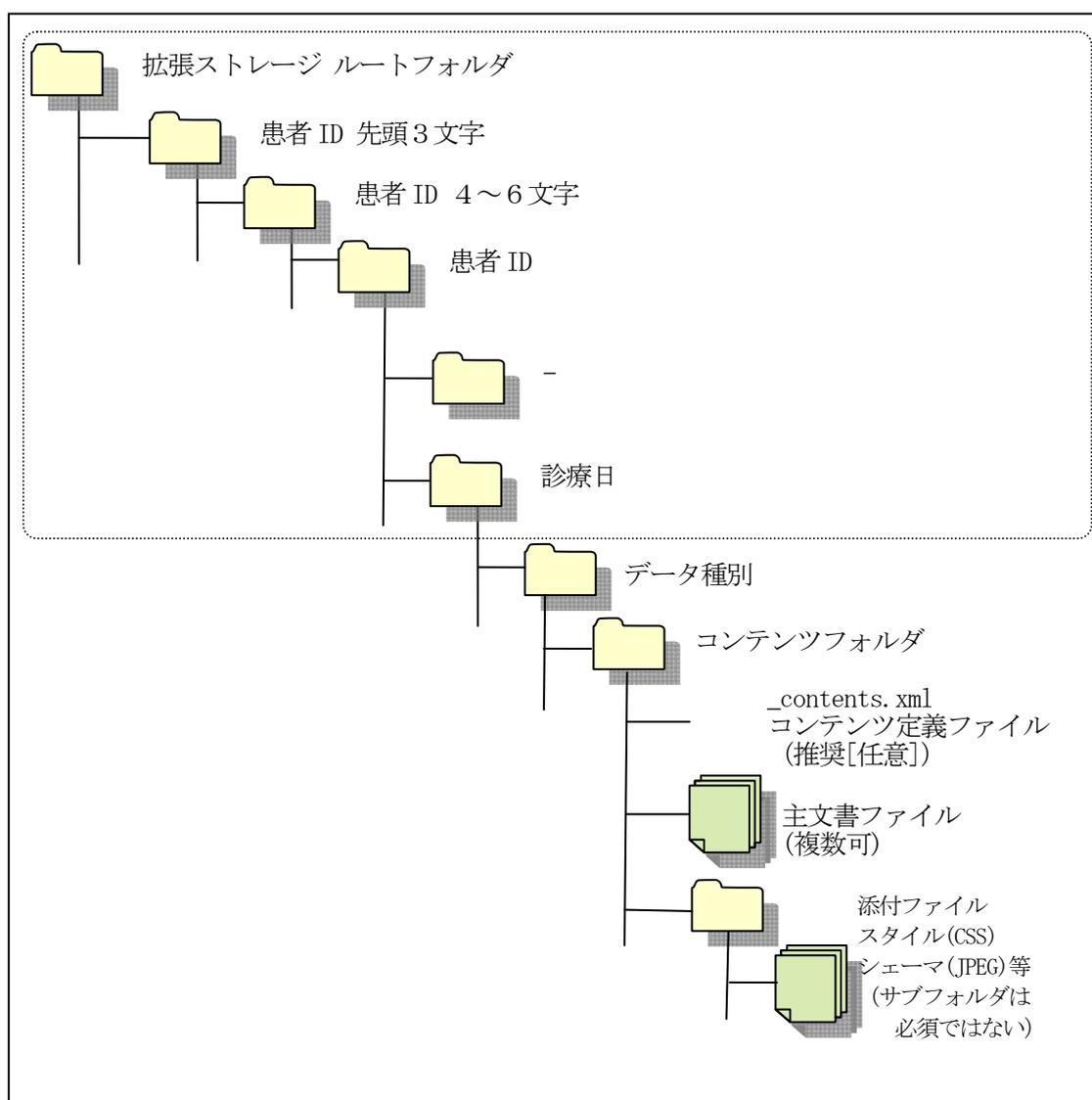
以下の章では、口腔診査情報通知メッセージのデータ格納方式、使用するコード表、HL7 メッセージの構文、HL7 セグメントの詳細について記述している。

2. 口腔診査情報通知メッセージ(ORU)のデータ格納形式

口腔診査情報通知メッセージ(ORU)の HL7 ファイルをアーカイブ目的で保存する場合、そのデータ格納形式は「SS-MIX2 拡張ストレージ構成の説明と構築ガイドライン Ver.1.2d」に準拠するものとする。

2.1 フォルダ構造概要

口腔診査情報通知メッセージ(ORU)の HL7 ファイルをアーカイブ目的で保存する場合、「SS-MIX2 拡張ストレージ構成の説明と構築ガイドライン Ver.1.2d」に従い下図の通りとする。



2.2 患者 ID フォルダ

本仕様では、患者 ID フォルダには<PN-6: 医療機関内 ID>を使用する。患者 ID 先頭3文字、患者 ID 4~6文字のフォルダも同様とする。

2.3 診療日フォルダ

本仕様では、診療日フォルダはスナップショット作成日 (<DT-4: スナップショット作成年月日>) を使用

する。

2.4 データ種別フォルダ

「SS-MIX2 拡張ストレージ構成の説明と構築ガイドライン Ver.1.2d」では、データ種別フォルダの命名規則は、HL7 Ver.2.5 における CWE 型に倣い、以下の通りとなっている。

<ローカルコード>^<ローカル種別名称>^<ローカルコード体系コード>^<標準コード>^<標準種別名称>^<標準コード体系コード>

本仕様では、ローカルコードとして JDAS 表 0002 を、標準コードとして LOINC を使用し、データ種別フォルダは「LJDAS-100^口腔診査情報^JDAS0002^54570-7^口腔状態^LN」とする。

JDAS表0002 - 口腔診査文書種別 (コーディングシステム名 : JDAS0002)

コード	名称	備考
LJDAS-100	口腔診査情報	

例 : LJDAS-100^口腔診査情報^JDAS0002^54570-7^口腔状態^LN

2.5 コンテンツフォルダ

「SS-MIX2 拡張ストレージ構成の説明と構築ガイドライン Ver.1.2d」では、コンテンツフォルダの命名規則は、以下の通りとなっている。

<患者 ID>_<診療日>_<データ種別コード>_<特定キー>_<発生日時>_<診療科コード>_<コンディションフラグ>
--

本仕様では、コンテンツフォルダの各要素にセットする値を下表の通りとする。

表1 コンテンツフォルダの各要素の値

コンテンツフォルダの要素	使用する値	備考
患者 ID	<PN-6: 医療機関内 ID>	
診療日	<DT-4: スナップショット作成年月日>	「YYYYMMDD」形式
データ種別コード	「LJDAS-100^口腔診査情報^JDAS0002^54570-7^口腔状態^LN」固定	
特定キー	<DT-4: スナップショット作成年月日>と <DT-5: スナップショット作成時刻>を連結する	「YYYYMMDDhhmmss」形式
発生日時	ファイル生成時の現在日時をセットする	「YYYYMMDDhhmmss」形式
診療科コード	<ON-11: 診療科コード>。不明の場合は「-」固定	
コンディションフラグ	SS-MIX2 で規定されている値	

例 : 1234567890_20161107_LJDAS-100^口腔診査情報^JDAS0002^54570-7^口腔状態^LN_20161107112233_20161107123456_90_1

2.6 主文書ファイル

本仕様では、主文書ファイルは口腔診査情報通知メッセージ(ORU)の HL7 ファイルとし、以下の命名規則とする。各要素に指定する値はコンテンツフォルダと同じ値を使用する。

<患者 ID>_<特定キー>_<発生日時>.hl7

例 : 1234567890_20161107112233_20161107123456.hl7

2.7 コンテンツ定義ファイル

本仕様では、コンテンツ定義ファイルは使用しない。

2.8 添付ファイル

本仕様では、<IM-3: 画像情報 (画像ファイル所在情報)>で指定した画像ファイルを添付ファイルとして保存することができる。

例:<IM-3: 画像情報 (画像ファイル所在情報)>の値が「IMG¥IMG0001.JPG」の場合、サブフォルダ「IMG」に「IMG0001.JPG」という JPEG ファイルを保存する。

3. 口腔診査情報通知メッセージ(ORU)で使用するコード表

口腔診査情報通知メッセージ(ORU)では、以下のコード表を使用する。

3.1 「口腔診査情報コード仕様」で定義されたコード表

「口腔診査情報コード仕様」で定義されている下表のコード表を OBR-4 および OBX-5 で使用する。コーディングシステム名は、上記コード仕様本体では定義されていないため、「JDAS」で始まる 8 桁ないし 11 桁の値を定義した。

表2 口腔診査情報通知メッセージ(ORU)で使用する
「口腔診査情報コード仕様」のコード表

コード表識別名	コーディングシステム名	使用する主なフィールド	備考
入力種別 (NS) レコード			
NS-2 入力種別	JDASNS02	OBR-4	
I. 部位パート (TB) レコード			
TB-2 歯種コード	JDASTB02	OBX-5	
TB-3 状態コード	JDASTB03	OBX-5	
TB-4 部分コード	JDASTB04	OBX-5	
II. 基本状態パート (TD) レコード			
TD-2 歯の基本状態	JDASTD02	OBX-5	
TD-3 歯科健診記号	JDASTD03	OBX-5	
III. 現在歯の内容パート (TP) レコード			
TP-3 生活歯・失活歯	JDASTP03	OBX-5	
TP-4 歯の萌出異常	JDASTP04	OBX-5	
TP-5 歯の位置異常	JDASTP05	OBX-5	
TP-6 歯根の分割	JDASTP06	OBX-5	
TP-7 歯の形態異常・形成異常	JDASTP07	OBX-5	
TP-8 過剰歯	JDASTP08	OBX-5	
TP-9 未処置歯 (う蝕等、治療中を含む)	JDASTP09	OBX-5	
TP-10 テンポラリークラウン	JDASTP10	OBX-5	
TP-11 処置歯 (部分修復)	JDASTP11	OBX-5	
TP-12 窩洞形態	JDASTP12	OBX-5	
TP-13 歯面 (切端・咬合面 I O*)	JDASTP13	OBX-5	
TP-14 歯面 (唇側面・頬側面 B*)	JDASTP14	OBX-5	
TP-15 歯面 (口蓋側面・舌側面 P L*)	JDASTP15	OBX-5	
TP-16 歯面 (近心面 M*)	JDASTP16	OBX-5	
TP-17 歯面 (遠心面 D*)	JDASTP17	OBX-5	
TP-18 歯の主な部位 (歯冠部)	JDASTP18	OBX-5	
TP-19 歯の主な部位 (歯頸部)	JDASTP19	OBX-5	
TP-20 歯の主な部位 (歯根部)	JDASTP20	OBX-5	
TP-21 処置歯 (全部修復)	JDASTP21	OBX-5	
TP-22 処置歯 (その他修復)	JDASTP22	OBX-5	
TP-23 連結冠・ブリッジ支台歯	JDASTP23	OBX-5	

コード表識別名	コーディングシステム名	使用する主なフィールド	備考
TP-24 連結冠・ブリッジ番号	JDASTP24	OBX-5	
TP-25 レストシート	JDASTP25	OBX-5	
TP-26 クラスプ	JDASTP26	OBX-5	
TP-27 固定式矯正装置	JDASTP27	OBX-5	
TP-28 暫間固定	JDASTP28	OBX-5	
TP-29 歯肉の状態	JDASTP29	OBX-5	
TP-30 歯石沈着	JDASTP30	OBX-5	
TP-31 歯根のう胞	JDASTP31	OBX-5	
TP-32 ろう孔	JDASTP32	OBX-5	
TP-33 骨瘤	JDASTP33	OBX-5	
IV. 欠損歯の内容パート (TM) レコード			
TM-2 ポンティック	JDASTM02	OBX-5	
TM-3 ブリッジ番号	JDASTM03	OBX-5	
TM-4 有床義歯	JDASTM04	OBX-5	
TM-5 複数義歯番号	JDASTM05	OBX-5	
TM-6 義歯人工歯	JDASTM06	OBX-5	
TM-7 義歯補綴隙	JDASTM07	OBX-5	
TM-8 義歯大連結子	JDASTM08	OBX-5	
TM-9 補強線	JDASTM09	OBX-5	
TM-10 骨瘤	JDASTM10	OBX-5	
V. その他パート (TE) レコード			
TE-2 当該歯製品識別情報の有無	JDASTE02	OBX-5	
TE-5 当該歯特記事項の有無	JDASTE05	OBX-5	
TE-7 当該歯入力種別	JDASTE07	OBX-5	
VI. 標準プロファイル 26 項目パート (TF) レコード			
TF-2 標準プロファイル 26 項目の情報の有無	JDASTF02	OBX-5	
TF-3 乳歯・D c d	JDASTF03	OBX-5	
TF-4 健全歯・S o u	JDASTF04	OBX-5	
TF-5 C 1 ~ C 3 (治療中を含む)・C 1 2 3	JDASTF05	OBX-5	
TF-6 半埋伏・埋伏・R T	JDASTF06	OBX-5	
TF-7 C R 充填・セメント充填・C R	JDASTF07	OBX-5	
TF-8 インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠 金属色・I n	JDASTF08	OBX-5	
TF-9 インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠 歯冠色・I n T C	JDASTF09	OBX-5	
TF-10 アマルガム充填・A F	JDASTF10	OBX-5	
TF-11 切端・咬合面・I O	JDASTF11	OBX-5	
TF-12 唇側面・頬側面・B	JDASTF12	OBX-5	
TF-13 口蓋側面・舌側面・P L	JDASTF13	OBX-5	
TF-14 近心面・M	JDASTF14	OBX-5	
TF-15 遠心面・D	JDASTF15	OBX-5	
TF-16 全部金属冠 (FMCほか)・FMC	JDASTF16	OBX-5	
TF-17 前装冠 (HR、MBほか)・HR	JDASTF17	OBX-5	

コード表識別名	コーディングシステム名	使用する主なフィールド	備考
TF-18 H J C、セラミックほか・H J C	JDASTF18	OBX-5	
TF-19 支台歯 (インプラントも可)・A b u	JDASTF19	OBX-5	
TF-20 ポンティック・P o n	JDASTF20	OBX-5	
TF-21 残根・根面板ほか・C 4	JDASTF21	OBX-5	
TF-22 欠損・MAM	JDASTF22	OBX-5	
TF-23 死後脱落の疑い・MPM	JDASTF23	OBX-5	
TF-24 義歯 (人工歯あり)・D e n	JDASTF24	OBX-5	
TF-25 インプラント・I m p l	JDASTF25	OBX-5	
TF-26 仮歯 (TEK、プロビ等) あり・T e C	JDASTF26	OBX-5	
TF-27 歯あり (状態不明)・P r e	JDASTF27	OBX-5	
TF-28 情報なし・N o n	JDASTF28	OBX-5	
VII. 歯科人間ドック検査表パート (TH) レコード			
TH-2 歯科人間ドック検査情報の有無	JDASTH02	OBX-5	
TH-3 う蝕 (疑わしい病名) の有無	JDASTH03	OBX-5	
TH-5 う蝕 (Per : 根尖性歯周炎 (根尖病巣))	JDASTH05	OBX-5	
TH-6 う蝕 (Hys : 知覚過敏症)	JDASTH06	OBX-5	
TH-7 歯周病 (動揺度) Miller	JDASTH07	OBX-5	
TH-8 歯周病 (根分岐部病変)	JDASTH08	OBX-5	
TH-9 歯周病 (角化歯肉の有無)	JDASTH09	OBX-5	
TH-10 歯周病 (P S R (Periodontal Screening and Recording))	JDASTH10	OBX-5	
TH-11 歯周病 (P I I (Plaque Index))	JDASTH11	OBX-5	
矯正関係レコード (KK)			
KK-2 矯正関係情報の有無	JDASKK02	OBX-5	
KK-3 歯列の異常	JDASKK03	OBX-5	
KK-4 咬合関係の異常	JDASKK04	OBX-5	
KK-5 唇顎口蓋裂	JDASKK05	OBX-5	
KK-6 矯正装置	JDASKK06	OBX-5	
KK-7 その他の矯正情報の有無	JDASKK07	OBX-5	
その他の疾病及び異常レコード (SI)			
SI-2 その他の疾病及び異常の有無	JDASSI02	OBX-5	
SI-3 小帯の異常	JDASSI03	OBX-5	
SI-4 骨瘤	JDASSI04	OBX-5	
SI-6 口蓋隆起	JDASSI06	OBX-5	
所見・特記事項レコード (SK)			
SK-2 所見・特記事項の有無	JDASSK02	OBX-5	
歯科健診等補足項目レコード (HK)			
HK-2 歯科健診等の種別	JDASHK02	OBX-5	
I. 妊産婦歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式) 補足項目 (E01)			
HK.E01-4 妊娠・産後の別	JDASHKE0104	OBX-5	
HK.E01-6 要治療のむし歯	JDASHKE0106	OBX-5	
HK.E01-8 歯石	JDASHKE0108	OBX-5	
HK.E01-9 歯肉の炎症	JDASHKE0109	OBX-5	

コード表識別名	コーディングシステム名	使用する主なフィールド	備考
II. 1歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式） 補足項目（E02）			
HK.E02-5 むし歯の罹患型	JDASHKE0205	OBX-5	
HK.E02-6 要治療のむし歯	JDASHKE0206	OBX-5	
HK.E02-8 歯の汚れ	JDASHKE0208	OBX-5	
HK.E02-9 歯肉・粘膜異常の有無	JDASHKE0209	OBX-5	
HK.E02-11 かみ合わせ	JDASHKE0211	OBX-5	
III. 1歳6か月児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式） 補足項目（E03）			
HK.E03-5 むし歯の罹患型	JDASHKE0305	OBX-5	
HK.E03-6 要治療のむし歯	JDASHKE0306	OBX-5	
HK.E03-8 歯の汚れ	JDASHKE0308	OBX-5	
HK.E03-9 歯肉・粘膜異常の有無	JDASHKE0309	OBX-5	
HK.E03-11 かみ合わせ	JDASHKE0311	OBX-5	
IV. 2歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式） 補足項目（E04）			
HK.E04-5 むし歯の罹患型	JDASHKE0405	OBX-5	
HK.E04-6 要治療のむし歯	JDASHKE0406	OBX-5	
HK.E04-8 歯の汚れ	JDASHKE0408	OBX-5	
HK.E04-9 歯肉・粘膜異常の有無	JDASHKE0409	OBX-5	
HK.E04-11 かみ合わせ	JDASHKE0411	OBX-5	
V. 3歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式） 補足項目（E05）			
HK.E05-5 むし歯の罹患型	JDASHKE0505	OBX-5	
HK.E05-6 要治療のむし歯	JDASHKE0506	OBX-5	
HK.E05-8 歯の汚れ	JDASHKE0508	OBX-5	
HK.E05-9 歯肉・粘膜異常の有無	JDASHKE0509	OBX-5	
HK.E05-11 かみ合わせ	JDASHKE0511	OBX-5	
VI. 4歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式） 補足項目（E06）			
HK.E06-5 要治療のむし歯	JDASHKE0605	OBX-5	
HK.E06-7 歯の汚れ	JDASHKE0607	OBX-5	
HK.E06-8 歯肉・粘膜異常の有無	JDASHKE0608	OBX-5	
HK.E06-10 かみ合わせ	JDASHKE0610	OBX-5	
VII. 5歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式） 補足項目（E07）			
HK.E07-5 要治療のむし歯	JDASHKE0705	OBX-5	
HK.E07-8 歯の汚れ	JDASHKE0708	OBX-5	
HK.E07-9 歯肉・粘膜異常の有無	JDASHKE0709	OBX-5	
HK.E07-11 かみ合わせ	JDASHKE0711	OBX-5	
VIII. 6歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式） 補足項目（E08）			
HK.E08-5 要治療のむし歯	JDASHKE0805	OBX-5	
HK.E08-8 歯の汚れ	JDASHKE0808	OBX-5	
HK.E08-9 歯肉・粘膜異常の有無	JDASHKE0809	OBX-5	
HK.E08-11 かみ合わせ	JDASHKE0811	OBX-5	
IX. 就学時健康診断補足項目（E09）			
X. 学校歯科健康診断補足項目（E10）			
HK.E10-5 顎関節	JDASHKE1005	OBX-5	
HK.E10-6 歯列・咬合	JDASHKE1006	OBX-5	

コード表識別名	コーディングシステム名	使用する主なフィールド	備考
HK.E10-7 歯垢の状態	JDASHKE1007	OBX-5	
HK.E10-8 歯肉の状態	JDASHKE1008	OBX-5	
HK.E10-18 事後処置	JDASHKE1018	OBX-5	
X I. 成人歯科健康診査（事業所歯科健診、歯周病検診含む）補足項目（E11）			
HK.E11-12 歯肉の状況（C P I）・BOP17 又は16	JDASHKE1112	OBX-5	
HK.E11-13 歯肉の状況（C P I）・BOP11	JDASHKE1113	OBX-5	
HK.E11-14 歯肉の状況（C P I）・BOP26 又は27	JDASHKE1114	OBX-5	
HK.E11-15 歯肉の状況（C P I）・BOP47 又は46	JDASHKE1115	OBX-5	
HK.E11-16 歯肉の状況（C P I）・BOP31	JDASHKE1116	OBX-5	
HK.E11-17 歯肉の状況（C P I）・BOP36 又は37	JDASHKE1117	OBX-5	
HK.E11-18 歯肉の状況（C P I）・PD17 又は16	JDASHKE1118	OBX-5	
HK.E11-19 歯肉の状況（C P I）・PD11	JDASHKE1119	OBX-5	
HK.E11-20 歯肉の状況（C P I）・PD26 又は27	JDASHKE1120	OBX-5	
HK.E11-21 歯肉の状況（C P I）・PD47 又は46	JDASHKE1121	OBX-5	
HK.E11-22 歯肉の状況（C P I）・PD31	JDASHKE1122	OBX-5	
HK.E11-23 歯肉の状況（C P I）・PD36 又は37	JDASHKE1123	OBX-5	
HK.E11-24 歯肉の状況（C P I）・個人コード最大値歯肉出血	JDASHKE1124	OBX-5	
HK.E11-25 歯肉の状況（C P I）・個人コード最大値歯周ポケット	JDASHKE1125	OBX-5	
HK.E11-26 口腔清掃状態	JDASHKE1126	OBX-5	
HK.E11-27 歯石の付着	JDASHKE1127	OBX-5	
HK.E11-28 その他の所見（歯列咬合）	JDASHKE1128	OBX-5	
HK.E11-29 その他の所見（顎関節）	JDASHKE1129	OBX-5	
HK.E11-30 その他の所見（粘膜）	JDASHKE1130	OBX-5	
HK.E11-32 判定区分	JDASHKE1132	OBX-5	
HK.E11-34 市町村への連絡事項	JDASHKE1134	OBX-5	
X II. 後期高齢者歯科口腔健康診査（例示）補足項目（E12）			
HK.E12-12 補綴状況（上顎義歯の部位）	JDASHKE1212	OBX-5	
HK.E12-13 補綴状況（下顎義歯の部位）	JDASHKE1213	OBX-5	
HK.E12-14 補綴状況（上顎義歯の状況）	JDASHKE1214	OBX-5	
HK.E12-15 補綴状況（下顎義歯の状況）	JDASHKE1215	OBX-5	
HK.E12-16 補綴状況（義歯の必要性）	JDASHKE1216	OBX-5	
HK.E12-17 補綴状況（インプラント）	JDASHKE1217	OBX-5	
HK.E12-18 咬合の状態（アイヒナーの分類）	JDASHKE1218	OBX-5	

コード表識別名	コーディングシステム名	使用する主なフィールド	備考
HK.E12-19 咬合の状態 (現在歯による臼歯部での咬合 右側)	JDASHKE1219	OBX-5	
HK.E12-20 咬合の状態 (現在歯による臼歯部での咬合 左側)	JDASHKE1220	OBX-5	
HK.E12-21 咬合の状態 (義歯装着による臼歯部での咬合 右側)	JDASHKE1221	OBX-5	
HK.E12-22 咬合の状態 (義歯装着による臼歯部での咬合 左側)	JDASHKE1222	OBX-5	
HK.E12-23 咀嚼力評価	JDASHKE1223	OBX-5	
HK.E12-24 舌機能評価	JDASHKE1224	OBX-5	
HK.E12-25 嚥下機能評価	JDASHKE1225	OBX-5	
HK.E12-26 口腔衛生状態 (視診) (プラークの付着状況)	JDASHKE1226	OBX-5	
HK.E12-27 口腔衛生状態 (視診) (食渣)	JDASHKE1227	OBX-5	
HK.E12-28 口腔衛生状態 (視診) (舌苔)	JDASHKE1228	OBX-5	
HK.E12-29 口腔衛生状態 (視診) (口臭)	JDASHKE1229	OBX-5	
HK.E12-30 口腔衛生状態 (視診) (義歯清掃状況)	JDASHKE1230	OBX-5	
HK.E12-31 口腔乾燥 (視診)	JDASHKE1231	OBX-5	
HK.E12-32 口腔乾燥 (口腔水分計等)	JDASHKE1232	OBX-5	
HK.E12-33 歯肉の状況 (C P I)・BOP17 又は 16	JDASHKE1233	OBX-5	
HK.E12-34 歯肉の状況 (C P I)・BOP11	JDASHKE1234	OBX-5	
HK.E12-35 歯肉の状況 (C P I)・BOP26 又は 27	JDASHKE1235	OBX-5	
HK.E12-36 歯肉の状況 (C P I)・BOP47 又は 46	JDASHKE1236	OBX-5	
HK.E12-37 歯肉の状況 (C P I)・BOP31	JDASHKE1237	OBX-5	
HK.E12-38 歯肉の状況 (C P I)・BOP36 又は 37	JDASHKE1238	OBX-5	
HK.E12-39 歯肉の状況 (C P I)・PD17 又は 16	JDASHKE1239	OBX-5	
HK.E12-40 歯肉の状況 (C P I)・PD11	JDASHKE1240	OBX-5	
HK.E12-41 歯肉の状況 (C P I)・PD26 又は 27	JDASHKE1241	OBX-5	
HK.E12-42 歯肉の状況 (C P I)・PD47 又は 46	JDASHKE1242	OBX-5	
HK.E12-43 歯肉の状況 (C P I)・PD31	JDASHKE1243	OBX-5	
HK.E12-44 歯肉の状況 (C P I)・PD36 又は 37	JDASHKE1244	OBX-5	
HK.E12-45 歯肉の状況 (C P I)・個人コード 最大値歯肉出血	JDASHKE1245	OBX-5	
HK.E12-46 歯肉の状況 (C P I)・個人コード	JDASHKE1246	OBX-5	

コード表識別名	コーディングシステム名	使用する主なフィールド	備考
最大値歯周ポケット			
HK.E12-47 健診結果 (問題なし)	JDASHKE1247	OBX-5	
HK.E12-48 健診結果 (要指導：口腔清掃)	JDASHKE1248	OBX-5	
HK.E12-49 健診結果 (要指導：義歯管理)	JDASHKE1249	OBX-5	
HK.E12-50 健診結果 (要指導：食事指導)	JDASHKE1250	OBX-5	
HK.E12-52 健診結果 (要治療：う蝕)	JDASHKE1252	OBX-5	
HK.E12-53 健診結果 (要治療：歯周疾患)	JDASHKE1253	OBX-5	
HK.E12-54 健診結果 (要治療：義歯)	JDASHKE1254	OBX-5	
XIII. 特殊歯科健康診査 (歯の酸蝕症) 補足項目 (E13)			
HK.E13-3 主な取り扱い物質	JDASHKE1303	OBX-5	
HK.E13-7 自覚症状の有無	JDASHKE1307	OBX-5	
HK.E13-10 作業環境 (局所排気)	JDASHKE1310	OBX-5	
HK.E13-11 作業環境 (全体排気)	JDASHKE1311	OBX-5	
HK.E13-12 作業環境 (防護具)	JDASHKE1312	OBX-5	
HK.E13-13 判定 (歯の酸蝕症)	JDASHKE1313	OBX-5	
HK.E13-14 就業区分 (歯の酸蝕症)	JDASHKE1314	OBX-5	
XIV. 歯科人間ドック検査補足項目 (E14)			
HK.E14-3 全身所見 (体格)	JDASHKE1403	OBX-5	
HK.E14-4 全身所見 (姿勢、歩行)	JDASHKE1404	OBX-5	
HK.E14-5 全身所見 (皮膚)	JDASHKE1405	OBX-5	
HK.E14-8 唾液検査 (緩衝能)	JDASHKE1408	OBX-5	
HK.E14-9 口腔外検査の視診	JDASHKE1409	OBX-5	
HK.E14-10 口腔外検査の触診	JDASHKE1410	OBX-5	
HK.E14-12 顎関節症関連検査 (安静時の圧痛検査 (水平位))	JDASHKE1412	OBX-5	
HK.E14-13 顎関節症関連検査 (開口時・頭部回転時の圧痛検査 (水平位))	JDASHKE1413	OBX-5	
HK.E14-14 口腔粘膜検査	JDASHKE1414	OBX-5	
HK.E14-16 エックス線検査	JDASHKE1416	OBX-5	
HK.E14-18 う蝕検査	JDASHKE1418	OBX-5	
HK.E14-19 S.mutans 数	JDASHKE1419	OBX-5	
HK.E14-20 歯周病検査	JDASHKE1420	OBX-5	
HK.E14-21 唾液潜血反応試験 (ヘモグロビンキット)	JDASHKE1421	OBX-5	
HK.E14-23 咬合検査	JDASHKE1423	OBX-5	
XV. かかりつけ連携手帳補足項目 (E15)			
HK.E15-3 要治療のむし歯	JDASHKE1503	OBX-5	
HK.E15-5 歯石	JDASHKE1505	OBX-5	
HK.E15-6 歯肉の炎症	JDASHKE1506	OBX-5	
XVI. WHO口腔健康診査 (成人用) 補足項目 (E16)			
HK.E16-3 診査票管理情報	JDASHKE1603	OBX-5	
HK.E16-4 一般情報	JDASHKE1604	OBX-5	
HK.E16-5 一般情報 (調査地区の種類)	JDASHKE1605	OBX-5	

コード表識別名	コーディングシステム名	使用する主なフィールド	備考
HK.E16-6 一般情報 (その他)	JDASHKE1606	OBX-5	
HK.E16-7 歯の状態	JDASHKE1607	OBX-5	
HK.E16-8 歯周状態 (歯肉出血：上顎)	JDASHKE1608	OBX-5	
HK.E16-9 歯周状態 (歯周ポケット：上顎)	JDASHKE1609	OBX-5	
HK.E16-10 歯周状態 (歯肉出血：下顎)	JDASHKE1610	OBX-5	
HK.E16-11 歯周状態 (歯周ポケット：下顎)	JDASHKE1611	OBX-5	
HK.E16-12 アタッチメントロス	JDASHKE1612	OBX-5	
HK.E16-13 歯のフッ素症	JDASHKE1613	OBX-5	
HK.E16-14 歯の酸蝕症 (重症度)	JDASHKE1614	OBX-5	
HK.E16-15 歯の酸蝕症 (酸蝕歯の数)	JDASHKE1615	OBX-5	
HK.E16-16 歯の外傷 (状態)	JDASHKE1616	OBX-5	
HK.E16-17 歯の外傷 (外傷歯の数)	JDASHKE1617	OBX-5	
HK.E16-18 口腔粘膜病変 (状態)	JDASHKE1618	OBX-5	
HK.E16-19 口腔粘膜病変 (部位)	JDASHKE1619	OBX-5	
HK.E16-20 義歯	JDASHKE1620	OBX-5	
HK.E16-21 緊急介入	JDASHKE1621	OBX-5	
XVII. WHO口腔健康診査 (小児用) 補足項目 (E17)			
HK.E17-3 診査票管理情報	JDASHKE1703	OBX-5	
HK.E17-4 一般情報	JDASHKE1704	OBX-5	
HK.E17-5 一般情報 (調査地区の種類)	JDASHKE1705	OBX-5	
HK.E17-6 一般情報 (その他)	JDASHKE1706	OBX-5	
HK.E17-7 歯の状態	JDASHKE1707	OBX-5	
HK.E17-8 歯周状態 (歯肉出血)	JDASHKE1708	OBX-5	
HK.E17-9 歯のフッ素症	JDASHKE1709	OBX-5	
HK.E17-10 歯の酸蝕症 (重症度)	JDASHKE1710	OBX-5	
HK.E17-11 歯の酸蝕症 (酸蝕歯の数)	JDASHKE1711	OBX-5	
HK.E17-12 歯の外傷 (状態)	JDASHKE1712	OBX-5	
HK.E17-13 歯の外傷 (外傷歯の数)	JDASHKE1713	OBX-5	
HK.E17-14 口腔粘膜病変 (状態)	JDASHKE1714	OBX-5	
HK.E17-15 口腔粘膜病変 (部位)	JDASHKE1715	OBX-5	
HK.E17-16 緊急介入	JDASHKE1716	OBX-5	

例：OBX|1|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0001|T01|1011^右側上顎中切歯^JDASTB02|...<CR>

3.2 外部で定義された標準コード表

「口腔診査情報コード仕様」以外では、特に外部の標準コード表は使用していない。

3.3 本仕様で定義したコード表

HL7 規約や外部の標準コード表で定義されていない項目については、本仕様で以下のように JDAS 表およびそのコーディングシステム名を定義した。

JDAS 表は HL7 表と同様にコードの追加・変更・削除はできない。

JDAS表0001 - 歯式コード
(コーディングシステム名: JDAS0001)

コード	名称	備考
(「歯種コード」4桁+「状態コード」1桁+「部分コード」1桁の計6桁)	(内容については注を参照のこと)	

注: 「口腔診査情報コード仕様」の「歯種コード」4桁 (CS名: JDASTB02) + 「状態コード」1桁 (同 JDASTB03) + 「部分コード」1桁 (同 JDASTB04) の計6桁で構成されるコードを JDAS 表 0001 - 歯式コードとする。コーディングシステム名は JDAS0001 を使用する。歯式コードに対する名称は、構成される3種類のコードに対する名称を連結したものを使用する。

例: |101100^右側上顎中切歯現存歯部分指定なし^JDAS0001|

JDAS表0002 - 口腔診査文書種別
(コーディングシステム名: JDAS0002)

コード	名称	備考
LJDAS-100	口腔診査情報	

例: |LJDAS-100^口腔診査情報^JDAS0002|

JDAS表0003 - 口腔診査項目コード
(コーディングシステム名: JDAS0003)

OBX-3 で使用する

コード	名称	OBX-2 で使用できる値	OBX-5 で使用するコード表	備考
I. 部位パート (TB) レコード				
TB02	歯種コード	CWE	JDASTB02	
TB03	状態コード	CWE	JDASTB03	
TB04	部分コード	CWE	JDASTB04	
II. 基本状態パート (TD) レコード				
TD02	歯の基本状態	CWE	JDASTD02	
TD03	歯科健診記号	CWE	JDASTD03	
III. 現在歯の内容パート (TP) レコード				
TP03	生活歯・失活歯	CWE	JDASTP03	
TP04	歯の萌出異常	CWE	JDASTP04	
TP05	歯の位置異常	CWE	JDASTP05	
TP06	歯根の分割	CWE	JDASTP06	
TP07	歯の形態異常・形成異常	CWE	JDASTP07	
TP08	過剰歯	CWE	JDASTP08	
TP09	未処置歯 (う蝕等、治療中を含む)	CWE	JDASTP09	
TP10	テンポラリークラウン	CWE	JDASTP10	
TP11	処置歯 (部分修復)	CWE	JDASTP11	
TP12	窩洞形態	CWE	JDASTP12	
TP13	歯面 (切端・咬合面 I O*)	CWE	JDASTP13	
TP14	歯面 (唇側面・頬側面 B*)	CWE	JDASTP14	
TP15	歯面 (口蓋側面・舌側面 P L*)	CWE	JDASTP15	

コード	名称	OBX-2 で使 用できる値	OBX-5 で使用す るコード表	備考
TP16	歯面 (近心面M*)	CWE	JDASTP16	
TP17	歯面 (遠心面D*)	CWE	JDASTP17	
TP18	歯の主な部位 (歯冠部)	CWE	JDASTP18	
TP19	歯の主な部位 (歯頸部)	CWE	JDASTP19	
TP20	歯の主な部位 (歯根部)	CWE	JDASTP20	
TP21	処置歯 (全部修復)	CWE	JDASTP21	
TP22	処置歯 (その他修復)	CWE	JDASTP22	
TP23	連結冠・ブリッジ支台歯	CWE	JDASTP23	
TP24	連結冠・ブリッジ番号	CWE	JDASTP24	
TP25	レストシート	CWE	JDASTP25	
TP26	クラスプ	CWE	JDASTP26	
TP27	固定式矯正装置	CWE	JDASTP27	
TP28	暫間固定	CWE	JDASTP28	
TP29	歯肉の状態	CWE	JDASTP29	
TP30	歯石沈着	CWE	JDASTP30	
TP31	歯根のう胞	CWE	JDASTP31	
TP32	ろう孔	CWE	JDASTP32	
TP33	骨瘤	CWE	JDASTP33	
IV. 欠損歯の内容パート (TM) レコード				
TM02	ポンティック	CWE	JDASTM02	
TM03	ブリッジ番号	CWE	JDASTM03	
TM04	有床義歯	CWE	JDASTM04	
TM05	複数義歯番号	CWE	JDASTM05	
TM06	義歯人工歯	CWE	JDASTM06	
TM07	義歯補綴隙	CWE	JDASTM07	
TM08	義歯大連結子	CWE	JDASTM08	
TM09	補強線	CWE	JDASTM09	
TM10	骨瘤	CWE	JDASTM10	
V. その他パート (TE) レコード				
TE02	当該歯製品識別情報の有無	CWE	JDASTE02	
TE03	当該歯製品識別情報 (製品名)	ST	—	
TE04	当該歯製品識別情報 (製造番号・記号等)	ST	—	
TE05	当該歯特記事項の有無	CWE	JDASTE05	
TE06	当該歯特記事項	ST, TX	—	
TE07	該当歯入力種別	CWE	JDASTE07	
TE08	当該歯情報入力・更新年月日	DT	—	
VI. 標準プロファイル 26 項目パート (TF) レコード				
TF02	標準プロファイル 26 項目の情報の有無	CWE	JDASTF02	
TF03	乳歯・D c d	CWE	JDASTF03	
TF04	健全歯・S o u	CWE	JDASTF04	
TF05	C 1 ~ C 3 (治療中を含む)・C 1 2 3	CWE	JDASTF05	
TF06	半埋伏・埋伏・R T	CWE	JDASTF06	
TF07	C R 充填・セメント充填・C R	CWE	JDASTF07	

コード	名称	OBX-2 で使 用できる値	OBX-5 で使用す るコード表	備考
TF08	インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠 金属色・I n	CWE	JDASTF08	
TF09	インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠 歯冠色・I n T C	CWE	JDASTF09	
TF10	アマルガム充填・A F	CWE	JDASTF10	
TF11	切端・咬合面・I O	CWE	JDASTF11	
TF12	唇側面・頬側面・B	CWE	JDASTF12	
TF13	口蓋側面・舌側面・P L	CWE	JDASTF13	
TF14	近心面・M	CWE	JDASTF14	
TF15	遠心面・D	CWE	JDASTF15	
TF16	全部金属冠（FMCほか）・FMC	CWE	JDASTF16	
TF17	前装冠（HR、MBほか）・HR	CWE	JDASTF17	
TF18	H J C、セラミックほか・H J C	CWE	JDASTF18	
TF19	支台歯（インプラントも可）・A b u	CWE	JDASTF19	
TF20	ボンティック・P o n	CWE	JDASTF20	
TF21	残根・根面板ほか・C 4	CWE	JDASTF21	
TF22	欠損・MAM	CWE	JDASTF22	
TF23	死後脱落の疑い・MPM	CWE	JDASTF23	
TF24	義歯（人工歯あり）・D e n	CWE	JDASTF24	
TF25	インプラント・I m p l	CWE	JDASTF25	
TF26	仮歯（TEK、プロビ等）あり・T e C	CWE	JDASTF26	
TF27	歯あり（状態不明）・P r e	CWE	JDASTF27	
TF28	情報なし・N o n	CWE	JDASTF28	
VII. 歯科人間ドック検査表パート (TH) レコード				
TH02	歯科人間ドック検査情報の有無	CWE	JDASTH02	
TH03	う蝕（疑わしい病名）の有無	CWE	JDASTH03	
TH04	う蝕（疑わしい病名）	ST	—	
TH05	う蝕（Per：根尖性歯周炎（根尖病巣））	CWE	JDASTH05	
TH06	う蝕（Hys：知覚過敏症）	CWE	JDASTH06	
TH07	歯周病（動揺度）Miller	CWE	JDASTH07	
TH08	歯周病（根分岐部病変）	CWE	JDASTH08	
TH09	歯周病（角化歯肉の有無）	CWE	JDASTH09	
TH10	歯周病（P S R（Periodontal Screening and Recording））	CWE	JDASTH10	
TH11	歯周病（P I I（Plaque Index））	CWE,NM	JDASTH11	
矯正関係レコード (KK)				
KK02	矯正関係情報の有無	CWE	JDASKK02	
KK03	歯列の異常	CWE	JDASKK03	
KK04	咬合関係の異常	CWE	JDASKK04	
KK05	唇顎口蓋裂	CWE	JDASKK05	
KK06	矯正装置	CWE	JDASKK06	
KK07	その他の矯正情報の有無	CWE	JDASKK07	
KK08	その他の矯正情報	ST, TX	—	

コード	名称	OBX-2 で使用できる値	OBX-5 で使用するコード表	備考
KK09	その他の矯正情報・歯式	CWE	JDAS0001	
その他の疾病及び異常レコード (SI)				
SI02	その他の疾病及び異常の有無	CWE	JDASSI02	
SI03	小帯の異常	CWE	JDASSI03	
SI04	骨瘤	CWE	JDASSI04	
SI05	骨瘤・歯式	CWE	JDAS0001	
SI06	口蓋隆起	CWE	JDASSI06	
SI07	その他の疾病及び異常	ST, TX	—	
SI08	その他の疾病及び異常・歯式	CWE	JDAS0001	
所見・特記事項レコード (SK)				
SK02	所見・特記事項の有無	CWE	JDASSK02	
SK03	所見・特記事項	ST, TX	—	
SK04	所見・特記事項・歯式	CWE	JDAS0001	
歯科健診等補足項目レコード (E12)				
HK02	歯科健診等の種別	CWE	JDASHK02	
I. 妊産婦歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式) 補足項目 (E01)				
HK.E01-03	初回診査年月日	DT	—	
HK.E01-04	妊娠・産後の別	CWE	JDASHKE0104	
HK.E01-05	妊娠産後週	NM	—	
HK.E01-06	要治療のむし歯	CWE	JDASHKE0106	
HK.E01-07	要治療のむし歯ありの本数	NM	—	
HK.E01-08	歯石	CWE	JDASHKE0108	
HK.E01-09	歯肉の炎症	CWE	JDASHKE0109	
HK.E01-10	特記事項	ST, TX	—	
II. 1歳児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式) 補足項目 (E02)				
HK.E02-03	年齢 (歳)	NM	—	
HK.E02-04	年齢 (か月)	NM	—	
HK.E02-05	むし歯の罹患型	CWE	JDASHKE0205	
HK.E02-06	要治療のむし歯	CWE	JDASHKE0206	
HK.E02-07	要治療のむし歯ありの本数	NM	—	
HK.E02-08	歯の汚れ	CWE	JDASHKE0208	
HK.E02-09	歯肉・粘膜異常の有無	CWE	JDASHKE0209	
HK.E02-10	歯肉・粘膜異常の内容	ST, TX	—	
HK.E02-11	かみ合わせ	CWE	JDASHKE0211	
HK.E02-12	かみ合わせ経過観察の内容	ST, TX	—	
HK.E02-13	特記事項	ST, TX	—	
III. 1歳6か月児歯科健康診査 (母子健康手帳省令様式) 補足項目 (E03)				
HK.E03-03	年齢 (歳)	NM	—	
HK.E03-04	年齢 (か月)	NM	—	
HK.E03-05	むし歯の罹患型	CWE	JDASHKE0305	
HK.E03-06	要治療のむし歯	CWE	JDASHKE0306	
HK.E03-07	要治療のむし歯ありの本数	NM	—	
HK.E03-08	歯の汚れ	CWE	JDASHKE0308	

コード	名称	OBX-2 で使用できる値	OBX-5 で使用するコード表	備考
HK.E03-09	歯肉・粘膜異常の有無	CWE	JDASHKE0309	
HK.E03-10	歯肉・粘膜異常の内容	ST, TX	—	
HK.E03-11	かみ合わせ	CWE	JDASHKE0311	
HK.E03-12	かみ合わせ経過観察の内容	ST, TX	—	
HK.E03-13	特記事項	ST, TX	—	
IV. 2歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）補足項目（E04）				
HK.E04-03	年齢（歳）	NM	—	
HK.E04-04	年齢（か月）	NM	—	
HK.E04-05	むし歯の罹患型	CWE	JDASHKE0405	
HK.E04-06	要治療のむし歯	CWE	JDASHKE0406	
HK.E04-07	要治療のむし歯ありの本数	NM	—	
HK.E04-08	歯の汚れ	CWE	JDASHKE0408	
HK.E04-09	歯肉・粘膜異常の有無	CWE	JDASHKE0409	
HK.E04-10	歯肉・粘膜異常の内容	ST, TX	—	
HK.E04-11	かみ合わせ	CWE	JDASHKE0411	
HK.E04-12	かみ合わせ経過観察の内容	ST, TX	—	
HK.E04-13	特記事項	ST, TX	—	
V. 3歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）補足項目（E05）				
HK.E05-03	年齢（歳）	NM	—	
HK.E05-04	年齢（か月）	NM	—	
HK.E05-05	むし歯の罹患型	CWE	JDASHKE0505	
HK.E05-06	要治療のむし歯	CWE	JDASHKE0506	
HK.E05-07	要治療のむし歯ありの本数	NM	—	
HK.E05-08	歯の汚れ	CWE	JDASHKE0508	
HK.E05-09	歯肉・粘膜異常の有無	CWE	JDASHKE0509	
HK.E05-10	歯肉・粘膜異常の内容	ST, TX	—	
HK.E05-11	かみ合わせ	CWE	JDASHKE0511	
HK.E05-12	かみ合わせ経過観察の内容	ST, TX	—	
HK.E05-13	特記事項	ST, TX	—	
VI. 4歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）補足項目（E06）				
HK.E06-03	年齢（歳）	NM	—	
HK.E06-04	年齢（か月）	NM	—	
HK.E06-05	要治療のむし歯	CWE	JDASHKE0605	
HK.E06-06	要治療のむし歯ありの本数	NM	—	
HK.E06-07	歯の汚れ	CWE	JDASHKE0607	
HK.E06-08	歯肉・粘膜異常の有無	CWE	JDASHKE0608	
HK.E06-09	歯肉・粘膜異常の内容	ST, TX	—	
HK.E06-10	かみ合わせ	CWE	JDASHKE0610	
HK.E06-11	かみ合わせ経過観察の内容	ST, TX	—	
HK.E06-12	特記事項	ST, TX	—	
VII. 5歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）補足項目（E07）				
HK.E07-03	年齢（歳）	NM	—	
HK.E07-04	年齢（か月）	NM	—	

コード	名称	OBX-2 で使用できる値	OBX-5 で使用するコード表	備考
HK.E07-05	要治療のむし歯	CWE	JDASHKE0705	
HK.E07-06	要治療のむし歯あり・乳歯の本数	NM	—	
HK.E07-07	要治療のむし歯あり・永久歯の本数	NM	—	
HK.E07-08	歯の汚れ	CWE	JDASHKE0708	
HK.E07-09	歯肉・粘膜異常の有無	CWE	JDASHKE0709	
HK.E07-10	歯肉・粘膜異常の内容	ST, TX	—	
HK.E07-11	かみ合わせ	CWE	JDASHKE0711	
HK.E07-12	かみ合わせ経過観察の内容	ST, TX	—	
HK.E07-13	歯・口腔の疾病異常	ST, TX	—	
HK.E07-14	特記事項	ST, TX	—	
VIII. 6歳児歯科健康診査（母子健康手帳省令様式）補足項目（E08）				
HK.E08-03	年齢（歳）	NM	—	
HK.E08-04	年齢（か月）	NM	—	
HK.E08-05	要治療のむし歯	CWE	JDASHKE0805	
HK.E08-06	要治療のむし歯あり・乳歯の本数	NM	—	
HK.E08-07	要治療のむし歯あり・永久歯の本数	NM	—	
HK.E08-08	歯の汚れ	CWE	JDASHKE0808	
HK.E08-09	歯肉・粘膜異常の有無	CWE	JDASHKE0809	
HK.E08-10	歯肉・粘膜異常の内容	ST, TX	—	
HK.E08-11	かみ合わせ	CWE	JDASHKE0811	
HK.E08-12	かみ合わせ経過観察の内容	ST, TX	—	
HK.E08-13	歯・口腔の疾病異常	ST, TX	—	
HK.E08-14	特記事項	ST, TX	—	
IX. 就学時健康診断補足項目（E09）				
HK.E09-03	う歯数（乳歯・処置歯数）	NM	—	
HK.E09-04	う歯数（乳歯・未処置歯数）	NM	—	
HK.E09-05	う歯数（永久歯・処置歯数）	NM	—	
HK.E09-06	う歯数（永久歯・未処置歯数）	NM	—	
HK.E09-07	歯のその他の歯の疾病及び異常	ST, TX	—	
HK.E09-08	口腔の疾病及び異常	ST, TX	—	
X. 学校歯科健康診断補足項目（E10）				
HK.E10-03	年齢	NM	—	
HK.E10-04	年度	NM	—	
HK.E10-05	顎関節	CWE	JDASHKE1005	
HK.E10-06	歯列・咬合	CWE	JDASHKE1006	
HK.E10-07	歯垢の状態	CWE	JDASHKE1007	
HK.E10-08	歯肉の状態	CWE	JDASHKE1008	
HK.E10-09	歯の状態（乳歯・現在歯数）	NM	—	
HK.E10-10	歯の状態（乳歯・未処置歯数）	NM	—	
HK.E10-11	歯の状態（乳歯・処置歯数）	NM	—	
HK.E10-12	歯の状態（永久歯・現在歯数）	NM	—	
HK.E10-13	歯の状態（永久歯・未処置歯数）	NM	—	
HK.E10-14	歯の状態（永久歯・処置歯数）	NM	—	

コード	名称	OBX-2 で使用できる値	OBX-5 で使用するコード表	備考
HK.E10-15	歯の状態 (永久歯・喪失歯数)	NM	—	
HK.E10-16	その他の疾病及び異常	—	—	CSV に記録されないため使用しない
HK.E10-17	学校歯科医所見	—	—	CSV に記録されないため使用しない
HK.E10-18	事後処置	CWE	JDASHKE1018	
HK.E10-19	備考	ST, TX	—	
X I . 成人歯科健康診査 (事業所歯科健診、歯周病検診含む) 補足項目 (E11)				
HK.E11-03	健全歯数	NM	—	
HK.E11-04	未処置歯数	NM	—	
HK.E11-05	処置歯数	NM	—	
HK.E11-06	現在歯数	NM	—	
HK.E11-07	要補綴歯数	NM	—	
HK.E11-08	欠損補綴歯数	NM	—	
HK.E11-09	補綴状況 (ブリッジ)	CWE	JDAS0001	
HK.E11-10	補綴状況 (義歯)	CWE	JDAS0001	
HK.E11-11	補綴状況 (インプラント)	CWE	JDAS0001	
HK.E11-12	歯肉の状況 (C P I) ・ BOP17 又は 16	CWE	JDASHKE1112	
HK.E11-13	歯肉の状況 (C P I) ・ BOP11	CWE	JDASHKE1113	
HK.E11-14	歯肉の状況 (C P I) ・ BOP26 又は 27	CWE	JDASHKE1114	
HK.E11-15	歯肉の状況 (C P I) ・ BOP47 又は 46	CWE	JDASHKE1115	
HK.E11-16	歯肉の状況 (C P I) ・ BOP31	CWE	JDASHKE1116	
HK.E11-17	歯肉の状況 (C P I) ・ BOP36 又は 37	CWE	JDASHKE1117	
HK.E11-18	歯肉の状況 (C P I) ・ PD17 又は 16	CWE	JDASHKE1118	
HK.E11-19	歯肉の状況 (C P I) ・ PD11	CWE	JDASHKE1119	
HK.E11-20	歯肉の状況 (C P I) ・ PD26 又は 27	CWE	JDASHKE1120	
HK.E11-21	歯肉の状況 (C P I) ・ PD47 又は 46	CWE	JDASHKE1121	
HK.E11-22	歯肉の状況 (C P I) ・ PD31	CWE	JDASHKE1122	
HK.E11-23	歯肉の状況 (C P I) ・ PD36 又は 37	CWE	JDASHKE1123	
HK.E11-24	歯肉の状況 (C P I) ・ 個人コード最大値 歯肉出血	CWE	JDASHKE1124	
HK.E11-25	歯肉の状況 (C P I) ・ 個人コード最大値 歯周ポケット	CWE	JDASHKE1125	
HK.E11-26	口腔清掃状態	CWE	JDASHKE1126	
HK.E11-27	歯石の付着	CWE	JDASHKE1127	
HK.E11-28	その他の所見 (歯列咬合)	CWE	JDASHKE1128	
HK.E11-29	その他の所見 (顎関節)	CWE	JDASHKE1129	
HK.E11-30	その他の所見 (粘膜)	CWE	JDASHKE1130	
HK.E11-31	その他	ST, TX	—	
HK.E11-32	判定区分	CWE	JDASHKE1132	
HK.E11-33	指導内容・目標	ST, TX	—	
HK.E11-34	市町村への連絡事項	CWE	JDASHKE1134	
X II . 後期高齢者歯科口腔健康診査 (例示) 補足項目 (E12)				

コード	名称	OBX-2 で使用できる値	OBX-5 で使用するコード表	備考
HK.E12-03	歯の状態 (健全歯数)	NM	—	
HK.E12-04	歯の状態 (未処置歯数)	NM	—	
HK.E12-05	歯の状態 (処置歯数)	NM	—	
HK.E12-06	歯の状態 (現在歯数)	NM	—	
HK.E12-07	歯の状態 (要補綴歯数)	NM	—	
HK.E12-08	歯の状態 (欠損補綴歯数)	NM	—	
HK.E12-09	補綴状況 (ブリッジ)	CWE	JDAS0001	
HK.E12-10	補綴状況 (義歯)	CWE	JDAS0001	
HK.E12-11	補綴状況 (インプラント)	CWE	JDAS0001	
HK.E12-12	補綴状況 (上顎義歯の部位)	CWE	JDASHKE1212	
HK.E12-13	補綴状況 (下顎義歯の部位)	CWE	JDASHKE1213	
HK.E12-14	補綴状況 (上顎義歯の状況)	CWE	JDASHKE1214	
HK.E12-15	補綴状況 (下顎義歯の状況)	CWE	JDASHKE1215	
HK.E12-16	補綴状況 (義歯の必要性)	CWE	JDASHKE1216	
HK.E12-17	補綴状況 (インプラント)	CWE	JDASHKE1217	
HK.E12-18	咬合の状態 (アイヒナーの分類)	CWE	JDASHKE1218	
HK.E12-19	咬合の状態 (現在歯による臼歯部での咬合 右側)	CWE	JDASHKE1219	
HK.E12-20	咬合の状態 (現在歯による臼歯部での咬合 左側)	CWE	JDASHKE1220	
HK.E12-21	咬合の状態 (義歯装着による臼歯部での咬合 右側)	CWE	JDASHKE1221	
HK.E12-22	咬合の状態 (義歯装着による臼歯部での咬合 左側)	CWE	JDASHKE1222	
HK.E12-23	咀嚼力評価	CWE	JDASHKE1223	
HK.E12-24	舌機能評価	CWE	JDASHKE1224	
HK.E12-25	嚥下機能評価	CWE	JDASHKE1225	
HK.E12-26	口腔衛生状態 (視診) (プラークの付着状況)	CWE	JDASHKE1226	
HK.E12-27	口腔衛生状態 (視診) (食渣)	CWE	JDASHKE1227	
HK.E12-28	口腔衛生状態 (視診) (舌苔)	CWE	JDASHKE1228	
HK.E12-29	口腔衛生状態 (視診) (口臭)	CWE	JDASHKE1229	
HK.E12-30	口腔衛生状態 (視診) (義歯清掃状況)	CWE	JDASHKE1230	
HK.E12-31	口腔乾燥 (視診)	CWE	JDASHKE1231	
HK.E12-32	口腔乾燥 (口腔水分計等)	CWE	JDASHKE1232	
HK.E12-33	歯肉の状況 (C P I)・BOP17 又は 16	CWE	JDASHKE1233	
HK.E12-34	歯肉の状況 (C P I)・BOP11	CWE	JDASHKE1234	
HK.E12-35	歯肉の状況 (C P I)・BOP26 又は 27	CWE	JDASHKE1235	
HK.E12-36	歯肉の状況 (C P I)・BOP47 又は 46	CWE	JDASHKE1236	
HK.E12-37	歯肉の状況 (C P I)・BOP31	CWE	JDASHKE1237	
HK.E12-38	歯肉の状況 (C P I)・BOP36 又は 37	CWE	JDASHKE1238	
HK.E12-39	歯肉の状況 (C P I)・PD17 又は 16	CWE	JDASHKE1239	
HK.E12-40	歯肉の状況 (C P I)・PD11	CWE	JDASHKE1240	

コード	名称	OBX-2 で使用できる値	OBX-5 で使用するコード表	備考
HK.E12-41	歯肉の状況 (C P I) ・ PD26 又は 27	CWE	JDASHKE1241	
HK.E12-42	歯肉の状況 (C P I) ・ PD47 又は 46	CWE	JDASHKE1242	
HK.E12-43	歯肉の状況 (C P I) ・ PD31	CWE	JDASHKE1243	
HK.E12-44	歯肉の状況 (C P I) ・ PD36 又は 37	CWE	JDASHKE1244	
HK.E12-45	歯肉の状況 (C P I) ・ 個人コード最大値 歯肉出血	CWE	JDASHKE1245	
HK.E12-46	歯肉の状況 (C P I) ・ 個人コード最大値 歯周ポケット	CWE	JDASHKE1246	
HK.E12-47	健診結果 (問題なし)	CWE	JDASHKE1247	
HK.E12-48	健診結果 (要指導: 口腔清掃)	CWE	JDASHKE1248	
HK.E12-49	健診結果 (要指導: 義歯管理)	CWE	JDASHKE1249	
HK.E12-50	健診結果 (要指導: 食事指導)	CWE	JDASHKE1250	
HK.E12-51	健診結果 (要指導: その他)	ST, TX	—	
HK.E12-52	健診結果 (要治療: う蝕)	CWE	JDASHKE1252	
HK.E12-53	健診結果 (要治療: 歯周疾患)	CWE	JDASHKE1253	
HK.E12-54	健診結果 (要治療: 義歯)	CWE	JDASHKE1254	
HK.E12-55	健診結果 (要治療: その他)	ST, TX	—	
HK.E12-56	健診結果 (その他特記事項)	ST, TX	—	
XIII. 特殊歯科健康診査 (歯の酸蝕症) 補足項目 (E13)				
HK.E13-03	主な取り扱い物質	CWE	JDASHKE1303	
HK.E13-04	主な取り扱い物質 (その他)	ST	—	
HK.E13-05	作業内容	ST	—	
HK.E13-06	作業従事年数	NM	—	
HK.E13-07	自覚症状の有無	CWE	JDASHKE1307	
HK.E13-08	自覚症状の内容	ST, TX	—	
HK.E13-09	歯の酸蝕症 (口腔内写真)	NM	—	
HK.E13-10	作業環境 (局所排気)	CWE	JDASHKE1310	
HK.E13-11	作業環境 (全体排気)	CWE	JDASHKE1311	
HK.E13-12	作業環境 (防護具)	CWE	JDASHKE1312	
HK.E13-13	判定 (歯の酸蝕症)	CWE	JDASHKE1313	
HK.E13-14	就業区分 (歯の酸蝕症)	CWE	JDASHKE1314	
HK.E13-15	診査者の意見 (歯の酸蝕症に関して)	ST, TX	—	
HK.E13-16	診査者の意見 (う蝕)	ST, TX	—	
HK.E13-17	診査者の意見 (歯周病)	ST, TX	—	
HK.E13-18	診査者の意見 (歯垢)	ST, TX	—	
HK.E13-19	診査者の意見 (歯石)	ST, TX	—	
HK.E13-20	診査者の意見 (酸蝕症以外の職業性歯科疾患)	ST, TX	—	
HK.E13-21	診査者の意見 (その他)	ST, TX	—	
XIV. 歯科人間ドック検査補足項目 (E14)				
HK.E14-03	全身所見 (体格)	CWE	JDASHKE1403	
HK.E14-04	全身所見 (姿勢、歩行)	CWE	JDASHKE1404	

コード	名称	OBX-2 で使用できる値	OBX-5 で使用するコード表	備考
HK.E14-05	全身所見 (皮膚)	CWE	JDASHKE1405	
HK.E14-06	唾液検査 (唾液分泌量)	NM	—	
HK.E14-07	唾液検査 (唾液 pH 値)	NM	—	
HK.E14-08	唾液検査 (緩衝能)	CWE	JDASHKE1408	
HK.E14-09	口腔外検査の視診	CWE	JDASHKE1409	
HK.E14-10	口腔外検査の触診	CWE	JDASHKE1410	
HK.E14-11	特記事項	ST, TX	—	
HK.E14-12	顎関節症関連検査 (安静時の圧痛検査 (水平位))	CWE	JDASHKE1412	
HK.E14-13	顎関節症関連検査 (開口時・頭部回転時の圧痛検査 (水平位))	CWE	JDASHKE1413	
HK.E14-14	口腔粘膜検査	CWE	JDASHKE1414	
HK.E14-15	口腔粘膜検査・特記事項	ST, TX	—	
HK.E14-16	エックス線検査	CWE	JDASHKE1416	
HK.E14-17	エックス線検査・特記事項	ST, TX	—	
HK.E14-18	う蝕検査	CWE	JDASHKE1418	
HK.E14-19	S.mutans 数	CWE	JDASHKE1419	
HK.E14-20	歯周病検査	CWE	JDASHKE1420	
HK.E14-21	唾液潜血反応試験 (ヘモグロビンキット)	CWE	JDASHKE1421	
HK.E14-22	う蝕検査・歯周病検査・特記事項	ST, TX	—	
HK.E14-23	咬合検査	CWE	JDASHKE1423	
HK.E14-24	咬合検査・特記事項	ST, TX	—	
X V. かかりつけ連携手帳補足項目 (E15)				
HK.E15-03	要治療のむし歯	CWE	JDASHKE1503	
HK.E15-04	要治療のむし歯ありの本数	NM	—	
HK.E15-05	歯石	CWE	JDASHKE1505	
HK.E15-06	歯肉の炎症	CWE	JDASHKE1506	
HK.E15-07	特記事項	ST, TX	—	
XVI. WHO 口腔健康診査 (成人用) 補足項目 (E16)				
HK.E16-03	診査票管理情報	CWE	JDASHKE1603	
HK.E16-04	一般情報	CWE	JDASHKE1604	
HK.E16-05	一般情報 (調査地区の種類)	CWE	JDASHKE1605	
HK.E16-06	一般情報 (その他)	CWE	JDASHKE1606	
HK.E16-07	歯の状態	CWE	JDASHKE1607	
HK.E16-08	歯周状態 (歯肉出血: 上顎)	CWE	JDASHKE1608	
HK.E16-09	歯周状態 (歯周ポケット: 上顎)	CWE	JDASHKE1609	
HK.E16-10	歯周状態 (歯肉出血: 下顎)	CWE	JDASHKE1610	
HK.E16-11	歯周状態 (歯周ポケット: 下顎)	CWE	JDASHKE1611	
HK.E16-12	アタッチメントロス	CWE	JDASHKE1612	
HK.E16-13	歯のフッ素症	CWE	JDASHKE1613	
HK.E16-14	歯の酸蝕症 (重症度)	CWE	JDASHKE1614	
HK.E16-15	歯の酸蝕症 (酸蝕歯の数)	CWE	JDASHKE1615	
HK.E16-16	歯の外傷 (状態)	CWE	JDASHKE1616	

コード	名称	OBX-2 で使 用できる値	OBX-5 で使用す るコード表	備考
HK.E16-17	歯の外傷 (外傷歯の数)	CWE	JDASHKE1617	
HK.E16-18	口腔粘膜病変 (状態)	CWE	JDASHKE1618	
HK.E16-19	口腔粘膜病変 (部位)	CWE	JDASHKE1619	
HK.E16-20	義歯	CWE	JDASHKE1620	
HK.E16-21	緊急介入	CWE	JDASHKE1621	
XVII. WHO 口腔健康診査 (小児用) 補足項目 (E17)				
HK.E17-03	診査票管理情報	CWE	JDASHKE1703	
HK.E17-04	一般情報	CWE	JDASHKE1704	
HK.E17-05	一般情報 (調査地区の種類)	CWE	JDASHKE1705	
HK.E17-06	一般情報 (その他)	CWE	JDASHKE1706	
HK.E17-07	歯の状態	CWE	JDASHKE1707	
HK.E17-08	歯周状態 (歯肉出血)	CWE	JDASHKE1708	
HK.E17-09	歯のフッ素症	CWE	JDASHKE1709	
HK.E17-10	歯の酸蝕症 (重症度)	CWE	JDASHKE1710	
HK.E17-11	歯の酸蝕症 (酸蝕歯の数)	CWE	JDASHKE1711	
HK.E17-12	歯の外傷 (状態)	CWE	JDASHKE1712	
HK.E17-13	歯の外傷 (外傷歯の数)	CWE	JDASHKE1713	
HK.E17-14	口腔粘膜病変 (状態)	CWE	JDASHKE1714	
HK.E17-15	口腔粘膜病変 (部位)	CWE	JDASHKE1715	
HK.E17-16	緊急介入	CWE	JDASHKE1716	
画像情報レコード (IM)				
IM02	画像情報 (特徴抽出情報)	ST, TX	—	
IM03	画像情報 (画像ファイル所在情報)	ST, TX, RP	—	
IM04	画像情報 (その他)	ST, TX	—	

例1: OBX|1|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T01|1011^右側上顎中切歯^JDASTB01|...<CR>

例2: OBX|9|DT|TE08^該当歯情報入力・更新年月日^JDAS0003|T01|20161225|...<CR>

4. 口腔診査情報通知メッセージ (ORU) の構文

口腔診査情報通知メッセージ (ORU^R01) のセグメント構成は下記の通りである。メッセージ構造は、「ORU_R01」を使用する。

表3 口腔診査情報通知メッセージ(ORU^R01)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	2
[{ SFT }]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
{				
[
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	◎	3
[PD1]	患者追加基本情報		-	3
[{ NTE }]	注釈・コメント	患者識別情報に対するコメント。	-	2
[{ NK1 }]	近親者情報		-	3
[
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [口腔診査情報] 口腔診査情報では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	◎	3
[PV2]	来院補足情報	PV1(来院情報)の補足情報を提供する。	-	3
]				
]				
{				
[ORC]	共通オーダ	オーダに共通なデータを提供する。オーダ番号・依頼者・依頼日時など。	◎	4
OBR	検査要求	検査要求として検査種別を記述する。	◎	7
[{ NTE }]	注釈・コメント		◎	2
[{				
TQ1	タイミング/数量	要求のタイミングと頻度を表現する。	◎	4
[{ TQ2 }]	タイミング/数量オーダ順序		-	4
}]				
[CTD]	連絡データ		-	11
[{				
OBX		検査結果を記述する。1つの口腔情報に1つのOBXセグメントを使用する。	◎	7
{ [NTE] }	注釈・コメント		◎	2
}]				
[{ FT1 }]	会計処理		-	6
{ [CT1] }	治験識別		-	7
[{				

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5 章
SPM	検体		-	
[{ OBX }]	検査結果		-	7
}]				
}				
}				
[DSC]	継続ポインタ		-	2

5. 口腔診査情報通知メッセージ (ORU) のセグメント詳細

口腔診査情報通知メッセージ (ORU^R01) で使用するセグメントとその内容は下記の通りである。

なお、SS-MIX2 固有の取り決めには、「説明」欄に[SS-MIX2]という見出しを、本仕様固有の取り決めには、同じく[口腔診査情報]という見出しを付けている。

5.1 メッセージヘッダセグメント (MSH)

表4 メッセージヘッダセグメント(MSH)定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	J A H I S	口腔診査情報	説明
MSH-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「MSH」を設定する。
MSH-1	フィールド区切文字	1	ST	R			R	R	セグメント ID と最初の実フィールド (MSH-2 コード化文字) 間の区切文字。残りのメッセージで区切文字として使う文字を定義。
MSH-2	コード化文字	4	ST	R			R	R	成分セパレータ、反復セパレータ、エスケープ文字、副成分セパレータの 4 文字。 [SS-MIX2] 標準のセパレータである「~%&」を設定する。
MSH-3	送信アプリケーション	227	HD	O		0361	O	O	送信アプリケーションを識別する為に用いる。HIS (病院情報システム) 名、オーダリングシステムの名称等。
MSH-4	送信施設	227	HD	O		0362	O	O	送信元施設を区別する為の送信側の施設コードや略称。
MSH-5	受信アプリケーション	227	HD	O		0361	O	O	受信アプリケーションを識別する為に用いる。 [SS-MIX2] HIS 情報ゲートウェイ受信アプリケーションを示す「GW」を設定する。
MSH-6	受信施設	227	HD	O		0362	O	O	受信先施設を区別する為の受信側の施設コードや略称。
MSH-7	メッセージ日時	26	TS	R			R	R	送信システムがメッセージを作成した日時。 [SS-MIX2] ストレージに格納されるファイル名の一部として使用されるため、秒までの精度は必須で指定する。最大 10000 分の 1 秒まで指定可能とするがファイル名に使用するのは小数点以下 3 桁までとする。タイムゾーンは指定しない。「YYYYMMDDHHMMSS.[S[S[S[S]]]]」形式。
MSH-8	セキュリティ	40	ST	O			O	N	安全性を実装するのに使われる。その使用法はまだ規定されていない。
MSH-9	メッセージ型	15	MSG	R			R	R	メッセージを識別する為に用いるコード。受信側システムは、このフィールドにより認識すべきデータ・セグメントを識別することができる。 [口腔診査情報] 口腔診査情報通知メッセージでは、「ORU^R01^ORU_R01」をセットする。
MSH-10	メッセージ制御 ID	20	ST	R			R	R	送信側システムで管理するメッセージを一意に識別する

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	J A H I S	口 腔 診 査 情 報	説明
									番号。
MSH-11	処理 ID	3	PT	R			R	R	HL7 処理ルールに従ってメッセージを処理するかどうかを判断する為に用いる。 [SS-MIX2] 「P」(プロダクション・本系)を設定する。
MSH-12	バージョン ID	60	VID	R			R	R	受信側システムでバージョン ID を識別しメッセージが確実に解釈されるようにする。 [SS-MIX2] 「2.5」(HL7 Version 2.5)を設定する。
MSH-13	シーケンス番号	15	NM	O			O	N	送信側が持つ受信アプリケーション・施設毎に管理されたシーケンス。
MSH-14	継続ポインタ	180	ST	O			O	N	アプリケーションに特有の方法で継続を定義するのに使用。
MSH-15	受諾肯定応答型	2	ID	O		0155	O	N	このメッセージに回答して受諾肯定応答を返すことが要求される条件を定義する。
MSH-16	アプリケーション肯定応答型	2	ID	O		0155	O	N	このメッセージに回答してアプリケーション肯定応答を返すことが要求される条件を定義する。
MSH-17	国コード	3	ID	O		0399	O	N	メッセージの発信国を定義する。主に通貨単位などのデフォルト要素を指定するのに使用される。ISO-3166 からコードを指定する。
MSH-18	文字セット	16	ID	O	Y	0211	R	R	メッセージ全体に使用する文字コードセットを定義する。 [SS-MIX2] 「ISO IR87」を設定する。
MSH-19	主要言語	250	CWE	O			O	N	メッセージの主要言語を定義する。
MSH-20	代替文字セット操作法	20	ID	O		0356	C	O	文字セットを切替える為のエスケープシーケンス方式を定義する。 [SS-MIX2] 「ISO 2022-1994」を設定する。
MSH-21	メッセージプロファイル識別子	427	EI	O	Y		O	O	準拠するメッセージプロファイル。文法、構文、および、特定のメッセージやメッセージセットの詳細な説明を含む。

5.2 患者識別セグメント (PID)

表5 患者識別セグメント(PID)定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	J A H I S	口腔 診 査 情 報	説明
PID-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「PID」を設定する。
PID-1	セット ID-PID	4	SI	O			O	O	セグメントの反復が許されるメッセージにおいて、反復を識別する為のメッセージ内でのシーケンス番号。 [SS-MIX2] 設定する場合、「0001」を設定する。 1 メッセージで複数患者の情報を送信しない。
PID-2	患者 ID	20	CX	B			B	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。
PID-3	患者 ID リスト	250	CX	R	Y		R	R	病院内で患者を一意に識別できる ID。患者 ID やカルテ番号、請求書番号など。識別子型コード(CX.5)は任意であるが、使用する場合は、HL7 表「0203-ID 型」を参照。例えば、カルテ番号の場合は「PI(患者内部識別子)」を使用する。 [SS-MIX2] 病院内で定義された桁数で、前ゼロ形式とする。 [口腔診査情報] 〈PN-6: 医療機関内 ID〉、〈PN-7 個人確認用番号 1(医療等 ID)〉、〈PN-8: 個人確認用番号 2(医療等 ID)〉を繰り返しを使用してセットする。 〈PN-6: 医療機関内 ID〉の場合は第 5 成分に「PI」を、 〈PN-7: 個人確認用番号 1(医療等 ID)〉の場合は第 5 成分に「NI」を、それぞれ使用する。 例: 1234567890^^^PI
PID-4	代替患者 ID	20	CX	B	Y		B	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。
PID-5	患者氏名	250	XPN	R	Y		R	R	患者の氏名。 [SS-MIX2] 名前タイプコード(XPN.7)は、HL7 表「0200-名前タイプ」に記載されている「L: 法的な名前」を使用、名前表記コード(XPN.8)は、HL7 表「0465-名前/アドレス表記」に記載されている「I: 漢字表記」「P: カナ表記」を使用する。 2 件の繰返しをもつ(1. 漢字名称、2. カナ名称) ex) 駿河葵~~~~~L`Y`スルガ`アオイ~~~~~L`P [口腔診査情報] 〈PN-10: 氏名〉をセットする。
PID-6	母親の旧姓	250	XPN	O	Y		N	N	患者の母親の旧姓。通常は使用しないフィールド。

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	J A H I S	口腔 診 査 情 報	説明
PID-7	生年月日年齢	26	TS	O			O	R	患者の誕生日。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDD」形式。 [口腔診査情報] ＜PN-12生年月日＞をセットする。
PID-8	性別	1	IS	O		0001	O	R	患者の性別を識別するコード。 取りうる値は、使用者定義表「0001-性別」より「F(女性)」「M(男性)」「U(未知)」「O(その他)」を使用する。 [口腔診査情報] ＜PN-11:男女区別＞をセットする。
PID-9	患者別名	250	XPN	B	Y		N	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。
PID-10	人種	250	CWE	O	Y	0005	N	N	患者の人種。通常は使用しないフィールド。
PID-11	患者住所	250	XAD	O	Y		O	O	患者の住所。 [SS-MIX2] 住所タイプコード(XAD.7)は、HL7 表「0190-住所タイプ」に記載されている「H: 自宅」を使用する。 住所の都道府県以下が構造化されていない場合、「ZIP あるいは郵便番号(XAD.5)」に郵便番号、「他の地理的な表示(XAD.8)」に従来記法で表現する。 ex) ^^^420-8601^JPN^H^静岡県静岡市葵区追手町9番6号
PID-12	郡コード	4	IS	B		0289	N	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。
PID-13	電話番号-自宅	250	XTN	O	Y		O	O	患者の自宅電話番号。 [SS-MIX2] 遠距離通信用途コード(XTN.2)は、HL7 表「0201-遠距離通信用途コード」より「PRN: 主たる住居の番号」を使用する。 遠距離通信装置タイプ(XTN.3)は、HL7 表「0202-遠距離通信機器タイプ」より「PH: 電話」を使用する。 「054-211-9999」のような非定型文字列の場合、非定型の電話番号(XTN.12)を使用する。 ex) ^PRN^PH^^^^^^^^054-211-9999
PID-14	電話番号-勤務先	250	XTN	O	Y		O	O	患者の勤務先の電話番号。 [SS-MIX2] 遠距離通信用途コード(XTN.2)は、HL7 表「0201-遠距離通信用途コード」より「WPN: 勤務先の番号」を使用する。 遠距離通信装置タイプ(XTN.3)は、HL7 表「0202-遠距離通信機器タイプ」より「PH: 電話」を使用する。 ex) ^WPN^PH^^^^^^^^054-999-2455
PID-15	使用言語	250	CWE	O		0296	N	N	患者の主要な言語。通常は、本フィールドは使用しない。
PID-16	婚姻状況	250	CWE	O		0002	O	N	患者の婚姻状況。

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	J A H I S	口 腔 診 査 情 報	説明
PID-17	宗教	250	CWE	O		0006	N	N	患者の宗教。通常は、本フィールドは使用しない。
PID-18	患者会計番号	250	CX	O			O	N	患者の会計情報を識別するための番号。
PID-19	社会保険番号	16	ST	B			N	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。
PID-20	運転免許証番号	25	DLN	B			N	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。
PID-21	母親の識別情報	250	CX	O	Y		O	N	新生児に対する母親を識別するための情報。
PID-22	民族	250	CWE	O	Y	0189	N	N	患者の民族的起源を定義する。通常は、本フィールドは使用しない。
PID-23	出生地	250	ST	O			N	N	患者の出生地を示す。通常は、本フィールドは使用しない。
PID-24	多胎児識別情報	1	ID	O		0136	N	N	患者が多胎児の一人であったかどうかを示す。通常は、本フィールドは使用しない。
PID-25	誕生順序	2	NM	O			N	N	患者が多胎児の一人であった場合、誕生順序を示す値。通常は、本フィールドは使用しない。
PID-26	市民権	250	CWE	O	Y	0171	N	N	患者個人の市民権のある国を示す。通常は、本フィールドは使用しない。
PID-27	退役軍人状況	250	CWE	O		0172	N	N	退役軍人に割り当てられた軍人情報。通常は、本フィールドは使用しない。
PID-28	国籍	250	CWE	B		0212	B	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。
PID-29	患者死亡日時	26	TS	O			O	N	患者の死亡日時。「YYYYMMDDHHMMSS」
PID-30	患者死亡識別情報	1	ID	O		0136	O	N	患者が死亡したか否かを Y(死亡)/N で表現。
PID-31	身元不明識別	1	ID	O		0136	O	N	患者の身元確認が行われているかどうか Y(身元不明)/N で示す。
PID-32	識別情報の信頼性	20	IS	O	Y	0445	O	N	患者を識別する上での識別情報の信頼性を示す。
PID-33	最終更新日時	26	TS	O			O	C	患者情報の更新日時。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。 [条件] 患者基本情報の更新(ADT^A08)メッセージのとき必須。
PID-34	最終更新施設	241	HD	O			O	N	患者情報を最後に更新された病院施設の識別情報。
PID-35	種コード	250	CWE	C		0446	C	N	生物学的な種を識別するコード。人間以外の場合に使用。
PID-36	品種コード	250	CWE	C		0447	C	N	動物の特定の品種を識別するコード。
PID-37	血統情報	80	ST	O			O	N	動物の血統を識別するコード。
PID-38	生産分類コード	250	CWE	O	2	0429	O	N	生物の主な用途を示すコード。
PID-39	所属種族	250	CWE	O	Y	0171	N	N	患者の所属種族に関する情報。インディアン事務局等。

5.3 来院情報セグメント (PV1)

表6 来院情報セグメント(PV1)定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	J A H I S	口 腔 診 査 情 報	説明
PV1-0	セグメントID	3	ST	R			R	R	セグメントID「PV1」を設定する。
PV1-1	セットID-PV1	4	SI	O			O	O	トランザクションを一意的に識別する番号。 [SS-MIX2] 設定する場合、「0001」を指定する。
PV1-2	患者区分	1	IS	R		0004	R	R	患者の分類を示す。入院、外来などの区別を表現する。 使用者定義表「0004-患者クラス」より「(入院患者)」と「O (外来患者)」を用いて、入院患者・外来患者を表現する。
PV1-3	患者所在場所	80	PL	O			C	O	患者の所在場所を示す。 入力した物理的な場所・端末の設置場所(部門や階)を示す。 入院の場合、 〈病棟コード〉〈病室コード〉〈ベッド番号〉 [^] ~ [^] N 外来の場合、 〈診療科コード〉 [^] ~ [^] C と設定することにし、所在場所型(PL6)は必須とする。 〈診療科コード〉には、使用者定義表「0302-ケアの場所」 を使用し、取りうる値は、「口腔診査情報統一診療科コード表 V1.0」を参照とする。 〈病棟コード〉、〈病室コード〉、〈ベッド番号〉には各施設で 決められたローカルコードを使用する。 所在場所型(PL6)には、使用者定義表「0305-所在場所 型」より、「C(診療科)」、「D(部門)」、「N(病棟)」を設定す る。 ex) 010 [^] ~ [^] C
PV1-4	入院区分	2	IS	O		0007	O	N	患者が入院した経緯を示す。
PV1-5	事前入院番号	250	CX	O			O	N	患者の仮入院番号を一意的に識別する番号。
PV1-6	患者の以前の所在	80	PL	O			O	O	患者の以前の所在場所を示す。 [SS-MIX2] 入院患者の移動(転科・転棟・転室・転床)前の所在場所 を示す。 〈病棟コード〉〈病室コード〉〈ベッド番号〉 [^] ~ [^] 〈患者位置タイ プ〉 〈病棟コード〉、〈病室コード〉、〈ベッド番号〉には各施設内 で決められたローカルコードを使用する。〈患者位置タイ プ〉は、使用者定義表「0305-患者位置タイプ」より「N(病 棟)」を使用する。 ex) 031 [^] 304 [^] 01 [^] ~ [^] N

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	J A H I S	口 腔 診 査 情 報	説明
PV1-7	主治医	250	XCN	O	Y	0010	O	O	患者を診療する主治医の情報を示す。 [SS-MIX2] <医師の ID>^<姓>^<名>^~~~~~<名前タイプ>^~~~~<名前表 記コード> <名前タイプ>は、HL7 表「0200-名前タイプ」より「L(法的 な名前)」を使用、<名前表記コード>は、HL7 表「0465-名 前/アドレス表記」に記載されている「I:漢字表記」「P:カ ナ表記」を使用する。 ex) 1234567^医師^一郎^~~~~~L^~~~~I
PV1-8	紹介医	250	XCN	O	Y	0010	O	N	紹介医師の情報を示す。
PV1-9	コンサルタント医師	250	XCN	B	Y	0010	N	N	コンサルタント医師の情報を示す。
PV1-10	診療部門	3	IS	O		0069	C	C	患者を担当する診療科を示す。A01(入院/来院)、A02 (転科転棟)、A14(入院待ち)、A15(転科転棟待ち)で使 用される。 [条件] トリガイベント A01、A02、A14、A15 の場合のみ 使用する。 使用者定義表「0069-診療部門」を使用する。 [口腔診査情報] <ON-11:診療科コード>をセットする。
PV1-11	一時的な所在場所	80	PL	O			N	N	患者の所在場所以外の場所で、手術等の一時的な所在 を示す。
PV1-12	入院前検査標識	2	IS	O		0087	N	N	患者は入院するために仮入院検査を受けねばならない ことを示す。
PV1-13	再入院標識	2	IS	O		0092	N	N	患者が施設および環境に再入院することを示す。再入院 は R、そうでなければ Null である。再発患者の来院も示 すことができる。
PV1-14	紹介元	6	IS	O		0023	O	N	患者がどこに入院していたかを示す。
PV1-15	外来状況	2	IS	O	Y	0009	O	N	外来時の患者の身体機能(障害状況)を示す。補助機器 を使用して来院、意識不明/担架を使用して来院、妊 婦...等。
PV1-16	VIP 標識	2	IS	O		0099	O	N	VIP のタイプを識別する。
PV1-17	入院時医師	250	XCN	O	Y	0010	O	O	入院を指示した医師の情報を示す。 [SS-MIX2] <医師の ID>^<姓>^<名>^~~~~~<名前タイプ>^~~~~<名前表 記コード> <名前タイプ>は、HL7 表「0200-名前タイプ」より「L(法的 な名前)」を使用、<名前表記コード>は、HL7 表「0465-名 前/アドレス表記」に記載されている「I:漢字表記」「P:カ ナ表記」を使用する。 ex) 1234567^医師^一郎^~~~~~L^~~~~I

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	J A H I S	口 腔 診 査 情 報	説明
PV1-18	患者種別	2	IS	O		0018	N	N	病院内で独自に使用している患者の種別。
PV1-19	来院番号	250	CX	O			O	N	患者の来院に割り当てられた一意的な番号。次回診察予定番号。
PV1-20	保険種別	50	FC	O	Y	0064	O	N	診療報酬の源を識別する目的で患者に割り当てられた、主要な財務のクラス。
PV1-21	費用識別標識	2	IS	O		0032	N	N	部屋およびベッドの料金にどの価格表を使用するか決めるために使用されるコード。
PV1-22	優待コード	2	IS	O		0045	N	N	患者が特定の優待を受けるかどうかを示すコード。
PV1-23	信用等級	2	IS	O		0046	N	N	過去の信用経験を決定する。
PV1-24	契約コード	2	IS	O	Y	0044	N	N	会計残高を決済するための施設および保証人による契約のタイプを識別する。
PV1-25	契約発効日	8	DT	O	Y		N	N	契約が始まる日付。
PV1-26	契約金額	12	NM	O	Y		N	N	保証人によって各期に契約ごとに支払われる金額。
PV1-27	契約期間	3	NM	O	Y		N	N	使用者が定義する期間で、契約の持続期間を指定する。
PV1-28	利息コード	2	IS	O		0073	N	N	任意の未決済の金額に対し保証人に請求される利息額を示す。
PV1-29	不良負債転換コード	4	IS	O		0110	N	N	会計が不良負債に転換されたこと及び理由を示す。
PV1-30	不良負債転換日	8	DT	O			N	N	会計が不良負債状況に転換された日付。
PV1-31	不良負債代理店コード	10	IS	O		0021	N	N	会計が転換された先の不良負債代理を一意的に識別する。
PV1-32	不良負債転換額	12	NM	O			N	N	不良負債に転換された金額。
PV1-33	不良負債回収額	12	NM	O			N	N	会計上の保証人から回収された金額。
PV1-34	会計情報削除標識	1	IS	O		0111	N	N	会計がファイルから削除されたこと及びその理由を示す。
PV1-35	会計情報削除日	8	DT	O			N	N	会計がファイルから削除された日付。
PV1-36	退院区分	3	IS	O		0112	O	O	退院時の患者の状態・処置を示す。 使用者定義表「0112-退院区分」より「01(退院)」「05(紹介)」「20(死亡)」等を用いる。
PV1-37	退院先	47	DLD	O		0113	O	N	患者の退院先の施設を示す。
PV1-38	食事種別	250	CWE	O		0114	O	N	患者用の特別な給食タイプを示す。
PV1-39	担当施設	2	IS	O		0115	N	N	今回の来院がどの医療機関と関係しているかを示す。
PV1-40	ベッド状態	1	IS	B		0116	N	N	病院におけるベッドの使用状況を示す。清掃、空き、汚染...等。
PV1-41	会計状態	2	IS	O		0117	N	N	患者の会計の状況を示す。

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	J A H I S	口 腔 診 査 情 報	説明
PV1-42	保留所在場所	80	PL	O			N	N	患者が移動する先の看護ステーション、部屋、ベッド、施設 ID およびベッド状況を示す。第 5 の成分(ベッド状況)中に値がある場合、それは、PV1-40 の値に取って代わる。
PV1-43	事前の一時的所在	80	PL	O			N	N	患者の一時的な場所を示す時に使用される。割り当てられた場所へ移動する前の一時的な場所などを示す。
PV1-44	入院日時	26	TS	O			O	O	患者の入院日時を示す。 ※ADT^A04(来院受付)のときは、来院日時となる ADT^A05(事前登録(予約登録))のときは、予約日時となる
PV1-45	退院日時	26	TS	O	Y		O	O	患者の退院日時を示す。
PV1-46	未納額	12	NM	O			N	N	来院患者の現在の未納額を示す。
PV1-47	総費用	12	NM	O			N	N	来院有償金額の合計。
PV1-48	総調整額	12	NM	O			N	N	来院調整金額の合計。
PV1-49	合計支払額	12	NM	O			N	N	来院の支払い金額の合計。
PV1-50	代替来院 ID	250	CX	O		0203	O	N	来院 ID 番号。この ID は入院時に患者を一意的に識別するために使用される。
PV1-51	来院標識	1	IS	O		0326	N	N	データ送信が患者の来院によるのか会計によるのかの識別に使用。
PV1-52	他のヘルスクエア供給者	250	XCN	B	Y	0010	N	N	患者の診療行為に関わる全ての医療従事者を示す事ができる。看護婦、付き添い、補助医師...等。

5.4 共通オーダーセグメント (ORC)

オーダー情報をセットするためのセグメントである。口腔診査情報にオーダー情報が含まれない場合は、セグメントそのものを省略してもよい。

表7 共通オーダーセグメント(ORC)定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	J A H I S	口腔 診 査 情 報	説明
ORC-0	セグメントID	3	ST	R			R	R	セグメントID「ORC」を設定する。
ORC-1	オーダー制御	2	ID	R		0119	R	R	該当メッセージの振舞いを示す。取りうる値は、HL7表「0119-オーダー制御」を参照。 [SS-MIX2] 新規・修正は「NW」、取消「CA」。
ORC-2	依頼者オーダー番号	22	EI	C			R	RE	依頼者アプリケーションのオーダー番号。 [SS-MIX2] 15桁・前ゼロ形式。 <オーダー番号> [口腔診査情報] オーダー情報がない場合もあるので、RE(存在すれば必須)とする。
ORC-3	実施者オーダー番号	22	EI	C			O	O	実施者アプリケーションのオーダー番号。
ORC-4	依頼者グループ番号	22	EI	O			O	O	依頼者アプリケーションが、複数のオーダーをグループ化し後でそれらを識別できるようにするための識別番号。
ORC-5	オーダー状態	2	ID	O		0038	O	O	オーダーの状態を報告。オーダー自体を処理することはできない。 実施者だけがこのフィールドに値を付けることができる。 取りうる値は、HL7表「0038-オーダー状態」を参照。
ORC-6	応答フラグ	1	ID	O		0121	O	N	実施者から返される情報のレベルを指定。
ORC-7	数量/タイミング	200	TQ	B	Y		X	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。TQ1、TQ2セグメントを推奨。
ORC-8	親	200	EIP	O			C	N	親子のメカニズムの関係が存在するとき子を親に関連付ける。 [条件] オーダー制御(ORC-1)が「CH」(子オーダー)の場合に使用する。
ORC-9	トランザクション日時	26	TS	O			R	RE	「ORC-1 オーダー制御」で示された現在のオーダーが発生した日時。オーダーが変更・中止された場合、変更・中止された日時(変更・中止前のオーダーの発生日時ではないことに注意する。) [SS-MIX2] 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。 [口腔診査情報] オーダー情報がない場合もあるので、RE(存在すれば必須)とする。

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	J A H I S	口腔 診 査 情 報	説明
ORC-10	入力者	250	XCN	O	Y		O	O	アプリケーションに実際に入力した人の所属氏名。 [SS-MIX2] <入力者の ID>^<姓>^<名>^~~~~<名前タイプ>^~~~~<名前 表記コード> <名前タイプ>は、HL7 表「0200-名前タイプ」より「L(法的 な名前)」を使用、<名前表記コード>は、HL7 表「0465-名 前/アドレス表記」に記載されている「I:漢字表記」「P:カ ナ表記」を使用する。 ex) 1234567^医師^一郎^~~~~L^~~~~I
ORC-11	検証者	250	XCN	O	Y		O	N	入力された要求の精度を検証した人の所属氏名等の情 報。
ORC-12	依頼者	250	XCN	O	Y		R	RE	[SS-MIX2] <依頼者の ID>^<姓>^<名>^~~~~<名前タイプ>^~~~~<名前 表記コード> <名前タイプ>は、HL7 表「0200-名前タイプ」より「L(法的 な名前)」を使用、<名前表記コード>は、HL7 表「0465-名 前/アドレス表記」に記載されている「I:漢字表記」「P:カ ナ表記」を使用する。 ex) 1234567^医師^一郎^~~~~L^~~~~I [口腔診査情報] オーダ情報がない場合もあるので、RE(存在すれば必 須)とする。
ORC-13	入力場所	80	PL	O			O	O	入力をした物理的な場所・端末の設置場所(部門や階)を 示す。 入院の場合、 <病棟コード>^<病室コード>^<ベッド番号>^~N 外来の場合、 <診療科コード>^~~~~C と設定することにし、所在場所型(PL6)は必須とする。 診療科コードには、使用者定義表「0302-ケアの場所」を 使用し、取りうる値は、「口腔診査情報統一診療科コード 表 V1.0」を参照とする。 所在場所型(PL6)には、使用者定義表「0305-所在場所 型」より、「C(診療科)」、「D(部門)」、「N(病棟)」を設定す る。 ex) 010^~~~~C
ORC-14	コールバック用電話番 号	250	XTN	O	Y/2		O	N	要求事項やオーダに関する他の情報を確認するための 電話番号
ORC-15	オーダ有効日時	26	TS	O			O	O	変更要求が有効になった、あるいは有効になる予定の日 時

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	J A H I S	口 腔 診 査 情 報	説明
ORC-16	オーダ制御コードの理由	250	CWE	O			O	O	オーダ制御コードで指定したオーダイベントの理由 キャンセル理由をセットする為に使用する。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されてい ないため、指定する場合はローカルコードを使用する。
ORC-17	入力組織	250	CWE	O			R	O	入力者がオーダを入力/修正した時に属していた組織を 示す。 [SS-MIX2] <入力者の所属科コード>^<名称>^HL70069 <入力者の所属科ローカルコード>^<名称>^99zzz 取りうる値として、使用者定義表「0069-診療部門」を推奨 するが、ローカルコードを使用することも可能である。 [口腔診査情報] CWE.1 に<ON-11:診療科コード>、CWE.2 に<ON-12:診療 科名>をセットする。
ORC-18	入力装置	250	CWE	O			O	O	オーダを入力するために使用した端末の識別子を示す。 [SS-MIX2] <端末識別子>^^99zzz
ORC-19	(オーダ制御)実施者	250	XCN	O	Y		O	N	オーダ制御コードで指定したイベントを発動した人
ORC-20	受益者事前通知コード	250	CWE	O		0339	O	N	保険契約にないサービスに対する支払い責任の(患者ま たは代理人の)承諾状態を示す。
ORC-21	オーダ施設名	250	XON	O	Y		O	O	オーダを発行した病院名を示す。 [SS-MIX2] <病院名> [口腔診査情報] XON.1 に<ON-8:入力機関名>、XON.10 に<ON-9:入力機 関コード>をセットする。
ORC-22	オーダ施設住所	250	XAD	O	Y		O	O	オーダを発行した病院の住所。 [SS-MIX2] ^^^^<郵便番号>^<国>^^<病院の住所> ex)^^^^420-8601^JPN^^静岡県静岡市葵区追手町9番6 号 [口腔診査情報] XAD.9 に<ON-7:入力機関都道府県>をセットする。
ORC-23	オーダ施設電話番号	250	XTN	O	Y		O	O	オーダを発行した病院の電話番号。 [SS-MIX2] ^^^^^^^^^^<電話番号> [口腔診査情報] XTN.12 に<ON-10:入力機関電話番号>をセットする。
ORC-24	オーダ依頼者住所	250	XAD	O	Y		O	N	オーダ発行者住所
ORC-25	オーダ状態修飾子	250	CWE	O			O	N	ラベルが印刷されているかどうか、処方箋が記入された かどうか、処方箋が出されたかどうか、などを示す。

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	J A H I S	口 腔 診 査 情 報	説明
ORC-26	受益者事前通知無効理由	60	CWE	C		0552	C	N	患者が事前保険金受給通知にサインしない理由。コードかフリーテキスト形式で入力
ORC-27	実施者可能日時	26	TS	O			O	N	実施者がサービス可能な日時を指定。
ORC-28	守秘コード	250	CWE	O		0177	O	N	オーダーを取り巻くセキュリティレベル・注意度に関する情報。Ex) 厳重注意、注意不要、注意など
ORC-29	オーダータイプ	250	CWE	O		0482	O	O	オーダーが入院患者オーダーか外来患者オーダーかを示す。 〈オーダータイプ〉^〈オーダータイプ名称〉HL70482 取りうる値は、HL7 表「0482-オーダータイプ」より「I(入院患者オーダー)」「O(外来患者オーダー)」を使用する。 ex) I^入院患者オーダー^HL70482
ORC-30	入力者承認モード	250	CNE	O		0483	O	N	オーダーを作成・変更する責任者からの承認の形態を示す。

5.5 検査要求セグメント (OBR)

表8 検査要求セグメント(OBR)定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	J A H I S	口 腔 診 査 情 報	説明
OBR-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「OBR」を設定する。
OBR-1	セット ID- OBR	4	SI	O			O	R	複数検体時の上位(同一)ORC に対する通番。初期値1、増分1。
OBR-2	依頼者オーダー番号	22	EI	C			RE	RE	依頼オーダー番号を示す。 [SS-MIX2] 15桁、前ゼロ形式。 〈依頼オーダー番号〉 【口腔診査情報】 オーダー情報がない場合もあるので、RE(存在すれば必須)とする。
OBR-3	実施者オーダー番号	22	EI	C			RE	O	ORC-3:実施者オーダー番号に同じ。ラボ側検体番号など。 [SS-MIX2] 15桁、前ゼロ形式。 〈実施オーダー番号〉
OBR-4	検査項目 ID	250	CWE	R			R	R	検査項目を表す一意な識別子。 取りうる値は、JLAC10コードを推奨する。検査結果照会において、該当検査が無い場合、「'''」をセットする。 【口腔診査情報】 〈NS-2:入力種別〉をセットする。コーディングシステム名は「JDASNS02」とする。
OBR-5	優先度	2	ID	X			B	N	下位互換性のために残されている。優先度は TQ1-9 で指示する。
OBR-6	要求日時	26	TS	X			O	N	要求された検査日時。 下位互換性のために残されている。TQ1-7 で指示する。
OBR-7	検査/採取日時	26	TS	C			C	C	検査が実際に行われた日時。 [条件] 結果メッセージにおいて使用する。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDD[HHMM]」形式。 【口腔診査情報】 〈NS-2:入力種別〉が初診時口腔診査:01、治療による更新(処置履歴):02 の場合は〈NS-3:最新初診年月日〉、それ以外の場合は〈PN-9:診療・健診年月日〉をセットする。
OBR-8	検査/採取終了日時	26	TS	O			O	O	検査が終了した日時。「YYYYMMDD[HHMM]」形式。 瞬時に終わる場合は、「検査/採取日時(OBX-7)」と同じ。 【口腔診査情報】 〈NS-2:入力種別〉が初診時口腔診査:01、治療による更新(処置履歴):02 の場合は〈NS-4:最終診療年月日〉、それ以外の場合は〈PN-9:診療・健診年月日〉をセットする。

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	J A H I S	口 腔 診 査 情 報	説明
OBR-9	採取量	20	CQ	O			N	N	検体の量。デフォルト値の単位は ML。
OBR-10	採取者識別子	250	XCN	O	Y		N	N	検体を採取した個人、部門あるいは施設を識別する。
OBR-11	検体処置コード	1	ID	O		0065	N	N	検体採取の状態/方法等を示す。HL7 テーブル 0065－検体処置コード参照。
OBR-12	危険(検体)コード	250	CWE	O			O	O	危険であることが知られている、あるいは疑われる患者・検体を示すコードかテキスト、あるいはその両方(たとえば陽性結核患者、肝炎患者の血液などの感染情報)。推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。 <危険情報コード(ST)>^<危険情報テキスト(TX)>^<コーディングシステム名(IS)>
OBR-13	関連臨床情報	300	ST	O			O	O	患者あるいは検体に関する検査診断および臨床所見の判定において、検査診断に影響を及ぼすその他の条件。ただし、OBX セグメントを追加することで、より構造化された形式でこの種の情報を示すことができる。身体情報(身長・体重やバイタルサインなど)、検査情報、投薬情報などは OBX セグメントを利用することを推奨する。
OBR-14	検体受理日時	26	TS	B			N	N	検体を必要とする検査の場合、診断サービスの実際のログイン時間/検体受領日時。
OBR-15	検体材料/採取部位	300	SPS	B			N	N	検体の採取部位や医療サービスの対象となる部位や検査材料を示す。
OBR-16	依頼者	250	XCN	O	Y		O	O	検査依頼者の ID。ID コードあるいは名前、またはその両方を指定できる。 依頼者(ORC-12)に同じ。検査依頼医師。 [SS-MIX2] <入力者の ID>^<姓>^<名>^~~~~^<名前タイプ>~~~~^<名前表記コード> <名前タイプ>は、HL7 表「0200-名前タイプ」より「L(法的な名前)」を使用、<名前表記コード>は、HL7 表「0465-名前/アドレス表記」に記載されている「I:漢字表記」「P:カナ表記」を使用する。 ex) 1234567^医師^一郎^~~~~^L^~~~~^I
OBR-17	オーダコールバック用電話番号	250	XTN	O	Y/2		O	N	検査状況あるいは結果を報告する際の電話番号。
OBR-18	依頼者項目 1	60	ST	O			O	N	依頼者によって送られたテキストは、結果と共に返される。検査に対する詳細な指示。
OBR-19	依頼者項目 2	60	ST	O			O	N	依頼者項目 1 と同じ。
OBR-20	実施者項目 1	60	ST	O			O	N	実施者(診断サービス)により任意の使用目的に定義可能。検査状況や結果を報告。
OBR-21	実施者項目 2	60	ST	O			O	N	実施者項目 1 と同じ。

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	J A H I S	口 腔 診 査 情 報	説明
OBR-22	結果報告/状態変更-日時	26	TS	C			O	O	結果の報告日時、あるいは状態の変更日時。 OBR-25 に値が設定された場合に使用する。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。
OBR-23	課金	40	MOC	O			N	N	検査項目より発生する課金情報を示す。
OBR-24	診断部門ID	10	ID	O		0074	O	O	診断を実施した診断サービス部門。検査が外部サービス によって実施された場合、そのサービスのIDがここに記 録される。
OBR-25	結果状態	1	ID	C		0123	O	C	オーダの状況を示す。 取りうる値は、HL7 表「0123-結果状態」を参照。 ex) I(到着確認(受付))、R(未承認結果報告)、F(最終結 果報告)[条件] 結果メッセージでのみ使用される。
OBR-26	親結果	400	PRL	O			O	O	先んじて行われた検査の結果。親番号(OBR-29)と組み 合わせて使用。
OBR-27	数量/タイミング	200	TQ	B	Y		B	N	検体の採取量・検査の継続期間・間隔を示す。
OBR-28	結果配布先	250	XCN	O	Y		O	O	検査報告書を受け取る人や部門を示す。
OBR-29	親番号	200	EIP	O			C	N	親子関係が存在する場合、このフィールドにより子供を その親に関連づける。 子オーダ制御(CH)のとき、親オーダ制御(PA)の依頼者 オーダ番号(ORC-2)を設定する。 [条件] オーダ制御(ORC-1)が「CH」の場合に必須。
OBR-30	患者搬送モード	20	ID	O		0124	O	N	患者が検査を受ける時の移動モード。検査装置を患者の もとへ移動・カートまたは担架・歩行など。
OBR-31	検査理由	250	CWE	O	Y		O	N	適切な検査所見を得る為に使用しなければならない検査 がある。
OBR-32	結果判定責任者	200	NDL	O			O	N	検査を診断し、報告書の内容に責任を負う医師あるいは 臨床医のID。
OBR-33	結果判定アシスタント	200	NDL	O	Y		O	N	この検査の診断に立ち会った臨床医。
OBR-34	医療技術者	200	NDL	O	Y		O	N	実施担当臨床技師。
OBR-35	口述記録者	200	NDL	O	Y		N	N	報告書の口述筆記を担当する人、通常は、本フィールド は使用しない。
OBR-36	予定日時	26	TS	O			O	O	実施者がスケジュールした撮影予定日。依頼メッセージ では使用しない。
OBR-37	検体容器数	4	NM	O			N	N	受領検体容器の数。検体受領の検証のために使用。同 一検体・同一採取管での採取量オーバーフロー時の採 取管本数を記述する。記述なしの場合を含め、通常は1 と解釈する。
OBR-38	採取検体搬送	250	CWE	O	Y		N	N	診断サービス実施者への採取検体の配送方法を示す。 ex)トラック便、郵便など

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	J A H I S	口 腔 診 査 情 報	説明
OBR-39	採取者コメント	250	CWE	O	Y		N	N	検体に関する付加的コメント、検体採取時のコメントを記述する。 ex)「変性により凝固困難」、「-15℃にて凍結」。
OBR-40	搬送調整者	250	CWE	O			O	N	予約検査などで検体搬送の手配などを行った者。 ex) 依頼者、実施者、患者
OBR-41	搬送調整結果	30	ID	O		0224	O	N	検体搬送手配の状態。手配済み・未手配・不明など。
OBR-42	随行者要否	1	ID	O		0225	O	N	患者が診断サービス部門へ出向くに必要な随行者の要否。計画患者搬送コメント(OBR-43)の併用が一般的。
OBR-43	患者搬送コメント	250	CWE	O	Y		O	N	患者が診断サービス部門へ出向く際の搬送や随行に関するコメント。
OBR-44	処置コード	250	CWE	O	N	0088	O	N	課金と関連付けられた処置がもしあれば、処置に割り当てられた識別子を指定する。
OBR-45	処置コード修飾子	250	CWE	O	Y	0340	O	N	処置コード(OBR-44)で報告された処置コードの修飾子を示す。
OBR-46	依頼者発行の追加サービス情報	250	CWE	O	Y	0411	O	N	検査が右部にされたか左部にされたか、例えば検査部位が腕のどこかになされたがオーダーマスタファイルには右腕か左腕か区別されない場合とか、(オーダーマスタファイルに区別はなく)検査が対比有りか無しかで実施されたかというような詳細情報を記述するのに使われる。
OBR-47	実施者発行の追加サービス情報	250	CWE	O	Y	0411	O	N	検査が右部にされたか左部にされたか、例えば検査部位が腕のどこかになされたがオーダーマスタファイルには右腕か左腕か区別されない場合とか、(オーダーマスタファイルに区別はなく)検査が対比有りか無しかで実施されたかというような詳細情報を記述するのに使われる。
OBR-48	医学的に必要な重複処置の理由	250	CWE	C	N	0476	O	N	同じ患者に関する同じ日のサービスに対して既にオーダー或いは課金された処置と重複した処置が、医学的に必要と判断され実施された場合に、その理由を文書化する目的で使用される。
OBR-49	結果の取り扱い	2	IS	O	N	0507	O	N	結果のハンドリングに関する情報伝達。あるオーダーでは、結果(例えばX線フィルム)は患者に与えられるべきで、これは請求者に対する成果である。

5.6 タイミング／数量セグメント (TQ1)

表9 タイミング／数量セグメント (TQ1) 定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	J A H I S	口腔診査情報	説明
TQ1-0	セグメントID	3	ST	R			R	R	セグメントID「TQ1」を設定する。
TQ1-1	セットID - TQ1	4	SI	O			O	R	最初伝送時、シーケンス番号は1、二回目の伝送時、シーケンス番号は2、以下同様。
TQ1-2	数量	20	CQ	O			O	O	サービス内で提供されるべき量を数量的に指定する。
TQ1-3	繰返しパターン	540	RPT	O	Y	0335	O	O	サービスが実施される頻度を定義するため、繰返しパターンコードをセットする。 第1成分の取りうる値は使用者定義表「0335-繰り返しパターン」を参照する。 ex) BID&&HL70335
TQ1-4	明示的な時間	20	TM	O	Y		O	O	繰返しパターン (TQ1) によって指定されたスケジュールの実際の時間を明示的にリストする。
TQ1-5	相対時間/単位	20	CQ	O	Y		O	O	スケジュールの間隔を定義するために使用する。
TQ1-6	サービス期間	20	CQ	O			O	O	サービスを実施する期間を示す。 <日数><単位>単位コードはISOの使用を推奨するが、ローカルコードを使用することも可能である。ISOの場合、コーディングシステム名は省略可能である。 ex) 4`d
TQ1-7	開始日時	26	TS	O			O	O	サービスが開始される日時。「YYYYMMDDHH」形式。 [口腔診査情報] <NS-2:入力種別>が初診時口腔診査:01、治療による更新(処置履歴):02の場合は<NS-3:最新初診年月日>、それ以外の場合は<PN-9:診療・健診年月日>をセットする。
TQ1-8	終了日時	26	TS	O			O	O	サービスが終了される日時。「YYYYMMDDHH」形式。 [口腔診査情報] <NS-2:入力種別>が初診時口腔診査:01、治療による更新(処置履歴):02の場合は<NS-4:最終診療年月日>、それ以外の場合は<PN-9:診療・健診年月日>をセットする。
TQ1-9	優先度	250	CWE	O	Y	0485	O	O	優先度を記述する。 取りうる値は、使用者定義表「0485-拡張優先度コード」を参照。 [SS-MIX] 優先度を指定しない場合でも、デフォルトの「R」を指定する必要があり、省略はしない。 [口腔診査情報] 省略可とする。
TQ1-10	条件テキスト	250	TX	O			O	O	薬が与えられる条件を記述する自由テキストのフィールドである。

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	J A H I S	口腔 診 査 情 報	説明
TQ1-11	テキスト指令	250	TX	O			O	O	指示のフルテキスト版。
TQ1-12	連結	10	ID	C		0427	C	O	2番目の TQ1 セグメントとの関係性を示す。 1つのメッセージ内でTQ1 セグメントを繰り返す場合に使用しなければならない。 取りうる値は、HL7 表「0472-TQ 連結 ID」を参照。
TQ1-13	事象継続期間	20	CQ	O			O	O	1回のサービスの時間を示す。
TQ1-14	事象総数	10	NM	O			O	O	サービスの発生の総数。

5.7 検査依頼項目セグメント (OBX)

表10 検査依頼項目セグメント(OBX)定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	J A H I S	口腔 診 査 情 報	説明
OBX-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「OBX」を設定する。
OBX-1	セット ID-OBX	4	SI	O			O	O	セグメントの反復が許されるメッセージにおいて、反復を識別する為のメッセージ内でのシーケンス番号。初期値 1、増分 1。上位(同一)OBR に対する通番。
OBX-2	値型	3	ID	C		0125	C	R	検査値 (OBX-5) のデータタイプ。 [SS-MIX2] HL7 表「0125-値型」より、呼吸機能検査など結果が数値として表現される場合には「NM」を使用する。心電図検査や心臓カテーテル検査など、主としてテキストによる結果は、所見を「TX」で表現する。 [口腔診査情報] HL7 表「0125-値型」より、結果値が数値の場合には「NM」を、コードの場合は「CWE」を、短いテキスト(200 文字未満)の場合は「ST」を、長いテキストの場合は「TX」を使用する。
OBX-3	検査項目	250	CWE	R			R	R	検査項目を表す一意な識別子。 [口腔診査情報] 口腔診査項目の識別情報をセットする。取りうる値については、「JDAS 表 0003 - 口腔診査項目コード」を参照のこと。 ex) TB02^歯種コード^JDAS0003
OBX-4	検査副 ID	20	ST	C			C	C	1 つの OBR の下で編成された複数の OBX セグメントが同じ検査項目 ID を持つ場合、それぞれの OBX セグメントを識別するのに使う。 [口腔診査情報] 口腔診査情報を歯単位あるいは場合によってユニット単位、レコード単位でグループ化するために、以下のような値をセットする。 T<Nt>: 歯単位でグルーピングする場合に、<Nt>番目の歯の属性情報を記述する。 (<Nt>は、1 から始まるメッセージ内でユニークな連番) 「T0」をセットすると、全歯に共通の情報とみなす。 併存ユニットがある場合や併存レコードがある場合については下記を参照。 T<Nt>U<Nu>: 歯の診査情報レコードユニットに属する 7 つのレコードを表現する際、併存ユニットがある場合に、

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	口腔診査情報	説明
									<p><Nt>番目の歯の<Nu>番目のユニットの属性情報を記述する。</p> <p>(<Nu>は、1 から始まる歯内でユニークな連番) 併存レコードがある場合については下記を参照。</p> <p>T<Nt>U<Nu>R<Nr>:</p> <p>現在歯の内容部分 (TP) レコードを表現する際、併存レコードがある場合に、<Nt>番目の歯の<Nu>番目のユニットの<Nr>番目のレコードの属性情報を記述する。</p> <p>(<Nr>は、1 から始まるユニット内でユニークな連番)</p> <p>併存ユニットがない場合はU<Nu>を省略する。</p> <p>ex) T2</p>
	OBX-5 結果値	99999	*	C	Y		C	C	<p>検査結果を示す。データタイプ(DT)については、値型(OBX-2)で示されたタイプを使用する。</p> <p>[口腔診査情報]</p> <p>口腔診査項目の結果値をセットする。CWE 型の場合に使用可能なコード表については、「表 2 口腔診査情報通知メッセージ(ORU)で使用する</p> <p>「口腔診査情報コード仕様」のコード表を参照のこと。</p> <p>ex) 1011^右側上顎中切歯^JDASTB02</p>
	OBX-6 単位	250	CWE	O			O	O	<p>単位のデータ型はCWE データ型である。単位をローカルコードで表記する場合、次のような成分で記載するものとする。</p> <p><単位のコード>^<コードテキスト>^99zzz</p> <p>ex) g/dl^g/dl^99XYZ</p> <p><単位のコード>(第1成分)または<コードテキスト>(第2成分)のいずれかは省略可能とする。</p> <p>ただし、HL7 では、単位コードのためのデフォルトのコーディングシステムとして「ISO+」を使用しており、必要に応じてそれらの標準的なコードを使用することも可能である。その場合、取りうる値は ISO 単位を参照し、コーディングシステム名には「ISO+」を格納する。</p>
	OBX-7 基準値範囲	60	ST	O			N	N	<p>検査結果に対する基準値の範囲。検査で有毒物質の量を計測する場合、範囲の上限により毒性限界を表す。検査で薬剤の量を計測する場合、下限により治療の期待できる最小量を表し、上限によりそれ以上の薬剤投与により通常副作用が発生し得ることを表す。</p> <p>ex) 6.5-8.2 ※基準値の範囲は“-”(半角ハイフン)を用いること</p>
	OBX-8 異常フラグ	5	IS	O	Y	0078	O	N	<p>結果の正常・異常を示す。適用できる場合は、使用者定義表「0078-異常フラグ」を使用する。</p>

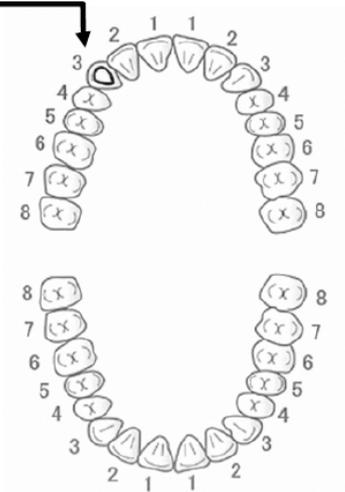
	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	J A H I S	口 腔 診 査 情 報	説明
OBX-9	確率	5	NM	O			N	N	定性値を持つ結果の場合、結果が真である確率(結果が特定のコードとなる確率)。主として離散的コード化結果に適用される。0~1(0と1を含む)のASCII文字列で表した10進数である。
OBX-10	異常検査の特質	2	ID	O	Y	0080	N	N	判定の元になった集団の性質を表す。
OBX-11	検査結果状態	1	ID	R		0085	R	R	1つの検査項目についての、現在の結果完了状態を反映する。 取りうる値は、HL7表「0085-検査結果状態」を参照。 身長・体重・感染症・血液型などの患者身体情報を表現する場合には最終結果の情報という意味で、「F」を使用する。 [口腔診査情報] 口腔診査項目の場合、固定値「F」をセットする。
OBX-12	基準値範囲有効日付	26	TS	O			N	N	測定方法の変更により、旧方式で得られた値が新規方式で得られた値と比較できなくなる場合、そのような測定方法の変更などを表す。
OBX-13	使用者定義アクセス点検	20	ST	O			N	N	受信システムで検査を分類するのに使用する結果依存コードを記録できる。
OBX-14	検査日時	26	TS	O			RE	O	実際に検査された日時を示す。 [口腔診査情報] 口腔診査項目の場合、<TE-8:該当歯情報入力・更新日時>をセットする。 ex) 20160821203824
OBX-15	実施者ID	250	CWE	O			O	N	検査実施責任者の一意な識別子。
OBX-16	検査責任者	250	XCN	O	Y		O	N	検査に直接責任を負う個人(つまり検査を実行、もしくは検証した人)の識別子。
OBX-17	検査方法	250	CWE	O	Y		N	N	検査項目案内などで公表している検査方法と異なる検査方法を実施した場合などはここに明示する。
OBX-18	装置ID	22	EI	O	Y		O	N	臨床検査に用いられる分析機の装置識別IDである。
OBX-19	分析日時	26	TS	O			N	N	実装置IDで指定された機器によって分析結果の世代と関連したタイムスタンプを転送する為に使われる。

6. HL7 メッセージ例

6.1 メッセージ例 1

	傷病名コード	傷病名基本名称	歯科傷病名省略名称
3 — P e r	8833899	根尖性歯周炎	P e r

右上 3
仮封
Crown Temporary Filling



CSV 形式データ

```
ON,,,,,02,15,ABC 歯科医院,1234567,025-243-0000,90,歯科,,,,,
PN,01150010,1 2 3 4 5 6 7 8,3,01,1164,,,20161213,記載例 3,01,19900101,,,,,
NS,02,20161018,20161213,,,,,
TB,1013,0,0,,,,,
TD,01,01,,,,,
TF,01,00,,,,,01,,,,,
DT,20170123,170836,20170123,170836,,,,,
```

HL7 メッセージ

```
MSH|^~\&|HIS|SEND|GW|RCV|20170221151210||ORU^R01^ORU_R01|20170221151210|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
PID|0001||001164^^^PI||記載例^3^^^^L^I||19900101|M<CR>
PV1|0001|O||||||90<CR>
ORC|NW|||||||90^歯科^HL70069|||ABC 歯科医院^^^^^^1234567|^JPN^^15|^025-243-0000<CR>
OBR|1|||02^治療による更新 (処置履歴)^JDASNS02||20161018|20161213<CR>
TQ1|1|||||20161018|20161213<CR>
OBX|1|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T1|1013^右側上顎犬歯^JDASTB02|||||F<CR>
OBX|2|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T1|0^現存歯^JDASTB03|||||F<CR>
OBX|3|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T1|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F<CR>
OBX|4|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T1|01^現在歯【現在歯/】(状態不明)*^JDASTD02|||||F<CR>
OBX|5|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T1|01^/(現在歯、または健全歯)^JDASTD03|||||F<CR>
OBX|6|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T1|01^標準プロファイル 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F<CR>
OBX|7|CWE|TF03^乳歯・D c d^JDAS0003|T1|00^該当なし^JDASTF03|||||F<CR>
OBX|8|CWE|TF27^歯あり (状態不明)・P r e^JDAS0003|T1|01^歯あり (状態不明)・P r e^JDASTF27|||||F<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
2	4	ST	R			符号化文字	^^%&	
3	227	HD	0		0361	送信アプリケーション	HIS	
4	227	HD	0		0362	送信施設	SEND	
5	227	HD	0		0361	受信アプリケーション	GW	
6	227	HD	0		0362	受信施設	RCV	
7	26	TS	R			メッセージ日時	20170221151210	
9	15	MSG	R			メッセージ型	ORU^R01^ORU_R01	
10	20	ST	R			メッセージ制御 ID	20170221151210	
11	3	PT	R			処理 ID	P	
12	60	VID	R			バージョン ID	2.5	
18	16	ID	0	Y	0211	文字セット	~ISO IR87	
20	20	ID	0		0356	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PID セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	0001	
3	250	CX	R	Y		患者 ID リスト	001164^^^^PI	<PN-6: 医療機関内 ID>
5	250	XPN	R	Y		患者氏名	記載例^3^^^^L^I	<PN-10: 氏名>
7	26	TS	0			生年月日	19900101	<PN-12: 生年月日>
8	1	IS	0		0001	性別	M	<PN-11: 男女区別>

■ PV1 セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	0001	
2	1	IS	R		0004	患者区分	0	
10	3	IS	0		0069	診療部門	90	<ON-11: 診療科コード>

■ ORC セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	2	ID	R		0119	オーダ制御	NW	
17	250	OE	0			入力組織	90^歯科^HL70069	<ON-11: 診療科コード><ON-12: 診療科名>
21	250	XON	0	Y		オーダ施設名	A B C 歯科医院^^^^^^^^1234567	<ON-8: 入力機関名><ON-9: 入力機関コード>
22	250	XAD	0	Y		オーダ施設住所	^^^^JPN^^15	<ON-7: 入力機関都道府県>
23	250	XTN	0	Y		オーダ施設電話番号	^^^^^^^^025-243-0000	<ON-10: 入力機関電話番号>

■ OBR セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID-OBR	1	
4	250	OE	R			汎用サービス ID	02^治療による更新 (処置履歴)^JDASNS02	<NS-2: 入力種別>
7	26	TS	C			検査日時#	20161018	<NS-3: 最新初診年月日> or

									<PN-9:診療・健 診年月日>
8	26	TS	0			検査終了日時#	20161213		<NS-4:最終診療 年月日> or <PN-9:診療・健 診年月日>

■ TQ1 セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			TQ1 を ID にセット	1	
7	26	TS	0			開始日時	20161018	<NS-3:最新初診 年月日> or <PN-9:診療・健 診年月日>
8	26	TS	0			終了日時	20161213	<NS-4:最終診療 年月日> or <PN-9:診療・健 診年月日>

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	1	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB02^歯種コード^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T1	
5	65536	*	C	Y		結果値	1013^右側上顎犬歯^JDASTB02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	2	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB03^状態コード^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T1	
5	65536	*	C	Y		結果値	0^現存歯^JDASTB03	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	3	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB04^部分コード^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T1	
5	65536	*	C	Y		結果値	0^部分指定なし^JDASTB04	
11	1	ID	R	-	0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	4	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TD02^歯の基本状態^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T1	

5	65536	*	C	Y		結果値	01^現在歯【現在歯/】(状態不明) *^JDASTD02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	5	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TD03^歯科健診記号^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T1	
5	65536	*	C	Y		結果値	01^/ (現在歯、または健全歯) ^JDASTD03	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	6	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF02^標準プロフィール 26 項目の 情報の有無^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T1	
5	65536	*	C	Y		結果値	01^標準プロフィール 26 項目の情報 あり^JDASTF02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

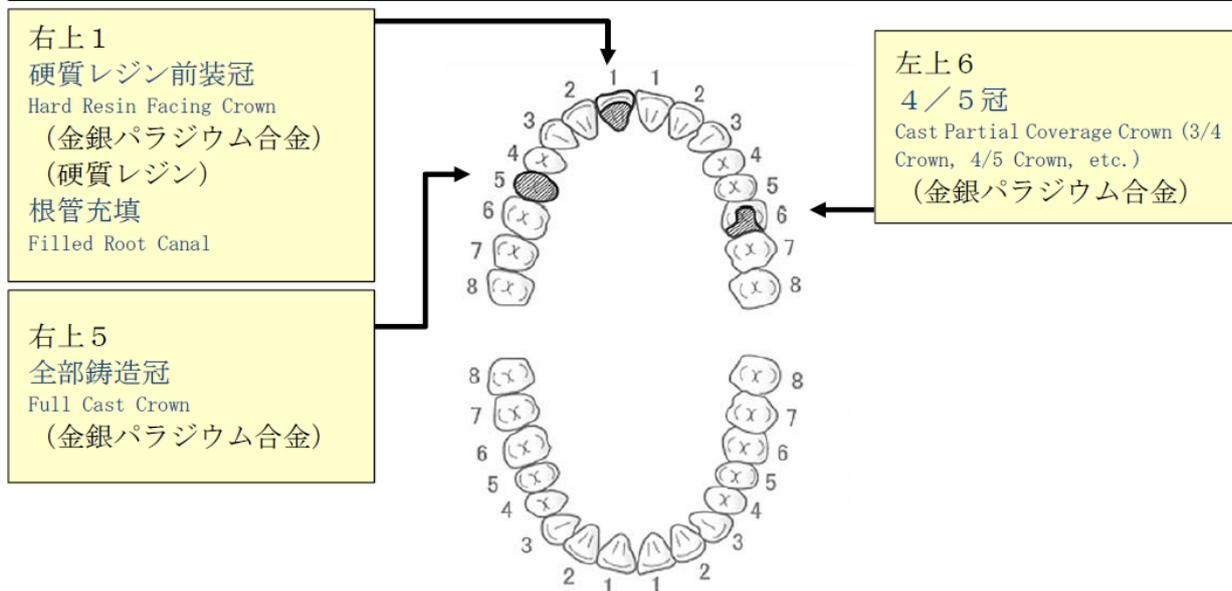
SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	7	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF03^乳歯・D c d^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T1	
5	65536	*	C	Y		結果値	00^該当なし^JDASTF03	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	8	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF27^歯あり (状態不明)・Pre ^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T1	
5	65536	*	C	Y		結果値	01^歯あり (状態不明)・Pre ^JDASTF27	
11	1	ID	R	-	0085	検査結果状態	F	

6.2 メッセージ例2

5 1 6	傷病名コード	傷病名基本名称	歯科傷病名省略名称
— —C 3 処置歯	5210011	根充済み	C 3 処置歯



CSV 形式データ

```

ON,,,,,02,15,ABC歯科医院,1234567,025-243-0000,90,歯科,,,,,
PN,01150010,1 2 3 4 5 6 7 8,1,01,1149,,,20160531,記載例 1,01,19850101,,,,,
NS,02,20160412,20160531,,,,,
TB,1015,0,0,,,,,
TD,01,01,,,,,
TP,,,,,,,,,,,,,,,,,01,,,,,,,,,,,,,,,,,
TF,01,00,,,,,,,,,01,,,,,,,,,01,,,,,
TB,1011,0,0,,,,,
TD,01,01,,,,,
TP,,,,,,,,,,,,,,,,,06,,,,,,,,,,,,,,,,,
TF,01,00,,,,,,,,,01,,,,,,,,,01,,,,,
TB,1026,0,0,,,,,
TD,01,01,,,,,
TP,,,,,,,,,22,,01,,01,01,01,,,,,,,,,,,,,
TF,01,00,,,,,01,,,,,01,,01,01,01,,,,,,,,,01,,,,,
DT,20170123,170836,20170123,170836,,,,,
  
```

HL7 メッセージ

```

MSH|^~\&|HIS|SEND|GW|RCV|20170221151209||ORU^R01^ORU_R01|20170221151209|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
PID|0001||001149^^^PI||記載例^1^^^^L^I||19850101|M<CR>
PVI|0001|O||||||90<CR>
ORC|NW|||||||90^歯科^HL70069|||ABC 歯科医院^^^^^^1234567|^^^^JPN^^15|^^^^^^
^^025-243-0000<CR>
OBR|1|||02^治療による更新 (処置履歴) ^JDASNS02|||20160412|20160531<CR>
TQ1|1|||||20160412|20160531<CR>
OBX|1|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T1|1015^右側上顎第2小臼歯^JDASTB02|||||F<CR>
OBX|2|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T1|0^現存歯^JDASTB03|||||F<CR>
OBX|3|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T1|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F<CR>
  
```

OBX|4|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T1|01^現在歯【現在歯/】(状態不明)*^JDASTD02|||||F<CR>
 OBX|5|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T1|01^/(現在歯、または健全歯)^JDASTD03|||||F<CR>
 OBX|6|CWE|TP21^処置歯(全部修復)^JDAS0003|T1|01^全部修復(全部金属冠・銀色)(FMC)*^JDASTP21|||||F<CR>
 OBX|7|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T1|01^標準プロファイル 26 項目の情報あり
 ^JDASTF02|||||F<CR>
 OBX|8|CWE|TF03^乳歯・D c d^JDAS0003|T1|00^該当なし^JDASTF03|||||F<CR>
 OBX|9|CWE|TF16^全部金属冠 (F M C ほか) ・ F M C ^JDAS0003|T1|01^全部金属冠 (F M C ほか) ・ F M C
 ^JDASTF16|||||F<CR>
 OBX|10|CWE|TF27^歯あり (状態不明) ・ P r e ^JDAS0003|T1|01^歯あり (状態不明) ・ P r e ^JDASTF27|||||F<CR>
 OBX|11|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T2|1011^右側上顎中切歯^JDASTB02|||||F<CR>
 OBX|12|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T2|0^現存歯^JDASTB03|||||F<CR>
 OBX|13|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T2|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F<CR>
 OBX|14|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T2|01^現在歯【現在歯/】(状態不明)*^JDASTD02|||||F<CR>
 OBX|15|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T2|01^/(現在歯、または健全歯)^JDASTD03|||||F<CR>
 OBX|16|CWE|TP21^処置歯 (全部修復) ^JDAS0003|T2|06^全部修復 (前装金属冠・銀色) (前装 M C)
 *^JDASTP21|||||F<CR>
 OBX|17|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T2|01^標準プロファイル 26 項目の情報あり
 ^JDASTF02|||||F<CR>
 OBX|18|CWE|TF03^乳歯・D c d^JDAS0003|T2|00^該当なし^JDASTF03|||||F<CR>
 OBX|19|CWE|TF17^前装冠 (H R 、 M B ほか) ・ H R ^JDAS0003|T2|01^前装冠 (H R 、 M B ほか) ・ H R
 ^JDASTF17|||||F<CR>
 OBX|20|CWE|TF27^歯あり (状態不明) ・ P r e ^JDAS0003|T2|01^歯あり (状態不明) ・ P r e ^JDASTF27|||||F<CR>
 OBX|21|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T3|1026^左側上顎第 1 大臼歯^JDASTB02|||||F<CR>
 OBX|22|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T3|0^現存歯^JDASTB03|||||F<CR>
 OBX|23|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T3|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F<CR>
 OBX|24|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T3|01^現在歯【現在歯/】(状態不明)*^JDASTD02|||||F<CR>
 OBX|25|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T3|01^/(現在歯、または健全歯)^JDASTD03|||||F<CR>
 OBX|26|CWE|TP11^処置歯 (部分修復) ^JDAS0003|T3|22^部分修復 (4 / 5 金属冠・銀色) (4 / 5 C r o)
 *^JDASTP11|||||F<CR>
 OBX|27|CWE|TP13^歯面 (切端・咬合面 I O*) ^JDAS0003|T3|01^切端・咬合面 I O*^JDASTP13|||||F<CR>
 OBX|28|CWE|TP15^歯面 (口蓋側面・舌側面 P L*) ^JDAS0003|T3|01^口蓋側面・舌側面 P L*^JDASTP15|||||F<CR>
 OBX|29|CWE|TP16^歯面 (近心面 M*) ^JDAS0003|T3|01^近心面 M*^JDASTP16|||||F<CR>
 OBX|30|CWE|TP17^歯面 (遠心面 D*) ^JDAS0003|T3|01^遠心面 D*^JDASTP17|||||F<CR>
 OBX|31|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T3|01^標準プロファイル 26 項目の情報あり
 ^JDASTF02|||||F<CR>
 OBX|32|CWE|TF03^乳歯・D c d^JDAS0003|T3|00^該当なし^JDASTF03|||||F<CR>
 OBX|33|CWE|TF08^インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠金属色・I n ^JDAS0003|T3|01^インレー、アンレー、3/
 4冠、4/5冠金属色・I n ^JDASTF08|||||F<CR>
 OBX|34|CWE|TF11^切端・咬合面・I O^JDAS0003|T3|01^切端・咬合面・I O^JDASTF11|||||F<CR>
 OBX|35|CWE|TF13^口蓋側面・舌側面・P L^JDAS0003|T3|01^口蓋側面・舌側面・P L^JDASTF13|||||F<CR>
 OBX|36|CWE|TF14^近心面・M^JDAS0003|T3|01^近心面・M^JDASTF14|||||F<CR>
 OBX|37|CWE|TF15^遠心面・D^JDAS0003|T3|01^遠心面・D^JDASTF15|||||F<CR>
 OBX|38|CWE|TF27^歯あり (状態不明) ・ P r e ^JDAS0003|T3|01^歯あり (状態不明) ・ P r e ^JDASTF27|||||F<CR>
 <EOM>

■ MSH セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
2	4	ST	R			符号化文字	^^%&	
3	227	HD	0		0361	送信アプリケーション	HIS	
4	227	HD	0		0362	送信施設	SEND	
5	227	HD	0		0361	受信アプリケーション	GW	
6	227	HD	0		0362	受信施設	RCV	
7	26	TS	R			メッセージ日時	20170221151209	
9	15	MSG	R			メッセージ型	ORU^R01^ORU_R01	
10	20	ST	R			メッセージ制御 ID	20170221151209	
11	3	PT	R			処理 ID	P	

12	60	VID	R			バージョン ID	2.5	
18	16	ID	0	Y	0211	文字セット	~ISO IR87	
20	20	ID	0		0356	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PID セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	0001	
3	250	CX	R	Y		患者 ID リスト	001149^^^^PI	<PN-6: 医療機関内 ID>
5	250	XP	R	Y		患者氏名	記載例 1 ^^^^^^L^I	<PN-10: 氏名>
7	26	TS	0			生年月日	19850101	<PN-12: 生年月日>
8	1	IS	0		0001	性別	M	<PN-11: 男女区別>

■ PV1 セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	0001	
2	1	IS	R		0004	患者区分	0	
10	3	IS	0		0069	診療部門	90	<ON-11: 診療科コード>

■ ORC セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	2	ID	R		0119	オーダー制御	NW	
17	250	CE	0			入力組織	90^歯科^HL70069	<ON-11: 診療科コード><ON-12: 診療科名>
21	250	XON	0	Y		オーダー施設名	A B C 歯科医院 ^^^^^^^^^1234567	<ON-8: 入力機関名><ON-9: 入力機関コード>
22	250	XAD	0	Y		オーダー施設住所	^^^^^JPN^^^15	<ON-7: 入力機関都道府県>
23	250	XTN	0	Y		オーダー施設電話番号	^^^^^^^^^^0252430000	<ON-10: 入力機関電話番号>

■ OBR セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID-OBR	1	
4	250	CE	R			汎用サービス ID	02^治療による更新 (処置履歴)^JDASNS02	<NS-2: 入力種別>
7	26	TS	C			検査日時#	20160412	<NS-3: 最新初診年月日> or <PN-9: 診療・健診年月日>
8	26	TS	0			検査終了日時#	20160531	<NS-4: 最終診療年月日> or <PN-9: 診療・健診年月日>

■ TQ1 セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			TQ1 を ID にセット	1	
7	26	TS	0			開始日時	20160412	<NS-3: 最新初診年月日> or <PN-9: 診療・健診年月日>

								診年月日>
8	26	TS	0			終了日時	20160531	<NS-4:最終診療年月日> or <PN-9:診療・健診年月日>

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	1	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB02^歯種コード^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T1	
5	65536	*	C	Y		結果値	1015^右側上顎第2小臼歯^JDASTB02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	2	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB03^状態コード^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T1	
5	65536	*	C	Y		結果値	0^現存歯^JDASTB03	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	3	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB04^部分コード^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T1	
5	65536	*	C	Y		結果値	0^部分指定なし^JDASTB04	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	4	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TD02^歯の基本状態^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T1	
5	65536	*	C	Y		結果値	01^現在歯【現在歯/】(状態不明)*^JDASTD02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	5	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TD03^歯科健診記号^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T1	

5	65536	*	C	Y		結果値	01 [^] / (現在歯、または健全歯) [^] JDASTD03	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	6	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TP21 [^] 処置歯(全部修復) [^] JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T1	
5	65536	*	C	Y		結果値	01 [^] 全部修復(全部金属冠・銀色) (FMC) * [^] JDASTP21	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	7	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF02 [^] 標準プロファイル 26 項目の 情報の有無 [^] JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T1	
5	65536	*	C	Y		結果値	01 [^] 標準プロファイル 26 項目の情 報あり [^] JDASTF02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	8	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF03 [^] 乳歯・D c d [^] JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T1	
5	65536	*	C	Y		結果値	00 [^] 該当なし [^] JDASTF03	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	9	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF16 [^] 全部金属冠 (FMCほか) ・ FMC [^] JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T1	
5	65536	*	C	Y		結果値	01 [^] 全部金属冠 (FMCほか) ・ F MC [^] JDASTF16	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	10	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF27 [^] 歯あり (状態不明) ・ P r e [^] JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T1	

5	65536	*	C	Y		結果値	01^歯あり (状態不明)・Pre ^JDASTF27	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	11	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB02^歯種コード^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T2	
5	65536	*	C	Y		結果値	1011^右側上顎中切歯^JDASTB02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	12	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB03^状態コード^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T2	
5	65536	*	C	Y		結果値	0^現存歯^JDASTB03	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	13	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB04^部分コード^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T2	
5	65536	*	C	Y		結果値	0^部分指定なし^JDASTB04	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	14	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TD02^歯の基本状態^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T2	
5	65536	*	C	Y		結果値	01^現在歯【現在歯/】 (状態不明) *^JDASTD02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	15	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TD03^歯科健診記号^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T2	
5	65536	*	C	Y		結果値	01^/ (現在歯、または健全歯) ^JDASTD03	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	16	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TP21 [^] 処置歯(全部修復) [^] JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T2	
5	65536	*	C	Y		結果値	06 [^] 全部修復(前装金属冠・銀色) (前装MC)* [^] JDASTP21	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	17	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF02 [^] 標準プロフィール 26 項目の 情報の有無 [^] JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T2	
5	65536	*	C	Y		結果値	01 [^] 標準プロフィール 26 項目の情 報あり [^] JDASTF02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	18	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF03 [^] 乳歯・D c d [^] JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T2	
5	65536	*	C	Y		結果値	00 [^] 該当なし [^] JDASTF03	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	19	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF17 [^] 前装冠(HR、MBほか)・ HR [^] JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T2	
5	65536	*	C	Y		結果値	01 [^] 前装冠(HR、MBほか)・H R [^] JDASTF17	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	20	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF27 [^] 歯あり(状態不明)・P r e [^] JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T2	
5	65536	*	C	Y		結果値	01 [^] 歯あり(状態不明)・P r e [^] JDASTF27	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	21	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB02^歯種コード^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3	
5	65536	*	C	Y		結果値	1026^左側上顎第 1 大臼歯 ^JDASTB02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	22	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB03^状態コード^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3	
5	65536	*	C	Y		結果値	0^現存歯^JDASTB03	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	23	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB04^部分コード^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3	
5	65536	*	C	Y		結果値	0^部分指定なし^JDASTB04	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	24	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TD02^歯の基本状態^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3	
5	65536	*	C	Y		結果値	01^現在歯【現在歯/】(状態不明) *^JDASTD02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	25	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TD03^歯科健診記号^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3	
5	65536	*	C	Y		結果値	01^/ (現在歯、または健全歯) ^JDASTD03	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

© 日本歯科医師会 2017

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	26	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TP11^処置歯(部分修復)^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3	
5	65536	*	C	Y		結果値	22^部分修復(4/5金属冠・銀色) (4/5Cr o)*^JDASTP11	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	27	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TP13^歯面(切端・咬合面 I O*) ^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3	
5	65536	*	C	Y		結果値	01^切端・咬合面 I O*^JDASTP13	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	28	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TP15^歯面(口蓋側面・舌側面 P L *) ^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3	
5	65536	*	C	Y		結果値	01^口蓋側面・舌側面 P L *^JDASTP15	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	29	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TP16^歯面(近心面 M*) ^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3	
5	65536	*	C	Y		結果値	01^近心面 M*^JDASTP16	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	30	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TP17^歯面(遠心面 D*) ^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3	
5	65536	*	C	Y		結果値	01^遠心面 D*^JDASTP17	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考

1	4	SI	0			セット ID	31	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF02 [^] 標準プロファイル 26 項目の情報の有無 [^] JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3	
5	65536	*	C	Y		結果値	01 [^] 標準プロファイル 26 項目の情報あり [^] JDASTF02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	32	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF03 [^] 乳歯・D c d [^] JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3	
5	65536	*	C	Y		結果値	00 [^] 該当なし [^] JDASTF03	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	33	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF08 [^] インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠金属色・I n [^] JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3	
5	65536	*	C	Y		結果値	01 [^] インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠金属色・I n [^] JDASTF08	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	34	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF11 [^] 切端・咬合面・I O [^] JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3	
5	65536	*	C	Y		結果値	01 [^] 切端・咬合面・I O [^] JDASTF11	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	35	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF13 [^] 口蓋側面・舌側面・P L [^] JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3	
5	65536	*	C	Y		結果値	01 [^] 口蓋側面・舌側面・P L [^] JDASTF13	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	36	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF14 [^] 近心面・M [^] JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3	
5	65536	*	C	Y		結果値	01 [^] 近心面・M [^] JDASTF14	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

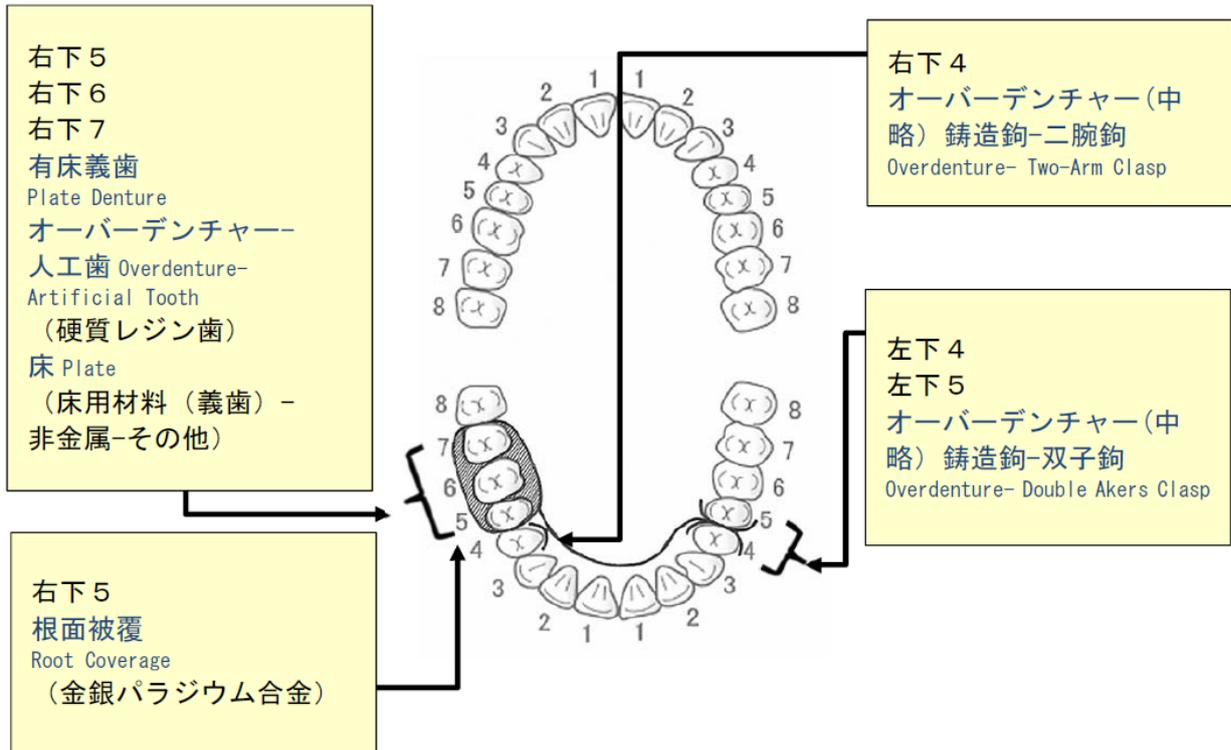
SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	37	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF15 [^] 遠心面・D [^] JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3	
5	65536	*	C	Y		結果値	01 [^] 遠心面・D [^] JDASTF15	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	38	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF27 [^] 菌あり (状態不明)・P r e [^] JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3	
5	65536	*	C	Y		結果値	01 [^] 菌あり (状態不明)・P r e [^] JDASTF27	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

6.3 メッセージ例3

	傷病名コード	傷病名基本名称	歯科傷病名省略名称
MT	5250001	欠損歯	MT
7-5			



CSV 形式データ

```

ON,,,,,02,15,ABC 歯科医院,1234567,025-243-0000,90,歯科,,,,,
PN,39152178,,00000270,01,1255,,20161220,記載例 1 2,02,19380730,,,,,
NS,02,20161004,20161220,,,,,
TB,1047,2,0,,,,,
TD,56,05,,,,,
TM,,,16,,03,,,,,,,,,
TF,01,00,,,,,,,,,,,,,01,,01,,,,,,,,,
TB,1046,2,0,,,,,
TD,56,05,,,,,
TM,,,16,,03,,,,,,,,,
TF,01,00,,,,,,,,,,,,,01,,01,,,,,,,,,
TB,1045,6,0,1,,,,,
TD,56,05,,,,,
TP,,,,,,,,,11,,,,,,,,,
TF,01,00,,,,,,,,,,,,,01,,01,,01,,,,,,,,,
TB,1045,2,0,,,,,
TD,56,05,,,,,
TM,,,16,,03,,,,,,,,,
TB,1044,0,0,,,,,
TD,01,01,,,,,
TP,,,,,,,,,,,,,05,,,,,,,,,
TF,01,00,,,,,,,,,,,,,01,,,,,,,,,
TB,1034,0,0,,,,,
TD,01,01,,,,,

```

TP,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,02,,,,,,,,,,,,,
 TF,01,00,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,01,,,,,
 TB,1035,0,0,,,,,
 TD,01,01,,,,,
 TP,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,02,,,,,,,,,,,,,
 TF,01,00,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,01,,,,,
 DT,20170123,170836,20170123,170836,,,,,

HL7 メッセージ

MSH|^~\&|HIS|SEND|GW|RCV|20170221151210|ORU^R01^ORU_R01|20170221151210|P|2.5|||||~ISO
 IR87||ISO 2022-1994<CR>
 PID|0001||001255^*^*^*PI||記載例^ 1 2^*^*^*L^I||19380730|F<CR>
 PV1|0001|O|||||||90<CR>
 ORC|NW|||||||90^歯科^HL70069|||ABC 歯科医院^*^*^*^*^*1234567|^*^*^*JPN^*^*15|^*^*^*^*^*
 ^*025-243-0000<CR>
 OBR|1||02^治療による更新 (処置履歴) ^JDASNS02||20161004|20161220<CR>
 TQ1|1|||||20161004|20161220<CR>
 OBX|1|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T1|1047^右側下顎第2大臼歯^JDASTB02|||||F<CR>
 OBX|2|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T1|2^欠損歯^JDASTB03|||||F<CR>
 OBX|3|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T1|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F<CR>
 OBX|4|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T1|56^欠損歯【喪失歯 (欠損補綴歯) (Δ)】 *^JDASTD02|||||F<CR>
 OBX|5|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T1|05^ (Δ) (欠損補綴歯) ^JDASTD03|||||F<CR>
 OBX|6|CWE|TM04^有床義歯^JDAS0003|T1|16^局部義歯 (レジン床) (PD) *^JDASTM04|||||F<CR>
 OBX|7|CWE|TM06^義歯人工歯^JDAS0003|T1|03^硬質レジン歯^JDASTM06|||||F<CR>
 OBX|8|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T1|01^標準プロファイル 26 項目の情報あり
 ^JDASTF02|||||F<CR>
 OBX|9|CWE|TF03^乳歯・D c d^JDAS0003|T1|00^該当なし^JDASTF03|||||F<CR>
 OBX|10|CWE|TF22^欠損・MAM^JDAS0003|T1|01^欠損・MAM^JDASTF22|||||F<CR>
 OBX|11|CWE|TF24^義歯 (人工歯あり)・D e n^JDAS0003|T1|01^義歯 (人工歯あり)・D e n^JDASTF24|||||F<CR>
 OBX|12|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T2|1046^右側下顎第1大臼歯^JDASTB02|||||F<CR>
 OBX|13|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T2|2^欠損歯^JDASTB03|||||F<CR>
 OBX|14|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T2|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F<CR>
 OBX|15|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T2|56^欠損歯【喪失歯 (欠損補綴歯) (Δ)】 *^JDASTD02|||||F<CR>
 OBX|16|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T2|05^ (Δ) (欠損補綴歯) ^JDASTD03|||||F<CR>
 OBX|17|CWE|TM04^有床義歯^JDAS0003|T2|16^局部義歯 (レジン床) (PD) *^JDASTM04|||||F<CR>
 OBX|18|CWE|TM06^義歯人工歯^JDAS0003|T2|03^硬質レジン歯^JDASTM06|||||F<CR>
 OBX|19|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T2|01^標準プロファイル 26 項目の情報あり
 ^JDASTF02|||||F<CR>
 OBX|20|CWE|TF03^乳歯・D c d^JDAS0003|T2|00^該当なし^JDASTF03|||||F<CR>
 OBX|21|CWE|TF22^欠損・MAM^JDAS0003|T2|01^欠損・MAM^JDASTF22|||||F<CR>
 OBX|22|CWE|TF24^義歯 (人工歯あり)・D e n^JDAS0003|T2|01^義歯 (人工歯あり)・D e n^JDASTF24|||||F<CR>
 OBX|23|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T3U1|1045^右側下顎第2小臼歯^JDASTB02|||||F<CR>
 OBX|24|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T3U1|6^残根^JDASTB03|||||F<CR>
 OBX|25|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T3U1|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F<CR>
 OBX|26|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T3U1|56^欠損歯【喪失歯 (欠損補綴歯) (Δ)】 *^JDASTD02|||||F<CR>
 OBX|27|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T3U1|05^ (Δ) (欠損補綴歯) ^JDASTD03|||||F<CR>
 OBX|28|CWE|TP09^未処置歯 (う蝕等、治療中を含む) ^JDAS0003|T3U1|11^残根 (残根上義歯) *^JDASTP09|||||F<CR>
 OBX|29|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T3U1|01^標準プロファイル 26 項目の情報あり
 ^JDASTF02|||||F<CR>
 OBX|30|CWE|TF03^乳歯・D c d^JDAS0003|T3U1|00^該当なし^JDASTF03|||||F<CR>
 OBX|31|CWE|TF21^残根・根面板ほか・C 4^JDAS0003|T3U1|01^残根・根面板ほか・C 4^JDASTF21|||||F<CR>
 OBX|32|CWE|TF24^義歯 (人工歯あり)・D e n^JDAS0003|T3U1|01^義歯 (人工歯あり)・D e n^JDASTF24|||||F<CR>
 OBX|33|CWE|TF27^歯あり (状態不明)・P r e^JDAS0003|T3U1|01^歯あり (状態不明)・P r e^JDASTF27|||||F<CR>
 OBX|34|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T3U2|1045^右側下顎第2小臼歯^JDASTB02|||||F<CR>
 OBX|35|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T3U2|2^欠損歯^JDASTB03|||||F<CR>
 OBX|36|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T3U2|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F<CR>
 OBX|37|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T3U2|56^欠損歯【喪失歯 (欠損補綴歯) (Δ)】 *^JDASTD02|||||F<CR>
 OBX|38|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T3U2|05^ (Δ) (欠損補綴歯) ^JDASTD03|||||F<CR>
 OBX|39|CWE|TM04^有床義歯^JDAS0003|T3U2|16^局部義歯 (レジン床) (PD) *^JDASTM04|||||F<CR>

OBX|40|CWE|TM06^義歯人工歯^JDAS0003|T3U2|03^硬質レジン歯^JDASTM06|||||F<CR>
 OBX|41|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T4|1044^右側下顎第1小臼歯^JDASTB02|||||F<CR>
 OBX|42|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T4|0^現存歯^JDASTB03|||||F<CR>
 OBX|43|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T4|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F<CR>
 OBX|44|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T4|01^現在歯【現在歯/】(状態不明)*^JDASTD02|||||F<CR>
 OBX|45|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T4|01^/(現在歯、または健全歯)^JDASTD03|||||F<CR>
 OBX|46|CWE|TP26^クラスプ^JDAS0003|T4|05^铸造鉤(二腕鉤・レスト付き・銀色)(C1)^JDASTP26|||||F<CR>
 OBX|47|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T5|01^標準プロファイル 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F<CR>
 OBX|48|CWE|TF03^乳歯・D c d^JDAS0003|T4|00^該当なし^JDASTF03|||||F<CR>
 OBX|49|CWE|TF27^歯あり(状態不明)・P r e^JDAS0003|T4|01^歯あり(状態不明)・P r e^JDASTF27|||||F<CR>
 OBX|50|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T5|1034^左側下顎第1小臼歯^JDASTB02|||||F<CR>
 OBX|51|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T5|0^現存歯^JDASTB03|||||F<CR>
 OBX|52|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T5|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F<CR>
 OBX|53|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T5|01^現在歯【現在歯/】(状態不明)*^JDASTD02|||||F<CR>
 OBX|54|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T5|01^/(現在歯、または健全歯)^JDASTD03|||||F<CR>
 OBX|55|CWE|TP26^クラスプ^JDAS0003|T6|02^铸造鉤(双子鉤・銀色)(C1)^JDASTP26|||||F<CR>
 OBX|56|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T6|01^標準プロファイル 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F<CR>
 OBX|57|CWE|TF03^乳歯・D c d^JDAS0003|T5|00^該当なし^JDASTF03|||||F<CR>
 OBX|58|CWE|TF27^歯あり(状態不明)・P r e^JDAS0003|T5|01^歯あり(状態不明)・P r e^JDASTF27|||||F<CR>
 OBX|59|CWE|TB02^歯種コード^JDAS0003|T6|1035^左側下顎第2小臼歯^JDASTB02|||||F<CR>
 OBX|60|CWE|TB03^状態コード^JDAS0003|T6|0^現存歯^JDASTB03|||||F<CR>
 OBX|61|CWE|TB04^部分コード^JDAS0003|T6|0^部分指定なし^JDASTB04|||||F<CR>
 OBX|62|CWE|TD02^歯の基本状態^JDAS0003|T6|01^現在歯【現在歯/】(状態不明)*^JDASTD02|||||F<CR>
 OBX|63|CWE|TD03^歯科健診記号^JDAS0003|T6|01^/(現在歯、または健全歯)^JDASTD03|||||F<CR>
 OBX|64|CWE|TP26^クラスプ^JDAS0003|T6|02^铸造鉤(双子鉤・銀色)(C1)^JDASTP26|||||F<CR>
 OBX|65|CWE|TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003|T6|01^標準プロファイル 26 項目の情報あり^JDASTF02|||||F<CR>
 OBX|66|CWE|TF03^乳歯・D c d^JDAS0003|T6|00^該当なし^JDASTF03|||||F<CR>
 OBX|67|CWE|TF27^歯あり(状態不明)・P r e^JDAS0003|T6|01^歯あり(状態不明)・P r e^JDASTF27|||||F<CR>
 <EOM>

■ MSH セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
2	4	ST	R			符号化文字	~%&	
3	227	HD	0		0361	送信アプリケーション	HIS	
4	227	HD	0		0362	送信施設	SEND	
5	227	HD	0		0361	受信アプリケーション	GW	
6	227	HD	0		0362	受信施設	RCV	
7	26	TS	R			メッセージ日時	20170221151210	
9	15	MSG	R			メッセージ型	ORU^R01^ORU_R01	
10	20	ST	R			メッセージ制御 ID	20170221151210	
11	3	PT	R			処理 ID	P	
12	60	VID	R			バージョン ID	2.5	
18	16	ID	0	Y	0211	文字セット	~ISO IR87	
20	20	ID	0		0356	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PID セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	0001	
3	250	CX	R	Y		患者 ID リスト	001255^^^PI	<PN-6: 医療機関内 ID>
5	250	XPN	R	Y		患者氏名	記載例 1 2^^^L^I	<PN-10: 氏名>

7	26	TS	0			生年月日	19380730	<PN-12:生年月日>
8	1	IS	0		0001	性別	F	<PN-11:男女区別>

■ PV1 セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	0001	
2	1	IS	R		0004	患者区分	0	
10	3	IS	0		0069	診療部門	90	<ON-11:診療科コード>

■ ORC セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	2	ID	R		0119	オーダ制御	NW	
17	250	CE	0			入力組織	90^歯科^HL70069	<ON-11:診療科コード><ON-12:診療科名>
21	250	XON	0	Y		オーダ施設名	A B C 歯科医院^^^^^^^^1234567	<ON-8:入力機関名><ON-9:入力機関コード>
22	250	XAD	0	Y		オーダ施設住所	^^^^JPN^^15	<ON-7:入力機関都道府県>
23	250	XTN	0	Y		オーダ施設電話番号	^^^^^^^^^^025-243-0000	<ON-10:入力機関電話番号>

■ OBR セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID—OBR	1	
4	250	CE	R			汎用サービス ID	02^治療による更新(処置履歴)^JDASNS02	<NS-2:入力種別>
7	26	TS	C			検査日時#	20161004	<NS-3:最新初診年月日> or <PN-9:診療・健診年月日>
8	26	TS	0			検査終了日時#	20161220	<NS-4:最終診療年月日> or <PN-9:診療・健診年月日>

■ TQ1 セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			TQ1 を ID にセット	1	
7	26	TS	0			開始日時	20161004	<NS-3:最新初診年月日> or <PN-9:診療・健診年月日>
8	26	TS	0			終了日時	20161220	<NS-4:最終診療年月日> or <PN-9:診療・健診年月日>

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	1	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB02^歯種コード^JDAS0003	

4	20	ST	C			検査サブ ID	T1	
5	65536	*	C	Y		結果値	1047^右側下顎第2大臼歯 ^JDASTB02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	2	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB03^状態コード^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T1	
5	65536	*	C	Y		結果値	2^欠損歯^JDASTB03	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	3	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB04^部分コード^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T1	
5	65536	*	C	Y		結果値	0^部分指定なし^JDASTB04	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	4	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TD02^歯の基本状態^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T1	
5	65536	*	C	Y		結果値	56^欠損歯【喪失歯（欠損補綴歯） （△）】*^JDASTD02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	5	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TD03^歯科健診記号^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T1	
5	65536	*	C	Y		結果値	05^（△）（欠損補綴歯）^JDASTD03	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	6	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TM04^有床義歯^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T1	
5	65536	*	C	Y		結果値	16^局部義歯（レジン床）（PD） *^JDASTM04	

11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	
----	---	----	---	--	------	--------	---	--

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	7	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TMO6 [^] 義歯人工歯 [^] JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T1	
5	65536	*	C	Y		結果値	03 [^] 硬質レジン歯 [^] JDASTM06	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	8	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF02 [^] 標準プロファイル 26 項目の情報の有無 [^] JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T1	
5	65536	*	C	Y		結果値	01 [^] 標準プロファイル 26 項目の情報あり [^] JDASTF02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	9	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF03 [^] 乳歯・D c d [^] JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T1	
5	65536	*	C	Y		結果値	00 [^] 該当なし [^] JDASTF03	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	10	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF22 [^] 欠損・MAM [^] JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T1	
5	65536	*	C	Y		結果値	01 [^] 欠損・MAM [^] JDASTF22	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	11	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF24 [^] 義歯（人工歯あり）・Den [^] JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T1	
5	65536	*	C	Y		結果値	01 [^] 義歯（人工歯あり）・Den [^] JDASTF24	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	12	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB02^歯種コード^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T2	
5	65536	*	C	Y		結果値	1046^右側下顎第 1 大臼歯 ^JDASTB02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	13	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB03^状態コード^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T2	
5	65536	*	C	Y		結果値	2^欠損歯^JDASTB03	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	14	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB04^部分コード^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T2	
5	65536	*	C	Y		結果値	0^部分指定なし^JDASTB04	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	15	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TD02^歯の基本状態^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T2	
5	65536	*	C	Y		結果値	56^欠損歯【喪失歯（欠損補綴歯） （△）】*^JDASTD02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	16	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TD03^歯科健診記号^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T2	
5	65536	*	C	Y		結果値	05^（△）（欠損補綴歯）^JDASTD03	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	17	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TMO4^有床義歯^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T2	
5	65536	*	C	Y		結果値	16^局部義歯 (レジン床) (PD) *^JDASTM04	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	18	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TMO6^義歯人工歯^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T2	
5	65536	*	C	Y		結果値	03^硬質レジン歯^JDASTM06	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	19	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF02^標準プロフィール 26 項目の 情報の有無^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T2	
5	65536	*	C	Y		結果値	01^標準プロフィール 26 項目の情報あり^JDASTF02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	20	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF03^乳歯・D c d^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T2	
5	65536	*	C	Y		結果値	00^該当なし^JDASTF03	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	21	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF22^欠損・MAM^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T2	
5	65536	*	C	Y		結果値	01^欠損・MAM^JDASTF22	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	22	

2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF24^義歯（人工歯あり）・Den ^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T2	
5	65536	*	C	Y		結果値	01^義歯（人工歯あり）・Den ^JDASTF24	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	23	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB02^歯種コード^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3U1	
5	65536	*	C	Y		結果値	1045^右側下顎第2小臼歯 ^JDASTB02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	24	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB03^状態コード^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3U1	
5	65536	*	C	Y		結果値	6^残根^JDASTB03	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	25	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB04^部分コード^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3U1	
5	65536	*	C	Y		結果値	0^部分指定なし^JDASTB04	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	26	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TD02^歯の基本状態^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3U1	
5	65536	*	C	Y		結果値	56^欠損歯【喪失歯（欠損補綴歯） （△）】*^JDASTD02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	27	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	

3	250	CE	R			検査項目	TD03^歯科健診記号^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3U1	
5	65536	*	C	Y		結果値	05^ (△) (欠損補綴歯) ^JDASTD03	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	28	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TP09^未処置歯 (う蝕等、治療中を含む) ^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3U1	
5	65536	*	C	Y		結果値	11^残根 (残根上義歯) *^JDASTP09	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	29	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF02^標準プロファイル 26 項目の情報の有無^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3U1	
5	65536	*	C	Y		結果値	01^標準プロファイル 26 項目の情報あり^JDASTF02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	30	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF03^乳歯・D c d^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3U1	
5	65536	*	C	Y		結果値	00^該当なし^JDASTF03	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	31	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF21^残根・根面板ほか・C 4 ^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3U1	
5	65536	*	C	Y		結果値	01^残根・根面板ほか・C 4 ^JDASTF21	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	32	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF24^義歯 (人工歯あり) ・D e n	

							^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3U1	
5	65536	*	C	Y		結果値	01^義歯（人工歯あり）・Den ^JDASTF24	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	33	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF27^歯あり（状態不明）・Pre ^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3U1	
5	65536	*	C	Y		結果値	01^歯あり（状態不明）・Pre ^JDASTF27	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	34	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB02^歯種コード^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3U2	
5	65536	*	C	Y		結果値	1045^右側下顎第2小臼歯 ^JDASTB02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	35	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB03^状態コード^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3U2	
5	65536	*	C	Y		結果値	2^欠損歯^JDASTB03	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	36	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB04^部分コード^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3U2	
5	65536	*	C	Y		結果値	0^部分指定なし^JDASTB04	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	37	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TD02^歯の基本状態^JDAS0003	

4	20	ST	C			検査サブ ID	T3U2	
5	65536	*	C	Y		結果値	56^欠損歯【喪失歯（欠損補綴歯）（△）】*^JDASTD02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	38	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TD03^歯科健診記号^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3U2	
5	65536	*	C	Y		結果値	05^（△）（欠損補綴歯）^JDASTD03	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	39	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TM04^有床義歯^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3U2	
5	65536	*	C	Y		結果値	16^局部義歯（レジン床）（P D）*^JDASTM04	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	40	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TM06^義歯人工歯^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T3U2	
5	65536	*	C	Y		結果値	03^硬質レジン歯^JDASTM06	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	41	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB02^歯種コード^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T4	
5	65536	*	C	Y		結果値	1044^右側下顎第1小臼歯^JDASTB02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	42	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB03^状態コード^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T4	
5	65536	*	C	Y		結果値	0^現存歯^JDASTB03	

11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	
----	---	----	---	--	------	--------	---	--

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	43	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB04^部分コード^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T4	
5	65536	*	C	Y		結果値	0^部分指定なし^JDASTB04	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	44	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TD02^歯の基本状態^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T4	
5	65536	*	C	Y		結果値	01^現在歯【現在歯/】(状態不明) *^JDASTD02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	45	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TD03^歯科健診記号^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T4	
5	65536	*	C	Y		結果値	01^/ (現在歯、または健全歯) ^JDASTD03	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	46	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TP26^クラスブ^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T4	
5	65536	*	C	Y		結果値	05^鑄造鉤 (二腕鉤・レスト付き・ 銀色) (C I)^JDASTP26	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	47	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF02^標準プロファイル 26 項目の 情報の有無^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T5	
5	65536	*	C	Y		結果値	01^標準プロファイル 26 項目の情 報あり^JDASTF02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	48	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF03 [^] 乳歯・D c d [^] JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T4	
5	65536	*	C	Y		結果値	00 [^] 該当なし [^] JDASTF03	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	49	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF27 [^] 歯あり (状態不明)・Pre [^] JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T4	
5	65536	*	C	Y		結果値	01 [^] 歯あり (状態不明)・Pre [^] JDASTF27	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	50	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB02 [^] 歯種コード [^] JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T5	
5	65536	*	C	Y		結果値	1034 [^] 左側下顎第 1 小臼歯 [^] JDASTB02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	51	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB03 [^] 状態コード [^] JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T5	
5	65536	*	C	Y		結果値	0 [^] 現存歯 [^] JDASTB03	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	52	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB04 [^] 部分コード [^] JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T5	
5	65536	*	C	Y		結果値	0 [^] 部分指定なし [^] JDASTB04	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	53	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TD02^歯の基本状態^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T5	
5	65536	*	C	Y		結果値	01^現在歯【現在歯/】(状態不明) *^JDASTD02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	54	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TD03^歯科健診記号^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T5	
5	65536	*	C	Y		結果値	01^/ (現在歯、または健全歯) ^JDASTD03	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	55	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TP26^クラスプ^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T6	
5	65536	*	C	Y		結果値	02^鑄造鉤(双子鉤・銀色)(C I) ^JDASTP26	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	56	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF02^標準プロファイル 26 項目の 情報の有無^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T6	
5	65536	*	C	Y		結果値	01^標準プロファイル 26 項目の情報 あり^JDASTF02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	57	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF03^乳歯・D c d^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T5	
5	65536	*	C	Y		結果値	00^該当なし^JDASTF03	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考

1	4	SI	0			セット ID	58	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF27^歯あり (状態不明)・Pre ^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T5	
5	65536	*	C	Y		結果値	01^歯あり (状態不明)・Pre ^JDASTF27	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	59	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB02^歯種コード^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T6	
5	65536	*	C	Y		結果値	1035^左側下顎第2小臼歯 ^JDASTB02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	60	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB03^状態コード^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T6	
5	65536	*	C	Y		結果値	0^現存歯^JDASTB03	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	61	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TB04^部分コード^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T6	
5	65536	*	C	Y		結果値	0^部分指定なし^JDASTB04	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	62	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TD02^歯の基本状態^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T6	
5	65536	*	C	Y		結果値	01^現在歯【現在歯/】(状態不明) *^JDASTD02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	63	

2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TD03^歯科健診記号^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T6	
5	65536	*	C	Y		結果値	01^ (現在歯、または健全歯) ^JDASTD03	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	64	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TP26^クラスブ^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T6	
5	65536	*	C	Y		結果値	02^ 鑄造鉤 (双子鉤・銀色) (C I) ^JDASTP26	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	65	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF02^標準プロファイル 26 項目の 情報の有無^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T6	
5	65536	*	C	Y		結果値	01^標準プロファイル 26 項目の情報あり^JDASTF02	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	66	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF03^乳歯・D c d^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T6	
5	65536	*	C	Y		結果値	00^該当なし^JDASTF03	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

■ OBX セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	値	備考
1	4	SI	0			セット ID	67	
2	3	ID	C		0125	結果値タイプ	CWE	
3	250	CE	R			検査項目	TF27^歯あり (状態不明)・P r e ^JDAS0003	
4	20	ST	C			検査サブ ID	T6	
5	65536	*	C	Y		結果値	01^歯あり (状態不明)・P r e ^JDASTF27	
11	1	ID	R		0085	検査結果状態	F	

7. 改定履歴

改定履歴		
日付	バージョン	内容
2017/3	Ver. 1.0	初版

厚生労働省委託事業

平成 28 年度歯科診療情報の標準化に関する実証事業報告書

発行日 平成 29 年 3 月 31 日

発行 公益社団法人 日本歯科医師会

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4 丁目 1 番 20 号

TEL : 03-3262-9321 FAX : 03-9362-9885
